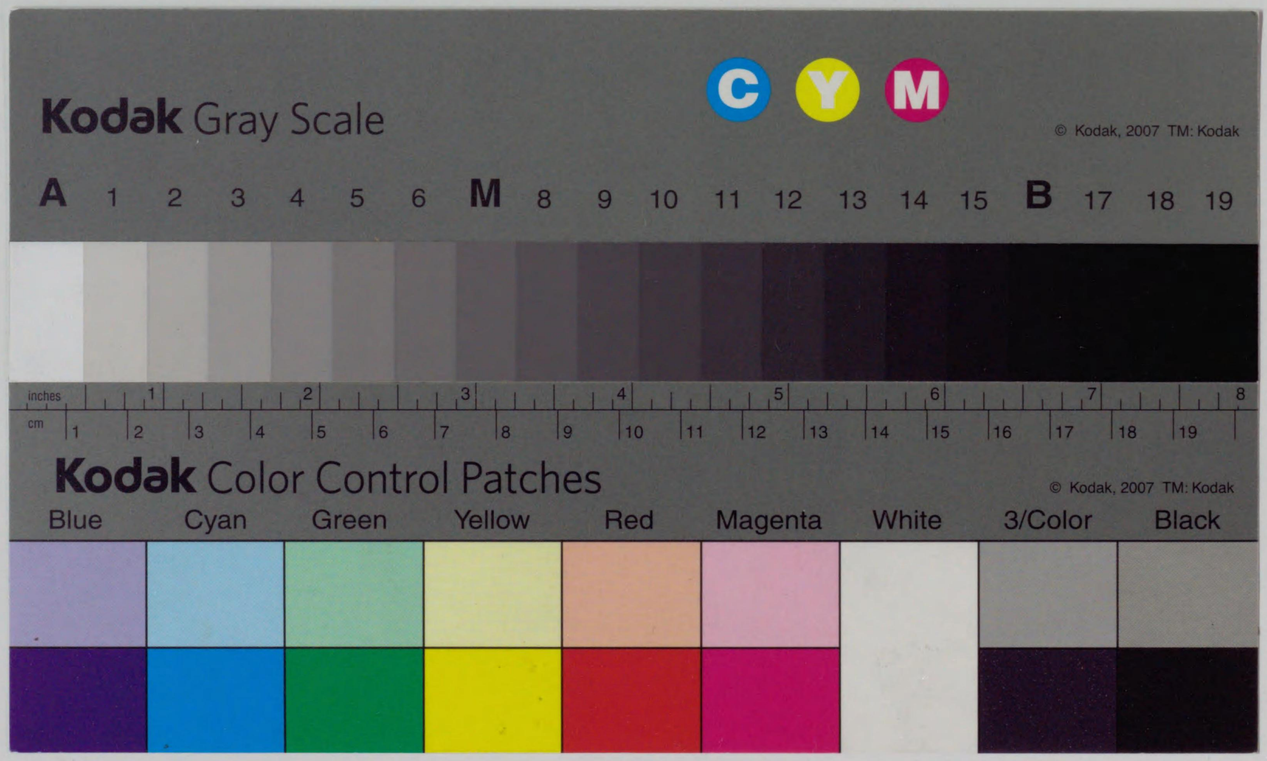

Kodak Gray Scale
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Kodak Color Control Patches
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

638
81
18

6
8

村越三千男編並画

内外植物原色大圖鑑

第十一卷

東京 内外植物大圖鑑刊行會 發行

638-8/
特別

第十一卷所載科名目次

隱花植物 (第一編)

I. 苔蘚(無管有胚)部

1. 羊齒亞部 PTERIDOPHYTA.

1. 水韮門 ISOETES. 1
1. みづにら(水韮)科 Isoetaceæ 1
2. 鱗木門 LEPIDOPHYTALES. 2
1. ふういんぼく(封印木)科 Sigillariaceæ 2
2. うろこぎ(鱗木)科 Lepidodendraceæ 2
3. 松葉蘭門 PSILOTALES. 3
1. まつばらん(松葉蘭)科 Psilotaceæ 3
4. 卷柏門 LYCOPODIALES. 3
1. 卷柏群 *LYCOPODIALES LIGULATAE.* 3
1. いはひば(卷柏)科 Selaginellaceæ 3
2. 石松群 *LYCOPODIALES ELIGULATAE.* 7
1. ひかげのかづら(石松)科 Lycopodiaceæ 7
5. 木賊門 EQUISETALES. 13
1. 眞正木賊群 *EUEQUISETALES.* 13
1. とくさ(木賊)科 Equisetaceæ 13
2. 蘆木群 *CALAMARIALES.* 14
1. 蘆木科 Calamariaceæ 14
6. 楔葉木門 SPHENOPHYLLALES. 14
1. 楔葉木科 Sphenophyllaceæ 14
7. 羊齒門 FILICALES. 15
1. 小嚢羊齒群 *FILICALES LEPTOSPORANGIATAE.* 15
(イ)水生羊齒區 *Hydropteridineae.* 15
1. さんせうも(槐葉蘋)科 Salviniaceæ 15

2. でんじさう（蘋）科　Marsiliaceæ 15
（ロ）眞正羊齒區 *EUFILICINEAE.* 15
1. ぜんまい（薇）科　Osmundaceæ 15
2. かにくさ（海金砂）科　Schizaeaceæ 16
3. うらじろ（裏白）科　Gleicheniaceæ 19
4. みづわらび（水蕨）科　Parkeriaceæ 20
5. のきしのぶ（水龍骨）科　Polypodiaceæ 20
6. へ　ご（桫欏）科　Cyatheaceæ 69
7. こけしのぶ（苔葱）科　Hymenophyllaceæ 70
2. 瓶爾小草群 *OPHIOGLOSSALES.* 73
1. はなやすり（瓶爾小草）科　Ophioglossaceæ 73
3. 觀音座蓮群 *MARATTIALES.* 74
1. りうびんだい（觀音座蓮）科　Marattiaceæ 74

2. 蘚苔亞部 BRYOPHYTA. 77
1. 蘚　門（土馬駸門） MUSCI. 77
1. 眞正蘚群（傘苔群） *BRYALES.* 77
（イ）腋生子嚢蘚區 *Pleurocarpi.* 77
1. あをきぬごけ科　Brachytheciaceæ 77
2. ふさごけ科　Rhytidiaceæ 81
3. はしぼそごけ科　Sematophyllaceæ 85
4. はひごけ科　Hypnaceæ 86
5. さなだごけ科　Plagiotheciaceæ 89
6. ひよくごけ科　Hylocomiaceæ 90
7. つやごけ科　Entodontaceæ 91
8. やなぎごけ科　Amblystegiaceæ 92
9. うすぐろごけ科　Leskeaceæ 96
10. しのぶごけ科　Thuidiaceæ 97
11. くじゃくごけ科　Hypopterygiaceæ 103

12. あぶらごけ科　Hookeriaceæ 103
13. とらのをごけ科　Lembophyllaceæ 104
14. ひらごけ科　Neckeraceæ 105
15. はひひもごけ科　Meteoriaceæ 107
16. ひむろごけ科　Pterobryaceæ 108
17. いたちごけ科　Leucodontaceæ 108
18. つるごけ科　Cryphaeaceæ 111
19. ひじきごけ科　Hedwigiaceæ 111
20. かうやのまんねんぐさ科　Climaciaceæ 111
21. かはごけ科　Fontinalaceæ 112
22. ほごけ科　Rhacopilaceæ 112
23. ひなのはひごけ科　Erpodiaceæ 112
（ロ）頂生子嚢蘚區 *Acrocarpi.* 115
1. すぎごけ科　Polytrichaceæ 115
2. よつばごけ科　Georgiaceæ 117
3. ねくびごけ科　Diphysciaceæ 117
4. きせるごけ科　Buxbaumiaceæ 117
5. たまごけ科　Bartramiaceæ 118
6. ひもごけ科　Aulacomniaceæ 121
7. ひのきごけ科　Rhizogoniaceæ 121
8. ちゃうちんごけ科　Mniaceæ 121
9. かさごけ科　Bryaceæ 123
10. ひかりごけ科　Schistostegaceæ 129
11. まるだいごけ科　Splachnaceæ 130
12. へうたんごけ科　Funariaceæ 130
13. たちひだごけ科　Orthotrichaceæ 131
14. ちぢれごけ科　Ptychomitriaceæ 132
15. ぎばうしごけ科　Grimmiaceæ 132
16. せんぼんごけ科　Pottiaceæ 134

17. かたしろごけ科 Calymperaceæ 138
18. しらがごけ科 Leucobryaceæ 138
19. しっぽごけ科 Dicranaceæ 139
20. こしっぽごけ科 Seligeraceæ 143
21. えびごけ科 Bryoxiphiaceæ 143
22. きんしごけ科 Ditrichaceæ 143
23. ほうわうごけ科 Fissidentaceæ 144
2. 黒苔群 *ANDREAEALES.* 147
1. くろごけ科 Andreaeaceæ 147
3. 水苔群 *SPHAGNALES.* 147
1. みづごけ科 Sphagnaceæ 147
2. 苔門 HEPATICAE. 148
1. 鱗苔群 *JUNGERMANNIALES.* 148
1. うろこごけ科 Jungermanniaceæ acrogynæ 148
2. うろこぜにごけ（鱗地錢）科 Jungermanniaceæ anacrogynæ 155
2. 角苔群 *ANTHOCEROTALES.* 159
1. つのごけ（角苔）科 Anthocerotaceæ 159
3. 地錢群 *MARCHANTIALES.* 159
1. ぜにごけ（地錢）科 Marchantiaceæ 159
2. うきごけ（浮苔）科 Ricciaceæ 160

内外植物原色大圖鑑卷之十一

隱花植物（第一編）

I. 苔蘚（無管有胚）部

1. 羊齒亞部

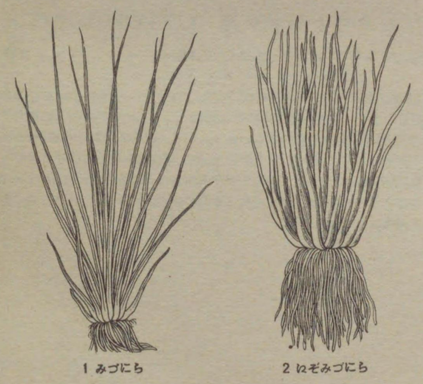
1. 水韮門 ISOETES.

1. みづにら（水韮）科 ISOETACEÆ.

本科に屬する植物は、水中或は地上に自生する多年生草本にして、莖は塊狀をなし、全く地中に埋るゝか或は其大部分を沒す。この莖は形成層輪をなし、外方に厚皮（貯藏組織）內方に篩部を形成す。又この莖中には多數の葉痕を有し、其1本づゝが葉の中に入り込めり。葉は細長くして先端尖り、莖の周圍に着生し、其中通常葉は內部に生じ、胞子を有する葉は外部に着生し、何れも基脚部に三角形の舌狀片を有す。この葉は其內部に4箇の大なる氣腔を有し、全長を通じて縱走し、中央に1箇の維管束を具ふ。胞葉には大胞子葉・小胞子葉の2種ありて、前者は花莖葉の外部に位せる胞子葉の子嚢孔中に生じ、後者は其內部に位せる胞子葉の子嚢孔中に形成せらる。

小胞子は發芽すれば、先づ1箇の小なる扁平體細胞と、1箇の大なる藏精器母細胞との2つを生じ、尋で藏精器細胞は4箇の側壁細胞と2箇の細胞より成れる藏精器となり、この藏精器中に4箇の精子を形成す。精子は螺旋狀をなし、先端に纖毛束を有し、胞壁を破りて外に出づ。大胞子は小胞子と同樣、胞子內に於て扁平體組織を形成し、其頂端に最初1箇の頸卵器を作り、若しこの頸卵器が受胎せざるときは、更に他の頸卵器を形成す。胚は柄を缺き、其構造頗る能く卷柏類の大胞子發達の狀に似たるものなり。

本科は1屬、凡50-60種の植物より成り、多く溫帶に分布し、本邦には凡5種を產するに過ぎず。



1 みづにら　2 ねぞみづにら

1. ミヅニラ屬 ISOETES.

7539. **みづにら** 水韮（白圖-1） …… ミヅニラ科
Isoetes japonica, *Al. Br.*

（異名）いけにら・かはにら 〔形態〕本州中部以南各地の淡水中に自生する多年生水草にして、根莖は塊狀をなして地中に埋まり、多くの葉を簇生し五に重疊す。葉は透明なる鮮綠色にして、基脚鞘狀をなし、長さ9-12糎（3-4寸）許に達し、最內部に位する葉は裸葉にして、其外部にあるものは小子嚢を基部に、最外部を覆へるものは其基部に大子嚢を抱擁し、共に實葉にして、裸葉・實葉共に同形なり。實葉面基部にある舌片の下部に小唇を有すれども、子嚢蓋をなすに至らず。胞子成熟季は夏秋なり。〔分布〕本州中部及南部・九州。

7540. **ひめみづにら** …… ミヅニラ科
Isoetes asiatica, *Makino.*

〔形態〕各地の淡水中に自生する水生の一小草本なり。全體前種ミヅニラに似たれども、根莖は半球形に2岐し、內面に根を密生す。葉は根莖より多數簇生し、前種ミヅニラに似て互に相重疊す。葉質は透明なる暗綠色を呈し、基脚鞘狀をなすこと亦彼に異らざれども、縱形稍小形なり。子嚢は圓形或は橢圓形にして、大胞子は白色・球形をなし、全面に廣濶なる小刺を密生し、小胞子は稍球形なり。實葉面の下部に心臟狀半月形の舌片を具へ、子嚢蓋は圓形乃至橢圓形をなす。〔分布〕本州中部。

7541. **えぞみづにら**（白圖-2） …… ミヅニラ科
Isoetes echinospora, *Durieu.*

〔形態〕北地の淡水中に自生する水草にして、根莖は塊狀をなし、徑1-2糎（4分）內外を有し、前種ヒメミヅニラに比するに、長形なる多數の葉を簇出・重疊す。葉身は淡綠色を呈すれども、基部にありては往々帶紅色若しくは帶褐色を現はす。子嚢は圓形にして、縱ね子嚢蓋を具へ、大胞子には稍扁く圓錐形をなせる細刺を密生す。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部。

7542. **ちしまみづにら** …… ミヅニラ科
Isoetes lacustre, *L.*

〔形態〕本種も亦前種と同じく、北地殊に千島に多き水草にして、前種等と同樣。莖は短縮して下部に鬚根を出し、上部に銳尖なる細葉を多數叢生す。本種の葉は前種等に比し、稍幅廣けれども長さ短く、僅々9-12糎（3-4寸）に過ぎず。葉の基部に大胞子・小胞子を附着すること亦前種等に同じ。〔分布〕千島・北海道。

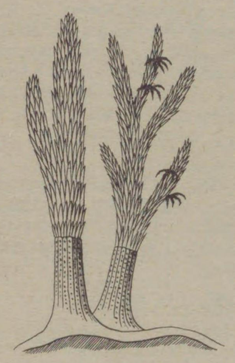
* * * * * *

2. 鱗木門 LEPIDOPHYTALES.

1. ふういんぼく(封印木)科 SIGILLARIACEÆ.

本科に屬する植物は肥大成長をなせる喬木にして，枝椏を叉生せる木狀の莖は明瞭なる髓と第二木部とを具へ，六角形の葉痕を直線狀，稀に斜列線狀に排列す。地中に生ずる器官は痕木或は擬痕木と名付けらるれども，擬痕木は痕木と異り，叉枝短く，同平面に叉分せざるものなり。葉は細長にして多數叢生し，花は長き毬果狀をなして莖面に發達し柄を有す。

本科に屬する植物は現在に於ては生存するものなく，唯化石となりて石炭紀及二疊紀に出づるものなり。



3 フウインボク

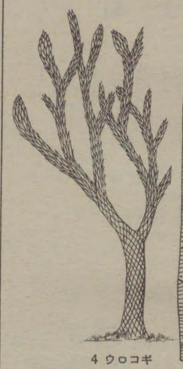
1. フウインボク屬 SIGILLARIA.

7543. **フウインボク** 封印木（白圖-3）……フウインボク科
Sigillaria Brongn.

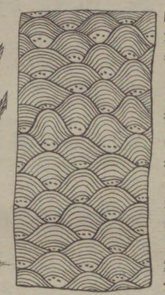
〔形態〕往々化石として産出する肥大成長をなせる喬木にして，葉は細長く多數を叢生し，葉痕は扁く隆起したる廣き肋上に直列線狀，稀に斜列線狀をなして發達し，肋は直線狀の縱溝或は雁木狀の縱線によりて境せらるれども，時には3箇，稀に5箇の縱帶に分劃せらるゝものあり。葉痕の間には往々橫溝を有し，葉痕は橢圓形或は梨形又は腎臟形を呈するものなり。

2. うろこぎ(鱗木)科 LEPIDODENDRACEÆ.

本科に屬する植物は肥大・成長をなせる大喬木にして，莖は木狀を呈し，多數の枝椏を分ち，節間を缺く。この莖は中央維管束をなし，稀に小形の髓を具ふ。厚皮内には形成層ありて肥大成長をなし，地中の器官は痕木と稱し，根と根苗との中間に位するものにして，水平に發達し，枝を分つ。葉は線形にして葉面に密生し，螺旋狀に排列す。この葉は脫落すれば菱形の葉痕を殘存す。花は大形にして毬果狀をなし，頂生するか或は莖面に生じ，柄を有せず。この花は下部に大胞子囊，上部に小胞子囊を荷ふ。



4 ウロコギ



5 キウクワボク

本科に屬する植物は，現在に於ては生存することなく，泥盆紀及石炭紀より化石となりて産出す。

1. ウロコギ屬 LEPIDODENDRON.

7544. **ウロコギ** 鱗木（白圖-4）…… ウロコギ科
Lepidodendron Sp.

（異名）リンボク　〔形態〕巨大なる喬木にして，肥大成長を營み，幹は叉狀枝をなし，葉は線形にして枝面に密生し，頗るよく螺旋狀に整列す。この葉にはイヘヒバ科に見るが如き小舌を有す。本種も亦大胞子囊・小胞子囊を形成し，共に實葉の上面に存在し，圓錐形をなす。而して大胞子囊は，圓錐體の下部に，小胞子囊は上部に着生し，胞子には大小の別あるものなり。

本植物はシルリヤ紀より第三紀下層に至る間に産出し，中層石炭紀に於て最も旺盛を極めたる化石植物なり。

2. キウクヮボク屬 LEPDOPHLOIOS.

7545. **キウクヮボク** 毬果木（白圖-5）…… ウロコギ科
Lepdophloios laricinus, Sternb.

〔形態〕本植物も亦石炭紀に産出する化石にして，今世紀に於ては生存せざるものなり。本植物の葉痕は頗る隆起し，下方に向ひ覆瓦狀に重疊する樣，恰も毬果の鱗片に似たるものなり。而して葉痕と葉痕との位置は，前種鱗木屬と異り正反對をなし，葉痕は上方に，葉痕は其下方に位するものなれども，葉痕各片の上方に1箇の小瘤を具ふること，葉痕の下半部に小なる凹痕の存在すること，又葉痕の上に舌狀片の痕跡を存すること等は，全く鱗木屬と同樣なるものなり。

3. 松葉蘭門 PSILOTALES.

1. まつばらん(松葉蘭)科 PSILOTACEÆ.

本科の植物は腐植土或は樹皮面に生ずる草本にして，根を有することなく，唯根莖より小枝を分ち，その細胞に菌絲を有して共生す。莖は單一なるか或は2叉狀に分岐し，往々薄若しくは稜角を具ふれども，時に扁平なるものあり。維管束の木部は稍放射狀をなす。葉は2列，3列，或は不規則に排列し，小形なる鱗片狀をなすか，或は大形にして直立す。この葉は葉脈を有するものと有せざるものとあり。根苗は枝を分ち，根毛を以て蔽はれ，缺如せる根の代用をなす。子囊は枝の上部に着き胞子を生ず。子囊は2-3室を有し，胞子は同形なり。

本科の植物は2屬，4種を有すれども，多く亞熱帶に産し，本邦には唯1種のみを産出するに過ぎず。

1. マツバラン屬 PSILOTUM.

7546. **まつばらん**（1圖版-1）…… マツバラン科
Psilotum nudum, *Beauv.*

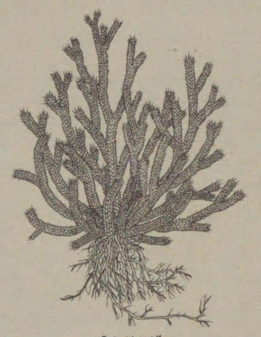
（異名）ちくらん・ははきらん　〔形態〕暖地の樹上に自生する多年生草本にして，根を有することなく，根莖より枝椏を分ち，根の代用をなすものなり。地上莖は30-40糎（1-1·3尺）許ありて綠色線狀を呈し，2叉狀に多數分岐す。葉は細微にして綠色を呈し，疎に散生す。胞子囊は球形をなし，枝の上部に着生し，3室より成るものなり。〔分布〕本州南部・四國・九州・琉球・臺灣。

4. 卷柏門 LYCOPODIALES.

1. 卷柏群

1. いはひば(卷柏)科 SELAGINELLACEÆ.

本科に屬する植物は細長の莖を有し，肥大成長をなさず。通常表裏の兩面を有し，概ね匍匐性にして再三分叉すれども，時には直立して分枝するものあり。葉は細微にして鱗片狀をなし，覆瓦樣をなして葉枝に着生し，背腹の狀態をなす。この葉には大小2種ありて各々2列をなし，小形のものは背部即ち上方の葉をなし，大形のものは腹部即ち下方の葉をなす。子囊穗は枝頭に着生し，1花穗に大小2種の子囊を生ず。大胞子囊は花穗の下部にありて大胞子を生じ，小胞子囊は其上部にありて小胞子を生ず。この大胞子は4箇宛大胞子囊内にありて後に雌雄扁平體を生じ，小胞子は其數多く小胞子囊内に充滿し，後に雄性扁平體を生ずるものなり。



6 いはひば

本科の植物は溫帶・熱帶共によく産出し，世界を通じ，1屬，5000種を産すれども，本邦内には1屬，凡30餘種を産するに過ぎず。

本科所載植物索引

アシブトカタヒバ……7550　カタヒバ……7549　ヒメクラマゴケ……7555
アヌゴゴケ……7553　クラマゴケ……7553　ヒメシバ……7549
イヌカタヒバ……7550　コケカタヒバ……7551　ヒメヒカゲノカヅラ…7561
イハゴケ……7547　コケスギラン……7560　ヒモカヅラ……7561
イハヒバ……7547　コンテリクラマゴケ…7558　フイリヒバクラマゴケ7559
イハヒバモドキ……7548　タチクラマゴケ……7557　ミドリカタヒバ……7554
イハマツ……7547　トリノハカタヒバ……7552　モエキヒバ……7558
オニクラマゴケ……7554　ハヒクラマゴケ……7556　ヤウラクゴケ……7558

1. イハヒバ屬 SELAGINELLA.

7547. **いはひば**（白圖-6）……イハヒバ科
Selaginella involvens, *Spring.*

（異名）いはまつ・いはごけ　〔形態〕山地の岩壁上に自生する多年生常綠草本にして，莖は長く抽出し，頂端に多數の小枝を叢生し，この小枝は更に分岐して細小の鱗片葉を密生し，小枝の先端に四角形の胞子穗を出す。この胞子には大胞子・小胞子の2種あり。本植物は其全草過氣に遭遇すれば展開し，乾燥すれば内部に向ひ卷縮する特性を有するものなり。〔分布〕日本全土。

人生との關係　よく盆栽の下草として栽植・觀賞に供し，又小兒の玩具的に硝子壜中に水を充て，本植物の乾燥卷縮せるものを入れて，展開せしめ愛玩するものなり。

7548. いはひばもどき……イハヒバ科
Selaginella pseudo-involvens, *Hayata.*

〔形態〕本種は臺灣に自生品を見る多年生草本にして，前種イハヒバに比し，莖は單立し，葉は著しく凸頭をなすものなれば，容易に彼と區別し易きものなり。〔分布〕臺灣。

7549. **かたひば**（1圖版-2）……イハヒバ科
Selaginella caulescens, *Spring.*

（異名）ひめひば　〔形態〕暖國の山地岩石上に自生する多年生の羊齒植物にして．莖は直生し．高さ 15-30 糎（0·5-1 尺）内外に達し．下部に於ては分岐することなけれども．上部に至れば再三分岐して稍三角面をなす。葉は背腹二様をなし．背葉は腹葉より短小なれども．腹葉は卵形銳頭をなし．長さ 0·9-1·8 粍（3-6 厘）許ありて．短き毛縁をなす。子嚢穂は四角形をなし．苞は卵形にして凸頭を有す。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球·臺灣。

7550. いぬかたひば …… イハヒバ科
Selaginella Stauntoniana, *Spring.*

（異名）あしぶとかたひば　〔形態〕暖國の山地岩石上に自生する羊齒植物にして．莖は基部に於て分岐することなく．上半部に於て分岐し菱形をなす。腹葉は斜卵形·銳頭をなし．長さ 0·9 粍（3 厘）餘を有し．背葉は卵狀披針形·短凸頭をなし．長さ其半ばに過ぎず。子嚢穂は方形をなし苞は卵形凸頭にして銳脊を有するものなり。〔分布〕九州。

7551. こけかたひば …… イハヒバ科
Selaginella leptophylla, *Bak.*

〔形態〕臺灣の山地岩石上に自生する常綠の 多年生羊齒植物なり。莖は瘠長·軟弱にして匍匐性を有し．上方に小枝を分岐す。腹葉は膜質を呈し．斜長楕圓形にして稍鈍頭．基脚廣卵形をなし．長さ 1·8 粍（6 厘）許．緣邊無毛にして隔在し．背葉は長さ腹葉の約½長にして卵形を呈す。子嚢穂は頭倒し．苞は 2 形ありて．上方のものは斜長披針形をなし．下方には卵形凸頭．銳背のものを着く。〔分布〕臺灣。

7552. **とりのはかたひば**（1 圖版-3）…… イハヒバ科
Selaginella canaliculata, *Bak.*

〔形態〕本種も亦臺灣の山地に自生する多年生の羊齒類にして．莖は蔓狀をなして直生し．數回枝を分ち．高さ 0·9-1·2 米（3-4 尺）内外に達す。葉は 2 形を有し．背葉は卵狀披針形·銳頭をなし．長さ 1-1·5 粍（3·5-5 厘）許を有し．腹葉は長菱形にして．長さ背葉に約 2 倍す。子嚢穂は方形をなし．苞は卵形·凸頭にして銳背を有す。〔分布〕臺灣。

7553. **くらまごけ**　地柏（1 圖版-4）…… イハヒバ科
Selaginella joponica, *Miq.*

（異名）やうらくごけ·あたごごけ　〔形態〕山地の樹下等に自生する纖弱なる多年生常綠の羊齒類なり。莖は蔓狀をなして地上を匍匐し．背面は扁く．腹面は稍圓柱形にして羽狀に分裂し．所々に細根を出し．且つ關節を有す。葉は小形·鱗狀をなして．本莖並に主枝に於ては疎なれども．小枝にありては密族す。背葉は斜卵形·銳頭をなし．腹葉は長橢圓狀披針形にして銳頭·圓脚をなし．背葉より長形なり。子嚢穂は方形を呈し．苞は卵形をなす。大小子嚢は同一花穗の中に位し．大子嚢は 4 箇の大胞子を含み．小子嚢は多數の小胞子を含藏す。〔分布〕本州各部·四國·九州·琉球。

人生との關係　往々觀賞用に供し．庭園·築山等に栽植せらる。

7554. おにくらまごけ …… イハヒバ科
Selaginella atroviridis, *Spring.*

（異名）みどりかたひば　〔形態〕主に溫暖なる島地に自生する羊齒類の一種にして．莖は稍直生し且つ數回枝を岐つ。腹葉は長橢圓狀菱形にして鮮綠色を呈し．背葉は長橢圓形をなし．長さ腹葉の半長許なり。子嚢穂は方形を呈し．苞は卵狀披針形にして銳背を有す。〔分布〕本州（伊豆諸島）·九州·琉球·臺灣。

7555. **ひめくらまごけ**（1 圖版-5）…… イハヒバ科
Selaginella integerrima, *Spring.*

〔形態〕臺灣に自生する多年生常綠の羊齒類にして．莖は細長く蔓狀をなし．稍匍匐性にして．所々に枝を分つ。背葉は斜卵形にして先端尖り．腹葉亦斜卵形をなせども．背葉に比するに形大きく．且つ緣邊に細鋸齒を有す。子嚢穂は短く．苞は披針狀卵形なり。〔分布〕臺灣。

7556. はひくらまごけ …… イハヒバ科
Selaginella nipponica, *Franch.* et *Sav.*

〔形態〕山地の樹蔭に多く自生する匍匐性の多年生羊齒類にして．莖は多くの枝を岐つ。腹葉は斜卵形乃至長橢圓形にして．先端鋭く．基脚心臟形をなし．緣邊に毛茸を生じ．背葉は斜長橢圓形にして銳頭をなし．長さ腹葉の約半長許を有す。子嚢穂は長さ 1·2-2·4 糎（4-8 分）許を有し．苞は卵形にして凸頭をなす。〔分布〕本州中部。

7557. **たちくらまごけ**（1 圖版-6）…… イハヒバ科
Selaginella Savatieri, *Bak.*

〔形態〕山足の稍陰濕地等を好みて自生する 多年生常綠の羊齒類なり。莖は細長くして匍匐し．稍斜上生の枝を疎に岐ち．且つ所々に根を生ず。葉はクラマゴケに似て．鱗片葉をなせども稍小さく．腹葉は斜卵形にして短毛緣を有し．背葉は長さ腹葉の約半長許にして．亦斜卵形·銳頭をなし．上面下部に小舌を有す。子嚢穂は往々雙出し．子嚢を生ぜんとするときは．直立するの特性あり。苞は卵形にして凸頭をなす。〔分布〕本州各部·四國。

7558. **コンテリクラマゴケ**　四翠雲草 …… イハヒバ科
Selaginella uncinata, Spring.（1 圖版-7）

（異名）モエギヒバ　〔形態〕本種は元來支那の原産なれども．時に南方島地に其自生品を見る．通常溫室内に栽培せらるゝ常綠の羊齒植物なり。莖は細長く．軟弱にして傾上し．分岐伸長して 15-18 糎（5-6 寸）より 30 糎（1 尺）内外に達し．所々に根を生ず。葉は鱗片狀の小葉にして．碧采を伴ひ．4 縱列をなして多數密生す。莖の表面に生ずる 2 列の葉は小さく．裏面に生ずる 2 列の葉は大形なり。子嚢穂は方形にして．大小 2 種の胞子を藏し．苞は卵狀披針形をなし．銳背を有す。〔原産地〕支那。（栽培種）

人生との關係　溫室内に栽培し．觀賞に供す。半陰·多溫を好み．暖地にありては．冬季も戸外にて越冬す。

7559. **フイリヒバクラマゴケ**（1 圖版-8）…… イハヒバ科
Selaginella Martensii, Spring. var. *variegata*, Hort.

〔形態〕前種コンテリクラマゴケと共に．普通溫室内に見る外來の觀葉羊齒類にして．莖よりは氣根様のものを生ず。自生地方にありては 30 糎（1 尺）内外の 長さに發達して 地表を匍匐すれども．栽培種にありては稍直立し．前種コンテリクラマゴケの如く伏臥せず。且つ莖及小葉は彼より大形にして．全體鮮綠色を呈し．白色斑紋を有するものなり。〔原産地〕北米「メキシコ」。（栽培種）

人生との關係　溫室内に培養して觀葉に供せらる。繁殖は株分により．挿芽の活着は不良なり。

7560. こけすぎらん …… イハヒバ科
Selaginella spinosa, *P. Beauv.*

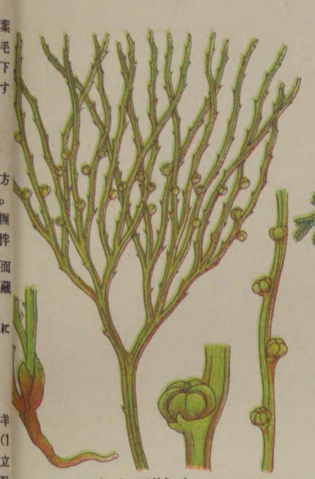
〔形態〕山地の稍陰濕なる地に自生する小形の羊齒類にして．莖は 2 形を有す。裸莖は．短く稍分岐して地上を匍匐し．披針形にして毛緣をなせる葉を生じ．實莖は直生·單一なり。子嚢穂は其形種々ありて．苞は披針形又は卵狀披針形をなし．毛緣にして稍鈍背をなす。〔分布〕本州北部。

7561. **ひもかづら**（1 圖版-9）…… イハヒバ科
Selaginella rupestris, *Spring.* forma sibirica, *Milde.*

（異名）ひめひかげかづら　〔形態〕各地の高山に自生する多年生の常綠小羊齒類なり。莖は紐狀を呈して地上に傾臥し．多數枝を岐ち．且つ諸所に絲狀の根を生ず。葉は細長く橢圓形にして．多數を密生·重疊し．先端には刺毛を生じ．全體鮮綠色を呈す。子嚢穂は方形をなして枝頂に抽出し．苞は心臟狀卵形若しくは披針形をなす。〔分布〕樺太·北海道·本州各部。

* * * * *

PL. 1.

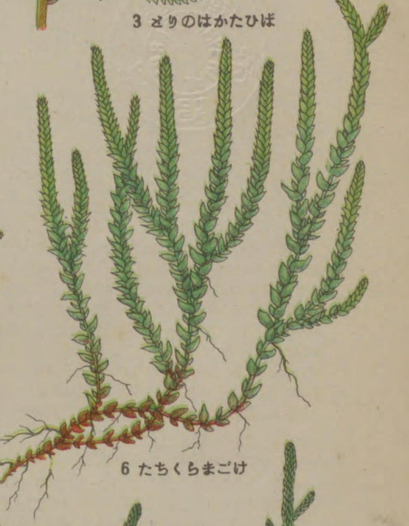

1 まつばらん

2 かたひば

3 とりのはかたひば

4 くらまごけ

5 ひめくらまごけ


6 たちくらまごけ

7 コンテリクラマゴケ

8 フイリヒバクラマゴケ

9 ひもかづら

2. 石松群

1. ひかげのかづら(石松)科 LYCOPODIACEÆ.

本科の植物は、多年生草本にして、地上又は樹上に直立・匍匐或は懸垂し、肥大・成長をなさゞる莖を具へ、明瞭なる節を有せず。葉は互生或は輪生又往々兩者を混じて密生し、螺旋狀に排列し、小形にして小舌を有せず。子嚢は葉の上面基部に單生し、大形にして熟すれば2分裂す。胞子は1種にして、有性世代の植物即ち扁平體は、葉綠素を有するものと、之を有せざるものとあり。形狀大にして、胞子より突出し、埋存せる雄器及雌器を生じ精蟲は2箇の纖毛を有す。

本科は2屬、凡180餘種の植物を含み、主に熱帶及溫帶地方に產し、その少數は寒帶地方に產出す。本邦に自生するものは、1屬、凡25種を有するに過ぎず。

7 ひかげのかづら

本科所載植物名目次

アスヒカヅラ……7567　スギラン……7572　ヒモラン……7582
イチヰナンカクラン…7584　タウゲシバ……7570　ヒロウドスギ……7571
イハスギ……7572　タウゲヒバ……7570　ヒロハスギカヅラ……7569
イハヒモ……7582　タカネスギカヅラ……7570　ヒロハノタウゲシバ…7579
オホスギカヅラ……7573　タカネヒカゲノカヅラ7564　ホソバノタウゲシバ…7580
オホバノタウゲシバ…7579　チシマスギラン……7574　マンネングサ……7571
カミガスキ……7562　テンゲノタスキ……7562　マンネンスギ……7571
キツネノタスキ……7562　ナンカクラン……7583　ミダスギ……7578
クワフェフザンカヅラ7566　ニックワウノマンネングサ……7571　ミヤマヒカゲノカヅラ7563
コスギラン……7575　ハネガヘリタウゲシバ7581　ムカデカヅラ……7565
サハスギ……7578　ヒカゲノカヅラ……7562　ヤチスギラン……7587
シンノスギカヅラ……7568　ヒメスギラン……7576　ヤマウバノタスキ……7562
スギカヅラ……7568

1. ヒカゲノカヅラ屬 LYCOPODIUM.

7562. **ひかげのかづら** 日蔭蔓・蘿・石松 …ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium clavatum, *L.* (白圖-7)

(異名) かみだすき・きつねのたすき・やまうばのたすき・てんぐのたすき 〔形態〕深山に自生する常綠の羊齒類にして、莖は長く地上に伏臥す。長さ1·5-1·8米(5-6尺)に達し、斜上生の枝を叉岐して繁茂す。葉は線狀鑓形にして稍內曲し、往々細齒牙緣を有し、硬質にして莖に密生せる狀恰もスギの葉に似たり。子嚢穗は1-3箇を細梗によりて莖より直立し、圓柱形にして長さ3-4·5糎(1-1·5寸)許に達し、子嚢を生ず。苞は廣卵形にして瓦列し、子嚢は大きく、每苞1箇を藏す。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・九州・臺灣。

人生との關係 觀賞用として栽植せられ、莖を年頭の裝飾に用ふ。又胞子を石松子と稱して、丸藥の包裝用に供し、又人體の糜爛部に撒布するに用ひらる。

7563. **みやまひかげのかづら** …… ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium alpinum, *L.* var. planiramulosum, *Takeda.* (2圖版-10)

〔形態〕高山草本帶に自生する多年生の羊齒植物なり。莖は紐狀をなして地上に傾臥し、諸所に褐色の根を生じ、又上部には同形の莖を立てゝ分岐し、其先端に長さ3糎(1寸)許ある黃褐色の穗を抽き、各鱗片間に小胞子を藏す。葉は小鱗片狀をなし、ヒカゲノカヅラに比するに、稍短くして廣く、側葉は反捲せざるものなり。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

7564. **たかねひかげのかづら** …… ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium sitchense, *L.* var. nikoense, *Takeda.* (2圖版-11)

〔形態〕各地の高山草本帶に自生する常綠の多年生羊齒植物なり。長く延びて紐狀をなせる莖は、地上に傾臥し、疳長なる枝條を分岐直上し、且つ諸所に根を生ず。葉はスギの葉に似たる短針形にして、5縱列に密生す。子嚢穗は枝條の先端に着生し、長さ3糎(1寸)許、無柄にして圓柱形をなし短縮せる苞鱗片の間に胞子を藏す。〔分布〕樺太・北海道・本州・九州。

7565. **むかでかづら** (2圖版-12) ……ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium remoganense, *Hayata.*

〔形態〕臺灣に自生する常綠の多年生羊齒類にして、莖長さ40-48糎(1·3-1·6尺)許に達し、莖の全面には線形にして、長さ0·9-1·5粍(3-5分)許ある全邊葉を密生して懸垂す。苞亦細長く、1·2糎(4分)許の長さを有し、子嚢は腎臟形をなす。〔分布〕臺灣。

7566. **くわうえふざんかづら** …… ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium cuminghamioides, *Hayata.*

〔形態〕本種も亦臺灣に自生する羊齒類の一種にして、莖は其全面に銳尖頭・剛毛端を有する長さ1·6糎(5·5分)許ある線形乃至披針形葉を密生して懸垂す。苞は線狀披針形にして、子嚢穗は7·5糎(2·5寸)許の長さを有す。〔分布〕臺灣。

7567. **あすひかづら** (2圖版-13) ……ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium complanatum, *L.*

〔形態〕山地に自生する多年生の常綠羊齒類なり。莖は延長して稍莖狀をなし、匍匐性にして長さ1·2-1·5米(4-5尺)に達し、扁平なる多くの斜上枝を岐つ。樅形ヒノキ又はサハラに似て、莖と葉との區別明瞭ならざれども、樅ね葉は4列に排列し、側葉は大きく、卵狀披針形にして先端尖り、背葉は腹葉と共に小線形なり。夏日、莖上に特殊の直立せる枝を岐ち、上端に數箇の細長き圓柱形にして有柄の子嚢穗を抽き、胞子は夏日成熟す。苞は廣卵形にして、下齊齒牙緣をなす。〔分布〕日本全土。

7568. **すぎかづら** (2圖版-14) ……ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium annotinum, *L.* var. angustatum, *Takeda.*

(異名) しんのすぎかづら 〔形態〕山地に自生する多年生の常綠羊齒植物にして、莖は長く紐狀をなして地上に傾臥す。枝條は直生して1-2回分岐し、線狀披針形にして銳尖頭・刺端をなせる小形の葉を稍密生せる狀恰もスギの葉に似たるを以て、スギカヅラの和名あり。夏日枝梢上に、長さ4·5糎(1·5寸)許ある淡綠色の無柄なる子嚢穗を單生し、苞鱗片の間に胞子を生ず。〔分布〕樺太・千島・北海道。

7569. **ひろはすぎかづら** …… ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium annotinum, *L.* var. lalifolium, *Takeda.*

〔形態〕塞國に自生する羊齒類にして、前種スギカヅラの一變種なり。葉は軟骨質をなせる線狀披針形にして、緣邊には不明瞭なる鋸齒を有し、先端急に銳く尖り、樅ね水平に、或は斜上に開出する種類なり。〔分布〕樺太・千島・北海道。

7570. **たかねすぎかづら** …… ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium annotinum, *L.* var. pungens, *Desv.*

〔形態〕本州中部以北の高山草本帶に自生する羊齒植物なり。葉は軟骨質にして、徑0·5粍(1·7厘)許を有し、不明鋸齒緣なるか或は全緣にして、先端銳く尖り、樅ね斜上生をなす。〔分布〕樺太・千島・北海道。

7571. **まんねんすぎ** 玉柏 (2圖版-15) ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium obscurum, *L.*

(異名) まんねんぐさ・びろうどすぎ・にっくわうのまんねんぐさ 〔形態〕各地の深山に自生する多年生の常綠羊齒植物にして、地下莖は地中を橫走し、處々に高さ9-12糎(3-4寸)より30糎(1尺)內外の莖を直生し、枝を岐つ。枝條は更に多數の小枝を分岐し、莖葉共に鱗片狀の小葉を密生し、樅形恰もスギに相似たり。夏日、小枝端に圓柱形にして、長さ4·5糎(1·5寸)許ある子嚢穗を頂生して胞子を生じ、苞は廣卵形・銳頭なり。〔分布〕日本全土。

7572. **すぎらん** (2圖版-16) ……ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium criptomerianum, *Maxim.*

(異名) いはすぎ 〔形態〕山地に自生する多年生常綠の羊齒類なり。莖は剛壯にして稍直生し、1-2回叉出・分岐す。葉も亦剛硬にして、長さ6-15粍(2-5分)許を有し、線形にして先端銳く尖り、莖の全面に稍疎生す。子嚢は小枝端にある稍短形の葉腋に生ず。〔分布〕本州各部・四國・九州。

7573. おほすぎかづら ……ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium pulcherrimum, *Wall.*

〔形態〕前種スギランに類似せる羊齒植物にして．彼に比するに．葉質柔軟にして且つ菲薄なり。〔分布〕臺灣。

7574. ちしまずぎらん ……ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium Selago, *L.*

〔形態〕北地に生ずる羊齒植物にして．莖は直生し．數回雙出・分岐する狀スギランによく似たり。葉は披針形・全緣なれども．往々細齒牙緣をなし．長さ4·5-6粍（1·5-2分）許に達し．子嚢は小枝端の葉腋に着生すること亦彼に異らず。〔分布〕千島。

7575. こすぎらん（2圖版-17）……ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium Selago, *L.* forma appressum, *Desv.*

〔形態〕高山草本帶に稀に見る多年生常綠の羊齒植物にして．全形小さく高さ僅かに3-6糎（1-2寸）許に過ぎず。地下に少數の分岐せる根を有し．莖は短く．全面に反曲せざる鱗片狀葉を壓着し．恰もスギの嫩枝に似たり。子嚢は枝端の葉間に着生すること亦スギランに同じ。〔分布〕本州北部。

7576. ひめすぎらん（2圖版-18）……ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium chinense, *Christ.*

〔形態〕高山の草本帶に自生する常綠の多年生羊齒類にして．地下には多く分岐せる根を有す。莖は細くして稍斜上生をなし．數回雙出・分岐して．房狀に密集し．高さ6-9糎（2-3寸）內外を常とす。葉は狹線形にして．先端鋭く尖り．上部にありては斜上に開出し．下部にありては斜下開出をなす。子嚢は稍上葉腋に着生し．胞子は夏日成熟す。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・九州。

7577. やちすぎらん（2圖版-19）……ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium inundatum, *L.*

〔形態〕本州中部以北の山原濕地等に自生する多年生の常綠羊齒植物なり。莖は地上を匍匐し．諸所に直立せる枝を分岐し．且つ下根す。葉は細長き鱗片狀にして．長さ3粍（1分）許を有し．密に互生し先端上向す。有性枝（子嚢を生ずる枝）は剛硬にして．1-2箇を直立し．短き針葉を疎生す。其の上部には剛硬なる子嚢穗を着け．筆毛狀を呈し．稍長き鱗葉間に黃色の子嚢を生ず。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

7578. みづすぎ（3圖版-20）……ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium cernuum, *L.*

（異名）さはすぎ　〔形態〕山野の濕地に自生する小灌木狀多年生の羊齒植物にして．高さ60-90糎（2-3尺）に達す。莖は直立し．剛硬にして．上部は數回多數に分岐し．小枝と共に長さ3-6粍（1-2分）許を有する細線狀の針葉を密生し．中肋は下面隆起す。子嚢穗は小枝端に直生し．圓柱形にして．苞は廣卵形・毛緣をなす。〔分布〕北海道・本州・九州・臺灣。

7579. たうげしば　蛇足草（3圖版-21）…ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium serratum, *Thunb.* var. javanicum, *Makino.*

（異名）たうげひば・ひろはのたうげしば・おほたうげしば

〔形態〕山地若しくは薄暗き森林中に自生する多年生の常綠羊齒植物なり。莖は9-12糎（3-4寸）より21-24糎（7-8寸）許の高さに達し．梢部は往々數回分岐することあり。葉は葉柄を具へ．披針形にして細鋸齒を有し．莖上・小枝の全面に密簇着生す。夏日梢上葉腋に黃褐色の子嚢を腋生し．成熟して胞子を飛散す。〔分布〕本州各部・四國・九州。

7580. ほそばのたうげしば ……ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium serratum, *Thunb.* var. Thunbergii, *Makino.*

〔形態〕各地の山地・森林中に自生する多年生の常綠羊齒類にして．前種タウゲシバの一變種なり。莖は高さ15-18糎（5-6寸）內外に達し．斜上生にして．上部に於ては雙出・分岐す。葉は莖上・小枝に密生し．狹倒披針形にして先端尖り．基脚狹く細鋸齒緣を有し．子嚢は小枝の上部葉腋に着生す。〔分布〕日本全土。

7581. はねがへりたうげしば ……ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium lucidum, *Michx.*（3圖版-22）

〔形態〕南方島地に自生する多年生の羊齒類にして．根莖は橫走し．多くの莖を叢生す。地上莖は稍直生し．數回雙出・分岐して高さ9糎（3寸）許に達す。葉は披針狀線形・全緣にして著しく反捲す。子嚢は梢上葉腋に着生し．半月狀腎臟形をなす。〔分布〕琉球・臺灣。

7582. ひもらん（3圖版-23）……ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium Siëboldii, *Miq.*

（異名）いはひも　〔形態〕暖國深山の大樹上又は朽木上等に自生する常綠の羊齒植物にして．通常簇生す。莖は細長く圓柱形にして．疎枝を岐ち長さ30糎（1尺）以上に達し．懸垂す。葉は短縮せる菱狀披針形にして．多數を多列に排列し．恰も編み紐の如き觀を呈す。子嚢は小枝の梢上葉腋に着生す。〔分布〕九州。

7583. なんかくらん（3圖版-24）……ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium subdistichum, *Makino.*

〔形態〕南方島地の深山朽木上等に自生する常綠の多年生羊齒類なり。莖は2回乃至4回叉狀に分岐して．長さ21-24糎（7-8寸）以上に達し下垂す。葉は概ね6縱列に排列し．倒披針形にして稍疎生し．長さ6-12粍（2-4分）許に達す。實葉は小形にして稍密生し．子嚢は腎臟形をなす。〔分布〕本州（八丈島）・四國・九州・臺灣。

7584. いちゐなんかくらん ……ヒカゲノカヅラ科
Lycopodium taxifolium, *Sw.*

〔形態〕通常栽培せらるゝ羊齒類の一種にして．莖は數回叉狀に分岐して懸垂す。葉は概ね披針形なれども．稀に線形をなし．長さ7·5粍（2·5分）內外を有す。子嚢は小枝の上部葉腋に着生す。（栽培種）

* * * * *

PL. 2.

10 みやまひかげのかづら

11 たかねひかげのかづら

12 むかでかづら

13 あすひかづら

14 すぎかづら

15 まんねんぐさ

16 すぎらん

17 こすぎらん

18 ひめすぎらん

19 やちすぎらん

PL. 3.

20 みづすぎ

21 たうげしば

22 はねがへりたうげしば

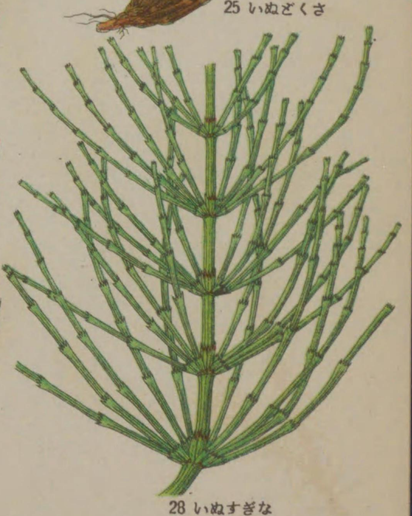
23 ひもらん

24 なんかくらん

25 いぬどくさ

26 みつどくさ

27 すぎな



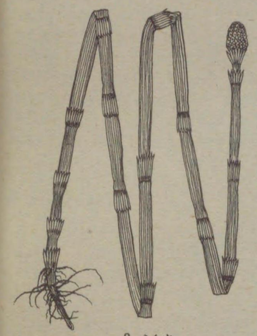
28 いぬすぎな

5. 木賊門 EQUISETALES.

1. 眞正木賊群

1. とくさ(木賊)科 EQUISETACEÆ.

本科の植物は、多年生の草本にして、根莖は匍匐し多くの枝を分つ。莖は圓筒形にして、明瞭なる縱溝を有する節間を具へ、各結節に葉を輪生す。葉は稍退化して葉鞘狀をなし、稀に分離す。莖中には環狀に排置せられたる維管束あり。實葉は集りてツクシの如き特殊なる穗狀をなし、胞子囊は表皮細胞群によりて形成せらる。胞子は1種にして、其外皮は裂開し2箇の纖維となり、濕氣を受くれば卷絡し、乾燥すれば展開す。扁平體は綠色にして、地上に生じ、表裏の兩面ありて多くは雌雄異株なり。精蟲は多くの纖毛を具ふ。



8 とくさ

本科は1屬、凡20餘の植物より成り、各地に產出す。本邦に自生するもの凡9種あり。

本科所載植物索引目次

イヌスギナ……7590　ツクシ……7589　フサスギナ……7592
イヌトクサ……7586　ツクヅクシ……7589　ミヅスギナ……7588
エゾスギナ……7592　トクサ……7585　ミヅドクサ……7588
カハラドクサ……7586　ヌマドクサ……7590　ヤチスギナ……7591
カラフトスギナ……7591　ハマスギナ……7593　ヤマドクサ……7588
スギナ……7589　ヒメドクサ……7587

1. トクサ屬 EQUISETUM.

7585. **とくさ** 木賊 (白圖-8) ……トクサ科
Equisetum hyemale, *L.* var. japonicum, *Milde.*

〔形態〕山野の陰地に自生する多年生常綠草本にして、莖高さ30-90糎(1-3尺)以上、徑5粍(2分)許に達す。莖は裸莖・實莖の別なく、綠色中空にして管狀をなし、8-30箇の縱溝と明瞭なる結節とを有し、單一にして、枝を生ぜず。葉は各結節毎に生ずれども、退化して鱗片狀短筒形をなせる葉鞘狀をなし、鞘齒片は黑褐色にして鈍頭なり。夏日莖頂に、ツクシの穗に似たる子囊穗を單立し、綠褐色を呈す。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

人生との關係 觀賞用として、庭園の稍陰濕地等に栽培せらる。莖は其表面に硅酸を含み、且つ頗る粗糙なるを以て、爪磨き、木材・骨・角等を研磨するに重用せらる。藥效としては、莖葉の煎汁を服用するときは、疝痛・月經過多・下痢・痲疾・水腫等に效ありと云ふ。

7586. **いぬどくさ** (3圖版-25) ……トクサ科
Equisetum ramosissimum, *Desf.* var. glaucum, *Nakai.*

(異名) かはらどくさ　〔形態〕海濱又は河原の砂地等に自生する多年生草本にして、通常叢生し、高さ30-75糎(1-2·5尺)內外に達す。外形前種トクサに類似すれども、遙かに細く、莖は裸實の別なく、概ね單一なれども、時に不齊に分枝し、8-15條の縱溝を具へ且つ粗糙なり。鞘齒片は披針形にして先端尖り、淡褐色にして白色の膜緣を有す。夏秋の候、梢上にツクシに似たる子囊穗を生ずること、トクサに同じ。〔分布〕本州北部及中部。

7587. **ひめどくさ**……トクサ科
Equisetum scirpoides, *Michx.*

〔形態〕樺太に自生するトクサの一種にして、莖は裸實の別なく、高さ21-24糎(7-8寸)許に達し、概ね4-6縱溝を具へ、纖澁にして枝を較たす。鞘齒片は披針形・銳尖頭にして白膜緣を有し、子囊穗は短凸頭をなす。〔分布〕樺太。

7588. **みづどくさ** (3圖版-26) …… トクサ科
Equisetum limosum, *L.* var. verticillatum, *Doell.*

(異名) やまどくさ・みづすぎな　〔形態〕本州中部以北の山地に自生する多年生草本にして、莖高さ0·6-1·5米(2-5尺)內外に達し、莖に裸實の區別なく、10乃至30條の淺溝を具ふ。上部の結節には、輪狀に小枝を分ち、小枝は單一にして4-6角柱をなす。鞘齒片は通常黑褐色を呈し、18齒緣を有す。子囊穗は長橢圓形にして、梢頭に單立す。〔分布〕樺太・北海道・本州北部及中部。

7589. **すぎな** 問荊・筆頭菜 (3圖版-27) ……トクサ科
Equisetum arvense, *L.*

(異名) つくし・つくづくし　〔形態〕到る處の山野・荒地等に自生する多年生の羊齒植物にして、地上莖には裸莖と實莖との別ありて、何れも地中を橫走せる根莖の節々より生ず。裸莖即ち營養莖は、通常スギナと稱し綠色・圓柱形にして、外面には縱行の肋線を具へ、明瞭なる結節を有し、鞘は8-14齒緣をなし、齒片は鑿形をなす。各結節には多くの枝を輪生し、退化せる葉を有することトクサに同じ。實莖即ち胞子莖は、通常ツクシと稱し、3-4月の候、裸莖に先立ちて地上に抽出し、圓柱形にして淡赭黃色を呈し、鞘は著大なり。子囊穗は有柄にして、長橢圓形・鈍頭をなし、莖頂に單生す。〔分布〕樺太・北海道・本州各部。

人生との關係 ツクシを摘みとり、よく煤でゝ水に浸し、アクを出したるものを煮付けて食用に供す。藥用としては、全草を煎用すれば、溫熱・痲病等を治するに效ありと云ふ。

7590. **いぬすぎな** (3圖版-28) …… トクサ科
Equisetum palustre, *L.*

(異名) ぬまどくさ　〔形態〕沼澤の附近殊に塩土質の土地に多く自生する多年生草本にして、前種スギナの如く、地下に黑色の根莖を有す。地上莖亦よく彼に似たれども、裸莖と實莖との別なく、全體大きく高さ30-90糎(1-3尺)に達し、5-10條の深溝を有す。小枝は各節に單一・輪生狀に分岐し、鞘齒片は披針形にして黑褐色を呈し、白色の膜緣を有す。子囊穗は長橢圓形にして、地上莖の梢頭に單立す。〔分布〕樺太・北海道・本州・四國・臺灣。

7591. **やちすぎな**……トクサ科
Equisetum pratense, *Ehrh.*

(異名) からふとすぎな　〔形態〕北地に自生する多年生羊齒類にして地上莖は裸實2莖に別る。裸莖は概ね8-20條の縱溝を具へ、鞘齒片は三角形にして尖り、中肋は黑色を呈す。小枝は三角柱をなして單一なり。實莖は老熟するに從ひ先端分岐して枯凋す。〔分布〕樺太・千島。

7592. **ふさすぎな**……トクサ科
Equisetum sylvaticum, *L.*

(異名) えぞすぎな　〔形態〕本種も亦北地に自生する多年生の羊齒植物にして、莖に裸實の別あり。裸莖は8乃至14條の縱溝を有して重分岐し、鞘齒片の先端は褐色を呈し、相癒着して2-3中裂をなし、實莖は後に至りて分岐し、恰も裸莖と同一の觀を呈するに至る。〔分布〕樺太・北海道。

7593. **はまスぎな**……トクサ科
Equisetum littorale, *Kuehlew.* et *Rupr.*

〔形態〕瀕海の砂地に自生する羊齒植物にして、莖には裸實の別なく地下の根莖より生じ、直生或は擴開生なり。莖は單一なるか或は分枝し、小枝は三乃至五角柱をなす。鞘は上部稍擴開し、齒片は披針形・銳頭にして、暗褐色を呈す。子囊穗は長橢圓形・鈍頭をなし、梢上に單立す。〔分布〕樺太。

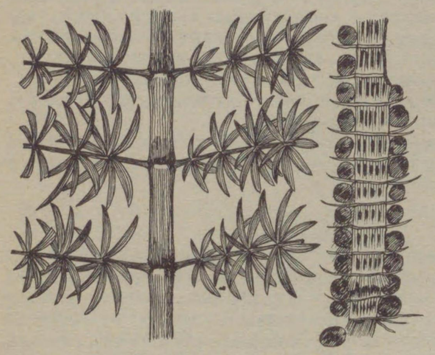
* * * * * *

2. 蘆木群

1. ろぼく(蘆木)科　CALAMARIACEÆ.

本科の植物は、化石となりて古生代の泥盆紀・石炭紀より發見せらるゝ巨大なる羊齒植物にして、現今には生育せず。莖は樹幹の觀を呈する大なる形狀をなし、葉は線形にして輪生し、分離するか、或は嚙きとき互に癒着して鞘狀をなす。莖は肥大・成長すれども、年輪を有せず。花は輪生せる實葉(胞子葉)と、實らざる裸葉(輪生葉)と互生したるものより成り、下部にある實葉は、下面に1箇の大胞子を有する大胞子嚢を具へ、上部にある實葉は多數の小胞子嚢を有す。

1. ロボク屬　EUCALAMITES.



9 ロボク　10 ホボク

7594. **ロボク**　蘆木　(白圖-9) ……ロボク科
Eucalamites ramosus, Weiss.

〔形態〕羊齒植物に屬する重要なる化石植物にして、石炭系と二疊系より產し、我國にては、朝鮮の下部二疊系より產す。莖は中空・圓筒形にして肉厚く、纖維の輻狀束を有す。莖には結節を有し、各結節には直ちに針狀葉を輪生するか、或はこれより輪生する枝條の節々に更に葉を輪生す。莖面の縱溝は節毎に、上下互に交互して終り、且つ圓盤狀に凹陷せる葉痕を有す。葉は單脈にして、線狀又は披針形をなす。

2. ホボク屬　CALAMOSTACHYS.

7595. **ホボク**　穗木　(白圖-10) ……ロボク科
Calamostachys tuberculata, Sternb.

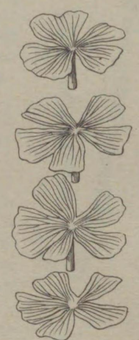
〔形態〕本種も亦羊齒植物に屬する重要なる化石植物の一にして、主に石炭系其他より產す。葉は裸葉と實葉との別ありて、交互に輪生し、裸葉は概ね基脚部に於て密着し、實葉は4箇の子嚢を有す。

*　*　*
*　*　*

6. 楔葉木門　SPHENOPHYLLALES.

1. 楔葉木科　SPHENOPHYLLACEÆ.

本科の植物は、古生代に於て盛んに發育せる小形の水生羊齒植物にして、化石となりて主に石炭紀より發見せられ、現今には生育せず。莖は明瞭なる節を有し、長く伸びて枝を岐ち、中央3出維管束を具ふ。葉は小さく輪生し、楔形にして叉狀の葉脈を有す。花は穗狀をなし、基脚部に於て稍癒着せる實葉を輪生す。實葉は上面に1-2箇の有柄の胞子嚢を着生し、一種の胞子を藏す。蓋し胞子嚢は或は大小2種ありしものならんか。而して本科には只次の一植物を有するのみ。



11 スフエノフイルム・エマルギナツム

1. スフェノフィルム屬　SPHENOPHYLLUM.

7596. **スフェノフィルム・エマルギナツム**……楔葉木科
Sphenophyllum emaginatum, Brong. (白圖-11)

〔形態〕石炭紀層より化石となりて現出せる羊齒植物にして、楔形の葉を輪生し、其他の形態等殆んど本科の特徴に同じきものなり。

*　*　*
*　*　*

7. 羊齒門　FILICALES.

1. 小嚢羊齒群

(イ) 水生羊齒區

1. さんせうも(槐葉蘋)科　SALVINIACEÆ.

本科の植物は、通常細き莖を有し水面に浮ぶ。葉は2縱列又は3縱列をなし、前者の場合には根を生じ、後者の場合には、其の2縱列は水面に浮び、1縱列は水中に沈在し、細く裂けて根狀をなす。胞子は大小2種ありて、子嚢群は1箇づゝ嚢狀器内に存し、各子嚢群は大子嚢或は小子嚢のみ別に形成せられ、大子嚢は1箇の大胞子を有し、小子嚢は多數の小胞子を含む。大胞子は1箇の藏卵器を有する雌性前葉體數箇を生じ、小胞子は其の榮養細胞より、2箇の退化せる藏精器を有する雄性前葉體を生じ、精蟲は多數の纖毛を具ふ。

本科は2屬、凡15種の植物より成り、主に熱帶地方に分布し、本邦には2屬、凡3種を產出す。

1. サンセウモ屬　SALVINIA.

7597. **さんせうも**　槐葉蘋　(4圖版-29) …… サンセウモ科
Salvinia natans, *All.*

〔形態〕池沼・水田等に浮游する一年生の小羊齒植物にして、莖は細長く多くの毛茸を生じて水中に垂れ、根を有せず。往々多數を群生して、水面を蔽ふことあり。體には6-9輪(2-3寸)許ある中軸を具へ、之れに3箇づゝの葉を輪生し、2葉は綠色・長橢圓形をなせる尋常葉にして、左右に横比して羽狀に排列し、水面に浮ぶ。上面側脈は各20條を有し、各脈線に沿ひて細毛を生じ、其形よくサンセウの葉に似たり。他の1葉は水中に下垂し、根狀をなして細毛を有し、根の作用を營む。子嚢群は大小2種の子嚢各別の集團より成り、包膜によりて包まれ、子嚢果をなす。子嚢果は根狀葉の基脚に小枝を出して着生し、胞子は秋日成熟す。〔分布〕本州各部。

2. アカウキクサ屬　AZOLLA.

7598. **あかうきくさ**　滿江紅　(4圖版-30) … サンセウモ科
Azolla imbricata, *Nakai.*

〔形態〕多く關西地方の水田又は池沼等の水面一面に生ずる多年生の小草本にして、莖は葉と共に水面に浮び、根は長短不同の絲狀をなし、葉の下面より多數を出して水中に下垂す。葉は小鱗狀をなせる同形の小葉を多數密生して、オホアカウキクサに比するに更に濃紅綠色を呈し、莖に密生して2縱列に排列す。子嚢は葉の裏面間に粒狀をなして生じ、白色にして光彩を有す。〔分布〕本州南部・四國。

7599. **おほあかうきくさ** ……サンセウモ科
Azolla japonica, *Franch.* et *Sav.*

〔形態〕本州中部以南各地の池沼・水田等に浮游する多年生の小羊齒植物にして、莖は枝を分ち、根は絲狀をなして細く、水中に下垂す。葉は小鱗狀をなし、紅色にして莖に密生し2列に排列す。各2深裂をなし、上裂片は水上に浮び、下裂片は水中に浸る。子嚢群は大小子嚢の各別に圍集したるものより形成せられ、包膜を具ふ。子嚢果は側枝より生ずる第一葉の下片に着き、大子嚢は1箇の大胞子を含み、小子嚢は多數の小胞子を藏す。
〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

*　*　*
*　*　*

2. てんじさう(蘋)科　MARSILIACEÆ.

本科の植物は、通常水生稀に陸生の草本にして、莖は長く根莖狀をなし、表裏の2面明瞭にして、表面よりは2列の葉を生じ、裏面には根を生ず。子嚢群は2箇乃至多數ありて嚢狀器内に存し、各子嚢群は大小の子嚢を混ず。大子嚢は1箇の大胞子を有し、小子嚢は多數の小胞子を含む。大胞子は1箇の藏卵器を有する雌性前葉體を生じ、小胞子は、其の榮養細胞により2箇の雄性前葉體を生じ、精蟲は多數の絨毛を具ふ。

本科には2屬、凡57種の植物を含み、多くは熱帶・亞熱帶地方に分布し、少數は溫帶地方に產すれども、本邦には1屬、1種を產するに過ぎず。

1. デンジサウ屬　MARSILIA.

7600. **てんじさう**　蘋・田字草　(4圖版-31) … デンジサウ科
Marsilia quadrifolia, *L.*

(異名) よつばうきくさ・たのじも・かたばみも　〔形態〕各地の淺き淡水中に普通なる羊齒植物の一種にして、莖は根莖狀をなして泥中に横臥し、其質柔軟なり。上方には長さ7-5-15糎(2-5-5寸)許ある葉柄を出し、其の柄頂には三角形をなせる4箇の小葉を輪生し、下方には其變形せる根狀體を出す。夏秋の候、葉柄の下部に、特別に分岐せる小枝を出し、2箇又は2箇以上の子嚢果を着け、内に16-20箇の子嚢群を含有す。〔分布〕本州各部・臺灣。

*　*　*
*　*　*

(ロ) 眞正羊齒區

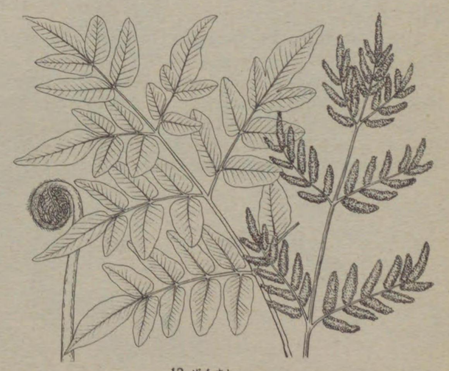
1. ぜんまい(薇)科　OSMUNDACEÆ.

本科の植物は通常多年生の草本にして、子嚢は太く、短き柄を有し、頂部に厚き細胞膜を有する細胞の一群を含み、縱に裂開し、他の羊齒類の如き環帶を有せざるは本科の特徴なり。胞子は一種にして、包膜は之を有せず。精蟲は多數の纖毛を具ふ。

本科は3屬、凡10餘種の植物を含み、主に熱帶及溫帶地方に產し、本邦には1屬、凡7種を產す。

本科所載植物名目次

オニゼンマイ……7604　シロヤマゼンマイ……7607　ホソバゼンマイ……7603
コゼンマイ……7605　ゼンマイ……7601　ヤマドリシダ……7606
シシゼンマイ……7602　ヘビワラビ……7604　ヤマドリゼンマイ……7606



12 ぜんまい

1. ゼンマイ屬　OSMUNDA.

7601. **ぜんまい**　薇（白圖-12）……ゼンマイ科
Osmunda japonica, *Thunb.*

〔形態〕山林原野に自生する羊齒植物の一種にして．其嫩葉の卷縮せる狀ワラビに似たり。葉柄は圓柱形にして帶黃色を呈し．無毛・平滑なり。裸・實の 2 葉を別ち．裸葉は再羽狀に分裂したる支柄上に長橢圓形・鈍頭又は稍圓頭をなせる小葉を對生或は互生し．微鋸齒緣を有す。4-5 月の候．裸葉に次で實葉を生ず。實葉も亦 2 回羽狀複葉にして．褐色・線狀披針形の小葉を對生或は互生し．多數の子囊を着生す。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

人生との關係　ワラビと同じく．嫩葉を食用に供す。藥效として．葉の煎汁を服用すれば．水腫・蟲下し・痲病・脚氣等に效ありと云ふ。

7602. **ししぜんまい**……ゼンマイ科
Osmunda japonica, *Thunb.* var. divisa, *Nakai.*

〔形態〕本種はゼンマイの一變種にして．小葉の雜冠狀に分裂せる一種なり。（栽培種）

7603. **ほそばぜんまい**……ゼンマイ科
Osmunda japonica, *Thunb.* var. sublancea, *Nakai.*

〔形態〕本種も亦ゼンマイの一變種にして．全體彼に酷似すれども．其異る所は．下部の羽片に於ける小葉は．更に細長く且つ概ね 6-10 對の多數を着生するものなり。〔分布〕臺灣。

7604. **おにぜんまい**……ゼンマイ科
Osmunda Claytoniana, *L.*

（異名）へびわらび　〔形態〕山野に自生する羊齒植物にして．葉柄は初め赤褐色を呈し．軟毛を布き．長さ 30 糎（1 尺）內外に達す。葉は革質・單羽狀複葉にして．長さ 30-60 糎（1-2 尺）．徑 18-30 糎（0·6-1 尺）許を有し．大形なり。裸生小葉は披針形にして．長さ 9-15 糎（3-5 寸）許．羽狀に深裂し．各裂片は長橢圓形・全緣にして互に相接近す。實生小葉は．圓柱形をなし．上部・中部若しくは下部に概ね密生し．多くの子囊を着生す。〔分布〕本州中部。

7605. **こぜんまい**……ゼンマイ科
Osmunda nipponica, *Makino.*

〔形態〕山林・原野等に自生する羊齒植物なり。裸葉は重羽狀複葉にして長さ 50 糎（1·7 尺）許に達し．葉柄を具ふ。葉身は薄膜質をなせる長橢圓狀披針形にして先端尖り．羽片は卵狀長橢圓形にして．鈍頭・截脚をなし．小羽軸には狹き翅を伴ふ。小葉は狹長・橢圓形・鈍頭にして．緣邊に不明なる細齒牙を有し．葉柄は之を缺く。〔分布〕本州中部。

7606. **やまどりぜんまい**（4 圖版-32）……ゼンマイ科
Osmunda cinnamomea, *L.*

（異名）やまどりしだ　〔形態〕山地に自生する多年生の羊齒類にして葉は裸・實の 2 樣を有し．共に褐色の綿毛を布く。裸葉は長き葉柄を有し．葉身は稍革質をなせる羽狀複葉にして．長さ 60-90 糎（2-3 尺）．幅 15-21 糎（5-7 寸）許に達す。小葉は細長く披針形にして羽狀に深裂し．深裂片は長橢圓形をなし．互に相接着す。實葉は再羽狀複葉にして褐色を呈し．裸葉に比して稍小さく．羽片は披針形をなし．小羽片は圓柱形にして密生す。子囊群は包膜を缺き．子囊は縱列をなす。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・四國・九州。

7607. **しろやまぜんまい**（4 圖版-33）……ゼンマイ科
Osmunda bromeliaefolia, *Copel.*

〔形態〕暖地の山野に自生する大形の多年生羊齒植物にして．葉は長さ 30-90 糎（1-3 尺）許に達し．單羽狀複葉をなす。小葉は革質・狹披針形にして先端尖り．基脚楔形をなし．粗鋸齒緣を有し．第二脈は概ね羽裂し．且つ中部若しくは下部の小葉は．子囊群を生ずる實生葉をなし．褐色を呈す。〔分布〕四國・九州・琉球・小笠原島・臺灣。

* * * * * *

2. かにくさ（海金砂）科
SCHIZAEACEÆ.

本科の植物は通常陸生の多年生羊齒植物にして．莖は直立性又は蔓狀性をなす。葉は單葉若しくは羽狀複葉をなし．概ね旋盤狀に發育し．先端は內部に卷旋し．基部に於て渦卷をなす。子囊は穗狀又は複總狀をなして橫基し．短柄を有するか或は之を有せず。頂端に帽狀をなせる完全なる橫環帶を具へ．縱に裂開す。胞子は一種にして多數を有し．各球狀の三角形又は左右相稱をなす。精蟲は多數の纖毛を具ふ。

本科は 4 屬．凡 90 餘種の植物を含み．多く熱帶地方に產出し．少數は亞熱帶及溫帶地方に產す。我國には自生するもの漸く 2 屬．5 種に過ぎず。

本科所載植物索引目次

イリオモテシヤミセンヴル……7611
カニクサ……7608
サミセンヴル……7608
シマカニクサ……7609
シマシヤミセンヴル……7611
スナグサ……7608
タイワンカニクサ……7610
ツルシノブ……7608
ナガバカニクサ……7610
ハナカヴラ……7608
ヒロハカニクサ……7609
フサシダ……7612

1. カニクサ屬　LYGODIUM.

13 かにくさ

7608. **かにくさ**（白圖-13）……カニクサ科
Lygodium japonicum, *Sw.*

（異名）つるしのぶ・はなかづら・しゃみせんづる・すなぐさ

〔形態〕山野に自生する多年生の羊齒植物にして．莖は蔓狀をなし．他物に纏絡し．其實硬く光澤を有し．長さ 1·5-1·8 米（5-6 尺）許に達す。葉は短き枝頭に對生し．再三羽狀分裂をなし．各小裂片は．齒牙を有する鈍鋸齒をなす。夏日．上方にある縮小せる實葉羽片に子囊を單立し．特異の包膜を被り．羽片の下面．緣邊に點々として排列し．夏日胞子の成熟後縱裂をなす。環帶は短く子囊の頂部に位するものなり。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球・臺灣。

7609. **ひろはかにくさ**……カニクサ科
Lygodium flexuosum, *Sw.*

（異名）しまかにくさ　〔形態〕琉球・臺灣等の主に亞熱帶的の島地に自生する羊齒類の一種にして．葉は 2 回羽狀複葉をなし．裸葉の小羽片は．幅 0·9-1·5 糎（3-5 分）許を有す。〔分布〕琉球・臺灣。

7610. **ながばかにくさ**（4 圖版-34）……カニクサ科
Lygodium microstachyum, *Desv.*

（異名）たいわんかにくさ　〔形態〕本種も亦亞熱帶的の島地に自生するカニクサの一種にして．裸小葉は細長く．實小葉は形狀著しく短縮し．且つ其の下面に短毛を密布し．包膜は粗毛を被る。〔分布〕琉球・臺灣。

7611. **いりおもてしゃみせんづる**（4 圖版-35）カニクサ科
Lygodium scandens, *Sw.* var. microphyllum, *Bonapart.*

（異名）しましゃみせんづる　〔形態〕本種も亦前種と同じく．亞熱帶

PL. 4.

29 さんせうも
30 あかうきくさ
31 でんじさう
32 やまどりぜんまい
33 しろやまぜんまい
34 ながばかにくさ
35 いりおもてしやみせんづる
36 こしだ
37 かねこしだ

的島地の山野に自生する多年生羊齒植物にして．莖は莖性をなし．他物に纏絡し．1·5–1·8 米（5–6 尺）の長さに達す。葉は羽狀複葉にして．短き莖に對生す。小葉は頂片及各側に 4–5 片の小羽片を有し．卵形·舌狀長楕圓形にして．基脚圓形或は心臟形又時に羽狀に分裂す。子嚢群は小羽片の下面邊緣に沿着し長く挺出す。〔分布〕琉球·臺灣。

2. フサシダ屬　SCHIZAEA.

7612. よさしだ …… カニクサ科
Schizaea digitata, *Sw.*

〔形態〕南方島地に自生する多年生の羊齒類にして．葉は根莖より簇生し葉柄は概ね圓柱形にして．長さ 3–4·5 糎（1–1·5 寸）許に達す。葉は細長く長さ約 30 糎（1 尺）許を有し．中肋は下面に於て顯著なり。子嚢穗は三角柱形をなして．6–15 箇を葉面に頂生す。子嚢は 4 列に排列し．柱體の 1 側を覆ひ．邊緣反捲して之を包む。〔分布〕小笠原島。

* * * * *

3. うらじろ（裏白）科
GLEICHENIACEÆ.

本科の植物は．通常陸生の多年生羊齒植物なり。莖は剛質·根莖は纖長にして地上を匍匐し．葉は概ね叉狀に分岐し．且つ頂芽を生ずることあり。子嚢群は葉脈の終端·背面或は叉點に生じ．小さくして 2–10 箇の胞子嚢より成り．包膜を缺く。胞子嚢は短柄を有するか或は之を有せず。環帶は完全にして．胞子嚢の中央部より稍上方に位し．垂直に裂開す。胞子は一種にして．輻狀相稱又は左右相稱なり。精蟲は多數の纖毛を具ふ。

本科は 2 屬．20 餘種の植物を含み．多くは熱帶·亞熱帶地方に產し．少數は溫帶地方に產出す。本邦には 1 屬．6 種を自生するに過ぎず。

本科所載植物名目次

アヲウラジロ……7614　カネコシダ……7618　タイワンウラジロ……7616
ウラジロ……7613　コシダ……7617　モロギ……7613
オホウラジロ……7615　シ　ダ……7613　モロムギ……7613

1. ウラジロ屬　DICRANOPTERIS.

7613. **うらじろ**　裏白　（**白圖–14**）……ウラジロ科
Dicranopteris glauca, *Nakai.*

（異名）しだ·もろむぎ·もろもぎ　〔形態〕本州中部以南の溫暖なる山地に自生する大形の常綠羊齒植物なり。葉柄は剛硬にして双出·分岐し．先端に芽を出し．遂年成長して．高さ 1·2–1·5 米（4–5 尺）に達す。分葉は羽狀複葉にして．小葉は線形をなし．羽狀に深裂し．深裂片は長楕圓形·鈍頭にして．長さ 0·9–1·2 糎（3–4 分）許．上面は鮮綠色にして光澤を有し．裏面は粉白を布き．白色を呈するを以てウラジロの稱あり。春夏の候．顆粒狀をなせる胞子嚢を裸出し．4 箇づゝ相寄りて 1 子嚢群を形成し．小裂片の下面に散在し．黃綠色を呈す。子嚢は縱裂をなし．環帶は橫行す。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球·臺灣。

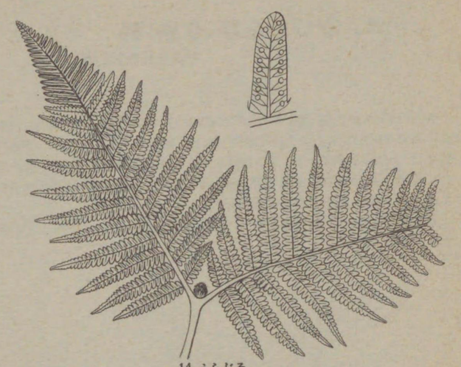
人生との關係　葉を歲首の裝飾に用ふるは普く人の知る所なり。

7614. あをうらじろ …… ウラジロ科
Dicranopteris glauca, *Nakai.* var. concolor, *Nakai.*

〔形態〕九州地方の山地に自生する羊齒植物にして．前種ウラジロの一變種に屬し．概形彼に酷似すれども．其異る所は葉の下面前種は粉白を布けるに比し．本種は之を缺き．綠色を呈するものなり。〔分布〕九州。

7615. おほうらじろ ……ウラジロ科
Dicranopteris longissima, *Nakai.*

〔形態〕臺灣に自生する大形なる羊齒植物にして．莖高さ往々 3–6 米（10–20 尺）以上に達し．葉柄及葉面の主脈上には星毛を布き．葉裏には粉白を



14 うらじろ

布き白色を呈する一種なり。〔分布〕臺灣。

7616. たいわんうらじろ …… ウラジロ科
Dicranopteris volubilis, *Nakai.*

〔形態〕本種も亦臺灣に自生するウラジロの一種にして．葉柄及葉面の主脈上に．褐色の披針形鱗を密生せる種類なり。〔分布〕臺灣。

7617. **こしだ**　（4 圖版–36）　…… ウラジロ科
Dicranopteris dichotoma, *Bernh.*

〔形態〕本州中部以南の各山地に自生する多年生羊齒植物にして．根莖は地下に橫臥す。葉はウラジロに比するに．再三双出或は三出分岐をなし．最後に 1 對の羽片を有し．頂芽によりて遂年成長し．大なるものは 1·2–1·5 米（4–5 尺）に達す。羽片は狹長披針形にして先端尖り．羽狀に深裂し．各裂片は線形にして．鈍頭或は凹頭をなし．長さ 3 糎（1 寸）內外に達し．上面光澤を有し．下面粉白を布くこと亦ウラジロによく相似たり。子嚢は裂片の下面に生じ．概ね數箇宛集りて子嚢群をなす。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球·臺灣。

7618. **かねこしだ**　（4 圖版–37）　……ウラジロ科
Dicranopteris laevissima, *Nakai.*

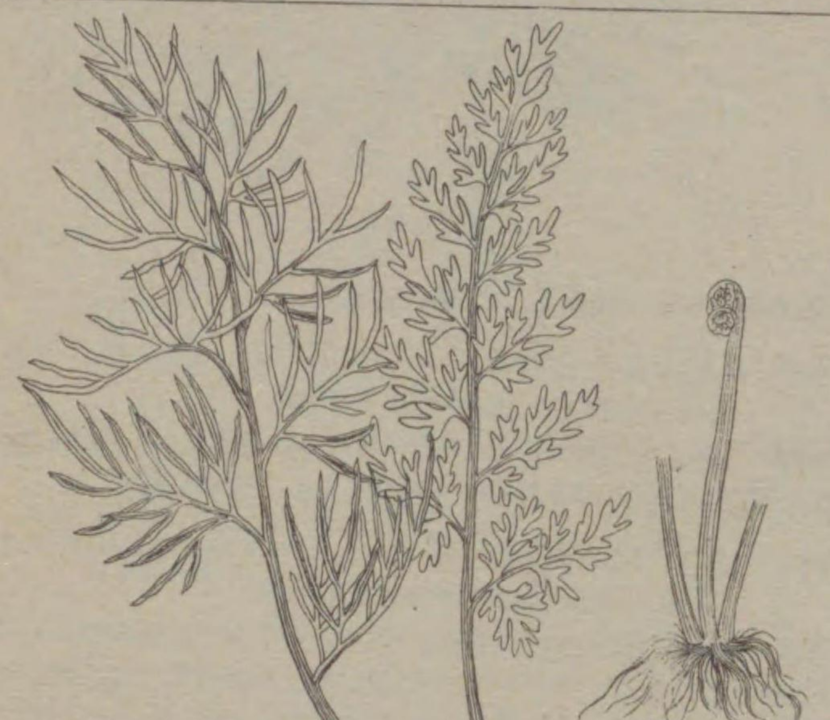
〔形態〕本邦南部の溫暖なる山地に自生する多年生羊齒類にして．根莖は地下を匍匐し．先端より疎に枝を生ず。葉柄は長さ 60 糎（2 尺）許．深き溝を有し．基脚赤褐色の披針形乃至卵形鱗を被る。葉は大形にして．葉柄の上部叉狀に分岐し．其叉點に頂芽を具へ遂年成育す。葉身は 2 回羽狀複葉にして．第一年には 1 對．第二年には 2 對を分岐す。分葉は短柄を有し．卵形乃至狹卵形にして先端銳く．黃綠色を呈し．長さ 45 糎（1·5 尺）許に達し．下面に腺毛を密布す。小葉は各側に 18–28 片を短柄によりて接着し．羽狀に全裂す。各裂片は線狀披針形にして．整齊に排列し．兩面同色なり。子嚢は葉の下面に生じ．多くは 3–4 箇づゝ集りて子嚢群をなす。〔分布〕九州。

* * * * * *

4. みづわらび(水蕨)科 PARKERIACEÆ.

本科の植物は水中に自生する一年生植物にして.水葉は1回羽狀に.氣葉は數回羽狀に分裂す。胞子嚢は球形をなし.概ね無柄にして葉脈の背面に散在し.子嚢群を形成せず.且つ包膜を缺く。環帶は垂直に位し.不完全なり。裂開部は横に向ひ.各胞子嚢は16箇の胞子を含み.葉縁は廣く反捲して.子嚢を包む。精虫は多數の纎毛を具ふ。

本科には1屬.1種の植物を含み.熱帶·溫帶地方に產し.本邦にも亦自生するものあり。



15 みづわらび

1. ミヅワラビ屬 CERATOPTERIS.

7619. **みづわらび** 水蕨 (白圖-15) …………ミヅワラビ科

Ceratopteris thalictroides, *Brongn.*

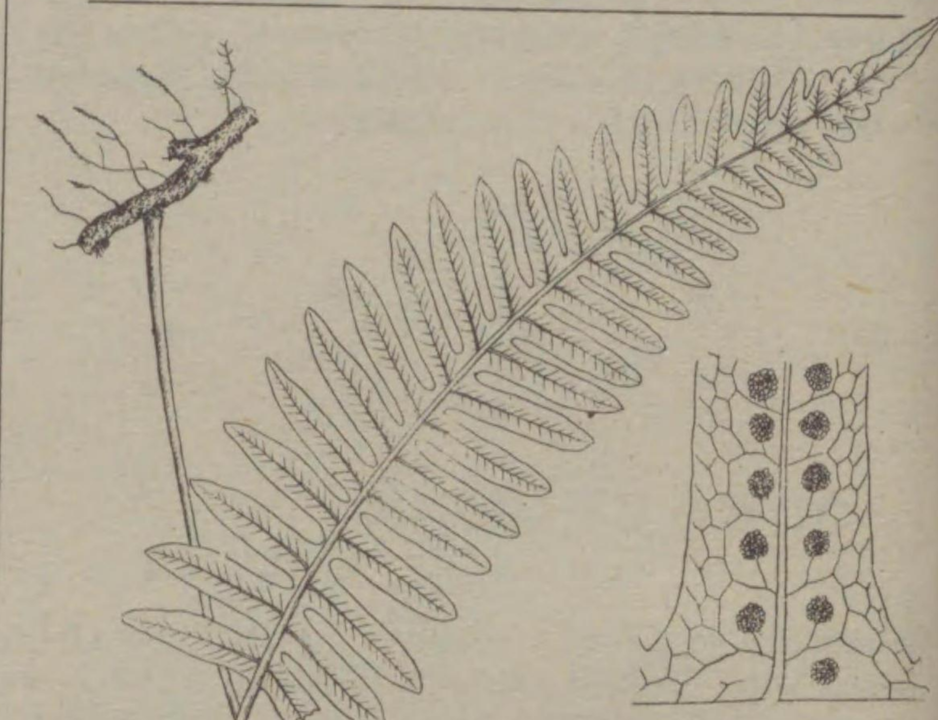
(異名) みづにんじん·みづばうふう 〔形態〕水田·淺水若しくは濕地等に自生する一年生の軟質水草にして.短小なる莖を有す。葉は裸·實の別あれども.稍同形にして.單一乃至2-3回不規則に羽裂し.各裂片は狹線形にして.長さ12-15糎(4-5寸)より30糎(1尺)以上に達す。子嚢は葉の下面に生じ.反捲せる葉緣にて被はる。〔分布〕本州中部及南部·九州·琉球·臺灣。

* * * * *

5. のきしのぶ(水龍骨)科 POLYPODIACEÆ.

本科の植物は通常地上に生じ或は老木等に着生する多年生草本にして.葉は單葉若しくは複葉なり。子嚢群は長柄を有し.葉の裏面又は緣邊に在し.子嚢は.縱走せる不完全なる彈性環帶を有し.横に裂開す。包膜は存在するか或は之を缺き.其形狀亦種々なり。胞子は左右相稱又は四面體にして.精蟲は多數の纎毛を具ふ。

本科は109屬.凡2800種の植物より成り.熱帶·亞熱帶·溫帶に廣く分布し.本邦には51屬.凡700餘種の植物を產す。



71 あをねかづら

本科所載植物名目次

アヲキノモトサウ……7857
アヲガネシダ……7660
アヲネカヅラ……7808
アヲミヤマウラジロ…7689
アカメホウライシダ…7624
アスカキノデ……7838
アツイタ……7771
アマクサシダ……7862
アミシダ……7637
アヤメシダ……7829
アラゲクジヤクシダ…7631
イシカゲマ……7783
イシマメ……7724
イタチシダ……7849
イテフシダ……7653
イヌガンソク……7777
イヌシダ……7781
イヌワラビ……7663
キノデ……7836
キノモトサウ……7853
イハウラジロ……7690
イハオモダカ……7697
イハガシハ……7699
イハガネサウ……7693
イハガネゼンマイ……7694
イハゲミ……7699
イハシノブ……7695
イハシボネ……7684
イハシボネ……7808
イハシロキノデ……7837
イハデンダ……7870
イハノカハ……7699
イハヒトデ……7819
イハヘゴ……7746
イハホウライシダ……7623
イハマメ……7724
イハミノ……7717
イハミノ……7828
イハヤシダ……7710
イハヤナギシダ……7830
イブキシダ……7761
イヨクジヤク……7719
イヨホシダ……7732
イリヲモテイシシダ…7774
ウスイタ……7828
ウスヒメワラビ……7705
ウスワラビ……7739
エゾイヌワラビ……7669
エゾイハデンダ……7871
エゾデンダ……7827
エダウチホングウシダ7775
エビガラシダ……7691
エビラシダ……7763
オウジノヒモ……7727
ヲガサハラシシラン…7867
オキナハクジヤクシダ7630
オキナハシダ……7646
ヲクマワラビ……7751
オクヤマワラビ……7680
ヲサシダ……7684
ヲサバ……7684
ヲシダ……7728
オシヤグシデンダ……7826
ヲトコシダ……7851
オトメシダ……7654
オトロキノデ……7839
ヲナガノキシノブ……7803
オニシダ……7842
オニゼンマイ……7875
オニヤブソテツ……7842
オホノコギリシダ……7662
オホヒロバノイヌワラビ……7671
オホイヌシダ……7782
オホイヌワラビ……7673
オホイハヒトデ……7820
オホキジノヲ……7799
オホクサソテツ……7777
オホクボウラボシ……7831
オホクボシダ……7831
オホクリハラン……7823
オホクルマシダ……7662
オホシケシダ……7712
オホタニワタリ……7650
オホタマシダ……7787
オホトキハシダ……7646
オホトラノヲシダ……7644
オホノキシノブ……7801
オホバシヨリマ……7762
オホバノキノモトサウ7855
オホバノハチヂヤウシダ……7861
オホヒトツバ……7701
オホヒメワラビ……7678
オホヘラシダ……7648
オホホシダ……7731
オホミゾシダ……7715
オホミゾシダ……7737
オホミツデ……7765
オホメシダ……7675
オランダサウ……7620
オリヅルシダ……7845
カウサギシダ……7643
カウモリシダ……7769
カウヤワラビ……7794
カザリシダ……7818
カスミホウライシダ…7625
カタキノデ……7839
カナクジヤクシダ……7630
カナヤマシダ……7676
カナヤマシダ……7772
カミガモシダ……7652
カラクサシダ……7633
カラヒトツバ……7699
カンシノブ……7795
キクシノブ……7773
キシウシダ……7784
キジノヲシダ……7798
キノボリシダ……7716
キヒモ……7747
キヨスミシダ……7840
キヨスミヒメワラビ…7751
キヨタキシダ……7720
キンガヨイヌワラビ…7664
キンギヨシダ……7735
キンマウキノデ……7754
クサソテツ……7776
クジヤクウラボシ……7814
クジヤクサウ……7628
クジヤクシダ……7628
クジヤクデンダ……7629
クジヤクフモトシダ…7780
クマワラビ……7750
クモノスシダ……7680
クモマシダ……7844
クラガリシダ……7727
クラサハシダ……7763
クリハラン……7822
クリユウシダ……7661
クルマシダ……7661
ケイソクサウ……7853
ゲジゲジシダ……7741
ケホシダ……7733
コイヌワラビ……7676
コガネシダ……7770
コガネワラビ……7770
コキンマウキノデ……7755
コケシダ……7831
コゴミ……7776
コゴメ……7776
コタニワタリ……7796
コバザケシダ……7767
コバノイシカゲマ……7708
コバホウライシダ……7622
コモチシダ……7875
サカエシダ……7789
サジラン……7828
サルセウガ……7808
シケシダ……7711
シケチシダ……7715
シシガシラ……7683
シシヒトツバ……7700
シシラン……7864
シノブ……7706
シノブカグマ……7759
ジフモンジシダ……7848
シマアヲガネシダ……7640
シマアヲネカヅラ……7809
シマイヌワラビ……7667
シマシシラン……7865
シマトキハシダ……7645
ジヤカウシダ……7721
シユモクシダ……7848
シヨリマ……7768
シラガシダ……7757
シログキシダ……7750
スコツトタマシダ……7788
スヂヒトツバ……7692
スヂワタシ……7855
ゼンマイシノブ……7770
ゼンマイワラビ……7794
タイワンアヲネカヅラ7809
タイワンウラボシ……7835
タイワンコモチシダ…7876
タイワンシシラン……7865
タイワンタカワラビ…7709
タイワンホウビシダ…7658
タイワンホシダ……7730
タイワンマメヅタ……7725
タカ[illegible]シダ……7844
タカノハウラボシ……7817
タキミシダ……7634
タチシシラン……7869
タ[illegible]シノブ……7795
タチデンダ……7847
タニイヌワラビ……7666
タニヘゴ……7747
タニワタシ……7650
タニワタリシダ……7649
タマシダ……7786
タマシダモドキ……7790
ヂクヲレシダ……7763
チヂミノキシノブ……7804
チヤセンシダ……7655
チリメンカンシユウ…7797
チリメンシダ……7743
ツヤナシキノデ……7840
ツルカゲマ……7707
ツルキジノヲ……7845
ツルクワンシユウ……7845
ツルシダ……7641
ツルデンダ……7843
テツホシダ……7734
トウゴクシダ……7740
トガクシデンダ……7873
トキハシダ……7647
トキハトラノヲ……7640
トサカキノモトサウ…7854
トラノヲシダ……7639
トリノアシ……7853
ナガサキシダ……7765
ナガミシシラン……7868
ナチシダ……7863
ナナバケシダ……7636
ナヨシダ……7703
ナラキシダ……7758
ナンキンコシダ……7831
ナンタイシダ……7738
ニシキシダ……7665
ニセホングウシダ……7774
ニツクワウシダ……7760
ニツクワウシダ……7819
ニツクワウヒトデ……7813
ニヒタカデンダ……7655
ヌカボシクリハラン…7807
ヌカボシシダ……7807
ヌカボシラン……7807
ヌリトラノヲ……7651
ヌリバシ……7620
ヌリワラビ……7679
ノキシノブ……7802
ノコギリシダ……7723
ハクマウキノデ……7681
ハコネグサ……7620
ハコネサウ……7620
ハコネシダ……7620
ハゴロモシダ……7856
ハシゴシダ……7745
ハチヂヤウシダ……7859
ハヒコモチシダ……7877
ハリガネシダ……7692
ハリガネワラビ……7748
ハルルリトラノヲ……7656
ハンゲクジヤク……7632
ビガクシダ……7800
ヒシガタホウライシダ7626
ヒトツバ……7699
ヒトツバイハヒトデ…7821
ヒトツバシケシダ……7714
ヒトツバマメヅタ……7702
ヒノキシダ……7641
ヒメイハトラノヲ……7642
ヒメウラジロ……7687
ヒメウラボシ……7815
ヒメカナワラビ……7846
ヒメクジヤクシダ……7656
ヒメコシダ……7831
ヒメシシラン……7866
ヒメシダ……7768
ヒメタカノハウラボシ7825
ヒメチヤセンシダ……7652
ヒメヌリトラノヲ……7652
ヒメノキシノブ……7805
ヒメヒトツバ……7702
ヒメホウビシダ……7657
ヒメワラビ……7746
ヒリユウシダ……7685
ビロウドシダ……7698
ヒロハクジヤク……7627
ヒロハナヨシダ……7704
ヒロバノイヌワラビ…7670
ヒロハベニシダ……7740
フイリキノモトサウ…7858
フギレミツデウラボシ7812
フクロシダ……7874
フササジラン……7648
フサフサシダ……7791
フジシダ……7785
フモトシダ……7779
フユシノブ……7795
ベニシダ……7742
ヘビノネゴザ……7676
ヘラシダ……7717
ホウビクワンシユウ…7792
ホウビシダ……7656
ホウビシダ……7875
ホウライイヌワラビ…7667
ホウライシダ……7621
ホクトアミシダ……7638
ホクトキノデ……7638
ホコザキウラボシ……7810
ホコシダ……7857
ホシダ……7729
ホソバイヌワラビ……7672
ホソバカナワラビ……7850
ホソバシケシダ……7713
ホソバヌカボシ……7829
ホソバノイタチシダ…7766
ホテイシダ……7801
ホテイラン……7801
ホラシノブ……7793
ホングウシダ……7652
ホングウシダ……7774
マキノシダ……7718
マツカサシダ……7856
マツフウラン……7802
マメゴケ……7724
マメヅタ……7724
マメヅル……7724
ミサキカグマ……7766
ミゾシダ……7735
ミゾシダモドキ……7736
ミヅカザリシダ……7834
ミツデウラボシ……7811
ミツデカグマ……7848
ミツナガシハ……7650
ミヤマイタチシダ……7764
ミヤマイツマデグサ…7805
ミヤマキノデ……7728
ミヤマイハデンダ……7872
ミヤマウラジロ……7688
ミヤマウラボシ……7816
ミヤマカナワラビ……7759
ミヤマクマワラビ……7752
ミヤマシケシダ……7681
ミヤマシシガシラ……7683
ミヤマノキシノブ……7806
ミヤマベニシダ……7744
ミヤマヘビノネゴザ…7677
ミヤマメシダ……7674
ミヤマワラビ……7739
ムカデグサ……7684
メウギシダ……7832
メシダ……7673
メンマ……7728
モエジマシダ……7860
ヤゲルマシダ……7752
ヤツガタケシノブ……7696
ヤツメグサ……7802
ヤツメラン……7802
ヤノネシダ……7833
ヤハラシダ……7753
ヤブクジヤク……7723
ヤブソテツ……7841
ヤブレガサウラボシ…7818
ヤマイヌワラビ……7668
ヤマシノブ……7738
ヤマソテツ……7797
ヤリノホクリハラン…7824
ヤリノホラン……7824
ヤンバルタマシダ……7787
ユノミネシダ……7772
ヨロヒラン……7805
ラハヲシダ……7659
リウキウマメヅタ……7726
リシリシノブ……7695
リヤウメンシダ……7770
ワウレンシダ……7778
ワラビ……7852
ワラビツナギ……7635

1. ホウライシダ屬 ADIANTUM.

7620. **はこねさう** 石長生 (5圖版-38) …… ノキシノブ科

Adiantum monochlamys, *Eat.*

(異名) はこねぐさ·はこねしだ·ぬりばし·おらんださう 〔形態〕山地殊に急崖に普通なる羊齒類の一種なり。四時凋むことなく.殊に春時の新葉は淡紅色を帶びて頗る雅趣あり。根莖は黑褐色の毛茸を密生し.短形にして斜に横臥す。葉は株毎に數葉を生じ.全體卵狀披針形にして.小葉は扇形をなし.稍イテフの葉に似たり。故にイテフシノブの異名あり。子嚢群は.小葉毎に通常1箇づゝを着生し.包膜は褐色を呈す。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

人生との關係 鉢植として觀賞に供す。

7621. **ほうらいしだ** 鐵絲草 (白圖-16) …… ノキシノブ科

Adiantum Capillus-Veneris, *L.*

〔形態〕暖地の山中隱地に自生する羊齒類の一種なり。葉は2回羽狀複葉にして.15-18糎(5-6寸)より21-24糎(7-8寸)の長さに達す。葉身は透明·草質にして.細長き漆黑色の葉柄を具へ.終羽片は稍扇形をなして數箇に分裂し.鈍齒牙緣をなす。子嚢群は圓形或は倒腎臟形にして.裂片の凹部に着生す。〔分布〕本州(八丈島)·九州·琉球·臺灣。

人生との關係 庭園等に栽植し.觀賞用に供せらる。

7622. **コバホウライシダ** (白圖-17) ……… ノキシノブ科

Adiantum cuneatum, Langs. et Fisch.

〔形態〕南米「ブラジル」原產にして.園藝上我國に於て最も普通に見る中葉種に屬す。葉は3-4回羽狀複葉にして.三角狀を呈し.長さ15-20糎(5-7寸).幅15糎(5寸)許を有す。葉柄は黑褐色にして細長く光澤を具へ.緣邊は4乃至5片に淺裂し.小葉の群生する狀美なり。子嚢群は倒腎臟形を

16 ほうらいしだ　17 コバホウライシダ

なし.數箇を葉片の彎曲部に着生す。(栽培種)

人生との關係 園藝上に於ては.殆んどホウライシダの代表種と見らるる品種にして.觀葉用として.四季を通じて溫室に培養し觀賞に供せらる。繁殖は株分又は落下せる胞子より生ずる幼植物による。

18 いはほうらいしだ　19 あかめほうらいしだ

7623. **いはほうらいしだ** (白圖-18) ……… ノキシノブ科

Adiantum Faberi, *Bak.*

〔形態〕暖地に自生する羊齒類の一種にして.園藝上優良品種に屬し.多數其栽培を見る。葉は大きく.長さ36-60糎(1·2-2尺)許を有し.數回羽狀複葉にして.羽片は重疊す。終羽片は楔形をなし.外緣は10乃至15裂し.各裂片は線形をなす。〔分布〕小笠原島。

人生との關係 鉢仕立及花卉裝飾用として栽培せらる。

7624. **あかめほうらいしだ** (白圖-19) ……ノキシノブ科

Adiantum tenerum, *Sw.* var. Victoriae, *Moore.*

〔形態〕本種は自生種にあらずして.園藝上他の2-3種の交配により人工的に育成せられたるものなり。他の同種類に比するに.莖高さ稍低く.凡12糎(4寸)許を有すれども.寧ろ側方に伸長するの傾あり。葉は比較的强剛にして大きく且つ短く.黃綠色を呈し.殊に新葉は稍橙紅色を呈するを以て綠葉との調和頗る美なり。小葉は廣三角形をなし.多數に稍淺裂す。(栽培種)

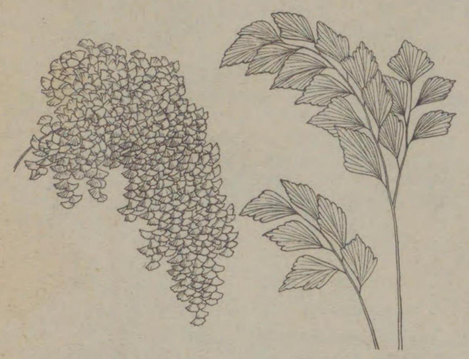
人生との關係 鉢仕立として.溫室内の裝飾に適す。高溫度にして多濕の場所を好む。

7625. **カスミホウライシダ** (白圖-20) …… ノキシノブ科

Adiantum cuneatum, Langs. et *Fisch.* var. *micro-pinnulum*, Hort.

〔形態〕クジャクシダ類中最も狹細なる葉を有する一品種にして.莖葉共に稍直立性なり。本種も亦自生種にあらずして.園藝的に育成せられし一品種なり。莖は高さ30糎(1尺)內外に達し.各小葉は2·5粍(8·5厘)許の大さを有す。新葉は紅色を帶び.古葉の間に點綴する狀殊に美なり。(栽培種)

人生との關係　クジャクシダと同じく、觀葉植物として、溫室に栽培せらる。栽培法其の他大要彼に準ず。



20 カスミホウライシダ　　21 ヒシガタホウライシダ

7626. ヒシガタホウライシダ（白圖-21）‥ノキシノブ科
Adiantum trapeziforme, L.

〔形態〕普通溫室内に其栽培を見るクジャクシダの一種なり。葉柄は 20-30 糎（0·7-1 尺）内外の長さを有し、黒色にして光澤を具へ直立す。葉身は長さ 2 糎（7 分）、幅 1 糎（3 分）許を有する梯形狀にして、羽狀に裂生し、1 箇の葉は 2 回羽狀複葉をなし、各葉緣は淺裂す。本種は自生地にありては、1 葉 5 粍（1·6 分）内外に達するもの稀ならず。

人生との關係　觀葉用として、溫室栽培せらる。繁殖は株分又胞子を播付けて其繁殖をなすの方法あり。栽培容易なり。

7627. ひろはくじゃく（白圖-22）‥‥‥‥ノキシノブ科
Adiantum macrophyllum, *Sw.*

〔形態〕熱帶亞米利加・西印度諸島・「メキシコ」等原産の溫室内觀葉植物にして、本屬中葉の最も大なる一品種なり。高さ 30 糎（1 尺）内外に達し、葉は少なけれども、比較的大きく、菱形にして稍鋸齒を有し、殆んど無柄なり。葉身は 8 糎（2·6 寸）、幅 5 糎（1·7 寸）許、帶黒色の光澤ある葉柄の上に 4-5 葉を對生す。嫩葉は褐淡紅色を呈して頗る美なれども、又老成するに從ひ綠色に變化するも本種の特徴にして、雅趣に富む。（栽培種）

人生との關係　溫室栽培にして、比較的高溫を要するものなり。繁殖は株分法による。

7628. くじゃくしだ　鐵線蕨草（5 圖版-39）‥ノキシノブ科
Adiantum pedatum, *L.*

（異名）くじゃくさう　〔形態〕山地の樹下に自生する羊齒類の一種なり。根莖は黒褐色の細毛を密生し、葉を生ずること多からず。葉柄は細長くして硬く、帶紫黒褐色にして光澤を有し、長さ 15-30 糎（0·5-1 尺）内外を有す。葉身は雙出分岐し、主枝は更に扇形に岐れ、其狀恰もクジャクの尾を擴げたるに似たり。子嚢群は各小葉毎に 1 乃至數箇をその裏面に着生し、包膜の葉頂より、裏面に反折することハコネサウにとく相似たり。〔分布〕北海道・本州・四國。

人生との關係　ハコネサウと共に觀賞用に供せらる。

7629. くじゃくてんだ（白圖-23）‥‥‥‥ノキシノブ科
Adiantum caudatum, *L.*

〔形態〕クジャクシダ類中の奇品にして、暖地の山地に自生する羊齒類の一種なり。葉柄は莖性にして鐵線狀をなし、黒褐色を呈し、長さ 0·5-1 米（1·5-3 尺）許に及び、粗毛を被る。葉は革質の單羽狀複葉にして、長さ 15-30 糎（0·5-1 尺）許を有し、小葉はイチフの葉に似て、上緣は淺く分裂す。子嚢群は圓形或は長橢圓形にして、各其緣邊に着生す。〔分布〕臺灣。

人生との關係　吊鉢仕立として、溫室に栽培し、四季共に其觀賞に價す。用土は、鹿沼土と腐葉土とを混じたるものを可とす。多濕を好む。

7630. おきなはくじゃくしだ（5 圖版-40）‥ノキシノブ科
Adiantum flabellulatum, *L.*

（異名）かなくじゃくしだ　〔形態〕暖國の山地に自生する羊齒類の一種なり。葉面は革質にして 1-2 回雙出分岐し、中央の羽片は長さ 9-18 糎（3-6 寸）許に達し、葉柄は剛硬にして、黒色・滑澤なり。小葉は長さ 6 粍（2 分）許を有する刀形にして、全緣なるか或は稍齒緣をなす。子嚢群は小葉の上外緣に着生し、長橢圓形をなす。〔分布〕琉球・小笠原島。

22 ひろはくじやく　　23 くじやくでんだ

7631. あらげくじゃく ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ノキシノブ科
Adiantum hispidulum, *Sw.*

〔形態〕暖國に自生する羊齒類なり。葉柄は剛硬にして漆黒褐色を呈し、長さ 15-30 糎（0·5-1 尺）許、粗毛を布く。葉面は稍革質にして、叉出分岐し、中央の羽片は長さ 15-21 糎（5-7 寸）許、終羽片は稍菱狀刀形をなす。子嚢群は圓形にして、多數連續し、小葉の上緣上に着生す。〔分布〕臺灣。

7632. はんげくじゃく（5 圖版-41）‥‥‥ノキシノブ科
Adiantum lunulatum, *Burm.*

〔形態〕山地に自生する羊齒類の一種なり。葉柄は黒褐色をなせる針金狀にして、長さ 9-15 糎（3-5 寸）許を有し、滑澤なり。葉は單一或は羽狀複葉にして、長さ 15-30 糎（0·5-1 尺）、幅 4·5-7·5 糎（1·5-2·5 寸）許に達し、小葉は刀形にして、長さ 1·2-2·4 糎（4-8 分）許を有し、上緣は稍淺裂す。子嚢群は各小葉の裏面邊緣に連續して着生す。〔分布〕臺灣。

2. カラクサシダ屬　ANOGRAMME.

7633. からくさしだ ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ノキシノブ科
Anogramme Makinoi, *Christ.*

〔形態〕サジランに似て、山地・岩石上又は樹株上等に自生する小羊齒類の一種にして、根莖は紫褐色を呈し細毛を密布す。葉柄は細長くして、長さ 1·5-1·8 糎（5-6 分）より 4·5 糎（1·5 寸）許に達し、細毛を生ず。葉面は卵狀長橢圓形にして、2-3 回羽裂し、各裂片は卵形を呈し、更に 2-7 深裂し、兩面共に毛茸を有す。實葉は裸葉に比して柄長く、裂片は狹し。子嚢群は包膜を缺き、長橢圓形にして、裂片の支脈に沿ひて着生し、中脈上のものと混同連續す。子嚢は扁球形にして短柄を有し、彈環は半ば縱に匿ぐる。〔分布〕北海道・本州各部・四國。

3. タキミシダ屬　ANTROPHYUM.

7634. たきみしだ（5 圖版-42）‥‥‥‥‥ノキシノブ科
Antrophyum japonicum, *Makino.*

（異名）くつべらしだ・へびのさじ　〔形態〕各地深山の岩間等に自生する多年生常綠の小羊齒類にして、地下の根莖は濃褐色の細毛を密生し、長柄を有する數葉を叢生し、長さ 15-18 糎（5-6 寸）許に達す。葉は多肉にして毛なく、綠色を呈する長橢圓形或は稍菱狀橢圓形にして、鈍頭或は銳頭なるか或は時に 2 裂し、基脚楔狀に狹窄せられ、全緣にして網眼脈を有す。子嚢群は葉の下面葉脈に沿ひて着生し、先端往々 2 つに岐る。〔分布〕本州中部・四國・九州。

4. ワラビツナギ屬　ARTHROPTERIS.

7635. わらびつなぎ（5 圖版-43）‥‥‥‥‥ノキシノブ科
Arthropteris oblipetera, *J. Sw.* (*Nephrolepis ramosa, Moore.*)

〔形態〕山地の岩上又は樹上等に生ずる羊齒類の一種にして、根莖は細長

PL. 5.

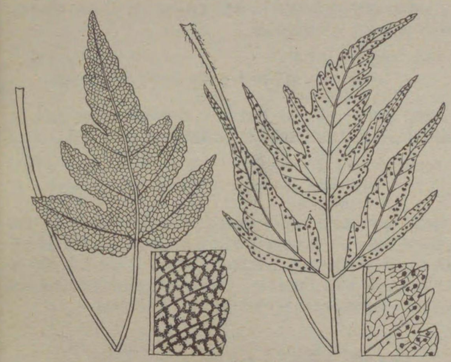
38 はこねざさう
39 くじやくしだ
40 おきなは くじやくしだ
41 はんげくじやく
42 たきみしだ
43 わらびつなぎ
44 ななばけしだ
45 とらのをしだ
46 ときはとらのを

く，且つ横臥す。葉は單一羽狀複葉にして，長さ 15-30 糎（0·5-1 尺）許を有し，短き葉柄を具ふ。小葉は質稍薄く，細長なる刀狀樣長橢圓形にして齒牙緣を有し，中軸には絨毛を生ず。子嚢群は小葉の邊緣に近く，側脈上に着生し，包膜は圓形にして早落生なり。〔分布〕臺灣。

5. ナナバケシダ屬　ASPIDIUM.

7636. **ななばけしだ**（5圖版-44）……ノキシノブ科
Aspidium decurrens, *Presl.* (*Nephrodium decurrens, Bak.*)

〔形態〕暖地に自生する羊齒類にして，根莖は横に擴がり，葉柄は狹き翅を伴ふ。葉は革質にして，長さ 0·6-1·2 米（2-4 尺），徑 30 糎（1 尺）許を有し，4-8 對の羽狀に分裂す。各裂片は狹長橢圓形にして離生し，側脈は明かに葉緣に達し，細き支脈によりて網眼をなす。最下部の裂片は往々更に分裂す。子嚢群は 2 列をなして側脈の間に着生し，大球形にして包膜は圓形なり。〔分布〕九州（屋久島）·琉球·臺灣。



24 あみしだ　25 ほくとあみしだ

7637. **あみしだ**（白圖-24）……ノキシノブ科
Aspidium Griffithii, *Diels.*

〔形態〕暖國の山地樹蔭に自生する羊齒類にして，葉柄は長さ 18-30 糎（0·6-1 尺）許を有し，絨毛を布き，基脚鱗片を被る。葉は革質をなせる稍三角形にして，長さ 30 糎（1 尺）許を有し，概ね羽狀に分裂するか或は羽狀複葉をなし，各側に 2-4 箇の羽片を有す。羽片は先端鋭く尖り，全緣にして長さ 7·5-9 糎（2·5-3 寸），徑 2·4-3·6 糎（0·8-1·2 寸）許，細脈によりて網眼をなし，子嚢は網眼に沿ひて着生す。〔分布〕四國·九州·臺灣。

7638. **ほくとあみしだ**（白圖-25）……ノキシノブ科
Aspidium hokutoense, *Hayata.*

（異名）ほくとみので　〔形態〕暖地に自生する多年生の羊齒植物にして，地下に匍匐性の根莖を有し，褐黒色の鱗片を散生す。葉柄は高さ 30 糎（1 尺）許，黄褐色にして基脚赤黒色の鱗毛を散生す。葉は膜質·深心臟形をなして，徑 18 糎（6 寸）許を有し 3 出す。頂小葉は戟形にして，鋭頭·楔脚をなし，長さ 15 糎（5 寸）以上に達し 3 裂す。側小葉は斜戟形にして先端尖り，基脚心臟狀楔形をなし，長さ 14 糎（4·5 寸）許を有し，不齊に 3 裂す。子嚢群は球形にして，葉緣に 1-3 列に着生し，包膜は深心臟形にして，長毛緣をなす。〔分布〕臺灣。

6. トラノヲシダ屬　ASPLENIUM.

7639. **とらのをしだ**（5圖版-45）……ノキシノブ科
Asplenium incisum, *Thunb.*

〔形態〕山野に自生する羊齒類にして，葉は根莖より多數簇生し，葉柄は褐色·滑澤にして細長く，長さ 3-9 糎（1-3 寸）許に達す。葉は羽狀複葉にして，線狀披針形をなし，長さ 15-30 糎（0·5-1 尺）許に達す。小葉は其質柔軟にして，三角狀披針形或は卵形を呈し，羽狀に深裂す。子嚢群は裂片の中脈に沿ひて側生し，赤褐色を呈し，包膜は其一邊，側脈に着生す。〔分布〕樺太·北海道·本州·九州。

7640. **ときはとらのを**（5圖版-46）……ノキシノブ科
Asplenium abbreviatum, *Makino.*

〔形態〕山地又は石垣の間等に自生する羊齒類にして，葉は短き根莖より簇生す。葉柄は長さ 1·5-9 糎（0·5-3 寸）許を有し，基部には細長き黒色鱗を密布す。葉は質厚く，通常 3 回羽狀に深裂し，披針形にして長さ 4·5-15 糎（1·5-5 寸）許を有す。裂片は各側に 7-10 片を有し，三角形にして，短柄を具へ，各裂片は更に 2-3 回小分裂す。子嚢群は，毎小裂片に 1-7 箇を着生し，長橢圓狀線形にして，包膜は不齊鈍齒緣を有す。〔分布〕本州中部及南部·四國。

7641. ひのきしだ……ノキシノブ科
Asplenium achilleifolium, *C. Chr.*

（異名）つるしだ　〔形態〕本州中部以南の各地に自生する羊齒類の一種なり。根莖は多肉にして短く，莖頭には黒褐色の鞏形鱗を密生す。葉は根莖より叢生し，2 回乃至 3 回羽狀に分裂す。革質·披針形にして，長さ 6-24 糎（2-8 寸）許を有し，先端延長す。裂片は各側に 6-18 片を具へ，披針狀長橢圓形にして短柄を有し，更に分裂す。小裂片は細長くして整列し，下部にあるものは往々 2 岐或は 3 岐す。子嚢群は狹線形にして，各小裂片の中脈に沿ひて 1 箇を着生し，包膜は全緣なり。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·臺灣。

7642. ひめいはとらのを……ノキシノブ科
Asplenium capillipes, *Makino.*

〔形態〕暖國の山地·岩石上に自生し，前種トラノヲシダに類する羊齒類の一種なり。根莖は短く，鞏狀細鱗を密生し，多葉を叢生す。葉柄は短く，長さ 0·6-2·7 糎（2-9 分）許に過ぎずして，毛管狀をなす。葉は膜質·卵形或は長橢圓形にして，2 回羽狀に分裂するか或は羽狀複葉をなし，各側には圓卵形にして，短柄を有する 1-6 片の羽片を排列す。各羽片は更に 1-3 回羽狀に複生するか或は 1-4 回羽裂し，終裂片は概ね橢圓形をなす。子嚢群は毎終裂片に 1 箇を着生し，包膜は稍全緣にして，宿存生なり。〔分布〕本州中部及南部·四國·臺灣。

7643. **かうさぎしだ**（6圖版-47）……ノキシノブ科
Asplenium davallioides, *Hook.*

〔形態〕本州中部以南の各地に自生する羊齒類なり。葉は毎春根莖より叢生し，葉柄は硬質·平滑にして，長さ 9-12 糎（3-4 寸）許に達す。葉は革質·三角形にして，長さ 9-15 糎（3-5 寸）許を有し，4 回羽狀複葉にして，各側に 6-9 箇の羽片を具へ，最下部の羽片最も大なり。小羽片も亦三角形をなし，終羽片は長橢圓形にして，羽軸には翼を伴ふ。子嚢群は長橢圓形にして側生し，往々終羽片の裏面全部に滿布す。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·小笠原島·琉球·臺灣。

7644. おほとらのをしだ……ノキシノブ科
Asplenium laciniatum, *Don.*

〔形態〕暖地に自生する羊齒類の一種にして，葉柄は長さ 9-21 糎（3-7 寸）許を有し，硬質にして根莖より簇出し，往々鱗片を被る。葉は單一羽狀複葉にして，長さ 15-30 糎（0·5-1 尺），幅 4·5-7·5 糎（1·5-2·5 寸）許を有す。羽片は刀狀長橢圓形にして先端尖り，長さ 3-4·5 糎（1-1·5 寸）許に達し，各側に 12 乃至 20 片を着生す。羽片は更に分裂し，各裂片は卵狀菱形にして，外方鈍齒牙緣をなし，子嚢群は邊緣に達せず。〔分布〕臺灣。

7645. しまときはしだ……ノキシノブ科
Asplenium laciniatum, *Don.* var. planicaule, *C. Chr.*

〔形態〕前種オホトラノヲシダの一變種にして，暖國に自生す。葉柄は長さ 7·5-15 糎（2·5-5 寸）許を有し，硬質にして裸出す。葉は革質なる單一羽狀複葉にして，長さ 15-30 糎（0·5-1 尺），幅 4·5-7·5 糎（1·5-2·5 寸）許に達す。羽片は各側に 12 乃至 20 片を具へ，細長くして地平に擴がり更に分裂し，深缺刻狀鋸齒緣をなす。子嚢群は葉裏に多數を着生し，稍葉緣に達す。〔分布〕臺灣。

7646. おほときはしだ……ノキシノブ科
Asplenium laserpitiifolium, *Lam.*

（異名）おきなはしだ·しまあをがねしだ　〔形態〕主に溫暖なる島地に自生する羊齒類なり。葉柄は根莖より叢生し，硬質にして裸出し，長さ 15-30 糎（0·5-1 尺）内外に達す。葉は質稍柔く，略三角狀をなせる三出羽狀複葉にして，長さ 0·6-1·2 米（3-4 尺）許を有し，最終の羽片は菱狀楔形にして分裂し，鈍齒緣をなす。子嚢群は線狀長橢圓形にして，不齊に排列す。〔分布〕小笠原島·琉球·臺灣。

7647. **ときはしだ**（6圖版-48）……ノキシノブ科
Asplenium Yoshinagae, *Makino.*

〔形態〕本州中部以南暖地の深山に自生する常綠の羊齒類なり。地下に塊狀をなせる根莖を有し，黒褐色にして，線狀披針形鱗を被り，上部に細長

き羽狀複葉を簇生す。葉柄は細長く．長さ3–10糎(1–3·5寸)許を有し．鱗片を散生す。葉身は長さ21–24糎(7–8寸)より60糎(2尺)內外に達し．各側に12乃至30有餘の羽片を着生し．稍菱形にして．緣邊には大小の缺刻狀鈍鋸齒を有し．更に扇狀に剪裂し．剪裂片は長橢圓形·鈍頭なり。子囊群は少數にして．每小葉に1–18箇許を葉脈に平行して稍扇形に着生し．全緣なる包膜を有す。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

7648. ふささじらん（6圖版-49）…… ノキシノブ科
Asplenium Nakanoanum, *Makino.*

（異名）おほへらしだ　〔形態〕暖地に生ずる羊齒類の一種なり。根莖は稍塊狀をなして擴がり．黑色の小鱗を密生す。葉は地下莖より叢生し．葉柄は短くして翅を具ふ。葉身は披針形にして．短銳尖頭·長銳尖脚をなし．長さ9–23糎(3–7·5寸)內外を有し．上部は低齒牙緣をなす。子囊群は細長く側脈の半長以上ありて直生開出し．包膜は全緣なり。〔分布〕九州(屋久島)·臺灣。

7649. たにわたりしだ …… ノキシノブ科
Asplenium scolopendriifrons, *Hayata.*

〔形態〕臺灣に自生する羊齒類の一種にして．地下に短き地下莖を有し．披針形鱗を被る。葉は稍帙質にして．倒披針形·鈍頭をなし．緣邊に細齒牙を有し．長さ12糎(4寸)許に達す。子囊群は中肋と葉緣との中間側脈に沿ひて着生す。〔分布〕臺灣。

7650. おほたにわたり（6圖版-50）……ノキシノブ科
Asplenium Nidus, *L.*

（英名）ジヤパニーズ·バーズネスト·フアーン（Japanese Birds-Nest, Fern.）（異名）たにわたし·みつながしは　〔形態〕山地·樹上又は岩石上に自生する羊齒類の一種なり。葉柄は短く．葉身は長さ0·6–1·2米(3–4尺)許に達し．革質·披針形にして．中肋は綠色を呈し．鈍頭或は銳尖頭をなし．全緣なり。子囊群は細長く．葉の下面中肋を境とし側脈に沿ひ矢筈狀をなして．葉緣に至るまで之を滿布するを特徵とす。〔分布〕本州·四國·九州(屋久島·種子島)·琉球·臺灣。

一種小笠原島·琉球諸島に自生する品種（A. Nidus, L.）にして．葉の中肋黑色を呈し．葉裏の子囊群は中肋を中心として中半部に着生し．決して葉緣に及ばざる一種あり。東京市內に見るは主に本種に屬す。

人生との關係　觀葉植物とし．一般的に鉢植又は切花として愛玩せらる。

7651. ぬりとらのを …… ノキシノブ科
Asplenium normale, *Don.*

〔形態〕本州中部以南各地の山野に自生する羊齒類の一種にして．葉は每春宿根より簇生す。葉身は革質の單羽狀複葉にして．長さ18–30糎(0·6–1尺)．徑3·6糎(1·2寸)許に達し．葉柄は9–15糎(3–5寸)許の長さを有し．黑褐色にして滑澤なり。小葉は刀狀長橢圓形にして．最下部のものは．長さ1·8糎(6分)許を有し．缺刻狀齒牙緣をなし鈍頭なり。子囊群は小葉裏に不齊なる2列に排列す。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球·臺灣。

7652. ほんぐうしだ …… ノキシノブ科
Asplenium oligophlebium, *Bak.*

（異名）ひめちゃせんしだ·ひめぬりとらのを·かみがもしだ

〔形態〕暖地に自生する羊齒類の一種にして．地下に直生せる根莖を有す葉は羽狀複葉にして．鎌狀披針形をなし．長さ24糎(8寸)許に達し．先端は長く延びて．往々芽を出す。葉柄は黑褐色を呈し．滑澤にして長さ9糎(3寸)許を有す。小葉は多數を着け．披針形にして柄を缺き．緣邊は鋸齒狀に深裂し．各裂片は鈍頭なり。子囊群は少數にして橢圓形をなし．包膜は宿存生なり。〔分布〕本州中部及南部·琉球。

7653. いてふしだ …… ノキシノブ科
Asplenium Ruta-muraria, *L.*

〔形態〕山地の主に石灰質より成れる岩壁に自生する羊齒類の一種なり。葉柄は細長くして裸出し．長さ4·5–9糎(1·5–3寸)許に達し．簇生す。葉は羽狀複葉にして．革質·三角形をなし．長さ2·4–4·5糎(0·8–1·5寸)許を有し．小葉は少數にして．最下部の小葉は更に再三羽狀に分裂す。最終の小片は筐狀或は卵狀楔形にして．鋸齒緣を有し．多數の子囊群は小片の裏面に着生す。〔分布〕本州各部·四國·九州。

7654. おとめしだ（6圖版-51）…… ノキシノブ科
Asplenium tenerum, *Forst.*

〔形態〕暖國に生ずる羊齒類の一種なり。葉柄は共質硬くして裸出し．長さ9–15糎(3–5寸)許に達し．簇生す。葉は單一羽狀複葉にして．革質·長橢圓狀披針形をなし．長さ18–36糎(0·6–1·2尺)許に達し．各側に10–20箇の羽片を具へ．長橢圓形なり。子囊群は多數を整齊平行に着生し．中脈葉緣に達せず。〔分布〕小笠原島·臺灣。

7655. ちゃせんしだ（6圖版-52）…… ノキシノブ科
Asplenium Trichomanes, *L.*

（異名）にひたかでんだ　〔形態〕本州中部以南の暖地に自生する羊齒類の一種なり。葉柄は滑澤にして．黑褐色を呈し．長さ3–9糎(1–3寸)許に達し．通常簇生す。葉は單一羽狀複葉にして．稍革質をなし．長さ15–30糎(0·5–1尺)．幅1·2–1·5糎(4–5分)許を有し．各小葉は斜卵形にして．15–30對を生ず。子囊群は細長き橢圓形をなして．中脈の各側に3–6箇を着生す。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·臺灣。

7656. ほうびしだ …… ノキシノブ科
Asplenium unilaterale, *Lam.*

（異名）ひめくじゃくしだ·はるるりとらのを　〔形態〕本州中部以南各地の山野に自生する羊齒類の一種なり。葉柄は黑褐色·滑澤にして．長さ9–18糎(3–6寸)許に達し．細長くして稍散生す。葉は薄草質なる披針狀長橢圓形にして．10乃至30分裂をなし．各裂片は無柄にして．刀狀長橢圓形·銳尖頭をなし．緣邊には缺刻狀鋸齒を有し．長さ3–7·5糎(1–2·5寸)に達す。子囊群は裂片の下面に着生し．中肋·葉緣に達せず。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·小笠原島·臺灣。

7657. ひめほうびしだ …… ノキシノブ科
Asplenium unilaterale, *Lam.* forma adiantifrons, *Hayata.*

〔形態〕前種ホウビシダの一變種にして．裂片の基部は心臟形をなし．且つ各裂片の下面に1箇の子囊群を有する種類なり。〔分布〕臺灣。

7658. たいわんほうびしだ …… ノキシノブ科
Asplenium unilaterale, *Lam.* var. obliquissimum, *Hayata.*

〔形態〕地下に橫走せる纖弱なる根莖を有し．之れより葉柄を抽く。葉柄は褐紫色·滑澤にして．長さ9糎(3寸)許を有し．纖細にして基脚稍鱗片を被むる。葉は單一羽狀複葉にして．膜質·披針形をなし．長さ17糎(5·5寸)許を有す。小葉は刀狀長橢圓形にして柄を缺き．上部は不明瞭なる鈍齒緣をなす。子囊群は葉面の上半部に着生す。〔分布〕臺灣。

26 らはをしだ　　27 あをがねしだ

7659. らはをしだ（白圖-26）…… ノキシノブ科
Asplenium unilaterale, *Lam.* var. rahaoense, *Hayata.*

〔形態〕暖國に自生する羊齒類の一種なり。葉柄は基部に細毛を疎生し．葉身は楔形狀をなせる單一羽狀複葉にして．長さ30糎(1尺)內外に達し．小葉は柄を缺き．稍直生·鈍頭なり。子囊群は小葉中肋の兩側に列生す。〔分布〕臺灣。

7660. あをがねしだ（白圖-27）…… ノキシノブ科
Asplenium Wilfordii, *Mett.*

〔形態〕暖地の岩石·樹幹上等に自生する羊齒類の一種なり。地下の根莖は粗厚にして黑褐色の細長き鱗片を被り，概ね斜上す。葉柄は長さ7·5–30糎(2·5–1尺)許に達し．細長く基脚亦鱗片を生ず。葉は羽狀複葉又は羽狀分裂をなし．葉柄と長さ稍同じく．長橢圓狀披針形にして．短銳尖頭をなす。裂片は7–10箇を具へ．有柄にして長三角形をなし．小葉は短柄を有し．楔狀卵形にして深裂す。深裂片は更に數裂し．終裂片は長橢圓形を呈す。子囊群

PL. 6.

47 かうさぎしだ

48 さきはしだ

49 ふささじらん

50 おほたにわたり

51 おとめしだ

52 ちやせんしだ

53 くるましだ

54 いぬわらび

55 やまいぬわらび

PL. 7.

56 めしだ

57 へびのねござ

58 ぬりわらび

59 みやましけしだ

60 ししがしら

61 をさしだ

62 ひりゆうしだ

63 くものすしだ

64 ひめうらじろ

65 みやまうらじろ

は細長く．深裂片の下面に2-11箇を着生す。〔分布〕四國·九州·琉球·臺灣。

7661. **くるましだ**（6圖版-53）…… ノキシノブ科
Asplenium Wrightii, *Eat.*

（異名）くりゅうしだ　〔形態〕暖國の山地·樹蔭等に自生する羊齒類の一種にして．地下に短き根莖を有し．毎春多數の葉を叢生す。葉柄は細長くして．基部に褐黒色鱗を被り．葉は單一羽狀複葉をなし．葉身は厚質にして軟く．卵狀披針形を呈し．長さ60糎（2尺）以上に及び長大なり。最下部の小葉は披針形にして淺裂し．緣邊鈍鋸齒を有す。子嚢群は小葉の中肋と葉緣との中間．斜に着生し．線形にして稍弓狀に彎曲す。〔分布〕本州中部及南部·九州·臺灣。

7662. おほくるましだ …… ノキシノブ科
Asplenium Wrightii, *Eat.* var. aristato-serrulatum, *Hayata.*

（異名）おほのこぎりしだ　〔形態〕クルマシダに類似せる羊齒類にして．暖地に自生す。羽片は特に多肉にして．葉緣の齒牙特に鋭尖なる鉤狀をなし．子嚢群は密に葉裏に接着せる種類なり。〔分布〕臺灣。

7. イヌワラビ屬 ATHYRIUM.

7663. **いぬわらび**（6圖版-54）…… ノキシノブ科
Athyrium nipponicum, *Hance.*

〔形態〕各地の山野に普通なる羊齒類なり。地下の根莖は四方に擴がりて繁殖し．赤色披針形鱗を被り．葉柄は長さ15-30糎（0·5-1尺）許を有し滑澤なり。葉は草質·卵狀橢圓形をなし．疎なる2回羽狀に分裂し．先端は細く尖り．大なるものは長さ60糎（2尺）内外に達す。各羽片は有柄にして披針形を呈し．小葉は兩側不同に羽裂し．細鋸齒緣を有す。子嚢群は小葉の中脈に沿ひて多數を着生し．褐熟す。〔分布〕北海道·本州各部·九州。

7664. きんぎょいぬわらび …… ノキシノブ科
Athyrium nipponicum, *Hance.* var. cristato-flabellatum, *Makino.*

〔形態〕前種イヌワラビの一園藝變種にして．葉先並に羽片先端1回乃至2回扇形に分裂する品種なり。（栽培種）

7665. にしきしだ …… ノキシノブ科
Athyrium nipponicum, *Hance.* var. metallicum, *Makino.*

〔形態〕各地の山野に自生する羊齒類にして．イヌワラビの一變種なり。概形彼に類すれども．本種の羽片は帶白色を呈し．羽軸は紫色を帶べるものなり。〔分布〕邦内各地。

7666. たにいぬわらび …… ノキシノブ科
Athyrium rigescens, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する羊齒類にして．毎春塊莖狀をなせる根莖より多數の葉柄を簇生す。葉柄は細長く．通常葉身より短く．基部に黒褐色の細長き鱗片を密生す。葉は稍硬き草質をなせる三角狀卵形にして2回羽狀に分裂し．長さ21-54糎（0·7-1·8尺）許を有す。羽片は各側に12乃至15箇を着生し．狹披針形にして長さ18糎（6寸）許を有し．更に分裂す。各小葉は稍刀狀樣卵狀長橢圓形を呈し．不齊なる銳鋸齒緣をなし．上側は耳垂す。子嚢群は每小葉の下面中肋に近く4乃至13箇宛を整列し．斜長橢圓形をなし．包膜は緣邊細鋸齒を有す。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

7667. ほうらいいぬわらび …… ノキシノブ科
Athyrium tozanense, *Hayata.*

（異名）しまいぬわらび　〔形態〕暖地に自生する羊齒類にして．地下の根莖より葉柄を叢生し．長さ9-18糎（3-6寸）許．基脚披針形鱗を密生す。葉は草質·披針形にして先端緩く尖り．2出羽狀複葉をなし．長さ6-18糎（2-6寸）許ありて．羽軸には短腺毛を密布す。羽片は各側に概ね13對許を有し．更に各側6乃至9分裂す。各小葉は長卵形·鈍頭にして．最下の小葉は有柄·鋸齒狀分裂をなし．裂片の上面に刺狀毛を生す。子嚢群は小葉中肋に接して着生し．包膜は不整鈍齒緣をなす。〔分布〕九州（屋久島）·臺灣。

7668. **やまいぬわらび**（6圖版-55）……ノキシノブ科
Athyrium Vidalii, *Nakai.* (*Asplenium Vidalii, Franch.* et *Sav.*)

〔形態〕山地の陰濕地に自生する羊齒類の一種にして．地下の塊狀根莖より稍披針形 鱗を被れる長さ24糎（8寸）内外の葉柄を叢生す。葉は膜質·廣卵形をなし先端尖り．2出羽狀複葉にじて．長さ15-18糎（5-6寸）許に達す。羽片は長橢圓形にして．小葉は菱形をなし深裂し．各裂片は銳鋸齒を有す。子嚢群は小葉の下面に散在し．半環狀を呈する包膜を有す。〔分布〕本州·四國·九州。

7669. えぞいぬわらび …… ノキシノブ科
Athyrium Yamadae, *Miyabe.* et *Kudo.*

〔形態〕北地の山野に自生する羊齒類の一種なり。葉柄は長さ30糎（1尺）内外を有し．黒褐色にして．線形或は細長き披針形鱗を散生す。葉は革質·廣卵形にして2回羽狀に分裂し．長さ45糎（1·5尺）内外．羽軸には狹き翼を有す。羽片は短き葉柄を具へ．菱狀披針形をなし．長さ30-60糎（1尺）に達し．更に羽裂す。各小裂片は卵狀菱形又は稍三角形をなし．芒尖齒牙緣をなす。子嚢群は小裂片の中脈に沿ひて2列に排列し．包膜は剪裂緣を有す。〔分布〕北海道。

7670. ひろばのいぬわらび …… ノキシノブ科
Athyrium Wardii, *Makino.*

〔形態〕山中陰地に自生し．イヌワラビに類する羊齒類の一種なり。毎春地下の塊莖より長さ9-60糎（0·3-2尺）許ある葉柄を抽き．葉柄は基脚に褐色の線狀鑿形鱗を密生す。葉は草質·三角形にして2回羽狀に分裂し．各羽片は稍無柄にして披針形をなし．先端緩く尖り．下部羽片は最も大形なり。羽片は更に分裂し．小葉は斜披針形にして．缺刻狀細鋸齒緣をなす。子嚢群は褐色を呈し．包膜は細齒緣を有す。〔分布〕本州各部·四國·九州。

7671. おほひろばのいぬわらび …… ノキシノブ科
Athyrium major, *Makino.*

〔形態〕南方暖地の山野に自生する稍壯大なる羊齒類にして．葉柄は30糎（1尺）内外の長さを有し．細長き褐色鱗を被る。葉は草質·三角狀卵形にして羽狀に分裂し．長さ30-45糎（1-1·5尺）許に達す。羽片は有柄·披針形にして先端尖り．各側に約10箇を着生し．大形なるものにありては．長さ24糎（8寸）許に達し．下部のものは狹長なり。小葉亦短柄を具へて相互に稍隔離し．刀狀長橢圓狀披針形にして．更に羽狀に淺裂し．各裂片は鈍齒牙緣をなす。子嚢群は中肋に近く平行して2列に排列し．頂端に於ては時に重複す。包膜は膜質にして．不明細鋸齒緣を有するか或は全緣なり。〔分布〕四國·九州。

7672. ほそばいぬわらび …… ノキシノブ科
Athyrium Goeringianum, *Moore.*

〔形態〕南方暖國の山地に自生する羊齒類にして．イヌワラビに類似すれども．彼の地下莖は往々四方に擴がれるに反し．本種の地下莖は直生す。葉は概ね叢生し．實葉は長く抽出すれども．裸葉は短形なり。子嚢群は著しく彎曲し且つ短く．葉の下面に散生す。〔分布〕四國·九州。

7673. **めしだ**（7圖版-56）……ノキシノブ科
Athyrium Filix-foemina, *Roth.* var. melanolepis, *Makino.*

（異名）おほいぬわらび　〔形態〕本州中部以北の山地に自生する多年生羊齒類にして．地下に根莖を有し．長さ60-90糎（2-3尺）に達する2回羽狀複葉を叢生す。葉柄は褐色鱗片を被り．各羽片は細長くして12糎（4寸）許を有し．羽狀に分裂す。小羽片は其緣邊更に缺刻狀に分裂し．銳鋸齒緣をなす。子嚢群は疎に小羽片の裏面に着生す。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州北部及中部。

7674. みやまめしだ …… ノキシノブ科
Athyrium Filixa-foemina, *Roth.* var. nigropaleaceum, *Makino.*

〔形態〕前種メシダの一變種にして．本州中部以北の高山草本帶に自生する羊齒類なり。地下の根莖は斜長にして擴がり．毎年根莖より細長くして．葉身より稍短き葉柄を抽き．基脚に黒色披針形の鱗片を密生す。葉身は2回羽狀に分裂し．長橢圓狀披針形にして先端尖り．其質軟くして．長さ0·4-1·8米（1·3-6尺）内外に達す。羽片は狹披針形にして中片最も大きく．長さ9-18糎（3-6寸）許を有す。小葉は披針形をなし．緣邊缺刻狀に分裂し．各裂片は卵形にして疎齒牙緣をなす。子嚢群は每裂片の下面に稍彎曲して1乃至4箇を着生し．包膜は子嚢群と同形にして．邊緣細裂す。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州北部及中部。

7675. おほめしだ …… ノキシノブ科
Athyrium pterorachis, *Christ.*

〔形態〕山地に自生する羊齒類の一種にして．全長90糎（3尺）以上に達し壯大なり。葉柄は塊莖より簇生し．基脚には膜質·披針形の鱗片を生ず。葉身は革質·卵形にして羽狀複葉をなし．各羽片は稍柄を缺き．狹披針形にして各側に多數を有し．羽狀に深裂す。深裂片は線狀長橢圓形にして．更に中裂し．中裂片は卵形·鈍頭をなす。子嚢群は深裂片中脈の兩側に斜列し．包

膜は細鋸歯縁を有す。〔分布〕本州北部及中部。

7676. **へびのねござ**（7圖版-57）……ノキシノブ科
Athyrium yokoscence, *Christ.*

（異名）こいぬわらび・かなやましだ　〔形態〕各地の山野に自生する羊齒類にして、葉は地下の根莖より叢生し、葉柄は葉身より長或は短く、基脚には黒褐色の鱗形鱗を密布す。葉身は2出羽狀複葉にして、膜質・長橢圓形をなし、長さ30-60糎（1-2尺）内外に達し、各羽片は稍柄を缺き、狹披針形を呈す。小羽片は菱狀卵形にして先端尖り、更に分裂するか或は銳齒牙緣をなす。子嚢群は馬蹄形に彎曲し、小羽片中脈の各側に數箇を着生し、熟すれば褐色を呈す。包膜は膜質・全緣にして宿存せなり。〔分布〕北海道・本州各部・九州・琉球。

7677. **みやまへびのねござ**……ノキシノブ科
Athyrium rupestre, *Kodama.*

〔形態〕北方の山地に自生する羊齒類にして、葉柄は地下に直生或は斜在せる根莖より簇生し、長さ3-15糎（1-5寸）内外、線狀の鱗片を密布す。葉は羽狀複葉をなし、草質・披針形にして先端尖り、基脚亦鋭尖形を呈し、長さ15-24糎（5-8寸）内外に達す。羽片は披針形にして橢齒狀に羽裂し、各裂片は長橢圓狀披針形をなし、稍全緣なるか或は鋸齒緣狀に羽裂す。子嚢群は細長き橢圓形或は稀に鉤曲し、包膜は毛緣をなす。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

7678. **おほひめわらび**……ノキシノブ科
Athyrium Okuboanum, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する羊齒類にして、葉柄は肉質・粗大にして、長さ60糎（2尺）以上に達し、褐色・膜質鱗を散生す。葉は羽狀複葉にして、葉身は稍軟く、狹卵形をなして先端尖り、長さ60糎（2尺）許に達す。羽片は長橢圓狀披針形にして、長さ27糎（9寸）許に達し、短柄によりて各側に10乃至13片を着け、羽狀深裂をなす。深裂片は羽軸翼によりて連續し、更に羽狀に中裂し、各中裂片は卵形にして全緣なり。子嚢群は深裂片中脈に接近して多數を着生し、圓形或は馬蹄形をなす。〔分布〕本州各部・四國・九州。

7679. **ぬりわらび**（7圖版-58）……ノキシノブ科
Athyrium mesosorum, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する多年生羊齒類にして、地下の根莖より大形にして稍疎なる數回羽狀複葉を生ず。葉柄は細長く、基脚に褐色の披針形鱗を生じ、葉身は海草質にして三角形をなす。羽片は卵狀或は長橢圓狀披針形にして先端尖る。小羽片は狹三角形をなし、終羽片は無柄なるか或は短柄を具へて羽裂し、各裂片は鈍頭にして鈍齒牙緣をなす。子嚢群は小羽片中脈の各側に多數を斜列し、概ね稍彎曲せる狹長橢圓形をなす。〔分布〕本州各部・四國・九州。

7680. **おくやまわらび**……ノキシノブ科
Athyrium alpestre, *Rylands.*

〔形態〕山地に自生する多年生羊齒類の一種にして、葉柄には膜質の鱗片を密布す。葉は重羽狀複葉にして披針形をなし、小羽片は更に羽狀に分裂す。各裂片は長橢圓形にして、緣邊細銳鋸齒を有す。子嚢群は各裂片の下面潤部に近く、1箇稀に2箇を着生す。〔分布〕本州北部及中部。

7681. **みやましけしだ**（7圖版-59）……ノキシノブ科
Athyrium acrostichoides, *Diels.*

（異名）はくまうねので　〔形態〕山地に自生する羊齒類にして、毎春根莖より長さ30糎（1尺）許ある葉柄を抽き、羽軸と共に細長き鱗片を被る。葉は羽狀複葉にして共質軟く、披針形をなし、長さ30-60糎（1-2尺）許に達す。羽片は各側に多數を排列し、狹披針形にして整齊・羽狀に深裂す。各裂片は橢圓形を呈し、全緣なり。子嚢群は裂片の中肋に沿うて斜列し、時に彎曲す。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

8. シシガシラ屬　BLECHNUM.

7682. **ししがしら**（7圖版-60）……ノキシノブ科
Blechnum nipponicum, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する羊齒類にして、地下の根莖より稍輪生狀をなして淡綠色の葉柄を著しく斜出し、直立すること少し。葉は稍圓形にして多數の羽片に深裂し、各羽片は線形をなして整齊横出し、稍扁平に排列す。本種の葉は裸葉の外稍同長なる子嚢體を有する實葉とを有することクサソテツ・カウヤワラビ等の如しと雖も、其の羽片は彼等の著しく斜上し、且つ密着すると異り、殆んど平開して中軸に排列し、裸葉に近似せるものなり。〔分布〕北海道・本州各部。

7683. **みやましししがしら**……ノキシノブ科
Blechnum castaneum, *Makino.*

〔形態〕前種シシガシラに酷似せる羊齒類の一種にして、概形彼に比するに稍小形なれども、實葉は頗る長大なり。羽軸は紫褐色を呈し輪澁にして羽片は薄質・短形なるものなり。〔分布〕本州北部及中部。

7684. **をさしだ**（7圖版-61）……ノキシノブ科
Blechnum amabile, *Makino.*

（異名）むかでぐさ・をさば・いはしばね　〔形態〕山地に自生する多年生羊齒類の一種にして、地下に暗褐色毛並に膜質・赤褐色鱗片を密生せる塊狀の小根莖を有し、其末端に裸葉を簇生す。葉柄は長さ3-6糎（1-2寸）乃至9糎（3寸）許を有し、帶紅淡綠色にして内面に溝條を具へ、基脚鱗片を密布す。葉は橢齒狀羽狀複葉をなし、長橢圓狀披針形にして、長さ12-30糎（0·4-1尺）許に達す。羽片は長橢圓狀線形にして全緣・鈍頭をなし、全體稍鎌身狀に彎曲す。實葉は裸葉に比して稍痩小なり。子嚢群は羽片の邊緣より發して中肋に達し、内旋せる包膜の中に包まる。〔分布〕本州各部。

7685. **ひりゅうしだ**（7圖版-62）……ノキシノブ科
Blechnum orientale, *L.*

〔形態〕暖國の山麓等に自生する多年生羊齒類にして、地下の根莖は暗褐色絲狀鱗を被りて直生し、且つ粗大なり。葉柄は共質硬く、長さ9-21糎（3-7寸）許を有し、基脚鱗片を被る。葉は單一羽狀複葉にして革質・卵形をなし、長さ30-90糎（1-3尺）許に達す。各羽片は細長く、長さ9-18糎（3-6寸）許、相接して多數を排列し、基部の數片は稍耳垂す。子嚢群は中脈に接近して着生し、長線形をなす。〔分布〕九州（大島）・小笠原島・九州・臺灣。

9. クモノスシダ屬　CAMPTOSORUS.

7686. **くものすしだ**（7圖版-63）……ノキシノブ科
Camptosorus sibiricus, *Rupr.*（*Scolopendrium sibiricum, Hook.*）

〔形態〕深山の岩石上等に自生する常綠の羊齒類にして、地下の根莖より細長くして裸出せる長さ4·5-7·5糎（1·5-2·5寸）許ある葉柄を抽く。葉は稍革質の橢圓形若しくは長卵形をせる單葉にして、裸葉は長さ2·4糎（8分）實葉は長さ12-15糎（4-5寸）許を有し、其の先端細く延び、地に着きて根を下ろし、之より新株を形成す。子嚢群は葉背中肋の兩側に稍擴開して對生し、線形或は橢圓形にして暗褐色を呈し、包膜を有せず。〔分布〕本州各部・四國・九州。

10. ヒメウラジロ屬　CHEILANTHES.

7687. **ひめうらじろ**（7圖版-64）……ノキシノブ科
Cheilanthes argentea, *Kunze.*

〔形態〕山中の陽地に自生する多年生羊齒類の一種にして、毎春地下の根莖より簇生す。葉柄は細長くして、長さ7·5-15糎（2·5-5寸）許に達し、滑澤にして黒褐色を呈し、初め基脚線形鱗を生ず。葉身は三角形にして2乃至3回羽狀に分裂し、下裂片は大なり。裂片は更に波狀様に羽裂し、下面白色蠟粉を密布す。子嚢群は褐色にして小球形をなし、稍接近して葉緣に排列し、包膜は葉面邊緣より反捲す。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

7688. **みやまうらじろ**（7圖版-65）……ノキシノブ科
Cheilanthes Brandtii, *Franch.* et *Sav.*

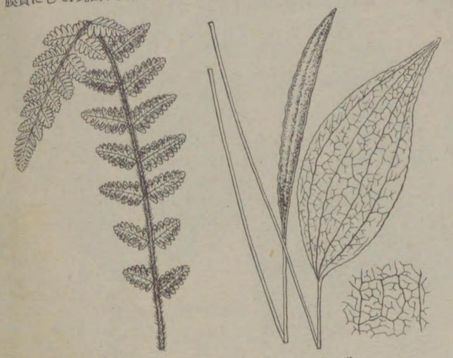
〔形態〕山地に自生する多年生羊齒類にして、地下に多肉なる根莖を有し之より葉を簇生す。葉柄は細長くして、長さ12-24糎（4-8寸）許を有し、基脚脫落生の鱗片を被る。葉は長三角形を呈し、長さ15-30糎（0·5-1尺）許、通常3回羽狀に分裂し、各裂片は有柄にして三角狀披針形をなす。小羽片は線形にして、更に鋸齒狀缺刻を有し、裏面に灰白色の粉狀物を密布す。子嚢群は線形をなし相連續して葉緣に生じ、包膜を有す。〔分布〕本州中部。

7689. **あをみやまうらじろ**……ノキシノブ科
Cheilanthes Brandtii, *Franch.* et *Sav.* var. efarinosa, *Makino.*

〔形態〕前種ミヤマウラジロの一變種にして、概形彼に酷似すれども、彼の葉面に灰白色の粉狀物を密布するに比し、本種の葉面には之を布かざるを異るところなりとす。〔分布〕本州中部。

7690. **いはうらじろ**……ノキシノブ科
Cheilanthes krameri, *Franch.* et *Sav.*

〔形態〕各地の山地に自生する羊齒類の一種なり。葉柄は光澤ある黒褐色にして、長さ7·5-9糎（2·5-3寸）許に達し、葉は披針形・膜質をなし、長さ4·5-7·5糎（1·5-2·5寸）許を有し、概ね2回羽狀分裂をなす。羽片は各側に4乃至6片を排列し、最下のものは斜三角形をなし、中羽片は披針形を呈し、何れも更に羽狀に分裂す。子嚢群は線形をなして下面に着生し、包膜は薄膜質にして、鈍齒狀波緣をなす。〔分布〕邦内各地。



28 ねびがらしだ　29 すぢひとつば

7691. **えびがらしだ**（白圖-28）……ノキシノブ科
Cheilanthes mysurensis, *Wall.*

〔形態〕暖地に自生する多年生の羊齒類にして、根莖は地下に横はり先端より多くの葉を生ず。葉柄は針金狀をなして黒褐色を呈し、絲狀鱗片を生ず。葉は初め革質なれども後革質となり、全形卵狀披針形にして、長さ7·5-30糎（2·5-1尺）内外に達し、3回羽狀に分裂す。羽片は披針狀三角形にして多數を排列し、長さ1·8-3·6糎（0·6-1·2寸）許に達す。各裂片は線狀長橢圓形をなし、更に缺刻狀に羽裂す。子嚢群は細小にして圓く、離生或は稍接續して下面に着生す。〔分布〕四國・九州・臺灣。

11. スヂヒトツバ屬　CHEIROPLEURIA.

7692. **すぢひとつば**（白圖-29）……ノキシノブ科
Cheiropleuria bicuspis, *Presl.* var. integrifolia, *Eat.*

（異名）はりがねしだ　〔形態〕本州中部以南の暖地に自生する多年生の羊齒類なり。根莖は木質・短形にして地下を匍匐し、帶褐色の剛毛を以て被はれ、其の上端より葉を生ず。裸葉は剛硬にして30糎（1尺）内外の長さを有する葉柄を具へ、葉身は革質・卵狀披針形にして先端往々2裂し、葉脈は網狀をなし、明なる3箇の主脈は葉脚より葉尖に向ひて射行す。實葉は長き葉柄を具へ、細長き披針形をなす。子嚢群は葉の下面全部に滿布す。〔分布〕本州南部・四國・九州・琉球・臺灣。

12. イハガネサウ屬　CONIOGRAMME.

7693. **いはがねさう**（8圖版-66）……ノキシノブ科
Coniogramme japonica, *Diels.*

〔形態〕山中の稍陰濕地に自生する多年生羊齒類にして、地下莖は横走し毎春地上に葉を出す。葉柄は滑澤にして淡黄色を呈し、長さ15-30糎（0·5-1尺）許に達す。葉は單一羽狀複葉若しくは基脚重羽狀複葉をなし、共質草質にして、長さ45-60糎（1·5-2尺）許を有す。羽片は披針形・鋭尖頭・全緣にして長さ21-24糎（7-8寸）に達し、側脈は2回分岐し1回結合す。裏面は殆んど全部淡褐色を呈し、包膜を有せざる子嚢群は、諸脈に沿うて中肋より斜に排列し、葉緣に達す。〔分布〕本州中部及南部・九州・小笠原島。

7694. **いはがねぜんまい**（8圖版-67）……ノキシノブ科
Coniogramme fraxinea, *Diels.*

〔形態〕山地に自生する多年生羊齒類にして、根莖は黒褐色を呈し横走す。葉柄は細長くして、長さ30糎（1尺）以上に達し、無毛にして平滑なり。葉は1回乃至2回羽狀複葉にして、長さ30-60糎（1-2尺）許に達し、膜質なり。羽片は長橢圓形にして先端尖り、緣邊に鋭尖微鋸齒を有し、且つ短柄を具へ、葉脈は分岐するも、羽狀に平行す。子嚢群は裏面の側脈に沿うて、線形に排列し、包膜を有せず。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・臺灣。

13. リシリシノブ屬　CRYPTOGRAMME.

7695. **りしりしのぶ**（8圖版-68）……ノキシノブ科
Cryptogramme crispa, *R. Br.*

（異名）いはしのぶ　〔形態〕北方山地の岩壁等に自生する多年生羊齒類にして、地下に塊狀の根莖を有し、下部に大小の根を出し、上部に多數の

30 やつがたけしのぶ　31 いはおもだか

長柄葉を簇生す。葉柄は滑澤にして淡黄色を呈し、基脚鱗片を生ず。葉は厚革質にして、再三羽狀複葉をなし、全形長橢圓形にして、長さ4·5-9糎（1·5-3寸）内外を有す。其形シノブに類似すれども、小羽片は彼より稍大形なり。子嚢群は葉脈に頂生して邊緣に列生し、稍球形をなす。〔分布〕樺太・千島・北海道。

7696. **やつがたけしのぶ**（白圖-30）……ノキシノブ科
Cryptogramme Stelleri, *Prant.*

〔形態〕山地に自生する羊齒類の一種なり。地下の根莖は横走し、毎春地上に葉を疎生す。葉柄は細長く、滑澤にして淡褐色を呈し、長さ4·5-7·5糎（1·5-2·5寸）許、葉身は草質にして薄く、卵形にして通常2回乃至3回羽狀に分裂し、長さ4·5-9糎（1·5-3寸）許に達す。各裂片は披針狀三角形をなし、最下の小裂片は更に分裂し、終裂片は、裸葉にありては倒卵形・稍鈍圓緣をなし、實葉にありては線狀長橢圓形にして、頂裂片は稍大なり。子嚢群は廣闊にして下面に接續し着生す。〔分布〕本州中部。

14. イハオモダカ屬　CYCLOPHORUS.

7697. **いはおもだか**（白圖-31）……ノキシノブ科
Cyclophorus hastatus, *C. Chr.*（*Polypodium tricuspe, Sw.*）

〔形態〕深山の樹上に自生する常綠の羊齒類なり。地下の根莖は粗大にして披針形をなせる鱗片を被り、葉柄は共質硬く、15-18糎（5-6寸）の長さを有す。葉は共質極めて硬く、通常長柄上に3裂せる戟形の葉身を着け、稍オモダカの葉に類似し、裏面には褐色粉狀の毛茸を密生す。子嚢群は細粒狀にして、裂片の中肋邊緣間に9乃至12列をなして密生す。〔分布〕北海道・本州・九州。

人生との關係　觀賞用として往々培養せらる。

7698. **びろうどしだ**（8圖版-69）……ノキシノブ科
Cyclophorus linearifolius, *C. Chr.*（*Neonipopsis linearifolia, Nakai.*）

〔形態〕暖國の山地岩石又は樹上等に自生する羊齒類の一種なり。地下の根莖は赤褐色の絲狀毛を密生し、長く横走す。葉は葉柄を缺き、革質・舌形にして、長さ8·5糎（2·8寸）内外を有し、全緣にして上面疎に、下面は密に赤褐色の軟毛を布く。子嚢群は中肋の各側に單排列をなす。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

7699. **ひとつば**（8圖版-70）……ノキシノブ科
Cyclophorus lingua, *Desv.*（*Nipholobus Lingua, Spreng.*）

（異名）いはぐみ・いはのかは・いはがしは・からひとつば
〔形態〕本州中部以南の暖國山地の岩面又は樹幹上に自生する常綠の羊齒類にして、根莖は赤褐色の披針形鱗を被り横走す。葉柄は9-12糎（3-4

寸)乃至21-24 糎(7-8 寸)内外に達し,星狀をなせる細鱗片を散生す。葉身は革質・長橢圓形又は披針形にして先端尖り,楔脚若しくは鈍脚をなし,長短一樣ならず。其質極めて厚く,分裂することなく,表面暗綠色を呈し,下面星狀細鱗を密布す。胞葉は裸葉に比すれば稍狹く,下面は赤褐色にして圓形或は長橢圓形の子嚢群を密布す。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球・臺灣。

人生との關係　觀賞用として盆栽等に用ふることあり。

32 ししひとつば　　33 おほひとつば

7700. **ししひとつば**（白圖-32）……ノキシノブ科
Cyclophorus lingua, *Desv.* forma cristatus, *Makino.*

〔形態〕前種ヒトツバの一品種にして,葉身の先端不齊に分裂せる種類なり。〔分布〕邦内各地。

7701. **おほひとつば**（白圖-33）……ノキシノブ科
Cyclophorus grandissimus, *Hayata.*

〔形態〕暖地に自生する氣生羊齒類の一種にして,根莖は披針狀線形の鱗片を被り匍匐性なり。每春根莖より長さ30 糎(1 尺)以上に達する稍無毛にして平滑なる葉柄を抽く。葉身は前種ヒトツバより大なる披針形にして先端尖り,緣邊波樣をなし,基脚截形を呈して稍耳垂す。下面は星毛を布き且つ中肋の兩側を除きて,子嚢群を密生す。〔分布〕臺灣。

7702. **ひとつばまめづた** …… ノキシノブ科
Cyclophorus adnascens, *Desv.*

(異名) ひめひとつば　〔形態〕暖地の山野・樹上又は岩上等に自生する羊齒類の一種なり。根莖は細長く,硬質にして,線形をなせる脫落生の鱗片を被り,橫走して地上に0-6-2-4 糎(2-8 分)許の長さを有する硬質の葉柄を生ず。裸葉は疎生し,橢圓形或は篦形をなす。實葉は密生して細長く,長さ15-30 糎(0-5-1 尺)に達し,下面に白氈毛を布く。子嚢群は實葉の先端狹長部の下面に沈在・滿布す。〔分布〕臺灣。

15. ナヨシダ屬　CYSTOPTERIS.

7703. **なよしだ**（8 圖版-71）……ノキシノブ科
Cystopteris fragilis, *Bernh.*

〔形態〕高山に自生する多年生の羊齒類にして,地下に根莖を有し,之より長さ9-15 糎(3-5 寸)許ある葉を生ず。葉柄は長さ4-5-9 糎(1-5-3 寸)許を有し,葉身は全形卵狀披針形を呈し,草質にして長さ9-21 糎(3-7 寸)許概ね2 回羽狀に分裂す。各裂片は稍卵形をなして對生し,更に深裂す。各小片は長橢圓狀菱形にして,緣邊鋸齒を有し,鈍頭をなす。子嚢群は各小裂片の下面に2 乃至12 箇を散生し,球形にして茶褐色を呈し,包膜は膜質にして稍圓形なり。〔分布〕樺太・千島・北海道。

7704. **ひろはなよしだ** …… ノキシノブ科
Cystopteris sphaerocarpa, *Hayata.*

〔形態〕暖地の高山に自生する羊齒類にして,地下に根莖を有す。葉柄は長さ18 糎(6 寸)許を有し,其質軟弱にして,基脚卵狀長橢圓形鱗を散生す。葉身は三角形・鋭尖頭をなし,草狀膜質にして2 回羽狀複葉をなし,長さ12 糎(4 寸)許に達す。下部の羽片は長くして短柄を有し,披針形にして長さ3 糎(1 寸)以上に達し,小羽片は斜卵形にして更に羽裂す。裂片は長橢圓形にして分裂し,細鋸牙緣をなす。子嚢群は球形を呈し,終裂片の基脚に着生し,包膜は廣圓形にして不齊齒牙緣をなす。〔分布〕臺灣。

7705. **うすひめわらび**（白圖-34）…… ノキシノブ科
Cystopteris japonica, *Luerss,*

〔形態〕本州の南方暖地の山野に自生する羊齒類にして,葉柄は細長く,基脚卵狀披針形鱗を被る。葉は卵形にして3 回羽狀に分裂し,終裂片は長橢圓形にして鋸齒緣を有し,子嚢群は各裂片に單生す。〔分布〕四國・九州。

34 うすひめわらび

16. シノブ屬　DAVALLIA.

7706. **しのぶ** 海州骨碎補（8 圖版-72）……ノキシノブ科
Davallia Mariesii, *Moore.*

〔形態〕各地の山地樹上或は岩上に普通なる多年生羊齒類にして,根莖は黑褐色の毛茸を密生し,匍匐して處々に葉を生じ,簇生することなし。葉柄は其質硬く,長さ7-5-9 糎(2-5-3 寸)許を有す。葉は數回羽狀に分裂し,全形稍三角形にして,長さ18-30 糎(0-6-1 尺)許に達し,終裂片は長橢圓狀菱形をなす。夏日褐色の杯形をなせる包膜を有する子嚢群を終裂片下面の過半部に着生す。〔分布〕本州各部・四國・九州・臺灣。

人生との關係　夏季の觀賞用植物として,シノブ玉を造り,軒下等に吊し愛玩に供せらる。

17. ツルカグマ屬　DENSTAEDTIA.

35 こばのいしかぐま　　36 つるかぐま

7707. **つるかぐま**（白圖-36）…… ノキシノブ科
Denstaedtia scandens, *Moore.*

〔形態〕暖國に自生する羊齒類にして,地下に匍匐性の根莖を有す。葉は概ね3 回羽狀に分裂し,各裂片は離生し,稍革質にして毛を有せず。先端延びて攀緣性をなす。小裂片は披針形にして鈍頭なり。子嚢群は極めて小さくして裂片の灣部に着生す。〔分布〕臺灣。

PL. 8.

7708. **こばのいしかぐま**（白圖-35）…… ノキシノブ科
Denstaedtia scabra, *Moore.*

〔形態〕本州中部以南の暖地に自生する多年生の羊齒類にして，葉柄は赤褐色を呈し，粗毛を被る。葉は2回羽狀複葉にして全形稍三角形或は披針形を呈し，草質にして稍毛を有し，長さ21-75糎（0·7-2·5尺）許に達す。小羽片亦披針形をなし，下片は羽狀に深裂し，深裂片は長橢圓形をなす。子嚢群は2乃至6箇を葉緣に近き諸脈に頂生し，包膜は杯狀球形をなす。
〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

7709. **たいわんたかわらび**（8圖版-73）…ノキシノブ科
Denstaedtia Smithii, *Moore.*

〔形態〕暖地に自生する多年生羊齒類の一種なり。葉身は革質にして重羽狀複葉をなすか或は羽狀に分裂し，下部の羽片は長さ21-30糎（0·7-1尺）幅7·5-9糎（2·5-3寸）許を有す。小羽片は線狀にして先端尖り，裂片は細長くして銳頭なす。下部裂片は長さ1·2糎（4分）許を有し，羽軸は稍缺刻狀に羽裂し，下面に腺毛を布く。子嚢群は每裂片に2乃至8箇を着生し，包膜は球狀杯形をなす。〔分布〕臺灣。

18. イハヤシダ屬 DIPLAZIOPSIS.

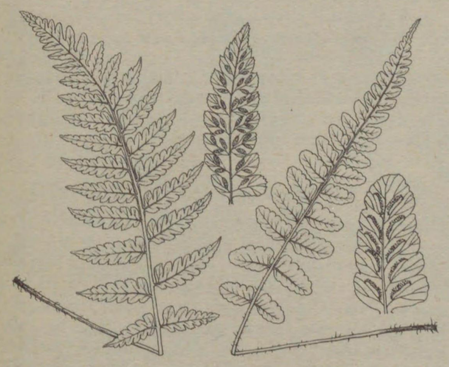
7710. **いはやしだ**（8圖版-74）……ノキシノブ科
Diplaziopsis javanica, *C. Chr.*

〔形態〕本州中部以南殊に四國地方に多く自生する多年生の羊齒類にして，地下の根莖は短く，直生若しくは斜生す。葉柄は細長く，長さ12-30糎（0·4-1尺）以上に達し，基脚膜質の暗褐色鱗を被る。葉は單一羽狀複葉にして60糎（2尺）內外の長さを有し，羽片は線狀披針形にして先端尖り，長さ4·5-15糎（1·5-5寸）許に達す。側脈は再三分岐して狹長橢圓形の網眼をなし，網眼は中脈附近に最も大なり。子嚢群は葉の兩側脈に沿ひて細長き嚢群をなし，一種特徵ある線條を形成す。包膜は細長くして全く子嚢群を包み，成熟すれば不規則に裂開して子嚢を露出す。〔分布〕本州中部・四國・九州。

19. シケシダ屬 DIPLAZIUM.

7711. **しけしだ**（白圖-37）…… ノキシノブ科
Diplazium japonicum, *Bedd.*

〔形態〕山野の陰地に自生する多年生の羊齒類なり。根莖は細長くして擴がる。葉柄は淡褐色にして，基脚鱗片を被り，長さ15-30糎（0·5-1尺）內外に達す。葉は1回羽狀複葉にして，草質・卵狀披針形をなし，長さ9-15糎（3·5寸）許に達し，各羽片も亦羽狀に分裂す。最下部の羽片は殊に深裂し，各深裂片は長橢圓形にして，緣邊に微細なる齒牙を有す。子嚢群は各裂片に3乃至5箇を着生し，中脈・邊緣間の約⅔を占め，長橢圓形にして，初め淡黃色を呈すれども，熟すれば濃褐色に變す。〔分布〕北海道・本州・九州・臺灣。



37 しけしだ　38 ほそばしけしだ

7712. **おほしけしだ**……ノキシノブ科
Diplazium bonincola, *Nakai.*

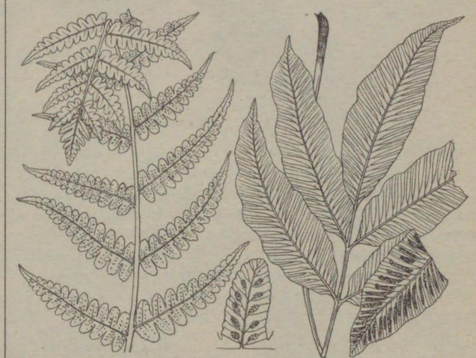
〔形態〕暖國に自生する羊齒類にして，根莖は斜上直生す。葉柄は長さ21-30糎（0·7-1尺）內外を有し，基脚黑褐色の膜質鱗片を密生し，上部には細長き鱗片を散生す。葉身は卵狀長橢圓形にして，長さ30-60糎（1-2尺）許，各側20乃至25片に羽狀分裂し，最下羽片は最も長く，長さ15-24糎（5-8寸）內外に達し，各側羽片は更に羽狀に分裂す。小裂片は長橢圓形にして，鈍齒牙緣を有し，葉脈は叉岐するか或は分岐せず。子嚢群は長さ0·9-4·5粍（0·3-1·5分）內外を有し，膜質の包膜を具へ，子嚢は褐色を呈す。
〔分布〕小笠原島。

7713. **ほそばしけしだ**（白圖-38）…… ノキシノブ科
Diplazium Conilii, *Makino.*

〔形態〕各地山野の陰地に自生する多年生羊齒類なり。地下の根莖は橫走し，葉柄は羽軸と共に鱗形鱗を被る。葉は羽狀複葉なるか或は羽狀に分裂し，全形稍狹披針形をなす。羽片は鈍頭にして鈍齒牙緣をなすか或は更に羽狀に分裂す。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州（屋久島）。

7714. **ひとつばしけしだ**…… ノキシノブ科
Diplazium Conilii, *Makino.* var. simplicifolium, *Makino.*

〔形態〕暖國に自生する羊齒類の一種なり。葉は單一なる披針狀線形にして先端尖り，緣邊は裂片狀鈍齒牙緣をなし，長き葉柄を有する一種なり。
〔分布〕四國。



39 しけちしだ　40 きのぼりしだ

7715. **しけちしだ**（白圖-39）…… ノキシノブ科
Diplazium Hookerianum, *Koids.* (*Gymnogramme decurrenti-alatum, Hook.*)

（異名）おほみぞしだ　〔形態〕本州南部の濕潤なる地に自生する多年生の羊齒類にして，根莖は地中に存し，葉柄は軟弱・褐色にして，長さ45糎（1·5尺）許を有し，基脚披針形鱗を被る。葉は羽狀複葉にして草質・全形稍三角形を呈し，長さ45糎（1·5尺）許，下部の羽片は最大なり。羽片は更に羽狀に深裂し，各裂片は長橢圓形にして細齒牙緣をなす。子嚢群は各裂片の中肋・邊緣の中部に着生す。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

7716. **きのぼりしだ**（白圖-40）…… ノキシノブ科
Diplazium fraxinifolium, *Presl.* (*Asplenium bantamense, Bak.*)

〔形態〕暖國に自生する多年生羊齒類の一種なり。葉柄は其質硬く，長さ15-30糎（0·5-1尺）許に達し，稍裸出して平滑なり。葉は大形なる1箇の頂片と左右に1乃至4分裂せる側片とよりなり，革質にして長さ21-45糎（0·7-1·5尺）許を有す。側裂片は，長さ15-21糎（5-7寸），徑3-4·5糎（1-1·5寸）許を有し，銳頭・楔脚にして全緣なり。子嚢群は細長くして長さを異にし，稍中肋・邊緣に達す。〔分布〕九州（大島・屋久島）・琉球。

7717. **へらしだ**（8圖版-75）……ノキシノブ科
Diplazium lanceum, *Presl.*

（異名）いはみの　〔形態〕陰地・溪側等に自生する常綠の多年生羊齒類の一種なり。根莖は細長くして擴がり，暗褐色の鱗片を以て被はる。葉は疎らに根莖より生じ，葉柄は細長くして質硬く，毛狀鱗を散生し，葉身より短し。葉身は狹長なる披針形にして兩端漸次狹窄し，緣邊波狀樣鋸齒を有す。子嚢群は葉の上部又は其の全面に並列し，線形にして長さ6-9粍（2-3分）に達し，眞直又は稍彎曲す。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球・小笠原島・臺灣。

7718. **まきのしだ**（白圖-41）…… ノキシノブ科
Diplazium Makinoi, *Yabe.*

〔形態〕暖地に自生する羊齒類の一種にして，葉柄は長さ 18–21 糎（6–7 寸）許を有し，黑色鱗片を散生す。葉は單一羽狀複葉にして，全形稍多肉なる草質にして圓く，長さ 23 糎（7·5 寸）許に達す。羽片は披針形にして先端線狀に尖り，不齊齒緣をなす。子嚢群は細短く，羽片中脈の兩側に單列密生す。〔分布〕臺灣。

41 まきのしだ　　42 じやかうしだ

7719. いよくじゃく …… ノキシノブ科
Diplazium Okudairai, *Makino.*

〔形態〕暖國に自生する多年生の羊齒類にして，根莖は匍匐性をなし，少數の葉を生ず。葉柄は細長く，長さ 18–21 糎（6–7 寸）許を有し，基脚線形の鱗片を以て被はる。葉は單一羽狀複葉にして，全形軟質の廣披針形をなし先端尖り，長さ約 30 糎（1 尺）許を有す。羽軸は上部に狹翼を具へ，背面鱗片を散生す。羽片は短柄により各側に 13 乃至 14 片を排列し，披針形にして稍接在し，粗齒牙緣を有す。齒片は更に少數の細齒緣をなし，子嚢群は上部基底の細脈に着生し，包膜は全緣なり。〔分布〕四國。

7720. きよたきしだ …… ノキシノブ科
Diplazium squamigerum, *Christ.*

〔形態〕本邦南部の稍險遏なる山野に自生する多年生の羊齒類にして，シケシダに類似す。葉柄は細長く，長さ 15–18 糎（5–6 寸）許を有し，黑色の鱗片を密布す。葉は重羽狀複葉にして，草質をなせる三角形をなし，長さ 30–36 糎（1–1·2 尺）許に達し，下部の羽片は頂端を除き更に羽狀複生をなす。小羽片は長さ 3·6 糎（1·2 寸）許を有し，鈍頭にして緣邊廣く分裂す。子嚢群は細長くして彎曲し，葉緣に達せず。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

7721. じゃかうしだ（白圖-42） …… ノキシノブ科
Diplazium odoratissimum, *Hayata.*

〔形態〕暖地に自生する羊齒類の一種にして，地下の根莖は斜上生をなし稍肉質なり。葉柄は長さ 30 糎（1 尺）內外を有し，基脚黑褐色の線狀鱗を被る。葉は單一羽狀複葉にして，草狀膜質の長橢圓形をなし，長さ 40 糎（1·3 尺）許に達す。羽片は長橢圓狀披針形にして先端緩く尖り，全緣にして葉柄は之を缺く。頂羽片は長橢圓狀三角形にして先端尖り，下部各側更に 2–3 裂し，各裂片は三角形銳頭をなす。子嚢群は蟲狀線形をなし，羽片の中脈近くに着生す。〔分布〕臺灣。

7722. うらいしだ（白圖-43） …… ノキシノブ科
Diplazium uraiense, *Rosenst.*

〔形態〕南方島地の山野に自生する稍大形の多年生羊齒類にして，全株稍青綠色を呈す。地下の根莖は共質硬く，稍斜上生にして鱗毛を被る。葉柄は長さ 30 糎（1 尺）以上に達し，葉は重羽狀複葉にして，稍革質をなせる長三角形をなす。羽片は披針形にして先端尖り，中羽片は緣邊深裂し，上片に至るに從ひ淺裂して各裂片は鈍頭をなす。子嚢群は星狀にして，各裂片の緣邊に沿ひて排列し，褐色を呈す。〔分布〕臺灣。

7723. のこぎりしだ（白圖-44） …… ノキシノブ科
Diplazium Wichurae, *Diels.*

（異名）やぶくじゃく　〔形態〕本州中部以南各地の山野に自生する多年生の羊齒類にして，地下の根莖は共質硬くして擴がる。葉柄は 15–30 糎（0·5–1 尺）許の長さを有し，淡褐色にして基脚鱗片を被る。葉は單一羽狀複葉にして，長さ 30 糎（1 尺），徑 15–18 糎（5–6 寸）許に達し，草質なり。下部の羽片は長さ 7·5–9 糎（2·5–3 寸）許を有し，先端尖り，且つ往々分裂す。上側は耳垂し，下側は斜截脚にして，子嚢群は葉の下面に着生し，邊緣に達せず。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·臺灣。

43 うらいしだ　　44 のこぎりしだ

20. マメヅタ屬 DRYMOGLOSSUM.

7724. まめづた 瓜子金（9 圖版-76） …… ノキシノブ科
Drymoglossum microphyllum, *C. Chr.*

（異名）まめづる·まめごけ·いしまめ·いはまめ　〔形態〕山地の樹幹又は岩石上に着生する多年生の羊齒類にして，根莖は絲狀をなして匍匐し，時に 1·5–1·8 米（5–6 尺）の長さに達し，暗褐色の細鱗片を散生す。葉は 2 形を有し，裸葉は共質厚く，通常卵圓形又は圓形にして，長さ 0·6–1·8 糎（2–6 分）許，多數を有し，實葉は長柄を具へ，狹長にして少數なり。子嚢群は細長く，中肋と葉緣の中間に滿布す。〔分布〕本州各部·四國·九州·臺灣。

7725. たいわんまめづた（9 圖版-77） …… ノキシノブ科
Drymoglossum obovatum, *Christ.*

〔形態〕暖地に自生しマメヅタに類する羊齒類の一種にして，主に臺灣に自生す。葉はマメヅタと同じく 2 形を有し，裸葉は 0·6–1·2 糎（2–4 分）許ある葉柄を有し，倒卵形にして，長さ 1·2–2·4 糎（4–8 分）內外。實葉は裸葉より長き葉柄を具へ，葉身は 2·4–3·6 糎（0·8–1·2 寸）許に達す。子嚢群は實葉の下面中脈に接近して着生す。〔分布〕臺灣。

7726. りうきうまめづた …… ノキシノブ科
Drymoglossum obovatum, *Christ.* var. lutchuense, *Nakai.*

〔形態〕タイワンマメヅタの一變種にして，本種も亦 2 形葉を有す。裸葉は長橢圓狀倒卵形或は稀に圓形をなし，葉柄は 1·8–2·6 粍（0·6–8·5 分）許の長さを有し，實葉は楔形或は篦狀線形にして稀に 2 裂し，葉柄は長さ 0·5–4·5 糎（0·3–1·5 寸）許を有す。〔分布〕琉球。

21. クラガリシダ屬 DRYMOTAENIUM.

7727. くらがりしだ（9 圖版-78） …… ノキシノブ科
Drymotaenium Miyoshianum, *Makino.*

（異名）きひも·おうじのひも　〔形態〕深林中の大樹幹に着生する多年生の羊齒類にして，根莖は匍匐し，黑色鱗毛を生ず。葉は 21–24 糎（7–8 寸）より 42–45 糎（1·4–1·5 尺）許の長さに達し，多肉にして肥厚せる狹線形をなし，上面には縱溝·下面には廣濶なる中肋を有し，網狀をなす。子嚢群は葉の下面，中脈の兩側にある狹溝中に一直線をなして密生し，包膜を缺く。本植物は，名和靖氏が，飛騨國落合村字「暗ガリ」にて始めて發見せられたるものなるを以て此名ありと云ふ。〔分布〕本州中部及南部。

22. ヲシダ屬 DRYOPTERIS.

PL. 9.

76 まめづた　　77 たいわんまめづた　　78 くらがりしだ

79 をしだ　　80 ほしだ　　81 けほしだ

82 なんたいしだ　　83 みやまわらび　　84 とうごくしだ

7728. **をしだ**（9圖版-79）…… ノキシノブ科
Dryopteris crassirhizoma, *Nakai.*

（異名）めんま・みやまみので　〔形態〕深山の樹下に自生する大形の多年生羊齒類にして，地下の根莖は綠色を呈して頗る肥厚し，葉を輪狀に叢生す。葉柄は長さ 9-30 糎（0·3-1 尺）內外を有し，羽軸と共に褐色或は黑褐色の鱗片を密布す。充分發育せる葉は單一羽狀複葉にして，長さ 0·9-1·2 米（3-4 尺）に達し，全形革質の倒披針形をなし先端尖る。羽片は披針形又は狹披針形にして，兩面共に褐色軟毛を布き，羽狀に深裂し，深裂片は長橢圓狀方形·鈍頭にして細鋸齒緣をなす。子囊群は腎臟形をなし，裂片の中脈邊緣間に 2 列に着生し，內に暗褐色の胞子を含む。包膜は黑褐色にして，稍圓形をなす。〔分布〕北海道·本州·四國。

人生との關係　本植物の根を「綿馬根」と稱し，驅蟲劑に供す。

7729. **ほしだ**　金粉草·金星草（9圖版-80）　ノキシノブ科
Dryopteris sophoroides, *O. Kuntze.*

〔形態〕稍乾燥せる山野に普通なる多年生の羊齒類にして，全株短毛を密布す。葉柄は細長く，淡褐色を呈し，30 糎（1 尺）許の長さを有す。葉は單一羽狀複葉にして紙樣草質をなし，長さ 30-60 糎（1-2 尺）許に達す。羽片は卵形乃至披針形にして先端尖り，長さ 9-15 糎（3·5 寸）許を有し，更に整齊淺裂若しくは中裂し，裂片は長橢圓狀三角形をなし，先端著しく細長く，恰も穗の如き狀を呈するを以てこの名あり。夏日各裂片緣邊に黃褐色の子囊群を着生す。〔分布〕本州中部及南部·九州·臺灣。

7730. **たいわんほしだ** …… ノキシノブ科
Dryopteris arida, *O. Kuntze.*

〔形態〕暖地に生ずる羊齒類の一種なり。葉柄は無毛·平滑にして，長さ 30 糎（1 尺）內外に達し直生す。葉は羽狀複葉にして革質をなし，長さ 0·9-1·2 米（3-4 尺）許に達す。羽片は長さ 15-21 糎（5-7 寸）許を有し，羽狀に分裂す。各裂片は稍三角形·鈍頭をなし，羽軸は葉の下面と共に無毛なるか或は稍有毛なり。子囊群は中肋と葉緣の間に排列着生す。〔分布〕臺灣。

7731. **おほしだ** …… ノキシノブ科
Dryopteris boninensis, *Kodama.*

〔形態〕本邦南部の島地に自生する多年生の羊齒類なり。葉柄は肉質·淡褐色にして，長さ 45 糎（1·5 尺）許を有し，羽軸と共に細毛を布き，基脚に黑褐色の鱗片を被る。葉は膜質·羽狀複葉にして披針形·銳尖頭をなし，長さ 60 糎（2 尺）以上に達す。羽片は概ね 35 對許を有し，披針形にして，尾狀銳尖頭をなし，羽狀に分裂す。各裂片の兩面諸脈には毛茸を有し，子囊群は裂片下面の中脈に沿ひて排列し，球形をなす。〔分布〕小笠原島。

7732. **いよほしだ** …… ノキシノブ科
Dryopteris Ogatana, *Koidz.*

〔形態〕暖國の山野に自生する羊齒類にして，葉柄は上部に軟毛を生じ，基脚褐色鱗を被り，長さ 30-40 糎（1-1·3 尺）許に達す。葉は膜質の單一羽狀複葉にして，長さ 30 糎（1 尺）內外に達し，全形卵狀披針形をなし，先端急に銳尖なり。羽片は各側に 4 乃至 12 箇を排列し，披針形·銳尖頭にして有柄或は短柄を具へ，中肋の兩側には逆毛を密生す。羽片は更に又羽狀分裂をなし，各裂片は全緣にして，下面の脈上に毛茸を生ず。子囊群は圓腎臟形をなし，各裂片の下面に 2 列排列をなす。〔分布〕四國。

7733. **けほしだ**（9圖版-81）…… ノキシノブ科
Dryopteris parasitica, *O. Kuntze.*

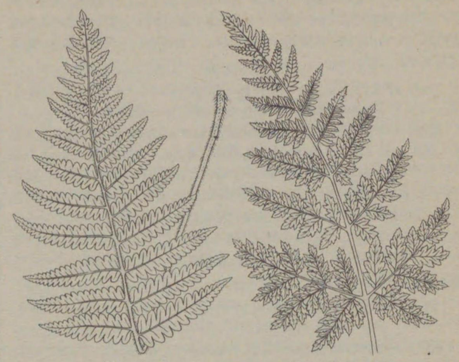
〔形態〕南方暖地の山野に自生する多年生の羊齒類にして，全株細毛を布く。葉柄は根莖より簇生し，細長くして 30 糎（1 尺）許の長さに達し，葉は草質の單一羽狀複葉にして，長さ 30-60 糎（1-2 尺），徑 18-30 糎（0·6-1 尺）許に達す。羽片は細長く，9-15 糎（3-5 寸）許の長さを有し，羽狀に中裂し，裂片は鎌狀長橢圓形をなす。子囊群は裂片の下面に隔離して列生す。〔分布〕九州·小笠原島·臺灣。

7734. **てつほしだ** …… ノキシノブ科
Dryopteris unita, *O. Kuntze.*

〔形態〕本州南部以南の各地に自生する多年生羊齒類なり。葉柄は長さ 30-45 糎（1-1·5 尺）許を有し，褐色にして稍平滑なり。葉は革質·單一羽狀複葉にして，長さ 30-60 糎（1-2 尺）許に達し，羽片は細長く，長さ 9-12 糎（3-4 寸）許，更に羽狀に淺裂若しくは中裂し，各裂片は三角形·銳頭をなす。子囊群は裂片の緣邊に近く着生す。〔分布〕本州南部·四國·九州·琉球。

7735. **みぞしだ**（白圖-45）…… ノキシノブ科
Dryopteris africana, *C. Chr.*

（異名）きんぎょしだ　〔形態〕山林·原野等に多く自生する多年生の羊



45 みぞしだ　　46 おほみぞしだ

齒類にして，全株細毛を布く。地下の根莖は伏臥生をなし，多數の葉柄を稍簇生し，葉柄は長さ 15-30 糎（0·5-1 尺）許に達し，基脚披針形鱗を被る。葉は羽狀複葉にして，長さ 30-45 糎（1-1·5 尺）內外に達し，淡綠色を呈す。各羽片は更に羽狀に深裂し，各裂片は長橢圓形にして全緣なり。子囊群は小形にして，包膜を缺き，裂片の下面に散生す。〔分布〕北海道·本州·九州·琉球·臺灣。

7736. **みぞしだもどき** …… ノキシノブ科
Dryopteris pseudo-africana, *Makino.* et *Ogata.*

〔形態〕山野に自生する羊齒類にして，根莖は橫走し，卵形鱗を生ず。葉柄は長さ 18-45 糎（0·6-1·5 尺）許を有し，淡褐色を呈し，葉は草質·單一羽狀複葉にして，長さ 24-45 糎（0·8-1·5 尺）許，全形披針狀長橢圓形をなし，下面に軟毛を密布す。羽片は線狀披針形にして羽狀に分裂し，裂片は長橢圓形·鈍頭をなし，全緣にして羽軸には剛毛を生ず。子囊群は圓形にして裂片の中脈と邊緣の中部に着生し，包膜は之を缺く。〔分布〕本州中部。

7737. **おほみぞしだ**（白圖-46）…… ノキシノブ科
Dryopteris squamaestipes, *C. Chr.*

〔形態〕暖地に自生する羊齒類にして，葉柄は根莖より簇生し，45-60 糎（1·5-2 尺）內外の長さを有し，初め絨毛を布く。葉は草質にして，長さ 0·9-1·2 米（3-4 尺），徑 30 糎（1 尺）許に達し，15-18 糎（5-6 寸）許の長さを有する羽狀に分裂す。羽片は更に羽狀に深裂し，各裂片は全緣にして互に接近す。下部の羽片は耳形をなし，基脚腺體を伴ひ，羽軸には絨毛を布く。〔分布〕臺灣。

7738. **なんたいしだ**（9圖版-82）……ノキシノブ科
Dryopteris callopsis, *C. Chr.*

（異名）やましのぶ　〔形態〕山地に自生する多年生の羊齒類にして，地下に根莖を有す。葉は根莖より生じ，高さ 30 糎（1 尺）許に達する膜質の數回羽狀複葉にして，葉柄は比較的長く，基部は黑褐色鱗を被る。羽片は有柄にして三角狀披針形·銳尖頭をなし，終羽小片は菱狀長橢圓形にして銳齒牙緣をなす。子囊群は終羽片の緣邊に近く着生し，宿存生の包膜を有す。〔分布〕本州中部及南部·九州。

7739. **みやまわらび**（9圖版-83）…… ノキシノブ科
Dryopteris phegopteris, *C. Chr.*

（異名）うすわらび　〔形態〕深山の樹下等に自生する多年生の小羊齒類にして，地下には疳長なる根莖橫走し，淡褐色の鱗片を有す。葉柄も亦細長くして根莖上に疎生し，基脚卵狀披針形鱗を被る。葉は通常葉柄より短く，草質·羽狀複葉にして三角狀卵形をなし，先端尖り，長さ 18 糎（6 寸）內外に達し，兩面共に有毛なり。羽片は各側に 8 乃至 10 片を排列し，狹長橢圓狀披針形にして羽狀に深裂し，各裂片は長橢圓狀卵形をなし，上部の羽片と基部裂片は共に羽軸に沿着す。子囊群は裂片の緣邊に近く列生し，橢圓形にして包膜を有せず。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州·四國·九州。

7740. **とうごくしだ**（9圖版-84）…… ノキシノブ科
Dryopteris cystolepidota, *C. Chr.*

（異名）ひろはべにしだ　〔形態〕本州中部以南の山地に自生する大形の常綠羊齒類にしてベニシダに類似す。葉柄は細長く，羽軸と共に下部に黑褐色の細長き鱗片を有す。葉身は稍長形の二等邊三角形をなせる 2 回羽狀複葉にして，各側には概ね披針形の約 12 箇の羽片を排列し，羽片は更に

各側に 12 乃至 16 の小羽片を有し．披針狀長楕圓形にして緣邊には稍波狀をなせる小鋸齒を有す。下部の小羽片は斜長楕圓形に分裂し．裂片は細鋭鋸齒緣をなす。子囊群は中軸の兩側に沿ひて着生す。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

7741. **げじげじしだ** (10 圖版-85) ········ ノキシノブ科
Dryopteris decursivo-pinnata, *O. Kuntze.*

〔形態〕到る處の隱地に最も普通なる多年生の羊齒類にして．葉の大なるものは長さ 45-48 糎 (1·5-1·6 尺) に達す。葉柄は毎年根莖より簇生し．長さ 7·5-9 糎 (2·5-3 寸) 內外を有し．中軸と共に褐色の毛茸を有す。葉身は稍披針狀長楕圓形をなせる單一羽狀複葉にして．各羽片は細長く．長さ 2·4-4·5 糎 (0·8-1·5 寸) 許を有し．基脚羽軸翼によりて聯結し．稍斜上して互生し．羽狀に中裂す。其狀恰も節足動物の「ゲジゲジ」に似たるを以て此名あり。子囊群は細小にして多數を有し．包膜なく．下面中脈邊緣の中央に着生す。〔分布〕本州各部·九州·臺灣。

7742. **べにしだ** (10 圖版-86) ············ ノキシノブ科
Dryopteris erythrosora, *O. Kuntze.*

〔形態〕各地の山地に普通なる大形常綠の多年生羊齒類なり。葉柄は長さ 15-21 糎 (5-7 寸) 許を有し．細長き鱗毛を被る。葉身は卵狀披針形をなせる 2 回羽狀複葉にして．長さ 30-45 糎 (1-1·5 尺) 內外に達し．其質剛硬にして．上面稍光澤を帶ぶ。羽片は疎に中軸に互生し．披針形にして平開又稀に斜上し．通常淡綠色を呈すれども．若き時は紅褐色を帶び．最下の羽片殊に大形なり。小羽片は長楕圓形·鈍頭をなし．細鋭齒牙緣をなす。子囊群は各小羽片の下面中脈に近く 6 乃至 9 箇宛を列生し．包膜は初め深紅色を呈す。之れベニシダの名ある所以なり。〔分布〕本州各部·四國·九州·小笠原島·琉球。

47 ちりめんしだ

48 みやまべにしだ

7743. **ちりめんしだ** (白圖-47) ·········· ノキシノブ科
Dryopteris erythrosora, *O. Kuntze.* var. prolifica, *Makino.*

〔形態〕前種ベニシダの一變種にして．時に山地に其自生品を見れども．普通觀賞用として栽培せらるゝ多年生羊齒類の一種なり。概形彼に酷似すれども．全形小さく．葉は 2 回羽狀複葉にして．長さ 15-18 糎 (5-6 寸) より 30 糎 (1 尺) 內外を常とす。小羽片は彼より瘠長にして稍皺縮するの特性を有し．且つ珠牙を生ず。子囊群は各小羽片の下面に着生すること亦彼に相似たり。(栽培種)

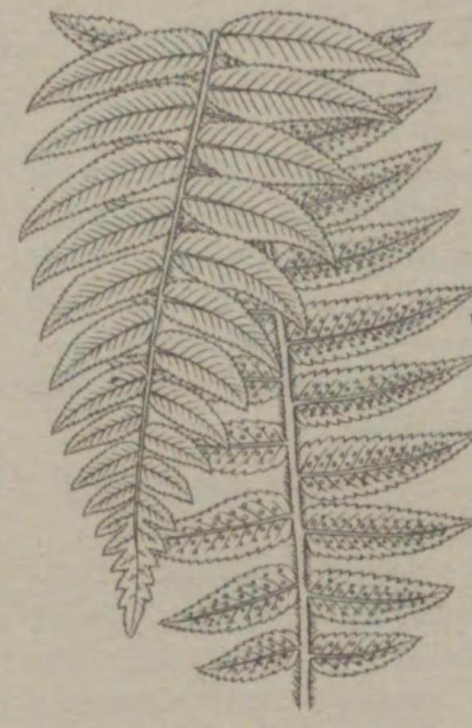
人生との關係　觀賞用として栽植せらる。

7744. **みやまべにしだ** (白圖-48) ········ ノキシノブ科
Dryopteris monticola, *C. Chr.*

〔形態〕高山に自生する多年生の羊齒類にして．地下に塊狀の根莖を有し之れより大なる重羽狀複葉を簇生し．高さ 60 糎 (2 尺) 以上に達す。葉柄は褐色·粗大にして羽軸と共に鱗毛を被り．葉身は草質·卵狀長楕圓形をなす。羽片は細長くして 18 糎 (6 寸) 許の長さを有し先端尖り．短柄によりて各側に 12-18 片を排列す。小羽片は．整齊なる狹長楕圓形にして多數を具へ．細鋸齒緣を有す。子囊群は各小羽片中脈に近く 1 乃至 18 箇を着生し．包膜は全緣なり。〔分布〕北海道·本州北部及中部。

7745. **はしごしだ** (10 圖版-87) ·········· ノキシノブ科
Dryopteris gracilescens, *O. Kuntze.* var. glanduliferum, *Makino.*

〔形態〕本州中部以南地方の山地に自生する多年生羊齒類の一種にして．地表に近く根莖を出し．暗褐色の鱗毛を密生す。春夏の候．根莖より稍ワラビに似たる葉を疎生し．高さ 60 糎 (2 尺) 許に達す。葉柄は細長くして．15-21 糎 (5-7 寸) 許の長さを有して裸出し．葉身は單一羽狀複葉にして．長さ 30 糎 (1 尺) 許を有し．下面稍腺質をなし羽軸には細毛を布く。羽片は疎にして羽狀に深裂し．深裂片は線狀長楕圓形·全緣なり。子囊群は裂片の邊緣に近く着生し．毛緣をなせる包膜を有す。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球·臺灣。



49 いはへご

50 たにへご

7746. **いはへご** (白圖-49) ·············· ノキシノブ科
Dryopteris hirtipes, *O. Kuntze.*

〔形態〕山地に自生する多年生羊齒類の一種にして．葉柄は根莖より叢生し．長さ 30 糎 (1 尺) 許を有し．羽軸と共に黑色絲狀の鱗毛を密生す。葉は單一羽狀複葉にして．羽片は線狀披針形をなし．長さ 9-18 糎 (3-6 寸) 許に達し．羽狀に分裂す。各裂片は鈍頭をなし．子囊群は裂片の中央に着生す。〔分布〕本州中部及南部·九州·臺灣。

7747. **たにへご** (白圖-50) ·············· ノキシノブ科
Dryopteris tokyoensis, *C. Chr.*

〔形態〕山野に自生する多年生の羊齒類にして．根莖は地下に存し．直生或は斜上生をなす。葉は單一羽狀複葉にして．60-90 糎 (2-3 尺) 許の長さを有し．細長き葉柄は根莖の先端に叢生し．褐色の鱗毛を生ず。葉身は革質披針形にして．下面脈上に長毛を疎生す。羽片は狹長披針形にして多數を排列し．羽狀分裂をなし．各裂片は細鋸齒緣を有す。子囊群は上部小羽片の下面に生じ．圓くして腎臟形の包膜を有す。〔分布〕北海道·本州中部及南部·四國。

7748. **はりがねわらび** (10 圖版-88) ······ ノキシノブ科
Dryopteris japonica, *C. Chr.*

〔形態〕山野の陰濕地に自生する多年生羊齒類の一種にして．地下に根莖を有し之れより大形の葉を生ず。葉柄は平滑にして赤褐色を呈し．葉身は單一羽狀複葉をなし．長さ 15-60 糎 (0·5-2 尺) 許に達し．膜質にして全形三角形乃至披針形を呈し先端尖り．兩面細毛を布く。羽片は無柄にして狹披針形をなし．羽狀に分裂す。各裂片は楕圓形·鈍頭にして．羽軸には細毛を密生す。子囊群は各小裂片の基脚兩側に着生し．一方に一缺ある圓形の包膜を有し．灰色を呈す。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

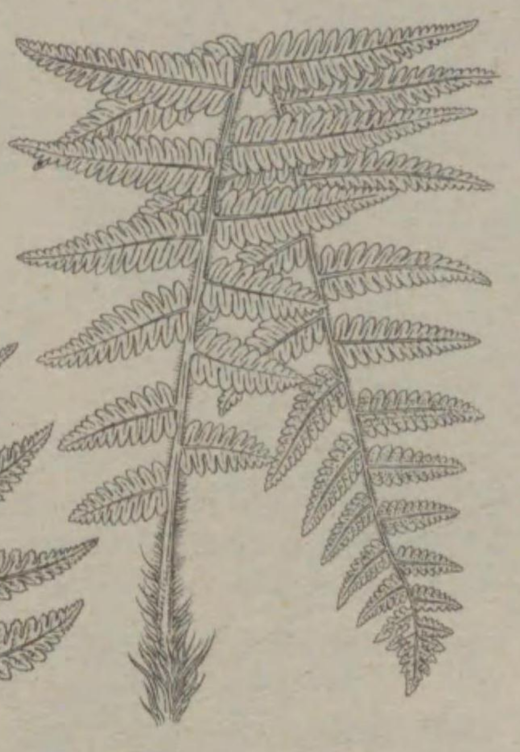
7749. **ひめわらび** (10 圖版-89) ·········· ノキシノブ科
Dryopteris oligophlebia. *C. Chr.*

〔形態〕山野の陰地に自生する大形の羊齒類にして．大なるものにありては．葉の大さ 90 糎 (3 尺) 以上に達するものあり。地下の根莖は短くして擴がり．多くの葉を簇生す。葉柄は長さ 9-60 糎 (0·3-2 尺) 許を有し．基脚黑褐色の鱗毛を密生す。葉は鮮綠色を呈し．重羽狀複葉をなし．葉身は革質·長楕圓狀卵形にして．稍有毛なり。羽片は披針形をなし．最下片最も大なり。小羽片は線狀披針形にして．長さ 3-4·5 糎 (1-1·5 寸) 許を有して更に羽裂し．各裂片は小形なり。子囊群は甚だ小さく．多數を有し．包膜は薄質にして早落生なり。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球·小笠原島·臺灣。

7750. **くまわらび** (10 圖版-90) ·········· ノキシノブ科
Dryopteris lacera, *O. Kuntze.*

〔形態〕主に山地に自生する常綠の羊齒類にして．葉柄は葉身と共に赤褐色の稍粗大なる鱗毛を被る。葉は 2 回羽狀複葉にして．革質·長楕圓形をなし．長さ 30-45 糎 (1-1·5 尺) 許に達す。羽片は各側に 10 乃至 15 片を排列し．更に羽狀に深裂すと雖も．先端に至るに從ひ．愈々淺く遂に鋸齒狀となり．各小羽片は稍全緣なり。子囊群は葉面 ⅓ に限られ．縮小せる小羽片の下面全部を占むるは本種の特徴なり。〔分布〕本州各部·四國·九州。

51 をくまわらび



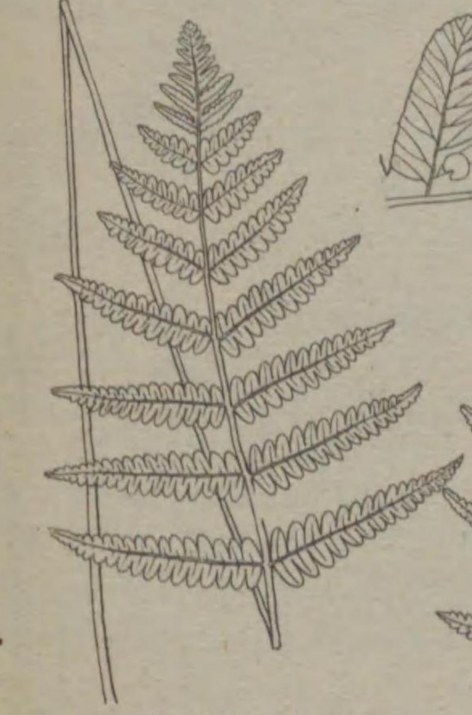
52 みやまくまわらび

7751. **をくまわらび** (白圖-51) ··················ノキシノブ科
Dryopteris uniformis, *Makino.*

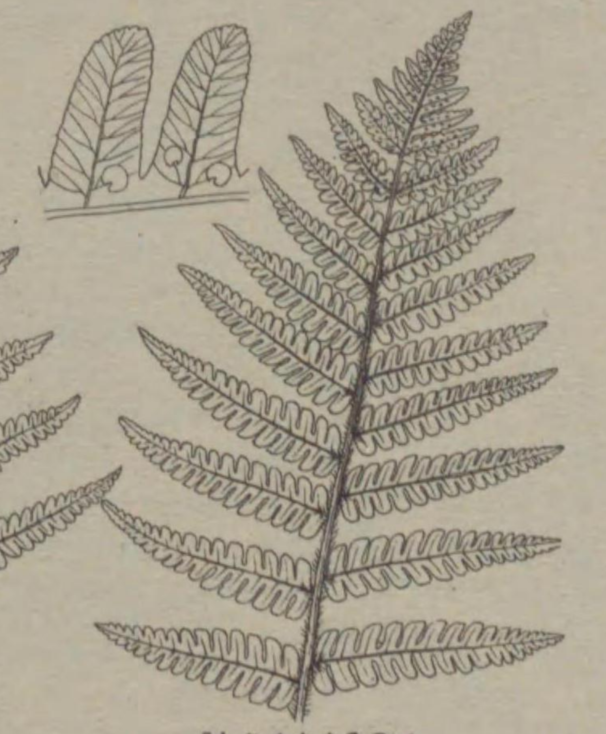
〔形態〕前種クマワラビに酷似せる羊齒類なれども．本種の有する鱗毛は黑褐色を呈し．羽片は羽軸の兩側に 16 乃至 22 片を排列す。其他概形彼に同じ。〔分布〕本州各部·四國·九州。

7752. **みやまくまわらび** (白圖-52) ········ ノキシノブ科
Dryopteris polylepis, *C. Chr.*

(異名) やぐるましだ　〔形態〕深山に自生する多年生の羊齒類にして地下に根莖を有し．多數の葉を叢生す。葉柄は羽軸と共に．黑褐色の毛茸を生じ．葉は草質にして．單一羽狀複葉をなし．長楕圓形若しくは披針形·鋭尖頭にして．長さ 40-60 糎 (1·3-2 尺) 內外に達す。羽片は無柄にして細長く．羽狀に深裂し．各裂片は稍鎌形を呈し．クマワラビに比して狹長なり。子囊群は小羽片の上部裏面に着生すること亦彼に同じ。〔分布〕本州各部·四國·九州。



53 やはらしだ



54 きんまうゐので

7753. **やはらしだ** (白圖-53) ················· ノキシノブ科
Dryopteris laxa, *C. Chr.*

〔形態〕本州中部以南の山野に自生する多年生羊齒類にして．地下に根莖を有し．毎春葉を叢生す。葉柄は軟弱にして細長く．淡褐色を呈し．長さ 12-15 糎 (4-5 寸) 內外に達し．滑澤なり。葉は單一羽狀複葉にして．卵形·鋭尖頭をなし．長さ 15-18 糎 (5-6 寸) 許を有し．亦軟質なり。羽片は披針形にして．各側に 8-10 片を排列し．羽狀に深裂す。深裂片は長楕圓形·鈍頭にして．子囊群は圓く．葉の下面に着生し．腎臟形の包膜を有す。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

7754. **きんまうゐので** (白圖-54) ·········· ノキシノブ科
Dryopteris lepigera, *O. Kuntze.*

〔形態〕本州南部暖地の森林帶に自生する羊齒類にして．葉柄は長さ 30-45 糎 (1-1·5 尺) 許に達し．多くの稜を具へ．基脚鱗毛を密生す。葉は草質にして．長さ 60-90 糎 (2-3 尺)．幅 45-60 糎 (1·5-2 尺) 許を有し．2 回羽狀複葉にして．羽軸の諸部には細長き鱗毛を密生す。最下の羽片は最も大きく．披針形にして往々更に分裂し．各裂片は線狀長楕圓形をなす。子囊群は細小にして多數を着生す。〔分布〕本州南部·四國·九州·小笠原島·臺灣。

7755. こきんまうゐので························ ノキシノブ科
Dryopteris microlepigera, *Nakai.*

〔形態〕南方の溫暖なる島地に自生する羊齒類の一種にして．葉柄は長さ 21-24 糎 (7-8 寸) 許に達し．赤褐色の鬚毛を布き．基脚褐色鱗毛を生ず。葉は重羽狀複葉にして．全形卵圓形を呈し．各側に 16-17 片の羽片を排列す。最下の羽片は長さ 12 糎 (4 寸) 許．更に羽狀に分裂し．羽軸及葉面には毛茸を密生す。各小裂片は羽脈を有し．毛緣をなし．包膜亦毛緣にして小形なり。〔分布〕小笠原島。

7756. しろぐきしだ····························· ノキシノブ科
Dryopteris leucostipes, *C. Chr.*

〔形態〕溫暖なる島地に自生する多年生羊齒類にして．葉柄は細長く．黑褐色の鑿形鱗毛を生ず。葉は概形三角狀を呈し．通常 3 回羽狀に分裂し．上下兩面共に毛茸を密生す。終裂片は線狀長楕圓形をなし．全緣にして．子囊群は各裂片の下面中央部に着生す。〔分布〕臺灣。

7757. しらがしだ······························· ノキシノブ科
Dryopteris Matsumurae, *C. Chr.*

(異名) きよすみひめわらび　〔形態〕本州中部以南の暖地に自生する多年生の羊齒類にして．地下の根莖は塊狀をなして擴がり．多くの葉を叢生す。葉柄は長さ 21-27 糎 (7-9 寸) 許を有し．羽軸と共に褐色鱗毛を生ず。葉は數回羽狀複葉或は數回羽狀に分裂し．全形概ね三角形或は卵形·鋭尖頭をなし．長さ 60 糎 (2 尺) 許に達す。羽片は各側に 10 乃至 12 片を着け．長楕圓狀披針形にして．長さ 24 糎 (8 寸) 許を有す。小羽片は多數に排列し．長楕圓形にして．更に單裂するか或は 2 回羽狀分裂をなし．終裂片は鈍鋸齒緣をなす。子囊群は毎終裂片の中脈邊緣の中部に着生し．包膜は圓腎臟形にして毛緣をなす。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

7758. **ならゐしだ** (10 圖版-91) ·············· ノキシノブ科
Dryopteris Miqueliana, *C. Chr.*

〔形態〕山地に自生する多年生の羊齒類なり。地下の根莖より膜質·三角形をなせる大なる數回羽狀複葉にして．長さ 60 糎 (2 尺) 內外に達し．淡綠色を呈す。終片は倒卵形·鈍頭にして．缺刻狀鋸齒緣をなす。子囊群は各裂片の下面邊緣に單生し．包膜は腎臟形にして毛緣をなす。〔分布〕北海道·本州·四國。

7759. **しのぶかぐま** (10 圖版-92) ·········· ノキシノブ科
Dryopteris mutica, *C. Chr.*

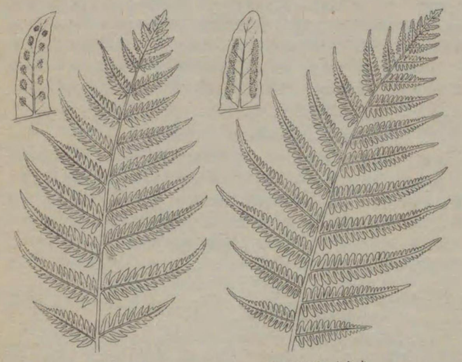
(異名) みやまかなわらび　〔形態〕深山に自生する多年生の羊齒類にして．葉は地下の根莖より叢生す。葉柄は 3 稜柱をなし．下部に褐色の稍大なる鱗片を有し．上部は黑褐色をなせる毛茸を被る。葉は 3-4 回羽狀複葉なるか．或は羽狀に分裂し．三角狀長楕圓形にして．長さ 30-60 糎 (1-2 尺) 內外に達し．革質にして稍糙澀なり。終裂片は稍倒卵形にして．緣邊に波狀の鈍鋸齒を有す。子囊群は圓形の包膜を有し．主に上部の小羽片の邊緣に近く着生す。〔分布〕北海道·本州·四國·九州。

7760. にっくゎうしだ··························ノキシノブ科
Dryopteris nipponica, *C. Chr.*

〔形態〕山地に自生する全株有毛の多年生羊齒類にして．地下の根莖は黑色を呈して擴がる。葉柄は淡黃色にして．基脚に脫離し易き鱗片を有し．長さ 30 糎 (1 尺) 許に達す。葉は革質·披針形にして先端尖り．羽狀に分裂す。羽片亦披針形にして．更に稍羽狀に全裂をなせる 30 有餘の小羽片を中軸に直生し．兩面脈上には細毛を布き．下面の中肋には殊に密生す。各小羽片は楕圓形·鈍頭にして全緣なり。子囊群は成熟すれば．互に癒合して葉面を覆ふ。包膜は初め長粗毛を有すれども．熟すれば脫落す。〔分布〕本州中部。

7761. **いぶきしだ** (白圖-55) ················· ノキシノブ科
Dryopteris ochthodes, *C. Chr.*

〔形態〕江州伊吹山・箱根山等に多く自生する羊齒類の一種なり。根莖は地中に存し、地上に葉を出す。葉柄は長さ 30-60 糎(1-2 尺)內外を有し、稍淡褐色にして質硬く、且つ滑澤にして裸出す。葉は 1 回羽狀複葉にして、長さ 30-60 糎(1-2 尺)に達し、革質なり。羽片は披針形にして、羽狀に分裂し、裂片は對生又は互生す。子嚢群は葉の下面緣邊に生じ、圓腎臟形の包膜を有す。〔分布〕本州中部及南部・九州・臺灣。



55 いぶきしだ　　56 おほばしよりま

7762. おほばしよりま（白圖-56）…… ノキシノブ科
Dryopteris oreopteris, *Maxon.* var. Fauriei, *Miyabe.* et *Kudo.*

〔形態〕高山に自生する羊齒類の一種にして、葉柄は根莖より簇生して短く、羽軸と共に膜質をなせる淡褐色鱗毛を密生す。葉身は單一羽狀複葉にして、草質・長橢圓形をなし、先端銳尖なり。羽片は細長き披針形をなして、中部の羽片最も長し、各羽片は更に羽狀に深裂し、深裂片は長橢圓形・鈍頭にして全緣なり。子嚢群は各裂片の邊緣に近く列生す。〔分布〕千島・北海道・本州・九州。

7763. えびらしだ（10 圖版-93）…… ノキシノブ科
Dryopteris oyamensis, *C. Chr.*

（異名）くらさはしだ・ちくをれしだ　〔形態〕各地の深山に自生する羊齒類の一種なり。根莖は細長くして橫走し、所々に淡褐色にして、菲薄なる鱗片を有する根を出す。葉は根莖より疎生し、葉柄は細長くして、通常葉身より長く、大なるものは 30 糎(1 尺)以上に達す。葉柄の先端、葉身に接する處に關節を有し、互に多少の角度を以て結合せる狀態は、他に其類を見ざる所なり。葉身は稍三角形にして羽狀に深裂し、裂片は各側に 7 乃至 10 片を着け、下部裂片最も大なり。裂片は更に小羽狀に淺裂するか、或は鈍鋸齒緣をなす。葉身は其質柔軟にして、全裏面に子嚢群を散生す。子嚢は橢圓形をなし、大小不同にして包膜を有せず。〔分布〕本州中部及南部・四國。

7764. みやまいたちしだ（10 圖版-94）…… ノキシノブ科
Dryopteris Sabaei, *C. Chr.*

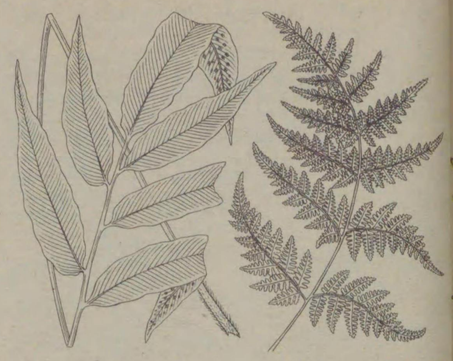
〔形態〕山地に自生する多年生の羊齒類にして、葉柄は 40 糎(1-3 尺)內外の長さを有し、黑褐色の鱗毛を被る。葉は三角狀長橢圓形にして、羽狀に分裂し、長さ 36 糎(1-2 尺)許を有して羽裂し、最下の羽片は最も廣く三角形をなす。最下の小羽片は先端尖り、長さ 9 糎(3 寸)許を有し、裂片は稍齒牙緣をなす。〔分布〕本州中部。

7765. おほみつで（白圖-57）…… ノキシノブ科
Dryopteris Sieboldii, *O. Kuntze.*

（異名）ながさきしだ　〔形態〕暖國の山地に多く自生する多年生の羊齒類なり。葉は地下の根莖より簇生し、葉柄は長さ 15-30 糎(0·5-1 尺)許、基部に鱗毛を生ず。葉身は革質をなせる單一羽狀複葉にして、羽片は短柄を具へ、披針狀長橢圓形をなし、全緣なるか、或は鋸齒緣をなす。子嚢群は大きく且つ圓くして多數を着生し、腎臟形の包膜を有す。〔分布〕九州。

7766. ほそばのいたちしだ（白圖-58）…… ノキシノブ科
Dryopteris subtripinnata, *O. Kuntze.*

（異名）みさきかぐま　〔形態〕各地の山野に自生する多年生の羊齒類にして、地下の根莖は鱗毛を密生し、多數の葉柄を簇生す。葉身は草質にして稍三角形を呈し、羽軸は黑色鱗を被り脫落なり。最下の羽片は三角狀

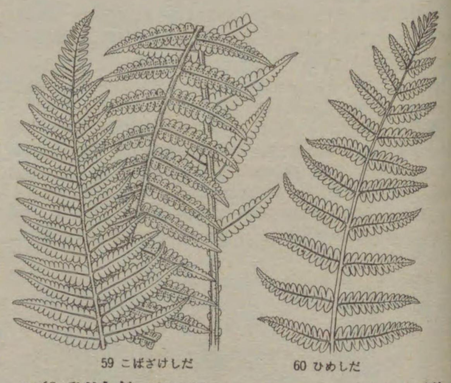


57 おほみつで　　58 ほそばのいたちしだ

披針形にして柄を具へ、兩側不同なり。最下の小羽片は 2 回羽狀に分裂し、終裂片は長橢圓形或は卵狀長橢圓形・全緣、若しくは波狀に羽裂す。子嚢群は多數を着生し、熟すれば著しく隆起し、包膜は小形にして全緣なり。〔分布〕北海道・本州・九州。

7767. こばさけしだ（白圖-59）…… ノキシノブ科
Dryopteris taiwanensis, *C. Chr.*

〔形態〕暖國に自生する多年生羊齒類の一種にして、葉柄には鱗毛を密生す。葉は革質にして羽狀に分裂し、羽片は先端尖り、2 裂片は長橢圓形にして缺刻緣をなす。子嚢群は 2 裂片の中肋各側に 5 乃至 6 箇を着生す。〔分布〕臺灣。



59 こばさけしだ　　60 ひめしだ

7768. ひめしだ（白圖-60）…… ノキシノブ科
Dryopteris thelypteris, *A. Gray.*

（異名）しょりま　〔形態〕各地の原野・路傍等に自生する羊齒類にして、地下に黑色・匍匐の根莖を有し、稍叢生す。葉は羽狀複葉にして、高さ 30 糎(1 尺)より 60 糎(2 尺)內外に達し、葉柄は細く、淡褐色を呈し、無鱗にして平滑なり。葉身は草質・披針形或は長橢圓狀披針形にして、下面に稍毛茸を生ず。羽片は細長き披針形にして、羽狀に深く分裂し、各裂片は長橢圓形・鈍頭にして、全緣なり。子嚢群は裂片支脈中部に着生し、包膜は腎臟形にして毛緣をなす。〔分布〕樺太・北海道・本州・九州。

7769. かうもりしだ（11 圖版-95）…… ノキシノブ科
Dryopteris triphylla, *C. Chr.*

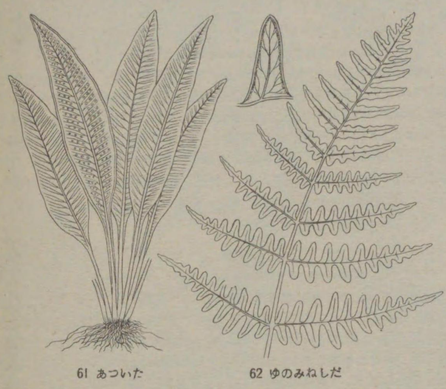
〔形態〕暖國の山麓・樹蔭に自生する多年生の羊齒類にして、根莖は質硬く地下に橫はり、葉柄は細長くして淡褐色を呈し、稍鱗毛を生ず。葉は稍革質をなせる單一羽狀複葉にして、頂羽片は長橢圓狀披針形をなし、楔脚或は圓脚にして、長さ 9-15 糎(3-5 寸)許を有し、各側に 1 乃至 2 片を着生す。本種は葉に 2 樣を有し、裸葉は長さ 9-15 糎(3-5 寸)、實葉にありては長さ 30 糎(1 尺)內外を有すれども、各側の羽片は裸葉に比して小形なり。子嚢群は細長くして、羽片の下面に滿布す。〔分布〕九州・琉球・臺灣。

PL. 10.

85 げじげじしだ
86 べにしだ
87 はしごしだ
88 はりがねわらび
89 ひめわらび
90 くまわらび
91 ならゐしだ
92 しのぶかぐま
93 ねびらしだ

7770. **りゃうめんしだ**（11圖版-96）…… ノキシノブ科
Dryopteris viridescens, *O. Kuntze.*

（異名）こがねわらび・こがねしだ・ぜんまいしのぶ　〔形態〕山地・樹下等に自生する多年生羊齒類の一種なり。地下に塊狀の根莖を有し，多數の葉を簇生す。葉柄は長さ30-45糎（1-1·5尺）許を有し，褐色・滑澤にして，基部に披針形鱗毛を散生す。葉は3回羽狀複葉にして，葉身は草質・鮮綠色を呈し，橢圓形にして，長さ45-60糎（1·5-2尺）內外に達し，下部の羽片は最大なり。小羽片は長橢圓狀披針形にして，終片は稍斜方形を呈し，銳齒牙緣或は往々缺刻狀分裂をなす。夏日，裂片の下面に圓形・茶褐色の包膜を有する子嚢群を着生す。〔分布〕北海道・本州・九州・臺灣。



61 あついた　62 ゆのみねしだ

23. アツイタ屬　ELAPHOGLOSSUM.

7771. **あついた**（白圖-61）…… ノキシノブ科
Elaphoglossum Yoshinagae, *Makino.*

〔形態〕山林・樹間の岩上等に自生する多年生羊齒類にして，地下に根莖を有し，葉柄と共に卵形をなせる鱗片を密生す。葉は數片を接近して簇生し，葉身は披針形にして厚く，且つ分裂せず。葉柄は剛硬にして，長さ2·1-9糎（0·7-3寸）許に達す。實葉は每根莖より1葉を生じ，裸葉に比するに小形なれども，葉柄は反つて長形なり。子嚢群は葉の下面全部に擴がり，胞子は長形にして，1箇の條線を有す。〔分布〕四國。

24. ユノミネシダ屬　HISTIOPTERIS.

7772. **ゆのみねしだ**（白圖-62）…… ノキシノブ科
Histiopteris incisa, *J. Sm.*

（異名）かなやましだ　〔形態〕山地に自生する多年生羊齒類の一種なり。地下の根莖は鱗毛を密生し，葉柄は淡褐若しくは濃褐色にして，剛硬・平滑なり。葉は2乃至3回羽狀複葉にして，草質或は革質をなし，長さ往々1·5-1·8糎（5-6寸）許に達し，下面粉白を布く。裂片は線狀長橢圓形にして，中部裂片は更に羽狀に分裂し，下部裂片は2回羽狀分裂をなし，終裂片は長橢圓形・全緣にして，細脈は稍網狀に結合す。子嚢群は邊緣に接續して着生す。〔分布〕本州南部・九州・小笠原島・臺灣。

25. キクシノブ屬　HUMATA.

7773. **きくしのぶ**（白圖-63）…… ノキシノブ科
Humata repens. *Diels.*

〔形態〕本州中部以南の山地に自生する多年生の羊齒類にして，根莖は赤褐色を呈し，披針形鱗毛を密生す。葉柄は長さ2·1-4糎（0·7-1·3寸）內外を有し，根莖より疎生す。葉は稍羽狀に分裂し，三角形にして先端尖り，長さ3-4·5糎（1-1·5寸），徑2·4-4糎（0·8-1·3寸）許を有し，中軸は翅を伴ふ。各裂片は斜上生にして平開す。上部の裂片は長橢圓形をなして齒狀に淺裂し，最下の裂片は不齊三角形にして，羽狀に深裂す。各小裂片は更に齒狀に淺裂し，下側裂片は上側裂片より濶大なり。子嚢群は葉緣に近く各齒片に着生し，包膜は膜質をなし，底緣に於て着生す。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球・臺灣。

63 きくしのぶ　64 ねだうちほんぐうしだ

26. ホングウシダ屬　LINDSAYA.

7774. **ほんぐうしだ**…… ノキシノブ科
Lindsaya cultrata, *Sw.*

（異名）いりをもていししだ・にせほんぐうしだ　〔形態〕本州南部の暖地に自生する多年生羊齒類の一種にして，地下の根莖は短く，且つ横臥す。葉柄は細長くして其質軟く，長さ7·5-15糎（2·5-5寸）許に達す。葉身は單一羽狀複葉にして，革樣膜質をなし，線狀長橢圓形にして，長さ15-30糎（0·5-1尺）內外に達す。羽片は刀狀橢圓形にして，上側は稍分裂し，子嚢群は葉緣に着生す。包膜は複生にして外方に開口し，內膜は膜質，外膜は葉緣の反捲より成る。〔分布〕本州南部・四國・九州・臺灣。

7775. **えだうちほんぐうしだ**（白圖-64）… ノキシノブ科
Lindsaya orbiculata, *Mett.*

〔形態〕本州南部地方各地の林中・樹下に自生する羊齒類なり。根莖は細長く硬質にして，濃褐色の鱗毛を生ず。葉は2回羽狀複葉を普通とすれども，稀に單一，若しくは3回羽狀複葉をなすことあり。葉身は披針形乃至3稜狀卵形を呈し，長さ6-18糎（2-6寸）許に達し，葉柄は細長くして平滑なり。羽片は各側に1乃至5片を着生し，小羽片は菱狀扇形又は長橢圓形・鈍頭にして鈍齒牙緣を有し，短柄によりて多數を排列す。子嚢群は線狀長橢圓形にして，葉緣內に排列し，包膜は細齒緣をなす。〔分布〕本州南部・四國・九州・小笠原島・琉球・臺灣。

27. クサソテツ屬　MATTEUCCIA.

7776. **くさそてつ**（11圖版-97）…… ノキシノブ科
Matteuccia Struthiopteris, *Todaro.*

（異名）こごめ・こごみ　〔形態〕山地に自生する多年生羊齒類の一種なれども，又往々栽培し觀賞に供せらる。地下の根莖は直生して匐枝を曳く。葉は羽狀に分裂し，其形狀恰もソテツの葉に類似し，下部に至るに從ひ漸次小形となる。子嚢群は裸葉の裏面に着生することなく，別に子嚢體を生じ，褐色にして其狀鳥の羽に似たる實葉を着生し，長さ裸葉より短し。
〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・九州。
人生との關係　往々觀賞用として栽培せらる。

7777. **いぬがんそく**（11圖版-98）…… ノキシノブ科
Matteuccia orientalis. *Trev.*

（異名）おにくさそてつ　〔形態〕山地又は森林中の陰地に自生する多年生の羊齒類にして，高さ60-90糎（2-3尺）許に達す。葉柄は羽軸の若き部と共に膜質・淡褐色の鱗片を被り，葉身は裸葉にありては單羽狀複葉にして，卵狀長橢圓形をなし，長さ30-60糎（1-2尺）許に達す。羽片は線狀披針形にして羽狀に中裂し，裂片は長橢圓形・鈍頭なり。實葉は長橢圓形にして羽片は扁平なる線狀長橢圓形をなし，2稜を具へ，暗紫褐色にして平滑なり。子嚢は反捲せる葉緣內に藏せらる。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

28. ワウレンシダ屬 MICROLEPIA.

7778. わうれんしだ（11圖版-99）…… ノキシノブ科
Microlepia Wilfordii, *Moore.*

〔形態〕多く山地に自生する多年生羊齒類の一種にして．横走せる根莖より葉を簇生す。葉柄は細長く平滑にして．長さ 9-15 糎（3-5 寸）許を有し．葉身は全形細長くして．2 回羽狀に分裂し．長さ 15-21 糎（5-7 寸）許に達す。大小の羽片は．他の羊齒類に比するに疎にして．下部の羽片は有柄．三角形を呈し．小羽片は卵狀菱形にして．銳齒牙緣をなす。子嚢群は．每小羽片の齒端に少數を着生し．褐色の包膜を具ふ。〔分布〕北海道・本州・九州。

7779. ふもとしだ（11圖版-100）…… ノキシノブ科
Microlepia marginata, *C. Chr.*

〔形態〕山地に自生する多年生羊齒類の一種にして．根莖は細毛を被りて地中に橫はり．地上に葉を生ず。葉は長さ 60-90 糎（2-3 尺）內外に達し．稍革質にして．單一羽狀複葉をなし．下面に毛茸を生ず。葉柄は剛硬にして．羽軸と共に粗毛を布き細長なり。羽片は細長く．長さ 9-18 糎（3-6 寸）許を有して羽狀に中裂し．各裂片は長橢圓形・鈍頭なり。子嚢群は各裂片の下面緣邊に 2 乃至 8 箇宛を着生し．圓形にして半杯狀の包膜を有す。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球・臺灣。

7780. くじゃくふもとしだ…… ノキシノブ科
Microlepia marginata, *C. Chr.* var. bipinnata, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する多年生の羊齒類にして．葉は 2 回羽狀複葉をなし全形卵形を呈して先端尖り．長さ 60 糎（2 尺）內外に達し．毛茸を散生す。羽片は短柄によりて多數を排列し．披針形にして先端尖り．更に羽狀分裂をなす。羽軸は有毛にして．交互に翅を伴ふ。小羽片は．斜三角狀卵形にして鈍齒牙狀鋸齒緣をなし．子嚢群は小羽片の下面．葉緣に疎着す。〔分布〕本州中部。

7781. いぬしだ（11圖版-101）…… ノキシノブ科
Microlepia pilosella, *Moore.*

〔形態〕山野の陰地に自生する小形の多年生羊齒類にして．根莖は細長く地下に橫はり．毛茸を密生す。葉柄は細長く有毛にして．長さ 7-5-9 糎（2-5-3 寸）許に達し．葉身は革質・披針形にして．3 回羽狀に分裂す。下部の羽片は三角狀披針形を呈して羽狀に深裂し．各裂片は長橢圓形にして．鋸鋸齒緣をなす。子嚢群は褐色・圓形にして．各裂片の下面葉緣に 2 乃至 6 箇を着生し．膜質・淺杯形にして基脚及側面に於て着生せる包膜を伴ふ。〔分布〕本州各部・九州。

65 おほいぬしだ　66 いしかぐま

7782. おほいぬしだ（白圖-65）…… ノキシノブ科
Microlepia hirta, *Presl.* var. cristata, *Hort.*

〔形態〕本種は「ポリネシア」諸島原産種にして．我國にも多く產出する本屬中のイヌシダに酷似せるを以て．牧野博士がオ＊イヌシダと命名せられたる一羊齒類なり。高さ 20 糎（7 寸）內外に達し．橫に擴がる性を有す。葉には毛茸を密生し．普通黃綠色を呈すれども．夏期は殊に鮮黃色にして美しく．且つクリスタタ種にありては．葉の先端帶石化せるを以て稍重く．下垂せる狀頗る雅趣に富む。（栽培種）

人生との關係　觀葉植物として鉢栽培に適し．室內裝飾用となし頗る妙なり。繁殖は株分による。日光の直射を避け．水濕を好む。

7783. いしかぐま（白圖-66）…… ノキシノブ科
Microlepia strigosa, *Presl.*

〔形態〕暖地の山野に自生する羊齒類にして．根莖は地下に橫はり．有毛にして粗大なり。葉柄は長さ 15-30 糎（0-5-1 尺）內外を有し．剛硬にして羽軸と共に短毛を密生す。葉は 2 回羽狀複葉にして．稍革質・披針形をなし長さ 30-90 糎（1-3 尺）許に達す。下部の羽片は狹長披針形にして．長さ 9-18 糎（3-6 寸）許に達し．羽狀に分裂す。小羽片は菱狀長橢圓形にして．鋭鋸齒緣をなし．子嚢群は小羽片の下面に 2 乃至 12 箇を着生す。〔分布〕本州中部及南部・九州・小笠原島・臺灣。

29. キシウシダ屬 MONACHOSORUM.

7784. きしうしだ…… ノキシノブ科
Monachosorum nipponicum, *Makino.*

〔形態〕南方暖地の山野に自生する多年生羊齒類なり。地下に斜上生の根莖を有し．數多の葉を簇生し．全株赤褐色粉鱗毛を散生す。葉は 3 回羽狀に分裂するか或は稍 3 回羽狀複葉にして．膜質・三角狀披針形をなし．長さ 16-5-22-5 糎（5-5-7-5 寸）許に達す。羽片は 卵狀披針形にして 稍接近し．長さ 7-5 糎（2-5 寸）許を有す。小羽片亦稍接近して多數を排列し．羽狀に分裂するか或は羽狀複生をなし．終裂片は長橢圓形にして．全緣又は分裂す。子嚢群は小裂片の小脈上に多數を頂生し．包膜を有せず。〔分布〕本州南部・九州。

7785. ふじしだ（11圖版-102）…… ノキシノブ科
Monachosorum Maximowiczii, *Hayata.*

〔形態〕山地の樹下等に自生する多年生の羊齒類にして．地下に直生せる根莖より葉を簇生し．葉柄は紫褐色にして平滑なり。葉は細き單一羽狀複葉にして．全長 30 糎（1 尺）內外に達し．先端地に着きて根を生ずるの特性を有す。羽片は多數を接近し．細長くして其基脚の上部に 1 突起を有し．緣邊深鋸齒をなす。子嚢群は狹圓形にして黃色を呈し．每齒片に 1 箇を着生し．包膜を有せず。〔分布〕本州各部・四國・九州。

30. タマシダ屬 NEPHROLEPIS.

7786. たましだ（11圖版-103）…… ノキシノブ科
Nephrolepis cordifolia, *Presl.*

〔形態〕暖地の海邊に自生する多年生羊齒類の一種なり。根莖は細くして匍匐し．地中に塊莖を有す。タマシダの名は蓋し之に起因せるなるべし。葉は根莖より簇生し．細長き單一羽狀複葉にして．長大なるものは．長さ 60 糎（2 尺）以上に達す。羽片は披針形にして．全緣或は鈍齒牙緣を有し．互に接近するか或は往々瓦列し．羽軸には稍鱗毛を有す。子嚢群は腎臟形の包膜を具へ．小羽片の緣邊に着生す。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球・臺灣。

7787. おほたましだ（12圖版-104）…… ノキシノブ科
Nephrolepis exaltata, *Schott.*

（異名）やんばるたましだ　〔形態〕南方の溫暖なる島地に自生する羊齒類の一種なり。葉柄は根莖より簇生し．長さ 9-15 糎（3-5 寸）許に達し．其質硬く．平滑なるか或は稍鱗毛を被る。葉は單一羽狀複葉にして．長さ 30-60 糎（1-2 尺）．幅 7-5-15 糎（2-5-5 寸）許に達す。羽片は細長くして．先端尖り．全緣或は鋸齒緣をなし．羽軸は裸出す。子嚢群は稍葉緣に着生し．腎臟形の包膜を有す。〔分布〕小笠原島・琉球・臺灣。

7788. スコットタマシダ（白圖-67）…… ノキシノブ科
Nephrolepis exaltata, Schott. var. *Schottii*, Jua. Schott.

〔形態〕小笠原島・琉球・臺灣等の溫暖なる島地に自生するオ＊タマシダ（N. exaltata, Schott.）より改良せられたる．ポストニエンシスより出でし一變異種なれども．他のポストニエンシス系のものとは全く異りたる形態を有す。葉は 2 回羽狀複葉にして．長さ 25-35 糎（0-8-1-2 尺）．幅 10 糎（3 寸）內外に達し．羽片は他種に比して剛硬に見へ．密着して羽狀に分裂す。小羽片も亦密着して帶黑濃綠色を呈し．葉柄亦硬く決して垂下することなし。（栽培種）

人生との關係　溫室に栽培し觀賞に供す。

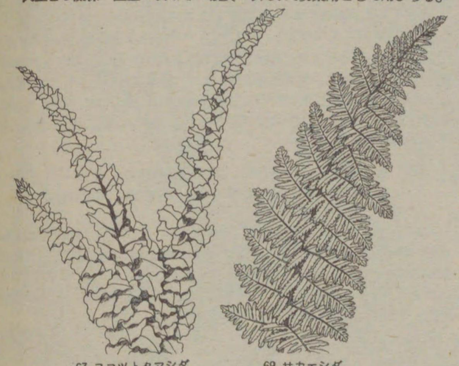
本屬の植物は．何れも陰地植物なるを以て．夏季は溫室內の日覆下に培養し．冬季は日光の直射を受くるも差支なく．植込みは排水を良好ならしむ。用土は腐植土に鹿沼土の如き．塊土を混合使用す。繁殖は株分により．肥料

は油粕汁を適當とす。

7789. **サカエシダ**（白圖-68）…… ノキシノブ科
Nephrolepis exaltata, Schott. var. *todecides*, Rochford.

〔形態〕本種は外來の溫室性羊齒類として、普通に栽培せらるゝ園藝の一變種なり。原種は熱帶地方に分布せるボストニエンシスの原種たるネフロレピス・エキザルタタ（N. exaltata, Schott.）より改良育成せしものにして、概形エレガンチッシマ（N. elegantissima, F. R. Pierson.）に近似すれども、小葉は稍長く、2回羽狀複葉にして長さ50糎（1·7尺）、幅10糎（3寸）內外を有し、全形長三角形を呈し、羽片は瓦列して恰も立體的の觀を呈し、軟味ある黃綠色をなせるものなり。（栽培種）

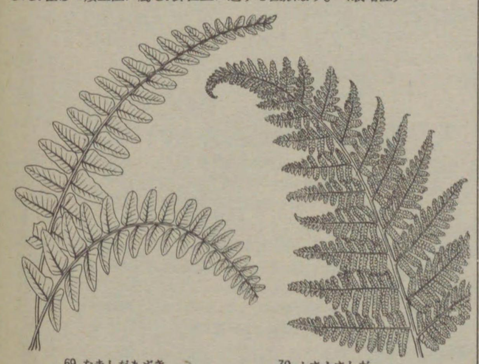
人生との關係　溫室に栽培して觀賞に供し、又切葉用として用ひらる。



67 スコットタマシダ　68 サカエシダ

7790. **たましだもどき**（白圖-69）…… ノキシノブ科
Nephrolepis exaltata, *Schott.* var. bostoniensis, *Devenhort.* forma nanus, *Hort.*

〔形態〕本種は、北米ピアソン氏（F. R. Pierson.）によりて、ボストニエンシスより改良せられたる、エレガンチッシマ（N. elegantissima compacta）種より分離せられたる1園藝品種なり。本種は在來のボストニエンシス種の極めて大型、且つ葉の長形にして特種の裝飾用に實用せらるゝに反し、極めて矮生種に屬し、鉢仕立に適する種類なり。（栽培種）



69 たましだもどき　70 ふさふさしだ

7791. **ふさふさしだ**（白圖-70）…… ノキシノブ科
Nephrolepis Marshallii, *Hort.*

〔形態〕前種と同じく、ボストニエンシスより改良淘汰せられたる一園藝品種にして、溫室栽培の羊齒類中葉の最も狹細なる一品種なり。葉は3回羽狀複葉にして、各小葉は極めて小さく、殊に本種の一變種たるマーシャリー・コムパクタと稱する種類にありては、小葉殆んど重り合ひて、全體球狀に見へ美しき黃綠色を呈するものなり。（栽培種）

7792. **ほうびくゎんしゅう**（12圖版-105）…ノキシノブ科
Nephrolepis biserrata, *Schott.*

〔形態〕南方溫暖なる島地の山地岩上又は樹上に自生する多年生羊齒類なり。葉柄は質硬くして、長さ9-18糎（3-6寸）許を有し、平滑又は鱗片を布く。葉は單一羽狀複葉にして、長さ0·6-1·2米（3-4尺）許に達し、羽片は細長くして先端尖り、全緣なるか或は鈍齒牙緣をなす。子嚢群は球形をなして、側脈上枝の末端に頂生し、圓形の包膜を有す。〔分布〕四國·九州（大島）·琉球·臺灣。

31. ホラシノブ屬　ODONTOSORIA.

7793. **ほらしのぶ**（12圖版-106）…… ノキシノブ科
Odontosoria chinensis, *J. Sm.* var. tenuifolia, *Makino.*

〔形態〕各地の山藪·向陽の乾地に多き常綠の多年生羊齒類なり。根莖は硬くして橫臥し、葉は之より簇出し、紅紫色を帶ぶ。葉柄は硬質·滑澤にして圓柱形をなし、葉身は葉柄より長く、全形橢圓狀披針形にして、通常4回羽狀に細裂し、薄質にして、終片は狹長なり。中軸は細長く、葉身と共に前面稍扁平にして、淺溝路を有す。子嚢群は、小裂片の前端に1乃至2箇を着生し、細小なり。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球·臺灣。

32. カウヤワラビ屬　ONOCLEA.

7794. **かうやわらび**（12圖版-107）…… ノキシノブ科
Onoclea sensibilis, *L.*

（異名）ぜんまいわらび　〔形態〕隨所の陰濕地に自生する稍軟弱なる多年生の羊齒類にして、根莖は黑色を呈し、橫走して地上に葉を出す。葉柄は葉身より遙かに長く、葉は廣橢圓狀三角形にして、長さ12-21糎（4-7寸）內外に達し、羽狀に全裂若しくは深裂す。裂片は披針狀長橢圓形にして、各側に5乃至9對を排列す。下裂片は鈍齒牙緣をなし、中軸は翅を伴ふ。本種は別に子實體を有する莖を生じ、尋常葉には胞子を形成することなし。子實體は成熟すれば黑褐色の子嚢を生じ、翌年まで殘存す。〔分布〕北海道·本州·九州。

33. タチシノブ屬　ONYCHIUM.

7795. **たちしのぶ**　小雉尾草（12圖版-108）…ノキシノブ科
Onychium japonicum, *Kunze.*

（異名）ふゆしのぶ·かんしのぶ　〔形態〕各地の山野に自生する常綠の多年生羊齒類にして、根莖は地中に橫臥し、之より葉を叢生す。葉柄は細長く、剛硬にして淡褐色を呈し滑澤なり。葉は比較的長くして、長さ30糎（1尺）許に達し、葉身は長三角形にして、數回羽狀に細裂す。各裂片は狹長なるを常とし、終裂片は概ね三角形をなし、更に分裂して披針形·微凸頭をなす。子嚢群は包膜を具へ、狹長にして褐色を呈し、裂片の緣邊より發し、之と平行して中脈に向ひ、裂片の殆んど全部に達することあり。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·小笠原島·臺灣。

34. コタニワタリ屬　PHYLLITIS.

7796. **こたにわたり**　水杉周（12圖版-109）…ノキシノブ科
Phyllitis scolopendrium, *Newm.*

〔形態〕山地に自生する常綠羊齒類の一種にして、時に觀賞用として栽培·愛玩せらるゝことあり。地下の根莖は肥厚し、之より長さ45糎（1·5尺）內外を有する有柄の葉を簇生す。葉身は基脚心臟形を呈する長橢圓形の全邊葉にして、淺き波狀を呈し、裏面全部に包膜を有する子嚢群を中肋に稍直角に着生す。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州各部。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。

35. ヤマソテツ屬　PLAGIOGYRIA.

7797. やまそてつ …… ノキシノブ科
Plagiogyria Matsumuraeana, *Makino.*

（異名）ちりめんかんしゅう　〔形態〕深山に自生する多年生常綠の羊齒類にして、地下に根莖を有し、之より60糎（2尺）許ある葉を生ず。葉には裸葉と實葉との別ありて、裸葉は草質·長橢圓狀披針形にして先端尖り、長さ30-48糎（1-1·6尺）許に達し、羽狀に全裂す。裂片は多數を有し、線狀披針形にして不齊鋸齒緣をなし、中軸の背面は扁平なり。實葉は披針形

にして羽狀複葉をなし、羽片は狹線形・全緣にして隔離す。子嚢群は細長く羽片の邊緣は反捲して包膜をなす。〔分布〕北海道・本州各部・四國。

7798. きじのをしだ（12圖版-110）……ノキシノブ科
Plagiogyria adnata, *Bedd.*

〔形態〕本州中部以南の山地に自生する多年生羊齒類にして、葉は地下の根莖より叢生し、葉柄は質硬く、基脚擴大して平滑なり。葉は裸葉と實葉とを有し、裸葉は卵狀披針形をなせる單一羽狀複葉にして、各羽片は披針形をなし、其の左右に排列せる狀、恰も瞿花植物の羽狀葉に似たり。實葉は裸葉と同態なるも、羽片は狹線形にして離生す。子嚢群は中脈・葉緣の中間全部を占め、線形にして接續生なり。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

7799. おほきじのを……ノキシノブ科
Plagiogyria eruphlebia, *Mett.*

〔形態〕各所の山地に自生する多年生の羊齒類にして、葉は地下の根莖より叢生し、葉柄は長さ30糎（1尺）許にして裸出し、且つ平滑なり。葉は單一羽狀複葉にして、長さ30-60糎（1-2尺）許に達し、革質・卵狀披針形をなす。羽片は細長くして先端尖り、緣邊細鋸齒を具へ、長さ9-15糎（3-5寸）許を有す。本種は亦別に同形の實葉を有すれども、其羽片は彼に比して頗る狹く、且つ離生するものなり。〔分布〕本州各部・四國・九州・臺灣。

36. ビガクシダ屬　PLATYCERIUM.

7800. ビガクシダ（12圖版-111）……ノキシノブ科
Platycerium bifurcatum, C. Chr.

〔形態〕元來熱帶の原產種に屬すれども、亦往々其自生品を見る多年生羊齒類の一種なり。地下に根莖を有し、之より少數の常綠葉を簇生す。本種も亦裸葉と實葉の2形を有し、實葉は淡綠色にして、披針形・全緣なれども、通常其上部再三2岐し、鹿類の角に似たるを以て「鹿角羊齒」の名あり。絡片は狹長楕圓形にして、裏面に著しき縱脈數條を有し、時に交錯することあり。子嚢群は葉の下面上部に密生す。〈栽培種〉

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。

37. ホテイシダ屬　POLYPODIUM.

7801. ほていしだ（13圖版-112）……ノキシノブ科
Polypodium annuifrons, *Makino.*

（異名）おほのきしのぶ・ほていらん　〔形態〕深山の樹皮に着生する多年生の羊齒類なり。根莖は横臥し、往々分岐して長さ15-18糎（5-6寸）に達し、鱗毛を被る。春日莖より0·9-3糎（0·3-1寸）許にして、基脚黒褐色の細鱗を布ける葉柄を有する披針形葉を疎生し、幅2·1-2·4糎（7-8分）、長さ15-18糎（5-6寸）に達す。夏秋の候、葉の裏面上部に圓形・茶褐色の子嚢群を中肋を隔てゝ2列に排列す。晩秋に至れば、其葉は黄變して落下し、只根莖のみよく冬を凌ぎて殘存す。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

7802. のきしのぶ　瓦韋（13圖版-113）……ノキシノブ科
Polypodium lineare, *Thunb.* var. Thunbergianum, *Takeda.*

（異名）やつめらん・まつふうらん・やつめぐさ　〔形態〕樹皮・岩石面に着生して自生する最も普通なる羊齒類の一種なり。根莖は稍强硬にして横臥し、長楕形の細鱗を被り、暗黒褐色の纖毛を有す。葉は長さ10-25糎（3-8寸）、幅5-7粍（1·5-2·3分）許を有し、革質・全緣にして細長く、先端尖り、鋭尖脚をなして葉柄に終る。葉面には小黒點を散布し、裏面下部脈上には細鱗を疎布し、中肋と葉緣の中間に數對乃至十數對相並びて、膨著なる黄褐色の子嚢群を生ず。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球・臺灣。

7803. をながのきしのぶ……ノキシノブ科
Polypodium lineare, *Thunb.* var. Thunbergianum, *Takeda.* forma caudato-attenuatum, *Takeda.*

〔形態〕暖地に自生する羊齒類なり。葉は革質・長楕圓狀披針形にして、先端尾狀をなして尖る。子嚢群は圓形にして中脈に接し、單排列をなす。〔分布〕臺灣。

7804. ちぢみのきしのぶ……ノキシノブ科
Polypodium lineare, *Thunb.* var. monilisorum, *Hayata.*

〔形態〕ノキシノブの一變種にして、彼に比するに葉身は稍薄く、且つ細長く、子嚢群の着生せる部分は特に念珠狀に皺縮せる種類なり。〔分布〕臺灣。

7805. ひめのきしのぶ（13圖版-114）……ノキシノブ科
Polypodium lineare, *Thunb.* var. subspathulatum, *Takeda.*

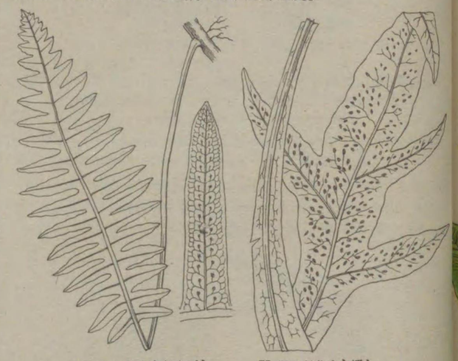
（異名）よろひらん・みやまいつまでぐさ　〔形態〕山地の岩上又は樹皮等に着生する一種の多年生羊齒類にして、根莖を有し、之より短柄を具る葉を疎生す。葉身は3-6糎（1-2寸）許の長さを有する革質・線形にして鈍頭をなし、上面には微細なる點紋を具へ、下面下部中肋上には往々細鱗を疎着す。子嚢群は葉の上部、中肋と緣邊の中央各側に單列着生す。〔分布〕本州各部・四國・九州。

7806. みやまのきしのぶ（13圖版-115）……ノキシノブ科
Polypodium ussuriense, *Regel.*

〔形態〕各地の深山に自生し、多く岩上又は樹上等に附着する羊齒類なり。根莖は細長くして横臥し、暗黒色にして3稜狀の細鱗を布き、長さ-18糎（5-6寸）許に達す。葉は數片を1株より生じ、ノキシノブの稍細狀なるに比し疎なり。葉身は薄革質にして、線狀披針形をなし、長さ9-糎（3-6寸）許に達し、且つ明かなる葉柄部を具へ、基脚には、葉面と共に細鱗を布く。子嚢群の葉裏に並列すること、ノキシノブに同じ。〔分布〕州各部・九州。

7807. ぬかぼししだ　飛刀劍（13圖版-116）…ノキシノブ科
Polypodium Buergerianum, *Miq.* var. stipitatum, *Takeda.*

（異名）ぬかぼしらん・ぬかぼしくりはらん　〔形態〕本州中部以南の暖地に自生する羊齒類にして、根莖は匍匐し、褐色線狀の鱗毛を有す。葉は披針形・全緣にして、裸出せる葉柄を具へ、葉柄と共に9-30糎（0·3-1尺）の長さを有す。子嚢群は葉の下面に着生し、其數多く圓形にして、包膜をせず。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。



72 たいわんあをねかづら　73 ほこざきうらぼし

7808. あをねかづら　水龍骨（白圖-71）……ノキシノブ科
Polypodium nipponicum, *Mett.*

（異名）さるせうが・いはしばね　〔形態〕本州中部以南の山地に自生し、多くは岩石・古木等に着生する常綠の多年生羊齒類なり。地下の根莖は多肉にして碧綠色を呈し、暗褐色の細鱗を散生、横臥す。葉は根莖狀に疎生し、細長にして裸出せる長き葉柄を有す。葉身は碧綠色を呈する長楕圓狀披針形にして、1回羽狀に深裂し、薄質にして兩面に纖毛を密布す。子嚢群は圓形・黄色にして、各裂片中脈に近く、其兩側に各1列に排列し、包膜を有せず。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

7809. たいわんあをねかづら（白圖-72）…ノキシノブ科
Polypodium formosanum, *Bak.*

（異名）しまあをねかづら　〔形態〕山地の岩石又は樹上等に自生する多年生羊齒類の一種にして、地下の根莖は横臥し、之れより葉を生ず。葉は裸葉と實葉との2形を有し、裸葉は單一羽狀複葉にして、膜質・長楕圓狀披針形をなし、脈上に毛を生ず。羽片は各側に20乃至30片を排列し、細長くして基脚擴大す。實葉にありては各羽片共に狹長なり。子嚢群は羽片の中脈と邊緣の中間に着生す。〔分布〕九州（屋久島）・臺灣。

7810. ほこざきうらぼし（白圖-73）……ノキシノブ科
Polypodium Hancockii, *Bak.*

〔形態〕溫暖なる南方島地に自生する羊齒類の一種にして、地下の根莖

PL. 12.

103 たましだ
104 おほたましだ
105 ほうびくわんしゆう
106 ほらしのぶ
107 かうやわらび
108 たちしのぶ
109 こたにわたり
110 きじのを
111 ビガクシダ

短く．葉は葉柄を缺き．葉身は質薄く倒披針形にして．時に稍分裂す。裂片は各側に2乃至3對を排列し．披針形をなす。子嚢群は多數を有し．不齊に疎着す。〔分布〕九州（屋久島）・臺灣。

7811. **みつでうらぼし**　金雞脚（13圖版-117）　ノキシノブ科
Polypodium hastatum, *Thunb.*

〔形態〕隨所の山中・山麓の崖上等に自生し．根莖は硬質にして横臥し．赭褐色の鱗片を有す。葉は革様紙質にして．鞭形狀に深く3裂し．下面は往々淡褐色を帶び．疎生なり。裂片は披針形・鋭尖頭にして．波様齒牙緣を有し．長さ4-5-15糎（1-5-5寸）許に達す。子嚢群は葉背に生じ．黃褐色を呈す。本種は葉身3岐するを普通とすれども．時に單形をなすことあり。〔分布〕北海道・本州・九州・臺灣。

7812. **ふぎれみつでうらぼし**……ノキシノブ科
Polypodium hastatum, *Thunb.* var. incisum, *Makino.*

〔形態〕前種ミツデウラボシの一變種にして．葉身の缺刻・波様齒牙緣をなせる一種なり。〔分布〕本州南部・九州。

7813. **にっくぅうひとで**……ノキシノブ科
Polypodium hastatum, *Thunb.* var. nikoense, *Makino.*

〔形態〕本州中部の山地に自生し．ミツデウラボシに酷似せる一種にして彼に比するに．葉は根莖より簇生し．葉身は長さ3-6糎（1-2寸）許を有し．鈍頭をなせるものなり。〔分布〕本州中部。

7814. **くじゃくうらぼし**……ノキシノブ科
Polypodium hastatum, *Thunb.* var. Yoshinagae, *Makino.*

〔形態〕南方暖地に自生する前種ミツデウラボシの一變種なり。葉身は概ね單一なるか或は3分裂し．各裂片は．線狀披針形にして先端尖り．緣邊深波様鈍齒牙を有す。子嚢群は葉の下面凹底に接近して着生する一種なり。〔分布〕四國。

7815. **ひめうらぼし**……ノキシノブ科
Polypodium hirtellum, *Blume.*

〔形態〕暖地に自生する羊齒類にして．地下に線狀の鱗毛を有する短き根莖を有し．多數の葉を簇生す。葉は質厚く．廣線形にして長さ1-8糎（6分）內外を有し．兩面に細毛を疎生す。子嚢群は葉の上部・中肋に接して2列に着生す。〔分布〕九州。

7816. **みやまうらぼし**（13圖版-118）……ノキシノブ科
Polypodium Veitchii, *Bak.*

〔形態〕深山の岩石上等に自生する多年生の小羊齒類にして．地下に横行する根莖を有し．暗褐色をなせる鏃狀鱗を密生す。葉は根莖より疎生し．葉柄は細長く無毛にして稍扁く．長さ1-5-9糎（0-5-3寸）許を有す。葉身は質薄く卵狀三角形をなし．長さ12糎（4寸）許に達し．羽狀に3乃至7分裂し．各裂片は長楕圓狀披針形にして．各側に1-5片を着生し．稍波狀緣をなす。子嚢群は圓形にして．葉の下面上部を占め．主脈の各側に單列着生す。〔分布〕本州中部及南部・四國。

7817. **たかのはうらぼし**（13圖版-119）……ノキシノブ科
Polypodium Engleri, *Luerss.*

〔形態〕本州南部の山地に自生する多年生羊齒類の一種にして．地下に赭褐色の鱗毛を生ずる剛硬の根莖を有し．少數葉を生ず。葉柄は細長く．强直にして稍接在し．其色暗色を帶び．長さ21糎（7寸）許に達す。葉身は革様紙質にして．細長く先端尖り．長さ24糎（8寸）．徑3糎（1寸）許に達し．波狀齒牙緣を有す。子嚢群は球形をなし．葉裏の主脈と葉緣の間に單線列をなして着生す。〔分布〕本州南部・四國・九州・臺灣。

7818. **かざりしだ**（白圖-74）……ノキシノブ科
Polypodium coronans, *Wall.*

（異名）やぶれがさうらぼし　〔形態〕暖國の山地に自生する羊齒類なり。地下の根莖は多肉にして．鮮褐色の線狀皺縮鱗毛を密布す。葉柄には分裂せる翼を具へ．各側の基脚は徑4-5-9糎（1-5-3寸）許に達し．上方に至るに從ひて漸く狹く．分裂は次第に深し。葉身は質硬く．長さ0-9-1-2米（3-4尺）．徑30-45糎（1-1-5尺）許に達し．羽狀に全裂し．各裂片は線狀楕圓形をなす。子嚢群は各裂片の下面に單列着生す。〔分布〕臺灣。

7819. **いはひとで**（白圖-75）……ノキシノブ科
Polypodium ellipticum, *Thunb.* var. typicum, *Makino.*

（異名）にっくぅうしだ　〔形態〕本州中部以南の山地岩石上に自生す

74 かざりしだ　75 いはひとで

る多年生羊齒類の一種なり。根莖は長く横走し．葉柄は質硬くして裸出し．30糎（1尺）許の長さを有す。葉身は羽狀に深裂し．長さ30-45糎（1-1-5尺）許に達し．革質にして乾けば黑色に變ず。各裂片は線狀長楕圓形をなし．長さ15-18糎（5-6寸）許を有し．各側に3乃至5對を列生す。實葉は葉態裸葉と同形なれども．其裂片は狹長なり。子嚢群は細長くして．各裂片の主脈と葉緣との間に斜列着生す。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球・臺灣。

7820. **おほいはひとで**……ノキシノブ科
Polypodium ellipticum, *Thunb.* var. pothifolium, *Makino.*

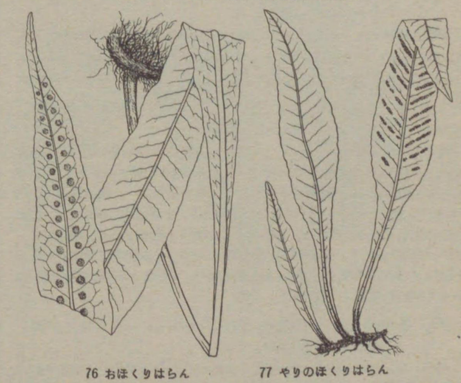
〔形態〕イハヒトデに類似せる稍大形の羊齒類にして．主に暖國の山地に自生す。葉は大きく單一にして．乾燥すれば黃綠色に變じ．羽片は各側に6乃至10對を排列す。〔分布〕九州・小笠原島・琉球。

7821. **ひとつばいはひとで**……ノキシノブ科
Polypodium ellipticum, *Thunb.* var. simplifrons, *Christ.*

〔形態〕オホイハヒトデに類似せる羊齒類の一種にして．本邦南部地方に自生す。概形彼に類すれども．本種の葉は分裂せざるを其異る所なりとす。〔分布〕本州南部。

7822. **くりはらん**　水石章（13圖版-120）……ノキシノブ科
Polypodium ensatum, *Thunb.*

〔形態〕深山の岩石上に自生する多年生の常綠羊齒類なり。基部に匍匐性にして暗褐色鱗毛を被れる根莖を有し．之よりヒトツバに似て更に長大なる葉を散生す。葉柄は長さ15-30糎（0-5-1尺）許に達し．鱗片を散生す。葉身は披針形にして基脚漸次細まり．葉柄との境界明かならず。長さ30糎（1尺）以上に達し．裏面に不整齊なる側脈を具へ．中肋の兩側には圓形の子嚢群を排列す。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。



76 おほくりはらん　77 やりのほくりはらん

7823. **おほくりはらん**（白圖-76）……ノキシノブ科
Polypodium Takedai, (*Nakai.*)

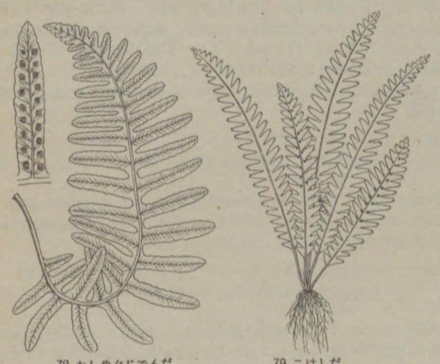
〔形態〕暖地に自生する羊齒類にして．地下の根莖は横走し枝を分ち．黑褐色鱗片を密布す。葉柄亦鱗片を散生し．長さ3-21糎（1-7寸）許に達す。葉身は細長く披針形にして．尾狀鋭尖頭をなし．長さ18-60糎（0·6-2尺）內外に達し．基脚葉柄に流る。子嚢群は葉の中肋に沿ひ．1乃至數列をなして着生す。〔分布〕臺灣。

7824. **やりのほくりはらん**（白圖-77）…… ノキシノブ科
Polypodium Wrightii, *Mett.*

（異名）やりのほらん　〔形態〕暖國の山地に自生する多年生羊齒類の一種なり。根莖は質硬く．黑褐色の細鱗を被る。葉柄亦硬質にして裸出し．葉は草質・舌形をなして先端尖り．長さ30-45糎（1-1·5尺）許に達し．不齊波狀緣をなす。子嚢群は葉の下面．中肋の各側に斜列して着生す。
〔分布〕九州·琉球·臺灣。

7825. ひめたかのはうらぼし…… ノキシノブ科
Polypodium yakushimense, *Makino.*

〔形態〕地下の根葉は褐色の鞣狀楯形鱗を被り横走す。葉柄は細長く．1·8-7·5糎（0·6-2·5寸）許の長さを有し．葉身は質薄く．楕ね狹披針形にして先端尖り．長さ3-9糎（1-3寸）許に達し．波狀齒牙緣をなす。子嚢群は中肋に接し兩側に列生す。〔分布〕本州中部及南部·九州。



78 おしゃぐじでんだ　79 こけしだ

7826. **おしゃぐじてんだ**（白圖-78）…… ノキシノブ科
Polypodium japonicum, *Maxon.*

〔形態〕山地の樹上或は岩上等に自生する多年生常綠の羊齒類にして．根莖は地下を匍匐し．多肉なり。葉は剛硬にして裸出せる葉柄を具へ．葉身は1回羽狀に分裂し．各裂片は狹長にして．波狀様の鈍鋸齒を有し．乾燥すれば捲旋す。子嚢群は．各羽片の兩緣邊に排列し．圓形をなす。〔分布〕北海道·本州·九州·琉球。

7827. **えぞてんだ**（13圖版-121）…… ノキシノブ科
Polypodium vulgare, *L.*

〔形態〕前種オシャグジデンダに酷似せる一羊齒類にして．彼に比するに葉の裂片は短くして濶く．乾燥するも捲旋せず。且つ子嚢群は大形なるものなり。〔分布〕樺太·北海道·本州北部。

7828. **さじらん**（14圖版-122）…… ノキシノブ科
Polypodium Fauriei, (*Copel.*)

（異名）うすいた·いはみの　〔形態〕岩石或は樹幹等に着生する多年生常綠の羊齒類なり。根莖は細長く．暗褐色の細鱗を被りて横走し．披針形の全邊葉を疎に生ず。葉柄は稍扁くして．狹き翼を具へ．長さ9糎（3寸）許に達す。葉身は革質·披針形にして先端尖り．下部は漸次狹窄して．遂に葉柄に流れ．長さ30糎（1尺）許に達す。本葉も亦乾燥すれば．稍正面に反捲するの特性を有す。子嚢群は．葉背の中央若しくは稍其下方に斜列して着生す。子嚢は生時黃色を呈し．包膜を有せず。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球·臺灣。

7829. **あやめしだ**（14圖版-123）…… ノキシノブ科
Polypodium irioides, *Lam.*

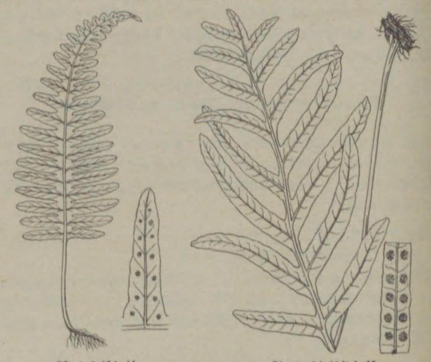
（異名）ほそばぬかぼし　〔形態〕暖地に自生する多年生の羊齒類にして．根莖は暗褐色の卵形鱗を被り粗大なり。葉は稍革質をなせる長楕圓狀披針形にして．長さ30糎（1尺）より90糎（3尺）內外に達し．全緣にして稍葉柄を缺く。子嚢群は多數を不齊に着生し．其形極めて細小なり。
〔分布〕臺灣。

7830. **いはやなぎしだ**（14圖版-124）…… ノキシノブ科
Polypodium Makinoi, *C. Chr.*

〔形態〕本邦中部以南山地の岩上又は樹幹上に生ずる多年生の羊齒類にして．根莖は横に伸び鱗片を被り．下部に根を生じ．且つ帶紫栗色の細毛を密生す。葉は根莖上に疎生し．葉柄は稍扁く．狹翼を有し．長さ3-6糎（1-2寸）許に達す。葉身は狹長披針形或は絲狀披針形をなし．下部は漸次狹窄して．遂に葉柄に流る。子嚢群は概ね眞直にして細長く．中肋·邊緣間にありて斜列し．首尾互に品よく接近し．時に殆んど縱列をなす。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

7831. **こけしだ**（白圖-79）…… ノキシノブ科
Polypodium Okuboi, *Yatabe.*

（異名）おほくぼしだ·おほくぼうらぼし·なんきんこしだ·ひめこしだ　〔形態〕山地に自生する多年生の羊齒類なり。根莖は褐色の細鱗を被り．小形にして．之より多くの葉を簇生す。葉身は稍革質をなせる長楕圓狀披針形にして．長さ3-6糎（1-2寸）許を有し．羽狀に深裂す。各裂片は長楕圓形或は卵形にして兩面毛牢を散生し．鈍頭をなす。子嚢群は球形にし



80 めうぎしだ　81 みづさがりしだ

て．各裂片の基脚に概ね1箇を着生す。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

7832. **めうぎしだ**（白圖-80）…… ノキシノブ科
Polypodium Someyae, *Yatabe.*

〔形態〕山地に自生する多年生羊齒類の一種なり。地下の根莖は暗褐色鱗を被りて横走し．之より葉を疎生す。葉柄は長さ9糎（3寸）許を有して裸出し．葉身は草質にして稍毛牢を生じ．廣披針形にして先端尖り．長さ18-21糎（6-7寸）許に達し．羽狀に深裂す。各裂片は線狀披針形をなし．長さ5·5糎（1·8寸）內外を有し．鈍鋸齒緣をなす。子嚢群は各裂片の中肋と葉緣の中間に單列着生す。〔分布〕本州中部。

7833. **やのねしだ**　金交剪（14圖版-125）……ノキシノブ科
Polypodium subhastatum, *Bak.* var. longifrons, *Takeda.*

〔形態〕本州中部以南．林下の陰地を匍匐し．又は樹幹上に攀上する常綠羊齒類なり。根莖は極めて複長にして．鞣形鱗を被り．葉は根莖上に或は近く或は遠く疎生す。葉柄は細長くして裸出し．長さ0·9-12糎（0·3-4寸）內外を有し．兩邊に狹翼を具ふ。裸葉と實葉との2形あれども．共に長三角形或は卵狀披針形．或は披針形にして．銳脚或は截脚をなし葉柄に流る。子嚢群は葉の下面に散生し．圓形にして大小一ならず。包膜は之を有せず。
〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

7834. **みづかざりしだ**（白圖-81）…… ノキシノブ科
Polypodium suisha-stagnale, *Hayata.*

〔形態〕暖地に自生する多年生の羊齒類にして．地下に褐色長楕圓形をなせる鱗片を被れる根莖横走し．之より葉を生ず。葉柄は淡黃色を呈し．長さ60糎（2尺）許を有し直生す。葉身は羽狀に分裂するか．或は羽狀複葉をなし．披針狀線形にして長さ60糎（2尺）許に達し．最下の羽片は最も長く線形をなす。子嚢群は葉面中部以上に着生し．圓形なり。〔分布〕臺灣。

PL. 13.

112 ほていしだ　113 のきしのぶ　114 ひめのきしのぶ　115 みやまのきしのぶ
116 ぬかぼししだ　117 みつでうらぼし　118 みやまうらぼし
119 たかのはうらぼし　120 くりはらん　121 ねぞでんだ

7835. **たいわんうらぼし** ……ノキシノブ科
Polypodium taiwanianum, *Hayata.*

〔形態〕暖地に自生する多年生の羊歯類にして．根莖は横臥し．黒紫色鱗を被る。葉は單一羽狀複葉にして．長さ 15 糎（5 寸）許の葉柄を具へ．葉身は膜質・三角狀長橢圓形をなし．48 糎（1·6 尺）許の長さに達す。羽片は細長く先端尖り．稍全緣にして柄を有せず。子嚢群は羽片の基部より末端に至るまで排列着生す。〔分布〕臺灣。

38. キノデ屬 POLYSTICHUM.

7836. **おのて**（14 圖版-126）……ノキシノブ科
Polystichum aculeatum, *Schott.* var. japonicum, *Christ.*

〔形態〕山野の陰濕地に自生する 常綠大形の 多年生羊齒類なり。葉は地下の根莖に簇生し．葉柄は長さ 6-24 糎（2-8 寸）許に達し．羽軸と共に淡褐色の鱗片を有す。葉身は上面滑澤なる略三角形の 2 回羽狀複葉にして．長さ 15-90 糎（0·5-3 尺）許に達し．下面には纖維狀の鱗毛を生ず。羽片は細長く．小羽片は長卵形にして．鈍或は鋭頭をなす。子嚢群は葉緣と中脈との中間に着生し．小形なり。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

7837. **いはしろおので** ……ノキシノブ科
Polystichum aculeatum, *Schott.* var. coraiense, *Christ.*

〔形態〕前種キノデに類する羊齒類にして．葉の裏面には長形なる纖維狀鱗片を密生し．子嚢群は中脈に接近せず．且つ著しく隆起せざる一種なり。〔分布〕本州中部。

7838. **あすかおので** ……ノキシノブ科
Polystichum aculeatum, *Schott.* var. fibrilloso-paleaceum, *Kodama.*

〔形態〕本種も亦キノデに類似せる羊齒類にして．葉柄には披針形鱗を被り．中軸には毛狀の鱗片を有する種類なり。〔分布〕本州中部。

7839. **かたおので** ……ノキシノブ科
Polystichum aculeatum, *Schott.* var. nigropaleaceum, *Makino.*

（異名）おとろおので　〔形態〕山地に自生する羊齒類の一種にして．前種キノデに類似するも．葉身は其質硬く．淡綠色にして．下面に絨毛を布く。葉柄の有する基脚の鱗片は．卵狀披針形にして先端尖り．暗綠色を呈し．羽軸の有する鱗片は．長鋭尖形をなして疎らに分裂し．褐色にして下向・開出する一種なり。〔分布〕邦內。

7840. **つやなしおのて**（14 圖版-127）……ノキシノブ科
Polystichum aculeatum, *Schott.* var. ovato-paleaceum, *Kodama.*

〔形態〕前種カタキノデに類する羊齒類にして．彼に比するに．葉柄並に中軸に有する鱗片は．卵形にして先端急に鋭尖頭をなし．密に瓦列して下向せざるものなり。〔分布〕邦內。

7841. **やぶそてつ**（14 圖版-128）……ノキシノブ科
Polystichum Fortunei, *Nakai.*

〔形態〕多く山地・林野の陰所に自生する羊齒類の一種にして．葉は根莖に叢生し．長さ 30-60 糎（1-2 尺）に達す。葉身は 1 回羽狀複葉にして．羽片は薄質・楔形をなして稍鎌形を呈し．中軸に互生す。子嚢群は圓形にして葉の下面に不規則排列をなす。〔分布〕本州各部・四國・九州・小笠原島・臺灣。

7842. **おにやぶそてつ**（14 圖版-129）……ノキシノブ科
Polystichum falcatum, *Diels.*

（異名）おにしだ　〔形態〕多く海濱に近き岩石の間等に自生する多年生羊齒類にして．地下に塊狀の根莖を有し．之より長大なる羽狀複葉を叢生す。葉柄は長さ 15-30 糎（0·5-1 尺）許を有し．下部には濶大なる黒褐色鱗を被り．上部には毛狀物を密布す。葉身は革質にして．長さ 30-60 糎（1-2 尺）．幅 15-21 糎（5-7 寸）許．光澤を有し．羽片は卵狀鋭尖形にして多數を排列す。子嚢群は極めて細小にして．葉背に不規則に着生し．圓形の包膜を具ふ。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・小笠原島・臺灣。

7843. **つるでんだ**（14 圖版-130）……ノキシノブ科
Polystichum craspedosorum, *Diels.*

〔形態〕山地の岩石上に自生する 多年生の 羊齒類なり。葉は 1 回羽狀複葉にして．數箇を叢生し．地上に開出す。中軸の先端は長く伸びて往々絲狀となし．末端に小苗を生ずる特性あり。葉柄は鈍 3 稜柱をなし．羽軸と共に膜質・褐色の披針形鱗を密布し．葉身は稍革質にして．長さ 4·5-24 糎（1·5-8 寸）許に達す。羽片は多數を着生し．不等邊長橢圓狀披針形にして．細鋸齒緣を有す。子嚢群は羽片の前緣に 1 列をなして着生し．膜質・褐色の大なる宿存生包膜を有す。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

7844. **たかねしだ**（15 圖版-131）……ノキシノブ科
Polystichum lachenense, *Bedd.*

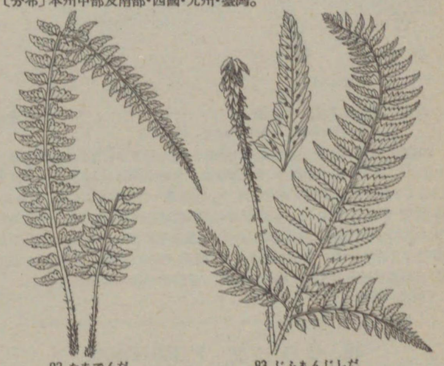
（異名）くもましだ　〔形態〕高山に自生する稀有の多年生羊齒類の一種にして．地下の根莖より多數の葉を簇生す。葉は革質をなせる狹長なる羽狀複葉にして．長さ 15-18 糎（5-6 寸）許に達し．葉柄の基部には披針形の大鱗片を被る。羽片は卵狀三角形にして．鈍頭・芒尖鋸齒緣をなし．下半部は分裂す。子嚢群は羽片の下面・中脈の各側に着生し．往々全面を覆ふ。〔分布〕本州中部。

7845. **おりづるしだ**（15 圖版-132）……ノキシノブ科
Polystichum lepidocaulon, *J. Sm.*

（異名）つるくゎんしゅう・つるきじのを　〔形態〕暖國の山地に自生する多年生羊齒類にして．葉は簇生す。葉柄は軟弱にして．長さ 15-21 糎（5-7 寸）內外を有し．羽軸と共に褐色心臟形の大鱗片を密生す。葉は單一羽狀複葉にして．稍革質長橢圓狀披針形をなし先端尖り．長さ 30 糎（1 尺）許に達す。中軸の先端は長く伸びて往々其末端に根を生ず。羽片は鎌狀披針形にして．上側は三角狀に耳垂す。子嚢群は葉の下面・中肋に接近し．各側に 2 列をなして着生す。〔分布〕本州中部及南部・九州。

7846. **ひめかなわらび** 鳳尾草（15 圖版-133）ノキシノブ科
Polystichum tsusimense, *Diels.*

（異名）きよすみしだ　〔形態〕本州中部以南の山地に自生し．ヒメワラビに類する多年生羊齒類の一種にして．主に清澄山（房州）に自生多きを以てキヨスミシダの異名あり。葉は長さ 90 糎（3 尺）以上に達し．葉柄は長さ 15-30 糎（0·5-1 尺）許．羽軸と共に茶褐色・滑澤の鱗片を密生す。葉身は厚革質にして廣披針形・鋭尖頭をなし．長さ 18-30 糎（0·6-1 尺）許を有し．2 回羽狀複葉をなす。各羽片は細長く．左右に小羽片を分ち．小羽片は更に羽狀に深裂し．各深裂片はヒメワラビに似たれども．彼に比して稍大形なり。子嚢群は小羽片の裏面に 2 列に排列し．裁形の包膜を有するものなり。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。



82 たちでんだ　　83 じふもんじしだ

7847. **たちてんだ**（白圖-82）……ノキシノブ科
Polystichum tosaense, *Makino.*

〔形態〕暖地に自生する多年生の羊齒類なり。葉は單一羽狀複葉にして．24-27 糎（8-9 寸）內外の長さに達し．葉柄には鱗毛を密生す。小葉は鎌狀をなせる不等邊形にして．鋸齒緣をなし．各側 22 乃至 44 片を排列す。子嚢群は羽片の下面．上緣に近き所に着生し．圓形の包膜を有するものなり。〔分布〕四國・九州。

7848. **じふもんじしだ**（白圖-83）……ノキシノブ科
Polystichum tripteron, *Presl.*

（異名）しゅもくしだ・みつでかぐま　〔形態〕山地に自生する多年生羊齒類の一種なり。葉柄は基脚に暗褐色の大形鱗を密生し．15-21 糎（5-7 寸）許の長さを有し．葉身は革質にして．長さ 30-45 糎（1-1·5 尺）許．頂生の大形羽片と側出の 2 小羽片とより成る。頂片は徑 6-7·5 糎（2-2·5 寸）．小羽片は刀狀披針形・鋭頭にして．缺刻狀芒尖鋸牙緣をなす。子嚢群は．小羽片の中脈と邊緣との中間に 2 列をなして排列す。〔分布〕北海道・本州・

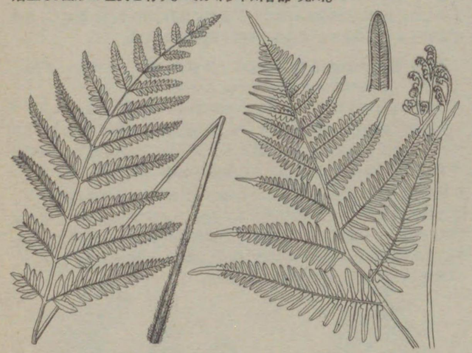
四國・九州・琉球。

7849. **いたちしだ**（15圖版-134）……ノキシノブ科
Polystichum varium, *Presl.*

〔形態〕本州中部以南・隨所の陰地に自生する多年生常綠の羊齒類にして地下の根莖は稍横行す。葉は根莖より生じ。葉柄は 15-30 糎（0·5-1 尺）内外の長さに達し。羽軸と共に黒褐色の絲狀をなせる宿存鱗片を密生す。葉身は其質硬く。披針狀三角形をなせる 2 回羽狀複葉にして。長さ 30-45 糎（1-1·5 尺）許に達し。深綠色なれども光澤殆んどなく。最下の 1 片最も大なり。夏日。圓形の包膜を有する子嚢群を。小羽片の中肋に接して 2 列に着生し。灰白色を呈す。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

7850. **ほそばかなわらび**（15圖版-135）……ノキシノブ科
Polystichum aristatum, *Presl.*

〔形態〕山地に自生する多年生の羊齒類なり。葉は地下の根莖より散生し。3 回羽狀複葉にして。高さ 0·9-1·2 米（3-4 尺）に達す。葉柄は長く。中軸と共に黒褐色の絲狀鱗を被り。葉身は稍革質・平滑にして。卵狀三角形をなし。30-60 糎（1-2 尺）の長さに達す。各羽片は長さ 15-18 糎（5-6 寸）許を有し。下部の羽片は最も大形なり。小羽片は斜方形にして。終片は稍三角形・芒尖齒牙緣をなす。子嚢群は細小にして。終片の中脈・邊緣との中部に着生し。圓形の包膜を有す。〔分布〕本州各部・九州。



84 をとこしだ　　85 わらび

7851. **をとこしだ**（白圖-84）……ノキシノブ科
Polystichum Yoshinagae, *Makino.*

〔形態〕暖國に生ずる多年生の羊齒類なり。地下の根莖は赤褐色の鱗毛を密生し。多肉にして擴がり。葉を疎生す。葉柄は質硬く。脊長にして 45 糎（1·5 尺）許に達し。基部に鱗毛を生ず。葉は單一羽狀複葉にして。長さ 18-60 糎（0·6-2 尺）許を有し。紙樣革質の長楕圓狀披針形をなす。羽片は各側 10 乃至 13 片を排列し。線狀披針形にして鋭尖頭をなし。有柄にして長さ 30 糎（1 尺）許に達す。下部の羽片は往々更に羽狀に深裂し。小羽片は披針形・芒尖齒牙緣をなす。子嚢群は疎生し。硬膜質・圓形の包膜を有す。〔分布〕四國。

39. ワラビ屬 PTERIDIUM.

7852. **わらび** 蕨（白圖-85）……ノキシノブ科
Pteridium aquilinum, *Kuhn.* var. japonicum, *Nakai.*

〔形態〕各地の山野に自生する多年生の羊齒類なり。地中に長き根莖を有し。早春之より新葉を直生し。其未だ開展せざるものは。掌狀に捲縮し。全面白質・綿樣の毛茸を以て被はる。葉柄は質稍硬剛にして。高さ 30 糎（1 尺）内外に達し。無毛・平滑なり。葉は革質をなせる稍三角狀 3 回羽狀複葉にして。長さ 30-60 糎（1-2 尺）許を有す。終羽片は線狀披針形或は長楕圓形をなし。全緣なるか或は羽狀に細裂し。葉緣は裏面に折れ返りて。赭褐色の子嚢群を着生す。〔分布〕樺太・北海道・本州・九州・臺灣。

人生との關係　早蕨を採取し。根本の硬き部分を切り去り。桶に入れ。其上に木灰を蔽ひ。上より熱湯を注ぎかけ暫時にして之を引き上げ。直ちに冷水に浸して。「アク」を充分に取りたる後煮て食し。或は乾燥して貯ふ。以下蕨の食用方法の 2-3 を記述すべし。

（イ）蕨 汁　前記の方法によりて。充分「アク」抜したる蕨を。1·5 糎（0·5 分）位の長さに切り。味噌汁に入れ煮て食す。

（ロ）甘 煮　「アク」抜したる蕨を 3 糎（1 寸）内外の長さに切り。油揚等と共に「ダシ汁」醤油・砂糖にて味を付け煮食す。惣菜料理として美なり。

（ハ）蕨の青煮　「アク」抜したる蕨の内。可成太きものを選び出し。輕く煉でゝ水氣を去り。適宜の長さに切り。之を味淋と少量の酢と蕃椒とを加へて煮かへしたる汁の中に浸して食す。

（ニ）蕨の青漬　太き蕨を選び。之を澤庵漬と同じく。鹽と糠とを混合したるものへ漬け置くときは。四時共に食用に供せらる。

（ホ）蕨の砂糖漬　太き蕨を選取し。「アク」抜を行ひたる後更に牛乾し。之を暫時水中に浸したる後。取り出して水氣を去り。適宜の長さに切りたるものに砂糖を加へて煮沸し。更に笊の上に揚げて糖汁を絞り取り。パラパラになしたるものへ白砂糖を掛け。磁器製の蓋物に入れ。充分に目張りして貯ふ。時に應じて食用に供す。

（ヘ）蕨の白和　「アク」抜したる蕨を更に湯煮して笊に揚げ。堅く絞りて適宜の長さに切り。生醤油・砂糖・味淋等を加へてよく煮詰め。前に胡麻を炒りて。豆腐と共に擂り交ぜたる中へ和へるなり。豆腐へも。砂糖・味淋・鹽とを加へて味を付くるときは更に美味なり。

（ト）蕨 餅　蕨粉を以て製したるものにして。砂糖と豆粉とを加へて食す。東海道日坂町の名産なり。

（チ）乾 蕨　早蕨の根元と先端とを切り去り。中央の軸部のみを取り。「アク」抜をなしたる後。蓆の上に並べ。日に乾し。乾燥したる後は濕氣に觸れざる樣。木箱又は鉄力箱に貯へ置き。入用のとき水に浸し。柔になりたるものを茹で後煮食す。

其他秋より冬に亙りて。蕨の地下莖を掘り採り。水飛して澱粉を製す。此澱粉は食用は勿論。糊料として重用せらる。又荒救時の食料として。蕨を小切になし。米・麥等に和して飯・粥を作り。食用に供することあり。

藥效としては。（1）嫩葉又は根を食用すれば。脫肛・利尿・解熱（殊に間歇熱）を治するに效あり。（2）液汁を外用塗布すれば「リウマチス」に效あり。（3）數年間乾燥したるものを黒燒とし。酢と共に服用するときは。痔氣を治するに妙效ありと稱せらる。

40. キノモトサウ屬 PTERIS.

7853. **おのもとさう**（15圖版-136）……ノキシノブ科
Pteris multifida, *Poir.*

（異名）とりのあし・けいそくさう　〔形態〕本州中部以南の各地に普通なる多年生羊齒類の一種にして。山麓又は山砌等に多く自生す。根莖は濃褐色の毛茸を密生し。硬質にして短く。葉は叢生し。裸葉と實葉との區別あり。裸葉は 2 回羽狀に分裂し。緣邊に微毛を具へ。雜足狀に排列し。葉柄は細長く。長さ 2·1-19 糎（0·7-6·5 寸）許に達す。實葉は羽片の數多く。緣邊に沿ひて裏面に反折せる包膜を有し。中に子嚢群を着生す。〔分布〕本州中部及南部・四國・琉球。

7854. **とさかおのもとさう**（15圖版-137）…ノキシノブ科
Pteris multifida, *Poir.* var. Cerymbifera, *Hort.*

〔形態〕本種は。我國に自生せるキノモトサウの園藝品種にして。初め羅巴に於て園藝化せられたるものを。再び我國の溫室栽培種として輸入したる觀葉植物の一なり。葉は根莖より叢生し。葉柄は短く。葉身は 2 回羽狀複葉にして。長さ 10-20 糎（3·5-7 寸）内外に達し。頂裂片は。普通種にありては線形を呈すれども。本種の裂片は。萎縮して雞冠狀を呈するを以て本和名を有し。且つ久しく溫室栽培の結果。自生原種に比するに。全株光澤を有するに至りしものなり。（栽培種）

人生との關係　觀賞用として溫室栽培せらるれども。原産地は内地にては。本州・四國・琉球等なるを以て。冬季も高溫の必要なく。繁植は株分による。日覆下を好み。用土は腐植土を適當とす。

7855. **おほばのおのもとさう**（15圖版-138）ノキシノブ科
Pteris cretica, *L.*

（異名）すぢわたし　〔形態〕山野の陰地に自生する多年生羊齒類にして。葉柄は長さ 15-30 糎（0·5-1 尺）内外に達し。滑澤なり。葉身は羽狀複葉にして。長さ葉柄と稍同じく。羽片は無柄にして各側 2 乃至 6 對を排列し上對は稍沿下し。長さ 7·5-15 糎（2·5-5 寸）許を有す。裸葉の羽片は廣濶にして。芒尖鋸齒緣をなし。下對は分裂して往々複生なり。小羽片は線形にして 2-3 片を有し。子嚢群は葉緣に接續して着生す。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球・臺灣。

7856. **まつざかしだ**（15圖版-139）……ノキシノブ科
Pteris cretica, *L.* var. albolineata, *Hook.*

PL. 14.

122 さじらん

123 あやめしだ

124 いはやなぎしだ

125 やのねしだ

126 ゐので

127 つやなしゐので

128 やぶそてつ

129 おにやぶそてつ

130 つるでんだ

PL. 15.

131 だかねしだ

132 おりづるらん

133 ひめかなわらび

134 いたちしだ

135 ほそばかなわらび

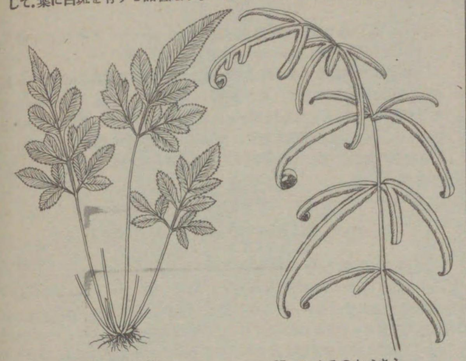
136 ゐのもとさう

137 とさかゐのもとさう

138 おほばのゐのもとさう

139 まつかさしだ

（異名）はごろもしだ　〔形態〕前種オゝバノキノモトサウの一變種にして、葉に白斑を有する品種なり。〔分布〕本州中部及南部。



86 ほこしだ　87 ふいりゐのもとさう

7857. **ほこしだ**（白圖-86）…… ノキシノブ科
Pteris ensiformis, *Burm.*

（異名）あをゐのもとさう　〔形態〕山麓又は稍陰濕の地に自生する多年生羊齒類なり。葉は地下の根莖より生じ、葉柄は細長くして裸出し、長さ7-5-15糎（2-5-5寸）許に達す。葉は革質の羽狀複葉にして、長さ15-30糎（0-5-1尺）、徑7-5-15糎（2-5-5寸）許に達す。頂羽片は長形にして、側羽片は2-4對を排列す。實葉の羽片は稍複生をなし、側脈は普通1-2回叉岐すれども顯著ならず。〔分布〕琉球・臺灣。

7858. **ふいりゐのもとさう**（白圖-87）…… ノキシノブ科
Pteris ensiformis, *Burm.* var. Victoriae, *Bak.*

〔形態〕本種も亦我國溫室内に普通に栽培せらるゝ觀葉羊齒類の一品種にして、初め海外より輸入せられたるものなれども、前種トサカキノモトサウの如く、其原種は、琉球・臺灣等に自生せるアヲキノモトサウより改良せられたるものなり。葉柄は細長くして10-20糎（3-5-7寸）許を有し、葉身は羽狀複葉にして、全形細長く稍革質なり。頂部の羽片は細長くして下垂性をなせども、下部の羽片は何れも短濶にして、發育佳良のもの程狹長なり。葉色は普通種にありては綠色を呈すれども、本種は銀白色斑を有す。
（栽培種）

人生との關係　通常鉢仕立として、夏季は溫室内の日覆下に培養し、觀賞に供し、又鉢仕立の外切花用として用ひらる。

88 はちぢやうしだ　89 もねじましだ

7859. **はちぢゃうしだ**（白圖-88）…… ノキシノブ科
Pteris hachijoensis, *Nakai.*

〔形態〕山麓又は陸地に自生する多年生羊齒類の一種にして、葉柄は30-60糎（1-2尺）の長さを有し、剛硬にして平滑なり。葉は革質にして羽狀に分裂し、頂裂片は稍多數に全裂す。各裂片は綫狀長橢圓形をなして接近し、裸葉の裂片は全緣なるか或は稍鋸齒緣をなし、數對を有すれども、最下部の羽片は通常複生す。本種は1-2分枝するものあり。子嚢群は往々裂片の全緣に亙りて着生す。〔分布〕本州（八丈島）。

7860. **もえじましだ**　蜈蚣草（白圖-89）…… ノキシノブ科
Pteris longifolia, *L.*

〔形態〕暖國の山野に自生する羊齒類にして、葉は45-75糎（1-5-2-5尺）内外の長さに達し、1回羽狀複葉にして、粗大なる葉柄を具へ、羽軸と共に淡褐色鱗毛を密布す。葉身は長橢圓狀披針形にして、30-60糎（1-2尺）許の長さを有し、羽片は各側に多數を排列し、下部にあるものは綫狀披針形にして、全緣なれども、頂端にあるものは披針形をなし、他の羽片より長形なり。子嚢群は葉の下面に生じ、膜質・黃褐色の包膜に被はる。〔分布〕九州・琉球・臺灣。

7861. **おほばのはちぢゃうしだ**…… ノキシノブ科
Pteris longipinnula, *Wall.*（16圖版-140）

〔形態〕本州中部以南の山地に自生する多年生羊齒類にして、地下の根莖より大形なる葉を生ず。葉は全長1-2-1-5米（4-5尺）に達する羽狀複葉にして、葉柄は黃綠色を呈し、葉身と共に滑澤なり。頂生の羽片は長さ30糎（1尺）、徑6糎（2寸）内外を有し、羽狀に深裂し、側生羽片は同形の數對を具へ、最下部の羽片は概ね叉裂す。子嚢群は小羽片の上下兩緣に一直線に排列し、包膜を有す。〔分布〕本州中部及南部・九州。

7862. **あまくさしだ**（16圖版-141）…… ノキシノブ科
Pteris quadriaurita, *Retz.*

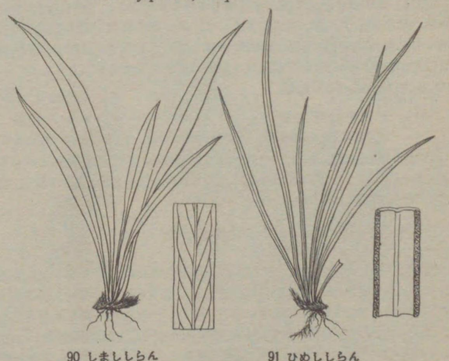
〔形態〕本邦南部地方に産する多年生羊齒類の一種にして、主に山足向陽の地に産す。根莖は短くして傾臥し、鬚根と暗褐色の鱗片とを有す。葉は叢生し、葉柄は疳長・硬質にして平滑なる鈍三稜角をなす。葉身は硬質・平滑にして、通常葉柄より長く、裸葉と實葉との別あり。實葉の小羽片は全緣にして、兩側に狹長き綫形をなせる子嚢群を着け、裸葉は緣邊に刺尖ある細鋸齒を列布す。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

7863. **なちしだ**（16圖版-142）…… ノキシノブ科
Pteris Wallichiana, *Ag.*

〔形態〕本州中部以南の山野に自生する多年生羊齒類の一種なり。葉柄は黑褐色を呈し、剛硬・平滑にして、長さ1-5-1-8米（5-6尺）に達す。葉身は革質にして3岐し、頂生羽片は長さ60糎（2尺）、徑30糎（1尺）許に達す。小羽片は各側に多數を排列し、披針形にして更に羽裂す。側生羽片は頂生羽片と稍同長にして叉岐し、子嚢群は殆んど邊緣の全長に亙りて接續着生す。〔分布〕本州中部及南部・九州。

41. シシラン屬　VITTARIA.

7864. **ししらん**（16圖版-143）…… ノキシノブ科
Vittaria japonica, *Miq.*



90 しましししらん　91 ひめししらん

〔形態〕山地樹蔭の岩石等に生ずる常綠の多年生羊齒類なり。根莖は短く横臥して、暗褐色の鱗片を密生す。葉は細長くして、長さ40糎（1-3尺）内外に達し、明瞭なる葉柄を缺き、長く下垂せる狀、恰もシュンラン等の葉に似たり。中肋は疳長にして下面に隆起し、上面に陷入す。側脈は葉肉中に沈在し、疎に中肋より發し、斜に上向して葉緣に近き縱脈に合す。本種の葉は兩緣乾けば自ら卷縮するの特性を有す。子嚢群は葉の中部・裏面の兩緣に生じ、葉緣は裏面に反捲して之を包擁す。〔分布〕本州中部及南部・

九州・臺灣。

7865. **しましししらん**（白圖-90）…… ノキシノブ科
Vittaria formosana, *Nakai.*

（異名）たいわんししらん　〔形態〕南方島地の山地岩上又は樹上等に自生する羊齒類の一種にして．葉は細長く質稍硬く．長さ 15-45 糎（0·5-1·5 尺）許に達し．中肋は隆起せず．且つ側脈は不明たり。子嚢群は葉緣の凹溝中に沈在す。〔分布〕九州（大島・屋久島）・琉球・小笠原島・臺灣。

7866. **ひめししらん**（白圖-91）…… ノキシノブ科
Vittaria anguste-elongata, *Hayata.*

〔形態〕暖地に自生する羊齒類にして．概形前種シマシシランに似たれども．葉は遙かに小形にして．概ね稍扭捩し．鱗片は淡黒色を帶べる褐色を呈する一種たり。〔分布〕臺灣。

7867. **をがさはししらん**…… ノキシノブ科
Vittaria ogasawarensis, *Kodama.*

〔形態〕暖地に自生する羊齒類にして．地下の根莖は横臥し．鱗毛を密布す。葉は質硬く．狭披針形にして先端尖り．長さ 60 糎（2 尺）許に達し．中肋は稍隆起す。子嚢群は細長く．反捲せる葉緣より成れる包膜中に藏せらる。〔分布〕小笠原島。

7868. **なかみししらん**…… ノキシノブ科
Vittaria sessilis, *Makino.*

〔形態〕深山の岩石上に自生する多年生羊齒類にして．根莖は黒褐色鱗を被る。葉は多肉なる狭線形にして先端尖り．長さ 15-40 糎（0·5-1·3 尺）許に達し．葉柄は短く圓柱形をなす。中肋は裏面に隆起し．側脈は葉肉中に潜在し．葉緣に近く走れる縦脈に合着す。子嚢群は細長く．葉緣内方の深き溝中に沈在す。〔分布〕四國・九州。

7869. **たちししらん**（16 圖版-144）…… ノキシノブ科
Vittaria suberecta, *Hayata.*

〔形態〕暖地に自生する氣生羊齒類の一種にして．根莖は葉柄の基脚と共に黒褐色を呈し．稍淡き黒色の細鱗毛を密生す。葉はシシランに比するに質遙かに厚く．長線形にして先端尖り．長さ 18-45 糎（0·6-1·5 尺）許に達す。兩面共に毛なく．全緣にして中肋は下面に隆起し．上面凹陷す。〔分布〕臺灣。

42. イハデンダ屬　WOODSIA.

7870. **いはてんだ**（16 圖版-145）…… ノキシノブ科
Woodsia polystichoides, *Eat.* var. Veitchii, *Hook.* et *Bak.*

〔形態〕山地の岩石上に自生する多年生の羊齒類なり。根莖は短く通常多數の葉を叢生す。葉は稍厚膜質にして．單一羽狀複葉をなす。羽片は無柄にして絨毛を布き．中軸の兩側に相接して殆んど水平に横出す。子嚢群は羽片の前後兩緣に生じ．淡褐色・球形の包膜を有するものなり。〔分布〕北海道・本州・四國。

7871. **えぞいはでんだ**…… ノキシノブ科
Woodsia polystichoides, *Eat.* var. nudiuscula, *Hook.*

〔形態〕本州北部以北の山地に自生する羊齒類にして．概形前種イハデンダに似たれども．本種は葉面の毛茸極めて稀疎なる一種なり。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部。

7872. **みやまいはてんだ**（16 圖版-146）…… ノキシノブ科
Woodsia ilvensis, *R. Br.*

（異名）りしりでんだ　〔形態〕山地の岩壁等に自生する多年生羊齒類にして．地下に塊狀の根莖を有し．之より長さ 9-15 糎（3-5 寸）内外を有する葉を簇生す。葉柄は羽軸並に葉の下面と共に黒褐色の鱗片及長毛を布き．葉柄には關節を有す。葉は疎らに羽片を對生する 1 回羽狀複葉にして．各羽片は更に羽狀に深裂し．裂片は長楕圓形・鈍頭にして．不明鈍歯牙緣をなす。子嚢群は各羽片の緣邊に生じ．茶褐色を呈し．包膜は子嚢群より小さく．長毛狀をなす。〔分布〕樺太・北海道。

7873. **とがくしでんだ**…… ノキシノブ科
Woodsia Yazawai, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する多年生羊齒類にして．多肉の根莖より多數の葉を簇出す。葉は中部に關節を有し．基部に卵形鱗を密生せる葉柄を具ふ。葉身は 2 回羽狀に分裂し．草質・狭披針形にして．長さ 3-6 糎（1-2 寸）許に達す。各裂片は卵狀三角形にして．更に羽狀に深裂し．各深裂片の緣邊に接して子嚢群を着生す。包膜は不齊に 4-5 裂し．邊緣に長毛を有す。〔分布〕本州中部。

7874. **ふくろしだ**（16 圖版-147）…… ノキシノブ科
Woodsia manchuriensis, *Hook.*

〔形態〕山地に自生する 多年生羊齒類なり。葉は通常根莖に叢生し．膜質・長楕圓狀披針形にして．長さ 30 糎（1 尺）以上に達し．1 回羽狀に分裂す。各羽片は無柄にして長楕圓形をなし．更に分裂し．小裂片は斜卵形・鈍頭にして．全緣或は稍波緣をなす。各羽片は下面側脈に沿ひて．略球形をなせる白色の包膜を生じ．中に胞子を藏し．淡褐色を呈す。〔分布〕北海道・本州・九州。

43. コモチシダ屬　WOODWARDIA.

7875. **こもちしだ**（16 圖版-148）…… ノキシノブ科
Woodwardia orientalis, *Sm.*

（異名）おにぜんまい・ほうびしだ　〔形態〕本州中部以南各山地の懸崖等に自生する多年生羊齒頭にして．根莖は下向す。葉は單一羽狀複葉にして．基脚に細長き鑿形をなせる大鱗片を密布せる葉柄を有す。葉身は革質にして．長さ 1·2-2·4 米（4-8 尺）に達し．各羽片は更に羽狀に深裂す。深裂片は披針形・鋭尖頭にして．緣邊に細鋸歯を有し．下側裂片は小さく．側脈は網狀に纏絡す。子嚢群は．各裂片の中脈に 2 列排列をなし．葉の上面には時に葉芽を生ず。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球・臺灣。

7876. **たいわんこもちしだ**…… ノキシノブ科
Woodwardia orientalis, *Sm.* var. formosana, *Rosenst.*

〔形態〕臺灣の山野に自生する羊齒類の一種にして．前種に酷似し．彼より全體に大形なるものなり。〔分布〕臺灣。

7877. **はひこもちしだ**…… ノキシノブ科
Woodwardia unigemmata, *Nakai.*

〔形態〕コモチシダに類する一種の羊齒類なれども．本種は葉面中軸に 1 箇の根を有する大形の珠芽を生ずる種類なり。〔分布〕本州中部。

* * * * *

6. へ　ご(桫欏)科　CYATHEACEÆ.

本科の植物は、陸生の多年生羊齒類にして、莖は概ね喬木狀をなして直立するか、又は太き匍匐莖を有す。葉は羽狀又は複羽狀をなし、往々巨大なる高さに達す。子嚢群は球形にして、葉脈の背面に生じ、半球狀若しくは圓錐狀をなせる托上に着生す。胞子嚢は往々密生し、有柄或は無柄にして、倒卵圓形を呈す。環帶は完全にして、稍傾斜し、裂開部は斜に側方に存し、包膜は存在するか或は之を缺く。

本科は7屬、凡500餘の植物より成り、主に熱帶・亞熱帶地方に產し、溫帶地方には少數を產す。我邦に自生するもの3屬、凡14種あり。

92 へ　ご

本科所載植物索引目次

カクレへゴ……7881　タカワラビ……7882　へ　ゴ……7878
クミンカタワラビ……7883　ヒカゲへゴ……7881　マルハチ……7880
タイワンへゴ……7879　ヒツジシダ……7882　メへゴ……7881

1. へ　ゴ屬　CYATHEA.

7878. **へ　ゴ** 桫欏（白圖-92）……へ　ゴ　科
Cyathea boninsimensis, Copel.

〔形態〕本邦南部・琉球・臺灣地方より印度地方にも分布する大形の木性羊齒類にして、莖高さ9米（30尺）、徑30糎（1尺）以上に達し、枝極を生ぜず。幹膚には刺を有し、且つ蛇皮紋を具へ、根部には黑色の纖維を纏ふ。髓心は大きく肉質にして灰白色を呈し、柔軟なり。葉は幹の頂に簇生し、長さ1-2米（3-6尺）許を有し、葉柄の中肋には刺を具ふ。葉身は蕨の葉に似たる大形の2回羽狀複葉にして、小羽片は長さ7-8糎（2·3-2·7寸）、幅1·5糎（5分）許を有し、羽狀に深裂す。各裂片は長橢圓形・稍銳頭をなし、細鋸齒緣を有し、2叉の平行脈を具へ、表面帶淡黑色・裏面灰白色を呈し、脈上に白色・圓形の薄き鱗片を伴ふ。子嚢群は各羽裂片の下面に生じ、子嚢群の周圍には洋盃狀の包膜を有し、胞子は細小にして灰黃色を呈す。〔分布〕本州（八丈島）・小笠原島・九州・琉球。

人生との關係　幹を磨きて床柱とし、又生木のまゝ小屋柱・屋根・丸木橋等に用ひ、又幹を乾燥せしめて、筆筒・花活筒・煙草入等の細工物を製し、又琉球地方にては、技巧を加へ、雅趣ある茶盆等を造る。又觀賞用として溫室内に栽培し、或は附着生蘭科植物を植うるに用ひらる。

7879. **たいわんへご** ……へ　ゴ　科
Cyathea taiwaniana, *Nakai*.

〔形態〕溫暖なる島地に自生する灌木或は喬木性羊齒類にして、幹高さ0·9-4米（3-13尺）許に達し、幹膚には圓菱形の葉痕を存す。葉は幹頂に簇生し、葉柄は長さ45糎（1·5尺）許にして、褐色の縮毛を布き、基脚には鱗片を密生す。葉は2回羽狀複葉にして、卵狀長橢圓形をなし、長さ1·65米（5·5尺）許に達し、中軸腹面には黑褐色の毛茸を密布す。小羽片は長さ6-9糎（2-3寸）許、羽狀全裂をなし、小羽軸背面には鱗片を、腹面には褐色毛茸を生ず。裂片は長さ6-9糎（2-3寸）許にして、緣邊に細鋸齒を有し、側脈は2岐生なれども、裸葉面にありては往々3岐す。子嚢群は不等なる方形をなし、包膜は膜質にして圓形なり。〔分布〕琉球・臺灣。

2. マルハチ屬　ALSOPHILA.

7880. **まるはち** ……へ　ゴ　科
Alsophila Mertensiana, *Kunze*.

〔形態〕本邦南方島地に自生する喬木性羊齒類の一種にして、幹は柱狀をなし枝を生ぜず。葉は幹頂に多數を簇生し、大形なる重羽狀複葉をなし、葉柄は淡褐色にして棘刺を散生す。羽片は長橢圓狀披針形をなし、終羽片は鎌狀長橢圓形・全緣にして、下面粉白を布く。子嚢は葉の裏面に生じ、球形の子嚢群をなし、包膜を有せず。〔分布〕小笠原島。

人生との關係　へゴと同じく、材を建築・器具の用に供し、又觀賞用として溫室内に栽培せらる。

7881. **めへご**（17圖版-149）……へ　ゴ　科
Alsophila Ogurae, *Hayata*.

（異名）ひかげへご・かくれへご　〔形態〕南部島國の山地に自生する喬木性大形の羊齒類にして、幹は圓柱形をなし直生し、枝を岐たず。高さ3-4米（10-14尺）、徑6-7·5糎（2-2·5寸）許に達し、幹膚には葉痕を存す。葉は梢頭に束生葉を冠し、葉身は長さ2·1-2·4糎（7-8寸）許を有す。葉柄は葉身の半長許にして、基部は半圓柱形をなし、基脚細刺を生じ、鱗片を密生す。實葉身は2回羽狀複葉にして、長さ1·5米（5尺）許を有し、披針形にして黑綠色を呈し、上面滑澤、下面中軸に沿ひて、粗毛及鱗片を疎生す。小羽片は脚部羽狀に中裂し、中部は淺裂、上部は齒牙緣或は細齒牙緣をなす。子嚢群は球形にして、包膜は之を有せず。〔分布〕小笠原島。

3. タカワラビ屬　CIBOTIUM.

7882. **たかわらび**（17圖版-150）……へ　ゴ　科
Cibotium Barometz, *Sm.*

（異名）ひつじしだ　〔形態〕南方島地の山野に自生する亞喬木狀の羊齒類にして、幹は圓柱形をなし、幹頂に多數の葉を簇生す。葉は稍革質にして頗る大きく、重羽狀複葉をなし、下面に粉白を布く。下部羽片は概ね卵狀披針形にして、長さ30-60糎（1-2尺）、徑15-30糎（0·5-1尺）許に達す。小羽片は線狀銳尖形にして羽狀に深裂し、深裂片は、線狀長橢圓形をなし、稍顯著なる脈を有す。胞子葉の緣邊は特に變形して、革質を帶び、包膜と共に2瓣狀をなし、內に子嚢群を藏す。〔分布〕小笠原島・琉球・臺灣。

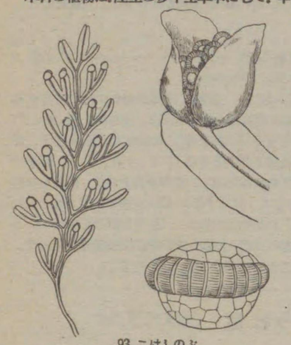
7883. **くみんかたわらび** ……へ　ゴ　科
Cibotium Barometz, *Sm.* var. Cumingii, *C. Chr.*

〔形態〕前種タカワラビの一變種にして、葉の裂片は唯1對を有し、子嚢群は側脈に着生するものなり。〔分布〕臺灣。

*　*　*
*　*　*

7. こけしのぶ(苔葱)科
HYMENOPHYLLACEÆ.

本科の植物は、陸生の多年生草本にして、羊齒類中最も下位を占め、且つ蘚苔類に最も近似せるものなり。根莖は纖細にして横行し、葉は膜質・小形にして脈部を除けば、概ね1層稀に2層乃至4層の細胞より成り、氣孔を有せず。扁平體は絲狀或は紐狀をなし、其構成も亦蘚類と稍類似す。子嚢群は枝葉先端の緣邊に於ける葉脈の終端に生じ、纖維狀の托上に着生し、脆子嚢は無柄なるか或は短柄を有す。子嚢の環帶は完全にして、横行又は斜行せるは本科の特長なり。精蟲は多數の纖毛を有す。


93 こけしのぶ

本科は2屬、凡230種の植物より成り、多くは熱帶地方に産し、少數は温帶地方に分布す。本邦には2屬、凡30種を自生す。

本科所載植物索引

アワホラゴケ……7885
ウチハゴケ……7889
オニホラゴケ……7894
オホハヒホラゴケ……7892
オホホラゴケ……7894
カウヤコケシノブ……7888
カラホラゴケ……7890
キヨスミコケシノブ…7887
コガネシノブ……7893
コケシノブ……7884
タイワンコケシノブ…7886
タイワンハヒホラゴケ7890
ツルホラゴケ……7893
ハヒホラゴケ……7890
ヒメハヒホラゴケ……7891
ホソバコケシノブ……7885
ホソバヒメコケシノブ7886
ホラゴケ……7890
マルバホラゴケ……7889
リウキウコガネ……7892
リウキウホラゴケ……7896

1. コケシノブ屬　HYMENOPHYLLUM.

7884. こけしのぶ 苔葱 (白圖-93) ……コケシノブ科
Hymenophyllum Wrightii, *Bosch.*

〔形態〕本邦各地、深山の大樹又は岩石上に附着自生する多年生常綠の羊齒類にして、葉は地下に長く横走せる絲狀の根莖より疎生す。葉柄は翼狀を呈し、上部に狹翼を具へ、基脚に細毛を生ず。葉身は綠褐色にして、通常2回羽狀に分裂すれども、時に3回羽裂することあり。全形長橢圓形或は卵狀長橢圓形をなし、長さ6糎(2寸)許を有し、裂片は菱形にして、小裂片は線狀長橢圓形・全緣なり。子嚢群は卵形にして、小裂片の頂端に着生し、包膜は2瓣を具へ、環帶は不完全なり。〔分布〕本州各部・九州。

7885. ほそばこけしのぶ (17圖版-152) …… コケシノブ科
Hymenophyllum integrum, *Bosch.*

〔形態〕南方暖國、深山樹下又は岩礁上に自生する多年生羊齒類にして、根莖は翼狀を呈し横走す。葉柄は細線形にして、3糎(1寸)内外の長さを有し、上部は中軸と共に狹翼を伴ふ。葉身は薄質にして、數回羽狀分裂をなし、全形卵形乃至卵狀披針形にして、長さ3-9糎(1-3寸)許に達す。側裂片は5-12片を有し、3菱狀長卵形をなし、終裂片は線狀長橢圓形・全緣なり。子嚢群は終裂片の頂端に多數を着生し、卵形にして2深裂をなせる包膜を有す。〔分布〕本州(紀伊)・四國・九州・琉球・臺灣。

7886. ほそばひめこけしのぶ …… コケシノブ科
Hymenophyllum fujisanense, *Nakai.*

(異名) たいわんこけしのぶ　〔形態〕前種と同じく南方暖地の深山樹下に自生する多年生の羊齒類にして、根莖は細長く匍匐す。葉柄は質剛硬にして、長さ3-6糎(1-2寸)許を有し、葉身は2乃至3回複雜に羽狀分裂をなせる複葉にして、全形ホソバコケシノブに比するに、大形なる披針形をなし、羽軸には狹翼を伴ふ。羽片は概ね廣披針形にして、裂片は細長く全緣なり。子嚢群は短き柄を有し、包膜は稍腎臟形にして赤全緣なり。
〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

7887. きよすみこけしのぶ (17圖版-153) … コケシノブ科
Hymenophyllum oligosorum, *Makino.*

〔形態〕房州清澄山及其他山地の大樹下等に多く自生する多年生の羊齒植物にして、根莖は翼狀をなして匍匐す。葉柄は細長く、6-18粍(2-6分)許の長さを有し、羽軸及葉の下面脈上と共に毛狀鱗を散生し、且つ上半部には羽軸と共に狹翼を伴ふ。葉身は羽狀に分裂し、硬質・廣橢圓形にして、長さ1·5-4糎(0·5-1·3寸)許に達す。側裂片は通常不等邊形にして、2乃至數分裂し、終裂片は長橢圓形・鈍頭・且つ全緣なり。子嚢群は葉面の頂部に概ね2-10箇を着生し、包膜は圓形にして細齒牙緣を有す。〔分布〕本州中部及南部・九州。

7888. かうやこけしのぶ (17圖版-154) …… コケシノブ科
Hymenophyllum barbatum, *Miq.*

〔形態〕南方各地の山地岩石上に自生する羊齒類なり。根莖は翼狀をなして横走し、葉は根莖上に疎生す。葉柄も亦翼狀をなし、上部に狹翅を有す。葉身は通常2回羽狀複葉なれども、時に3回羽狀複葉の傾を有し、鈍頭・長橢圓形の最終裂片となり、其緣邊概ね多數の細刺狀齒牙を有するは他のコケシノブ類と異れる所なりとす。子嚢は多數にして、葉の上部羽片にのみ着生し、互に相接近して、各終裂片の頂端に占居す。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球・臺灣。

2. ウチハゴケ屬　TRICHOMANES.

7889. うちはごけ (17圖版-155) …… コケシノブ科
Trichomanes parvulum, *Poir.*

(異名) まるばほらごけ　〔形態〕本邦の南部温暖なる山地の樹枝或は岩面等に着きて、概ね群集する多年生の小形羊齒類の一種にして、絲狀の根莖は黒褐色の密毛を有して横走し、小形葉を疎生す。葉身は大略扇形・圓形或は腎臟形等をなし、徑1·5糎(5分)許に及び、數片に深裂す。各裂片は更に長短・鈍頭の小裂片をなし、硬膜質にして、脈上微腺毛を疎生す。葉柄は絲狀をなし、下部有毛なり。子嚢群は每葉中央裂片に頂生せる筒狀の包膜内に1乃至數箇を沈在し、口緣は開張し、床柱は翼狀をなして包膜より長し。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球・臺灣。

7890. こがねしのぶ (17圖版-156) …… コケシノブ科
Trichomanes orientale, *C. Chr.*

(異名) はひほらごけ・ほらごけ・からほらごけ・たいわんはひほらごけ　〔形態〕本州中部以南の山中隰地に自生する多年生の羊齒植物なり。根莖は針金狀をなして匍匐し、暗黒色の短毛を密生す。葉は6-9糎(2-3寸)より21-24糎(7-8寸)許の長さを有し、薄質・卵狀長橢圓形又は披針形にして、3回羽狀に分裂し、各側に4-12片を排列す。葉柄は絲狀にして羽軸と共に狹き翅を有す。子嚢群を生ずる托の上部は長き毛狀をなし、包膜は稍洋盃狀にして、床柱は翼狀をなし挺出す。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・小笠原島・琉球・臺灣。

7891. ひめはひほらごけ …… コケシノブ科
Trichomanes nipponicum, *Nakai.*

〔形態〕前種コガネシノブに類似せる羊齒類にして、全株小形なり。根莖は褐黒色の翼毛を布きて匍匐し、葉柄は長さ6-18粍(2-6分)許を有し、翅を具ふ。葉は概ね3回羽狀複葉にして、全形卵狀長橢圓形をなし、終裂片は細長く、鋭頭或は凹頭をなす。包膜は短小なる倒三角形にして稍截頭をなし、床柱は稍長く挺出す。〔分布〕本州中部。

7892. りうきうこがね …… コケシノブ科
Trichomanes naseanum, *Christ.*

(異名) おほはひほらごけ　〔形態〕南方温暖なる島地に自生する羊齒類にして、根莖は黒色鞏形鱗を被り、多肉なり。葉は卵狀長橢圓形にして、長さ18糎(6寸)許を有し、羽片は三角狀卵形にして先端尖り、小羽片は卵形にして羽裂し、各裂片は舌形をなし、鈍或は鋭頭なり。子嚢群は小羽片の基脚に着生し、床柱は包膜より短し。〔分布〕九州・小笠原島・琉球・臺灣。

7893. つるほらごけ (17圖版-157) …… コケシノブ科
Trichomanes auriculatum, *Blume.*

(異名) こがねほらごけ　〔形態〕本州南部山地の樹蔭・樹幹上又は岩石上に自生する多年生の羊齒植物にして、根莖は硬く、針金狀をなし、所々に暗褐毛を被り、先端褐色の鱗毛を有して廣く匍匐す。葉は披針形をなし、長さ12-15糎(4-5寸)より30糎(1尺)内外に達し、單一羽狀複葉にして、羽軸には狹き翅を有し、且つ鱗毛を散生す。羽片は短柄によりて多數を互生し、長卵形にして羽狀に深裂し、深裂片は更に不齊條裂をなす。子嚢群は裂片の下面緣部に生じ、洋盃狀の包膜を有し、托の上部は伸長して毛狀をなす。〔分布〕本州南部・四國・九州・琉球・臺灣。

149 めへご

150 たかわらび

151 こけしのぶ

152 ほそばこけしのぶ

153 きよすみこけしのぶ

154 かうや こけしのぶ

155 うちはごけ

156 こがねしのぶ

157 つるほらごけ

158 あをほらごけ

7894. おにほらごけ …… コケシノブ科
Trichomanes cupressoides, *Desv.*

（異名）おにほらごけ　〔形態〕本種も亦南方暖地に生ずる羊齒類にして、葉は根莖より叢生す。葉柄は針金狀にして質硬く、裸出するか或は上部に往々翅を伴ふ。葉身は三角形或は卵狀鋭尖形にして3乃至4回羽狀に分裂し、中軸の上部には往々翅を有す。下部裂片は卵狀菱形をなし、小裂片は更に羽狀に分裂し、第三次裂片は線形にして、深齒緣をなすか或は更に羽狀に分裂す。子嚢群は小裂片毎に、2-12箇を着け、包膜は洋盃狀をなす。〔分布〕九州・小笠原島・琉球・臺灣。

7895. あをほらごけ（17圖版-158） …… コケシノブ科
Trichomanes bipunctatum, *Poir.*

〔形態〕本邦中部以南各地の陰地・岩面等に自生する多年生の羊齒類にして、根莖は匍匐し、細長くして黒色の毛茸を生ず。葉柄は下部に毛茸を生じ羽軸と共に著だ狹き翅を伴ふ。葉は質薄く、卵形或は卵狀長橢圓形にして、9糎（3寸）內外の長さを有し、2回乃至3回羽狀に分裂す。裂片は菱狀卵形・小裂片は楔形をなし、終裂片は稍細長くして先端稍尖る。子嚢群は細長く、每裂片に1-9箇を着け、3萠狀卵形の包膜を有す。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・小笠原島・臺灣。

7896. りうきうほらごけ …… コケシノブ科
Trichomanes liukiuense, *Yabe.*

〔形態〕琉球・臺灣地方に生ずる羊齒類にして、根莖は短く、褐色の粗毛を被り匍匐す。葉は羽狀複葉にして、長橢圓狀披針形をなし、羽片は各側6乃至10對を排列す。小羽片は卵形或は菱形をなして稍扇裂し、子嚢群は小羽片に稍腋出し、包膜は廣圓筒狀にして稍唇形をなす。〔分布〕琉球・臺灣。

2. 瓶爾小草群

1. はなやすり（瓶爾小草）科
OPHIOGLOSSACEÆ.

本科の植物は小形の多年生にして、短き直立性の地下莖を有し、1箇又は少數の葉を地上に生ず。子嚢を生ずる葉は2部に分れ、1は尋常葉と異れる形狀を有して、緣部に大形の子嚢を生じ、他は尋常葉と同じき形狀をなす。子嚢は數層の細胞より成れる壁を有し、胞子は1種にして、扁平體即ち有性世代の植物は、全く或は1部地中にありて葉綠素を有せず。多數の埋存せる雄器及雌器を生ず。精蟲は多數の纖毛を具ふ。

本科は4屬、凡50種の植物より成り、主に熱帶及溫帶地方に產し、本邦には4屬、凡19種を產するに過ぎず。

本科所載植物名目次

アキノハナワラビ……7907　エゾヒメハナワラビ…7905　エゾフユノハナワラビ7908　エダウチコブラン……7911　オホハナヤスリ……7897　オホハナワラビ……7906　カラフトハナワラビ…7909　コハナヤスリ……7897　コハナワラビ……7905　コブラン……7910　シダレハナヤスリ……7910　ナガバノハナヤスリ…7900　ナガボノナツノハナワラビ……7904　ナツノハナワラビ……7903　ハナヤスリ……7897　ハナワラビ……7902　ハルノハナワラビ……7902　ヒメハナワラビ……7907　ヒロハハナヤスリ……7901　フジハナヤスリ……7898　フユノハナワラビ……7902　ヘビノシダ……7907　ミヤマハナワラビ……7909　ヤマハナワラビ……7908

1. ハナヤスリ屬　OPHIOGLOSSUM.

7897. **はなやすり**　瓶爾小草・花蘚 …… ハナヤスリ科
Ophioglossum Vulgatum, *L.*（18圖版-159）

（異名）こはなやすり・おほはなやすり　〔形態〕各地の稍水濕の原野又は山地等に自生する多年生の羊齒類にして、地方により又エゾノハナヤスリと稱す。莖は地下に存して葉を地上に出し、葉柄と共に高さ10-20糎（3-5-7寸）許に達し、基部に於て2叉に分れ、下部は卵形・全緣にして、長さ5-10糎（1-6-3-2寸）、幅3-4糎（1-1-3寸）を有する所謂裸葉なり。上部のものは即ち實葉部にして、上端細長く、其形稍鰻に似たり。此の部は子嚢の集りにして胞子を含む。〔分布〕本州各部・四國・九州・小笠原島。

7898. ふじはなやすり …… ハナヤスリ科
Ophioglossum Savatieri, *Nakai.*

〔形態〕稍濕潤なる山野に自生する多年生の羊齒類にして、根莖は地下を匍匐し、高さ15-18糎（5-6寸）許ある莖を生じ、裸葉は葉柄を具へ、葉身は篦形にして、銳頭・楔脚をなし、子嚢を生ずる實葉は、莖頂に穗狀をなし、長さ6糎（2寸）許に達す。〔分布〕本州中部。

7899. はまはなやすり …… ハナヤスリ科
Ophioglossum littorale, *Makino.*

〔形態〕海濱の砂上等に多き多年生の羊齒類にして、根莖は短く、地下に匍枝を曳き、數葉を叢生す。葉は葉柄を具へ、稍多肉にして舟狀披針形をなし、長さ3-4-5糎（1-1-5寸）許を有す。果穗は長柄を有して肥厚し、冬季に至るも半ば枯凋せざるものなり。〔分布〕本州中部。

7900. ながばのはなやすり …… ハナヤスリ科
Ophioglossum ellipticum, *Hook.* et *Grev.*

〔形態〕小笠原島に自生する羊齒類にして、前種ハナヤスリに類すれども全形頗る長大なる一種なり。〔分布〕小笠原島。

7901. ひろははなやすり …… ハナヤスリ科
Ophioglossum reticulatum, *L.*

〔形態〕多く濕地に自生する多年生羊齒類の一種にして、根莖は匍匐し、莖高さ6-9糎（2-3寸）に達し、裸葉は廣卵形・銳頭にして、基脚莖を抱き、1葉を生ず。實葉は莖頂に生じ、淡黃色を呈する多くの子嚢を着生し、長さ3糎（1寸）許に達す。〔分布〕本州・小笠原島・臺灣。

2. フユノハナワラビ屬　BOTRYCHIUM.

7902. **ふゆのはなわらび**（18圖版-160） ……ハナヤスリ科
Botrychium ternatum, *Sw.*

（異名）はるのはなわらび・はなわらび　〔形態〕山野に多く自生する宿根羊齒植物にして，莖高さ 3-6 糎（1-2 寸）に達す。葉は通常三角形にして 3-4 回羽狀に分裂し，黃綠色を呈する 1 箇の裸葉と共に，三角狀圓錐形にして，3-15 糎（1-5 寸）許の長さを有する實葉とを抽きて，多數の子嚢を生ず。子嚢は小穗軸に沿ひて分離列生す。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・琉球・臺灣。

人生との關係　葉を取りて食用に供す。

7903. **なつのはなわらび**（18 圖版-161）……ハナヤスリ科
Botrychium virginianum, *Sw.*

〔形態〕前種と同じく山野に多く自生する宿根羊齒類にして，前種フユノハナワラビに酷似すれども，全株大形にして，高さ 15-30 糎（0·5-1 尺）許に達す。夏月，三角形にして 4 回羽狀に分裂せる無柄の裸葉間に 1 莖を抽き，穗狀をなして粟粒の如き子嚢を簇生し，黃金色を呈する實葉を生じ，概ね 2 回羽狀に分裂す。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

7904. **ながぼのなつのはなわらび**……ハナヤスリ科
Botrychium strictum, *Und.*（18 圖版-162）

（異名）ながぼのはなわらび　〔形態〕山野に自生する多年生の羊齒類にして，高さ 30 糎（1 尺）以上に達す。裸葉は重羽狀複葉にして，全形三角形をなし，各小葉は披針形にして深き缺刻により羽狀をなす。葉は 2 部より成り，下部は尋常葉の形狀を有し，上部は總葉柄の頂に長大なる穗狀をなし，球形の子嚢より成れる小葉を着生す。〔分布〕北海道・本州各部。

7905. **こはなわらび**……ハナヤスリ科
Botrychium simplex, *Hitche.*

（異名）えぞひめはなわらび　〔形態〕北地に自生する多年生の羊齒類にして，莖は細長く，高さ 3-9 糎（1-3 寸）許に達す。裸葉は短柄を有し，稍卵形にして羽狀複葉をなし，小葉は各側に 1-3 箇を着け，羽狀分裂をなす。實葉は長く延びて稍枝を分ち，最下枝は更に分岐す。〔分布〕北海道。

7906. **おほはなわらび**（18 圖版-163）……ハナヤスリ科
Botrychium japonicum, *Und.*

〔形態〕森林中に多く自生する多年生の羊齒植物にして，莖は 15-30 糎（0·5-1 尺）內外に達す。秋日，宿根より生ずる有柄葉は，數回羽狀複葉にして三角形を呈し，全形稍ノダケの葉に似たれども，裂片は遙かに小さく，各小裂片の邊緣は裁狀鋸齒をなす。實葉は基脚葉柄に抱かれ，上端 3 回羽狀に複生し，魚卵狀の子嚢を擁簇す。〔分布〕本州中部及南部・九州・臺灣。

7907. **ひめはなわらび**（18 圖版-164）……ハナヤスリ科
Botrychium Lunaria, *Sw.*

（異名）へびのした・あきのはなわらび　〔形態〕本州中部以北の山地に自生する多年生羊齒植物にして，9-12 糎（3-4 寸）より 21-24 糎（7-8 寸）許の高さに達す。子嚢を生ずる葉は 2 部に分れ，下部は 1 回羽狀に全裂し，裂片は扇形或は半月形をなす。實葉は長き葉柄を具へ，裸葉と同長なるか或は長く，2 回羽狀に全裂し，小裂片は小形球狀の子嚢を有す。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

7908. **やまはなわらび**……ハナヤスリ科
Botrychium robustum, *Und.*

（異名）えぞふゆのはなわらび　〔形態〕山地に自生する多年生の矮小なる羊齒植物にして，莖高さ 3 糎（1 寸）內外を超へず。裸葉は革質・三角形にして，2 回羽狀に全裂し，裂片は概ね線狀長橢圓形にして羽狀に深裂し，細鈍齒牙緣を有す。實葉も亦 2 回羽狀に全裂し，長柄を有し，小裂片は子嚢を生ず。〔分布〕樺太・北海道・本州。

7909. **みやまはなわらび**……ハナヤスリ科
Botrychium palmatum, *Presl.*

（異名）からふとはなわらび　〔形態〕北地の深山に自生する多年生の羊齒類にして，莖高さ 9-24 糎（3-8 寸）許に達す。裸葉は廣三角形にして柄なく，單一又は重羽狀に全裂し，裂片は鋭鋸齒緣をなす。實葉は短柄を具へ，圓錐形にして 2-3 分岐す。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

3. コプラン屬　OPHIODERMA.

7910. **こぶらん**（18 圖版-165）……ハナヤスリ科
Ophioderma pendula, *Presl.*

（異名）しだれはなやすり　〔形態〕南方島地に自生する多年生の羊齒植物なり。葉は肉質紐狀にして，長さ 30 糎（1 尺）より 4·5 米（15 尺），幅 2·4-7·5 糎（0·8-2·5 寸）許を有して下垂し，通常叉狀に分岐し，中肋を有す。子嚢穗は短柄を有して單生し，長さ 4·5-15 糎（1·5-5 寸）許に達す。〔分布〕九州（屋久島）・小笠原島・琉球・臺灣。

7911. **えだうちこぶらん**……ハナヤスリ科
Ophioderma pendula. *Presl.* forma ramosa, *Nakai.*

〔形態〕前種コプランの一品種にして，形態其他彼に酷似せるも，本種の花部は 3 岐せるを其異る所なりとす。〔分布〕臺灣。

* * * * * *

3. 觀音座蓮群

1. りうびんたい（觀音座蓮）科
MARATTIACEÆ.

本科の植物は，短き直立性の莖を有するか，或は匍匐性の根莖を有し，葉は通常羽狀或は掌狀に分裂せる複葉，又は單葉にして羽狀大きく，托葉を有す。托葉及葉柄には塵溝あり。塵溝は表皮の氣孔下に發生せる細胞間隙にして，幼稚なる葉に於ては通氣作用をなす。斯の如く葉に托葉を有することい，塵溝の存在とは本植物の特徵なり。子嚢は葉の裏面に生じ，數層の細胞より成れる壁を有す。胞子は一種にして，扁平體は葉綠素を含み，其中央は特に厚し。雄器は扁平體の兩面に，雌器は下面に生ず。精蟲は多くの纖毛を有す。

本科は 5 屬，凡 60 種の植物を含み，本邦に自生するもの 1 屬，凡 2 種を有するに過ぎず。

1. リウビンタイ 屬　ANGIOPTERIS.

7912. **りうびんたい**　觀音座蓮（18 圖版-166）リウビンタイ科
Angiopteris subopposititifolia, *De. Vries.*

（異名）りうりんたい・うろこしだ　〔形態〕本邦南部の山地に自生する多年生の羊齒類にして，莖は太く圓柱形をなし，高さ 1·8 米（6 尺）許に達し，葉柄の基部と多肉の托葉とを以て被はる。葉は大きく，2 回羽狀複葉をなし，稍革質にして，長さ 1·8-4·5 米（6-15 尺）に達す。羽片は無柄なるか或は短柄を有し，平滑にして光澤を具へ，小葉は線形又は廣披針形にして缺刻を有す。子嚢は葉緣の下面に近く生じ，短橢圓形にして，2 列をなして舟形の子嚢群を形成し，包膜を有す。〔分布〕本州南部・四國・九州・小笠原島・琉球・臺灣。

7913. **こうとうりうびんたい**……リウビンタイ科
Angiopteris D' Urvilleana, *De. Vries.*

〔形態〕南方島地に自生し，前種リウビンタイに類する多年生の羊齒類にして，彼に比するに，小葉は細長く，子嚢群に包膜を有せざるとは彼と異る要點なりとす。〔分布〕琉球・臺灣。

* * * * * *

2. 蘚苔亞部

1. 蘚門（土馬駘門） MUSCI.

1. 眞正蘚群（傘苔群）

（イ）腋生子嚢蘚區

1. あをきぬごけ科 BRACHYTHECIACEÆ.

本科に屬する植物は雌雄同株又は異株。稀に僞同株或は雜株なり。莖は圓形にして導束を具へ、主軸は匍匐して多枝を分岐し、又往々纖匐枝狀をなす。第一枝は概ね直立して單一なるか若しくは羽狀に小枝を分ち、通常毛葉を缺如すれども、稀にはこれを生ずるものあり。葉は多列をなし、多くは形狀を異にし、心臟形・卵圓形・長橢圓形或は披針形にして多少長く尖り、稀に鈍頭或は圓頭をなし、この葉は大體に於て鱗葉・莖葉・枝葉等に區別せらるゝものなり。朔柄は稍長く、蘚朔は多くは傾斜或は橫臥し、卵圓形若しくは長形にして、乾燥すれば多少彎曲し、稀に圓柱狀をなし直立す。朔蓋は發達惡しく、朔齒は內外2列をなし、外列は頗る吸水力に富み、概ね基脚に於て愈着し、黃色・橙黃色或は赤褐色を帶び、脈木狀の縱線並に橫褶を具へ、或內列は龍骨狀をなし、缺如するものあり。朔蓋は圓錐形をなし、鈍頭・銳頭は長嘴を有し、蘚帽は冠狀をなし脫落し易く、多くは平滑なり。

本科には23屬、凡350餘種の植物を含有し、多くは溫帶地方に產す。本邦には自生するもの約12屬、75種を產出す。

本科所載植物索引目次

アヲキヌゴケ……7914
アツブサゴケ……7979
アツブサゴケモドキ…7985
アラハヒツジゴケ……7927
イヒシバゴケ……7986
エゾアヲキヌゴケ……7910
エゾアツブサゴケ……7984
エゾツルハシゴケ……7966
エゾノハネヒツジゴケ7930
エゾヒツジゴケ……7928
エゾヤノネゴケ……7951
オニヒツジゴケ……7924
オホアツブサゴケ……7983
オホナガヒツジゴケ…7926
オホネヂレヤノネゴケ7953
カギヤノネゴケ……7954
カタゲツルハシゴケ…7965
カヤゴケ……7974
キヌヒツジゴケ……7940
キブリナギゴケ……7960
クロイロヒツジゴケ…7934
ケアヲキヌゴケ……7918
ケヒツジゴケ……7947
コエゾヒツジゴケ……7929
コエノヒツジゴケ……7936
コカヤゴケ……7975
コヒジゴケ……7945
コマノイボエゴケ……7972
コマノヒツジゴケ……7931
コミノアヲキヌコケ…7917
ザラツキゴケ……7987
サンカクツルハシゴケ7964
シロヒツジゴケ……7933
タカサゴツルハシゴケ7963
タカネヒツジゴケ……7922
タニゴケ……7940
チヤボヒツジゴケ……7935
ツクシナギゴケ……7958
ツクシナギゴケモドキ7959
ツヤヒツジゴケ……7932
テウセンカヤゴケ……7978
ナガネナギゴケ……7950
ナガバナギゴケ……7902
ナガヒツジゴケ……7925
ナギゴケ……7955
ネズミノヲゴケ……7969
ネヂレヤノネゴケ……7952
ノコギリカヤゴケ……7977
ハネヒツジゴケ……7937
ハヒクサゴケ……7941
ハマヤノネゴケ……7950
ヒゲバゴケ……7967
ヒツジゴケ……7920
ヒメアツブサゴケ……7980
ヒメトラノヲゴケ……7969
ヒメナギゴケ……7957
ヒメヒツジゴケ……7921
ヒメヤノネゴケ……7949
ヒラヒツジゴケ……7939
ヒロアツブサゴケ……7982
ヒロハイボゴケ……7973
ヒロハノフサゴケ……7942
ヒロハノフサゴケモド
キ……7943
フサヒツジゴケ……7944
フトスヂヒゲバゴケ…7968
ヘウノヲゴケ……7971
ホソアヲキヌゴケ……7916
ホソアツブサゴケ……7981
ホソナギゴケ……7961
ホソネズミノヲ……7970
ホソバアヲキヌゴケ…7915
ホソハネヒツジゴケ…7938
マルバカヤゴケ……7976
ミヤマヒツジゴケ……7923
ヤノネゴケ……7948
……
……

1. アヲキヌゴケ屬 BRACHYTHECIUM.

7914. あをきぬごけ（19圖版—167）……アヲキヌゴケ科
Brachythecium populeum, (*Hedw.*)

（異名）すぢながさむしろごけ　〔形態〕地上・岩石上或は樹皮上に生じ、莖は匍匐して羽狀に分枝し、廣く褥狀に擴り、枝は斜上又は直立す。葉は密生し、莖葉は橢圓狀披針形、枝葉は狹披針形をなし、何れも先端次等に尖り、上方に鋸齒を有す。中肋は完全にして殆んど先端に達す。朔は廣橢圓形又は橢圓形、朔蓋は稍嘴をなし、柄は長さ1·5糎（5分）內外を有し、赤色を呈す。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・朝鮮。

7915. ほそあをきぬごけ……アヲキヌゴケ科
Brachythecium populeum, (*Hedw.*) var. attenuatum, *Schimp.*

〔形態〕本種は全體に黃色を呈し、葉は前種に比し頗る狹きものなり。〔分布〕本州各部。

7916. ほそばあをきぬごけ……アヲキヌゴケ科
Brachythecium populeum, (*Hedw.*) var. angustifolium, *Besch.*

〔形態〕本種は枝長く、葉を着くること粗く、其葉は卵披針形を呈し、少しく光澤を有す。朔柄は1糎（3-4分）內外に達す。〔分布〕本州各部。

7917. こみのあをきぬごけ……アヲキヌゴケ科
Brachythecium populeum, (*Hedw.*) var. brachycarpum, (*Br.*)

〔形態〕本種は頗る纖長なるものにして、葉は卵狀披針形の毛狀をなし、先端尖り、殆んど全邊なるものなり。〔分布〕北海道・本州。

7918. けあをきぬごけ……アヲキヌゴケ科
Brachythecium piligerum, *Card.*

〔形態〕雌雄異株に生じ、葉は卵狀又は長橢圓形にして甚だ急に毛狀に延長し、殆んど全邊なり。朔は黑褐色を呈し、朔柄は1·5糎（5分）內外に達す。〔分布〕本州。

7919. えぞあをきぬごけ……アヲキヌゴケ科
Brachythecium curtum, *Ldb.*

〔形態〕雌雄同株にして、莖葉は廣卵形をなし、心臟形の基脚より急激に披針形となり、先端次第に尖り殆んど全邊をなし、中肋は中央に達するか或は頂端に達し、枝葉には銳鋸齒を有す。朔は長卵形にして、朔柄は2-3糎（0·7-1寸）に達し、粗糙なり。〔分布〕北海道。

7920. ひつじごけ……アヲキヌゴケ科
Brachythecium moriense, *Besch.*

〔形態〕雌雄異株なり。葉は心臟狀卵披針形をなし、上方に鋸齒を有し、中肋は中央以上に終る。朔は倒卵形をなし、朔柄は長さ1糎（3分）內外に達し、平滑なり。〔分布〕北海道・本州。

7921. ひめひつじごけ……アヲキヌゴケ科
Brachythecium minutum, *Broth.*

〔形態〕雌雄同株なり。本種はアヲキヌゴケに似たる纖長なる一種にして、莖葉は卵狀披針形をなし長く、上方に小鋸齒を有す。朔は廣橢圓形にして、朔柄は1糎（3分）內外に達し、平滑なり。〔分布〕北海道・本州。

7922. たかねひつじごけ……アヲキヌゴケ科
Brachythecium laxitextum, *Broth.*

〔形態〕雌雄異株なり。本種の枝葉は下垂し、卵狀長橢圓形なれども急激に長き狹披針形をなす。中肋は中部以上まで明瞭となり、且つ上緣に微鋸齒を有す。〔分布〕本州・四國・九州・朝鮮。

7923. みやまひつじごけ……アヲキヌゴケ科
Brachythecium perrevolutum, *Broth.*

〔形態〕本種は戶隱山に產する一種にして、全體に纖長なるものなり。葉は披針形をなし、中肋は下部に明瞭となり、上緣には鋸齒を有す。〔分布〕本州中部。

7924. おにひつじごけ……アヲキヌゴケ科
Brachythecium eustegium, *Besch.*

〔形態〕雌雄異株なり。莖葉は稍紐狀に扭捩せる廣卵狀披針形にして、緣邊の先端に鋸齒を有し、中肋は中部下方稍明瞭なり。朔は倒卵形をなし、朔柄は平滑にして長さ1糎（3分）許に達す。〔分布〕北海道・本州各部。

7925. ながひつじごけ……アヲキヌゴケ科
Brachythecium Buchanani, (*Hook.*)

〔形態〕地上・樹上等に自生し、白綠色を呈す。莖葉は狹長なる披針形にして先端尖り、緣邊に鋸齒を有す。翼細胞は透明にして疎く、中肋は完全ならず。朔は殆んど正しき圓筒形をなし、柄は平滑なり。雌雄異株に生ず。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

7926. おほながひつじごけ……アヲキヌゴケ科
Brachythecium Buchanani, (*Hook.*) var. japonicum, *Card.*

〔形態〕ナガヒツジゴケの一變種にして、概形彼に酷似すれども、朔柄は彼の平滑なるに比して粗く、翼細胞は疎にして一層狹細なる一種なり。〔分布〕北海道・本州・四國。

7927. あらはひつじごけ……アヲキヌゴケ科
Brachythecium Brotheri, *Par.*

〔形態〕岩上又は樹上等に生じ、雌雄同株なり。莖葉は廣心臟形にして急遽紐狀に扭捩し、緣邊に鋸齒を具へ、中肋は頂端に及ばず。概ね疎に開出し、蒴柄は粗縫なり。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州各部。

7928. えぞひつじごけ …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium Miyabei, *Broth.*

〔形態〕雌雄異株なり。莖葉は卵狀披針形をなし、概ね全緣にして中部まで著しく、雌花葉は全緣なり。蒴は廣橢圓形にして、蒴柄は長さ 2·5 糎(7·5 分)許を有し、平滑なり。〔分布〕北海道。

7929. こえだひつじごけ …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium brevirameum, *Card.*

〔形態〕本種はアヲキヌゴケに似て稍小さく、葉は短形にして先端次等に尖り、緣邊に小鋸齒を有す。翼細胞は短く、綠色を呈し、中肋は基脚より先端に及ぶ。〔分布〕朝鮮(濟州島)。

7930. えぞのはねひつじごけ …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium truncatum, *Besch.*

〔形態〕雌雄同株にして、概形ハネヒツジゴケに類似す。莖葉は心臟狀卵披針形にして、緣邊には稍不明なる小鋸齒を有し、中肋は中部以上に達す。蒴は稍小さく、蒴柄は長さ約 1 糎(3 分)許を有し、平滑なり。
〔分布〕北海道。

7931. こまのひつじごけ …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium coreanum, *Card.*

〔形態〕雌雄異株にして、ケヒツジゴケに類すれども、枝厚く、莖葉は廣三角狀披針形にして先端次第に尖り密簇す。網は密にして、翼細胞は狹細なり。蒴柄は平滑にして、中肋は稍不完全なり。〔分布〕朝鮮。

7932. つやひつじごけ …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium pulchellum, *B. P.*

〔形態〕コヒツジゴケに類すれども、葉は長柄を有して狹く、網は密にして淡綠色を呈し、翼は疎網なり。

7933. しろひつじごけ …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium Sawadae, *Card.*

〔形態〕ケヒツジゴケに似たれども、莖葉は全緣にして細胞は狹細なり。蒴は小形にして、蒴柄は 0·6-1 糎(2-3 分)內外を有する一種なり。
〔分布〕本州各部・朝鮮。

7934. くろいしひつじごけ …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium kuroishicum, *Besch.*

〔形態〕雌雄同株なり。莖葉は廣心臟狀卵形にして絲狀に扭捩し、概ね全緣なれども、中部より上緣には稍小鋸齒を有し、中肋は中央に達す。蒴は黑色にして、蒴柄は 2 糎(6 分)許を有し、平滑なり。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

7935. ちゃぼひつじごけ …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium kuroishicum, *Besch.* var. minus, *Card.*

〔形態〕クロイシヒツジゴケの一變種にして、概形彼に類すれども、全體稍小さく、枝は細長くして殆んど絲狀を呈し、多數相集りて叢生する一種なり。〔分布〕本州各部。

7936. こえのひつじごけ …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium kuroishicum, *Besch.* var. littorale, *Card.*

〔形態〕クロイシヒツジゴケの一變種にして蒴は長く、長橢圓狀圓筒形を呈し、蒴柄は長さ 8 粍(2·6 分)許を有するものなり。〔分布〕北海道。

7937. はねひつじごけ …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium plumosum, (*Sw.*)

〔形態〕本種は殆んど全世界に分布する蘚類にして雌雄同株なり。莖葉は三角狀卵形或は廣卵形にして、先端次第に銳く尖り、全緣なるか或は稍扭捩し、頂端には不明瞭なる鋸齒を有す。蒴は廣橢圓形或は橢圓形にして、蒴柄は長さ 1-2 糎(3-6 分)許、上部に小疣を具へ、中肋は上方に於て叉狀に分岐す。〔分布〕日本全土。

7938. ほそはねひつじごけ …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium plumosum, (*Sw.*) var. stenocarpum, *Card.*

〔形態〕ハネヒツジゴケの一變種にして、コアミメヒツジゴケに似て細長なる種類なれども、枝葉は彼に比するに稍廣く、且つ多數にして急遽先端尖鋭をなす。〔分布〕朝鮮(濟州島)。

7939. ひらひつじごけ …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium rhynchostegielloides, *Card.*

〔形態〕雌雄同株なり。莖は稍扁く、莖葉は卵狀披針形にして先端次第に尖り、殆んど全緣にして、波狀に小鋸齒を有し、中肋は約 ¾ に及ぶ。蒴は細微にして卵形或は長橢圓形をなし、蒴柄は平滑にして、約 1 糎(3 分)許の長さを有し、上方は往々稍粗縫なり。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州・朝鮮(濟州島)。

7940. たにごけ …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium rivulare, *Bryol. eur.*

〔形態〕廣く全世界に分布する稍大形の蘚類にして、雌雄異株なり。葉は廣卵形乃至長卵形にして、先端急激に銳尖頭をなし、基脚稍耳垂す。緣邊には疎なる小鋸齒を有し、中肋は先端に近く達す。蒴は倒卵形を呈し、蒴柄は長さ 2·5 糎(8 分)許を有す。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

7941. はひくさごけ …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium rutabulum, (*L.*)

〔形態〕廣く全世界に分布し、雌雄同株なり。全株稍强剛にして且大きく、莖葉は廣卵狀披針形にして先端長く尖り、緣邊に疎なる小鋸齒を具へ、中肋は中部以下に於て著しく、全體懸垂す。蒴は卵形乃至長橢圓形、蒴柄は長さ 2·5 糎(8 分)許を有し縒澁なり。〔分布〕北海道・本州各部。

7942. ひろはのふさごけ …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium salebrosum, (*Hoffm.*)

〔形態〕前種ハヒクサゴケに似たる蘚類にして、亦雌雄同株なり。莖葉は懸垂し、卵形乃至長卵形にして、先端急に狹細となり恰も毛狀を呈す。概ね全緣なれども、往々頂端に小鋸齒を伴ふ。中肋は中部以下に明瞭にして時に叉狀に分岐す。蒴は卵形若しくは長卵形にして、蒴柄は 2 糎(6 分)許を有し、平滑なり。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州各部・四國・九州。

7943. ひろはのふさごけもどき …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium salebrosum, (*Hoffm.*) var. cylindricum, *Sch.*

〔形態〕前種ヒロハノフサゴケの一變種にして、蒴は圓筒形をなし殆んど直立し、蒴臺は蒴柄に近づくに從ひ狹細となれる一種なり。〔分布〕北海道・本州各部。

7944. ふさひつじごけ …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium Tsunodae, *Broth.*

〔形態〕上州子持山等に多く自生し、ナガヒツジゴケに類似する蘚類にして、雌雄異株なり。莖葉は下垂し、卵狀長橢圓形にして急激に絲狀錐形をなし、漸尖部には微細なる小鋸齒を有す。中肋は中部の下方に於て著しく、蒴は概ね圓筒形をなし、蒴柄は長さ 2 糎(6 分)許を有し、平滑なり。
〔分布〕本州中部。

7945. こひつじごけ …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium Uematsui, *Broth.*

〔形態〕ヒラヒツジゴケに極めて酷似せる比較的纖長なる一種にして、雌雄同株なり。莖葉は廣卵形にして披針狀錐形をなし、先端次第に尖り、中肋は ½ 乃至 ⅔ 內外まで明瞭なり。蒴は廣橢圓形を呈し、蒴柄は 0·8-1·2 糎(2·7-4 分)內外を有し、殆んど平滑なり。〔分布〕北海道・本州北部。

7946. きぬひつじごけ …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium velutinum, (*L.*) *Br. eur.*

〔形態〕廣く世界各地に分布する一種にして、雌雄同株なり。莖葉は卵狀披針形にして先端長く尖り、邊緣には微鋸齒を具へ、枝葉は狹細なり。中肋は黃色を呈し、概ね中央部に達すれども時に ¾ 許の高さに及ぶことあり。蒴は卵形にして、蒴柄は長さ 1-2 糎(3-6 分)許を有し、純疣を伴ふ。
〔分布〕樺太。

7947. けひつじごけ …… アヲキヌゴケ科
Brachythecium wichurae, *Broth.*

〔形態〕雌雄異株なり。莖葉は心臟狀卵形にして急激に先端尖り、緣邊には毛狀の微鋸齒を有し、下垂することなく、中肋は中部以下に於て明瞭なり。蒴は廣橢圓形にして、蒴柄は長さ 1-1·5 糎(3-5 分)內外を有す。〔分布〕本州各部・四國・九州。

2. ヤノネゴケ屬 BRYHNIA.

7948. やのねごけ (19 圖版-168) …… アヲキヌゴケ科
Bryhnia Novae-Angliae, (*S. L.*)

〔形態〕雌雄異株なり。莖葉は廣卵形若しくは心臟形をなし、皺襞なく、緣邊に鋸齒を具へ下垂し、中肋は中部以下に於て明瞭なり。蒴は卵狀或は橢圓狀をなし、蒴柄は著しく縒澁なり。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。
本屬の植物は、概ね雌雄異株にして、莖には毛葉を缺き、莖葉は三角狀心臟形乃至披針形を呈し、中央凹み、縱襞を具へ、緣邊に鋸齒を有す。葉細胞は長六邊形或は菱形をなし、枝葉の細胞は其上端に突起を伴ふ。蒴は廣橢圓形乃至圓筒形にして概ね直立することなく、蒴柄は極めて粗縫にして、蒴蓋には嘴を伴ふものなり。

7949. ひめやのねごけ …… アヲキヌゴケ科
Bryhnia tenerrima, *B. Y.*

〔形態〕本種は全體極めて纖長なる蘚類なり。莖葉は廣卵狀披針形にして、先端急に長錐形をなし、緣邊に鋸齒を具へ、中肋は錐形の基脚に終る。
〔分布〕本州各部。

7950. はさやのねごけ …… アヲキヌゴケ科
Bryhnia turgescens, *B. Y.*

〔形態〕雌雄異株にして、枝葉は卵形・銳頭をなし、中肋は先端に達せず。上背には細齒を有し、葉細胞は、前種ヤノネゴケよりも狹長なるものなり。
〔分布〕本州南部(因幡地方)。

7951. えぞやのねごけ …… アヲキヌゴケ科
Bryhnia Tokubuchii, (*Broth.*)

〔形態〕莖葉は心臟狀卵形或は披針形にして長く、先端次第に尖る。中肋は次第に尖部に終り、葉細胞には乳頭を有す。蒴は廣橢圓形にして、蒴柄は長さ 1·5 糎(5 分)許を有し、粗縫なり。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

7952. ねぢれやのねごけ …… アヲキヌゴケ科
Bryhnia sublaevifolia, *B. P.*

〔形態〕ムツヤノネゴケに似たれども、全株稍粗縫なり。莖葉は幅稍廣く先端次第に尖り、網は殆んど平滑にして、葉緣に小齒牙を具ふ。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

7953. おほねぢれやのねごけ …… アヲキヌゴケ科
Bryhnia sublaevifolia, *B. P.* var. rigescens, *Card.*

〔形態〕前種ネヂレヤノネゴケの一變種にして、全株黃色を呈し、稍粗大なる蘚類なり。莖葉は幅廣くして中部凹み、且つ皺襞を有し、莖は乾燥すれば硬化する一種なり。〔分布〕本州各部。

7954. かぎやのねごけ …… アヲキヌゴケ科
Bryhnia uncinifolia, *B. P.*

〔形態〕北地に自生する蘚類にして、葉は鎌形をなして一方に曲がり、長く錐形に尖れる一種なり。〔分布〕北海道。

3. ナギゴケ屬 OXYRRHYNCHIUM.

7955. ながなぎごけ …… アヲキヌゴケ科
Oxyrrhynchium praelongum, (*L. Hedw.*)

〔形態〕廣く世界各地に分布せる蘚類にして、地上又は岩石上に自生す。莖葉は廣卵形乃至心臟形の基脚より短披針形をなし、中肋は約 ¾ 內外に達す。枝葉は卵形を呈し、先端短く尖る。蒴は卵圓形又は長橢圓形にして、蒴柄は長さ 2·5 糎(8 分)內外を有す。〔分布〕本州各部・四國・九州。

7956. ひめなぎごけ …… アヲキヌゴケ科
Oxyrrhynchium Savatieri, (*Schimp.*)

〔形態〕前種ナガナギゴケに類似せる蘚類なれども、彼に比するに莖葉は大きく、卵狀心臟形にして先端急に尖り、中肋は曲折し、先端の裏面に齒牙を有する一種なり。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

7957. つくしなぎごけ …… アヲキヌゴケ科
Oxyrrhynchium polystichum, (*Mitt.*)

〔形態〕溫暖なる地方の地上又は岩石上に生ずる蘚類なり。莖葉は心臟狀卵形にして先端緩く尖り、枝葉は卵形にして亦先端次第に尖り、中肋は先端に達せず。蒴は長橢圓形をなし、蒴柄は長さ 3-4 粍(1-1·3 分)內外を有す。〔分布〕本州南部・四國・九州。

7958. つくしなぎごけもどき …… アヲキヌゴケ科
Oxyrrhynchium hians, (*Lac.*)

〔形態〕暖國の地上・岩上等に自生する一種なり。莖葉は心臟形を呈すれども、先端急激に狹尖頭をなし、長さ葉長の ⅙ を有し、中肋は中部以上に達す。蒴は卵圓形にして、蒴柄は 1-1·3 糎(3-4 分)許の長さを有し、粗縫なり。〔分布〕九州(日向)。

7959. ながすぢみかづきごけ …… アヲキヌゴケ科
Oxyrrhynchium laxirete, *Broth.*

〔形態〕前種ヒメナギゴケに酷似すれども、彼より綠色深く、葉は卵形をなし先端次第に尖り、或は短く尖り、中肋は殆んど頂端に達するを彼と異るところとす。〔分布〕本州・四國・九州・朝鮮。

4. キブリナギゴケ屬 EURRHYNCHIUM.

7960. きぶりなぎごけ (19 圖版-169) …… アヲキヌゴケ科
Eurrhynchium arbuscula, *Broth.*

〔形態〕本州及九州地方の地上・樹上又は岩石上に自生する蘚類にして、莖は樹枝狀に枝を岐つ。莖葉は腎臟形をなして、先端急に細く尖り、頂緣邊には小鋸齒を具へ、且つ全面に明瞭なる皺襞を有して枝上疎に平開す。枝葉は緣邊に齒牙を有する卵形にして、中肋は錐形の基脚に終る。蒴は明瞭なる蒴臺を有し、橢圓形乃至圓筒形をなし、蒴柄は長くして粗縫なり。
〔分布〕本州各部・四國・九州。

7961. ほそなぎごけ …… アヲキヌゴケ科
Eurrhynchium Fauriei, *Card.*

〔形態〕雌雄異株なり。枝は樹枝狀をなして疎なる羽狀に分岐し、莖葉は小形なる心臟形にして、甚だ急激に漸尖錐形をなす。緣邊には基脚より波狀鋸齒を具へ、中肋は先端に及ばず。枝葉は長橢圓狀披針形を呈す。
〔分布〕本州各部。

7962. ながはなぎごけ …… アヲキヌゴケ科
Eurrhynchium longifolium, (*Mitt.*)

〔形態〕暖地の地上・樹上又は岩石上等に自生する蘚類なり。莖葉は卵形にして、先端廣錐形をなし先端尖り、皺襞を有し、中肋は錐形の基脚に終る。枝葉は卵狀披針形にして、緣邊に銳鋸齒を有す。〔分布〕九州。

7963. たかさごつるはしごけ …… アヲキヌゴケ科
Eurrhynchium striatum, (*Schreb.*)

〔形態〕本種も亦暖國に產する一種にして、莖葉は廣心臟狀卵形をなし短く先端尖り、長襞を有し、中肋は先端に達せず。翼細胞は長方六邊形をなし蒴は殆んど圓筒形にして、蒴柄は 3·5 糎(1·2 寸)許に達し、平滑なり。
〔分布〕臺灣。

7964. さんかくつるはしごけ …… アヲキヌゴケ科
Eurrhynchium deltophyllum, *Card.*

〔形態〕雌雄異株なり。枝は樹枝狀をなして不齊羽狀に分岐し、葉は廣心臟狀三角形にして長く、先端次第に尖り銳頭をなす。中肋は其兩側に長襞を有し、漸尖部に終る。翼細胞は方形をなし多數を有す。〔分布〕本州各部。

7965. かたげつるはしごけ …… アヲキヌゴケ科
Eurrhynchium strigosum, (*Hoffm.*)

〔形態〕廣く世界各地に分布する蘚類にして、雌雄異株なり。莖葉は狹卵形にして先端次第に細く尖り、芒狀をなす。緣邊には銳鋸齒を有し、中肋は先端に達せず。翼細胞は方形乃至長方形をなす。蒴は廣橢圓形或は長橢圓形にして、蒴柄は 1·8 糎(6 分)許を有し、平滑なり。〔分布〕本州各部。

7966. えぞつるはしごけ …… アヲキヌゴケ科
Eurrhynchium yezoanum, *Okm.*

〔形態〕北地に生ずる蘚類にして、雌雄異株なり。莖葉は心臟形又は三角狀心臟形にして短く、披針狀銳頭をなし、緣邊は廣く小鋸齒を具へ、稍外反し、中肋は先端に消滅す。蒴柄は短く 6-8 粍(2-2·5 分)許を有す。
〔分布〕北海道。

5. ヒゲバゴケ屬 CIRRIPHYLLUM.

7967. ひげばごけ …… アヲキヌゴケ科
Cirriphyllum cameratum, (*Mitt.*)

〔形態〕山地の樹上又は岩石上に自生する蘚類にして、雌雄異株なり。枝は概ね弓狀に彎曲し、匐枝を曳かず。葉は長卵形にして、先端急激に披針狀をなして尖り、頂端稍扭捩す。〔分布〕本州中部(日光附近)。

7968. ふとすぢひげばごけ ····· アヲキヌゴケ科
Cirriphyllum crassinervium, (*Tayl.*)

〔形態〕莖は匍枝を曳き．葉は長卵形にして．先端急に披針狀錐形に尖り．中肋は先端に達せず。蒴は廣橢圓形乃至長橢圓形にして．明瞭なる蒴臺を有し．蒴柄は 0·8–1·5 糎（2·6–5 分）內外の長さを有す。〔分布〕北海道·本州各部·四國·九州。

6. ネズミノヲゴケ屬 MYUROCLADA.

7969. **ねずみのをごけ**（19 圖版–170） ····アヲキヌゴケ科
Myuroclada concinna, (*Wils.*)

（異名）ひめとらのをごけ　〔形態〕岩上又は樹上等に自生する蘚類にして．雌雄異株なり。莖は細き匍枝狀をなし．枝は鼠尾狀に．中央凹形をなせる圓形の葉を密生す。蒴は直立し．蒴柄は平滑なり。〔分布〕日本全土。

7970. ほそねずみのを ····· アヲキヌゴケ科
Myuroclada concinna, (*Wils.*) var. gracilis, *Card.*

〔形態〕前種ネズミノヲゴケの一變種にして．莖·枝·葉共に彼より一層狹小なる一種なり。〔分布〕本州各部。

7. ヘウノヲゴケ屬 SCLEROPODIUM.

7971. へうのをごけ ····· アヲキヌゴケ科
Scleropodium purum, (*L.*)

〔形態〕廣く世界各地に分布する蘚類にして．雌雄異株なり。莖葉は廣卵形又は卵圓形にして先端尖り．長き皺襞を有し下垂す。中肋は單一にして．中央に達するか或は又は双出し．翼細胞は長方六邊形をなし．蒴は長橢圓形にして水平に着生す。〔分布〕本州各部。

7972. こまのいぼえごけ ····· アヲキヌゴケ科
Scleropodium coreense, *Card.*

〔形態〕雌雄異株なり。葉は長橢圓形にして廣く且つ短く．先端次第に尖り稍鈍頭をなし．緣邊には基脚より小鋸齒を具へ．中肋は約¾の長さに達す。〔分布〕朝鮮。

7973. ひろはいぼえごけ ····· アヲキヌゴケ科
Scleropodium brachyphylla, *Card.*

〔形態〕雌雄異株なり。葉は短く廣橢圓形にして．先端次第に尖り．銳頭或は稍鈍頭をなし．緣邊に鋸齒を有す。中肋は¾時に夫れ以上の長さに達するものあり。〔分布〕朝鮮。

8. カヤゴケ屬 RHYNCHOSTEGIUM.

7974. かやごけ ····· アヲキヌゴケ科
Rhynchostegium inclinatum, (*Mitt.*)

〔形態〕地上又は岩上に自生する蘚類にして．雌雄同株なり。葉は卵狀披針形にして先端銳く尖り．頂端に鋸齒を有し．中肋は先端に及ばず。雌花には齒牙を具へ．葉柄は平滑なり。〔分布〕北海道·本州·四國·九州。

本屬の植物は．莖には毛葉少く或は之を缺き．葉は卵狀披針形にして．緣邊鋸齒を具へ．通常平に排列し．皺襞を有す。蒴は斜廣橢圓形或は圓筒形をなし．蒴蓋には喙を伴ひ．蒴柄は平滑なり。概ね地上·岩上等に自生し．通常雌雄同株なれども．亦往々異株なることあり。

7975. こかやごけ ····· アヲキヌゴケ科
Rhynchostegium pallidifolium, (*Mitt.*)

〔形態〕雌雄同株なり。葉は卵狀披針形にして先端漸く尖り．緣邊には鋸齒を具へ．中肋は中部以上に達し．雌花葉は全緣なり。蒴柄は細長く．蒴は廣橢圓狀圓筒形をなす。〔分布〕北海道·本州·四國·九州。

7976. まるばかやごけ ····· アヲキヌゴケ科
Rhynchostegium rotundifolium, (*Scop.*)

〔形態〕雌雄同株なり。枝は直立し．葉は短く廣卵圓形にして急遽披針形をなし．頂緣邊に疎鋸齒を具へ．中肋は中央に達し．時に叉岐す。蒴柄は 5–15 粍（1·6–5 分）許を有し．蒴は卵圓形なり。〔分布〕北海道·本州·四國。

7977. のこぎりかやごけ ····· アヲキヌゴケ科
Rhynchostegium serrulatum, (*Hedw.*)

〔形態〕雌雄同株なり。葉は卵狀披針形にして短く．先端次第に尖り．且つ小鋸齒を具へ．中肋は中部以上に達す。葉細胞は長き菱狀線形をなし．翼にあるものは方形にして疎に且つ大なり。雌花葉は殆んど全緣にして．蒴柄は平滑·蒴は長橢圓形をなす。〔分布〕北亞米利加。

7978. てうせんかやごけ ····· アヲキヌゴケ科
Rhynchostegium Fauriei, *Card.*

〔形態〕枝は稍波狀に曲折し．葉は卵狀披針形にして先端漸く尖り．銳頭をなせる緣邊には鋸齒を具ふ。中肋は中部以上に達し．翼細胞は疎なり。〔分布〕朝鮮（濟州島）。

9. アツブサゴケ屬 HOMALOTHECIUM.

7979. **あつぶさごけ**（19 圖版–171） ····· アヲキヌゴケ科
Homalothecium tokiodense, (*Mitt.*)

〔形態〕岩石上又は樹幹上に着生する蘚類の一種にして．雌雄異株なり。枝葉は心臟狀三角形にして細き錐形をなし．4 箇の皺襞を具へ．概ね全緣なれども．緣隅に微細小鋸齒を有す。蒴は廣橢圓狀圓筒形をなして．蒴柄の上に直立し．蒴柄は 1 糎（3 分）許の長さを有す。〔分布〕北海道·本州·四國·九州·臺灣。

本屬の植物は樹幹·岩石上に着生し．概ね雌雄異株なり。葉は卵狀披針形にして細鋸齒を具へ．翼細胞は多數を有す。蒴は直立し．內齒は外齒に輕く附着し．蒴蓋には長嘴を伴ふものなり。

7980. ひめあつぶさごけ ····· アヲキヌゴケ科
Homalothecium laevigatum, *S. Lac.*

〔形態〕葉は卵狀披針形にして齒牙緣をなし．中肋は先端に達せず。蒴は長橢圓形にして直立し．蒴柄は紫色にして平滑なるものなり。〔分布〕本州各部·九州。

7981. ほそあつぶさごけ ····· アヲキヌゴケ科
Homalothecium laevigatum, *S. Lac.* var. pilicuspis, *Card.*

〔形態〕葉は長橢圓狀卵形にして．基部より次第に細まりて先端尖り．中肋は殆んど全長に達す。蒴は廣橢圓狀筒形をなし．蒴蓋には長嘴を伴ふ。〔分布〕本州各部。

7982. ひろはあつぶさごけ ····· アヲキヌゴケ科
Homalothecium laevigatum, *S. Lac.* var. latifolium, *Card.*

〔形態〕ヒメアツブサゴケの一變種にして．彼に比するに．葉は一層廣くして短く．先端次第に尖れる種類なり。〔分布〕朝鮮。

7983. おほあつぶさごけ ····· アヲキヌゴケ科
Homalothecium macrostegium, (*S. L.*)

〔形態〕葉は長橢圓狀卵形にして．基脚より長く漸次狹まりて先端尖り．中肋は殆んど全長に達す。蒴は廣橢圓狀筒形をなし．蒴蓋には長き嘴を伴ふ。〔分布〕本州各部。

7984. えぞあつぶさごけ ····· アヲキヌゴケ科
Homalothecium sciureum, (*Mitt.*)

〔形態〕枝葉は錐狀披針形にして圓脚をなし．緣邊には微細小鋸齒を具へ中肋は先端に達す。蒴は長橢圓狀廣橢圓形をなし．蒴柄は長さ 1 糎（3 分）許を有し．赤色にして平滑なり。〔分布〕本州各部。

10. アツブサゴケモドキ屬 PLEUROPUS.

7985. あつぶさごけもどき ····· アヲキヌゴケ科
Pleuropus fenestratus, *Griff.*

〔形態〕樹上に自生する蘚類にして．葉は心臟狀披針形をなし．漸尖銳鋸齒を具へ．概ね一方に曲り下垂せす。中肋は遙か先端に達せす。葉細胞は線形をなす。蒴は大きく圓筒形をなして直立し．蒴柄は細長く赤色にして．且つ平滑なり。〔分布〕本州各部·四國。

11. イヒシバゴケ屬 IISIBAEA.

7986. いひしばごけ ····· アヲキヌゴケ科
Iisibaea japonica, *Br.* et *Okm.*

〔形態〕山地の樹幹に生する蘚類にして．雌雄同株なり。莖は細長く．枝を密生す。葉は披錐狀卵形にして先端尖り．頂端に微鋸齒を具へ．中肋は基部に達す。翼細胞は方形にして多數あり。蒴は長圓筒形をなして直立し．蒴蓋は圓錐形にして鈍頭．蒴柄は 1·5 糎（5 分）許の長さを有す。〔分布〕本州中部（飯豐山·白馬山·御前岳·信州等）。

12. ザラツキゴケ屬 CAMPTOTHECIUM.

7987. ざらつきごけ ····· アヲキヌゴケ科
Camptothecium auriculatum, (*Ldb.*)

〔形態〕主に地上·岩石上或は樹上等に生する蘚類にして．雌雄異株なり。莖は概ね羽狀に分岐せる枝を有し．葉はアツブサゴケ屬に似て．廣心臟狀披針形をなし．中肋は中部以下に達す。蒴は概ね斜長卵形乃至斜長圓筒形にして稍彎曲し．內齒游離蓋に嘴を伴ひ．蒴柄は 7–8 糎（2·2·4 分）許の長さを有す。〔分布〕樺太·北海道·本州各部·朝鮮。

* * * * * * *

2. ふさごけ科 RHYTIDIACEÆ.

本科に屬する植物は雌雄異株にして．多少光澤を帶び．莖は稜角を具へ．上昇若しくは直立し．單一なれども不規則或は羽狀に小枝を分つ。毛葉は若き枝上にのみ發達し．葉は擴開或は彎曲し．多少の縱襞を具へ．鋸齒を帶び．細胞は線形にして時に上端に齒狀突起を有し．概ね翼に於て分化せす。中肋は單一又は 2 列をなし．短く或は長く時に缺如す。蒴は橫臥或は直立し．卵圓形にして頗る短き蒴臺を具ふ。勇蓋は圓錐形．蒴柄は長く平滑にして紫色を帶ぶ。

本科の植物にして．本邦に產するもの凡 7 屬．約 20 數種を有す。

本科所載植物名目次

ウトリウビゴケ……8008　タカネキツネゴケ……7995　フサゴケ……7999
ヲカムラゴケ……7988　タチヲツコゴケ……8004　フトゴケ……8002
オホフサゴケ……8000　テウセンヲツコゴケ…8005　ホウライヒダゴケ……7997
カハヅソゴケ……8006　ハヒヲカムラゴケ……7990　ホソヲカムラゴケ……7989
キツネゴケ……7994　ヒメヲカムラゴケ……7991　ホソヒダゴケ……7998
コシノヲカムラゴケ…7993　ヒメキツネゴケ……7996　ラツコゴケ……8003
コフサゴケ……8001　ヒロハヲカムラゴケ…7992　リウビゴケ……8007

1. ヲカムラゴケ屬 OKAMURAEA.

7988. **をかむらごけ**（19 圖版–172） ····· フサゴケ科
Okamuraea cristata, *Broth.*

〔形態〕雌雄同株にして樹上又は岩石上に生じ．葉は廣卵狀披針形にして先端次第に尖り．細胞は菱形をなし翼に多數あり。蒴は長橢圓形をなし．蒴柄は 1·5 糎（5 分）許に達す。〔分布〕本州·四國·九州。

7989. ほそをかむらごけ ····· フサゴケ科
Okamuraea cristata, *Broth.* var. gracile, *Broth.*

〔形態〕前種に比し纖長．葉も彼より小形なるものなり。〔分布〕本州。

7990. はひをかむらごけ ····· フサゴケ科
Okamuraea cristata, *Broth.* var. multiflagellifera, *Okm.*

〔形態〕本種は多くの纖匍枝を出し．地上或は岩石上に蔓延するものなり。〔分布〕本州·四國。

7991. ひめをかむらごけ ····· フサゴケ科
Okamuraea imbricata, *Broth.*

〔形態〕雌雄同株にして．地上或は岩石上に生じ．葉は廣卵狀披針形をなし．先端次第に尖りて錐形をなし．全邊又は微なる小鋸齒を有す。〔分布〕本州。

7992. ひろはをかむらごけ ····· フサゴケ科
Okamuraea latifolia, *Broth.*

〔形態〕雌雄同株にして．樹上又は岩石上に着生す。葉は卵形又は長卵狀披針形にして急激に先端細く尖る。中肋は狹部の下に達す。蒴は長形にして直立し．蒴柄は 1 糎（3–4 分）許あり。〔分布〕四國。

7993. こしのをかむらごけ ····· フサゴケ科
Okamuraea brevipes, *Broth.*

〔形態〕雌雄同株にして．樹上或は岩石上に生す。葉は卵狀長橢圓形にして錐形をなし．先端次第に尖る。中肋は中央に達し明瞭なり。蒴は長橢圓形をなし．蒴柄は 3–5 粍（1–1·5 分）許に達す。〔分布〕本州。

2. キツネゴケ屬 LESQUEREUXIA.

7994. きつねごけ ····· フサゴケ科
Lesquereuxia robusta, *Lindb.*

〔形態〕雌雄異株なり。葉は長く下垂し．長橢圓狀披針形をなし先端頗る長く尖り．稀に不明なる鋸齒を有す。雌花葉は全邊にして中肋明瞭なり。蒴は橢圓形或は卵形をなし．蒴柄は 15 粍（5 分）許あり。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州。

7995. たかねきつねごけ ····· フサゴケ科
Lesquereuxia interrupta, (*Besch.*)

〔形態〕雌雄異株にして．樹上或は岩石上に着生す。葉は卵狀披針形にして長く．先端尖り．中肋は捩れたる先端に終る。細胞は下緣にありて卵狀四

邊形をなす。〔分布〕北海道・本州。

7996. ひめきつねごけ ····· フサゴケ科
Lesquereuxia longipes, (*Broth.*)

〔形態〕雌雄異株なり。葉は狹披針形にして先端漸く尖り、中肋は中部以上に達し、全體稍一方に彎曲すれども下垂せず。雌花葉は全緣にして中肋を缺く。蒴は卵圓形にして、蒴柄は1-8糎(6分)許の長さを有す。〔分布〕北海道・本州・四國。

3. ホウライヒダゴケ屬 PTYCHODIUM.

7997. ほうらいひだごけ ····· フサゴケ科
Ptychodium plicatulum, *Card.*

〔形態〕雌雄異株にして、葉は廣三角狀心臟形をなし、心脚の基部より稍狹長なる漸尖緣に小鋸齒を具へ、中肋は葉の中部又は先端に及ぶ。蒴は斜長形にして、蒴柄は長さ2糎(6分)內外に達す。〔分布〕臺灣。

7998. ほそひだごけ ····· フサゴケ科
Ptychodium perattenuatum, *Okm.*

〔形態〕雌雄異株なり。葉は廣卵形にして稍心臟狀三角形を呈し、細長き鞭狀をなす。中肋は殆んど全長に達するか或は中部以上に達し、緣邊に鋸齒を具ふ。蒴は長橢圓形又は長橢圓筒をなして直立し、蒴柄は1-3-1-5糎(4-5分)許を有す。〔分布〕臺灣。

4. フサゴケ屬 RHYTIDIADELPHUS.

7999. ふさごけ ····· フサゴケ科
Rhytidiadelphus calvescens, (*Wils.*)

〔形態〕本種は比較的剛硬なる蘚類にして、外形リウビゴケに相似たり。雌雄異株にして、枝は羽狀に着生し稍弓狀に彎曲す。莖葉は心臟形にして、上部は急激に狹まり、基脚に弱襞を具ふ。翼細胞は卵圓形にして多數を有す。蒴は卵圓形を呈し、蒴柄は2-4糎(0·6-1·2寸)許を有す。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・四國・九州・朝鮮。

本屬の植物は、一般に雌雄異株にして、枝は圓く毛葉は若枝にのみ存し、葉には縱襞を有し、細胞は細長くして乳頭を具へ、翼に分化せず。中肋は2叉又は之を缺くことあり。

8000. おほふさごけ (19圖版-173) ·····フサゴケ科
Rhytidiadelphus triquetrum, (*L.*) *War.*

〔形態〕廣く世界の各地に分布する蘚類にして、雌雄異株なり。莖には毛葉を缺く。莖葉は廣心臟狀披針形にして展開し、漸尖長襞を有し、緣邊に銳鋸齒を具へ、中肋は葉の¾に達し、葉細胞は上背に齒狀をなして突出す。蒴は卵形又は橢圓形にして水平に着け、蒴柄は2-4糎(0·6-1·2寸)許の長さを有す。〔分布〕樺太・北海道・本州・四國・九州・朝鮮。

8001. こふさごけ ····· フサゴケ科
Rhytidiadelphus squarrosus, (*L.*) *War.*

〔形態〕本種も亦廣く世界の各地に分布せる蘚類の一種にして、雌雄異株なり。前種フサゴケに類すれども、彼の如く全株剛硬ならず。葉は廣卵形にして襞なく、急激に紐狀をなして狹まり、頂端には不明瞭なる微細鋸齒を有す。中肋は甚だ短く、時に之を缺く。蒴は卵形にして水平に着生し、蒴柄は3·5糎(1·2寸)內外の長さを有す。〔分布〕本州各部・朝鮮。

5. フトゴケ屬 RHYTIDIUM.

8002. ふとごけ ····· フサゴケ科
Rhytidium rugosum, (*Ehrh.*)

〔形態〕山地に自生する蘚類にして、雌雄異株なり。全株稍太く、毛葉は若枝に限り之を存す。莖葉は卵形乃至橢圓形にして、漸次披針狀に狹まり、先端に鋸齒を具へ、中肋は葉の半に達す。蒴は殆んど圓筒形をなして傾臥し、蒴柄は長さ2-5糎(0·6-1·6寸)許を有す。〔分布〕本州各部・朝鮮。

6. ラッコゴケ屬 GOLLANIA.

8003. らっこごけ ····· フサゴケ科
Gollania varians, (*Mitt.*)

〔形態〕雌雄異株にして、葉は廣卵形をなし先端銳く、枝葉は卵狀披針形乃至長橢圓狀卵形にして、上緣に粗鋸齒を有し、往々微齒を混じ、中肋は葉の中部に達す。內雌花葉は鞘頂に齒牙を缺く。〔分布〕北海道・本州・四國。

本屬の植物は、概ね雌雄異株にして枝は平に葉を着け、毛葉は少數なり。葉は1側に向ひ、上方に橫波狀をなして下垂す。細胞は細長く乳頭を具へ、翼細胞は方形又は卵圓形をなし、中肋2條を具へ稍長く、蒴柄は稍彎曲す。

8004. たちらっこごけ ····· フサゴケ科
Gollania exaltata, (*Mitt.*)

〔形態〕葉は卵形にして、先端漸く尖り、葉面は凹波狀をなし、緣邊には銳小鋸齒を具へ、中肋は中部に達し、雌花葉は全緣なり。蒴は卵圓形をなし、蒴柄は3-4糎(1-1·3寸)許の長さを有す。〔分布〕本州各部。

8005. てうせんらっこごけ ····· フサゴケ科
Gollania Neckerella, (*C. M.*) var. coreensis, (*Card.*)

〔形態〕主に朝鮮地方に產するラッコゴケの一種にして、翼は凹み、翼細胞は疎なり。葉は上方に粗なる鋸齒を具へ、其間に小鋸齒を混交す。內雌花葉は急激に錐狀をなして尖り、鞘部の頂には亦粗鋸齒を有す。〔分布〕朝鮮。

8006. かはをそごけ ····· フサゴケ科
Gollania Mayrii, (*Broth.*)

〔形態〕雌雄異株なり。葉は卵圓形或は卵狀廣橢圓形にして長く、次第に尖りて銳頭をなし、頂端に鋸齒を具ふ。全體稍一方に彎曲し、先端鎌形をなす。雌花葉は其頂に鋸齒を有す。〔分布〕北海道・本州各部。

7. リウビゴケ屬 LOESKEOBRYUM.

8007. りうびごけ ····· フサゴケ科
Loeskeobryum brevirostre, (*Ehrh.*)

〔形態〕廣く世界各地に分布する蘚類にして、雌雄異株なり。全株稍太く、莖は不正又は樹狀に分枝して重羽狀をなし、多數の毛葉を伴ふ。莖葉は廣心臟形にして、不正に長皺襞を有し、急激に短或は長く披針形をなし上方に鋸齒を有す。翼細胞は長方形にして短く、中肋は中央に達す。蒴は橢圓形にして蒴柄は長さ2糎(6分)許を有す。〔分布〕本州各部・四國・九州。

8008. ふとりうびごけ ····· フサゴケ科
Loeskeobryum cavifolium, (*Lac.*)

〔形態〕前種リウビゴケに酷似せる一種なれども、彼に比するに毛葉なく、葉は概ね平滑にして、稀に皺襞を有するものなり。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

* * * * * *

PL. 19.

167 あをきぬごけ　168 やのねごけ　169 きぶりなぎごけ　170 ねずみのをごけ

171 あつぶさごけ　172 をかむらごけ　173 おほふさごけ

174 いはながばしごけ　175 くさごけ　176 けはひごけ

3. はしぼそごけ科
SEMATOPHYLLACEÆ.

本科に屬する植物は，雌雄同株若しくは異株稀に雜種・兩性・僞同株にして，莖は匍匐或は上昇し，多くは不規則に枝を分ち毛葉を有せず。葉は多列にして一層の細胞より成り，この細胞は殆んど長形にして平滑なるか，或は乳頭を帶び，翼に於て分化す。中肋は2列をなし，頗る短きか或は缺如す。花は莖上及枝上に着生し，線狀體は絲狀をなし，屢ば缺如す。雄花は小形にして芽狀をなし，雌花は頗る短き枝端に着生し，往々多少の光澤を有す。蒴柄は短きか或は長く，蒴は傾斜若しくは懸垂し，卵圓形或は長形にして多くは多少不規則なり。蒴齒は內外2列をなせども，稀に內列を缺くものあり。而して外列は概ね基部迄分離し，多くは橫條並に橫褶を具ふ。基膜は高く，概ね纖毛を帶ぶ。蒴蓋は圓錐形にして多くは針狀の嘴を荷ふ。蘚帽は冠狀をなし，平滑なり。

本科には15屬，凡430餘種の植物を含み，主として熱帶，亞熱帶地方に產す。本邦には自生するもの13屬，凡50種を產す。

本科所載植物索目次

アヲクサゴケ……8016　ケハヒゴケ……8025　フナバトガリハヒゴケ8021
イハナガバシゴケ……8011　タイワンハシボソゴケ8014　ホウライゴケ……8022
カガミゴケ……8023　チシマクサゴケ……8018　ミヤマクサゴケ……8017
キハヒゴケ……8024　トゲハヒゴケ……8019　ヤマトイボゴケ……8025
キヨスミトゲハヒゴケ8020　トサノイボゴケ……8027　リウキウナガバシゴケ8013
クサゴケ……8015　ナガハシボソゴケ……8010　……
クサワナガバシゴケ…8012　ハシボソゴケ……8009　……

1. ハシボソゴケ屬 RHAPHIDOSTICHUM.

8009. はしぼそごけ …… ハシボソゴケ科
Rhaphidostichum macrostichum, *Fl.*

〔形態〕樹上に自生する蘚類にして，莖は匍匐し，葉は舌狀又は狹披針形をなし殆んど全邊なり。細胞は橢圓形或は長形にして1箇乃至多數の乳頭を有し，中肋を有せず，屢ば上緣に齒を具ふ。蒴は懸垂し，蒴蓋は短く，蒴柄も亦短く，且つ平滑なり。蒴蓋は針嘴を荷ふ。〔分布〕九州（屋久島）。

2. ナガハシゴケ屬 SEMATOPHYLLUM.

8010. ながはしごけ …… ハシボソゴケ科
Sematophyllum japonicum, (*Broth.*)

〔形態〕樹幹稀には岩壁上に着生する蘚類にして，雌雄異株をなし，多少光澤を帶ぶ。莖は匍匐し，枝を分つ。葉は擴開し，長橢圓狀披針形にして次第に尖り，中央以上に粗齒を帶び，毛頭を具ふ。中肋は不明瞭なり。蒴は長橢圓形をなして傾斜し，蒴柄は1-2糎（3-6分），蒴蓋は針嘴を有す。〔分布〕本州・四國・九州・臺灣。

8011. **いはながはしごけ**（19圖版-174）‥ハシボソゴケ科
Sematophyllum demissum, (*Wils. Sch.*) *Mitt.*

〔形態〕前種と同樣樹幹稀に岩壁上に着生し，雌雄同株なり。葉は橢圓狀披針形にして先端尖り全緣，屢ば其先端に不明の鋸齒を有し，中肋は不明なり。蒴は橢圓形にして殆んど水平をなし，蒴柄は長さ1-2-1·5糎（4-5分）に達す。翼細胞は廣橢圓狀長方形をなし，金黃色を呈す。〔分布〕本州中部。

8012. くさつながはしごけ …… ハシボソゴケ科
Sematophyllum Nordenskiordii, *Besch.*

〔形態〕樹幹又稀に岩上に自生する蘚類にして，雌雄同株なり。葉は卵形にして長く，凸頭をなし，葉緣の中部以上に鋸齒を有す。中肋は之を缺き，翼細胞は小胞狀をなして3箇を排列す。蒴は卵形にして2糎（6分）許の蒴柄を有す。〔分布〕本州各部。

8013. りうきうながはしごけ …… ハシボソゴケ科
Sematophyllum thelydictyon, *Mitt.*

〔形態〕暖國の樹幹又稀に岩上に生ずる蘚類にして，雌雄同株なり。葉は長橢圓形にして先端漸く尖り，緣邊鋸齒を有し，翼細胞は顯著なり。〔分布〕九州（大島）。

8014. たいわんはしぼそごけ …… ハシボソゴケ科
Sematophyllum extensum, (*Card.*)

〔形態〕雌雄同株なり。葉は長橢圓狀狹披針形にして，先端次第に尖り，頂端には明瞭なる疎鋸齒を有す。翼細胞は褐色を呈し，小胞狀をなせる長橢圓形にして稍大きく3箇を排列す。〔分布〕臺灣。

3. クサゴケ屬 HETEROPHYLLIUM.

8015. **くさごけ**（19圖版-175）…… ハシボソゴケ科
Heterophyllium Haldanianus, (*Grev.*)

〔形態〕朽木に着生する蘚類にして，主軸は匍匐し羽枝を分ち，毛葉を着く。葉片は卵形又は卵狀披針形をなし先端細く尖り，葉細胞は狹線形にして彎曲す。翼は褐色，基部黃色を呈して全緣なり。蒴は殆んど圓筒形をなし弱く彎曲す。蒴柄は長く2糎（7分）許に達す。〔分布〕北海道・本州・四國。

8016. あをくさごけ …… ハシボソゴケ科
Heterophyllium Haldanianus, (*Grev.*) var. viridis, *Okm.*

〔形態〕クサゴケの一變種にして，亦朽木等に自生する纖長なる蘚類の一種なり。全株綠色を呈すれども，葉の基脚に着色せず，且つ翼細胞は透明なり。〔分布〕本州各部。

8017. みやまくさごけ …… ハシボソゴケ科
Heterophyllium brachycarpum, (*Mitt.*)

〔形態〕高山に自生する蘚類にして，クサゴケに類似す。葉は卵形なるも急激に紐狀をなして尖り，頂端に鋸齒を有す。葉細胞は大形にして透明稍黃色を帶び，基脚細胞は方形をなす。蒴は廣橢圓形にして1側膨大し，蒴柄は長さ2糎（6分）許に達す。〔分布〕本州中部。

8018. ちしまくさごけ …… ハシボソゴケ科
Heterophyllium adscendens, (*Lindb.*)

〔形態〕北方山地の朽木等に自生する蘚類にして，雌雄異株なり。葉は三角狀卵形にして長く，且つ狹く尖り，基脚黃金色を呈し，中肋は全長に達す。蒴は橢圓形にして蒴柄は長さ2·5糎（7·5分）許に達するものなり。〔分布〕樺太・北海道。

4. トゲハヒゴケ屬 ACANTHOCLADIUM.

8019. とげはひごけ …… ハシボソゴケ科
Acanthocladium japonicum, *B. P.*

〔形態〕樹上に着生する蘚類なり。雌雄異株にして光澤を帶び，莖は匍匐し，1回或は2回羽狀に枝を分ち，極めて少數の毛葉を有す。細胞は長形にして往々上端に突起を有し，翼に於ては膨大，中肋は2列をなし頗る短きか或は缺如す。蒴は水平にして長形をなし，乾燥すれば概ね口元の下に於て縊る。蒴柄は稍長くして彎曲し，紫色を帶ぶ。〔分布〕本州中部。

8020. きよすみとげはひごけ …… ハシボソゴケ科
Acanthocladium Gonoi, *Broth.*

〔形態〕樹上に生ずる蘚類にして，雌雄異株なり。葉は長橢圓形にして先端急に細く尖り，緣邊の中部以上に疎なる鋸齒を有し，中肋は之を缺き，翼細胞は葉細胞と同形なり。〔分布〕本州中部（房州清澄山）。

8021. ふなばとがりごけ …… ハシボソゴケ科
Acanthocladium concavifolium, *Card.*

〔形態〕葉は長橢圓形又は橢圓形にして中央凹み，先端次第に尖り鋭頭或は稍齒牙狀をなして狹細なり。緣邊は概ね反捲し，中肋は之を有せず。翼細胞は小胞狀をなし，3-4箇を具ふ。〔分布〕九州（屋久島）。

5. ホウライゴケ屬 TRISMEGISTIA.

8022. ほうらいごけ …… ハシボソゴケ科
Trismegistia undulata, *Br. et Yas.*

〔形態〕本邦には唯一種を產する蘚類にして主に樹上に自生し，雌雄異株なり。莖には毛葉少なく，葉は概ね紘を有せざれども稀に上部に之を有す。莖葉は短長橢圓狀披針形にして先端銳く，頂端に鋸齒を有し，中肋は双生すれども極めて短く時に不明瞭なり。葉細胞は黃色乃至褐色を呈し，平滑にして長く，翼細胞は膨大なり。蒴は大きく，蒴柄は紫色にして稍曲折す。〔分布〕臺灣。

6. カガミゴケ屬　BROTHERELLA.

8023. かがみごけ ····· ハシボソゴケ科
Brotherella Henoni, (*Dub.*)

〔形態〕主に樹幹に自生する蘚類にして．葉は卵狀披針形をなし長く尖り鎌形に彎曲せず．頂端に廣大なる長鋸齒を具ふ。中肋は缺如し．翼細胞は卵形にして少數を有す。蒴は圓筒形又は狹卵形をなし．蒴柄は淡紫色を呈し．長さ 2-3 糎(7-9 分)許を有す。〔分布〕本州各部·四國·九州。

8024. きはひごけ ····· ハシボソゴケ科
Brotherella pulchro-alaris, (*Broth.*)

〔形態〕樹幹に自生する織長なる蘚類にして．葉は卵狀披針形をなして鎌形に彎曲し．錐形の部分に小鋸齒を有す。翼細胞は膀胱狀をなし．中肋は極めて短形なり。蒴は概ね傾臥し．長卵圓筒をなし．蒴柄は 3·5 糎(1·1 寸)內外の長さを有す。〔分布〕本州。

8025. **けはひごけ** (19 圖版-176) ·····ハシボソゴケ科
Brotherella yokohamae, (*Broth.*)

〔形態〕多く樹上に着生する蘚類なり。莖は密だ織長にして小枝を密生し．羽狀をなす。葉は卵披針形にして．中肋明瞭ならず．先端に小齒を有す。翼細胞は 3 箇ありて膀胱狀をなす。本種の枝は平にして．葉は鎌狀をなさざるものなり。蒴は圓筒形をなし．蒴柄は細長く．長さ 2 糎(6 分)許．蒴蓋は長嘴を有す。〔分布〕本州·九州。

7. ヤマトイボゴケ屬　TAXITHELIUM.

8026. やまといぼごけ ····· ハシボソゴケ科
Taxithelium japonicum, *Broth.*

〔形態〕樹幹稀に岩上に生ずる織長なる蘚類にして．葉は不對稱なる舌形或は橢圓形をなし．上部は比較的廣く．且つ短く先端尖り．頂端には鋸齒を具へ．中肋は短く双生す。〔分布〕本州中部(美濃國金華山)。

本屬の植物は．樹上又稀に岩上に生ずる比較的織細なる蘚類にして．概ね雌雄同株なれども稀に異株をなす。枝には水平に葉を着け．葉は多形なり。中肋は之を缺き．細胞は狹長にして多數の乳頭を有し．翼に分化す。蒴は廣橢圓形高背にして傾臥し．蒴柄は平滑なるものなり。

8027. とさのいぼごけ ····· ハシボソゴケ科
Taxithelium laeve, *Card.*

〔形態〕雌雄同株なり。葉は橢圓形又は長橢圓形にして背面のものは鈍頭をなし．腹面のものは短く．先端次第に尖り銳頭をなす。何れも頂端に鈍齒狀齒牙を有し．中肋は之を缺く。〔分布〕四國。

* * * * * *

4. はひごけ(ちりめんごけ)科　HYPNACEÆ.

本科に屬する植物は．雌雄同株或は異株稀に僞同株或は雜株にして．莖は圓形狀或は帶圓五稜角を帶び．導束を具ふるか或はこれを缺き．何れも概ね木質を蓄へ．匍匐上昇．或は直立し．多くは不規則に枝を分ち．毛葉は概ね缺如す。葉は多列をなし．一層の長形稀に柔膜樣細胞より成り．翼に於ては帶圓方形若しくは帶圓六角形を呈し．多くは無色なり。この葉の中肋は短く．稀に完全なるか或は突出し．單一なるか又は 2 列或は缺如す。花は莖上稀に枝上に着生するか．或は枝上にのみ着生し．絲狀の線狀體を具ふ。雄花は小形にして芽狀をなし．雌花は頗る短き枝上に生じ．光澤を有するか或はこれを有せず。蒴柄は多少長く．乾燥すれば概ね扭捩す。蒴は傾斜若しくは橫臥し．又往々彎曲．稀に懸垂若しくは直立し整齊なり。蒴蓋は發達惡しく．蒴齒は內外 2 列をなし．外列は頗る吸水力に富み．基脚に於て癒着．稀は分離し．黃色·赤褐色或は紫色を呈し．多くは橫條·脈木狀の縱線並に橫褶を有す。內列の基膜は高く．齒片は概ね披針形にして龍骨狀をなす。纖毛は絲狀をなして關節を帶び．稀に幼稚なるか或は缺如す。蒴蓋は圓錐形にして鈍頭又は銳頭又は嘴を具ふ。

本科には 37 屬．凡 1030 餘種の植物を含有し．殆んど世界各地に產出す。本邦には自生するもの約 24 屬．174 種を產す。

本科所載植物名目次

アカイチキゴケ……8049　コクシノハゴケ……8067　ヒメチリメンゴケ……8044
イセイチキゴケ……8057　シマフクロゴケ……8061　ヒモハヒゴケ……8029
イトクシノハゴケ……8008　シロイチキゴケ……8050　ヒメハヒゴケ……8033
イトハヒゴケ……8030　タイワンフクロゴケ…8064　フジハヒゴケ……8034
イトハヒゴケ……8037　タカネチリメンゴケ…8045　フクロハヒゴケ……8060
エゾハヒゴケ……8048　タチキヌゴケ……8059　ホソイチキゴケ……8051
ヲカムラフクロゴケ…8062　ダテフゴケ……8071　ホソクシノハゴケ……8070
オホハヒゴケ……8047　タマキチリメンゴケ…8046　マキハハヒゴケ……8032
キイチキゴケ……8054　チヤイチキゴケ……8053　マキハヒゴケ……8028
キヌゴケ……8058　チリメンゴケ……8043　マルハハヒゴケ……8040
キノウヘノコヘヒゴケ8036　トガリイチキゴケ…8052　ミヤマハヒゴケ……8031
キノウヘノハヒゴケ…8035　ナガエノユミハヒゴケ8042　ヤマフクロゴケ……8063
クサツイチキゴケ……8055　ナガスヂイチキゴケ…8056　ユガミハヒゴケ……8039
クシノハゴケ……8066　ハヒゴケ……8028　ユミハヒゴケ……8041
ケサナダゴケ……8065　ヒナクシノハゴケ……8069

1. ハヒゴケ屬　HYPNUM.

8028. **はひごけ** (20 圖版-177) ·····ハヒゴケ科
Hypnum plumaeformis, (*Wils.*) (*Stereodon plumaeformis, Mitt.*)

(異名) むくむくちりめんごけ　〔形態〕地上·岩石上·樹皮上等に自生する蘚類にして．莖は匍匐し．密に羽狀に分枝し．各枝は左右に展開す。葉も亦密生し．乾燥すれば强剛となり弓曲す。長橢圓形にして披針狀の銳頭をなし殆んど全緣なれども．上半には著しく鋸齒あり。中肋は 2 箇を有し．短くして中央に達せず。蒴柄は長くして黃赤色を帶び．蒴は傾斜するか．或は水平にして彎曲す。〔分布〕本州·四國·九州·臺灣·朝鮮。

8029. ひもはひごけ ····· ハヒゴケ科
Hypnum tereticaulis, (*C. M.*)

〔形態〕本種は カガミゴケ 屬に近似せる蘚類なり。葉は長卵形にして急遽短く尖り．頂端に鋸齒を有す。中肋は不明瞭．葉細胞は基部に於て色なく嶺れず。〔分布〕本州各部。

8030. いとはひごけ ····· ハヒゴケ科
Hypnum tristo-viridis, (*Broth.*)

〔形態〕葉は卵狀披針形にして．頂端に鋸齒を有し．葉細胞は基脚に於て黃金色を呈し．凹める翼にあるものは膀胱狀を呈し大なり。蒴は長橢圓筒をなし．蒴蓋には短き嘴を伴ひ．蒴柄は長さ 2·5 糎(8 分)許を有す。〔分布〕本州·四國·九州。

8031. みやまはひごけ ····· ハヒゴケ科
Hypnum plicatulum, (*Lindb.*)

〔形態〕高山に生ずる蘚類なり。葉は稍絲狀をなせる卵狀披針形にして下垂し．概ね全緣なるか或は不明瞭なる細鋸齒を有し．基脚耳垂す。中肋は 2 肋を有すれども嶺れず。葉細胞は基部に於て無色なり。蒴は圓形にして乾燥すれば皺襞を生ず。〔分布〕樺太·北海道·本州·四國·九州。

8032. ながはひごけ ····· ハヒゴケ科
Hypnum revolutum, (*Mitt.*)

〔形態〕葉は卵狀にして急激に披針錐形をなし．全緣にして明瞭なる長襞を有し．緣邊は頂端に至るまで反捲す。中肋は短く黃色を呈し．葉細胞も亦基部に於て黃色をなし．凹まざる翼にあるものは小さくして方形なり。〔分布〕本州各部。

8033. ひめはひごけ ····· ハヒゴケ科
Hypnum Oldhamii, (*Mitt.*)

〔形態〕葉は披針形にして上部には小鋸齒を有し．基脾稍卵形をなす。中肋は双生するか或は之を有せず．葉細胞は長く．基部にあるものは無色なり。蒴は廣橢圓形にして水平に着生し．蒴蓋は嘴を有せず。〔分布〕本州·九州。

8034. ふじはひごけ ····· ハヒゴケ科
Hypnum fujiyamae, (*Broth.*)

〔形態〕葉は卵形又は長橢圓狀卵形にして先端次第に尖り．上部緣邊には鋸齒を有す。葉細胞は翼に凹み形大きく褐黃色を呈す。蒴は長橢圓形をなし．蒴柄は長さ 24 糎(8 寸)に達す。〔分布〕本州。

8035. きのうへのはひごけ ····· ハヒゴケ科
Hypnum reptile, *Michx.*

〔形態〕雌雄同株なり。葉は卵形若しくは橢圓狀披針形をなし．上部緣邊に銳鋸齒を有す。葉細胞は其基脚にあるものは黃色をなし．翼細胞は 2 箇を有し．黃色にして方形又は短方至長形なり。蒴は長橢圓形或は圓筒形をなして傾臥し．蒴蓋には嘴を有す。〔分布〕樺太·北海道·本州·四國·九州。

8036. きのうへのこはひごけ ····· ハヒゴケ科
Hypnum pallescens, *Hedw.*

〔形態〕雌雄同株なり。莖葉は稍軟弱なる鎌形をなせる卵狀披針形にして先端長く尖り．頂部に弱き鋸齒を有す。中肋は短く時に缺如し．葉細胞は黃色を呈し．翼細胞は方形なり。蒴は狹橢圓形にして殆んど直立し．蒴蓋は嘴を有せず。蒴柄は 0·6-1·2 糎(1·8-3·5 分)內外の長さに達す。〔分布〕樺太·北海道·本州各部。

8037. いとはひばごけ ····· ハヒゴケ科
Hypnum cupressiforme, *L.* var. *filiformis, Brid.*

〔形態〕ハヒヒバゴケの一變種にして．外形彼に酷似すれども．本種の莖と葉とは一層長くして絲狀を呈する種類なり。〔分布〕北海道。

8038. さきはひごけ ····· ハヒゴケ科
Hypnum circinale, *Hook.*

〔形態〕外形キノウヘノハヒゴケに似たる蘚類にして．葉は心臟形をなし先端急に錐形に狹まり．緣邊鋸齒を有す。翼細胞は小さくして多數を有し．其色金黃色乃至褐赤色にして．其上に膨脹せる細胞を有し．蒴は卵形なり。〔分布〕本州各部。

8039. ゆがみはひごけ ····· ハヒゴケ科
Hypnum curvifolium, *Hedw.*

〔形態〕葉は長橢圓狀卵形或は長三角狀卵形にして長く．先端尖り．概ね全緣なれども．往々頂緣小鋸齒を有す。中肋は短きか時に之を缺き．翼細胞は方形にして小さく．蒴は乾燥すれば長褶を生ず。〔分布〕本州各部。

8040. まるははひごけ ····· ハヒゴケ科
Hypnum callichroum, (*Brid.*)

〔形態〕葉は卵圓形にして急激に披針狀錐形をなし．先端尖る。中肋は不同なる 2 肋を有し．又時に之を有せず。翼は凹み．翼細胞は三角形又は圓形をなし．有色なり。蒴は長橢圓形にして彎曲し．蒴柄は 2 糎(6 分)內外の長さを有す。〔分布〕北海道·本州各部。

8041. ゆみはひごけ ····· ハヒゴケ科
Hypnum arcuatiforme, (*Broth.*)

〔形態〕葉は卵圓形或は卵狀廣橢圓形にして短く．先端尖り．頂部に鋸齒を具へ．中肋は葉の中部に達し．翼は凹形なり。蒴は卵圓形にして水平に着生し．蒴蓋は短嘴を伴ひ．蒴柄は 1·8 糎(6 分)許の長さを有す。〔分布〕北海道·本州·四國·九州。

8042. ながえのゆみはひごけ ····· ハヒゴケ科
Hypnum arcuatiforme, (*Broth.*) var. longipes, *Broth.*

〔形態〕前種ユミハヒゴケの一變種にして．外形彼に酷似すれども．本種の蒴柄は稍長く 2 糎(6 分)以上に達するものなり。〔分布〕四國。

8043. ちりめんごけ ····· ハヒゴケ科
Hypnum circinatulum, *Schimp.*

〔形態〕葉は小さく心臟狀披針形·全緣にして．中肋は短く．枝葉は頂部に明瞭なる小鋸齒を有す。葉細胞は有色なれども．基部にあるものは無色にして．凹める翼にあるものは長方形をなす。〔分布〕本州·四國·九州。

8044. ひめちりめんごけ ····· ハヒゴケ科
Hypnum fertile, (*Sendt.*)

〔形態〕雌雄同株なり。葉は卵形或は橢圓狀披針形にして毛狀に尖り．頂緣邊に小鋸齒を有す。中肋は弱き 2 肋を有するか或は缺如し．蒴は狹橢圓形乃至圓筒形にして彎曲し．蒴柄は 2·5 糎(7·5 分)內外の長さを有す。〔分布〕北海道·本州·四國·九州·朝鮮。

8045. たかねちりめんごけ ····· ハヒゴケ科
Hypnum rhynchothecium, (*C. M.*)

〔形態〕高山に自生する蘚類なり。葉は披針形にして先端毛狀に尖り．緣邊に鋸齒を有し．鋸齒は稍基部近くに及ぶ。中肋は之を有すれども不明瞭なり。翼は凹み．着所の細胞は有色なり。〔分布〕本州·四國·九州·臺灣。

8046. たまきちりめんごけ ····· ハヒゴケ科
Hypnum Tamakii, (*Broth.*)

〔形態〕莖は織長にして．長さ 2 糎(6 分)以上ある枝を密生し．葉は廣卵形にして急に狹まり．概ね全緣なり。中肋は之を缺くか又極めて弱く．葉細胞は着所に黃金色をなす。翼は凹み．翼細胞は大きく長橢圓形にして．外方に透明·內方に黃色を呈す。〔分布〕本州(越後)。

2. オホハヒゴケ屬　BREIDLERIA.

8047. おほはひごけ ····· ハヒゴケ科
Breidleria pratensis, (*Koch.*)

〔形態〕雌雄異株なり。葉は廣卵狀披針形にして長く尖り．頂端に鋸齒を有し．中肋は極めて短きか或は之を缺く。翼細胞は方形乃至長方形にして膨脹せず。蒴は橢圓形にして背部疎起し．蒴柄は長さ 3 糎(1 寸)內外に達す。〔分布〕北海道·本州。

8048. えぞはひごけ ····· ハヒゴケ科
Breidleria arcuata, (*Lindlo.*)

〔形態〕雌雄異株にして．莖には平に葉を着け．葉は廣卵狀披針形にして鉤狀に彎曲し．全緣なるか或は頂端鋸齒を有す。葉細胞は着所に有色．翼は凹み．翼細胞は廣橢圓狀六邊形をなし．膨脹透明なり。蒴は水平に着き．橢圓形にして彎曲し．長き蒴臺を具へ．蒴柄は 3-4 糎(1-1·3 分)許の長さに達す。〔分布〕北海道·本州·四國·九州。

3. アカイチキゴケ屬　ISOPTERYGIUM.

8049. あかいちねごけ ····· ハヒゴケ科
Isopterygium textori, (*Lac.*)

〔形態〕樹上·岩上又は地上に自生する蘚類にして雌雄異株なり。葉は卵狀披針形にして短く．先端尖り．頂端には僅かに銳鋸齒を有し．蒴は長圓筒形にして．蒴蓋には嘴を具ふ。〔分布〕本州·四國·九州。

本屬の植物は．樹上·岩上又は地上に自生する蘚類にして．雌雄同株なるか或は異株なり。枝は概ね水平に着生し．且つ不規則に分枝す。葉は多形にして．中肋は短形なるか或は之を缺き．葉細胞は狹長にして翼に分化せず。蒴は卵圓形又は圓筒形をなし．殆んど直立するか或は水平に着生するものなり。

8050. しろいちねごけ ····· ハヒゴケ科
Isopterygium albescens, (*Schwgr.*)

〔形態〕雌雄同株にして．葉は廣卵狀披針形をなし長く．且つ狹く先端尖る。頂端に鋸齒を有し．中肋は之を有せざるか或は極めて短く．蒴は卵圓形なり。〔分布〕九州(奄美大島)。

8051. ほそいちねごけ ····· ハヒゴケ科
Isopterygium byssaceum, *Broth.*

〔形態〕極めて織細なる蘚類にして．雌雄同株なり。枝葉は狹卵狀披針形にして．先端次第に尖り．中肋は極めて短く双生するか或は之を缺く。蒴は卵圓形にして水平．蒴柄は 7 粍(2 分)許の長さを有す。〔分布〕四國。

8052. とがりいちゐごけ ………………… ハヒゴケ科
Isopterygium cuspidifolium, *Card.*
〔形態〕葉は卵狀披針形にして先端次第に長く尖り.頂端に鋸齒を有す。中肋は双生して ¼ の高さに達し.翼細胞は方形又は短長方形をなす。〔分布〕本州中部。

8053. ちゃいちゐごけ ………………… ハヒゴケ科
Isopterygium fulvum, (*Hook.*)
〔形態〕葉は長披針形にし先端長く尖り.概ね全緣なれども時に鋸齒を有し.中肋は短形なり。翼細胞は長方形或は六邊形を呈し.葉細胞と同形ならず。〔分布〕本州各部。

8054. きいちゐごけ ………………… ハヒゴケ科
Isopterygium horridulum, *Broth.*
〔形態〕葉は卵狀披針形にして先端次第に尖り.緣邊波狀を呈し鋸齒を具へ.中肋は不明瞭に双生す。〔分布〕本州北部(金華山島)。

8055. くさついちゐごけ ………………… ハヒゴケ科
Isopterygium kusatsuense, *Besch.*
〔形態〕雌雄同株なり。枝は細長く.葉は狹倒卵狀披針形にして長く扭捩し.凸頭にして先端漸く尖り.概ね全緣をなし.中肋は之を缺く。〔分布〕本州各部。

8056. ながすぢいちゐごけ ………………… ハヒゴケ科
Isopterygium neckeroides, *Card.*
〔形態〕雌雄異株なり。葉は廣長楕圓狀小刀形にして.先端廣く且つ短く尖り.頂端に大なる粗鋸齒を具ふ。中肋は中央の上部に達し.翼細胞は稍分化す。蒴は長楕圓狀卵形にして.蒴柄は 1·5 糎(5分)許の長さを有す。〔分布〕本州·九州。

8057. いせいちゐごけ ………………… ハヒゴケ科
Isopterygium assimile, *Broth.*
〔形態〕葉は廣披針形にして先端次第に尖り.緣邊鋸齒を有し.中肋は短形なり。〔分布〕本州·九州。

---

4. キヌゴケ屬　PYLAISIA.

8058. きぬごけ ………………… ハヒゴケ科
Pylaisia Brotheri, *Besch.*
〔形態〕主に樹幹に着生する蘚類にして.雌雄同株なり。葉は卵狀披針形にして稍一方に彎曲し.全邊にして凸頭をなし先端尖る。中肋は 2 條を有するか或は缺如し.葉細胞は楕圓狀六邊形にして.翼細胞は方形をなし多數を有す。〔分布〕北海道·本州。

本屬の植物は多く樹上に着生し.雌雄同株なり。葉は概ね全緣にして.中央稍凹み.下垂す。蒴は廣楕圓形乃至圓筒形をなして直立し.蘚齒には横條を伴ひ.蒴柄は紫色をなし.長さ 1-2 糎(3-6分)許に達す。

8059. たちきぬごけ ………………… ハヒゴケ科
Pylaisia Brotheri, *Besch.* var. orthoclada, *Broth.*
〔形態〕キヌゴケの一變種にして.外形彼に類すれども.本種の枝は直立し.葉は伸直すれども.頂葉は不齊に稍一方に彎曲し.先端長く次第に尖れる種類なり。〔分布〕本州各部。

---

5. フクロハヒゴケ屬　VESICULARIA.

8060. ふくろはひごけ ………………… ハヒゴケ科
Vesicularia leptoblasta, (*B. P.*)
(異名)ながはふくろごけ　〔形態〕樹幹·岩上又は地上に生ずる稍白綠色をなせる蘚類にして.雌雄同株なり。枝は密羽狀に分枝し.葉は倒心臟狀長披針形にして先端絲狀をなし.概ね全緣なれども.亦小鋸齒を有することあり。蒴は圓筒形にして彎曲し.蒴蓋には短嘴を伴ひ.長さ 1·3 糎(4分)許ある蒴柄を有す。〔分布〕四國。

本屬の植物は.通常樹上·岩上又は地上に自生する蘚類にして.雌雄同株なり。莖には平に葉を着け.葉は多形にして通常短く.先端絲狀に尖る。葉細胞は廣楕圓形又は菱狀六邊形をなし.蒴は直立せず。蒴柄は平滑にして 2·5 糎(7-8分)內外の長さを有す。

8061. しまだふくろごけ ………………… ハヒゴケ科
Vesicularia Shimadae, *Okm.*
〔形態〕暖地に生ずる黃褐色の蘚類にして.葉は倒卵形乃至卵狀披針形をなし先端鋭く尖り.全緣なり。中肋は短く.葉細胞は長菱形なれども.基脚細胞は長楕圓形をなす。蒴は長楕圓狀筒形にして.蒴柄は長さ 1·3-2 糎(4-6分)許に達す。〔分布〕臺灣。

8062. をかむらふくろごけ ………………… ハヒゴケ科
Vesicularia Okamurae, *Broth.*
〔形態〕全株稍灰綠色をなせる蘚類にして.枝葉は卵形或は長楕圓形をなし.先端急に毛狀に尖り.緣邊小鋸齒を有す。中肋は之を缺き.葉細胞は菱狀六邊形をなす。蒴は長楕圓形にして.蒴柄は 2 糎(6分)內外の長さを有するものなり。〔分布〕本州·四國·九州。

8063. やまとふくろごけ ………………… ハヒゴケ科
Vesicularia japonicum, *Broth.*
〔形態〕溫暖なる山地を好みて樹上·岩上等に自生する蘚類なり。葉は卵形にして鋭頭をなし.頂端に微鋸齒を有し.中肋は短く 2 肋を生ず。蒴は長楕圓形にして.蒴柄は長さ 1 糎(3分)許を有す。〔分布〕四國·九州。

8064. たいわんふくろごけ ………………… ハヒゴケ科
Vesicularia Sasaokae, *Okm.*
〔形態〕臺灣に產する黃綠色の蘚類にして.葉は卵狀長楕圓形をなして先端長く絲狀を呈し.上部に小鋸齒を有するか若しくは全緣にして.中肋は短形なり。蒴は長楕圓形にして.蒴柄は長さ 1·5 糎(5分)內外を有す。〔分布〕臺灣。

---

6. ケサナダゴケ屬　PLAGIOTHECIELLA.

8065. けさなだごけ ………………… ハヒゴケ科
Plagiotheciella pilifera, (*Sw.*) *Fl.*
〔形態〕陸中早池峯附近の山地に自生する雌雄同株の蘚類なり。葉は概ね下垂し.卵形にして急激に毛狀に尖り.或は卵狀披針形をなし.先端次第に尖り全緣なり。中肋は極めて短く.單一なるか或は往々双生す。蒴は殆んど圓筒形をなして直立し.1·5 糎(5分)內外の長さを有する蒴柄を具ふ。〔分布〕本州北部。

---

7. クシノハゴケ屬　CTENIDIUM.

8066. くしのはごけ ………………… ハヒゴケ科
Ctenidium capillifolium, *Mitt.*
〔形態〕樹上·岩上に自生する蘚類にして.雌雄異株なり。葉は心臟狀卵形にして長く.先端毛狀をなして次第に尖り.緣邊に疎微鋸齒を具へ.中肋は之を缺く。〔分布〕本州各部·四國·九州。

本屬の蘚類は.概ね樹上·岩上に自生し.雌雄異株なり。莖は少數の假毛葉を伴ひ.莖葉は廣心臟形にして.先端急遽披針錐形をなして尖り.緣邊に鋸齒を具へ.皺襞を有せず。葉細胞は細長く.乳頭を有し.翼細胞は方形乃至長方形をなす。蒴は傾臥し.長卵圓形にして背面隆起し.蒴柄は 1-2·5 糎(3-7·5分)許の長さを有し.平滑なり。

8067. こくしのはごけ ………………… ハヒゴケ科
Ctenidium hastile, (*Mitt.*)
〔形態〕前種クシノハゴケに似たる蘚類にして.葉は廣心臟狀三角披針錐形をなし.枝葉は披針形にして緣邊小鋸齒を有し.中肋は纎弱なり。蒴は卵圓形にして.蘚帽は多くの毛茸を密生す。〔分布〕本州·四國·九州·朝鮮。

8068. いとくしのはごけ ………………… ハヒゴケ科
Ctenidium pinnatus, (*B. P.*)
〔形態〕本種は櫛齒狀に多くの枝を岐ち.枝は時に纎細なる匍枝狀をなす莖葉は倒心臟形をなして先端漸く尖り.緣邊は中部以上に鋸齒を具へ.中肋は概ね之を缺くか或は纎弱なり。

8069. ひなくしのはごけ ………………… ハヒゴケ科
Ctenidium brevipes, *Broth.*
〔形態〕樹上又は岩上に自生する蘚類にして.雌雄異株なり。莖葉は廣心臟形にして先端急遽毛狀披針形を呈して尖り.緣邊小鋸齒を有し.枝葉は狹細なり。中肋は短くして 2 肋を有するか或は缺如す。蒴は廣楕圓形にして蒴柄は長さ 7 粍(2·1分)內外を有す。〔分布〕本州。

8070. ほそくしのはごけ ………………… ハヒゴケ科
Ctenidium tenerum, *Broth.*
〔形態〕多く赤城山附近山地の樹幹又は岩上等に自生し.白綠色を呈する

纎長なる蘚類にして.雌雄異株なり。葉は心臟狀披針形にして.先端次第に毛狀に尖り.全緣にして中肋は之を缺き.翼細胞は稍卵圓形をなせるものなり。〔分布〕本州中部。

---

8. ダテウゴケ屬　PTILIUM.

8071. **だてうごけ** (20圖版-178) ………… ハヒゴケ科
Ptilium crista-castrensis, (*L.*)
〔形態〕樹上或は岩壁上に着生し.莖の全長 21-24 糎(7-8寸)に達する蘚類にして.雌雄異株なり。全株强剛にして恰も駝鳥の羽の如く.且つ光澤を有す。莖は導束を具へ.羽枝を密生し.枝端は鎌狀に曲り.毛葉は披針錐形にして若き枝の上に生ず。葉は卵圓形にして先端頗る長く尖り.上半部に細齒を具へ.葉片は鎌狀或は蝸牛狀をなし深襞を伴ふ。細胞は線蟲狀を呈し.翼に於て僅に分化し.中肋は缺如するか或は短く 2 列をなす。蒴は傾斜し.殆んど圓筒形をなし彎曲し.蒴柄は長く亦彎曲し.長さ 4-5 糎(1·3-1·6寸)を有す。〔分布〕樺太·北海道·本州。

*　*　*　*　*

5. さなだごけ科　PLAGIOTHECIACEÆ.

本科に屬する植物は.雌雄同株又は異株にして.莖葉と枝葉とは略其形相同じく.毛葉を有せず。側葉は扁平にして 2 列に擴がり斜に着生し.概ね不對稱なり。中肋は 2 列をなすか或は缺如す。細胞は卵圓菱形なるか或は線形をなす。蒴は直立又は傾斜し.齒は 2 列し.基部に於て合生餃をなし横條を有す。蒴蓋は圓錐形にして.時に短嘴.稀に長嘴を具ふるものあり。

本科に屬するもの本邦に 2 屬を產す。

本科所載植物名目次

イセサナダゴケ……8085	サナダゴケ……8072	ハサナダゴケ……8079
エゾサナダゴケ……8073	タカネサナダゴケ……8086	ヒロハサナダゴケ……8074
エゾサナダゴケモドキ8075	タマゴハサナダゴケ…8082	マルフサゴケ……8083
オホサナダゴケ……8076	チヤボサナダゴケ……8080	ミヤマサナダゴケ……8078
オホサナダゴケモドキ8077	トササナダゴケ……8084	……
カタバゴケ……8087	ナガエノサナダゴケ…8081	……

---

1. サナダゴケ屬　PLAGIOTHECIUM.

8072. さなだごけ ………………… サナダゴケ科
Plagiothecium aomoriense, *Besch.*
〔形態〕葉は莖に水平に着生し.卵形又は長卵形にして先端披針錐形に尖り.細鋸齒緣を有し.覆瓦狀をなして密に排列する一種なり。〔分布〕北海道·本州·四國。

本屬の植物は.雌雄同株又は異株にして.葉は概ね廣披針形又は卵圓形をなし先端稍尖り.多くは全緣なれども亦小鋸齒緣をなす。中肋は短或は叉狀をなして通常 2 條を有し.或は之を缺如し.翼細胞は分化せず。蒴は直立或は傾臥するものなり。

8073. **えぞさなだごけ** (20圖版-179) …… サナダゴケ科
Plagiothecium silvaticum, (*Huds.*)
〔形態〕岩石·樹上等に自生する蘚類にして.雌雄異株なり。葉は長卵形にして先端短く尖り.全緣をなし.中肋は中央に存す。翼細胞は大形の方形をなす。蒴は圓筒狀をなし稍傾斜し.蒴齒を有す。蒴柄は長さ 2-4 糎(0·7-1·3寸)に達し.赤色を帶ぶ。本種には往々莖上或は葉上に 3-6 箇の細胞より成れる孵芽を作り.無性生殖をなすものあり。〔分布〕樺太·北海道·本州·四國·九州。

8074. ひろはさなだごけ ………………… サナダゴケ科
Plagiothecium silvaticum, (*Huds.*) var. latifolium, *Card.*
〔形態〕エゾサナダゴケの變種にして.葉は廣卵狀披針形をなし先端尖り概ね短く且つ廣く.蒴は狹圓筒形をなす。〔分布〕四國·九州·朝鮮。

8075. えぞさなだごけもどき ………… サナダゴケ科
Plagiothecium delicatulum, *Br.*
〔形態〕仙臺附近の三瀧地方に多く自生する一種にして.雌雄異株なり。葉は卵狀披錐形にして先端次第に尖り.全緣なり。中肋は纎弱にして.基脚細胞は長楕圓形をなす。雌花葉は毛狀をなして先端尖り.全緣.蒴は長楕圓形にして.蒴柄は長さ 2 糎(6分)許を有す。〔分布〕本州北部。

8076. おほさなだごけ ………………… サナダゴケ科
Plagiothecium neckeroideum, *Br. eur.*
〔形態〕雌雄異株なり。葉は卵狀披針形にして.鋭尖頭·全緣をなし.往々頂端に細鋸齒を伴ひ.長く下垂す。中肋は中葉に達す。蒴は殆んど正しき狹楕圓形をなし.蒴柄は凡 2 糎(6分)內外の長さを有するものなり。〔分布〕本州各部·四國·九州。

8077. おほさなだごけもどき ………… サナダゴケ科
Plagiothecium splendens, *Schmp.*
〔形態〕概形オホサナダゴケに類似したる蘚類にして.雌雄異株なり。葉は左右不對稱にして.基脚稍廣く.全緣又は頂端に齒牙を有し.稍鈍き鋭尖頭をなし.中肋は葉の中央に達す。〔分布〕本州各部·九州。

8078. みやまさなだごけ ………………… サナダゴケ科
Plagiothecium nemorale, (*Mitt.*)
〔形態〕高山に生ずる蘚類にして.葉は廣卵形をなし.先端次第に尖り.全緣にして僅かに下垂す。中肋は短きか或は長く.通常双生す。〔分布〕本州·四國·九州。

8079. はさなだごけ …… サナダゴケ科
Plagiothecium denticulatum, (*L.*) *Br. eur.*
〔形態〕廣く全世界に分布する蘚類にして、雌雄同株なり。葉は長卵形にして先端急に狹く尖り、頂端に小鋸齒を有し、中肋は中央に達せず。雌花葉は短く、且つ先端尖り。朔は長き圓筒形をなし、朔柄は1·5-3糎(5-9分)内外の長さを有す。〔分布〕樺太·北海道·本州·四國。

8080. ちゃぼさなだごけ …… サナダゴケ科
Plagiothecium laevigatum, *Schmp.*
〔形態〕全形矮小なる蘚類にして、葉は卵形·全緣をなし、中肋は短く2肋を有す。〔分布〕本州。

8081. ながえのさなだごけ …… サナダゴケ科
Plagiothecium longisetum, *Lindb.*
〔形態〕雌雄異株にして、葉は卵形をなし、先端次第に尖り長く下垂す。全緣にして中肋は中央に達し、葉細胞は菱形をなし疎大なり。朔は蓄だ小さく、長橢圓狀倒圓錐形をなし、朔柄は4-5糎(1·3-1·5寸)許の長さを有す。〔分布〕本州·四國·九州。

8082. たまごはさなだごけ …… サナダゴケ科
Plagiothecium ovalifolium, (*Card.*)
〔形態〕暖國に生ずる蘚類なり。葉は短廣卵形にして先端漸く尖り、銳頭又は微凸頭をなし、全緣又は小鋸齒を有す。中肋は纖弱にして、翼細胞は稍明瞭なり。〔分布〕臺灣。

8083. まるふさごけ …… サナダゴケ科
Plagiothecium Roeseanum, (*Hamp.*)
〔形態〕雌雄異株なり。葉は卵狀披針形又は卵形にして、先端急に細く尖り、全緣にして、中肋は中央に達せず。翼細胞は長方形をなす。朔は狹橢圓形乃至圓筒形にして直立し、朔柄は3糎(9分)内外の長さを有す。〔分布〕本州各部。

8084. とささなだごけ …… サナダゴケ科
Plagiothecium tosaense, *Broth.*
〔形態〕暖國に自生する纖長なる蘚類にして、雌雄異株なり。枝葉は短卵形にして先端漸く尖り、緣邊に微鋸齒を有し、基脚は1側に反捲し、概ね下垂せず。中肋は通常2肋を有すれども、極めて短く且つ明瞭ならず。〔分布〕四國。

8085. いせさなだごけ …… サナダゴケ科
Plagiothecium turgescens, *Broth.*
〔形態〕雌雄異株なり。葉は卵狀披針形にして短く、先端次第に尖り、上部緣邊に小鋸齒を有す。中肋は短く、中央に達せず。翼細胞は葉細胞と殆んど同形なり。〔分布〕本州中部。

8086. たかねさなだごけ …… サナダゴケ科
Plagiothecium Yasudae, *Broth.*
〔形態〕上州子持山附近其他の高山に自生する蘚類にして、雌雄異株なり葉は卵狀披針形にして、先端次第に尖り、頂端に微細なる鋸齒を有し、中肋は2條を具へて短く、翼細胞は方形にして微小なり。〔分布〕本州中部。

2. カタバゴケ屬 STEREOPHYLLUM.

8087. かたばごけ …… サナダゴケ科
Stereophyllum Nordenskiordii, *Besch.*
〔形態〕黒綠色の蘚類にして、通常樹上又は岩上に生ず。葉は廣卵形にして、頂端圓く暗色を呈し、全緣にして疎に開展す。中肋は先端近くまで達し葉細胞は六邊形をなし、葉緣に富み、下部にあるものは透明にして長し。
本屬の植物は、雌雄同株或は異株にして、葉は多形·中肋は單一なり。葉細胞は菱形乃至線形をなし、翼細胞は多數を有す。朔は通常傾臥すれども亦水平にして、背面は稍隆起するものなり。

* * * * * * *

6. ひよくごけ科 HYLOCOMIACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄異株にして多少光澤を帶ぶ。莖は導束を缺くか或は之を具へ、太くして概ね横臥し、1回乃至3回羽枝を分つ。多數の毛葉を有す。葉は縱襞を具へ、卵圓形若しくは心臟形にして稍長く尖り、全緣に鋸齒を有す。細胞は線形にして翼に分化せず。屢ば乳頭を伴ふ。中肋は2列をなし、短形或は葉の半ばに達す。朔は傾斜或は垂下し、卵圓形若しくは長卵圓形にして短き朔臺を具へ、朔蓋は銳頭、或は短き斜嘴を伴ふ。
本邦には2屬を產出す。

94 いはだれごけ

1. ヒヨクゴケ屬 HYLOCOMIASTRUM.

8088. ひよくごけ …… ヒヨクゴケ科
Hylocomiastrum umbratum, (*Ehrh.*)
〔形態〕莖は重羽狀に分枝し、鹿角狀をなせる毛葉を叢生す。葉は廣心臟形又は三角狀心臟形にして、先端次第に披針狀をなし銳く尖りて下垂し、緣邊に不齊粗鋸齒を有す。中肋は中央に達し2肋を生じ、朔は卵形にして、朔柄は長さ1·5-2·5糎(5-7·5分)許を有す。〔分布〕本州。

8089. しのぶひばごけ …… ヒヨクゴケ科
Hylocomiastrum himalayanum, (*Mitt.*)
〔形態〕莖は重羽狀に分枝し、葉は心臟形又は長卵形にして先端次第に短く尖る。緣邊には粗大なる鋸齒を有し、中肋は短く中央に達す。
〔分布〕本州·四國。

8090. みやまりうびごけ …… ヒヨクゴケ科
Hylocomiastrum pyrenaicum, (*Spr.*)
〔形態〕莖は單羽狀に分枝し、枝は稍太し。莖葉は廣長橢圓形にして下垂せず先端急に長く半ば扭捩す。上緣部には粗鋸齒を有し、中肋は單一若しくは2條を具へ、概ね中央部以上に達す。朔は卵圓形にして水平に着生し、朔柄は長さ1-2糎(3-6分)許を有す。〔分布〕北海道·本州各部。

2. イハダレゴケ屬 HYLOCOMIUM.

8091. **いはだれごけ** (白圖-94) …… ヒヨクゴケ科
Hylocomium proliferum, (*L.*)
〔形態〕各地の高山に普通なる蘚類にして、雌雄異株をなし、莖は刷毛狀の新芽により階狀をなし、多數の毛葉を有す。葉は廣長卵形にして突然長く曲り先端尖り、其緣に細齒を有す。細胞は線形をなし、翼に分化せず。中肋は双生し、短く漸く¼許に達す。朔は短き卵圓形をなして傾斜し、朔蓋は嘴を有す。〔分布〕日本全土。

* * * * * * *

7. つやごけ科 ENTODONTACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄同株若しくは異株にして、莖は圓く導束を有するか或は之を缺き、纖匐枝狀をなすか或は橫臥·上昇若しくは直立し、羽狀稀に不規則に枝を分岐し、枝は密に圓く、葉は多列をなし、1層の線形稀に柔膜樣の細胞より成り、翼に於ては概ね方形を呈す。中肋は單一にして不完全なるか或は2列をなして頗る短く、時に缺如す。朔は直立し、蒴襞を有することなく、朔蓋に氣孔を有するか或は稀に缺如す。朔は整齊にして朔齒は2列をなし、稀に內列を缺き、外列は黃色若しくは紫色を呈す。中央線橫樞·乳頭或は條線を具ふるか、稀に平滑或は不規則の厚味を有す。朔蓋は圓錐形にして嘴を具へ、蘚帽は冠狀をなし平滑なり。
本邦には約5屬を產出す。

本科所載植物名目次

アヲツヤゴケ……8094 タチハヒゴケ……8115 ヘウノヲゴケ……8114
アカツヤゴケ……8102 ツクシツヤゴケ……8107 ホウライツヤゴケ……8109
エダツヤゴケ……8100 ツヤゴケ……8092 ホソミツヤゴケ……8103
カラフトツヤゴケ……8106 トサツヤゴケ……8104 マガリツヤゴケ……8097
クサツヤゴケ……8101 ナガスヂツヤゴケ……8108 マルバツヤゴケ……8096
ケツヤゴケ……8099 ナガバツヤゴケ……8095 ミドリツヤゴケ……8105
コサナダゴケ……8110 ネヂレイトゴケ……8112 ヤハラツヤゴケ……8098
スナヂリサナダゴケ…8111 ヒロハツヤゴケ……8093 ワキミゴケ……8113

1. ツヤゴケ屬 ENTODON.

95 つやごけ

8092. **つやごけ** (白圖-95) …… ツヤゴケ科
Entodon attenuatus, *Mitt.*
〔形態〕樹上に自生する蘚類にして、稍著しき光澤を帶ぶ。莖は橫臥·上昇或は直立し、多くの枝を分つ。葉は莖の背面、腹面及び側面に發達し、卵圓形若しくは卵狀披針形をなし、全邊なるか或は先端に小齒を具ふ。葉細胞は線形にして、翼に於ては無色なり。中肋は2列をなし、頗る短きか或は缺如す。朔は筒形をなして直立し、短き朔臺を具へ、小數の氣孔を有す。朔柄は稍長くして赤色或は黃色を呈し、乾燥すれば扭捩す。朔蓋は短き斜嘴を伴ふ。〔分布〕北海道·本州·九州。

8093. ひろつやごけ …… ツヤゴケ科
Entodon Challengeri, *Par.*
〔形態〕樹上·岩上に自生する蘚類にして、葉は廣橢圓狀舟形をなし、全緣にして先端銳く尖り、中肋は頗る短形なり。朔は廣橢圓形にして朔柄は8粍(2·5分)許を有す。〔分布〕北海道·本州各部·四國·九州。

8094. あをつやごけ …… ツヤゴケ科
Entodon chloroticus, *Besch.*
〔形態〕葉は短廣卵形にして中央凹み、先端斜形をなして次第に尖り全緣なり。中肋は纖弱にして短く、朔は狹圓筒形をなし、朔柄は0·8-1·5糎(2·4-5分)內外を有す。〔分布〕本州各部·九州。

8095. ながはつやごけ …… ツヤゴケ科
Entodon concophyllum, *Card.*
〔形態〕葉は倒卵形にして中央著しく凹み、先端長く次第に尖り匙形をなし、殆んど全緣又は頂端に纖弱なる小鋸齒を有す。〔分布〕九州。

8096. まるばつやごけ …… ツヤゴケ科
Entodon Fauriei, *B. P.*
〔形態〕枝は圓筒形をなして頂端彎曲し、葉は卵形又は長卵形·鈍頭にして、頂緣に鋸齒を有す。〔分布〕本州中部。

8097. まがりつやごけ …… ツヤゴケ科
Entodon curvatirameum, *Card.*
〔形態〕莖は多くの小枝を岐ち、小枝は稍彎曲す。葉は中央凹める卵形又は廣長橢圓狀披針形にして短く、先端次第に尖り、頂緣に小齒牙を具へ、朔は圓筒形をなす。〔分布〕本州各部·朝鮮。

8098. やはらつやごけ …… ツヤゴケ科
Entodon flaccidus, *Besch.*
〔形態〕雌雄異株なり。葉は廣卵形にして先端次第に尖り、基脚圓形·全緣若しくは頂端鋸齒緣をなす。中肋は稍長く2條を有し、朔は卵狀圓筒形にして、長さ0·8-1糎(2·4-3分)許の朔柄を有す。〔分布〕本州·四國。

8099. けつやごけ …… ツヤゴケ科
Entodon pilifer, *B. P.*
〔形態〕高山·山地に生ずる蘚類にして、枝は稍圓く、葉は長橢圓形にして長く先端尖り、透明にして頂緣には往々鋸齒を有す。朔は卵形或は長卵形をなし、朔柄は3-5粍(1-1·7分)許の長さに達す。〔分布〕本州各部。

8100. えだつやごけ …… ツヤゴケ科
Entodon ramulosus, *Mitt.*
〔形態〕雌雄異株なり。枝は再羽狀に分枝し、葉は卵狀披針形·全緣にして展開し、小枝の葉は極めて小さく、橢圓形にして頂端に鋸齒を有す。朔は圓筒形をなし、朔柄は3·6糎(1·2寸)許の長さを有す。〔分布〕本州·四國·九州(屋久島)。

8101. くさつやごけ …… ツヤゴケ科
Entodon herbaceus, *Besch.*
〔形態〕葉は卵形にして中央凹み、頂端廣く次第に尖り、全緣なれども頂緣邊は稍齒狀をなす。朔は圓筒形をなし、朔柄は2·5糎(7·5分)許の長さを有す。〔分布〕本州·九州。

8102. あかつやごけ …… ツヤゴケ科
Entodon herbaceus, *Besch.* var. versicolor, *Besch.*
〔形態〕前種クサツヤゴケの變種にして、葉は黃色又は帶赤色を呈し、絹狀光澤を有す。〔分布〕本州各部。

8103. ほそみつやごけ …… ツヤゴケ科
Entodon Sullivantii, (*C. M.*)
〔形態〕葉は卵形にして先端次第に尖り稍鈍頭をなし、頂緣に小鈍鋸齒を有す。朔は長圓筒形にして、朔柄は紫色を帶び、長さ2·5糎(7·5分)內外に達す。〔分布〕本州各部。

8104. とさつやごけ …… ツヤゴケ科
Entodon tosae, *Besch.*
〔形態〕前種ホソミツヤゴケに近似せる蘚類にして、枝は稍長く漸次匐枝狀をなして尖り、葉は彼に比するに大きく且つ廣く、雌花葉は全緣なり。
〔分布〕本州中部·四國。

8105. みどりつやごけ …… ツヤゴケ科
Entodon viridulus, *Card.*
〔形態〕ツクシツヤゴケに近似せる綠色の蘚類にして、莖及枝は稍狹く、葉も亦小さくして多數を生じ、鈍頭なり。內蘚齒は平滑にして縱條を具ふ。
〔分布〕本州·四國。

8106. からふとつやごけ …… ツヤゴケ科
Entodon scabridens, (*Lindb.*)
〔形態〕樺太に生ずるツヤゴケの一種にして、枝は圓柱狀をなして葉を密生す。葉は長き波形をなし、先端次第に尖り、稍毛狀をなし、朔は卵形にして、朔柄は3-5粍(1-1·6分)許の長さを有す。〔分布〕樺太。

8107. **つくしつやごけ** (20圖版-180) …… ツヤゴケ科
Entodon Drummondii, (*Br. eur.*)
〔形態〕樹上に自生する蘚類にして、莖は橫臥·上昇し、多數の枝を分つ。葉は長卵圓狀橢圓形にして、先端短く尖るか或は鈍頭をなし、中肋は2條を有すれども不明なり。この葉は莖の背面、腹面及び側面に發達す。細胞は線形にして翼に於ては無色なり。朔は長圓筒形をなし朔蓋を具へ、小氣孔を有するか或は之を有せず。朔柄は稍長く約3糎(1寸)許に達す。朔蓋は短き斜嘴を具ふ。〔分布〕本州·九州。

8108. ながすぢつやごけ …… ツヤゴケ科
Entodon diversinervis, *Card.*

〔形態〕葉は長橢圓狀披針形にして，先端急に狹く次第に尖り漸く長し。頂緣に粗鋸齒を有すれども亦稀に全緣なり。中肋は短く時に中央以上に達し，莖は長橢圓形にして，蒴柄は長さ1糎(3分)內外に達す。〔分布〕朝鮮(濟州島)。

8109. ほうらいつやごけ …… ツヤゴケ科
Entodon dolicho-cucullatus, *Okm.*

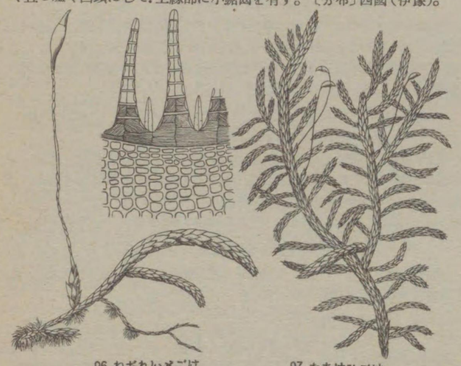
〔形態〕暖國に自生する蘚類なり。葉は狹卵形若しくは長橢圓狀披針形にして，頂部は廣く或は狹く先端銳く尖り，頂緣には小鋸齒を有す。蒴は長橢圓狀筒形をなし，蒴柄は長さ約1糎(3分)許を有す。〔分布〕臺灣。

8110. こさなだごけ …… ツヤゴケ科
Entodon compressus, *C. Mull.*

〔形態〕葉は卵狀舟形をなして短く，先端概ね鈍く尖り，通常全緣なれども，葉尖には時に微鋸齒を有し，中肋は之を缺く。翼は耳狀をなし，翼細胞は六邊形にして疎なり。蒴は長卵形をなし，蒴柄は8-9粍(2·6-2·9分)許を有す。〔分布〕本州。

8111. すなぢのさなだごけ …… ツヤゴケ科
Entodon arenosus, *Okm.*

〔形態〕暖地に自生する一種にして，葉は廣卵狀橢圓形をなし，頂部は廣く且つ短く凸頭にして，上緣部に小鋸齒を有す。〔分布〕四國(伊豫)。



96 ねぢれいとごけ　　97 たちはひごけ

8112. **ねぢれいとごけ**（白圖-96） …… ツヤゴケ科
Entodon Okamurae, *B. P.*

〔形態〕高山の樹上或は岩石上に自生する蘚類にして，雌雄異株に生じ光澤を有す。莖は概ね纖匐枝狀をなし，諸處に假根を生ず。第一枝は偏向し撚絲狀をなして上昇し，叉狀或は羽狀若しくは束狀に小枝を分岐し，少數の毛葉を有す。葉は卵圓形にして先端尖り，全邊なるか或は上部に細齒を具ふ。中肋は頗る短く，分叉するか或は2列をなし，稀に單一にして中央に達するものあり。蒴は圓筒形にして直立し，蒴臺を具へ，小數の氣孔を有す。蒴柄は1-2糎(3-6分)許に達し，蒴蓋は短嘴を有す。〔分布〕本州中部。

2. ワキミゴケ屬　PTERIGYNANDRUM.

8113. わきみごけ …… ツヤゴケ科
Pterigynandrum filiforme, (*Timm.*)

(異名) ねぢれいとごけ　〔形態〕山地に自生する蘚類にして，葉は概ね倒卵形又は橢圓形をなし先端尖り，緣邊の中部以上に小鋸齒を有し，中肋は短く單一にして時に叉狀に分岐す。蒴は圓筒形をなして蒴臺を有し，蒴蓋には鈍齒を伴ひ，蒴柄は1-2糎(3-6分)許の長さを有す。〔分布〕本州北部。

8114. へうのをごけ …… ツヤゴケ科
Pterigynandrum decipiens, (*Web.* et *Mohr.*)

〔形態〕廣く世界各地に分布する蘚類にして，雌雄異株なり。莖葉は廣卵形乃至卵圓形にして短く下垂し，先端圓く尖り，纖毛を伴ひ，頂緣の鋸齒は稍不明なり。中肋は概ね中央に達し，單一又時に2肋を生じ，翼細胞は方形又は長方六邊形をなす。蒴は長橢圓形にして水平に着生す。〔分布〕邦內。

3. タチハヒゴケ屬　PLEUROZIUM.

8115. **たちはひごけ**（白圖-97） …… ツヤゴケ科
Pleurozium Schreberi, (*Willd.*) *Mitt.*

〔形態〕地上に自生する强剛なる蘚類にして，雌雄異株をなし，稍光澤を帶ぶ。莖は匍匐を具へ，橫臥せる基部より上昇或は直立し，羽狀に枝を分つ，枝は概ね2列に擴がり，先端長く尖るか或は太くして圓鈍をなし，毛葉を缺く。葉は屋瓦樣に排列し，卵圓形にして尖らず。葉細胞は長形にして翼に於ては方形若しくは長方形を呈す。中肋は頗る細く，且つ短くして2列をなす。蒴は傾斜若しくは橫臥し，長形或は圓柱形をなし，乾燥すれば彎曲す。蒴柄は長くして彎曲し，長さ4糎(1·3寸)許に達し，蒴蓋は銳頭又は鈍頭をなす。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州各部·四國·九州·朝鮮。

* * * * * *

8. やなぎごけ科　AMBLYSTEGIACEÆ.

本科に屬する植物は，雌雄同株若しくは異株にして，概ね光澤を有せず。莖は匍匐を具へ，匍匐·上昇或は直立し，不規則或は羽狀に枝を分岐し，毛葉を有せず。葉は殆んど圓形にして心臟狀披針形若しくは卵狀披針形をなし稍長く尖り，全邊なるか或は鋸齒を有す。葉細胞は方形或は長六角形稀に線形をなし，平滑。中肋は單一にして葉片の半ば或は先端下に達するか稀に完全なり。蒴は水平或は傾斜し，長形或は圓柱狀にして稍彎曲し，蘚齒の外列は基脚に於て癒着し，黃色或は橙黃色にして橫條を具へ，上部に乳頭及び階狀の鋸齒を有す。蒴柄は長くして赤色若しくは紫色を帶び，蘚蓋は短き圓錐形をなし，銳頭なるか或は疣を有し，蘚帽は冠狀をなして平滑なり。本邦には凡11屬を產出す。

本科所載植物索引目次

アヲハヒゴケ……8136　ササバゴケ……8137　ミヅハヒゴケ……8131
アカコガネハヒゴケ…8126　シヤグマゴケ……8141　ミヅヤナギゴケ……8133
イトササバゴケ……8139　タカネシメリゴケ……8133　ミヤマカギハヒゴケ…8130
イボヤナギゴケ……8121　ツヤヤナギゴケ……8120　ミヤマササバゴケ……8138
ウスキシメリゴケ……8134　ナガノヤナギゴケ…8118　ミヤマミヅハヒゴケ…8132
オホカギハヒゴケ……8129　ナガヤナギゴケ……8117　ムラサキシメリゴケ…8135
カギハヒゴケ……8128　ヒメヤナギゴケ……8119　ヤナギゴケ……8116
カマシヤグマゴケ……8142　ヒロバミヅシダゴケ…8144　ヤナギゴケモドキ…8117
コガネハヒゴケ……8125　ホソハヒゴケ……8124　ヤリノホゴケ……8140
コヤナギゴケ……8122　ミヅシダゴケ……8143

1. ヤナギゴケ屬　LEPTODICTYUM.

8116. やなぎごけ …… ヤナギゴケ科
Leptodictyum riparium, (*L.*) *War.*

〔形態〕各地に廣く分布する蘚類にして，毛葉を有せず。葉は披針形にして基脚卵形或は橢圓形をなし，先端時に毛狀に尖り，全緣にして短く下垂す。中肋は黃色を呈し，葉片の中央以上に達し，翼細胞は長方形をなす。蒴は橢圓形又は長圓筒形をなし，蒴柄は長さ3糎(9分)內外を有す。〔分布〕北海道·本州各部·四國·九州·臺灣。

8117. ながやなぎごけ …… ヤナギゴケ科
Leptodictyum riparium, (*L.*) *War.* var. elongatum, *Schimp.*

〔形態〕全株鮮綠色をなせる蘚類にして，莖は長く伸びて水中に浮ぶ。葉は錐形にして長く尖り，概ね2列に着生す。〔分布〕本州。

8118. ながばやなぎごけ …… ヤナギゴケ科
Leptodictyum riparium, (*L.*) *War.* var. longifolium, *Bryol. eur.*

〔形態〕本種も亦ヤナギゴケの一變種にして，多く急流中に自生す。全株暗綠色又は稍赤黃色を呈し，葉は卵狀披針形にして，單細胞列をなせる長き毛尖を有す。〔分布〕本州北部及中部。

PL. 20.

177 はひごけ　178 だてうごけ　179 ねぞさなだごけ
180 つくしつやごけ　181 ひめやなぎごけ　182 ほそはひごけ
183 あをはひごけ　184 やりのほごけ　185 みづしだごけ

2. ヒメヤナギゴケ屬　AMBLYSTEGIUM.

8119. **ひめやなぎごけ**（20圖版-181）……ヤナギゴケ科
Amblystegium serpens, (*L.*) *Br. eur.*

〔形態〕岩石・樹上等に自生する蘚類にして、雌雄同株に生じ、光澤を有せず。莖は導束を具へ、匍匐・上昇或は直立し、不規則或は羽狀に枝を分ち、毛葉は之を缺く。葉は卵狀披針形にして稍長く尖り、全緣をなし、中肋は中央以上に達す。葉細胞は方形をなす。蒴は傾斜し、長圓筒形をなし弓狀に彎曲す。蒴柄は長さ3糎（1寸）許に達し、赤色若しくは紫色を帶ぶ。
〔分布〕北海道・本州。

8120. **つややなぎごけ** …… ヤナギゴケ科
Amblystegium nitidulum, *Broth.*

〔形態〕赤城山方面に多く自生し、概形極めて纖長、且つ美しき黃綠色を呈する蘚類にして、雌雄同株なり。莖には毛葉なく、葉は殆んど卵狀披針形にして先端次第に尖り、緣邊細鋸齒を有し、長く下垂す。中肋は概ね中央に達し、翼細胞は小さく方形をなす。蒴は概ね長形乃至圓筒形にして蒴臺を有し、稍彎曲す。〔分布〕本州中部。

8121. **いぼやなぎごけ** …… ヤナギゴケ科
Amblystegium papillosum, *B. P.*

〔形態〕暖國に生ずる一種にして、雌雄異株なり。葉は鎌狀披針形にして緣邊微鋸齒を有し、中肋は全長なり。〔分布〕四國。

3. コヤナギゴケ屬　AMBLYSTEGIELLA.

8122. **こやなぎごけ** …… ヤナギゴケ科
Amblystegiella spurio-subtilis, (*B. P.*)

〔形態〕樹上・岩上等に生ずる蘚類にして、雌雄同株なり。莖は纖細にして毛葉を有せず。葉は披針形乃至披針錐形にして、內雌花葉と共に全緣なり。本邦には未だ本種を見ず。

4. ミヅヤナギゴケ屬　HYGROAMBLYSTEGIUM.

8123. **みづやなぎごけ** …… ヤナギゴケ科
Hygroamblystegium aquaticum, (*B. P.*)

〔形態〕淡水中に自生する蘚類の一種にして、雌雄同株なり。莖は概ね正しく羽狀に分枝し、毛葉を有せず。葉は卵狀披針形にして中肋は中央上端に達し、又時に仲出す。翼細胞は方形又は長形をなせるものにして、本邦には未だ發見せられざるものゝ如し。

5. ホソハヒゴケ屬　CAMPYLIUM.

8124. **ほそはひごけ**（20圖版-182）……ヤナギゴケ科
Campylium Sommerfertii, (*Myriu.*)

〔形態〕樹上に自生する蘚類にして、雌雄同株をなし、稍光澤を帶ぶ。莖は導束を具へ、匍匐し、不規則に分岐す。葉は心臟狀卵形にして先端長く尖り、溝狀をなして彎曲し、緣邊に小齒を有す。葉細胞は線形をなし、翼に於ては小なる方形を呈す。中肋は2列をなし、短きか或は之れを缺く。蒴は長橢圓狀筒形をなして彎曲・橫臥し、蒴柄は長さ2糎（7分）許に達し、赤色或は黃赤色を呈す。〔分布〕北海道・本州。

8125. **こがねはひごけ** …… ヤナギゴケ科
Campylium chrysophyllum, (*Brid.*)

〔形態〕葉は卵形又は披針形・全緣にして、基脚三角形を呈し、中肋は黃色にして中央部に及び、葉細胞は線形にして原始嚢を有せず。枝葉は廣橢圓狀披針形にして先端長く尖る。蒴は長橢圓形乃至圓筒形をなして稍彎曲し、蒴柄は2·5糎（7·5分）許の長さを有す。〔分布〕北海道・本州各部・九州。

8126. **あかこがねはひごけ** …… ヤナギゴケ科
Campylium rufo-chryseum, (*Schmp.*)

〔形態〕前種コガネハヒゴケに類似せる一種にして、帶褐赤色を帶び、葉は彼に比するに、稍短く緣邊に明瞭なる齒牙を有する種類なり。〔分布〕本州各部・九州。

8127. **やなぎごけもどき** …… ヤナギゴケ科
Campylium hispidulum, (*Brid.*)

〔形態〕ホソハヒゴケに似たる蘚類にして、雌雄同株なり。葉は狹長披針形にして、基脚急に廣心臟形をなし先端尖り、緣邊に細鋸齒を有す。中肋は短く或は時に之を缺き、蒴柄亦短く長さ1糎（3分）許を有す。〔分布〕本州北部・朝鮮。

6. カギハヒゴケ屬　DREPANOCLADUS.

8128. **かぎはひごけ** …… ヤナギゴケ科
Drepanocladus uncinatus, (*Hedw.*)

〔形態〕殆んど全世界各地高山の濕地に分布する蘚類にして、雌雄同株なり。莖は疎に羽狀に分枝し、葉は廣卵狀披針形にして先端長錐形に尖り、且つ鎌狀に彎曲し下垂せず。緣邊には鋸齒を有し、中肋は中央以上に達し、頂部翼細胞は四乃至六邊形を呈す。蒴は圓筒形をなし、蒴柄は長さ3糎（9分）許に達す。〔分布〕樺太・朝鮮。

8129. **おほかぎはひごけ** …… ヤナギゴケ科
Drepanocladus splendens, *Broth.*

〔形態〕カギハヒゴケに類似せる蘚類にして、外形稍大なり。葉は不齊なる舌形にして先端急に尖り、全緣にして中肋は極めて短く、双生せる種類なり。〔分布〕本州北部。

8130. **みやまかぎはひごけ** …… ヤナギゴケ科
Drepanocladus exanulatus, (*Gumb.*)

〔形態〕本州北部の高山に生ずる蘚類にして、雌雄異株なり。莖葉は卵狀披針形にして先端細く尖り、全緣にして頂緣に小鋸齒を有し、中肋は中央以上或は往々頂端に達す。〔分布〕本州北部（八甲田山）。

7. ミヅハヒゴケ屬　HYGROHYPNUM.

8131. **みづはひごけ** …… ヤナギゴケ科
Hygrohypnum montanum, (*Wils.*)

〔形態〕主に水濕地に自生する蘚類にして、雌雄同株なり。葉は卵狀披針形にして斜に尖り下垂す。緣邊の上部には銳鋸齒を有し、中肋は2條を具へ、或は時に全く之を缺く。蒴は狹橢圓形若しくは圓筒形にして、長さ2糎（6分）許の蒴柄を有す。

8132. **みやまみづはひごけ** …… ヤナギゴケ科
Hygrohypnum molle, (*Dicks.*)

〔形態〕岩木山・八甲田山等に多く生ずる蘚類にして、雌雄同株なり。葉は概ね下垂し、基脚卵形乃至橢圓形をなし、之より銳き披針形を呈し、偏曲せず。先端緣邊には鋸齒を有し、中肋は漸く中央に及び、基部2乃至3脚をなす。蒴は廣橢圓形にして、蒴柄は長さ1糎（3分）內外に達す。
〔分布〕本州北部。

8133. **たかねしめりごけ** …… ヤナギゴケ科
Hygrohypnum eugyrium, (*Br. eur.*)

〔形態〕白馬山に多く自生する蘚類にして、雌雄同株なり。葉は下垂し、廣橢圓狀披針形にして先端急に銳く尖り、中肋は概ね之を有せざれども、稀に短肋を具ふるものあり。蒴は橢圓形にして、蒴柄は長さ1·5糎（4·5分）許を有す。〔分布〕本州中部。

8134. **うすきしめりごけ** …… ヤナギゴケ科
Hygrohypnum ochraceum, (*Turn.*)

〔形態〕本種も亦多く白馬山等の高山に自生する一種にして、雌雄異株なり。葉は卵狀長披針形にして鈍頭或は銳尖頭をなし、概ね全緣なるか、頂緣部には鋸齒を有す。中肋は單一なれども、時に上方叉狀に岐れ、往々中央以上に達し、蒴は長卵形にして、長さ2-3糎（6-9分）內外の蒴柄を有す。
〔分布〕本州中部。

8135. **ひらさきしめりごけ** …… ヤナギゴケ科
Hygrohypnum purpurascens, *Broth.*

〔形態〕本州中部高山地帶に生じ、全株帶紫色を呈する柔軟なる蘚類にして、雌雄同株なり。葉は卵形又は長橢圓狀卵形にして短く、先端次第に尖り全緣なるか或は頂緣に微鋸齒を有す。中肋は2條を有して短く、雌花葉は短披針形にして漸尖頭・全緣なり。〔分布〕本州中部。

8. アヲハヒゴケ屬 PLATYHYPNIDIUM.

8136. **あをはひごけ** (20圖版-183) …… ヤナギゴケ科
Platyhypnidium rusciforme, (*Neck.*)

〔形態〕溫岩又は水中に自生する蘚類にして、雌雄同株なり。莖は導束を具へ、地上を匍匐し、不規則に分岐す。下葉は卵形をなし、先端長く尖り、中肋を有せず。莖葉は廣卵狀橢圓形にして先端披針形に尖り、邊緣に鋸齒を有し、中肋は葉片の半ば以上に達す。蒴は廣橢圓形をなし、蒴柄は1-5糎(5分)許に達す。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

9. ササバゴケ屬 CALLIERGON.

8137. **ささばごけ** …… ヤナギゴケ科
Calliergon cordifolium, (*Hedw.*)

〔形態〕八甲田山等の高山の稍陰濕地に自生する蘚類にして、雌雄同株なり。莖葉は下垂し、心臟狀披針形にして先端圓く尖り、中肋は其先端に達せず。枝葉は披針形にして鈍頭なり。雌花葉は全緣にして中肋は長く、蒴は卵形にして背面隆起し、蒴柄は5-8糎(1·7-2·7分)許の長さを有す。〔分布〕本州北部。

8138. **みやまささばごけ** …… ヤナギゴケ科
Calliergon perdecurrens, *Broth.*

〔形態〕深山に自生するササバゴケの一種なり。枝は長く伸び、頂部は鎌形に彎曲す。葉は廣卵形にして先端次第に尖り、短銳頭をなし、中肋は中央以上に及び、頂緣に鋸齒を有す。〔分布〕本州北部及中部。

8139. **いとささばごけ** …… ヤナギゴケ科
Calliergon stramineum, (*Dicks.*)

〔形態〕雌雄異株なり。莖葉は下垂し、橢圓形若しくは舌形・全緣にして、頂端は帽狀をなし、中肋は中央以上に達す。雌花葉は殆んど全緣にして短肋を有し、蒴は橢圓形若しくは彎曲せる圓筒形をなし、蒴柄は5糎(1·7寸)內外の長さを有す。〔分布〕本州中部。

10. ヤリノホゴケ屬 CALLIERGONELLA.

8140. **やりのほごけ** (20圖版-184) …… ヤナギゴケ科
Calliergonella cuspidatum, (*L.*) *Loesk.*

〔形態〕雌雄異株にして光澤を帶び、莖は導束を具へ、多少延長懸垂し、不規則に枝を分岐し、莖端及枝端は卷絡せる葉のために尖り、强剛なり。毛葉を有せず。葉は廣き卵圓形にして、鈍頭をなすか少しく銳頭をなし、全緣なり。葉細胞は曲線狀をなし、翼に於ては卵圓狀方形或は卵圓狀六角形をなし無色。中肋は2列をなし、短きか或は之を缺く。蒴は圓柱狀をなして稍彎曲し、蒴蓋を有し、蒴柄は長さ4-7糎(1·3-2·3寸)に達し、紫赤色を呈す。〔分布〕北海道・本州。

11. シャグマゴケ屬 CRATONEURON.

8141. **しゃぐまごけ** …… ヤナギゴケ科
Cratoneuron glaucum, (*Lam.*) *C. Jens.*

〔形態〕廣く世界の各地に分布せる種類にして、雌雄異株なり。莖葉は廣心臟狀三角形にして急遽披針狀に尖り、下垂す。緣邊には鋸齒を有し、中肋は先端に達せず。葉細胞は線形にして、翼細胞は長方形をなし、蒴は圓筒形にして、長さ5糎(1·7寸)許を有するものなり。〔分布〕邦內。

本屬の植物は、多く過地又は淺水中に生じ、雌雄異株なり。莖は概ね羽狀に正しく分枝し、多くの毛葉を生ず。蒴は圓筒形をなし、鈍頭をなせる蒴蓋を伴ふ。

8142. **かましゃぐまごけ** …… ヤナギゴケ科
Cratoneuron glaucum, (*Lam.*) *C. Jens.* var. falcatum, (*Brid.*)

〔形態〕シャグマゴケの一變種にして、亦廣く世界の各地に分布す。莖葉は披針狀錐形にして、基脚卵形又は橢圓形をなす。蒴は長橢圓形にして、蒴柄は長さ3糎(1寸)許の長さを有す。〔分布〕邦內。

8143. **みづしだごけ** (20圖版-185) …… ヤナギゴケ科
Cratoneuron filicinum, (*L.*) *Loesk.*

〔形態〕過地又は淺水中に自生する蘚類にして、雌雄異株なり。莖葉は暗綠色或は黑綠色を呈し、光澤を有せず。莖は導束を具へ多くは浮游し、稍規則正しく羽枝を分岐し、毛葉を缺く。葉は基脚部凹陷し平滑、多くは卵狀披針形若しくは長披針形にして先端長く尖り、全邊なり。葉細胞は長六角形をなし葉綠に富む。中肋は先端に達せず。蒴は長橢圓狀筒形をなし、稍彎曲す。蒴柄は4糎(1·3寸)內外に達し赤色を呈す。〔分布〕樺太・北海道・本州・四國・九州。

8144. **ひろはみづしだごけ** …… ヤナギゴケ科
Cratoneuron latifolium, (*Okm.*)

〔形態〕ミヅシダゴケに類似すれども、全株稍疎にして、葉は彼に比するに、三角狀心臟形をなして稍廣く、且つ短く、先端次第に尖りて錐狀をなし、全緣又は小鋸齒緣を有し、中肋は葉の先端に及ばざるものなり。〔分布〕本州中部。

* * * * *

9. うすぐろごけ(ひめしのぶごけ)科 LESKEACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄同株若しくは異株にして、莖は圓く幼稚なる導束を有するか或は之を缺き、主軸は匍匐して多枝を分ち、往々繊き匍枝を出す。第一枝は概ね直立し、單一なるか、束狀若しくは羽狀に小枝を分ち毛葉を有するか、稀に之を缺く。葉は多くは形狀を異にし、鱗葉・莖葉・枝葉等に分化す。この鱗葉は疎生し、平滑にして小さく、概ね中肋を缺如すれども、莖葉は多列し、相稱にして一層の柔膜細胞より成り、一面若しくは兩面に乳頭を具ふるか稀には平滑。中肋は單一なれども稀に2列をなすか、或は叉分す。枝葉は短く且つ細きものなり。蒴柄は稍長く、蒴は整齊にして直立或は彎曲して傾斜し、皺襞を有せず。蒴蓋は少數の氣孔を有するか、或はこれを缺く。蒴齒は內外の2列をなし、外列は多く基脚部に於て癒着し、時に橫褶・橫線或は乳頭を具へ、其色白色・黃色或は黃褐色を帶び、內列の基膜は龍骨狀をなし、稀に纖毛を有す。蒴蓋は圓錐形にして、時に嘴を具へ、蘚帽は冠狀にして概ね平滑なり。

本邦に自生するもの16屬、凡75種餘を産出す。

1. ウスグロゴケ屬 LESKEA.

8145. **うすぐろごけ** …… ウスグロゴケ科
Leskea obscura, *Hedw.*

〔形態〕雌雄同株なり。葉は長橢圓狀卵形にして、皺なく平滑なり。鈍頭或は稍銳頭をなし、通常全緣なれども又時に細鋸齒を有し、中肋は先端に達す。蒴は圓筒形にして直立す。〔分布〕本州各部。

本屬の植物は、雌雄同株にして、枝は羽狀に分岐し、毛葉は少く、葉の先端は概ね尖り、銳又は鈍頭をなし、殆んど全緣なり。葉細胞は圓き六邊形をなし、基部にあるものは殆んど方形を呈し、雌花葉の中肋は葉の中央に達す。

8146. **ひめうすぐろごけ** …… ウスグロゴケ科
Leskea pusilla, *Mitt.*

〔形態〕葉は卵狀披針形或は長橢圓狀披針形にして、通常全緣なれども、又往々頂部葉緣に小鋸齒を有す。中肋は先端近くに達し、葉の基脚には2襞ありて僅に外反す。蒴は橢圓狀圓筒形にして、蒴柄は1·5糎(5分)內外の長さを有す。〔分布〕本州各部。

2. ヒトヘゴケ屬 LINDBERGIA.

8147. **ひとへごけ** …… ウスグロゴケ科
Lindbergia japonica, *Card.*

〔形態〕樹幹に生ずる蘚類にして、雌雄同株なり。莖は稍毛葉を伴ひ、葉は卵形又は卵狀披針形にして、皺襞なく、葉身は短く先端次第に尖り、殆んど全緣にして下垂す。中肋は中部に達し、葉細胞は葉綠多く平滑にして、翼細胞は小さく暗色を呈す。蒴は長卵圓形にして、蒴柄は長さ5-10粍(1·6-3·3分)內外を有す。〔分布〕本州各部。

3. タカネゴケ屬 LESCURAEA.

8148. **たかねごけ** …… ウスグロゴケ科
Lescuraea julacea, *Besch.* et *Card.*

〔形態〕樹皮に生ずる蘚類にして、雌雄異株なり。莖に毛葉少く、葉は長橢圓狀披針形にして稍波狀をなし、先端尖り且つ皺襞を具ふ。蒴は概ね直立し、蒴柄は1糎(3分)內外の長さを有す。〔分布〕本州各部。

8149. **ひろはたかねごけ** …… ウスグロゴケ科
Lescuraea striata, (*Schwgr.*) *Br. eur.*

〔形態〕タカネゴケに酷似せる蘚類にして、雌雄異株なり。葉は廣披針形にして先端漸く尖り、細長き2條の襞を具へ、中肋は殆んど頂端に達し、全緣なり。葉細胞は上部のものは細長く、基部は長方形・緣部のものは方形を呈す。蒴は殆んど圓筒形をなし、1糎(3分)內外の蒴柄を有す。〔分布〕邦內各地。

8150. **みやまきつねごけ** …… ウスグロゴケ科
Lescuraea brachycladula, *Broth.*

〔形態〕岩手山等に多く産する極めて繊小なる蘚類にして、雌雄異株なり。葉は廣披針形又は狹卵狀披針形にして、先端次第に尖り、長からず。中肋は先端に達するか時に之に及ばず。蒴は圓筒形にして小形なり。〔分布〕本州北部。

4. アサイトゴケ屬 PSEUDOLESKEOPSIS.

8151. **あさいとごけ** (21圖版-186) …… ウスグロゴケ科
Pseudoleskeopsis decurvata, (*Mitt.*)

〔形態〕地上に自生する蘚類にして、雌雄異株、光澤を有せず。莖は匍匐して短枝を密生し、披針錐形をなせる極めて少數の毛葉を伴ふ。葉は廣卵形にして、先端多くは圓形鈍頭、邊緣に細鋸齒を有す。葉細胞は概ね卵圓形にして平滑、中肋は先端に終る。蒴は圓筒形にして彎曲し、長き蒴蓋及氣孔を具へ、蒴柄は長くして赤色を呈し、蒴蓋は小頭を具ふ。〔分布〕本州・九州。

8152. **ながえのあさいとごけ** …… ウスグロゴケ科
Pseudoleskeopsis Fauriei, (*B. P.*)

〔形態〕地上に生ずる蘚類にして、雌雄異株なり。葉は略ぼ心臟狀卵形にして稍廣く、先端次第に尖り、不明なる鈍齒牙を有す。蒴は圓筒形にして稍彎曲し、蒴柄は2·4糎(7·5分)內外の長さを有す。〔分布〕本州・四國。

* * * * *

10. しのぶごけ科 THUIDIACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄同株若しくは異株にして、光澤を有せず。莖は導束を具へ、稀に之を缺く。匍匐稀に上昇或は直立し、1回乃至3回羽枝を分ち、枝は概ね莖と同平面に開擴す。毛葉は多數あるか或は叉分、又は分枝し、稀に披針形をなす。葉は2形を示し、莖葉は皺襞を帶び、基脚心臟形、上部は披針形或は披針錐形をなし、全邊なるか、或は上緣に鋸齒を有す。葉細胞は略ぼ六角形にして、兩面に多數或は1箇の乳頭を有す。中肋は先端に達せず稀に突出す。枝葉は小形にして多くは卵狀披針形をなし、中肋は短し。蒴は傾斜或は橫臥し、長卵形若しくは圓柱狀をなし、多くは稍彎曲す。蒴齒の外列は基部に於て癒着し、黃色を呈し、橫條並に橫褶を具ふ。蒴柄は稍長くして赤色を呈す。蒴蓋は斜嘴を有し、蘚帽は概ね冠狀毛を缺く。

本科中本邦に産するもの凡5屬あり。

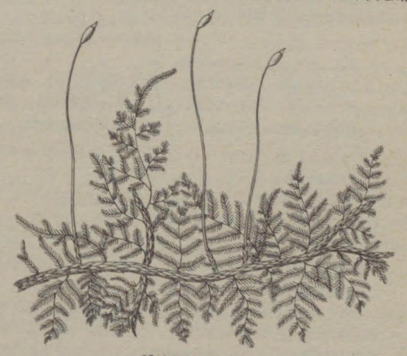
本科所載植物索引目次

アヲイトゴケ……8193　イトシノブゴケ……8157　イトツルゴケ……8200　イハイトゴケ……8195　エゾイトゴケ……8192　エゾシノブゴケ……8166　オホシノブゴケ……8154　オホシマハリゴケ……8180　オホヌマシノブゴケ……8169　オホラセンゴケ……8188　カラフトヌマシノブゴケ……8170　キイトゴケ……8191　キヌイトゴケ……8190　コシノブゴケ……8159　コニハゴケ……8176　コバノイトゴケ……8196　コバノエゾシノブゴケ……8165　コバノキヌゴケ……8174　コバノハリゴケ……8179　コバノマキハリゴケ……8182　シコクハリゴケ……8183　シノブゴケ……8153　タカサゴイトゴケ……8197　タカネニハゴケ……8177　タチシノブゴケ……8162　チヤボシノブゴケ……8161　チヤボスズゴケ……8172　ツクシラセンゴケ……8189　テウセンハリゴケ……8186　ナガスヂハリゴケ……8185　ナガハコシノブゴケ……8160　ニツクワウイトゴケ……8198　ニハゴケ……8175　ヌマレノブゴケ……8168　ハコダテシノブゴケ……8171　ハリゴケ……8178　ヒナシノブゴケ……8156　ヒナトラノヲゴケ……8167　ヒメシノブゴケ……8155　ヒロハスズゴケ……8173　フトハリゴケ……8184　ホソシノブゴケ……8158　ホンシノブゴケ……8153　マキハハリゴケ……8181　ミヤベゴケ……8199　ミヤマイトゴケ……8194　ミヤマイトツルゴケ……8201　ヤマトシノブゴケ……8164　ラセンゴケ……8187　リウキウシノブゴケ……8163

1. シノブゴケ屬 TETRACLADIUM.

8153. **しのぶごけ** (21圖版-187) …… シノブゴケ科
Tetracladium Molkenboerii, *Lac.*

(異名) ほんしのぶごけ　〔形態〕地上に自生する蘚類にして、雌雄同株なり。莖葉共に光澤を有せず。莖は導束を具へ、匍匐或は上昇し、1回乃至3回羽枝を分ち、概ね莖と同平面に開擴す。毛葉は多數あるか或は叉分、又は分枝し、稀に披針形をなす。葉は2形を示し、莖葉は縱襞を帶び、基脚心臟形、上部は披針形或は披針錐形をなし、全邊なるか、或は上緣に鋸齒を有す。葉細胞は略ぼ六角形をなし、兩面に許多或は1箇の乳頭を有す。中肋は先端に達せず。枝葉は小形にして多くは卵狀披針形をなし、中肋は短し。蒴は傾斜し、長卵形にして稍彎曲す。蒴柄は長く赤色をなし、蒴蓋は斜嘴を具へ、蘚帽は平滑なり。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。



98 おほしのぶごけ

8154. **おほしのぶごけ** (白圖-98) …… シノブゴケ科
Tetracladium tamariscinum, (*Hedw.*)

〔形態〕前種と同樣なる蘚類にして、莖は匐枝狀をなし、3回羽狀に分岐し、甚だ多數の毛葉を具ふ。莖葉は廣三角形にして、先端急に披針形をなし3乃至4箇の長襞を伴ひ、緣邊に鋸齒を有す。中肋は先端に達するか、或は達せざるものあり。蒴は圓筒形にして弓形をなし、蒴柄は3-5糎(1-1·7寸)許を有す。〔分布〕樺太。

8155. **ひめしのぶごけ** …… シノブゴケ科
Tetracladium cymbifolium, *D. M.*

〔形態〕樹幹・岩上又は地上に生ずる稍粗大なる蘚類にして．莖は通常2乃至3回羽狀に分岐し．莖葉は長錐形をなして先端尖り．中肋は概ね芒狀をなす．枝葉の葉細胞は長く彎曲せる乳頭を具へ．端部にあるものは2-4尖す。〔分布〕本州・四國・九州・臺灣。

8156. **ひなしのぶごけ** …… シノブゴケ科
Tetracladium minutulum, (*Hedw.*)

〔形態〕莖は1-2回羽狀に分岐し．毛葉を伴ふ。莖葉は心臟形又は三角狀短披針形・全緣にして．齒狀をなせる細胞乳頭を有す。中肋は葉の中央に達し．枝葉は卵狀披針形にして．端部の細胞は2乃至3尖す。萠は橢圓形にして水平に着生し．2糎（6分）內外の長さを有する萠柄を具ふ。〔分布〕邦內。

8157. **いとしのぶごけ** …… シノブゴケ科
Tetracladium micropteris, *Besch.*

〔形態〕本種は纖長なる一種の蘚類にして．匍枝なく．且つ葉に襞を有せず。莖葉は半球形にして先端尖り．緣邊に齒牙狀不齊鋸齒を有し．中肋は先端に達せず。葉細胞には乳頭を具ふ。枝葉は莖だ小さく．卵狀橢圓形にして先端次第に尖り．中肋は中部以上に達す。〔分布〕北海道・本州・四國。

8158. **ほそしのぶごけ** …… シノブゴケ科
Tetracladium Tsunodae, *Broth.*

〔形態〕主に赤城山地方の岩上・樹幹に自生する纖長なる蘚類にして．匍枝を缺き．小枝は平滑なり。莖葉は卵形にして短く先端尖り．皺襞を伴はず．殆んど全緣にして．中肋は先端に達せず。〔分布〕本州中部。

8159. **こしのぶごけ** …… シノブゴケ科
Tetracladium viride, *Mitt.*

〔形態〕各地の樹上・岩上又は地上に自生する蘚類にして．莖は2-3回羽狀に岐れ．長く匍枝狀に伸ぶ。莖葉は腎臟狀錐形にして先端漸く尖り．上部に微鋸齒を有す。中肋は頂端に達し．葉細胞は廣橢圓形なり。枝葉は廣卵形にして．細胞は圓形をなす。〔分布〕北海道・本州各部・四國。

8160. **ながばこしのぶごけ** …… シノブゴケ科
Tetracladium viridiforme, *Card.*

〔形態〕前種コシノブゴケに類する一種なれども．彼に比するに．毛葉は短く．莖葉は狹長にして先端次第に尖り．枝葉は稍廣くして鈍頭をなせるものなり。〔分布〕本州各部。

8161. **ちゃぼしのぶごけ** …… シノブゴケ科
Tetracladium bipinnatulum, *Mitt.*

〔形態〕各地の岩上・樹上或は地上に自生する蘚類にして．莖は羽狀に分枝す。莖葉は戟形をなして先端尖り．葉緣は反捲し．中肋は葉の中央に達す。枝葉は卵形にして．緣邊並に背部には乳頭を伴ひ．不齊齒牙狀を呈す。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

8162. **たちしのぶごけ** …… シノブゴケ科
Tetracladium cylindraceum, *Mitt.*

〔形態〕莖は羽狀に分枝し．莖葉は戟狀心臟形又は錐形をなし．全緣にして．中肋は錐形の前に終る。枝葉は卵形にして．背部に乳頭を具へ．萠は圓筒形をなし．萠柄は上部に於て穉澁なり。〔分布〕本州・四國・九州。

8163. **りうきうしのぶごけ** …… シノブゴケ科
Tetracladium glaucinoides, *Broth.*

〔形態〕暖國に産する蘚類にして．アヲシノブゴケに類似すれども．枝葉の葉細胞には．往々彎曲せる單刺を有する乳頭を伴へるものなり。〔分布〕琉球・臺灣。

8164. **やまとしのぶごけ** …… シノブゴケ科
Tetracladium japonicum, *D. M.*

〔形態〕莖は2乃至3回羽狀に分枝し．多數の毛葉を伴ふ。葉は稍三角形にして先端急に尖り．緣邊に微鋸齒を有す。中肋は葉の中央或は先端近くに達し．內雌花葉は狹尖形をなし．枝葉の端部にある葉細胞は2-4尖を有するものなり。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・臺灣。

8165. **こばのえぞしのぶごけ** …… シノブゴケ科
Tetracladium delicatulum, (*Dill. L.*)

〔形態〕廣く世界各地に分布する種類にして．莖は2-3回羽狀に分枝し．多數の毛葉を伴ふ。莖葉は短廣三角狀心臟形にして．其基脚より急激に披針狀錐形をなし．4箇の皺襞を具へ．頂部には波樣鋸齒を有するか又は全緣にして．葉緣は反捲す。中肋は頂端に達し．葉細胞は廣橢圓形をなす。枝葉は卵形にして尖り．端細胞は2-4尖を有す。萠は圓筒形をなし．萠蓋には斜嘴を伴ふ。〔分布〕邦內。

8166. **えぞしのぶごけ** …… シノブゴケ科
Tetracladium recognitum, (*L. Hedw.*)

〔形態〕本種も亦廣く全世界に分布せる種類にして．莖は匍枝狀をなす。莖葉は短廣三角狀心臟形をなせる基脚より急に披針形をなし．4箇の皺襞を具へ．緣邊に鈍鋸齒を有す。枝葉は三角形にして先端急に長く尖り．端細胞は2-4尖を有す。萠は圓筒形にして點頭し．2-5糎（7-5分）許ある萠柄を有す。〔分布〕北海道・本州。

2. ヒナトラノヲゴケ屬 HYLOCOMIOPSIS.

8167. **ひなとらのをごけ**（21圖版-188） …… シノブゴケ科
Hylocomiopsis ovicarpa, (*Besch.*)

〔形態〕樹上・岩石上等に自生する蘚類にして．雌雄異株なり。莖は絲狀にして不規則に羽枝を分ち．多數の毛葉を有す。葉は長橢圓形或は卵形をなし．先端長く尖り．2-4箇の縱襞を具へ．緣邊卷旋す。葉細胞は概ね線形をなせども．基脚に於ては長方形をなし透明なり。萠は卵形若しくは長橢圓形にして少數の氣孔を有し．萠柄は稍長く紫色を呈す。萠蓋は鈍頭をなし．蘚帽は脫落し易し。〔分布〕本州・四國・朝鮮。

3. ヌマシノブゴケ屬 HELODIUM.

8168. **ぬましのぶごけ**（21圖版-189） …… シノブゴケ科
Helodium paludosum, (*Sull.*)

〔形態〕水濕地に自生する蘚類にして．雌雄同株なり。莖は導束を缺き．小枝は羽枝を分ち．多數の毛葉を有し．初め白色を呈すれども後に褐色に變ず。葉は何れも等しく背面に著しき隆襞を有し．卵狀披針形にして先端尖り．全緣なるか或は先端に小齒を帶ぶ。葉細胞は透明にして．長六角形或は線形をなす。中肋は先端に達せず。萠は傾斜若しくは橫臥し．圓柱狀にして多少彎曲す。萠柄は長さ5糎（1-7寸）許に達し．萠蓋は圓錐形にして尖る。〔分布〕樺太。

8169. **おほぬましのぶごけ** …… シノブゴケ科
Helodium lanatum, (*Stroem.*)

〔形態〕寒國の水濕地に自生する强健なる蘚類にして．雌雄同株なり。莖葉は卵形或は心臟形にして．先端急に披針狀をなして短く尖り．中肋は遙か先端に及ばず。緣邊には弱鋸齒を有するものなり。〔分布〕樺太。

8170. **からふとぬましのぶごけ** …… シノブゴケ科
Helodium sachalinense, (*Ldb.*)

〔形態〕寒地の水濕地に自生する蘚類にして．雌雄異株なり。莖葉は稍圓形をなせる基脚より．直ちに長く次第に尖り．鋸齒は毛狀をなす。枝葉は廣卵形にして短く尖り．葉細胞は長乳頭を伴ふ。萠は橢圓形にして稍彎曲し．萠柄は2-5糎（7-5分）許の長さを有す。〔分布〕樺太。

4. ハコダテシノブゴケ屬 THUIDIOPSIS.

8171. **はこだてしのぶごけ** …… シノブゴケ科
Thuidiopsis hakodatense, *B. P.*

〔形態〕北地に生ずる蘚類にして．雌雄異株なり。莖は匍枝狀をなして長く伸長す。莖葉は急激なる披針狀錐形にして．基脚廣心臟形をなし．概ね全緣にして．上部に細鋸齒を有す。葉細胞は卵狀六邊形をなし．基脚に於て長形なり。〔分布〕北海道。

本屬の植物は．雌雄異株にして．莖は單一又は再三羽狀に分岐し．莖葉は殆んど全緣又は上部に鋸齒を有す。中肋は先端に達するか或は達せず。葉細胞は有稜・圓形にして多くの乳頭を具へ．枝葉は乾燥すれば彎曲し．內雌花葉は概ね毛非を生ず。萠は直立することなく．萠蓋は細嘴を伴ふ。

5. チャボスズゴケ屬 BOULAYA.

8172. **ちゃぼすずごけ** …… シノブゴケ科
Boulaya Mittenii, (*Broth.*) *Card.*

〔形態〕莖葉は廣心臟狀卵形にして．先端次第に尖り．頂端往々毛狀をなし全緣なり。葉細胞は甚だ小さく．圓方形・圓橢圓形或は方形をなし．中肋は先端下部に達す。萠は殆んど球形をなし．2糎（6分）許の萠柄を有す。

〔分布〕北海道・本州・四國・九州・朝鮮。

本屬の植物は．莖は羽狀に分枝し．莖葉は急遽錐形を呈し．全緣にして中肋は錐部の脚に達す。葉細胞は甚だ厚く細乳頭を有し．內雌花葉は狹披針形にして長毛狀をなす。萠蓋には短嘴を有す。

8173. **ひろはすずごけ** …… シノブゴケ科
Boulaya latifolia, *Okm.*

〔形態〕前種チャボスズゴケに酷似せる蘚類にして．莖葉は短く．廣心臟狀錐形をなし．先端急に狹まり毛狀を呈し．全緣にして下垂す。葉細胞は極めて細小にして種々の形狀を呈し．上方細胞は長橢圓形をなせるものなり。〔分布〕本州中部。

6. コバノキヌゴケ屬 HAPLOCLADIUM.

8174. **こばのきぬごけ** …… シノブゴケ科
Haplocladium capillatum, (*Mitt.*)

〔形態〕葉は披針形にして．先端次第に長く毛狀をなし．緣邊に極めて微細なる鋸齒を具へ．基脚卵形を呈し．中肋は殆んど全長なり。萠は圓筒形にして稍彎曲し．萠柄は長さ2-2糎（7-3分）許を有す。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

本屬の蘚類は．概ね樹上・岩上又は地上に自生し．雌雄同株なり。莖は絲狀の毛葉を有し．葉は同形なり。葉細胞は概ね廣橢圓狀六邊形にして．乳頭を有し．翼細胞は方形なり。中肋は全長又は伸出し．萠は傾臥し．圓筒形にして萠蓋は尖り．萠柄は長形なり。

8175. **にはごけ** …… シノブゴケ科
Haplocladium amblystegiodes, (*B. P.*)

〔形態〕樹上若しくは岩上に生ずる蘚類にして．莖は絲狀の毛葉を具へ．葉は廣橢圓狀披針形にして同形なり。中肋は全長又は伸出し．葉細胞は廣橢圓狀六邊形をなし．乳頭を具へ．翼細胞は方形なり。萠は稍大きく圓筒形にして傾臥し．萠柄は長形なり。〔分布〕臺灣。

8176. **こにはごけ** …… シノブゴケ科
Haplocladium miser, (*B. P.*)

〔形態〕葉は三角狀披針形・全緣にして中肋は曲折し．錐形の部に於て不明瞭となり．葉細胞は稍暗色なり。〔分布〕本州北部。

8177. **たかねにはごけ** …… シノブゴケ科
Haplocladium subbrebipes, *Broth.*

〔形態〕高山の樹幹・岩上等に自生する蘚類にして雌雄同株なり。葉は2形を有し．概ね披針形にして先端細く尖り．基脚稍廣く．殆んど全緣にして．上部に弱鋸齒を有す。中肋は中部以上に達し．葉細胞は明瞭なり。萠は小さく萠柄亦細く．7粍（2分）內外を有す。〔分布〕北海道・本州。

7. ハリゴケ屬 CLAOPODIUM.

8178. **はりごけ** …… シノブゴケ科
Claopodium aciculum, *Broth.*

〔形態〕葉は卵狀披針形にして．先端次第に尖り．細鋸齒緣を有す。中肋は葉の先端に達し．葉細胞は明瞭なる橢圓形にして．且つ大なる乳頭を有す。萠は廣橢圓形にして水平に着生し．萠蓋には長嘴を伴ひ．萠柄は1糎（3分）內外の長さを有す。〔分布〕本州・四國・九州。

本屬の蘚類は雌雄異株にして．少數の毛葉を伴ふ。葉は廣橢圓狀披針形又は錐形をなし．概ね同形にして．中肋は完全ならず。葉細胞は圓稜形又は廣橢圓狀稜形をなし．乳頭を具ふ。萠は長廣橢圓形にして直立することなく．短き萠嘉を有し．萠蓋には嘴を伴ふものなり。

8179. **こばのはりごけ** …… シノブゴケ科
Claopodium aciculum, *Broth.* var. brevifolium, *Card.*

〔形態〕ハリゴケの一變種にして．概形彼に類すれども．彼に比するに枝はより多く．葉及葉細胞は共に短くして．乳頭の著しく突出せる一種なり。〔分布〕本州中部（紀伊）。

8180. **おほしまはりごけ** …… シノブゴケ科
Claopodium asperrimum, *Card.*

〔形態〕ナガスヂハリゴケに類似せる一種なれども．全株鮮綠色又は黃綠色を呈す。葉亦彼に比するに大きく廣く．先端次第に尖り．葉緣稍反曲す。葉細胞亦大きく．兩面に乳頭を有す。〔分布〕九州・朝鮮。

8181. **まきははりごけ** …… シノブゴケ科
Claopodium assergens, (*S. L.*) *Card.*

〔形態〕葉は卵形又は橢圓形にして急遽披針形に尖り．上部に小鋸齒を有し．且つ頂端まで反捲す。中肋は細ぬ先端に達し．葉細胞は稍圓くして乳頭を有し．萠柄は短畫なり。〔分布〕九州・小笠原島・臺灣・朝鮮。

8182. **こばのまきははりごけ** …… シノブゴケ科
Claopodium assergens, (*S. L.*) *Card.* var. brevifolium, *Card.*

〔形態〕マキハリゴケの變種にして．彼に比するに葉は短く且つ廣く．葉細胞は大きく且つ厚きものなり。〔分布〕本州・四國・九州・朝鮮。

8183. **しこくはりごけ** …… シノブゴケ科
Claopodium subaciculum, *Broth.*

〔形態〕ハリゴケに類似せる蘚類なり。莖葉は狹長にして先端次第に尖り．頂部に鋸齒を有す。中肋は黃色にして．全長なるか或は伸出し．葉細胞は極めて小さく且つ圓形なり。枝葉の中肋は短形なり。〔分布〕四國。

8184. **ふとはりごけ** …… シノブゴケ科
Claopodium subpiliferum, (*Ldb. et Arn.*)

〔形態〕極めて纖長なる蘚類なり。葉は披針形にして先端尖り．毛狀をなし．鋸齒緣を具へ．基脚全緣なり。中肋は不明なるか或は之を缺く。〔分布〕本州各部。

8185. **ながすぢはりごけ** …… シノブゴケ科
Claopodium prionophyllum, (*C. M.*)

〔形態〕雌雄異株なり。莖葉は狹披針形にして先端次第に尖り．概ね葉緣に小鋸齒を有し．且つ硬なり。中肋は黃色を呈して伸出し．葉細胞は極めて小さく且つ圓く．微細なる乳頭を具ふ。萠は卵形にして．萠柄は平滑なり。〔分布〕本州各部・朝鮮。

8186. **てうせんはりごけ** …… シノブゴケ科
Claopodium prionophyllum, (*C. M.*) var. septentrionale, *Card.*

〔形態〕前種ナガスヂハリゴケの一變種にして．概形彼に酷似すれども．全體稍大きく．葉亦廣く且つ長く．先端次第に尖れる一種なり。〔分布〕朝鮮（濟州島）。

8. ラセンゴケ屬 HERPETINEURON.

8187. **らせんごけ** …… シノブゴケ科
Herpetineuron Toccoae, (*S. L.*) *Card.*

〔形態〕岩上に生ずる蘚類にして．雌雄異株なり。枝は乾燥すれば螺旋狀に捲捉し．葉は長披針形にして先端短く尖り．且つ粗大なる鋸齒を有し．概ね5排列をなす。中肋は波狀をなさず．概ね上部繊曲し．先端に達せず。葉細胞は小さく方形なり。萠は圓筒形にして直立し．氣孔を有せず。〔分布〕本州・四國・九州・臺灣。

8188. **おほらせんごけ** …… シノブゴケ科
Herpetineuron Toccoae, (*S. L.*) *Card.* forma robusta, *Broth.*

〔形態〕前種の一品種にして．全形彼に比するに粗大なるものなり。〔分布〕本州中部（上州）。

8189. **つくしらせんごけ** …… シノブゴケ科
Herpetineuron wichurae, (*Br.*) *Card.*

〔形態〕岩上に生ずる纖長なる種類にして．雌雄異株なり。葉は長橢圓狀披針形にして短く．先端次第に尖り．緣邊の中部以上には細鋸齒を具へ．中肋は上方に彎曲して葉の中部以上に達す。〔分布〕本州・四國・九州。

9. キヌイトゴケ屬 ANOMODON.

8190. **きぬいとごけ** …… シノブゴケ科
Anomodon armatus, *Broth.*

〔形態〕樹上・岩上等に自生する蘚類にして．雌雄異株なり。葉は卵形にして．先端は次第に狹長披針狀に鋭く尖り．頂端透明にして．葉緣は反曲し殆んど全緣なり。中肋は中部以上に及び．葉細胞は稍圓形をなし乳頭を具ふ。萠は長橢圓狀圓筒形にして．6-8粍（2-2·3分）許ある萠柄を有す。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州。

本屬の蘚類は．多く岩上又に樹上に自生し．雌雄異株なり。葉は舌狀廣橢

圓形・披針形乃至錐形をなし、多くは全緣にして5排列をなす。中肋は完全ならず。葉細胞は圓狀六邊形を呈す。朔は圓筒形をなして直立し、內朔齒には細き莖を伴ふものなり。

8191. きいとごけ …… シノブゴケ科
Anomodon rostratus, (*Hedw.*)

〔形態〕葉は狹披針形にして基脚卵形をなし、全緣にして先端錐形に尖り單細胞排列をなし透明なり。葉細胞は圓狀六邊形にして、密に乳頭を具へ、朔は長卵形にして、朔蓋には嘴を伴ふ。〔分布〕北海道・本州。

8192. えぞいとごけ (21圖版-190) …… シノブゴケ科
Anomodon apiculatus, *Br. eur.*

〔形態〕雌雄異株に屬す。本植物は稍強剛にして光澤を缺く。主軸は匍匐し、第一枝は直立若しくは上昇し、單立若しくは枝を分つ。葉は5列をなし、基脚部卵圓形をなし、先端は急に舌狀披針形或は錐狀を呈し、多くは全緣をなす。細胞は概ね六邊形をなし、兩面に1頭若しくは2頭を有する乳頭を具へ、基脚の中央に於ては平滑、葉緣は細胞突出し稍齒狀を呈す。中肋は概ね先端に達せず。朔は殆んど圓柱狀をなして直立し、朔柄は稍長く乾燥すれば撓る。朔蓋は鈍頭或は銳頭の嘴を具ふ。〔分布〕樺太・北海道・本州・四國・九州・朝鮮。

8193. あをいとごけ …… シノブゴケ科
Anomodon minor, (*Palis.*) *Fur.*

〔形態〕葉は舌狀長卵形にして、中肋は黃色を呈し、葉の中部以上に達し、葉細胞には密に乳頭を具へ、朔は氣孔を有するものなり。〔分布〕本州・四國・九州・朝鮮。

8194. みやまいとごけ …… シノブゴケ科
Anomodon Uematsui, *Broth.*

〔形態〕深山の岩上・樹幹に生ずる纖小なる蘚類にして、雌雄異株なり。葉は狹舌形にして急に基脚廣く、耳垂を缺き、先端圓鈍頭又は鈍く尖り、中肋は葉の先端に達せず。葉細胞は圓く、密に乳頭を有す。〔分布〕本州中部及南部。

10. イハイトゴケ屬 HAPLOHYMENIUM.

8195. いはいとごけ (21圖版-191) …… シノブゴケ科
Haplohymenium triste, (*Ces.*) *Kindb.*

〔形態〕樹皮上或は岩石上に自生する全體纖弱なる蘚類にして、莖は匍匐し、羽枝を分つ。葉は舌狀をなし、基脚部卵圓形を呈し全緣なり。葉細胞は上方に於ては、不正なる圓き六邊形をなし、基脚に於ては橫に廣き六邊形をなし、概ね許多の乳頭を有す。中肋は葉片の半ばに達し、稀には先端の下に至る。朔は卵圓形にして直立し、氣腔及氣孔を缺き、朔柄は短く、乾燥すれば黃色若しくは赤色を呈す。朔蓋は短き斜嘴を具へ、蘚帽は少數の長き直立毛を生じ、緣邊不規則に分裂す。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

8196. こばのいとごけ …… シノブゴケ科
Haplohymenium microphyllum, (*B. P.*)

〔形態〕樹皮又は岩石上に自生する纖弱なる蘚類の一種なり。葉は卵狀披針形にして短く、先端次第に尖れるか或は卵狀舌形をなし、中肋は葉の中部以下に達する種類なり。〔分布〕北海道・本州・四國・朝鮮。

8197. たかさごいとごけ …… シノブゴケ科
Haplohymenium submicrophyllum, (*Card.*)

〔形態〕暖國山地の樹皮・岩上等に自生する纖弱なる蘚類なり。葉は卵狀披針形にして短く、先端次第に尖り、或は卵狀舌形にして鈍頭をなし、中肋は葉の中央以上に達し、概ね全緣なるも、突出せる葉細胞によりて鈍鋸齒狀を呈す。葉細胞は圓狀六邊形にして、小形なる乳頭を有す。〔分布〕本州南部・九州・臺灣。

8198. にっくぅういとごけ …… シノブゴケ科
Haplohymenium biforme, *Broth.*

〔形態〕樹皮又は岩石上に自生する纖弱なる蘚類にして、枝は細長く、葉は廣卵形又は卵形にして短く、急に長く舌狀をなし、頂端圓く全緣にして、中肋は中央に達し、枝頂にあるものは或は甚だ長く、毛狀をなして次第に尖る。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・朝鮮。

11. ミヤベゴケ屬 MIYABEA.

8199. みやべごけ …… シノブゴケ科
Miyabea fruticella, (*Mitt.*)

〔形態〕樹幹に生ずる蘚類にして、莖は不齊に多くの枝を岐ち、葉は卵形をなし、上部は廣潤にして稍鈍く、頂端に銳齒を有す。中肋は短く中央に達し、葉細胞は小形・平滑にして圓く、翼細胞は更に小形なり。朔は卵圓形をなし、4粍(1·3分)內外の朔柄を有す。〔分布〕本州・四國・九州。

12. イトツルゴケ屬 HETEROCLADIUM.

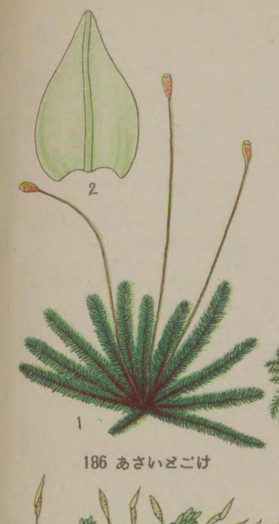
8200. いとつるごけ …… シノブゴケ科
Heterocladium leucotrichum, *Mitt.*

〔形態〕莖は匍匐し、莖葉共に光澤なく、毛葉は錐狀をなす。莖葉の基部心臟形をなして先端尖り、緣邊鋸齒を具へ、中肋は短きか或は不明にして、單一なるか或は2列をなす。枝葉は小形の廣卵形にして、先端尖る。朔は傾斜或は橫臥し、長卵圓形にして彎曲し、朔柄は長く朔蓋は嘴を有し、蘚帽は脫落し易し。〔分布〕本州。

8201. みやまいとつるごけ …… シノブゴケ科
Heterocladium pilicuspes, *Broth.*

〔形態〕信州夏澤峠にて採集せられたる蘚類にして、雌雄異株なり。概形イハイトゴケ屬に相似たり。葉は卵形にして、急激に毛狀をなして尖り、中肋は短く双生す。葉細胞は楕圓形にして橢澁なり。〔分布〕本州中部。

* * * * *


186 あさいとごけ

187 しのぶごけ

188 ひなとらのをごけ

189 ぬましのぶごけ

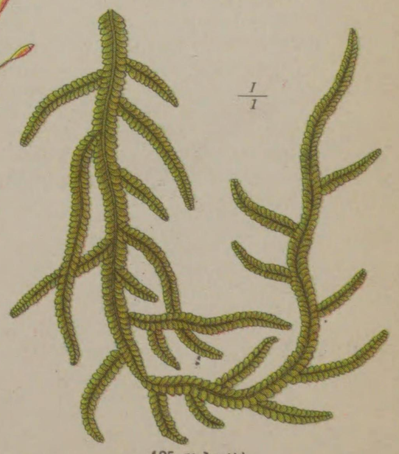
190 ねぞいとごけ

191 いはいとごけ

192 ひめくじゃくごけ

193 まるばあぶらごけ

194 とらのをごけ


195 ひらごけ

11. くじゃくごけ科 HYPOPTERYGIACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄異株若しくは同株にして、莖は其横斷面に於て帶圓三角形を呈し、導束を缺き、主軸は根莖樣にして褐色の密毛を生ず。第一枝は直立し、概ね羽狀或は樹枝狀をなして小枝を分ち、各小枝は扁平に葉を密生す。この葉は斜に着生し、2列にして非相稱をなす。各小葉は卵圓形稀に卵狀披針形をなし、柔膜樣の細胞より成り分化せず。中肋は單一なり。葡柄は短く、蒴は整齊にして傾斜するか或は懸垂、稀に直立し、基脚部に小數の陷沒氣孔を有す。蒴齒は內外2列をなし、稀に外列を缺く。外列は横線・厘末形の縱線及び横褶を具へ、內外の基膜は龍骨を有す。蒴蓋は嘴を具へ、蘚帽は冠狀或は圓錐形をなし平滑なり。

本科の植物中本邦に産するものは3屬、約10餘種あり。

1. クジャクゴケ屬 HYPOPTERYGIUM.

8202. くじゃくごけ …… クジャクゴケ科
Hypopterygium Fauriei, *Besch.*

〔形態〕樹上又は岩上に生ずる蘚類にして、雌雄同株なり。葉は舷を具へ、中肋は葉の中部に達す。莖葉は長卵形にして絲狀凸頭をなし、全緣なり。葉細胞は長く且つ廣く、六邊形にして透明なり。枝葉は廣卵形にして、基脚より鋸齒を生じ、腹葉は球狀にして先端長き絲狀をなす。蒴は卵圓形にして大形なり。〔分布〕本州各部・四國・九州。

本屬の植物は、葉は概ね舷を有し、中肋は先端に達せず。葉細胞は菱形又は卵圓六邊形にして、基部にあるものは長く、疎なり。腹葉は卵形又は圓形にして、錐形乃至芒狀に尖る。蒴は太き蒴臺を有して直立せず。內齒には細疣を伴ひ、基膜高く、纖毛完全にして蒴柄は稍長きものなり。

8203. **ひめくじゃくごけ** (21圖版-192) … クジャクゴケ科
Hypopterygium japonicum, *Mitt.*

〔形態〕地上・岩石或は樹皮上に自生する淡綠色乃至黃綠色を呈する蘚類にして、莖は傾斜、羽狀に分岐し、背腹兩面明瞭に區別せらるゝものなり。葉は左右不相稱なる卵狀橢圓形をなし、先端急激に短く尖り、上緣に鈍鋸齒を有し、中肋は中央以上には消失す。この葉は上方に於ては左右2列をなせども、下葉は1列にして圓く、中肋は突出して急激に長き狹尖頭をなす。蒴は水平、蒴柄は2糎(7分)許に達す。〔分布〕本州・四國・九州・朝鮮。

8204. こくじゃくごけ …… クジャクゴケ科
Hypopterygium Levieri, *Broth.*

〔形態〕前種ヒメクジャクゴケに似たる蘚類にして、雌雄同株なり。葉には舷を具へ、中肋は先端に達せず。蒴は圓卵圓形にして小形なる種類なり。〔分布〕九州(奄美大島)。

8205. しはくじゃくごけ …… クジャクゴケ科
Hypopterygium sinicum, *Mitt.*

〔形態〕雌雄異株なり。葉は舷を有し、廣卵形にして微凸頭をなし、頂部に小鋸齒を具へ、中肋は葉の中部に達す。葉細胞は小さく、廣橢圓狀六邊形をなし、腹葉は圓卵形なり。〔分布〕九州。

2. キジノヲゴケ屬 CYATHOPHORELLA.

8206. きじのをごけ …… クジャクゴケ科
Cyathophorella japonicum, *Broth.*

〔形態〕樹幹に生ずる蘚類にして、葉は稍大きく、卵披錐形をなして先端漸く尖り、上部に棘狀の鋸齒を有す。〔分布〕四國。

* * * * *

12. あぶらごけ科 HOOKERIACEÆ.

本科に屬する植物は、兩性なるか雌雄同株若しくは異株にして、莖は圓く概ね導束を缺き、横臥若しくは直立し、小枝を分ち、毛葉及び纖匐枝を缺く。この葉は多く非相稱をなし、4列乃至8列に着生し、何れも同形にして總ての方向に開擴するか、或は不同にして背葉及び腹葉は斜生し、側葉は開擴す。葉細胞は概ね柔膜樣にして1層をなし、平滑なるか、乳頭を帶び、翼に於て分化せず。中肋は2列或は1列をなし、時に缺如す。葡柄は稍長くして平滑なるか、乳頭或は刺を有す。蒴は斜傾或は横臥し、整齊若しくは不整齊なり。蒴齒は2列をなし、外列は黃色・黃赤色或は紫色を呈し、往々縱溝を具へ、横褶・乳頭若しくは横條を有し、內列の基膜は高く、概ね纖毛を缺如するか或は幼稚なり。蒴蓋は圓錐形にして細嘴を具へ、蘚帽は圓錐形にして基脚部に於て分裂し、平滑なるか乳頭或は纖毛を有す。

本科には26屬、凡650餘種の植物を含有し、主として暖地に産す。本邦に自生するもの6屬、11種を産出す。

1. アブラゴケ屬 HOOKERIA.

8207. あぶらごけ …… アブラゴケ科
Hookeria nipponensis, (*Besch.*)

〔形態〕次種マルバアブラゴケに比するに、葉は凡て廣く次第に尖り、葉細胞は六邊形をなせるものなり。〔分布〕本州各部・九州。

本屬の蘚類は概ね雌雄同株なり。地上に自生し、葉は卵圓形・全緣にして中肋を缺き、5排列をなす。蒴は卵圓形にして短き蒴臺を有し、內齒には細き疣を具ふるものなり。

8208. **まるばあぶらごけ** (21圖版-193) …… アブラゴケ科
Hookeria lucens, (*L.*) *Sm.*

〔形態〕廣く全世界に分布する蘚類にして、雌雄同株なり。莖高さ概ね8糎(2-6寸)內外を普通とすれども、稀に10糎(3寸)に及ぶものあり。上葉は卵圓形にして鈍頭・全緣なり。葉細胞は菱形又は菱狀六邊形をなす。蒴は廣橢圓形にして水平に着生し、短き蒴臺を具へ、蒴柄は1-2糎(3-6分)許の長さを有す。〔分布〕邦內。

2. ツガゴケ屬 DISTICHOPHYLLUM.

8209. つがごけ …… アブラゴケ科
Distichophyllum Maibarae, *Besch.*

〔形態〕樹幹・溫岩又は溫地等に自生する蘚類にして、雌雄異株なり。葉は廣卵狀長橢圓形にして、先端次第に尖り、綠色の舷を有す。中肋は葉の中部に達し、葉細胞は中部以上に於て方形又は六邊形をなす。雌花葉は卵形にして幅廣く、蒴は卵狀をなし、蒴柄は長さ1糎(3分)許を有し、平滑なり。〔分布〕本州各部・九州。

本屬の蘚類は、多くは樹幹・溫岩若しくは溫地等に生じ、葉は概ね6乃至8列に排列し、多くは全緣にして舷を具へ、中肋は頂端に達せず。蒴は卵形若しくは長卵形にして、長き蒴臺を有し、蒴齒には横襞乃至横條を有するものなり。

8210. やくしまつがごけ …… アブラゴケ科
Distichophyllum collenchymatosum, *Card.*

〔形態〕樹幹又は溫岩等に生ずる一種にして、雌雄異株なり。葉は倒卵狀篦形にして、頂端急に狹まり凸頭をなし、緣邊は稍波狀を呈し、狹き舷を有す。中肋は葉の中部に達し、葉細胞は上方に於て六邊形をなす。〔分布〕九州。

3. イバラゴケ屬 ERIOPUS.

8211. いばらごけ …… アブラゴケ科
Eriopus japonicus, *Card.* et *Ther.*

〔形態〕朽木又は岩上に自生する纖長なる蘚類にして、雌雄同株なり。側葉は次第に尖り、舷は2-3列をなす。上部の葉細胞は廣橢圓形又は長六邊形をなし、蒴柄は4粍(1-3分)內外の長さを有す。〔分布〕四國。

本屬の蘚類は、朽木又は岩上等に自生し、概ね雌雄同株にして、葉は卵圓形をなし短く尖り、鋸齒を有す。舷は黃色を呈し、中肋は叉分す。蒴は卵圓形にして概ね直立することなく、細き蒴臺を具へ、內蒴齒には細き疣を有す

るものなり。

4. ヲトメゴケ屬 CYCLODICTYON.

8212. をとめごけ …… アブラゴケ科
Cyclodictyon Blumeanum, (*C. M.*)

〔形態〕地上・岩上又は樹上等に生ずる蘚類にして。側葉は短く。狹く尖るか或は錐形に尖り。上部には稍鋸齒を有す。上部の葉細胞は圓き六邊形をなし。紋は 1-2 列をなす。〔分布〕臺灣。

本屬の植物は。葉は長卵形にして急激に短錐形をなせども。稀に卵狀披針形を呈し。6-8 列に排列す。葉細胞は甚だ疎にして圓き六邊形をなす。萠は卵圓形又は長形をなし。短き萠蓋を具へ。內萠齒には乳頭を有するものなり。

5. マルバゴケ屬 CHAETOMITRIOPSIS.

8213. まるばごけ …… アブラゴケ科
Chaetomitriopsis glaucocarpa, (*Reinw.*)

〔形態〕熱帶・亞熱帶地方に分布する蘚類の一種にして。雌雄同株なり。莖葉は廣長卵形にして先端尖り。緣邊に鋸齒を具へ。2 條の中肋は短形なり。葉細胞は長菱形にして乳頭を有し。枝葉は殆んど球狀にして短く。且つ廣く先端尖る。萠は橢圓狀圓筒形をなす。〔分布〕臺灣。

* * * * * *

13. とらのをごけ科 LEMBOPHYLLACEÆ.

本科に屬する植物は。雌雄異株若しくは偶同株にして。稍光澤を有す。莖の主軸は纖匐枝樣にして稍長く匍匐し。第一枝は直立・上昇或は橫臥し。時に纖匐枝樣となり。先端に根を生じ。樹枝狀稀に不規則に羽狀に分岐し。往々極めて少數の葉狀毛葉を有す。葉は相稱・平滑にして卵圓形・長形・倒卵圓形或は略ぼ圓形をなし。上緣に小齒或は缺刻を具ふ。細胞は長形稀に菱形にして。翼に於ては小さく。圓形或は方形を呈す。中肋は 2 列をなすか或は缺如し。稀に單一にして葉片の半ばに達す。萠は整齊にして直立。或は不整齊にして傾斜若しくは橫臥し。平滑。萠蓋に少數の氣孔を有す。萠齒は 2 列をなし。外列は多くは橫條並に橫褶を具へ。內列は高き基膜と纖毛とを有す。萠柄は短きか或は長く。蘚帽は冠狀にして平滑なり。

本科中本邦に產するもの凡 5 屬。10 數種あり。

本科所載植物名目次

イヌエバウシゴケ……8217　オホヒナゴケ……8219　ハナシエバウシゴケ…8215
イヌコクサゴケ……8225　コクサゴケ……8220　ヒメコクサゴケ……8222
オホエバウシゴケ……8216　タカネコクサゴケ……8224　ヒメヒナゴケ……8218
オホコクサゴケ……8221　トラノヲゴケ……8214　ミヤマコクサゴケ……8223

1. トラノヲゴケ屬 DOLICHOMITRA.

8214. **とらのをごけ** (21 圖版-194) …… トラノヲゴケ科
Dolichomitra cymbifolia, *Lindb.*

〔形態〕地上に自生する蘚類にして。雌雄異株をなし光澤を帶ぶ。第一枝は直立し。下部に懸垂せる褐枝及び上部に樹枝狀の小枝を有す。莖葉は卵狀鈍頭をなし。頂端稍三角形にして。緣邊に鋸齒を有し。其頂部は重鋸齒をなす。中肋は單一にして葉片の半ばに達し。往々先端に於て叉分す。萠は圓柱狀にして直立し。赤褐色を帶び。短き萠蓋を具へ氣孔を有し。萠柄は長く。乾燥すれば捩れ。紫色を呈す。萠蓋は長き細嘴を伴ひ。蘚帽は頗る長く萠柄の基脚を包む。〔分布〕本州・四國・九州・臺灣。

8215. はなしゑばうしごけ …… トラノヲゴケ科
Dolichomitra cymbifolia, *Lindb.* var. integerrima, *Okm.*

〔形態〕前種トラノヲゴケの一變種にして。葉緣の上方は全緣又は小鈍鋸齒を有する一種なり。〔分布〕本州各部。

8216. おほゑばうしごけ …… トラノヲゴケ科
Dolichomitra robusta, *Okm.*

〔形態〕トラノヲゴケに酷似せる蘚類にして。葉は橢圓形をなして匕形に凹み。展開せず。頂端には不齊に重鋸齒を具へ。中肋は中部に達し。頂端往々叉狀に分岐す。〔分布〕本州各部。

2. イヌエバウシゴケ屬 DOLICHOMITRIOPSIS.

8217. いぬゑばうしごけ …… トラノヲゴケ科
Dolichomitriopsis crenulata, *Okm.*

〔形態〕本種は本邦特產の蘚類にして。雌雄異株なり。葉は長橢圓形若しくは倒卵狀長橢圓形にして。圓鈍頭をなし。緣邊には微鋸齒を有するか或は全緣なり。葉細胞は翼に多くして方形乃至長形をなす。萠は長橢圓形にして直立し。萠齒には乳頭を具へ。萠柄は長さ 1 糎 (3 分) 內外を有す。〔分布〕本州中部 (飯豊山・早池峰・戶隱山)。

3. ヒメヒナゴケ屬 TRIPTEROCLADIUM.

8218. ひめひなごけ …… トラノヲゴケ科
Tripterocladium japonicum, *Broth.*

〔形態〕岩上に生ずる蘚類にして。雌雄同株なり。枝葉は狹卵形にして短く。頂端に細鋸齒を有す。葉細胞は稍疎にして線形をなし。翼にあるものは小さく方形をなす。中肋は 2 條を有し短形なり。〔分布〕本州各部。

8219. おほひめひなごけ …… トラノヲゴケ科
Tripterocladium robustulum, *Broth.*

〔形態〕岩上に自生する稍粗大なる蘚類にして。葉は卵狀披針形を呈し。通常 2 條の短き中肋を有すれども。時に之を缺き。頂端には短き線形の細胞を具へ。翼細胞は小さく方形なり。萠は長橢圓狀筒形をなして直立し。萠蓋には斜嘴を伴ひ。萠柄は長さ 1 糎 (3 分) 許を有す。〔分布〕本州各部。

4. コクサゴケ屬 ISOTHECIUM.

8220. こくさごけ …… トラノヲゴケ科
Isothecium diversiforme, (*Mitt.*)

〔形態〕樹皮又は岩上に自生する蘚類なり。葉は卵圓形にして先端短尖形をなし。且つ小鋸齒を具へ。中肋は葉の中部以上に達す。萠は長橢圓形にして直立し。萠齒は線狀なく。又紋を缺き細き乳頭を具ふるを以て。容易に他種と區別することを得べく。萠柄は長さ 1 糎 (3 分) 許に達す。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・朝鮮。

本屬の植物は。樹皮・岩石上に附着自生し。多くは雌雄異株なれども。稀に同株なり。葉は上方に鋸齒を具へ。中肋は殆んど葉の中部に達す。萠は長橢圓形又は長形にして直立すれども。亦稀に傾臥し。內萠齒には乳頭を具へ萠蓋を有するものなり。

8221. おほこくさごけ …… トラノヲゴケ科
Isothecium robustulum, *Broth.*

〔形態〕葉は舌狀長橢圓形にして鈍頭をなし。緣邊の中部下まで鋸齒を生ず。中肋は短く。葉細胞は細長なり。

8222. ひめこくさごけ …… トラノヲゴケ科
Isothecium subdiversiforme, *Broth.*

〔形態〕樹皮・岩上等に自生する蘚類にして。葉は卵圓形又は卵狀をなして短く尖り。粗く開出す。上部には銳き重鋸齒を具へ。中肋は葉の中央部に達し。稀に叉岐す。萠は卵狀廣橢圓形にして傾臥し。萠柄は 1 糎 (3 分) 以上の長さに達す。〔分布〕本州各部。

8223. みやまこくさごけ …… トラノヲゴケ科
Isothecium hakkodense, *Besch.*

〔形態〕八甲田山に多く自生する一種にして。葉は卵形を呈し。先端漸く尖り。緣邊は基脚より小鋸齒を生じ。中肋は短く叉岐し。萠は卵形にして直立す。〔分布〕本州北部。

8224. たかねこくさごけ …… トラノヲゴケ科
Isothecium longicuspes, *Broth.*

〔形態〕高山の樹皮又は岩石上等に自生する一種なり。葉は長披針形・全緣にして。先端次第に細く長く尖る。中肋は中部或は以上に達し。葉細胞は細長くして明瞭なり。〔分布〕本州中部 (八ケ岳)。

5. イヌコクサゴケ屬 ISOTHECIOPSIS.

8225. いぬこくさごけ …… トラノヲゴケ科
Isothecipsis formosica, *B. Y.*

〔形態〕本邦には只一種を產する 長さ 4 糎 (1·3 寸) 許の纖長なる蘚類なり。莖葉は卵狀長橢圓形にして。急違短く披針狀に尖る。概ね全緣なれども。又頂端に微鋸齒を具へ。中肋は短く 2 條を有す。〔分布〕臺灣。

* * * * * *

14. ひらごけ科 NECKERACEÆ.

本科に屬する植物は。雌雄異株。稀に同株或は兩性をなす。莖の主軸は稍匍匐し。圓柱狀若しくは扁平にして。幼稚なる導束を有するか或は之を缺く。第一枝は上昇或は懸垂す。葉は概ね多列をなし。多くは 1 層の長形細胞より成り。平滑なるか或は乳頭を帶ぶ。中肋は單一なるか。或は 2 列をなし。時に缺如す。萠は沈在或は扛上し。概ね整齊にして直立し。氣孔を具へ或は之を缺く。萠齒は概ね 2 列をなし。外列は黃色若しくは褐色にして。多くは背面に乳頭或は條線を具へ 時に不規則なる厚味を有す。萠蓋は圓錐形にして嘴を伴ひ。蘚帽は帽狀或は冠狀をなし。多くは毛を生ず。

本科所載植物名目次

ウチハヒラゴケ……8241　サガミヒラゴケ……8231　ナガエタチヒラゴケ…8245
エゾヒラゴケ……8234　シタゴケ……8239　ハネヒラゴケ……8232
エビスゴケ……8240　ジャバラヒラゴケ……8242　ヒメヒラゴケ……8227
キダチヒラゴケ……8243　タイワンハネゴケ……8247　ヒラゴケ……8226
キツネノヲゴケ……8246　タチヒラゴケ……8244　ミヤマヒラゴケ……8228
キブリハネゴケ……8248　チヤボヒラゴケ……8235　ヤマトヒラゴケ……8230
コマノヒラゴケ……8229　ツヤツヤリボンゴケ…8226　リボンゴケ……8237
コメリンスゴケ……8236　トサヒラゴケ……8233　リボンゴケモドキ……8238

1. ヒラゴケ屬 NECKERA.

8226. **ひらごけ** (21 圖版-195) …… ヒラゴケ科
Neckera nitidula, *Mitt.*

(異名) つやつけりぼんごけ　〔形態〕樹幹又は樹枝上に自生する蘚類なり。莖は長く伸びて懸垂し。不規則なる羽狀に分岐し。全體に綠色乃至黃褐色を呈し。著しく光澤を有す。葉は左右に展開し。全體扁平なり。この葉は左右不相稱にして基脚狹く。先端僅に銳頭をなし。緣邊の 1 側は內曲し。上半緣に大小不齊の鋸齒を有す。中肋は 2 箇ありて短きものなり。〔分布〕本州・九州。

8227. ひめひらごけ …… ヒラゴケ科
Neckera pusilla, *Mitt.*

〔形態〕廣く世界の各地に分布する蘚類にして。雌雄異株なり。葉は廣橢圓狀長橢圓形にして稍廣く。先端銳く尖り。頂端に微細鋸齒を具へ。中肋は 2 條ありて短く。雌花葉は卵狀披針形を呈す。〔分布〕本州各部・四國・九州。

8228. みやまひらごけ …… ヒラゴケ科
Neckera Uematui, *Broth.*

〔形態〕高山の岩上又は樹上等に自生する一種にして。雌雄異株なり。葉は舌狀長橢圓形をなし。先端急に銳く尖り。全緣なるか或は往々頂部に小微鋸齒を有し。中肋は中央部に達す。雌花葉は全緣にして萠は小形なり。〔分布〕本州各部・朝鮮。

8229. こまのひらごけ …… ヒラゴケ科
Neckera coreana, *Card.*

〔形態〕エゾヒラゴケに類する一種にして。葉は橫波狀を呈し。更に長狹にして先端漸く尖り。鎌形・全緣なり。中肋は中央に達し。葉細胞は狹細なり。〔分布〕九州・朝鮮。

8230. やまとひらごけ …… ヒラゴケ科
Neckera japonica, (*Besch.*)

〔形態〕樹上・岩上等に自生し。雌雄異株にして外形タチヒラゴケに相似たり。葉は舌狀橢圓形にして頂端稍廣く。緣邊に小鋸齒を具へ。中肋は遙かに先端に達せず。萠は 4-5 粍 (1·2-1·5 分) 許の長さを有する一種なり。〔分布〕本州各部・九州。

8231. さがみひらごけ …… ヒラゴケ科
Neckera kamakurana, *Okm.*

〔形態〕雌雄同株なり。葉は卵狀或は廣卵狀長橢圓形にして。頂部は短く且つ狹きか。或は稍廣く先端銳く尖り。全緣なるか或は中部以上に細鋸齒を有す。內雌花葉は倒卵狀長橢圓形にして。急違短凸頭をなす。萠は卵狀長橢圓形にして沈在し。蘚帽には帽狀密毛を伴ふ。〔分布〕本州各部。

8232. はねひらごけ …… ヒラゴケ科
Neckera pennata, (*L.*) *Hedw.*

〔形態〕雌雄同株なり。葉は卵狀又は廣橢圓形にして長きか或は短く。先端次第に尖り。全緣なるか或は中部以上に鋸齒を有す。中肋は之を缺き。稀に短き叉狀をなす。萠は卵形又は長卵形にして沈在す。〔分布〕本州中部

(天城山)。

8233. とさひらごけ …… ヒラゴケ科
Neckera tosana, *Broth.*

〔形態〕土佐國に多く自生する蘚類にして、雌雄同株なり。外形チャボヒラゴケに類似し、葉は舌狀長橢圓形にして圓き鈍頭をなし、頂端に微細鈍鋸齒を具へ、中肋は中部に達す。〔分布〕四國。

8234. えぞひらごけ …… ヒラゴケ科
Neckera yezoana, *Besch.*

〔形態〕稍大形なる蘚類なり。葉は舌形・全緣にして中央凹み、先端次第に尖る。基脚圓形にして、頂部は波狀をなし、中肋は葉の中部に達するものなり。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・臺灣。

8235. ちゃぼひらごけ …… ヒラゴケ科
Neckera humilis, (*Mitt.*)

〔形態〕雌雄同株にして、サガミヒラゴケに類する一種なり。葉は卵形にして稍鋭頭をなし、側葉は廣橢圓形・全緣にして先端尖り、中肋は中央に達し、頂細胞は圓形をなす。雌花葉は廣橢圓狀披針形にして、萠は長橢圓形をなし、沈在す。〔分布〕本州各部・九州。

8236. こめりんすごけ …… ヒラゴケ科
Neckera flexiramea, *Card.*

〔形態〕樹上又は岩石上に生ずる極めて纖長なる蘚類なり。葉は短く橢圓形にして尖り、稍鈍頭をなし、基脚全緣なり。中肋は叉狀に岐れ極めて短し。〔分布〕本州各部・四國・朝鮮。

2. リボンゴケ屬　NECKEROPSIS.

8237. りぼんごけ …… ヒラゴケ科
Neckeropsis nitidula, (*Mitt.*)

〔形態〕樹上又は稀に岩上に生ずる蘚類にして、雌雄同株なり。葉は倒卵形・鈍頭にして小鈍鋸齒を有し、中肋は中央に達す。〔分布〕本州各部・四國・九州・臺灣。

本屬の蘚類は、概ね樹上に自生すれども、又稀に岩上に自生し、葉は4列に排列し、橫波狀・廣舌狀截頭或は圓頭稀に尖頭を呈し、上部の葉細胞は菱形・橢圓形をなす。萠は沈在し、萠齒には乳頭を具へ且つ橫板を有し、蘚帽は有毛なり。

8238. りぼんごけもどき …… ヒラゴケ科
Neckeropsis pseudo-nitidula, *Okm.*

〔形態〕リボンゴケに似たる蘚類なり。葉は倒卵形又は圓倒卵形にして、圓鈍頭をなし、緣邊に小鋸齒を具へ、中肋は中部に達す。〔分布〕臺灣。

3. シタゴケ屬　BISSETIA.

8239. したごけ (22圖版-196) …… ヒラゴケ科
Bissetia lingulata, (*Mitt.*)

〔形態〕本邦には只一種を產する蘚類なり。葉は舌狀長橢圓形をなし、頂端圓く、葉身は殆んど同廣にして、概ね全緣なれども、稀に小鈍鋸齒を有す。脈は短く往々叉狀をなし、葉細胞は上方に圓く、翼には多數を排列す。〔分布〕本州各部・四國・九州。

4. エビスゴケ屬　HIMANTHOCLADIUM.

8240. えびすごけ …… ヒラゴケ科
Himanthocladium loriforme, (*Br. Jav.*)

〔形態〕暖地の樹上に自生する蘚類にして、雌雄異株なり。葉は心臟狀卵形の基脚より長舌狀をなして伸び、葉身は橫波狀をなし、頂端廣くして鋭く尖り、緣邊に鋸齒を有し、柱を有せず。中肋は中央に達し、上部の葉細胞は廣橢圓形或は圓菱形にして、葉緣に5列をなして排列し、翼細胞は往々方形又は長形なり。〔分布〕臺灣。

5. ウチハヒラゴケ屬　HOMALIODENDRON.

8241. うちはひらごけ (22圖版-197) …… ヒラゴケ科
Homaliodendron flabellatum, (*Dicks.*)

〔形態〕樹皮に着生して生活する蘚類なり。葉は廣橢圓形にして短く、頂端はキダチヒラゴケに比するに更に圓く、先端微に尖り、緣邊に多數の微細鈍鋸齒を具へ、中肋は中部に達す。〔分布〕本州各部・四國・九州。

本屬の植物は、概ね樹皮に着生し、雌雄異株なり。葉は種々の形を有し、翼にある細胞は長方形・廣橢圓形乃至方形をなし、中肋は中央に達す。萠は廣橢圓形にして、萠蓋には斜嘴を伴ひ、蘚帽は冠狀を呈す。萠柄は短く、萠蓋に氣孔を有するものなり。

8242. じゃばらひらごけ …… ヒラゴケ科
Homaliodendron javanicum, (*C. M.*)

〔形態〕葉は廣き基脚より次第に舌狀となりて伸び、頂端には粗鋸齒を具へ、中肋は中央部に達し、萠は廣橢圓形なり。

8243. きだちひらごけ …… ヒラゴケ科
Homaliodendron scalpellifolium, (*Mitt.*)

〔形態〕主に樹皮に着生する蘚類にして、葉はウチハヒラゴケよりも大きく、舌狀長橢圓形・圓頭にして、巨大なる疎齒緣を有し、中肋は中部以上に達す。〔分布〕本州各部・四國・九州。

6. タチヒラゴケ屬　HOMALIA.

8244. たちひらごけ …… ヒラゴケ科
Homalia Targioniana, *Gough.*

〔形態〕樹上・岩上に自生し、雌雄異株なり。葉は倒卵形にして先端圓く、全緣にして基脚耳垂す。萠は長橢圓形にして、長き萠柄を有し、萠齒には乳頭を具ふ。〔分布〕本州各部・四國。

8245. ながえたちひらごけ …… ヒラゴケ科
Homalia trichomanoides, (*Schreb.*)

〔形態〕雌雄同株なり。葉は舌形又は廣刀形をなし短く尖り、或は圓頭にして短刺を有す。中肋は葉の中央に達し、又稀に2肋を有するか、時に之を缺き、翼細胞は方形又は廣橢圓形をなす。萠は橢圓形又は圓筒形をなし、萠齒には乳頭を具へ、萠柄は長さ1-2糎(3-6分)許を有す。〔分布〕北海道・本州各部・朝鮮。

7. キツネノヲゴケ屬　THAMNIUM.

8246. きつねのをごけ (22圖版-198) …… ヒラゴケ科
Thamnium alopecurum, (*L.*)

〔形態〕岩上又は地上に自生する蘚類にして、雌雄異株なり。葉は卵形にして先端短く尖り、基脚葉緣より粗鋸齒を有す。翼細胞は長方六邊形をなして少なく、枝葉のものは狹小なり。中肋は背面に齒刺を伴ひ、萠は廣橢圓形にして、萠柄は1-5糎(4-5分)內外の長さを有す。〔分布〕北海道・本州。

本屬の植物は、概ね雌雄異株なれども、稀に同株のものあり。莖は樹枝狀に分枝し、葉は上方に細乃至粗鋸齒を有す。葉細胞は概ね圓多角形をなして平滑なり。萠は廣橢圓形をなし、萠齒には橫條を具へ、蘚帽は冠狀を呈し萠柄は長くして蘚帽と共に平滑なり。

8. タイワンハネゴケ屬　PINNATELLA.

8247. たいわんはねごけ …… ヒラゴケ科
Pinnatella formosana, *Okm.*

〔形態〕多くは樹皮稀に岩上に自生する蘚類にして、雌雄異株なり。葉は心臟狀舌形にして、3條の皺襞をなし、先端銳尖なるか或は短く次第に尖り全緣又は微鋸齒を有す。中肋は葉の中部に達し、葉細胞は、上方のものは菱形、基脚のものは短くして細長く、翼細胞は方形なり。〔分布〕臺灣。

本屬の蘚類は通常樹皮稀に岩上に自生し、概ね雌雄異株なり。莖は扁狀又は樹枝狀に分岐し、上部の葉細胞には小乳頭を有す。萠は概ね黑色・卵圓形にして、萠柄には乳頭を具ふ。

8248. きぶりはねごけ …… ヒラゴケ科
Pinnatella Makinoi, (*Broth.*)

〔形態〕樹皮又稀に岩上に自生する蘚類にして、雌雄異株なり。莖は扁狀又は樹皮狀に分岐し、葉は卵狀披針形にして2箇の皺襞を具へ、銳頭をなし頂部に小鋸齒を有す。葉細胞は稍圓く、基脚にあるものは廣橢圓形なり。〔分布〕本州・四國・九州・臺灣。

*　　*　　*

15. はひひもごけ科　METEORIACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄異株にして稍光澤を帶ぶ。第一枝は時に頗る延長して懸垂し、間隔を隔て、或は不規則に羽枝を分つ。葉は概ね卵圓形にして縱襞を具へ、先端急激に尖り、時には上緣に小齒を帶ぶ。葉細胞は菱形にして1箇の乳頭を有す。中肋は單一にして不完全なり。萠は卵圓形をなして直立し、萠蓋を具へ、萠齒の外列は黃白色を呈すれども、內列は無色にして共に乳頭を帶ぶ。萠柄は短くして乳頭を有し、萠蓋は斜嘴を具へ、蘚帽は冠狀にして毛を有す。

本科に屬する植物中、本邦には約9屬を產出す。

本科所載植物名目次

イトゴケ……8260　グジグジゴケ……8256　ハヒヒモゴケ……8249
オホサガリゴケ……8261　コハヒヒモゴケ……8250　ヒカゲノカヅラモドキ8255
オホハヒヒモゴケ……8251　サガリゴケ……8260　ミヅヒキモドキ……8253
オホミヅヒキモドキ…8254　シノブイトゴケ……8257　モヅレサガリゴケ……8249
キシノブイトゴケ……8258　シノブイトゴケモドキ8259
ケサガリゴケ……8262　タスキゴケ……8252

1. ハヒヒモゴケ屬　METEORIUM.

8249. はひひもごけ (22圖版-199) …… ハヒヒモゴケ科
Meteorium helminthocladum, *Fleish.*

(異名) もつれさがりごけ　〔形態〕岩石・樹上等に自生する蘚類にして莖は多くの枝を分ち、長く伸びて懸垂し、乾燥すれば先端屈曲し、線蟲狀をなす。全體黃褐色を呈すれども、往々帶黑色のところあり。葉は急に縮み上部は廣くして莖に着生したる樣、恰も膨れたる觀を呈す。此葉の基部には大なる耳形をなし、皺襞を有し、全緣に鋸齒を具ふ。葉細胞には1箇の乳頭を有す。萠は直立し、卵圓形にして萠柄は短く粗鬆なり。〔分布〕本州・四國・九州・臺灣。

8250. こはひひもごけ …… ハヒヒモゴケ科
Meteorium helminthocladulum, (*Card.*)

〔形態〕前種ハヒヒモゴケに似たれども、全體彼より細く、葉亦狹くして先端次第に尖り、頂端圓形ならず。毛狀部亦彼より長く、次種オホハヒヒモゴケの2倍以上に達するものなり。〔分布〕本州・四國・九州・臺灣・朝鮮。

8251. おほはひひもごけ …… ハヒヒモゴケ科
Meteorium Miquelianum, (*C. M.*) *Fl.*

〔形態〕本屬中本邦に產する最大種なり。葉は廣橢圓形にして、頂部は圓形なれども、其先端急激に細長く尖り、全緣なるか或は不明瞭なる微鋸齒を有するものなり。〔分布〕本州・四國・九州。

2. タスキゴケ屬　AEROBRYOPSIS.

8252. たすきごけ …… ハヒヒモゴケ科
Aerobryopsis assimilis, *Card.*

〔形態〕樹皮又は葉上に自生する蘚類にして、葉は卵狀又は長橢圓狀披針形をなし、先端次第に毛狀に尖り、概ね基脚に小鋸齒を有す。中肋は殆んど中央に達し、葉細胞は線形をなし、翼細胞は短小にして少數なり。萠は直立又は彎曲し、萠蓋には斜嘴を具へ、蘚帽は冠狀を呈し少毛を生ず。〔分布〕本州・四國・九州・臺灣。

8253. みづすぎもどき …… ハヒヒモゴケ科
Aerobryopsis subdivergens, *Broth.*

〔形態〕樹上又は岩上に自生する蘚類にして、全體に黃褐色を呈するものなれども、往々帶黑色を呈するものあり。莖は枝を分ちて長く懸垂し、葉を着けたる全體は扁平なり。葉は卵狀長橢圓形をなし、先端次第に尖り、基部の緣邊は廣く內曲して耳狀をなし、此耳狀部は直立し夫れより展開し、尖頭部に小鋸齒を有す。葉細胞は細長く背面に乳頭を具ふ。萠は曲り、萠蓋は斜嘴を有し、蘚帽は冠狀をなして毛を有す。〔分布〕本州・四國・九州・臺灣。

8254. おほみづすぎもどき (22圖版-200) ハヒヒモゴケ科
Aerobryopsis subdivergens, (*Broth.*) var. robusta, *Card.*

〔形態〕前種ミヅスギモドキの變種にして、全形更に粗大、葉は更に短くして廣く、先端漸次尖れる一種なり。〔分布〕本州。

8255. ひかげのかづらもどき …… ハヒヒモゴケ科
Aerobryopsis Parisii, (*Card.*)

〔形態〕タスキゴケに類似せる一種にして、中肋は稍長く、漸尖部の基に達す。葉細胞の中央にあるものは稍菱形を呈し、翼細胞は黃色にして多數を具へ、短き長橢圓狀長方形をなし、基脚のものは線形なり。〔分布〕四國・九州・臺灣。

8256. げじげじごけ …… ハヒヒモゴケ科
Aerobryopsis Wallichii, (*De. Card.*)

〔形態〕葉は披針形又は廣披針形にして先端毛狀に尖り、披狀をなさず。中肋は先端に達し、翼細胞は大形にして少く、外觀サガリゴケに似たり。〔分布〕本州・九州。

3. シノブイトゴケ屬　FLORIBUNDARIA.

8257. しのぶいとごけ (22圖版-201) …… ハヒヒモゴケ科
Floribundaria floribunda, (*D. M.*) *Fl.*

〔形態〕樹皮上に着生する蘚類にして、雌雄異株をなし、概ね光澤を缺く。主軸は長く伸長し、往々1米(3-3尺)許に達するものあり。枝は短くして直立若しくは擴開し、單一なるか或は羽狀に小枝を分つ。葉は殆んど水平に出で往々2列に排列し、基部廣くして先端尖り、時に鋸齒を具ふ。葉細胞は線菱形にして多くは乳頭を帶び、翼に於ては方形をなし平滑、中肋は先端に達せず。萠は卵形後殆んど圓筒形となりて直立し、短き萠蓋を具ふ。萠柄は短く略ぼ平滑なり。萠蓋は短き斜嘴を具へ、蘚帽は冠狀にして小さく、少數の毛を具ふ。〔分布〕邦內。

8258. きしのぶいとごけ …… ハヒヒモゴケ科
Floribundaria aurea, (*Griff.*)

〔形態〕雌雄異株なり。前種と同樣樹皮等に着生す。葉は卵狀披針形をなし、先端次第に尖りて毛狀となり、緣邊に銳鋸齒を有し、基脚耳形をなす。中肋は殆んど中央に於て消失す。〔分布〕本州・四國・九州・臺灣。

8259. しのぶいとごけもどき …… ハヒヒモゴケ科
Floribundaria pseudo-floribunda, *Fl.*

〔形態〕前種と殆んど同樣なれども、本種は前種に比し、葉は基部まで細鋸齒を有し、先端次第に尖れども毛狀とならず。〔分布〕本州・九州。

4. イトゴケ屬　BARBELLA.

8260. いとごけ (22圖版-202) …… ハヒヒモゴケ科
Barbella pendula, *Fleisch.*

(異名) さがりごけ　〔形態〕樹上に着生する蘚類にして、雌雄異株をなし光澤を帶ぶ。本種は甚だ纖長なる一種にして、第一枝は頗る長く、屈曲懸垂し、羽枝を分岐す。葉は披針形をなし先端次第に尖り、絲狀部は他の1倍以上に達す。中肋は單一にして葉片の中央に達す。萠は卵圓形をなし、萠柄は短く蘚帽は帽狀を呈す。〔分布〕邦內。

8261. おほさがりごけ …… ハヒヒモゴケ科
Barbella elegantula, *Broth.*

〔形態〕樹上に生ずる一種の蘚類なり。葉は廣卵狀披針形にして、先端長く尖り、中肋は單一にして漸尖部に達し、緣邊に細鋸齒を有す。萠は小さく蘚帽は帽狀をなして平滑或は稀に毛を生ず。〔分布〕本州・四國・九州。

8262. けさがりごけ …… ハヒヒモゴケ科
Barbella pilifera, *B. Y.*

〔形態〕前種サガリゴケに類似せる蘚類にして、葉は匕形に凹み、長橢圓形にして先端毛狀となり、基脚狹まる。通常全緣にして中肋は之を缺き、翼細胞は葉細胞と同形なり。〔分布〕本州。

*　　*　　*
*　　*　　*

16. ひむろごけ科 PTEROBRYACEÆ.

本科に屬する植物は，雌雄異株にして稍光澤を帶ぶ。莖の主軸は絲狀をなし，第一枝は上部に於て概ね羽狀に分枝す。葉は縱襞を具へ，長形或は卵狀披針形にして先端尖り，多くは先緣に鋸齒を具ふ。中肋は1乃至2或は之を缺く。蒴柄は頗る短くして平滑，蒴は沈在或は突出し，概ね卵圓形にして氣孔を缺如す。蒴齒の外列は黃色にして，細き縱線並に頗る低き橫褶を具へ，內列は無色にして齒片を缺く。蒴蓋は扁平或は圓錐形をなし，蘚帽は小さく帽狀にして平滑なり。

本科に屬する植物中，本邦には約5屬を產出す。

1. ヒムロゴケ屬 PTEROBRYUM.

8263. ひひろごけ …… ヒムロゴケ科
Pterobryum arbuscula, *Mitt.*

〔形態〕樹上に着生する蘚類なり。枝葉は卵形をなして長き鞭狀を呈し，先端稍銳頭。緣邊に小鋸齒を有す。蒴は卵形をなす。〔分布〕本州・九州。

8264. たいわんひひろごけ …… ヒムロゴケ科
Pterobryum subarbascula, *Broth.*

〔形態〕同じく樹上に着生する蘚類にして，本種の葉は卵狀又は長橢圓狀披針形をなし，先端次第に尖り，緣邊の中央に小齒，先端に銳鋸齒を有す。蒴は卵形を呈す。〔分布〕臺灣。

2. カクレゴケ屬 ENDOTRICHELLA.

8265. かくれごけ …… ヒムロゴケ科
Endotrichella Fauriei, (*B. P.*) *Broth.*

〔形態〕樹皮上に着生する蘚類にして，雌雄異株をなし全體に光澤を帶ぶ。主軸は頗る短く，第一枝は上昇若しくは彎曲し，稍扁平なり。葉は廣橢圓形にして急激に漸尖頭をなし，中部及上部に銳鋸齒を有す。中肋は2列をなして短く又弱く，雌花葉は頂部截形をなし，緣邊に齒牙を有す。蒴は長橢圓形の筒狀をなし，蒴柄は短く蒴蓋に斜嘴を有し，蘚帽は冠狀をなして平滑なり。〔分布〕九州・臺灣。

8266. おほかくれごけ …… ヒムロゴケ科
Endotrichella elegans, (*D. M.*) *Fleisch.*

〔形態〕前種と同樣雌雄異株にして樹皮上に着生し，光澤を帶ぶ。本種の葉は長橢圓形銳頭をなし，不同なる齒牙を具へ，中肋を有せず。雌花葉は卵狀披針形にして漸尖の錐狀をなし，緣邊齒狀をなす。蒴は卵狀圓筒形をなし，蒴蓋は曲嘴を具ふ。〔分布〕臺灣。

17. いたちごけ科 LEUCODONTACEÆ.

本科に屬する植物は，概ね雌雄異株にして極めて稀に同株なり。莖は幼稚なる導束を有するか，或は之を缺く。主軸は匍匐して纖匐枝狀をなす。第一枝は直立或は彎曲稀に懸垂し，毛葉を有せず。葉は多列をなし，卵圓形或は披針形にして先端尖り，1層の細胞より成り，上部の細胞は概ね菱形にして下部の細胞は長形なり。緣邊の細胞は方形若しくは圓筒形を呈し，概ね平滑或は襞を有す。中肋は2列或は單一なれども，時に之を缺く。蒴柄は頗る短きか或は長く，蒴は直立し，卵圓形或は圓柱狀にして，多くは氣孔を缺く。蒴齒は2列をなし，外列は白色若しくは黃色にして關節乳頭，稀に橫條を具へ，內列の基膜は低く纖毛を缺く。蒴蓋は圓錐形をなし斜嘴を有し，蘚帽は冠狀にして平滑なるか，稀に小數の毛を具ふ。

本科に屬する植物中，本邦に產するもの約3種あり。

1. イタチゴケ屬 LEUCODON.

8267. **いたちごけ** (22圖版-203) …… イタチゴケ科
Leucodon sapporensis, *Besch.*

〔形態〕樹上又は岩石上に自生する蘚類にして，稍光澤を有す。莖の主軸は頗る長く，第一枝は多數ありて僅に枝を分つ。葉は長橢圓形にして先端次第に尖り，全邊稍鈍頭，先端に鋸齒を具へ，平滑にして中肋を有せず。蒴は長卵圓形にして蒴臺及小口を具へ，氣孔を缺き，蒴柄は稍長くして黃赤色を呈す。〔分布〕北海道・本州・四國。

8268. **みやまいたちごけ** (22圖版-204) …… イタチゴケ科
Leucodon secundus, *Mitt.*

〔形態〕前種と同樣雌雄異株にして稍光澤を有す。本種の葉は前種に比し，卵狀披針形をなし先端尖り，一方に彎曲し，全緣なるものなり。〔分布〕本州・九州。

8269. たかねいたちごけ …… イタチゴケ科
Leucodon microcarpus, *Broth.*

〔形態〕高山の樹上又は岩上に生ずる蘚類にして，雌雄異株なり。葉は卵狀長橢圓形にして先端次第に尖り，稍鈍頭をなし全緣なり。蒴は極めて小さく，蒴柄亦短し。〔分布〕本州中部及北部。

8270. えぞのいたちごけ …… イタチゴケ科
Leucodon pendulus, *Ldb.*

〔形態〕北地の高山樹上又は岩上に生ずる蘚類なり。葉は卵狀長橢圓形にして短く，先端銳く尖り，頂端には明瞭なる鋸齒を有す。蒴は橢圓狀長橢圓形をなして直立し，蒴柄は3-5粍(1-2分)許の長さを有して彎曲し，稍に扼を伴ふ。〔分布〕北海道。

2. トリアシゴケ屬 PTEROGONIUM.

8271. **とりあしごけ** (22圖版-205) …… イタチゴケ科
Pterogonium ornithopodioides, (*Huds.*) *Lindb.*

〔形態〕樹皮或は岩石上に着生する蘚類にして，雌雄異株をなし，光澤を帶ぶ。第一枝は上昇して樹枝狀に分岐し，此枝は乾燥すれば著しく彎曲す。葉は廣卵形をなし，先端尖りて鋸齒を具へ，中肋は短くして2列をなし，上部又は中央に達す。蒴は橢圓狀圓筒形をなして直立し，短き蒴臺を具へ，少數の氣孔を有す。蘚帽は蒴の3/4を被ひ，少數の毛を伴ふ。〔分布〕邦內。

3. リスゴケ屬 DOZYA.

8272. りすごけ …… イタチゴケ科
Dozya japonica, *Lac.*

〔形態〕本種はイタチゴケ屬に酷似せる蘚類なり。葉は狹卵狀長披針形にして急激に錐形に尖り，中肋は狹く上方の稍下部に達す。翼細胞は圓き方形をなす。蒴は沈在し，卵圓形にして平滑なり。〔分布〕本州・四國・九州。

PL. 22.

18. つるごけ科 CRYPHAEACEÆ.

本科に屬する植物は雌雄同株なり。莖の主軸は匍匐し、繖匐枝をなす。第一枝は直立或は上昇、稀に懸垂或は浮游し、導束を缺き、不規則或は束狀又は羽狀に小枝を分岐す。毛葉は少數を具へ、葉は密生して卵圓形をなし先端概ね尖る。細胞は柔膜樣にして平滑、稀に乳頭を帶ぶ。中肋は先端に明瞭なり。蒴柄は頗る短く、蒴は沈在し、卵圓形或は長形にして直立し、少數の氣孔を有す。蒴齒は多くは2列をなし、外列の16箇は蒼白或は黃色を呈し、稍乳頭を具ふ。蒴蓋は概ね圓錐形をなし、稀に扁平にして小頭を具へ、蘚帽は小さく鐘狀を呈し、時に側裂するか、稀に冠狀をなす。

本科に屬する植物中、本邦には約3屬を產出す。

1. ツルゴケ屬 PILOTRICHOPSIS.

8273. **つるごけ** (22圖版-206) …… ツルゴケ科
Pilotrichopsis dentata, *Besch.*

〔形態〕山地の樹幹・樹枝・岩壁等に着生する蘚類にして、雌雄同株に生じ雌花を具へたる枝は頗る短し。第一枝は頗る長く伸長して懸垂し、不規則に小枝を分つ。葉は卵圓形にして、上部は披針形をなし鋸齒を具へ、中肋は先端に達せず。此葉の乾燥したるものは莖に密接し、黃褐色の絲の如し。蒴は雌花葉中に沈在し、長楕圓形にして平滑、蒴齒は2列をなし黃白色を呈し、蒴柄は短きものなり。〔分布〕本州・四國・九州・臺灣。

8274. **ほそつるごけ** …… ツルゴケ科
Pilotrichopsis dentata, *Besch.* var. filiformis, *Besch.*

〔形態〕本種の莖は甚だ繊長にして、絲狀を呈するものなり。〔分布〕本州・四國。

2. スズゴケ屬 FORRSTROEMIA.

8275. **すずごけ** …… ツルゴケ科
Forrstroemia trichomitra, *Ldb.*

〔形態〕粗大なる蘚類にして雌雄同株に生じ、雄花は線狀體を缺く。第一枝は直立し、小枝或は羽枝を分岐す。葉は卵圓形若しくは長形にして全緣なり。中肋は葉片の半ば前後に達す。蒴は廣楕圓形をなし平滑、蘚帽は直立毛を具ふ。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・朝鮮。

* * * * *

19. ひじきごけ科 HEDWIGIACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄同株或は異株稀に兩性にして、莖は導束を缺き不規則或は略ぼ羽狀に枝を分岐し、稀に2回乃至3回羽狀をなせる頗る長き枝を懸垂す。葉腋には無色の線狀體樣の毛を具へ、時に絲狀の繊匐枝を有す。葉は8列をなし、幅廣くして中肋を缺き、乳頭を以て被はる。蒴柄は頗る短く、或は稍長く蒴は直立し、整齊にして短き蒴臺を具ふ。蒴齒は概ね缺如し、脛子は大にして、蒴蓋は扁く隆起するか、或は圓錐形をなし、時に斜喙を帶ぶ。蘚帽は頗る小形なる圓錐形をなすか、或は大形にして冠狀を呈し、概ね平滑なり。

本科中、本邦に產するもの僅に1屬に過ぎず。

1. シロヒジキゴケ屬 HEDWIGIA.

8276. **しろひじきごけ** (22圖版-207) …… ヒジキゴケ科
Hedwigia albicans, *Lindb.*

(異名) しもふりひじきごけ　〔形態〕岩石上に着生する蘚類にして、全體赤褐色を呈すれども、下部は往々帶黑色を呈す。莖は叢狀をなし、多くの小枝を分ち、直立或は傾斜す。葉は楕圓形にして先端次第に尖り、此先端往々無色なり。葉細胞には其先端2乃至數裂せる乳頭を有す。雌花葉の先端部には、無色の細長き細胞より成れる毛狀片多數を有す。蒴は倒圓錐形をなし、蒴柄短く、雌花葉中に沈在す。〔分布〕本州・四國・九州・臺灣・朝鮮。

8277. **ひじきごけ** …… ヒジキゴケ科
Hedwigia albicans, *Lindb.* var. viridis, *Bry.*

〔形態〕前種に酷似せる蘚類なれども、本種の頂葉は綠色を呈するものなり。〔分布〕本州・四國・九州。

* * * * *

20. かうやのまんねんぐさ科 CLIMACIACEÆ.

本科に屬する植物は雌雄異株にして、莖の主軸は根茁樣をなし、第一枝は概ね直立し、樹枝狀に小枝を分ち、三角稜乃至多角稜を具へ、導束を有す。毛葉は絲狀にして分枝し、葉は2樣の形態をなす。即ち主軸並に第一枝の下部にあるものは鱗片狀をなし綠色を缺き、其他の部分にあるものは披針形にして綠色を呈す。葉細胞は上部に於ては斜方形、下部に於ては線形をなし、中肋は先端に達せず。蒴柄は長くして多出し、何れも右に捩る。蒴は條線なく、整齊にして直立或は彎曲し傾斜す。蒴齒は2列をなし、外列は赤褐色を呈し、基脚癒着し、關節・橫褶・乳頭或は橫條を具へ、內列は黃色を呈し、階狀の孔を有す。蒴蓋は喙を具へ、蘚帽は冠狀をなす。

本科に屬する植物中、本邦には2屬を產出す。

1. カウヤノマンネングサ屬 CLIMACIUM.

8278. **かうやのまんねんぐさ** …… カウヤノマンネングサ科
Climacium japonicum, *Lindb.* (23圖版-208)

(異名) かうやのまんねんごけ　〔形態〕山地林間の地上に自生する蘚類にして、主軸は地中を橫走し、亞莖は直立し、共に淡褐色の鱗片葉にて被はる。枝は亞莖の上部に多數着生し、葉を密生す。此葉の先端は銳尖にして銳齒を有し、基脚には大なる耳を具へ、中肋の背面上部には數箇の銳齒を有す。蒴は長楕圓狀筒形をなし、蒴柄は長くして直立し、蘚齒は乳頭を具ふ。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・朝鮮。

2. フジノマンネングサ屬 PLEUROZIOPSIS.

8279. **ふじのまんねんぐさ** …… カウヤノマンネングサ科
Pleuroziopsis ruthenicum, (*Weim.*) *Kindb.*

〔形態〕高山に生ずる蘚類にして、莖は褐色の毛茸を生じ、細羽狀に分枝し、多數の毛葉を生ず。枝葉は卵狀披針形にして短く尖り、鈍頭にして上部に鋸齒を有す。中肋は葉の中部以上に達し、背面に細齒牙を伴ふ。蒴は廣楕圓形にして小さく、弓狀に彎曲し、蒴齒には橫線を具へ、基膜は約½の長さに達し、蒴柄は1-5糎(5分)許の長さを有す。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・四國。

* * * * *

21. かはごけ科　FONTINALACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄異株若しくは同株にして、莖は三稜角稀に五稜角を有するか、或は圓くして導束を缺き、多數の枝を分岐す。葉は3列或は5列をなし、卵圓形若しくは披針錐形をなし、全緣なるか或は先端に鋸齒を具ふ。葉細胞は概ね長形にして1層をなし、基脚部に於てのみ、多くは2層乃至3層をなす。中肋は單一なるか或は之を缺く。蒴齒は2列或は1列をなし、時に缺如す。外列の16齒は頗る吸水力に富み、黃赤色或は紫色を呈し、多くは乳頭を具ふ。內列は基膜を缺き、蒴は直立し、蒴臺及氣孔を有せず。蒴蓋は短圓錐形をなし、或は嘴を伴ふ。蘚帽は圓錐形にして小さく、或は冠狀をなし、概ね蒴の下に達し平滑なり。

本科の植物中、本邦に產するもの2屬あり。

1. カハゴケ屬　FONTINALIS.

8280. **かはごけ**（23圖版-209）…… カハゴケ科
Fontinalis hypnoides, *R. Hartm.*

（異名）むくむくしみづごけ　〔形態〕清水の流るゝ小川・溝等の側壁の石或は杭等に着生する蘚類にして、莖は細長く、不規則なる羽狀に分枝し長さ往々30糎（1尺）餘に達し、流水に漂ふ。葉は稍粗にして3列をなし、長橢圓狀披針形にして、中肋は先端に近く達し、翼細胞は長き六邊形をなす。蒴は稀に生じ、少しく突出し、小形にして橢圓形をなし、蒴柄は短く、殆んど雌花葉中に沈在す。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

8281. **おほかはごけ**（23圖版-210）…… カハゴケ科
Fontinalis antipyretica, *L.* var. yezoana, *Card.*

〔形態〕本種は前種と概形略ぼ同樣なるものなれども、本種は莖上部の枝を除くの外は殆んど帶黑色を呈し、枝は彼に比して短く、葉は開出するの差異を有するものなり。〔分布〕北海道。

8282. ほそかはごけ …… カハゴケ科
Fontinalis antipyretica, *L.* var. subgracile, *Card.*

〔形態〕本種の有する葉は鈍頭をなし、葉網は前二者より稜大なるものなり。〔分布〕北海道。

8283. のこぎりかはごけ …… カハゴケ科
Fontinalis Durieui, *Schimp.*

〔形態〕雌雄異株なり。全株30糎（1尺）內外に達する蘚類にして、葉は卵狀披針形又は卵形、先端披針狀をなして伸長し、短く廣く尖り、頂端に稍小鋸齒を有す。蒴は廣橢圓形にして直立し、蒴臺並に氣孔を有せず。

*　　*　　*

22. ほごけ科　RHACOPILACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄異株稀に同株にして、雄本は小さく、花は芽狀をなして頂生し、雌花は短き枝上に着生し、共に絲狀の線狀體を具へ光澤を有せず。葉は側葉と背葉との2種あり。蒴柄は稍長くして赤色を呈し、蒴は長形若しくは圓柱狀にして、乾燥すれば溝を具へ、直立・傾斜或は橫臥し、稍著しく彎曲す。短き蒴臺を有し、蒴齒は內外2列をなし、外列は橫線・乳頭・厘木形の縱線並に橫褶を具ふ。內列の基膜は隆起して龍骨狀をなし、纖毛は3箇ありて、關節或は短き附屬物を有す。蒴蓋は長嘴を帶び、蘚帽は冠狀稀に帽狀をなして短裂し、長き直立毛を具ふ。

本科に屬する植物中、本邦に產するものは1屬のみなり。

1. ホゴケ屬　RHACOPILUM.

8284. **ほごけ** …… ホゴケ科
Phacopilum aristatum, *Mitt.*

〔形態〕樹上又は岩上に自生する蘚類なり。葉には紋なく、側葉は廣橢圓狀長橢圓形・銳頭にして、頂端に小鋸齒を有す。中肋は毛狀にして伸出し、細胞は圓廣橢圓形にして、上方にあるものは殆んど六邊形をなす。上葉は卵狀錐形にして小さく、蒴齒には線條を有す。〔分布〕本州・四國・九州・臺灣。

*　　*　　*

23. ひなのはひごけ科　ERPODIACEÆ.

本科に屬する植物は雌雄同株にして、花は線狀體を缺き、雄花は小さく芽狀をなして腋生し、雌花は頗る短き枝或は長き枝上に頂生し、概ね光澤を有せず。莖は導束を具へ、葉は多列乃至4列をなし、中肋を缺き、細胞は1層より成り、柔軟樣にして往々乳頭を具ふ。蒴柄は頗る短く、蒴は直立し、整齊にして短き蒴臺を具へ、氣孔を有す。蒴齒は缺如し、稀に外列のみ存し、16箇ありて乳頭並に橫褶を具ふ。胞子は大きく、蒴蓋は扁く隆起して嘴を具へ、或は圓錐形をなす。蘚帽は帽狀或は鐘狀を呈し、皺襞を具へて分裂し、稀に皺襞を缺き側裂す。

本科に屬する植物中、本邦には2屬を產出す。

1. ヒナノハヒゴケ屬　VENTURIELLA.

8285. ひなのはひごけ …… ヒナノハヒゴケ科
Venturiella sinensis, (*Vent.*) *C. M.*

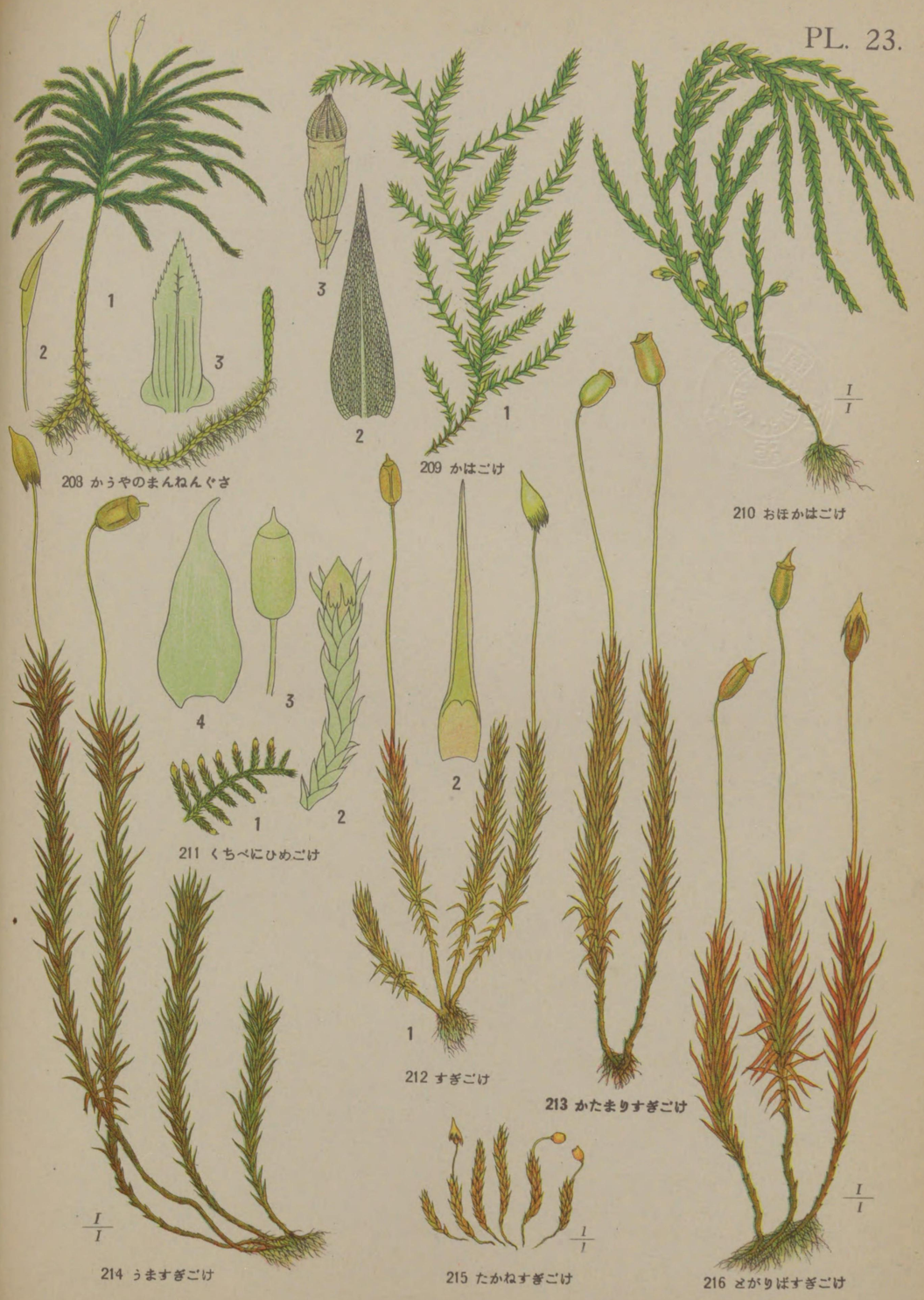
〔形態〕樹皮上に着生する微小なる蘚類にして、雌花は長き枝の上部に頂生し、莖は匍匐して密枝を直立す。葉は卵形又は長卵形にして齒を帶びたる無色の毛端に終り全緣なり。蒴は長橢圓形をなし、花葉中に沈在し、蒴齒は內列を缺く。蒴柄は頗る短くして黃色を呈す。蒴蓋は圓錐形をなし喙を具へ、蘚帽は鐘狀をなし、蒴の全部を被ひ、基脚に於て分裂す。〔分布〕本州・四國・九州・朝鮮。

8286. **くちべにひめごけ**（23圖版-211）　ヒナノハヒゴケ科
Venturiella japonica, *Broth.*

〔形態〕樹皮上に着生する微小なる蘚類にして、全體に黃褐綠色を呈す。莖は匍匐し、枝は多數ありて直立又は斜上す。葉は廣橢圓形にして短き披針狀をなし、尖頭を有し、尖部には2-3の鋸齒を具へ、葉細胞は粗大なり。蒴は枝頭僅に突出し、其口部紅色を呈す。蘚帽は黃色を呈し、蒴の大部分を被ふ。〔分布〕本州・四國・九州・朝鮮。

*　　*　　*

PL. 23.



（ロ）頂生子嚢蘚區

1. すぎごけ科 POLYTRICHACEÆ.

本科の植物は雌雄異株稀に兩性にして、雄花は盃狀或は圓盤狀をなし、多くは中央より發芽し、絲狀或は先端の擴がりたる線狀體を具ふ。雌花は頂生し、芽狀をなす。莖は直立し、概ね下部に根苗を有す。この根苗は多くは黑色にして3稜角或は3溝を具へ、普通の莖は5稜角乃至多稜角をなす。下部の葉は3列をなして疎生し、鱗片狀を呈すれども、上部の葉は基脚部鞘狀をなし、概ね披針形或は披錐形又は舌狀をなし、鋸齒を具へ、乾燥するも直伸し、時に彎曲或は捲縮す。1層或は2層の細胞より成り、中肋上及び2層の細胞より成れる葉片の上面に縱褶を具ふ。中肋は幅廣くして先端に達し、或は往々突出す。又背面に刺を有するもゐあり。蒴柄は長く概ね獨生し、僅に右に捩る。蒴は初め直立し、後に傾斜・橫臥或は垂頭し、圓柱狀・扁壓狀或は4-6稜柱狀をなす。蒴蓋は半球狀若しくは圓盤狀をなし、時に殆んど缺如す。蒴齒は1列をなし、32箇乃至64箇、稀に16箇又稀に缺如す。胞子は平滑にして蒴蓋は頂端尖り、或は嘴を帶ぶ。蘚帽は冠狀にして毛を以て被はるゝか、稀に平滑なり。本科に屬する植物中、本邦には6屬を產出す。

本科所載植物索引目次

アリサンスギゴケ……8311
イブキスギゴケ……8297
ウマスギゴケ……8289
エゾスギゴケ……8304
オホバニハスギゴケ…8300
カカヘバスギゴケ……8287
カギバニハスギゴケ…8303
カタマリスギゴケ……8288
コスギゴケ……8303
コセイタカスギゴケ…8302
サハチゴケ……8319
シコクウマスギゴケ…8291
シロエダチゴケ……8318
スギゴケ……8287
セイタカスギゴケ……8300
タカネスギゴケ……8295
タチゴケ……8314
タチゴケモドキ……8313
チヂレタチゴケ……8317
チヂレバニハスギゴケ8302
チヤボスギゴケ……8308
トガリバスギゴケ……8296
トサノセイタカスギゴケ……8301
ナガサヤコスギゴケ…8305
ナミガタタチゴケ……8315
ナンブウマスギゴケ…8290
ニハスギゴケ……8298
ネヂレスギゴケ……8309
ハスギゴケ……8310
ハミズゴケ……8307
ハミズニハスギゴケ…8307
ハリスギゴケ……8294
ヒメスギゴケ……8299
ヒメハミズゴケ……8312
ヒロハノコスギゴケ…8306
ヒロハハチゴケ……8316
ホスギゴケ……8292
ホソバスギゴケ……8293
ホソバタチゴケ……8315
……
……

1. スギゴケ屬 POLYTRICHUM.

8287. すぎごけ（23圖版-212）…… スギゴケ科
Polytrichum juniperinum, *Willd.*

〔形態〕地上・沼澤等に自生する蘚類にして、全株黃褐色を呈し、單一にして直立す。葉は半橢圓狀にして稍半透明をなし、大に凹める基脚より披針狀にして先端尖り、緣邊は廣く內方に褶折して薄板を抱へ、先端部は殆んど筒狀を爲し、全邊なれども先端の背面には銳齒散在す。蒴は4稜柱狀をなし、圓錐形の蒴蓋を有す。〔分布〕樺太・北海道・本州。

〔圖解〕1. 自然大. 2. 葉の擴大圖.

8288. かたまりすぎごけ（23圖版-213）……スギゴケ科
Polytrichum formosanum, *Heud.*

〔形態〕地上に自生する蘚類にして、全株黃褐色を呈す。莖は單一にして直立密生す。葉は半橢圓形をなし、稍透明なる基部より鞘狀披針形をなし先端尖り、緣邊は中央以上に銳鋸齒を有し、多數の薄板を具へ、其頂細胞は中央に凹みを有す。蒴は4縱稜形をなし、倒圓錐形の蒴蓋を有し、蒴柄は8糎（2-7寸）許あり。〔分布〕樺太・北海道・本州。

8289. うますぎごけ（23圖版-214）……スギゴケ科
Polytrichum commune, *L.*

〔形態〕陰濕の地に自生する蘚類にして、莖は直立し、單一・叢生す。葉は披針錐形をなし、緣邊に粗齒を具ふれども反捲せず。蒴は卵圓形にして4縱稜を具へ、表面粟粒を有す。蒴柄は6-12糎（2-4寸）を有し、蒴帽は金色又は金褐色を呈す。〔分布〕樺太・北海道・本州・九州。

8290. なんぶうますぎごけ …… スギゴケ科
Polytrichum commune, *L.* var. Maximowiczii, *Ldb.*

〔形態〕前種ウマスギゴケの一變種なり。概形彼に類似すれども、本種は全株青黑色を呈して莖葉共に稍硬く、葉は極めて密に着生するものなり。〔分布〕本州北部。

8291. しこくうますぎごけ …… スギゴケ科
Polytrichum commune, *L.* var. perigoniale, *Michx.*

〔形態〕本種も亦ウマスギゴケの變種にして、雌花葉は長芒狀をなし、蒴柄は4-6糎（1·3-2分）內外の長さを有するものなり。〔分布〕四國。

8292. ほすぎごけ …… スギゴケ科
Polytrichum gracile, *Dicks.*

〔形態〕陰濕地又は岩上に多く生ずる蘚類にして、雌雄異株なり。葉は披針形にして先端尖り、中肋は稍伸出す。蒴は卵形にして稜を具へ、概ね傾臥し、果蒴を有せず。蘚帽は銹黃色毛を被り、蒴柄は黃赤色にして、長さ6-8糎（2-2·6寸）內外を有す。〔分布〕北海道・本州各部。

8293. ほそばすぎごけ …… スギゴケ科
Polytrichum paludicola, *Card.*

〔形態〕北地に生ずるスギゴケの一種にして、葉は極めて細く、緣邊は整齊にして小鋸齒を有し、薄板は隆起して30-40を具へ、端細胞は大きく凹頭をなせるものなり。〔分布〕本州北部。

8294. はりすぎごけ …… スギゴケ科
Polytrichum piliferum, *Schreb.*

〔形態〕全世界に亙り廣く分布せる3糎（1寸）乃至稀に5糎（1·7寸）內外ある小蘚類にして、雌雄異株なり。葉は披針形にして鞘狀をなし、全緣なり。葉細胞は斗出して恰も鋸齒狀を呈し、緣邊は稍反捲す。芒は長く伸出し、緣部に小齒を具へ透明なり。蒴は卵形乃至橢圓形にして4稜を具へ、且つ果粒を有し、蒴柄は長さ3糎（1寸）內外に達す。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・四國・朝鮮。

8295. たかねすぎごけ（23圖版-215）……スギゴケ科
Polytrichum sphaerothecium, (*Besch.*)

〔形態〕高山に自生するスギゴケ中最も小形なる蘚類にして、莖高さ僅に1·8-2糎（6-7分）許。葉は卵形にして針尖を有し全緣なり。蒴は殆んど圓形をなし、蒴柄は5糎（1·7寸）に達す。蘚帽は黃褐色の毛を有す。〔分布〕本州・朝鮮。

8296. とがりばすぎごけ（23圖版-216）……スギゴケ科
Polytrichum attenuatum, *Mens.*

〔形態〕地上に自生する蘚類にして、全株黃褐色を呈し、莖は單一にして直立、密生す。葉は長方狀橢圓形にして、稍透明の基脚より披針狀をなし、先端次第に尖り、緣邊は中央以下より銳鋸齒を有し、多數の薄板を具ふ。蒴は長柱形にして4縱稜を有し、圓錐狀又は盤狀の蒴蓋を伴ひ、蒴柄は長さ5-8糎（1·7-2·7寸）許に達す。〔分布〕北海道・本州各部。

8297. いぶきすぎごけ …… スギゴケ科
Polytrichum intersedens, *Card.*

〔形態〕伊吹山附近に多く生ずる蘚類にして、概形オホスギゴケに近似せる一種なり。薄板の端細胞は大きく、蒴は次第に狹細となりて蒴柄に着き、蒴蓋を有せず。〔分布〕本州中部。

2. ニハスギゴケ屬 POGONATUM.

8298. にはすぎごけ（24圖版-217）…… スギゴケ科
Pogonatum rhopalophorum, *Besch.*

〔形態〕樹蔭の地上に自生する蘚類なり。全株黃褐色を呈し、莖は單一にして直立し、葉は强剛にして彎曲若しくは捲縮し、披針形或は線狀披針形をなし、概ね緣邊に鋸齒を有す。蒴は圓柱狀にして稍彎曲し、直立若しくは傾斜す。蒴柄は單生し、稍長くして紫色を帶ぶ。蒴蓋及氣孔を缺き、蘚帽は小形にして冠狀をなし、頂端より生ずる長毛は蒴の全部を包む。〔分布〕本州・四國・九州・朝鮮。

8299. ひめすぎごけ（24圖版-218）…… スギゴケ科
Pogonatum akitense, *Besch.*

〔形態〕地上に自生する蘚類なり。莖は單一にして直立し、葉は卵狀廣披針形をなし、上部及中部に疎鋸齒を有す。細胞は端部に於て先端凹む。蒴は卵狀圓筒形をなし、果粒を布く。蒴柄は15糎（5寸）に達し、蘚帽は帶褐色の毛を有す。〔分布〕本州各部・朝鮮。

8300. せいたかすぎごけ（24圖版-219）…… スギゴケ科
Pogonatum grandifolium, *Jaeg.*

（異名）おほにはすぎごけ　〔形態〕山地林間の地上に自生する著大なる蘚類なり。莖は單一にして高さ15-18糎（5-6寸）に達す。葉は廣き

基脚より披針形をなし、先端次第に尖り、基脚を除く以外は全緣に大鋸齒を具へ、葉面の莟板は多數を有す。蒴は直立長橢圓形をなし、15 糎(5 寸)に達する粗柄によりて莖の上部に 2-3 を叢生す。〔分布〕北海道・本州各部・四國・朝鮮。

8301. **とさのせいたかすぎごけ** …… スギゴケ科
Pogonatum grandifolium, *Jaeg.* var. tosanum. *Card.*

〔形態〕土佐地方に自生する蘚類にして、セイタカスギゴケの一變種なり。葉は彼に比するに、一層狹細にして、端細胞は通常單一なれども、亦往々2箇を有することあり。〔分布〕四國。

8302. **こせいたかすぎごけ** (24 圖版-220) …… スギゴケ科
Pogonatum contortum, *Lesq.*

(異名) ちぢれにはすぎごけ　〔形態〕山地林間等の地上に自生する蘚類なり。莖は單一にして直立し、高さ 6-10 糎(2-3 寸)に達す。葉は乾燥すれば屈曲乃至回旋し、潤ほへば斜に開展す。葉片は廣橢圓形の基脚より廣披針形をなし、全緣に鋸齒を有し、莟板は多數あり。蒴は長橢圓形にして平滑、蒴柄は長く赤色を呈す。〔分布〕日本全土。

8303. **こすぎごけ** (24 圖版-221) …… スギゴケ科
Pogonatum inflexum, *Lindb.*

(異名) かぎばにはすぎごけ　〔形態〕本邦に最も普通なる蘚類にして莖は單一・直立す。葉は乾燥したる時は鉤狀に內曲す。葉片は橢圓狀の基脚より披針形をなし、先端尖り、基脚外の邊緣及裏面中央の上部には銳齒を有し、多數の莟板を着く。蒴は圓筒形にして直立し、蒴柄は長さ 15 糎(5 寸)許に達す。蘚帽は灰褐色の毛を多數着生す。〔分布〕北海道・本州・九州・臺灣・朝鮮。

8304. **やまこすぎごけ** …… スギゴケ科
Pogonatum urnigerum, (*L.*)

〔形態〕世界各地に廣く分布せる蘚類なり。葉は線狀披針形にして長く先端尖り、基脚短鞘狀をなす。緣邊には疎に銳齒を有し、中肋は剛毛狀をなして伸出し、莟板は多數を具へ、端細胞は著しく大なり。蒴は長卵形或は圓筒形をなし、線狀なく、蒴柄は 1-5 糎(3-3-17 分)內外の長さを有し、蘚帽毛は黃褐色を呈す。〔分布〕北海道・本州各部・四國・朝鮮。

8305. **えぞこすぎごけ** …… スギゴケ科
Pogonatum aloides, (*Hedw.*)

〔形態〕世界の各地に廣く分布せる蘚類なり。葉は卵狀披針形にして、銳鋸齒を有し、中肋の背面には小齒を伴ふ。莟板は多數を 5 乃至 7 列に排列し、端細胞は稍大ならずして、頂端圓形を呈す。蒴は卵狀圓筒形にして直立若しくは稍傾臥し、蘚帽は上部褐色、下方白色毛を被り、蒴柄は 1-5-3-5 糎(0-5-1-2 寸)內外の長さを有す。〔分布〕北海道・本州各部・九州。

8306. **ひろはのこすぎごけ** …… スギゴケ科
Pogonatum asperimum, *Besch.*

〔形態〕セイタカスギゴケに近似せる一種なり。葉は廣卵狀披針形にして先端尖らず、鋸齒緣をなす。蒴は圓筒形をなして粟粒を具へ、蒴柄は長さ 3 糎(1 寸)許を有し、紅紫色を呈す。〔分布〕本州中部及南部・四國。

8307. **はみづにはすぎごけ** (24 圖版-222) …… スギゴケ科
Pogonatum spinulosum, *Mitt.*

(異名) はみづごけ　〔形態〕樹蔭の地上に自生する小形の蘚類にして地面に綠色の絲狀體を密生し、水垢狀をなせる所より生ず。莖は莖だ短く葉は之に密接す。下部に有する葉は鱗片狀をなし、上部のものは廣き基脚を有して披針狀をなし、莟板の端細胞は橢圓形をなす。蒴は卵狀長橢圓形にして粟粒を有し、蒴柄は 15 糎(5 寸)許に達す。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

8308. **ちゃぼすぎごけ** …… スギゴケ科
Pogonatum otaruense, *Besch.*

〔形態〕陰濕地に生ずる蘚類にして、高さ漸く 1-3 糎(4 分)內外に達す。葉は長橢圓狀披針形・銳頭にして、短鈍鋸齒緣を有し、中肋の背面は平滑なり。莟板は概ね 40 箇を有し、端細胞は圓頭をなす。蒴は橢圓形にして粟粒を具へ、蒴柄は長さ 5-7 粍(1-7-2-3 分)內外に達す。〔分布〕北海道。

8309. **ねぢれすぎごけ** …… スギゴケ科
Pogonatum tortile, (*Sw.*) *Palis.*

〔形態〕葉は緣邊の上半部に銳鋸齒を有し、中肋は背面上部に細齒を伴ふ。莟板は多數を有して 3-4 列に排列し、端細胞は大きく圓頭をなす。蒴は明瞭なる線條を具へて水平に着生し、熟すれば黑褐色を呈す。

8310. **はすぎごけ** …… スギゴケ科
Pogonatum capillare, (*Reich.*) *Brid.* var. dentatum, (*Menz.*)

〔形態〕塞地に多く生ずる蘚類の一種なり。葉は線狀披針形にして、基脚短鞘狀をなし、緣邊に銳鋸齒を有す。中肋は剛毛狀に伸出し、鋸齒と共に剛硬なり。蒴は傾臥し、蘚帽は圓形をなして短く、蒴柄は 2-5 粍(7-5 厘)內外の長さに達するものなり。〔分布〕樺太。

8311. **ありさんすぎごけ** …… スギゴケ科
Pogonatum arisanense, *Okm.*

〔形態〕臺灣に生ずる蘚類にして、全株稍大きく、15 糎(5 寸)內外に達す。葉は廣橢圓狀長披針形にして皺襞を有し、莟板亦多數を具へ、殆んど 70-80 箇に達す。蒴は長橢圓形にして直立し、蒴柄は 3 糎(1 寸)內外の長さを有するものなり。〔分布〕臺灣。

3. ヒメハミヅゴケ屬 PHACELOPODOPSIS.

8312. **ひめはみづごけ** …… スギゴケ科
Phacelopodopsis Camusii, *Thér.*

〔形態〕本屬は本種の只 1 種より成る。葉は卵形又は卵圓狀披針錐形をなし、鈍なく又莟板を缺き、錐部に不齊粗鋸齒を具ふ。葉細胞は疎にして短き方形又は多邊形をなす。蒴は圓筒形にして、蒴柄は長さ 2 糎(7 分)許を有し、多くの疣狀突起を伴ふ。〔分布〕本州各部。

4. タチゴケモドキ屬 OLIGOTRICHUM.

8313. **たちごけもどき** …… スギゴケ科
Oligotrichum japonicum, *Card.*

〔形態〕高山性の莖だ強健なる蘚類にして、雌雄異株なり。葉は短廣披針形にして橫波狀に着生し稍纖弱なり。上方の緣邊には銳鋸齒を具へ、基脚鞘狀をなさず。蒴は卵形若しくは長橢圓形を呈するものなり。〔分布〕本州。

5. タチゴケ屬 CATHARINAEA.

8314. **たちごけ** …… スギゴケ科
Catharinaea angustata, *Brid.*

〔形態〕山地の稍濕地を好みて自生する蘚類なり。葉は狹長披針形にして、中肋は廣く葉幅の ⅓ 乃至 ¼ を占め、莟板は 2-4 列をなす。蒴は殆んど直立し、蒴柄は長さ 1-2 糎(3-6 分)內外を有す。〔分布〕本州・四國。

本屬の植物は、概ね地上に生じ、雌雄異株なるか雜株なり。葉には鉅を具へ、乾燥すれば概ね卷縮し、中肋は葉の先端に達するか或は近くに達す。蒴は圓筒形にして稜なく、短き蒴蓋を具へ、氣孔を有せず。蒴蓋には喙を伴ひ、蘚帽には殆んど毛を有せざるものなり。

8315. **なみがたたちごけ** (24 圖版-223) …… スギゴケ科
Catharinaea undulata, (*L.*)

(異名) ほそばたちごけ　〔形態〕地上に自生する蘚類にして、全株暗綠色乃至黃褐綠色を呈す。莖は高さ 2-3 糎(0-7-1 寸)許に達し直立す。葉は線狀披針形にして先端尖り、緣邊より中肋に向ひて所々橫に波狀に縮み、緣邊は 2-3 層の細胞より成り、褐色にして概ね對をなせる銳鋸齒を具へ、背面には所々に銳齒列を有す。中肋上の莟板は 6 枚あり。蒴は圓筒形をなし、長き蒴柄上にあり。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

8316. **ひろはのたちごけ** …… スギゴケ科
Catharinaea Haussknechtii, (*Jur.* et *Milb.*)

〔形態〕地上に生ずる蘚類にして、雌雄同株なり。葉は披針形にして狹き舌狀をなし、中肋は先端に達せず。頂背面に小齒牙を有し、莟板は 2 乃至 3 列に排列す。蒴は狹圓筒形をなして直立し、蒴柄は多數を出し、黃色或は赤黃色を呈し、長さ 0-8-1-5 糎(2-7-5 分)內外を有するものなり。〔分布〕北海道・本州各部・四國。

8317. **ちぢれたちごけ** …… スギゴケ科
Catharinaea crispula, (*Schimp.*)

〔形態〕葉は舌形又は披針形にして鈍頭をなし、乾燥するも殆んど卷縮せず。中肋は頂端に達し、背面には芒を具ふ。莟板は 6 乃至 9 列をなし、子嚢は單出す。〔分布〕本州各部。

8318. **しろえたちごけ** …… スギゴケ科
Catharinaea chlorochaeta, *Card.*

〔形態〕タチゴケに近似せる蘚類にして、蒴柄は白藁を呈し、莟板は 6 乃至 9 列をなせるものなり。〔分布〕朝鮮。

8319. **さわたたちごけ** …… スギゴケ科
Catharinaea xanthopoda, *Card.*

〔形態〕雌雄同株にして、葉背面は平滑若しくは疎なる鋸齒を有し、莟板は 4 乃至 6 列をなす。〔分布〕本州。

2. よつばごけ科 GEORGIACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄同株にして花は頂生し、絲狀の線狀體を具ふれども、雌花は之を缺く。莖は直立し、葉は 2 列乃至 5 列をなし、1 層の細胞よりなる。中肋は完全なるか或は不明なり。蒴柄は長くして直伸するか、或は中央部に於て折れ、下部は右に、上部は左に捩る。蒴は直立し、整齊にして卵圓形若しくは圓柱狀を呈し、平滑なり。蒴齒は 4 箇ありて 3 稜形をなす。蒴蓋は圓錐形を呈して側裂し、蘚帽は圓錐形にして縱襞を帶び、基脚部に於て分裂す。

本科の植物中、本邦に產するもの 1 屬あり。

1. ヨツバゴケ屬 GEORGIA.

8320. **よつばごけ** (24 圖版-224) …… ヨツバゴケ科
Georgia pellucida, (*L.*) *Rabenh.*

〔形態〕地上に自生する小形の蘚類にして、莖は三稜角を帶び、下部に鱗葉を具ふ。葉は卵狀披針形にして先端尖り、全邊なり。葉細胞は帶圓六角形にして、基部に於ては方形をなす。中肋は先端に達するか、或は達せず。蒴は圓柱狀にして氣孔を缺く。蒴柄は周苞內に 1 箇若しくは 2 箇を具ふ。蘚帽は蒴の ½ を蔽ひ、先端稜角の所に齒を有す。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

8321. **あもりをやり** …… ヨツバゴケ科
Georgia geniculata, (*Girg.*) *Lindb.*

〔形態〕前種に近似せる蘚類なれども、本種の蒴柄は膝曲し、且つ上端纖弱なるものなり。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州。

3. ゐくびごけ科 WEBERACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄同株又は異株にして、花は頂生し、絲狀の線狀體を具ふ。莖は導束を缺き、概ね短くして直立す。葉は乾燥すれば捩れ、或は縮み、多くは全緣なり。中肋は概ね葉の先端に達せず。上部の葉及周苞は遙かに大きく、膜質をなし、卵狀披針形・披針錐形或は線形にして、多くは先端に長芒を有す。蒴柄は頗る短く、蒴は周苞內に沈在し、斜卵圓錐形をなし狹口を具へ、蒴蓋を缺く。基部に 2 列の氣孔を有す。蒴齒は 2 列をなし、16 箇の短き齒片より成り、內列は齒片に分化せず、白色の圓錐管より成る。蒴蓋は小形にして圓錐形をなし、蘚帽は圓錐狀にして平滑、全緣にして僅に蒴蓋を蔽ふに過ぎず。

本科に屬する植物中、本邦には唯 1 屬、1 種を產するに過ぎず。

1. チャイロキクビゴケ屬 WEBERA.

8322. **ちゃいろゐくびごけ** (24 圖版-225) …キクビゴケ科
Webera fulvifolia, *Broth.*

〔形態〕樹下の乾燥地に自生する小形なる蘚類にして、雌雄異株なり。全株黃褐色を呈す。莖は極めて短く、殆んど識別し難し。葉は橢圓狀披針形・鈍頭をなし、中肋は長く突出し、葉細胞は疣狀の小乳頭を具ふ。蒴は地上に叢生せる葉間に埋れて着生し、子嚢の周圍にある雌花葉は披針形をなし、中肋は莖だ長く突出して毛狀をなす。子嚢は卵狀嚢形にして 1 側に多く膨る。〔分布〕本州・四國・九州。

4. きせるごけ科 BUXBAUMIACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄異株にして、雄本は肉眼にては識別し難く、莖を缺き、絲狀體の上に短き側枝として發達し、貝狀の苞を具へ、內に 1 箇の圓き藏精器を納む。雌本は小莖を具へ、無色の葉を以て包まれ、1 箇或は 2 箇の頸卵器を藏し、線狀體を缺く。蒴柄は赤褐色を呈し、數多の小疣を以て被はれ、長さ 5-20 糎(1-6-6-6 寸)許に達す。蒴は短き蒴嚢を具へ、直立或は斜に直立し、腹背明かなり。形は卵圓形にして口部甚だ狹く、下面は膨れ、上面は扁平にして兩面の境に稜角を有し、陷沒氣孔若しくは水平氣孔を具ふ。蒴齒は 2 列をなし、外列は 1 箇乃至 4 箇の齒片より成り、橫節を具へ、內列は膜質を帶びたる圓錐管より成り、32 箇の縱襞を具へ、橫節を有せず。胞子は頗る小さく、蒴蓋亦小形にして圓柱狀圓錐形を呈し、長く殘存したる後、軸柱の上部と共に脫落す。蘚帽は小形にしてユビヌキ狀を呈し、蒴蓋を被ひ、成熟前に脫落す。時に 1 箇所に於て稍裂開するものあり。

本科の植物中、本邦に產するもの 1 屬、2-3 種に過ぎず。

1. キセルゴケ屬 BUXBAUMIA.

8323. **きせるごけ** (24 圖版-226) …… キセルゴケ科
Buxbaumia aphylla, *L.*

〔形態〕林間の朽木に自生する蘚類にして、本植物の特徵は科名に於て說明したると同樣なり。唯本種の蒴は下面紅紫色又は鞠褐色を呈し、蒴柄は 10-15 糎(3-3-5 寸)許を有す。〔分布〕本州。

8324. **くまのちゃうじごけ** (24 圖版-227) …キセルゴケ科
Buxbaumia Minakatae, *Okm.*

〔形態〕林間の朽木上に自生する蘚類にして、前種に酷似せるものなれども、本種は蒴の下面黃綠色乃至褐綠色を呈し、蒴柄は短く、漸く 3 糎(1 寸)に達するものなれば、容易に彼と區別し得るものなり。〔分布〕本州中部(紀伊)。

5. たまごけ科　BARTRAMIACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄異株稀に同株、又は兩性にして花は頂生す。莖は導束を具へ、葉は5列乃至8列をなし、卵狀披針形にして概ね先端尖れるか、或は披針錐形をなし、上緣に鋸齒を有す。葉細胞は帶圓方形若しくは長方形、稀に線形にして兩面に乳頭を具へ、平滑なり。中肋は先端に達するか或は達せず、時に芒をなして突出す。蒴柄は稍長く、稀に極めて短し。蒴は球形をなし、直立又は傾斜、稀に懸垂し、蒴蓋は稀に存し、氣孔は蒴の基脚部に分布す。蒴齒は2列乃至1列をなし、時に微細なるか或は缺如す。外列は黃褐色或は赤黃色を呈し、多くは橫褶を具へ、內列は甚骨狀をなす。胞子は大きく、圓形・卵圓形或は腎臟形にして、乳頭若しくは疣粒を伴ふ。蒴蓋は小形にして圓錐形をなし、稀に喙を有す。蘚帽は小さく、疑狀にして脫落す。本科に屬する植物中、本邦に產するもの3屬あり。

本科所載植物名目次

イトサハゴケ……8332　コツクシサハゴケ……8338　ナガバサハゴケ……8333
エゾサハゴケ……8339　サハゴケ……8329　ハコネタマゴケ……8328
オニサハゴケ……8336　タマゴケ……8325　ヒメサハゴケ……8330
オホタマゴケ……8326　チヂレバタマゴケ……8325　ホソサハゴケ……8335
コエゾサハゴケ……8340　チヤボサハゴケ……8334　ミヤマタマゴケ……8327
コサハゴケ……8331　ツクシサハゴケ……8337

1. タマゴケ屬　BARTRAMIA.

8325. たまごけ（25圖版-228）……タマゴケ科
Bartramia crispata, *Schimp.*

（異名）ちぢればたまごけ　〔形態〕地上に自生する蘚類にして、全株黃褐色を呈し、質は軟弱なり。莖は單一又は小數の分岐をなして直立し、赤褐色を呈する假根を有し、莖の上部に至る迄着生する特徵あり。葉は長橢圓狀をなして直立せる基脚より極めて長き線狀をなし、緣邊は基脚の上部に於て外反卷し、先端に銳鋸齒を双生す。中肋亦背面に銳鋸齒を具へ、葉細胞は1-2箇の乳頭を有す。此葉は乾燥すれば內曲又は旋曲す。蒴は球形をなし、稍6稜形を呈し、乾燥すれば多くの縱皺を生ず。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

8326. おほたまごけ……タマゴケ科
Bartramia pomiformis, (*L.* ex *P.*) *Hedw.*

〔形態〕殆んど全世界に分布する高さ8糎（2·7寸）內外に達する蘚類にして、雌雄同株なり。葉は橢圓狀披針錐形にして、鞘狀をなさず。頂端と中肋の背部には粗齒を有し、中肋は先端芒狀をなして伸出す。葉細胞は上部に於て方形をなし、基部にありては長方形若しくは線形をなし、蒴柄は長さ2糎（7分）內外に達す。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・四國・九州。

8327. みやまたまごけ……タマゴケ科
Bartramia deciduaefolia, *B.* et *Y.*

〔形態〕上州赤城山附近の高山に自生する高さ6糎（2寸）內外の蘚類にして、雌雄同株なり。葉は狹線形にして先端尖り、基脚鞘狀をなし、緣邊鋸齒をなす。中肋は頂端に達す。本種の葉は乾燥するも卷縮せざるものなり。〔分布〕本州中部。

8328. はこねたまごけ……タマゴケ科
Bartramia hakoniensis, *Besch.*

〔形態〕全株赤毛を以て被はるゝ蘚類にして、雌雄同株なり。葉は披針形にして先端尖り、全緣若しくは鋸齒を具へ外捲し、基脚透明なり。蒴は球形にして、蒴柄は長さ2·5糎（7·5分）內外を有す。〔分布〕本州中部。

2. サハゴケ屬　PHILONOTIS.

8329. さはごけ（25圖版-229）……タマゴケ科
Philonotis fontana, (*L.*) *Brid.*

〔形態〕山間の稍水濕地に自生する蘚類にして、全株綠褐色を呈す。莖は10-20糎（3-6寸）許に達し、葉は卵狀披針形にして、先端次第に尖り、上方に鋸齒を有す。中肋は伸出す。蒴は卵球形をなし、蒴柄は長さ7糎（2·3寸）許に達し、黃赤色を呈す。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

8330. ひめさはごけ（25圖版-230）……タマゴケ科
Philonotis marchica, (*Willd.*) *Brid.*

〔形態〕前種と產地を同じくする稍大形の蘚類にして、全株綠褐色を呈す。莖は直立し、葉は橢圓狀披針形をなし、上方に鋸齒を具ふ。中肋は短く伸出し、細胞は長方形なれども、基部に於ては方形をなさず。蒴は球形をなし水平にして、蒴柄は長さ3-5糎（1-1·7寸）許に達す。〔分布〕本州・朝鮮。

8331. こさはごけ……タマゴケ科
Philonotis japonica, *Besch.*

〔形態〕纖細なる蘚類にして、葉は卵狀錐形をなし、枝葉は卵狀披針形にして稍小鋸齒を有す。中肋は伸出し、葉細胞は透明にして長方形をなし、乳頭を具へ、蒴柄は長く4糎（1·2寸）許に達す。〔分布〕本州・四國。

8332. いとさはごけ……タマゴケ科
Philonotis floribundarioides, *Broth.*

〔形態〕全株纖長にして絲狀をなし、恰も別屬の觀あり。葉は狹披針形にして緣邊疎鋸齒を有し、基脚全緣なり。中肋は葉の頂端に達せざるものなり。〔分布〕本州。

8333. ながはさはごけ……タマゴケ科
Philonotis lancifolia, *Mitt.*

〔形態〕葉は狹橢圓狀披針形にして先端次第に尖り、小齒緣をなし、緣邊外捲す。中肋は伸出し、葉細胞には乳頭を具ふ。脚細胞は稍方形を呈し、蒴は球形にして蒴柄は長きものなり。〔分布〕本州・四國・九州。

8334. ちゃぼさはごけ……タマゴケ科
Philonotis laxiretis, *Card.*

〔形態〕全株漸く7糎（2·3分）內外の小形なる蘚類なり。葉は披針形にして緣邊に小鋸齒を有し、中肋は葉の中央以上に達し、頂端下面に稍小齒牙を伴ひ、葉細胞には乳頭を有す。〔分布〕本州。

8335. ほそさはごけ……タマゴケ科
Philonotis tenuissima, *Card.*

〔形態〕本種も亦極めて纖長なる蘚類にして、コサハゴケの狹細なるものに似たり。葉は狹披針錐形にして上緣に鋸齒を有し、中肋は長く伸出する種類なり。〔分布〕朝鮮。

8336. おにさはごけ……タマゴケ科
Philonotis Turneriana, (*Schwgr.*) *Mitt.*

〔形態〕本種は通常小形なる蘚類なれども、時に大形なるものあり。葉は卵狀披針形にして、先端次第に尖れるか或は細く尖り、殆んど全緣にして、上方緣邊には弱き鋸齒を有し、中肋は先端に達するものなり。〔分布〕本州・四國・九州・臺灣。

8337. つくしさはごけ……タマゴケ科
Philonotis Wichurae, *Broth.*

〔形態〕葉は卵狀披針形にして、上部緣邊には鋸齒を有し、中肋は伸出して芒狀をなし、葉細胞は長橢圓形にして、下部金色を呈す。蒴は大きく球形をなし、蒴柄は長さ3糎（1寸）內外を有するものなり。〔分布〕九州。

8338. こつくしさはごけ……タマゴケ科
Philonotis socia, *Mitt.*

〔形態〕小形の蘚類なり。葉は狹卵狀披針形にして、緣邊に小鋸齒を有し中肋は伸出す。葉細胞は狹長にして基脚細胞は方形をなす。蒴は球形を呈し、蒴柄は3糎（1寸）內外の長さを有するものなり。〔分布〕本州・四國・九州・臺灣。

8339. えぞさはごけ……タマゴケ科
Philonotis yezoana, *Besch.* et *Card.*

〔形態〕本種は大さ5糎（1·7寸）內外に達する纖長なる蘚類なり。葉は披針形にして長く、先端次第に尖り、中肋は頂端に達するか或は伸出す。葉細胞は兩面に粗大なる乳頭を有し、蒴は球形をなして大なり。〔分布〕北海道・本州・朝鮮。

8340. こえぞさはごけ……タマゴケ科
Philonotis yezoana, *Besch.* et *Card.* var. tenuicaulis, *Card.*

〔形態〕前種の一變種にして、莖は纖長・葉は狹披針形をなし、乳頭は小形なるものなり。〔分布〕北海道。

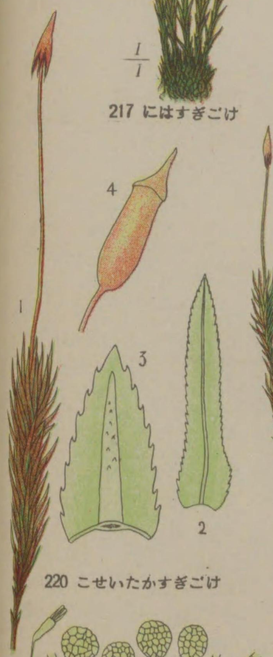
*　　*　　*

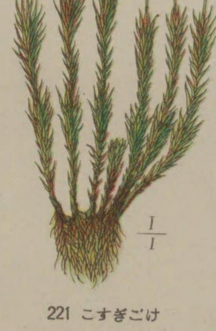
PL. 24.

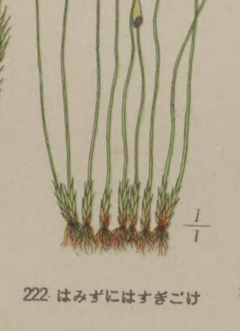
217 にはすぎごけ

218 ひめすぎごけ

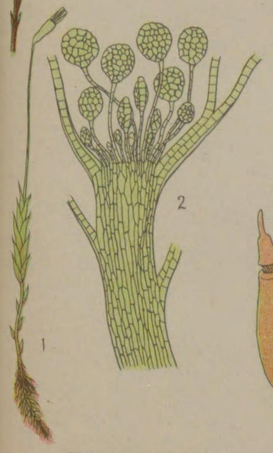
219 せいたかすぎごけ

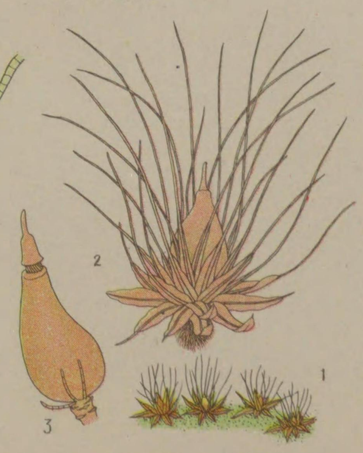

220 こせいたかすぎごけ

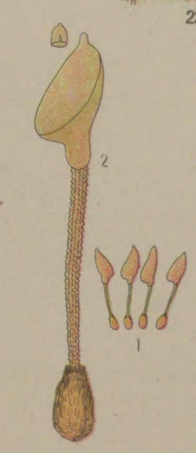

221 こすぎごけ

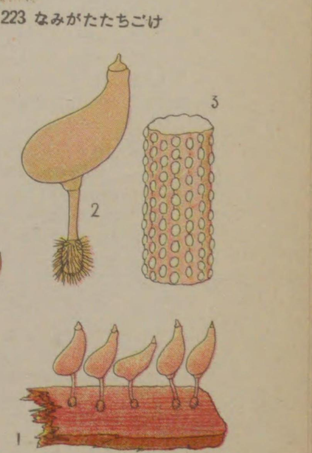

222 はみずにはすぎごけ

223 なみがたたちごけ


224 よつばごけ


225 ちやいろみくびごけ


226 きせるごけ


227 くまのちやうじごけ

6. ひもごけ科 AULACOMIACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄異株稀に同株にして、花は頂生し、雄花は芽狀或は圓盤狀をなし、光澤を有せず。莖は導束を具へ、葉は8列をなし、上部に至るに縱ひ次第に大形となる。卵圓形・披針形若しくは線狀披針形をなし、概ね上部に鋸齒を具ふ。細胞は圓形にして多くは乳頭を具へ、中肋は概ね先端に達せず。蒴柄は稍長く直立す。蒴は傾斜稀に直立し、卵圓形或は圓柱狀にして8肋を有し、短き蒴臺を具へ、氣孔を有す。蒴齒は2列をなし蒴蓋は圓錐形を呈するか或は嘴を具ふ。蘚帽は冠狀にして長喙を具へ側裂し、脫落す。

本科に屬する植物中、本邦に產するもの2屬あり。

1. ヒモゴケ屬 GYMNOCYBE.

8341. ひもごけ …… ヒモゴケ科
Gymnocybe palustre, (*L.*)

(異名) おほひもごけ　〔形態〕殆んど全世界に廣く分布せる地上生の蘚類にして、全株10糎(3·5寸)許に達す。葉は披針形乃至線狀披針形にして先端鋭く尖り、緣邊に小齒牙緣を有し、中肋は殆んど頂端に達す。蒴は長卵形或は卵形をなし、背面は隆起し、蒴臺を伴ひ、蒴柄は長さ3-6糎(1-2寸)內外を有するものなり。〔分布〕北海道·本州各部。

本屬の植物は、多くは地上に自生し、雌雄異株又は同株なり。莖頂に有柄の無性芽を有す。葉細胞は小さく、厚き圓形をなして乳頭を具へ、蒴は概ね8肋を有するものなり。

2. ナガミチャウチンゴケ屬 AULACOMNIUM.

8342. ながみちゃうちんごけ (25圖版-231) …ヒモゴケ科
Aulacomnium heterostichum, (*Hedw.*)

〔形態〕地上·岩石上等に自生する蘚類にして、概形チャウチンゴケに似て、莖は下部に鱗片狀の小葉を覆瓦樣に着生し、往々橫臥し、其頂端部に頭狀の髒芽を着く。葉は卵圓狀披針形若しくは線狀披針形をなし、中肋は先端に達せず。蒴は圓筒形に稍彎曲して傾斜し、8箇の暗條を有す。蒴柄は長く、蒴蓋は圓錐形をなす。〔分布〕北海道·本州。

*　　*　　*
*　　*　　*

7. ひのきごけ科 RHIZOGONIACEÆ.

本科に屬する植物は雌雄同株或は兩性にして、花は芽狀をなして根生するか、或は莖の下部若しくは中部に側生し、絲狀の線狀體を具ふ。莖は直立し導束を有す。葉は長形·披針形或は線狀披針形をなし、鋸齒を有す。細胞は帶圓六角形稀に六角形をなし、平滑にして稀に乳頭を以て被はる。中肋は先端に達するか或は而らず、時に稍長く突出するものあり。蒴柄は稍長くして直立し、稀に極めて短し。蒴は直立·傾斜或は橫臥し、短き蒴臺を具へ、卵圓形·長形若しくは圓柱狀にして、時に彎曲し、平滑にして稀に肋を有す。蒴臺の上部には氣孔を有す。蒴齒は2列をなし、稀に外列を缺く。蒴蓋は斜喙を具へ、稀に圓錐形をなし、蘚帽は冠狀をなす。

本科に屬する植物中、本邦に產するもの1屬あり。

1. ヒノキゴケ屬 RHIZONIUM.

8343. **ひのきごけ** (25圖版-232) …… ヒノキゴケ科
Rhizogonium Dozyanum, *Lac.*

(異名) いたちのしっぽ·むくげひのきごけ　〔形態〕山地林間の地上に自生する蘚類にして、雌雄同株なり。莖は直立し、頂部に至るまで赤褐色の假根を密生す。葉は披針狀髮形をなし、長く先端次第に尖り、溝狀に凹み緣邊は厚く¼以上に雙鋸齒を有す。中肋は殆んど頂部に達し、背面には2列の齒を有す。雌花葉は卵披針形にして1列に疎鋸齒を有す。蒴は卵形にして傾斜乃至水平をなし、少しく彎曲し、赤褐色を呈す。蒴柄は3糎(1寸)許ありて亦赤褐色を呈す。〔分布〕本州·九州。

〔圖解〕1. 全形(自然大)。2. 蒴の縱大圖。3. 葉の縱大圖。

8344. こひのきごけ …… ヒノキゴケ科
Rhizogonium venustum, *Besch.*

〔形態〕地上又は樹上に生ずる蘚類にして、雌雄同株なり。葉は甚だ狹き線狀披針形にして基脚廣く、緣邊双齒を有し、殆んど基脚に達し、中肋は殆んど頂端に及ぶ。雌花葉は卵狀披針形にして、1列に疎齒を排列す。蒴は赤色にして卵形を呈し、蒴柄は長さ3糎(1寸)內外に達するものなり。〔分布〕九州·小笠原島。

8345. ひろはのひのきごけ …… ヒノキゴケ科
Rhizogonium badakense, *Fleisch.*

〔形態〕全體2·5糎(8分)內外を有する蘚類にして、雌雄異株なり。葉は短披針形にして先端尖り、基脚廣濶、緣邊には中部以下迄鋭鋸齒を具へ、中肋は頂端に達す。內雌花葉は狹長錐形をなし、基脚急に廣く、1列に鋸齒を有す。蒴は長卵圓形にして背面隆起す。〔分布〕本州·九州。

8346. はりひのきごけ …… ヒノキゴケ科
Rhizogonium spiniforme, (*L.*) *Bruch.*

〔形態〕全體2糎(6分)內外の大さを有する雌雄雜株の蘚類なり。上葉は狹線狀披針形にして先端尖り、基脚稍廣く、緣邊に疎鋸齒を有し、稍上端に及び、中肋は頂端に達す。內雌花葉は卵形又は廣橢圓形にして、先端短錐形に尖る。〔分布〕本州南部·四國·九州·臺灣。

*　　*　　*
*　　*　　*

8. ちゃうちんごけ科 MNIACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄異株稀に同株にして花は頂生し、雄花は圓盤狀をなし、概ね棍棒狀の線狀體を具へ、雌花は概ね芽狀をなし、絲狀の線狀體を有す。莖は導束を具へ多くは直立す。葉は莖の上部に於ては大きく、下部に於て小なり。細胞は圓形或は六角形をなし、中肋は基脚に於て廣く、多くは先端に達せず。蒴柄は長く、剛强にして上部は概ね鉤狀をなす。蒴は多くは傾斜し、時に懸垂、稀に直立し、長卵圓形或は圓柱狀、稀に球形をなし短き蒴臺を具へ、陷沒氣孔を有す。蒴齒は2列をなし、蒴蓋は隆起或は斜喙を伴ひ、蘚帽は概ね冠狀をなす。

本科に屬する植物中、本邦に產するもの2屬あり。

本科所載植物索引

アツバチヤウチンゴケ8349
ウチハチヤウチンゴケ8354
エゾチヤウチンゴケ…8300
オホバチヤウチンゴケ8308
カシハバチヤウチンゴケ……8357
キダチツボゴケ……8371
コウチハチヤウチンゴケ……8355
コチヤウチンゴケ……8353
コツボゴケ……8356
コツボチヤウチンゴケ8356
コバノチヤウチンゴケ8350
スギバチヤウチンゴケ8352
スヂチヤウチンゴケ…8306
タチチヤウチンゴケ…8347
チヤウチンゴケ……8348
ツボゴケ……8370
ツルチヤウチンゴケ…8302
トゲバチヤウチンゴケ8359
ナガバチヤウチンゴケ8340
ノコギリチヤウチンゴケ……8361
ヒメチヤウチンゴケ…8307
ヘラチヤウチンゴケ…8358
ヘリトリチヤウチンゴケ……8363
ホシガタチヤウチンゴケ……8364
マルバチヤウチンゴケ8305
ミヤマチヤウチンゴケ8351
ムツデチヤウチンゴケ8357
……
……
……
……

1. タチチャウチンゴケ屬 ORTHOMNIOPSIS.

8347. **たちちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Orthomniopsis japonica, *Broth.* (25圖版-233)

〔形態〕山間の濕地に自生する蘚類なり。雌雄兩性にして光澤を有せず。

莖は匍匐し、不規則に枝を分ち、褐色の密毛を具ふ。葉は卵圓形或は倒卵圓形・全邊にして、緣邊は黃色を呈し、中肋は先端に達せず。朔は傾斜、後に直立し、圓柱狀を呈す。朔柄は頗る短く黃色を呈し、若き時は彎曲す。朔蓋は長嘴を有し、蘚帽は長く尖り、朔蓋を被ふに過ぎず。〔分布〕四國。

2. チャウチンゴケ屬　MNIUM.

8348. **ちゃうちんごけ**（25圖版-234）… チャウチンゴケ科
Mnium medium, *Bryol. eur.*

（異名）おほちゃうちんごけ　〔形態〕地上・岩石上・樹上等に自生する蘚類にして、莖は直立し、新苗は纖匍枝を出し、時に上部より枝或は雌枝を生ず。葉は莖の下部に於て小さく、鱗片狀をなし、上部に於ては大きく、時に花形狀に排列す。葉片は卵圓形又は廣橢圓形をなし、先端短く尖る。中肋は頂端又は頂下に達し、細胞は上部に大きく、乳頭を有せず。朔は傾斜し概ね長卵圓形にして、時に彎曲す。朔柄は長さ6糎（2寸）に達し、朔蓋は嘴を有せず。〔分布〕北海道。

本屬の植物は、地上・岩上若しくは樹上等に生じ、兩性・雌雄異株又稀に同株なり。上葉は大きく或は花形をなし、葉細胞は圓形又は六邊形にして稀に長形をなす。朔は傾臥し、長卵圓形をなせるものなり。

8349. **ながばちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium japonicum, *Lindb.*

〔形態〕葉は菱狀倒卵形にして先端次第に尖り、1列に齒牙を有し、且つ緣は廣く、中肋は頂端に達せず。緣齒は毛狀をなす。朔は長橢圓形にして朔臺には氣孔を有するものなり。〔分布〕本州南部・四國・九州。

8350. **こばのちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium microphyllum, *D.* et *M.*（25圖版-235）

〔形態〕地上に自生する蘚類にして、莖は單一なるか、或は分枝して直立し、葉は線狀披針形にして先端銳く尖り、其尖頭部に鋸齒を具へ、中肋は短く伸出し、葉細胞は表裏兩面に突出して疣頭をなす。此葉は乾燥すれば稍內曲す。朔は卵形をなし、斜上乃至水平の位置をなし、朔柄は長さ3糎（1寸）許に達し、朔蓋は半球形をなす。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

〔圖解〕1. 全形（自然大）。2. 朔の縱大圖。3. 葉の縱大圖。

8351. **みやまちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium orthorrhynchum, *Brid.*

〔形態〕廣く世界各地の高山に分布する蘚類なり。葉は長卵形或は橢圓形にして先端尖り、緣邊中部以上に重鋸齒を有し、緣は赤色なり。中肋は赤色にして頂端に達し、背部に刺を具へ、葉細胞は平滑なり。朔は長橢圓形にして、朔蓋には嘴を伴ひ、朔齒は黃色を呈し、朔柄は長さ2·5糎（8分）許を有す。〔分布〕日本全土。

8352. **すぎばちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium radiatum, *Wils.*

〔形態〕葉は狹長橢圓形にして、稍下方に至るまで2列に疎鋸齒を具へ、緣を伴ひ、葉細胞には大なる乳頭を有す。〔分布〕本州中部・九州。

8353. **こちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium sapporense, *Besch.*

〔形態〕葉は卵狀橢圓形にして先端次第に尖り、緣を伴ひ、鋸齒は2列をなす。中肋は頂端に達するか或は伸出し、葉細胞は平滑なり。朔蓋には嘴なく、朔齒は黃色を呈するものなり。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

8354. **うちはちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium punctatum, (*L. Schreb.*)（25圖版-236）
Hedw.

〔形態〕林間の地上・朽木上等に自生する蘚類にして、全體に帶赤褐色を呈す。莖は直立すれども、嫩枝は匍匐す。葉は下部に生ずるものは小形、上部に生ずるものは大形にして、廣橢圓形或は倒卵狀橢圓形をなし、基脚狹く中肋は先端に達し、廣き緣廓を有し全邊なり。葉細胞は大きく、圓き六邊形をなし、肉眼にて點狀に見らるゝ位なり。朔は橢圓形にして水平乃至下垂し、朔柄は2-4糎（7-13分）許を有し、朔蓋は嘴を伴ふ。〔分布〕本邦全土。

8355. **こうちはちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium minutulum, *Besch.*

〔形態〕葉は緣を有し、廣圓狀匕形にして先端銳く尖り、全緣なり。中肋は中部以上に達し、葉細胞は大きく六邊形をなし、葉緣多く、下方にあるものは長くして透明なり。〔分布〕北海道・本州。

8356. **こつぼちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium trichomanes, *Mitt.*（25圖版-237）

（異名）こつぼごけ　〔形態〕地上に自生する蘚類なり。莖は單一にして直立すれども往々嫩枝を出し、地上に平臥・伸長することあり。葉は廣橢圓形或は長橢圓形なれども、稍倒卵狀長橢圓形をなし、先端尖り、此銳頭部は中肋の突出によりて銳尖となり、緣邊には5-6列の細長き細胞の緣廓を有し、又上半部には鋭鋸齒を具ふ。朔は卵狀長橢圓形にして下垂し、朔柄は長さ2糎（6分）許を有し、朔蓋は半球狀を呈す。〔分布〕日本全土。

〔圖解〕1. 全形（自然大）。2. 朔の縱大圖。3, 4. 葉の縱大圖。

8357. **むつでちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium speciosum, *Mitt.*（25圖版-238）

（異名）かしはばちゃうちんごけ　〔形態〕概形前種に似たれども、本種の枝葉は長橢圓狀披針形をなし、中肋は頂端又は伸出し、緣廓は4列、朔は長橢圓形をなし、短き朔臺を有するものなり。〔分布〕本州・四國。

8358. **へらちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium spathulatum, *Mitt.*（25圖版-239）

〔形態〕本種の葉は長橢圓狀卵形をなし、上方のものは廣橢圓狀篦形鈍頭をなし、緣廓は3列、緣邊に小齒を有す。中肋は少しく凸出し、葉細胞は上部のものは小形なり。朔は卵狀橢圓形をなし、朔蓋は短嘴を有す。〔分布〕本州・四國・九州・朝鮮。

8359. **とげばちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium decrescens, *Schmp.*

〔形態〕葉は5乃至6列せる緣を具へ、倒卵狀篦形にして、頂端には2箇の細胞より成れる透明なる刺狀齒牙を有し、中肋は頂端に達するか或は之に達せず。〔分布〕本州。

8360. **えぞちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium flagellare, *S.* et *L.*

〔形態〕本種は莖頂又は雌花葉等に纖枝を生ずる一種の蘚類なり。葉は緣を有し、長橢圓形・稍鈍頭にして、中央以下に至るまで2列に鋸齒を生ず。中肋は殆んど全長に達し、葉細胞には密に疣を伴ふ。朔は長橢圓形にして、朔柄は2糎（6分）內外の長さを有するものなり。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州各部・四國。

8361. **のこぎりちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium marginatum, (*Dicks.*) *Palis.*

〔形態〕雌雄同株なり。葉は卵形或は橢圓形にして先端尖り、中肋の背面には刺なく、緣邊の鋸齒は2列にして、緣は5列をなす。朔は長橢圓形にして蒴齒は赤褐色を呈し、朔臺は短く、朔柄は2-3糎（7-9分）內外の長さを有す。〔分布〕邦內。

8362. **つるちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium Maximowiczii, *Lindb.*

〔形態〕本邦に廣く分布する蘚類の一種なり。葉は緣を具へ、舌狀長橢圓形・凹頭にして、小胞狀の鋸齒を有し、葉細胞は上部に於て極めて小形なり。朔は卵狀橢圓形をなし、朔蓋には嘴を伴ひ、朔柄は4·5糎（1·5寸）內外の長さに達す。〔分布〕日本全土。

8363. **へりとりちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium Nakanishikii, *Br.*

〔形態〕葉は廣橢圓狀長橢圓形にして、凹頭又は突起を有し、緣邊に小胞狀の小鋸齒を有す。中肋は頂端近くまで達し、上部にある葉細胞は小形なり。緣は2列をなし、緣細胞の疎にして且つ大なるは本種の特徵なり。〔分布〕本州・四國・九州。

8364. **ほしがたちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium stellare, *Reich.*

〔形態〕葉は緣を有せず。廣橢圓形乃至橢圓形にして先端銳く尖り、緣邊の中部以上には短き鈍鋸齒を具へ、中肋は先端の近くまで達す。朔は橢圓形若しくは倒卵形にして、朔蓋には嘴なく、朔柄は長さ3·5糎（1·2寸）內外を有するものなり。〔分布〕北海道・本州各部。

8365. **まるばちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium subglobosum, *Br. eur.*

〔形態〕葉は倒卵形・圓頭にして全緣なり。中肋は先端近くに達し、緣は1-3列をなす。葉細胞は疎く、朔は倒卵形若しくは殆んど球狀廣橢圓形をなし、朔蓋には直嘴を伴ひ、朔柄は長さ5糎（1·7寸）內外に達するものなり。〔分布〕本州・朝鮮。

8366. **すぢちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium striatulum, *Mitt.*

〔形態〕枝葉は倒卵形にして短突起を具へ、全緣にして緣を有す。中肋は頂端の近くに達し、朔は長橢圓形をなせども、胞子を飛散して空虛になれば10數條の皺襞を生ず。朔蓋には嘴を有し、朔柄は細長なり。〔分布〕本州・四國・九州。

8367. **ひめちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium Thomsonii, *Sch.*

〔形態〕葉は狹長橢圓形にして緣を有す。中肋は赤色にして伸出し、緣邊には中央以下まで2列に鋸齒を具へ、葉細胞は平滑なり。朔齒は黃色を呈し、概形コチャウチンゴケに似たれども、彼の朔蓋に嘴を有せざるに比し、本種は之を有すると、且つ本種は肋背に刺を有するとは區別の要點なりとす。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

8368. **おほばちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium vesicatum, *Besch.*

〔形態〕葉は舌狀長橢圓形にして先端短く尖り、殆んど全緣なれども、只小胞狀の細胞によりて鋸齒狀をなし、緣は3-4列をなす。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

8369. **あつばちゃうちんごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium succulentum, *Mitt.*

〔形態〕ツルチャウチンゴケに類似せる一種なれども、彼に比するに、緣邊には鈍小鋸齒を有し、且つ上部の葉細胞は大にして厚からざる一種なり。〔分布〕本州・四國・九州。

8370. **つぼごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium cuspidatum, (*L.*) *Leyss.*

〔形態〕葉は緣を具へ、倒卵形又は橢圓形にして先端短く尖り、緣邊1列に鋸齒を有す。中肋は頂端に達するか或は先端近くに達し、葉細胞は小さくして厚し。朔は廣橢圓形又は倒卵形をなし、朔蓋には嘴を伴はず。氣孔は朔臺にのみ之を有し、朔柄は短形なり。〔分布〕北海道・本州各部・九州。

8371. **きだちつぼごけ** …… チャウチンゴケ科
Mnium arbusculum, *C. M.*

〔形態〕概形ツルチャウチンゴケに似たる蘚類にして、葉は緣を具へ、橢圓形・凹頭をなし、緣邊には1列の鋸齒を具へ、葉細胞は平滑なり。朔蓋には嘴なく、氣孔は朔臺にのみ存するは彼と異る所なりとす。〔分布〕本州各部・四國。

* * * * *

9. かさごけ科　BRYACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄異株・同株・兩性或は雜株にして、花は頂生す。雄花は芽狀・頭狀若しくは圓盤狀をなし、緣狀の線狀體を具ふ。莖は概ね帶圓五稜角を具へ、束を有す。葉は多列をなし、上部の細胞は菱形・六角形稀に線形或は鱷鱗形をなし、下部の細胞は長方形或は方形をなし、葉綠素は概ね夙に吸收せらる。中肋は背面に於て著しく隆起す。朔は傾斜或は壓垂し、時に直立をなし卵圓形・梨形若しくは棍棒狀稀に球形をなし、條線或は皺襞を缺く。朔柄は長く、多くは上部に於て鉤狀或は弓狀に彎曲し、朔臺及氣孔を有す。朔齒は2列或は1列をなし、稀に缺如す。朔蓋は陸起、或は短き圓錐形をなし、小頭稀に嘴を伴ふ。蘚帽は冠狀をなし、小形にして脫落或は稀に殘存す。

本科に屬する植物中、本邦に產するもの2亞科9屬あり。

本科所載植物索引目次

アカスヂゴケ……8392　ケヘチマゴケ……8398　ナシゴケ……8387
ウリゴケ……8388　コチャウチンマゴケ……8395　ヌマゴケ……8402
エゾウリゴケ……8391　シロガネマゴケ……8375　ヌマハリガネゴケ……8383
エゾハリガネゴケ……8385　シロゴケ……8375　ホソウリゴケ……8389
オホカラカサゴケ……8371　タカネハリガネゴケ……8376　ホソハリガネゴケ……8377
オホハリガネゴケ……8387　チシマハリガネゴケ……8384　ハリガネゴケ……8374
オホヘチマゴケ……8400　チヤウチンハリガネゴケ……8390　ヒメウリゴケ……8390
ツンセンゴケ……8393　ケ……8394　ヘチマゴケ……8396
カサゴケ……8372　チヤボハリガネゴケ……8380　ホソバゴケ……8405
カタハゴケ……8406　ツクシハリガネゴケ……8386　ホソヘチマゴケ……8399
キヘチマゴケ……8401　ツヤヘチマゴケ……8403　マルバハリガネゴケ……8382
クサヘチマゴケ……8404　ナガバハリガネゴケ……8379
クロハリガネゴケ……8378　ナガバヘチマゴケ……8397

1. かさごけ亞科　BRYEÆ.

本亞科に屬する植物の花は概ね主軸上に頂生す。

1. カサゴケ屬　RHODOBRYUM.

8372. **かさごけ**（26圖版-240）…… カサゴケ科
Rhodobryum roseum, (*Weis.*) *Limpr.*

〔形態〕地上・岩石上・樹上或は草葺屋根の上等に自生する蘚類にして、雌雄異株、稀に雜株をなす。莖は上昇し、地下に纖匍枝を具へ、下部のものは概ね小形にして鱗片狀をなし、上部のものは大きく花形に排列して筮狀をなし緣付けられ、上緣に鋸齒を有す。中肋は下部極めて廣くして、多くは先端に達せず。朔は橫臥或は壓垂し、短き朔臺を具へ、圓柱狀にして氣孔を有す。朔柄は稍長く紫色を呈し、朔蓋は隆起す。〔分布〕日本全土。

8373. **おほからかさごけ**（26圖版-241）…… カサゴケ科
Rhodobryum giganteum, (*Hook.*) *Par.*

〔形態〕地上或は朽木上に自生する蘚類なり。雌雄異株にして、莖は直立す。葉は莖頂に叢生し、全體に傘狀をなす。葉片は倒披針形をなし、先端銳く尖り、長さ1·5-2糎（5-7分）、幅4-5粍（1·4-1·7分）許に達し、上半部緣邊に銳き鋸齒を對生し、中肋は厚膜細胞群をなす。朔は長き筒狀をなして褐色を呈し、長柄を有す。〔分布〕本州・四國・九州・朝鮮。

〔圖解〕1. 全形（稍縮小）。2. 朔の縱大圖。3. 葉。

2. ハリガネゴケ屬　BRYUM.

8374. **はりがねごけ** …… カサゴケ科
Bryum capillare, *L.*

〔形態〕廣く世界の各地に分布する蘚類にして、雌雄異株なり。上葉は倒長卵形或は匕形にして、先端急縱毛狀をなし、頂に弱き鋸齒を具へ、緣邊に緣を伴ふ。中肋は先端近くまで達するか或は伸出し、朔は棍棒狀或は圓筒形をなし、朔柄は4糎（1·3寸）許に達す。〔分布〕本州・四・國九州。

本屬の植物は多く雌雄異株にして、地上・岩上又は樹上に生ず。緣を有するか或は之を缺き、葉細胞は菱形又は菱狀六邊形をなし、葉基にあるものは長方形にして、朔は傾臥し、朔臺を有す。

8375. **しろごけ**（26圖版-242）…… カサゴケ科
Bryum argenteum, *L.*

（異名）しろがねまごけ　〔形態〕地上・岩石上・樹皮上或は板塀等に自生する蘚類にして。雌雄異株に屬す。本種は全體に小形なれども。多數密生し。淡綠色乃至銀白色を呈するものなり。莖は短くして直立し。葉は覆瓦様に密生し。大いに凹み。下葉は卵形をなして先端尖り。突然透明をなせる尖端を具へ。上葉は楕圓形にして。次第に尖り。中肋は上部に於て消失す。蒴は楕圓形をなし下垂し。柄と共に赤色或は褐色を呈す。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・臺灣。

〔圖解〕1. 全形（自然大）。2. 蒴の廓大圖。3. 葉の廓大圖。

8376. たかねはりがねごけ …… カサゴケ科
Bryum alpinum, *Huds.*

〔形態〕本種も亦廣く世界の各地に分布する蘚類にして。全株6糎（2寸）許に達す。葉は楕圓狀披針形にして。頂端には不明瞭なる鋸齒を有し。中肋は頂端に達するか或は短く伸出す。蒴は倒卵形或は楕圓形にして點頭し。蒴柄は濁紫色を呈し。長さ2糎（6分）內外に達するものなり。〔分布〕朝鮮。

8377. ほそはりがねごけ …… カサゴケ科
Bryum caespiticum, *L.*

〔形態〕廣く世界に分布する蘚類なり。上葉は卵狀披針形又は楕圓狀披針形にして先端尖り。全緣又は不明なる鋸齒を具へ。中肋は伸出し。鉢は不明瞭なり。蒴は殆んど筒形にして。蒴柄は長さ3·5糎（1·2寸）內外を有するものなり。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・四國。

8378. くろはりがねごけ …… カサゴケ科
Bryum bicolor, *Dicks.*

〔形態〕葉は鉢を有せず。卵狀披針形・銳頭にして通常全緣なれども。時に不明瞭なる鋸齒を有し。下垂せず。中肋は頂端に達し刺狀に終る。蒴は黑赤色を呈し。蒴柄は短きものなり。〔分布〕本州。

8379. ながばはりがねごけ …… カサゴケ科
Bryum coronatum, *Schwgr.*

〔形態〕殆んど全世界に分布する蘚類なり。葉は長楕圓狀披針形にして長く。全緣にして中肋は伸出す。蒴は長楕圓形にして。蒴柄は紫色を呈し頗る長形なり。〔分布〕本州・四國・九州・臺灣。

8380. ちゃばはりがねごけ …… カサゴケ科
Bryum pallescens, *Schleich.*

〔形態〕雌雄同株なり。上葉は卵狀披針形をなし先端長く尖り。全緣にして鉢は3-5列をなす。中肋は伸出すれども。下葉にありては先端近くに達す。蒴は楕圓形或は棍棒狀梨形をなし。蒴柄は長さ3糎（1寸）內外に達す。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州。

8381. おほはりがねごけ …… カサゴケ科
Bryum ventricosum, *Dicks.*

〔形態〕全株3-10糎（1-3寸）內外に達する蘚類にして。廣く世界各地に自生す。上葉は廣き鉢を有し。楕圓形にして先端次第に尖り。下垂す。頂端には弱き鋸齒を有し。中肋は葉の先端に達するか。或は時に稍伸出す。蒴は長き蒴臺を具へ棍棒形を呈し。蒴柄は長さ8糎（2·7寸）許に達し。紫赤色を呈す。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

8382. まるばはりがねごけ …… カサゴケ科
Bryum rotundatum, *Broth.*

〔形態〕多く淺き流水中の岩石等に附着自生する蘚類の一種にして。葉には鉢を伴ふ。葉は稍圓形にして鈍圓頭をなし。全緣にして概ね下垂せず。中肋は先端に達す。〔分布〕北海道・本州。

8383. ぬまはりがねごけ …… カサゴケ科
Bryum Duvalii, *Voit.*

〔形態〕水濕の地に自生する蘚類にして。葉は卵形乃至卵狀披針形をなして短く。先端尖り全緣なり。中肋は頂端近くに達し。鉢を有するか或は之を缺く。蒴は赤色にして長さ6糎（2寸）許ある蒴柄を有し。倒卵形或は廣楕圓形をなす。〔分布〕本州。

8384. ちしまはりがねごけ …… カサゴケ科
Bryum Mayrii, *Broth.*

〔形態〕北地に生ずる蘚類にして。雌雄雜生なり。葉は黃色をなせる鉢を伴ひ。長楕圓形にして長き芒を具へ。葉脈亦芒狀をなし。葉の頂端に微鋸齒を有す。蒴は短き蒴柄を有し。短梨形をなす。〔分布〕千島・北海道。

8385. えぞはりがねごけ …… カサゴケ科
Bryum pallens, *Sw.*

〔形態〕全株3-4糎（1-1·3寸）內外の蘚類なり。葉は狹楕圓形若しくは倒長卵形にして。頂端に不明なる鋸齒を有し。中肋は剛毛狀をなして伸出し鉢は褐色を呈す。蒴は梨形をなし。蒴柄は長さ1-4糎（0·3-1·3寸）內外に達す。〔分布〕本州。

8386. つくしはりがねごけ …… カサゴケ科
Bryum Wichurae, *Broth.*

〔形態〕概形カサゴケに類似し。全株6糎（2寸）內外を有する蘚類にして。暖地に自生す。上葉は長楕圓狀箆形をなし。先端短く尖り。上緣邊に小鋸齒を有す。中肋は短き芒狀をなし。鉢は狹き多列の細胞より形成せらる。〔分布〕四國・九州・臺灣。

3. ナシゴケ屬　LEPTOBRYUM.

8387. なしごけ（26圖版-243） …… カサゴケ科
Leptobryum pyriforme, (*L.*) *Wils.*

〔形態〕地上に自生する蘚類にして。莖は直立し。下部の葉は小形にして披針形をなし。頂葉は大きくして長く尖る。細胞は長き線形をなし。基部に於ては方形をなす。中肋は極めて廣く先端下に達す。蒴は傾斜或は殆んど懸垂し。長き蒴臺を具へ梨形を呈し。光澤を帶び。氣孔を具ふ。蒴柄は頗る長く乾燥すれば捩る。纖毛は長き附屬物を具へ。蒴蓋は小さく小疣を有す。〔分布〕北海道・本州各部・四國。

4. ウリゴケ屬　BRACHYMENIUM.

8388. うりごけ …… カサゴケ科
Brachymenium clavulum, *Mitt.*

〔形態〕雌雄同株なり。葉は鉢を有し。長卵狀披針形或は廣楕圓狀披針形全緣にして。中肋は殆んど頂端に達するか。或は毛狀をなして伸出す。蒴は長楕圓狀廣楕圓形をなし。蒴柄の方に次第に狹尖となれるものなり。〔分布〕本州。

本屬の植物は。雌雄異株或は同株にして。地上又は樹上に自生す。蒴は整齊にして外齒は白色を呈すれども。上部は無色にして。蒴柄は概ね長く。直立するものなり。

8389. ほそうりごけ …… カサゴケ科
Brachymenium exile, *Doz.* et *Molk.*

〔形態〕暖地に生ずる蘚類にして。雌雄異株なり。葉は卵形・全緣にして。凸頭部に齒牙を有し。中肋は綠色にして伸出す。蒴は卵狀壺形をなし。鉢は不明なり。〔分布〕臺灣。

8390. ひめうりごけ …… カサゴケ科
Brachymenium Weisiae, (*Hook.*) *Harv.*

〔形態〕前種ホソウリゴケに似たる蘚類なり。葉は披針狀錐形にして。全緣に强き鋸齒を有し。蒴は短き蒴臺を具へ。卵形にして蒴柄亦短き一種なり。〔分布〕本州。

8391. えぞうりごけ …… カサゴケ科
Brachymenium Nordenskiordii, *Besch.*

〔形態〕葉は卵形にして凸頭をなし。鋸齒を具ふ。中肋は赤色を呈し。頂端に伸出す。鉢は2列にして。蒴は倒卵狀梨形をなせる種類なり。〔分布〕日本全土。

5. アカスヂゴケ屬　EPIPTERYGIUM.

8392. あかすぢごけ …… カサゴケ科
Epipterygium nagasakense, *Broth.*

〔形態〕葉は廣楕圓形又は長楕圓形にして。先端微に尖り。上緣鋸齒を有す。中肋は中央又は頂端近くに達し。鉢は5列をなす。蒴は廣楕圓形にして。蒴臺は蒴と稍同長なり。〔分布〕九州。

本屬の植物は。地上に生ずる1糎（3分）許を有する小蘚類にして。雌雄異株なり。葉は側列と背列の2形を有し。葉緣は極めて狹長にして。多列せる鉢を有し。中肋は赤色を呈す。葉細胞は疎にして。長菱形若しくは六邊形をなし。蒴は卵圓形にして短き蒴臺を具へ。蒴柄は赤色にして長し。

8393. をんせんごけ …… カサゴケ科
Epipterygium thermale, (*Besch.*) *Broth.*

〔形態〕葉は卵形にして先端次第に狹り。鈍頭をなし。全緣にして鉢を有せず。蒴は梨形をなす。〔分布〕本州。

PL. 25.

228 たまごけ

229 さはごけ

230 ひめさはごけ

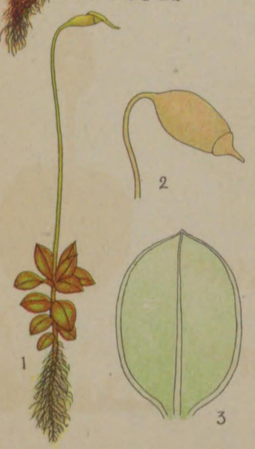
231 ながみの
ちやうちんごけ

232 ひのきごけ

233 たちちやうちんごけ

234 ちやうちんごけ

235 こばのちやうちんごけ


236 うちはちやうちんごけ

237 こつぼちやうちんごけ

238 むつでちやうちんごけ

239 へらちやうちんごけ

PL. 26.

240 かさごけ

241 おほからかさごけ

242 しろごけ

243 なしごけ

244 へちまごけ

245 ひかりごけ

246 まるだいごけ

247 へうたんごけ

248 あぜごけ

249 ちぢれきんまうごけ

250 おほみごけ

251 みのごけ

6. チャウチンマゴケ屬　MNIOBRYUM.

8394. ちゃうちんはりがねごけ …… カサゴケ科
Mniobryum albicans, (*Wahl.*) *Limpr.*

〔形態〕廣く全世界に分布する蘚類にして、全株2-8糎(7-2-7寸)內外を有す。葉は橢圓形にして廣く先端尖り、頂端離れて鋸齒を有し、中肋は葉の中央以上に達す。蒴は殆んど直立せる蒴臺を具へ、廣橢圓形をなし、蒴柄は長さ4糎(1-3寸)內外を有するものなり。〔分布〕本州・四國・九州。

本屬の植物は地上に自生し、雌雄異株なり。莖は赤色を呈し、葉は概ね披針形又は披針狀線形をなし、葉細胞は疎なり。蒴は短き梨形をなし口廣く、概ね下垂し、陷沒氣孔を有す。

8395. こちゃうちんまごけ …… カサゴケ科
Mniobryum columbicum, (*Kindb.*) *Broth.*

〔形態〕小形なる蘚類なり。葉は長橢圓狀披針形にして先端短く、且つ鋭く尖り、鋸齒を具へ、中肋は頂端に達す。蒴は短く廣橢圓形をなし、蒴臺は長く、蒴柄亦長く2-5糎(8分)以上に達するものなり。〔分布〕本州各部。

7. ヘチマゴケ屬　POHLIA.

8396. **へちまごけ** (26圖版-244) …… カサゴケ科
Pohlia nutans, (*Schreb.*)

〔形態〕地上・岩石上・樹上等に自生する蘚類にして、雌雄同株なり。全株綠色・黃綠色、稀に赤色を呈し、往々絹樣の光澤を帶ぶ。莖は概ね赤く、葉は披針形或は線狀披針形をなし、先端に鋸齒を具へ、中肋は頂端に達せず。蒴は傾斜若しくは懸垂し、倒卵形或は棍棒狀をなし、蒴臺を伴ひ、氣孔を有す。蒴柄は長く、乾燥すれば捩れ、上部は鉤狀或は弓狀に彎曲す。纖毛は稀に缺如し、附屬物を有せず。蒴蓋は概ね圓錐形にして疣狀或は小頭をなす。

〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・四國・九州。

8397. ながへちまごけ …… カサゴケ科
Pohlia elongata, *Hedw.*

〔形態〕岩上又は高山等に自生する蘚類なり。枝葉は狹線狀披針形にして、先端鋭く鋭鋸齒を有し、中肋は短く伸出す。蒴は稍同長の蒴臺を有し棍棒狀にして、蒴柄は長さ4糎(1-3寸)以上に達す。〔分布〕北海道・本州各部・四國。

8398. けへちまごけ …… カサゴケ科
Pohlia scabridens, (*Mitt.*)

〔形態〕葉は披針形にして先端鋭く尖り、頂緣には小鋸齒を有し、中肋は先端に達す。蒴柄は赤色にして長く、蒴は橢圓狀廣橢圓形をなす。

〔分布〕本州・四國・九州・・臺灣。

8399. ほそへちまごけ …… カサゴケ科
Pohlia gracillima, *Card.*

〔形態〕高山に自生する纖長なる蘚類にして、莖は絲狀をなす。葉は披針形にして次第に細く尖り、全緣にして、中肋は全長若しくは伸出するものなり。〔分布〕本州各部。

8400. おほへちまごけ …… カサゴケ科
Pohlia revolvens, *Card.*

〔形態〕本種も亦高山に自生する蘚類にして、概形マキハミスゴケに近似す。葉は彼に比して一層狹長なる線狀披針形をなし、葉緣は上方に至るまで狹く反捲し、頂緣には鋸齒を有す。中肋は葉の頂端に達するか或は之に達せざるものなり。〔分布〕本州各部。

8401. きへちまごけ …… カサゴケ科
Pohlia flavescens, *Card.*

〔形態〕四國劍山に自生する蘚類にして、ユワウザシゴケに似たれども、莖高く2-5-3糎(7-5-9寸)內外に達す。葉は狹披針形にして、葉細胞は線形をなす。〔分布〕四國。

8402. ぬまごけ …… カサゴケ科
Pohlia longicollis, (*Sw.*)

〔形態〕高山に生ずる蘚類にして、全株5糎(1-7寸)內外に達し、雌雄同株なり。葉は廣卵狀披針形にして、中部緣邊の上部に鋸齒を有し、中肋は先端近くに達す。蒴は長橢圓形にして、之より稍短き蒴臺を具へ、蒴柄は長さ4糎(1-3寸)內外に達す。〔分布〕本州各部。

8403. つやへちまごけ …… カサゴケ科
Pohlia cruda, (*L.*) *Ldb.*

〔形態〕廣く全世界に分布する蘚類にして、全株2-5糎(0-7-1-7寸)內外に達す。上葉は狹披針形にして長く尖り、頂端に離れて鋭鋸齒を具へ、中肋は先端近くに達し、下葉は全緣なり。蒴は廣橢圓形にして短き蒴臺を具へ、蒴柄は長さ3糎(1寸)許の長さを有す。〔分布〕北海道・本州。

8404. くさへちまごけ …… カサゴケ科
Pohlia annotina, (*Hedw.*)

〔形態〕四國石槌山に自生する全株2糎(6分)內外の蘚類にして、上葉は線狀披針形をなし先端鋭く尖り、頂緣に鋸齒を有す。中肋は赤色にして頂端に達するか、或は頂端近くに達す。蒴は長き棍棒狀の蒴臺を具へ、長橢圓形にして、蒴柄は4糎(1-3寸)內外の長さを有す。本植物は雌芽を多く生ずるものなり。〔分布〕四國。

2. ほそばごけ亞科　MIELICHHOFERIEÆ.

本亞科に屬する植物の花は、概ね側面の短苗上に生ず。

8. ホソバゴケ屬　MIELECHHOFERIA.

8405. ほそばごけ …… カサゴケ科
Mielechhoferia japonica, *Besch.*

〔形態〕山地の地上又は岩上に生ずる蘚類なり。葉は狹線狀披針形にして先端尖り、全緣なり。葉細胞は長菱形又は線形をなし、基脚にある細胞は疎にして短長形又は方形をなす。蒴は直立性にして線條を伴ふ。

〔分布〕北海道。

8406. かたはごけ …… カサゴケ科
Mielechhoferia Fauriei, *Broth.*

〔形態〕高山性の蘚類なり。葉は線狀披針形をなして先端次第に尖り、頂緣に小齒牙を有し、中肋は頂端に達す。蒴は蒴臺を具へ、長橢圓狀棍棒形をなし、蒴柄は2-5糎(7-5分)內外の長さに達し直立す。〔分布〕本州中部。

* * * * *

10. ひかりごけ科
SCHISTOSTEGACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄異株にして全體小形なり。岩穴內の光線の少き所に生育し、光線を反射し、恰も其者が發光する如く見ゆ。蒴は殆んど球形をなし、蒴柄は直立し蒴齒を缺く。

本科に屬する植物中、本邦に產するものは僅に1屬、1種に過ぎず。

1. ヒカリゴケ屬　SCHISTOSTEGA.

8407. **ひかりごけ** (26圖版-245) …… ヒカリゴケ科
Schistostega osumundacea, (*Dicks.*) *Mohr.*

〔形態〕光線の達せざる洞穴等の地上、稀には普通の地上に自生する蘚類にして、雌雄異株なり。極めて小なるものにして、概ね絲狀體を伴ふ。此絲狀體は能く入射光線を屈折反射するにより、光を發する如く見ゆるものなり。莖は單一にして直立し、葉は2列をなして縱に莖上に着生し、基脚に於て相互接着するもの多し。蒴は殆んど球形をなし、蒴柄は長く直出し、蒴蓋は圓笠形をなす。〔分布〕北海道・本州。

〔圖解〕1. 全形(自然大)。2. 雄本莖大圖。3. 帽を脫せる蒴莖大圖。4. 帽を被れる蒴莖大圖。

* * * * *

11. まるだいごけ科 SPLACHNACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄同株稀に僞同株にして、葉は長披針形若しくは倒卵圓形或は楕圓狀錐形をなし、頂生葉の腋には棍棒狀をなせる紫色の毛を生ず。葉細胞は方形又は六邊形なり。莖は直立し、蒴臺は著しく着色し、大なる氣孔を具へ、成熟後倒卵狀圓錐形或は梨形となる。蒴蓋は鈍頭を有し、概ね脫落し、蘚帽は小さくして側裂す。

本科に屬する植物中、本邦に自生するもの2屬あり。

1. マルダイゴケ屬 TETRAPLODON.

8408. **まるだいごけ** (26圖版-246) ……マルダイゴケ科
Tetraplodon angustatus, (*L. Suv.*) *Br. eur.*

〔形態〕寒地の高山に自生する蘚類にして、葉は楕圓狀錐形をなし、上半に疎齒を具ふ。中肋は錐形の頂に消失す。蒴は直立し、蒴臺は成熟後成長して倒卵狀をなし、赤褐色若しくは黑赤色を呈するに至る。〔分布〕北海道・本州。〔圖解〕1. 全形(自然大)。2. 全形廓大圖。

本屬の植物は、地上殊に好んで動物性排泄物の上に生ずる蘚類にして、雌雄同株なり。

8409. **はなしまるだいごけ** ……マルダイゴケ科
Tetraplodon bryoides, (*Zoeg.*) *Lindb.*

〔形態〕高山に自生する蘚類にして、雌雄同株なり。葉は倒卵形にして先端急遽錐狀に彎曲し、黃色を呈し全緣なり。中肋は强剛にして錐形の頂端に達し、蒴柄は長さ1-3糎(3-9分)內外に達す。〔分布〕北海道・本州。

2. ユリゴケ屬 TAYLORIA.

8410. **ゆりごけ** ……マルダイゴケ科
Tayloria argutidens, *B. Y.*

〔形態〕八ケ岳・下野國等に自生する蘚類にして、雌雄異株なり。全株15糎(5寸)內外に達し、葉には鋸齒を伴ひ、基脚急激に楕圓形或は倒卵形をなす。蒴は下部に膨大部を缺き、蒴蓋は圓錐形又は半球形をなす。

〔分布〕本州中部。

12. へうたんごけ科 FUNARIACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄同株或は兩性稀に異株にして、花は頂生し、雄花は棍棒狀の線狀體を具へ、雌花は之を缺く。莖は概ね叢束を有し、葉は幅廣く、下部の細胞は長方形をなし、上部のものは六角形並に菱形を呈す。中肋は稀に突出し或は缺如す。蒴は整齊にして球形若しくは梨形を呈し、時に彎曲し、概ね蒴臺を具ふ。蒴柄は稀に極めて短く、多くは赤色にして扭捩す。蒴蓋は平たくして往々軸柱に附着し、時に分化せず。蘚帽は平滑にして屢ば長喙を具へ、基部に於て分裂するか或は側裂し、稀に成熟期まで蒴を被へることあり。

本科に屬する植物中、本邦に産するもの2屬あり。

本科所載植物名目次

アゼゴケ……8419　タチヘウタンゴケ……8412　ヤマトヘウタンゴケ…8413
コツリガネゴケ……8416　ツリガネゴケ……8415　リウキウヘウタンゴケ8414
シメリヘウタンゴケ…8411　ヒメヒロクチゴケ……8418　……
タイワンヒロクチゴケ8417　ヘウタンゴケ……8411　……

1. ヘウタンゴケ屬 FUNARIA.

8411. **へうたんごけ** (26圖版-247) ……ヘウタンゴケ科
Funaria hygrometrica, (*L.*) *Sibth.*

(異名) しめりへうたんごけ　〔形態〕地上に自生する蘚類にして、莖は短く通常單一なり。葉は大なるものは莖頂に密生して展開し、乾燥すれば當狀に集合す。葉身は卵狀披針形又は倒長卵形をなし、先端尖り、全緣なるか或は上部に鋸齒を具へ、中肋は葉の先端に達す。蒴は洋梨形をなし、傾斜乃至下垂し、蒴柄は4-10糎(1·3-3·3寸)許に達し、蒴蓋は扁圓錐形をなす。〔分布〕日本全土。

〔圖解〕1. 全形(自然大)。2.3. 葉の廓大圖。4. 蒴の廓大圖。

8412. **たちへうたんごけ** ……ヘウタンゴケ科
Funaria calvescens, *Schwgr.*

〔形態〕前種ヘウタンゴケと同じく、廣く世界各地に分布する蘚類にして外形彼に酷似すれども、蒴は彼の洋梨形にして傾斜せるに比するに、狹長形にして殆んど直立し、蒴蓋は極めて大きく、且つ蒴柄亦長きものなり。葉は披針形・全緣にして甚だく、中肋は頂端に達す。〔分布〕日本全土。

8413. **やまとへうたんごけ** ……ヘウタンゴケ科
Funaria japonica, *Broth.*

〔形態〕葉は長楕圓狀倒卵形にして凸頭をなし、同色の緣を伴ひ、葉緣の中部以上に鋸齒を有し、中肋は葉の先端に達せず。蒴は洋梨形をなして直立し、蒴柄は1糎(3分)內外の長さを有するものなり。〔分布〕九州。

8414. **りうきうへうたんごけ** ……ヘウタンゴケ科
Funaria lutschiana, *Broth.*

〔形態〕葉は倒卵狀匕形をなして短く、先端大笠に尖り、葉緣の上部には小鋸齒を有す。中肋は黃色にして葉の先端近くに達し、紘亦黃色なり。蒴は廣楕圓形にして、蒴柄は1糎(3分)以上に達す。〔分布〕九州(大島)。

2. ツリガネゴケ屬 PHYSCOMITRIUM.

8415. **つりがねごけ** ……ヘウタンゴケ科
Physcomitrium Savatieri, *Besch.*

〔形態〕山地に自生多き蘚類なり。葉は長楕圓狀披針形にして、概ね頂緣に鋸齒を有し、中肋は葉の頂端に達するか或は伸出し、紘は殆んど色彩を有せず。〔分布〕本州各部。

本屬の植物は、多く地上に産し、葉は倒卵形・卵狀披針形又は披針形等多樣にして、細胞は疎なり。蒴は概ね直立して短蒴臺を有し、蒴齒は之を缺き蘚帽には長喙を具へ分裂するものなり。

8416. **こつりがねごけ** ……ヘウタンゴケ科
Physcomitrium japonicum, (*Hedw.*)

〔形態〕全株8粍(2·5分)內外の小蘚類なり。葉は前種ツリガネゴケに類似すれども、彼に比するに、本種の葉は先端尖り殆んど全緣にして、彼の紘の無色なるに比し黃色を呈し、中肋は赤色・凸頭をなす。蒴は半球形をなし、乾燥すれば口下に狹まり、蒴柄は2糎(6分)內外の長さを有す。

〔分布〕本州・四國。

8417. **たいわんひろくちごけ** ……ヘウタンゴケ科
Physcomitrium subeurystomum, *Card.*

〔形態〕臺灣に自生する極めて小形なる蘚類にして、全株漸く2·5粍(7·5厘)內外に達す。葉は篦形にして先端短く尖り、基脚長卵形又は卵形をなし、通常全緣なれども亦往々疎鋸齒を有し、中肋は頂端に達す。蒴は球形にして、蒴柄は5-8粍(1·7-2·7分)內外の長さを有し、白赤色を呈す。

〔分布〕臺灣。

8418. **ひめひろくちごけ** ……ヘウタンゴケ科
Physcomitrium eurystomoides, *Card.*

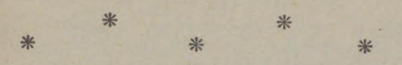
〔形態〕本種も亦全株漸く5粍(1·7分)內外の小蘚類なり。葉は長楕圓形にして短く尖り、全緣なれども、葉細胞の突出により鋸齒狀をなし、中肋は頂端に達す。蒴柄亦短く、長さ漸く3粍(1分)內外に過ぎざるものなり。

〔分布〕本州・九州・朝鮮

8419. **あぜごけ** (26圖版-248) ……ヘウタンゴケ科
Physcomitrium sphaericum, (*Ludw.*) *Brid.*

〔形態〕各地に自生する小形の蘚類にして、全株4粍(1·3寸)許に達す。上葉は大きく楕圓狀篦形にして、先端銳く尖り、全緣なるか或は不明瞭なる鈍鋸齒を有し、中肋は先端に達せず。蒴柄は5糎(1·6分)許の長さを有し、蒴は直立・整齊にして殆んど短梨形をなし、蘚帽は長喙を具へ、基部に於て分裂し、脫落し易きものなり。〔分布〕本州・四國・九州・臺灣。

〔圖解〕1. 全形(自然大)。2. 全形廓大圖。3. 蘚帽廓大圖。



13. たちひだごけ科 ORTHOTRICHACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄異株或は同株稀に雜種或は兩性にして、莖は概ね叢束を缺き、上昇或は直立若しくは匍匐す。葉は披針形又は長舌形或は線形をなし、全邊なるか稀に上部に鋸齒を有し、多くは緣邊卷旋し、兩面に乳頭を具ふるか或は平滑なり。葉細胞は上方にありては、帶圓方形或は帶圓六角形をなし、葉綠素に富み、下方にありては長方形或は長形、若しくは線形にして透明なり。中肋は完全なるか或は葉の先端に達せず、時に刺端若しくは毛端に終る。蒴は卵圓形・倒卵形或は梨形・圓柱形をなし、平滑なるか或は線條を具へ、蒴臺を伴ひ、蒴柄は概ね頂生す。蒴齒は稀に缺如し、多くは2列をなす。蒴蓋は長嘴を有し、蘚帽は冠狀若しくは鐘狀をなし平滑なるか、縱襞或は毛を具ふ。

本科に屬する植物中、本邦に産するもの2屬あり。

本科所載植物名目次

イハミノゴケ……8435　キンマウゴケ……8422　ハヒキンマウゴケ……8426
エゾキンマウゴケ……8425　コキンマウゴケ……8424　ヒメミノゴケ……8433
オホヒメミノゴケ……8434　タチヒダゴケ……8421　ホソミノゴケ……8431
オホミゴケ……8428　タチヒダゴケ……8420　マキノミノゴケ……8430
カギバダンツウゴケ…8429　チヂレキンマウゴケ…8423　ミノゴケ……8429
カラフトキンマウゴケ8427　ナガミノゴケ……8432　……

1. タチヒダゴケ屬 ORTHOTRICHUM.

8420. **たちひだごけ** ……タチヒダゴケ科
Orthotrichum fastigiatum, *Bruch.*

〔形態〕葉は廣楕圓狀披針形にして、中肋は頂端に達し、基細胞は線形をなし、蒴は楕圓形なり。〔分布〕本州。

本屬の植物は、樹皮又は岩上に生じ、雌雄同株又は異株なり。葉には紘なく、中肋は短形にして葉身は捲縮せず。基脚細胞は長形・透明なれども、緣細胞は短し。蒴は8乃至16條の線條を具へ、蘚帽に皺襞を有するものなり

8421. **たちばひだごけ** ……タチヒダゴケ科
Orthotrichum erectidens, *Card.*

〔形態〕前種タチヒダゴケに酷似せる蘚類なり。蒴は稍突出せる黃色の線條を有し、倒卵形にして概ね沈在し、氣孔は水平、蘚齒は直立し、蘚帽には毛茸を有する種類なり。〔分布〕本州。

2. キンマウゴケ屬 ULOTA.

8422. **きんまうごけ** ……タチヒダゴケ科
Ulota nipponenense, *Besch.*

〔形態〕主に樹上に生ずる蘚類にして、葉は披針形或は線形をなし、先端鈍く尖り、基脚稍廣し。中肋は葉の先端近くに達し、紘は10列に達せず。蒴齒の間毛は8箇を有し、概形コキンマウゴケに近似す。〔分布〕北海道・本州各部・四國。

8423. **ちぢれきんまうごけ** (26圖版-249) タチヒダゴケ科
Ulota crisp…, *Bruch.*

〔形態〕暖地の樹上又は岩石上に自生する蘚類にして、莖は往々匍匐し毛茸を密生す。葉は短卵狀乃至楕圓狀狹披針形にして龍骨狀をなし、乾燥すれば捲縮するの性あり。中肋は葉の先端近くに達す。蒴柄は長く、蒴は廣楕圓形又は短楕圓形をなして直立し、8條の縱條を具へ、基脚分裂して概ね彎曲し、且つ光澤ある黃金色の長毛を密生するものなり。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

〔圖解〕1. 全形(自然大)。2. 全形廓大圖。

8424. **こきんまうごけ** ……タチヒダゴケ科
Ulota intermedia, *Sch.*

〔形態〕キンマウゴケに近似せる蘚類なり。葉は短卵形又は楕圓狀長披針形にして先端尖り、乾燥すれば捲縮し、中肋は頂端近くに達す。紘には10乃至多數の細胞列を有し、蒴齒の間毛は16を數ふ。蒴は楕圓形にして短き蒴臺を具へ、蒴柄は稍長く4粍(1·3分)內外を有するものなり。

〔分布〕樺太・北海道・本州・四國。

8425. **えぞきんまうごけ** ……タチヒダゴケ科
Ulota japonica, (*S. et L.*) *Mitt.*

〔形態〕北地に生ずる蘚類にして、葉は乾燥するも殆んど扭捩せず。蒴齒の間毛は8箇を有し、葉細胞は2排列をなすを以て他種と區別せらる。

〔分布〕北海道。

8426. **はひきんまうごけ** ……タチヒダゴケ科
Ulota reptans, *Mitt.*

〔形態〕主に岩上に生じ、全株2糎(6分)內外を有する蘚類にして、雌雄異株なり。葉は楕圓狀披針形にして先端大笠に尖り、基脚圓形をなし、中肋は全長に達す。中肋に近き葉細胞は長楕圓形をなし、緣細胞は1列にして狹く、紘は透明なり。葉は乾燥するも捲縮せず。蒴は狹楕圓形にして、蒴柄は3粍(1分)內外を有す。〔分布〕本州。

8427. **からふときんまうごけ** ……タチヒダゴケ科
Ulota ulophylla, *Ehrh.*

〔形態〕北地に於ける樹上に生ずる蘚類なり。葉は狹線狀披針形にして、基脚急に倒卵狀又は廣卵狀をなし、中肋は葉の先端に達せず。紘は10乃至多列をなす。蒴は長き蒴臺を具へ、楕圓形にして、蒴齒の間毛は8箇を有し蒴柄は5粍(1·7分)許の長さを有す。〔分布〕樺太・千島。

3. オホミゴケ屬 DRUMMONDIA.

8428. **おほみごけ** (26圖版-250) ……タチヒダゴケ科
Drummondia clavellata, *Hook.*

〔形態〕樹上又稀に岩上に生ずる蘚類にして、莖は匍匐性を有し、稍褐色毛茸を生ず。葉は卵狀披針形にして、先端銳く尖り全緣なり。葉細胞は全部圓狀多角形にして葉綠に富む。蒴は直立性を有し、蒴齒は單列、胞子は頗る大きく平滑なり。〔分布〕本州・四國。

〔圖解〕1. 全形(自然大)。2. 蒴齒及胞子の廓大圖。

4. ミノゴケ屬 MACROMITRIUM.

8429. **みのごけ** (26圖版-251) ……タチヒダゴケ科
Macromitrium incurvum, (*Ldb.*) *Par.*

(異名) かぎばだんつうごけ　〔形態〕樹上・岩石上等に自生する蘚類にして、雌雄同株なり。全體暗褐綠色を呈し芝狀をなす。莖は匍匐し、枝は直立或は傾斜す。葉は長楕圓狀披針形をなし、先端は圓狀鈍頭にして鉤狀に內曲す。葉細胞は圓くして小さく、中肋は短く伸出す。蒴は長楕圓形にして、蒴柄は5-7糎(1·7-2·5分)許に達し、蘚帽には多くの毛を有す。

〔分布〕日本全土。〔圖解〕1. 全形(自然大)。2. 一枝の廓大圖。

8430. **まきのみのごけ** ……タチヒダゴケ科
Macromitrium Makinoi, (*Broth.*) *Par.*

〔形態〕葉は長き舌狀にして先端圓く、鈍頭をなし全緣なり。中肋は帶赤色を呈して先端近くに達し、上部葉細胞には乳頭を具へ、紘は1列なり。ミノゴケ・ヤマトミノゴケによく相似たれども、本種の蒴は廣楕圓形にして小さく、且つ蒴柄は短く、2-3粍(0·7-1分)に及ばざるを以て識別することを得べし。〔分布〕本州・四國・九州・臺灣・朝鮮。

8431. **ほそみのごけ** ……タチヒダゴケ科
Macromitrium Okamurae, *Broth.*

〔形態〕極めて纖長にして疎なる蘚類なり。葉は披針形にして短く尖り、中肋は殆んど葉の先端に及び、葉細胞には乳頭を有す。蒴は楕圓形にして蘚帽には多くの毛茸を生じ、蒴柄は長さ3粍(1分)許を有するものなり。

〔分布〕本州。

8432. **ながみのごけ** ……タチヒダゴケ科
Macromitrium prolongatum, *Mitt.*

〔形態〕岩上又は樹上に疎生する蘚類なり。葉は線狀披針形にして先端鋭く尖り。中肋は全長なり。雌花葉は長披針形にして先端次第に尖り。蒴は廣橢圓形にして。蒴柄は長さ2粍(6厘)內外を有す。本種の葉は乾燥すれば波狀をなして捲曲するものなり。〔分布〕本州。

8433. **ひめみのごけ** …… タチヒダゴケ科
Macromitrium gymnostomum, *Sull.* et *Lesq.*

〔形態〕廣く邦內各地に自生する蘚類なり。葉は殆んど線狀にして。先端極めて鋭く尖り。全緣なり。中肋は頂端に達し。蒴は球形若しくは圓筒形をなして直立し。蒴齒なく。蘚帽には毛茸を生ぜざるものなり。〔分布〕日本全土。

8434. **おほひめみのごけ** …… タチヒダゴケ科
Macromitrium gymnostomum, *Sull.* et *Lesq.* var. robustum, *Broth.*

〔形態〕前種ヒメミノゴケの一變種にして。主に土佐國附近に自生す。彼に比するに全株粗大にして葉は廣く。蒴亦大きく。蒴柄は長さ1-2粍(3-5分)內外に達するものなり。〔分布〕四國。

8435. **いはみのごけ** …… タチヒダゴケ科
Macromitrium rupestre, *Mitt.*

〔形態〕暖國の岩石上に自生する蘚類にして。葉は乾燥すれば巴狀を呈す。葉身は舌狀披針形・鈍頭にして。中肋は葉端に達し。上葉は先端稍尖る。蒴は廣橢圓形をなし。蒴齒を缺き。蘚帽には毛茸を生ぜず。蒴柄は長さ5粍(1-7分)內外を有す。〔分布〕四國・九州。

* * * * * *

14. ちぢれごけ科 PTYCHOMITRIACEÆ.

本科に屬する植物は雌雄同株に屬し。全株光澤を缺き。雌花は頂生し。莖は概ね短くして同長の枝を分岐す。葉は乾燥すれば卷き。或は縮れ。頂部は全緣なるか或は鋸齒を有し。中肋は完全なるか或は先端に達せず。蒴柄は稍長く。往々周苞內に數箇を具ふ。蒴は整齊にして直立し。概ね卵圓形若しくは長橢圓形をなし氣孔を具へ。蒴蓋は長嘴を伴ひ。蘚帽は鐘狀にして縱襞を具へ。基脚部は裂け。蒴の半ば或は稀に全長に達す。
本科に屬する植物中。本邦に産するもの2屬あり。

1. チヂレゴケ屬 PTYCHOMITRIUM.

8436. **ちぢれごけ** …… チヂレゴケ科
Ptychomitrium sinense, (*Mitt.*) *Jaeg.*

〔形態〕岩上又は稀に樹上に生ずる蘚類なり。葉は廣橢圓狀披針形・全緣にして。先端稍鈍き銳尖頭をなし。中肋は頂端に達す。蒴は長き蒴柄を有し。圓筒形をなす。〔分布〕本州・四國・九州。

本屬の植物は。通常岩上稀に樹上に自生する蘚類にして。雌雄同株なり。葉は披針形にして。乾燥すれば捲縮し。雌花葉は葉と異らず。

8437. **ひだごけ** …… チヂレゴケ科
Ptychomitrium Fauriei, *Besch.*

〔形態〕葉は卵狀披針形にして。中緣より上部には鋸齒を具へ。中肋は先端に達す。蒴は長き卵形をなし。長き蘚帽を伴ひ。蒴柄は紫色にして長さ1粍(3分)內外を有するものなり。〔分布〕本州・九州。

8438. **こばのひだごけ** …… チヂレゴケ科
Ptychomitrium brevidens, (*Br.*) *Par.*

〔形態〕葉は廣橢圓狀披針形にして。稍鈍頭をなし。上緣に鋸齒を具へ。中肋は葉の頂端に達す。蒴は長橢圓形にして蒴齒は短く。且つ3裂し。蒴柄は5粍(1-7分)內外の長さを有するものなり。〔分布〕九州。

2. サヤゴケ屬 GLYPHOMITRIUM.

8439. **さやごけ** (27圖版-252) …… チヂレゴケ科
Glyphomitrium humillimum, (*Mitt.*) *Card.*

〔形態〕暖地の樹皮に着生する小形の蘚類にして。雌雄同株なり。莖は匍匐し。褐色の毛茸を密生す。葉は狹披針形・全緣にして先端次第に尖り。中肋は先端近くに達するか或は短く伸出し。緣邊稍卷曲す。葉細胞は小形にして圓く。蒴は短廣橢圓形をなし直立・平滑なり。蒴蓋は嘴を伴ひ。蘚帽は鐘狀をなして縱襞を具へ蒴を覆ふ。周苞は頗る長く鞘狀をなし。蒴柄の全部を包み。蒴柄は長さ2粍(7厘)內外を有す。〔分布〕本州・四國・九州。

〔圖解〕1. 自然大。2. 全形廓大圖。3. 蘚帽廓大圖。

8440. **ちゃぼさやごけ** …… チヂレゴケ科
Glyphomitrium minutissimum, (*Okm.*) *Broth.*

〔形態〕サヤゴケに近似せる蘚類にして。雌雄同株なり。葉は彼に比するに一層狹き線狀披針形・全緣にして。中肋は葉の先端に達す。葉細胞は大きく圓六邊形をなし。翼細胞は方形をなす。雌花葉は概ね蒴柄の全部を包被し。蘚帽は蒴を覆ふ。〔分布〕本州。

* * * * * *

15. ぎばうしごけ科 GRIMMIACEÆ.

本科に屬する植物は雌雄同株或は異株にして。岩石面上に自生し。葉狀體は概ね暗綠色或は黑色を呈す。莖は往々導束を缺く。葉は多くは披針形にして上部及び緣邊に在ては屢ば2層乃至多層の細胞より成り。上部の細胞は帶圓方形をなし。下部の細胞は概ね透明にして長方形若しくは長形を呈するか。稀には全部線形をなすものあり。中肋は完全なるか。或は先端に達せず。時に無色の毛となりて突出することあり。蒴は球形・卵圓形若しくは圓柱狀にして彎曲せず。屢ば沈在し。或は莖に周苞外に突出す。蒴柄は稀に蒴より短く。往々彎曲す。蒴齒は稀に缺如するものあれども。通常16箇ありて。赤色或は橙黃色を呈し。多くは乳頭を有す。蒴蓋は稍嘴を具へ。蘚帽は概ね小形にして。帽狀或は冠狀をなし。皺襞を有せざるか或は大形にして鐘狀を呈し。皺襞を具ふ。本科に屬する植物中。本邦には3屬を産出す。

本科所載植物名目次

アカミノギバウシゴケ8441　コスナゴケ……8456　テウセンスナゴケ……8453
ウスジロシモフリゴケ8451　コバノコスナゴケ……8445　ナガスナゴケ……8451
カハキゴケ……8400　シモフリゴケ……8450　ハナシギバウシゴケ…8447
キスナゴケ……8450　スナゴケ……8452　ハリスナゴケ……8458
ギバウシゴケ……8441　セタカギバウシゴケ…8444　ヒメスナゴケ……8457
クロカハキゴケ……8401　タカネギバウシゴケ…8443　ミヤマギバウシゴケ…8442
クロギバウシゴケ……8449　タカネシモフリゴケ…8450　ミヤマスナゴケ……8455
ケギバウシゴケ……8446　タカネスナゴケ……8454　ヤリギバウシゴケ……8448

1. ギバウシゴケ屬 GRIMMIA.

8441. **ぎばうしごけ** (27圖版-253) …… ギバウシゴケ科
Grimmia apocarpa, (*L.*) *Hedw.*

(異名) あかみのぎばうしごけ　〔形態〕岩石上に自生する蘚類にして。廣く全世界に分布し。全體に黃綠乃至暗綠色を呈す。莖は多數分岐して叢狀をなす。葉は長披針形又は長橢圓形をなし。凹める基脚より溝狀をなせる披針形部ありて。先端は無色の細胞より成れる線狀をなす。葉細胞は强波狀をなし。上方に於ては圓き方形。下方に於ては稍長形なり。蒴は短き柄により葉間に沈在し。卵形をなし赤褐色を呈す。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。　〔圖解〕1. 自然大。2. 葉間に沈在せる蒴。3. 蘚帽を被れる蒴。

本屬の植物は。多くは岩上に生じ。雌雄同株又は異株なり。葉は概ね披針形・全緣にして。中肋は先端に達す。蒴は沈在し。蒴齒は概ね分裂せず。且つ蘚帽には皺襞を有せざるものなり。

8442. **みやまぎばうしごけ** …… ギバウシゴケ科
Grimmia decalvata, *Card.*

〔形態〕雌雄同株なり。葉は狹披針形にして鈍頭をなし。毛は甚だ短きか或は之を缺く。其他外形タカネギバウシに類するものなり。〔分布〕本州。

8443. **たかねぎばうしごけ** …… ギバウシゴケ科
Grimmia Doniana, *Smith.*

〔形態〕高山に自生する全株漸く0·5-2粍(1·7-6分)內外の小蘚類にして。雌雄同株なり。葉は狹長披針形乃至橢圓狀披針形にして長く。長き毛茸を伴ひ。蒴は橢圓形をなす。〔分布〕本州。

8444. **せたかぎばうしごけ** …… ギバウシゴケ科
Grimmia elatior, *Bruch.*

〔形態〕主に岩上に生ずる蘚類にして。高さ約8粍(2·7寸)內外に達し。雌雄異株なり。葉は廣橢圓形或は短橢圓狀線披針形をなし。長き毛茸を生ずるものなり。〔分布〕本州。

8445. **こばのこすなごけ** …… ギバウシゴケ科
Grimmia patens, (*Dicks.*) *Bryol. eur.* var. brachydictyon, *Card.*

〔形態〕前種コスナゴケの一變種にして。概形彼に酷似すれども。葉は一層短くして先端次第に尖り。葉細胞亦極めて短狹なるものなり。〔分布〕本州・四國。

8446. **けぎばうしごけ** …… ギバウシゴケ科
Grimmia pilifera, *Palis.*

〔形態〕岩上に生ずる全株3粍(1寸)內外の蘚類にして。雌雄異株なり。葉は披針形にして先端短毛尖をなし。乳頭を具へず。基脚細胞は波狀をなし。蒴は廣橢圓形にして蒴柄は短し。〔分布〕北海道・本州各部・九州。

8447. **はなしぎばうしごけ** …… ギバウシゴケ科
Grimmia atrata, *Miel.*

〔形態〕全株黑色を呈し。大さ8粍(2·7寸)內外を有する蘚類にして。雌雄異株なり。葉は狹披針形又は線狀披針形をなして先端短く尖り。全緣にして透明尖なく。中肋は葉の先端に達す。蒴は長橢圓形乃至圓筒形をなせるものなり。本種は歐羅巴の山地岩上等に分布すれども。本邦にては未だ發見せられざるもの〻如し。

8448. **やりぎばうしごけ** …… ギバウシゴケ科
Grimmia elongata, *Kaulf.*

〔形態〕稍高山性の蘚類にして。大さ約8粍(2·7寸)內外に達し。雌雄異株なり。葉は狹橢圓狀披針形にして弱き毛尖をなし。細齒を伴ひ。蒴は卵形或は橢圓形をなす。〔分布〕本州中部(信州鎗ヶ岳)。

8449. **くろぎばうしごけ** …… ギバウシゴケ科
Grimmia atro-viridis, *Card.*

〔形態〕全株4粍(1·3寸)內外を有する黑綠色の蘚類にして。雌雄異株なり。葉緣には細齒牙を有する短き毛尖を具へ。葉細胞は平滑なり。〔分布〕朝鮮。

2. シモフリゴケ屬 RHACOMITRIUM.

8450. **しもふりごけ** (27圖版-254) …… ギバウシゴケ科
Rhacomitrium hypnoides, (*L.*) *Lindb.*

(異名) たかねしもふりごけ　〔形態〕高山の岩石上或は地上に自生する蘚類にして。雌雄異株なり。全體に帶白黃褐色を呈し。往々下部黑色なるものあり。莖は長さ3-30粍(0·1-1尺)許にして。多くの短き小枝を分つ。葉は長橢圓狀の基脚より長披針狀をなし。葉の上部は白色にして缺刻狀鋸齒と乳頭を有す。蒴は長卵形をなし。蒴柄は9粍(3分)內外にして粗糙なり。〔分布〕北海道・本州・九州・朝鮮。
〔圖解〕1. 全形(自然大)。2. 蒴の廓大圖。3. 展開せる葉。

8451. **ながすなごけ** (27圖版-255) …… ギバウシゴケ科
Rhacomitrium canescens, (*Weis. Timm.*) *Brid.*

(異名) うすじろしもふりごけ　〔形態〕岩石或は地上に自生する蘚類にして。雌雄異株なり。本種は全體黃褐色を呈し。下部往々帶黑色をなし。上部莖に白色を呈す。莖は直立し。少數の側枝を分つ。葉は密生し。廣橢圓形又は長橢圓形にして。短。或は長き披針狀尖頭をなし。尖頭部は白色を呈し。小鋸齒を有す。この葉は全體溝狀に凹む。葉細胞は上部に方形。乳頭を有す。蒴は橢圓形又は卵狀橢圓形をなし。蒴柄は長くして平滑。蒴蓋は長き嘴を有し。帽の下部は數裂す。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。
〔圖解〕1. 全形(自然大)。2. 葉の自然形廓大圖。3. 葉の先部廓大圖。4. 蒴鄂大圖。5. 蘚帽廓大圖。

8452. **すなごけ** …… ギバウシゴケ科
Rhacomitrium canescens, (*Weis. Timm.*) *Brid.* var. ericoides, (*Web.*) *Shimp.*

〔形態〕前種ナガスナゴケの一變種にして。よく相似たれども。本種は彼の短側枝の疎なるに比して頗る多數を分枝し。且つ殆んど羽狀に排列をなすを其異る所なりとす。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州・朝鮮。

8453. **てうせんすなごけ** …… ギバウシゴケ科
Rhacomitrium carinatum, *Card.*

〔形態〕ミヤマスナゴケに似たる一種なるも。彼より一層大きく。且つ短側枝を缺く。葉亦一層狹長にして緣邊平滑。葉細胞に乳頭を具へ。毛尖に細齒を有するものなり。〔分布〕本州・九州・朝鮮。

8454. **たかねすなごけ** …… ギバウシゴケ科
Rhacomitrium Fauriei, *Card.*

〔形態〕戶隱山・八甲田山等に自生する高山性の蘚類なり。莖に短側枝なく。葉は短く先端次第に尖り鈍頭をなし。葉細胞に小乳頭を有するものなり。〔分布〕本州中部及北部。

8455. **みやますなごけ** (27圖版-256) …… ギバウシゴケ科
Rhacomitrium fasciculare, *Brid.*

〔形態〕地上又は樹上に生ずる小蘚類にして。雌雄異株なり。莖には短き側枝を生じ。葉は線狀長披針形をなし。先端狹く鈍頭にして芒なく。基脚橢圓形を呈す。葉細胞は上部に於て長形なり。蒴柄は1-2粍(4分)許を有し。蒴は殆んど圓筒形をなす。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

8456. **こすなごけ** (27圖版-257) …… ギバウシゴケ科
Rhacomitrium patens, *Hüben.*

〔形態〕地上又は樹上に自生する蘚類にして。雌雄異株なり。全株黃褐色をなし。往々下方黑色を呈す。莖は不規則に分枝し。葉は披針形にして先端尖り。中肋は完全なり。蒴柄は稍長くして彎曲し。蒴は卵狀をなし。蒴蓋は錐頭を具ふ。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

8457. **ひめすなごけ** …… ギバウシゴケ科
Rhacomitrium sudeticum, (*Funk.*) *Br. eur.*

〔形態〕全株10粍(3寸)內外に達する蘚類にして。莖には少短側枝を生ず。葉は橢圓狀披針形にして短き毛尖に細齒を有し。上部葉細胞は方形にして。乳頭は之を有せず。蒴は廣橢圓形にして直立し。蒴柄は3粍(1寸)內外の長さを有するものなり。〔分布〕北海道・本州各部・四國。

8458. **はりすなごけ** …… ギバウシゴケ科
Rhacomitrium brachypodium, (*Besch.*) *Card.*

〔形態〕高山性の蘚類にして。タカネスナゴケに酷似す。莖には短側枝なく。葉は廣卵形・鈍頭・全緣にして。透明尖を有せず。蒴柄は短く。約4粍(1-3分)內外を有す。〔分布〕北海道・本州北部。

8459. **きすなごけ** …… ギバウシゴケ科
Rhacomitrium laetum, *Besch.* et *Card.*

〔形態〕莖には小短側枝を生じ。葉は殆んど披針形にして。概ね全緣なれども時に鋸齒を有す。〔分布〕北海道・本州各部・九州・朝鮮。

8460. **かはきごけ** …… ギバウシゴケ科
Rhacomitrium varium, (*Mitt.*) *L.* et *J.*

〔形態〕莖には少數の短枝を生じ。葉は乳頭を有せざる毛尖を具へ。上部にある葉細胞は方形をなすものなり。〔分布〕本州・九州。

8461. **くろかはきごけ** …… ギバウシゴケ科
Rhacomitrium heterostichum, *Hedw.*

〔形態〕全株2-6粍(0·7-2寸)內外の蘚類にして。小短枝を有す。葉は卵狀披針形にして先端次第に尖り。芒に乳頭を有せず。上部にある葉細胞は方形又は稍長く。蒴は圓筒形にして。蒴柄は5-8粍(1·7-2·7分)內外に達す。〔分布〕北海道・本州各部・臺灣。

* * * * * *

16. せんぼんごけ科 POTTIACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄同株或は異株稀に雜株或は兩性をなし、莖は概ね導束を具へ、單一なるか又狀或は束狀に枝を分つ。葉は多列稀に3列をなし、卵圓形・舌狀・篦狀或は披針形を呈し、上部の細胞は菱形或は帶圓四角形にして葉綠素に富み、兩面は乳頭を以て被はるれとも、基脚部の細胞は長方形或は長形にして多くは無色。中肋は概ね先端に達し、又往々突出して刺端或は毛端に終る。蒴は整齊にして直立、稀に稍傾斜し、卵圓形・圓柱狀稀に球形をなし、短き蒴柄を具へ、氣孔は蒴の下部、稀に全面に分布す。蒴柄は稍長きか稀に缺如す。蒴蓋は概ね圓錐形にして嘴を具へ、蘚帽は多くは冠狀を呈し、概ね平滑なり。本科に屬する植物を3亞科に分つ。

本科所載植物索引

アカハマキゴケ……8475　ツチノウヘノカタゴケ8485　ハマキゴケ……8476
アフムゴケ……8480　ツチノウヘノコゴケ…8486　ヒメアフムゴケ……8481
イシノウヘノコゴケ…8483　ツチノウヘノタマゴケ8490　ヒロハノメンベウゴケ8492
エゾネヂレゴケ……8468　ツチノウヘノヒラゴケ8487　ヘラネヂレゴケ……8467
オホネヂグチゴケ……8491　ツチノウヘノヒラゴケ　ヘラハアキゴケ……8478
オホハナシゴケ……8482　モドキ……8488　ホソバネヂグチゴケ…8470
オホフタコゴケ……8473　トヂグチゴケ……8489　ホソバネヂレゴケ……8466
セイタカネヂグチゴケ8472　ナガハセンボンゴケ…8464　ホソバハマキゴケ……8477
センボンゴケ……8462　ネヂグチゴケ……8469　ミドリセンボンゴケ…8486
タカネフタコゴケ……8474　ネヂレゴケ……8465　ヤネゴケ……8479
チヂミゴケゴケ……8484　ハナシセンボンゴケ…8463　ラツキヤウゴケ……8491

1. せんぼんごけ亞科 POTTIOIDEÆ.

葉は概ね廣く、卵形或は篦狀をなし、上部の細胞は多くは整疎にして、下部の細胞は長形を呈し、無色、中肋は1箇の機械的細胞帶を具へ、雌花は頂生す。蒴は氣腔及び氣孔を具へ、蘚帽は概ね冠狀をなす。

1. センボンゴケ屬 POTTIA.

8462. せんぼんごけ …… センボンゴケ科
Pottia intermedia, (*Turn.*) *Furn.*

〔形態〕殆んど全世界に分布する蘚類にして、上部の葉は長披針形をなし中肋は長く伸出す。蒴は殆んど圓筒形をなし、蘚齒は不完全、蒴柄は1糎(3分)以上の長さに達するものなり。〔分布〕本州・九州。

本屬の植物は、概ね地上に自生する小蘚類にして、葉は先端刺又は毛狀となる。上方にある葉細胞は圓き四乃至六邊形を呈し疣を伴ひ、下方のものは長形なり。蒴は整齊にして直立し、短き蒴臺を有す。

8463. **はなしせんぼんごけ** (27圖版-258) センボンゴケ科
Pottia truncatula, (*L.*) *Lindb.*

〔形態〕山地に自生する小形の蘚類なり。上葉は倒長卵形或は篦形をなし、頂緣に不明瞭なる鋸齒を有し、中肋は短刺となりて伸出す。蒴は倒卵形にして斜嘴を伴ひ、蘚齒は之を缺く。〔分布〕本州。

〔圖解〕1. 全形(自然大)。2. 全形擴大圖。3. 蒴廓大圖。

8464. ながばせんぼんごけ …… センボンゴケ科
Pottia lanceolata, (*Hedw.*) *C. M.*

〔形態〕前種センボンゴケに近似せる蘚類なれども、彼に比するに葉は長く倒卵形乃至篦形をなし、先端尖り、頂部に不明瞭なる鋸齒を具へ、中肋は頂端に伸出し、蒴齒は彼の不完全なるに比して完全なるものなり。

2 ネヂレゴケ屬 TORTULA.

8465. ねぢれごけ …… センボンゴケ科
Tortula emarginata, *D. M.*

〔形態〕地上又は岩上に自生する小形の蘚類なり。葉は長橢圓狀線形・鈍頭にして頂端凹み、全緣なり。中肋は長き毛狀をなし、蒴は圓筒形をなす。〔分布〕本州・九州・臺灣。

本屬の植物は、地上又は岩上に生ずる小蘚類にして、雌雄異株又は同株なり。葉は乾燥すれば捻捩し、上部の葉細胞は疎にして圓六邊形をなし、葉緣に富む。中肋は伸出し、蒴は直立圓筒形にして蒴臺は短く、蒴齒は絲狀をなして左卷をなす。

8466. ほそばねぢれごけ …… センボンゴケ科
Tortula aestiva, *P. B.*

〔形態〕次種ヘラバネヂレゴケに近似せる小蘚類なり。葉は狹き線狀披針形にして、中肋は微凸頭又は短き刺狀をなして伸出し、蒴柄は彼より更に短きものなり。〔分布〕本州中部(越中國)。

8467. へらばねぢれごけ …… センボンゴケ科
Tortula muralis, (*L.*) *Hedw.*

〔形態〕廣く全世界に亙りて分布する蘚類なり。上葉は舌形乃至篦形にして、鈍頭なるか或は短く尖り、中肋は透明なる毛狀をなして伸出す。蒴は長圓筒形にして蒴齒は長く且つ彎曲し、蒴柄は2糎(6分)以上の長さを有するものなり。〔分布〕本州・臺灣。

8468. えぞねぢれごけ …… センボンゴケ科
Tortula obtusifolia, *Schleich.*

〔形態〕全株5粍(1·7分)內外の小蘚類にして、主に凝灰岩上に着生す。葉は狹長橢圓狀線形にして先端短く尖り、中肋は通常頂端に達し、又稀に短く伸出す。蒴齒は短くして直立し、又僅に彎曲せるを以て、他種と識別することを得べし。〔分布〕本州。

2. くちひげごけ亞科 TRICHOSTOMOIDEÆ.

葉は概ね細くして往々狹披針形をなし、上部の細胞は小形・中肋は2箇の機械的細胞帶を有し、雌花は頂生す。蒴は氣腔及び氣孔を具へ、蘚帽は多くは冠狀をなす。本亞科に屬する植物は、本邦には3屬を有す。

3. ネヂクチゴケ屬 BARBULA

8469. ねぢくちごけ …… センボンゴケ科
Barbula unguiculata, (*Huds.*) *Hedw.*

〔形態〕全株3糎(1寸)內外の蘚類にして、葉は卵狀披針形又は舌形をなし鈍頭なり。中肋は伸出し、蒴は圓筒形にして直立す。〔分布〕本州・九州。

本屬の植物は、概ね地上又は岩石上に自生し、雌雄異株なり。葉は邊緣卷旋し、中肋は頂端に達するか或は伸出し、蒴齒は螺旋狀をなす。

8470. ほそばねぢくちごけ …… センボンゴケ科
Barbula tosaensis, (*Card.*) *Broth.*

〔形態〕全株3糎(1寸)內外の蘚類にして、葉は狹披針形・鈍頭又は稍微凸頭をなし、全緣なるか或は先端に鋸齒を疎生す。中肋は先端近くに達し、葉緣は殆んど整齊にして、葉細胞は稍明瞭なり。〔分布〕本州・四國。

8471. おほねぢくちごけ …… センボンゴケ科
Barbula planifolia, *B. et Y.*

〔形態〕全株2糎(6分)內外の小蘚類にして、葉は舌形・鈍頭をなし、邊緣整齊全緣なり。中肋は短く伸出し、葉細胞は極めて小さく、暗色にして密に乳頭を有するものなり。〔分布〕本州。

8472. せいたかねぢくちごけ …… センボンゴケ科
Barbula laevifolia, *B. et Y.*

〔形態〕全株5糎(1·7寸)內外に達する蘚類にして、葉には黃色の紋を伴ふ。葉身は卵狀披針形・鈍頭をなし、葉緣は全邊にして包旋し、中肋は先端近くに達し、葉細胞は平滑なり。〔分布〕本州。

4. フタゴゴケ屬 DIDYMODON.

8473. おほふたごごけ …… センボンゴケ科
Didymodon giganteus, (*Funk.*)

〔形態〕本種は本屬中最も大なる蘚類にして、全株10糎(3·3寸)以上に達す。葉は長卵形若しくは橢圓狀披針形・全緣にして、中肋は先端近くに達するものなり。〔分布〕本州中部(伊吹山)。

本屬の植物は、地上又は岩石上に自生し、雌雄異株なり。葉は披針形をなし、葉緣は卷旋す。葉細胞は小さく、圓方形をなし、基脚細胞は長形なり。蒴は圓筒形をなして直立し、蒴齒も亦直立す。

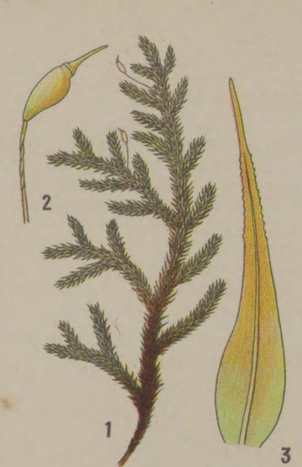
8474. たかねふたごごけ …… センボンゴケ科
Didymodon obtusissimus, *Broth.*

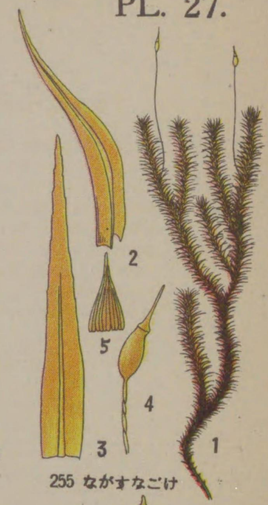
〔形態〕八甲田山等に自生する高山性の蘚類にして、全株1·5糎(4·5分)內外に達す。葉は披針形・鈍頭にして、基脚半ば鞘狀をなし、中肋は葉の先端近くに達するものなり。〔分布〕本州北部。

PL. 27.

252 さやごけ

253 ぎばうしごけ


254 しもふりごけ

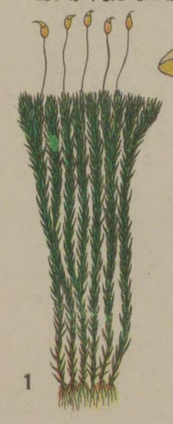

255 ながすなごけ

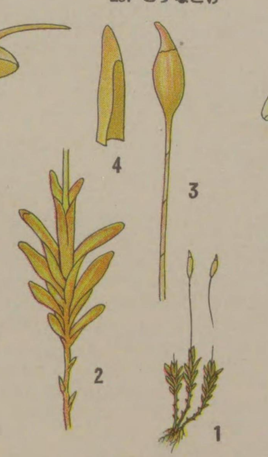
256 みやますなごけ

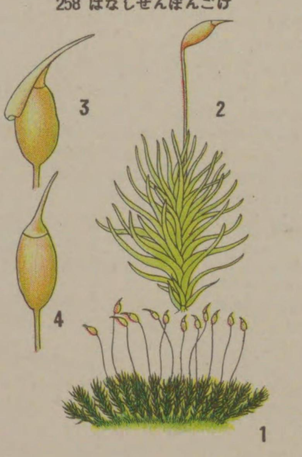
257 こすなごけ

258 はなしせんぼんごけ

259 あかはまきごけ


260 あふむごけ


261 いしのうねのこごけ


262 つちのうねのこごけ

263 つちのうねのたまごけ

8475. **あかはまきごけ** (27圖版-259) ····センボンゴケ科
Didymodon rubellus, (*Hoffm.*) *Br. eur.*

〔形態〕廣く全世界に分布せる小蘚類にして、全株3糎(1寸)內外に及ばず。葉は披針形・鈍頭にして短き剛毛尖を有し、基脚半鞘狀をなし、中肋は全形なり。蒴は圓筒形をなし、蒴柄は長く1-5糎(5分)內外に達するものなり。〔分布〕北海道。　〔圖解〕1. 全形(自然大). 2. 全形の廓大圖.

5. ハマキゴケ屬 HYOPHILA.

8476. **はまきごけ** ····センボンゴケ科
Hyophila propagulifera, *Broth.*

〔形態〕葉は倒卵形乃至長橢圓形にして、銳頭又は微凸頭をなし、中肋は黃色にして伸出す。葉緣に微小鋸齒あるを以て他種と區別せらる。
〔分布〕本州・四國・九州。
本屬の植物は、地上又は岩上に自生し、雌雄異株なり。葉は披針形にして乾燥すれば葉緣著しく捲曲す。蒴は卵圓形又は圓筒形をなし、蒴齒は之を有せざるものなり。

8477. **ほそばはまきごけ** ····センボンゴケ科
Hyophila stenophylla, *Card.*

〔形態〕臺灣に產する蘚類にして、葉は長線狀笹形をなして短く、先端次第に尖れるか或は鈍頭にして短突起を具へ、中肋は頂端に達するものなり。
〔分布〕臺灣。

8478. **へらはまきごけ** ····センボンゴケ科
Hyophila spathulata, (*Harv.*) *Jaeg.*

〔形態〕葉は長橢圓形にして短く、急壯廣笹形をなし鈍頭・全緣にして、中肋は頂端に達す。蒴は卵狀圓筒形にして、蒴蓋は錐形をなし、蒴柄は短形なるものなり。

6. ヤネゴケ屬 HYMENOSTYLIUM.

8479. **やねごけ** ····センボンゴケ科
Hymenostylium sordidum, *Card.*

〔形態〕次種 アウムゴケに似たる大さ1-2糎(3-6分)許ある蘚類なれども、其色彩更に暗綠色を呈し、雌雄異株なり。葉は廣披針形にして先端尖り緣邊に稍鋸齒を有す。葉細胞は暗色にして、乳頭を具へ、中肋は彼より更に強きを以て識別するを得べし。〔分布〕本州中部(淺間山)。
本屬の植物は石灰質の岩上に多く生ずるものにして、雌雄異株なり。葉は披針形にして乾燥すれば彎曲し、中肋は殆んど先端に達す。蒴は直立性にして蒴齒を缺き、蒴蓋は蒴柱を附したるまゝ脫落するの特性を有す。

8480. **あうむごけ** (27圖版-260) ····センボンゴケ科
Hymenostylium curvirostre, (*Ehrh.*) *Lindb.*

〔形態〕暖地の岩上又は樹上に自生する蘚類にして、全株1-2糎(3-6分)內外に達し、濃綠色を呈す。莖は3稜角をなし、葉は長披針形にして先端銳く尖り、稍ゝ緣邊に鋸齒を有し、乾燥すれば褶曲す。中肋は葉の先端近くに達し、葉細胞は透光性にして、基部にあるものは長方形・透明なり。蒴柄は長く、蒴は倒卵形にして整齊・直立し光澤を帶び、蘚帽は蒴の半ばを覆ふ。
〔分布〕本州南部・四國。
〔圖解〕1. 全形(約3倍大). 2. 蘚帽の廓大圖.

8481. **ひめあうむごけ** ····センボンゴケ科
Hymenostylium pellucidum, *B. et Y.*

〔形態〕前種 アウムゴケに近似せる蘚類にして、全形小さく、漸く1-5糎(5分)內外を有す。葉緣は下方に反曲し、葉細胞の2倍大なるは本種の特徵なり。蒴は小さく、長橢圓形をなす。〔分布〕臺灣。

7. ハナシゴケ屬 GYMNOSTOMUM.

8482. **おほはなしごけ** ····センボンゴケ科
Gymnostomum rupestre, *Schleich.*

〔形態〕イシノウヘノコゴケに近似せる蘚類なれども、彼に比するに全株甚だ大きく8糎(2·7寸)內外に達す。葉は披針狀線形或は線形をなし、中肋は褐色にして、頂端又は頂端近くに達し、上部の葉細胞は大形なり。蒴柄は長さ8耗(2·4分)許に達す。〔分布〕本州。

8483. **いしのうへのこごけ** (27圖版-261) センボンゴケ科
Gymnostomum calcareum, *Br. germ.*

〔形態〕本邦溫暖なる山地の主に石灰岩上に多く自生する全株2糎(6分)內外に過ぎざる蘚類にして、亦廣く全世界に分布す。莖は2叉に分れ、葉は披針形にして、乾燥すれば褶曲す。中肋は黃色をなして先端に達せず。葉細胞は上部に於て小形なり。蒴柄は長く5耗(1·7分)許を有し、蒴は整齊にして直立し、長橢圓形を呈し、蘚帽は蒴の半ばを覆ふ。〔分布〕本州各部。
〔圖解〕1. 全形(自然大). 2. 莖部廓大圖. 3. 蒴廓大圖. 4. 蘚帽廓大圖.

8. コゴケ屬 WEISIA.

8484. **ちぢみこごけ** ····センボンゴケ科
Weisia crispata, *Lindb.*

〔形態〕雌雄同株なり。葉は橢圓狀狹披針形にして先端急に短く尖り、葉緣は上方に捲曲す。蒴は長卵形若しくは橢圓形をなし、蒴柄は2-5耗(0·7-1·7分)內外を有し、胞子には細疣狀突起を有す。〔分布〕本州。
本屬の植物は、地上に生ずる小蘚類にして、雌雄同株なるか稀に異株なり葉は披針狀錐形にして乾燥すれば捲縮し、中肋は伸出す。蒴は卵圓形又は圓筒形、狹口にして、蒴齒は短く分裂せざるものとす。

8485. **つちのうへのかたごけ** ····センボンゴケ科
Weisia rigescens, *Broth.*

〔形態〕次種 ツチノウヘノコゴケに似たる蘚類なり。葉は披針線狀錐形にして微凸頭をなす。蒴は長橢圓形にして、蒴齒並に胞子共に平滑、蒴柄は長さ8耗(2·7分)許に達するものなり。〔分布〕九州。

8486. **つちのうへのこごけ** (27圖版-262) センボンゴケ科
Weisia viridula, (*L.*) *Hedw.*

(異名) みどりせんぼんごけ　〔形態〕地上に自生する蘚類にして、雌雄異株なり。全體鮮綠色を呈し、莖は軟弱、稍分枝す。葉は長橢圓形にして凹める基脚より披針狀をなし、其披針狀部の邊緣は大に內卷す。蒴は廣橢圓形・長橢圓形又は圓筒形をなし、直立或は傾斜す。蒴は長き柄上にあり。
〔分布〕本州・四國・九州・臺灣。
〔圖解〕1. 全形(自然大). 2. 全形廓大圖. 3. 帽を被れる蒴. 4. 蒴.

8487. **つちのうへのひらごけ** ····センボンゴケ科
Weisia platyphylla, *Broth.*

〔形態〕葉は長橢圓狀披針形にして細く、先端鈍微凸頭をなし、緣邊平滑なり。中肋は凸頭をなせる先端に伸出し、蒴柄は7耗(2分)內外の長さを有するものなり。〔分布〕本州・九州。

8488. **つちのうへのひらごけもどき** ···· センボンゴケ科
Weisia platyphylloides, *Card.*

〔形態〕前種 ツチノウヘノヒラゴケに近似せる蘚類なり。葉は線狀披針形をなし先端次第に尖り、蒴は卵狀長橢圓形にして、蒴柄は5耗(1·7分)內外の長さを有するものなり。〔分布〕本州・朝鮮。

9. トヂグチゴケ屬 HYMENOSTOMUM.

8489. **とぢぐちごけ** ····センボンゴケ科
Hymenostomum exertum, *Broth.*

〔形態〕葉は披針狀線形にして、基脚捲縮鞘狀を呈し、中肋は伸出す。蒴は稍突出し、蒴蓋は脫落せざるものなり。〔分布〕九州。
本屬の植物は、地上生の蘚類にして、雌雄同株なり。葉は披針狀線形をなし、乾燥すれば捲縮す。中肋は伸出し蒴は直立又は傾臥し、蒴蓋の脫落したる後も皮膜によりて閉ざさるゝ特性を有するものなり。

10. ツボゴケ屬 ASTOMUM.

8490. **つちのうへのたまごけ** (27圖版-263) センボンゴケ科
Astomum crispum, (*Hedw.*) *Hamp.*

〔形態〕暖地の地上に自生する稍光澤を有せざる1糎(3分)內外の蘚類にして、雌雄同株なり。莖は叉狀又は束狀に分枝し、往々大なる頂生葉を生ず。葉は橢圓狀長披針形・全邊にして、基脚鞘狀をなし、乾燥すれば捲縮す。中肋は先端に達し、或は伸出し、蒴は廣橢圓形にして、蘚帽は冠狀を呈す。
〔分布〕本州・四國・九州。
〔圖解〕1. 全形(約10倍大). 2. 疣粒を帶びたる胞子(廓大圖).

3. めんぼうごけ亞科 PLEUROWEISIOIDEÆ.

花は腋生し、蒴柄は稍長く蒴齒を缺く。蒴蓋には長き斜喙を具へ、花部の基脚には根を有する短側枝を生ずるものなり。本邦には2屬を産出す。

11. メンボウゴケ屬 ANOETANGIUM.

8491. らっきゃうごけ …… センボンゴケ科
Anoetangium pulvinatum, *Mitt.*

〔形態〕全株2·5糎(8分)内外に達する褐色の蘚類なり。上葉は綠色をなせる線狀披針形にして鋭頭·全緣なり。中肋は頂端に達し、背面に乳頭を具へ、葉細胞は稍暗色を呈す。〔分布〕本州。

本屬の植物は地上·岩上に自生し、葉は概ね披針狀線形·全緣にして、乳頭を有す。中肋は葉の頂端或は其近くに達し、蒴は倒卵圓形にして蒴臺は短く、蘚帽は冠狀をなし、蒴柄は側生するものなり。

8492. ひろばのめんぼうごけ …… センボンゴケ科
Anoetangium rivale, *Card.*

〔形態〕前種ラッキャウゴケに近似せる蘚類なれども、葉形更に短く基脚卵形を呈し、下方の葉細胞赤彼の狹線形にして壁黃色なるに比し、本種の細胞は凡て長方形にして壁狹く厚からざるを以て、前種と區別することを得べし。〔分布〕朝鮮。

* * * * * *

17. かたしろごけ科 CALYMPERACEÆ.

本科に屬する植物は、塊生稀に岩石上又は地上に生じ、雌雄異株稀に同株なり。莖は1回乃至數回叉狀に分岐し、葉は基脚稍鞘狀をなし、葉細胞は長からず。鞘部に於ては大きく內容を缺き、紋細胞は屢ば無色又は黃色を呈す。中肋は2箇の細胞帶を具へ、先端の近くに達するか或は短く突出し、往々先端に瞬芽を生ず。蒴は圓筒形にして直立し、蒴柄は稍長きか稀に頗る短く、蒴齒は16箇を有し、概ね分裂せず、又時に之を缺く。蒴蓋は概ね錐狀をなし、蘚帽は冠狀又は鐘狀を呈して長く、少くも蒴の基脚に達す。

本科の植物中、本邦に産するもの凡2屬あり。

1. カタシロゴケ屬 CALYMPERES.

8493. かたしろごけ …… カタシロゴケ科
Calymperes japonicus, *Besch.*

〔形態〕全株3-4糎(1-1·7寸)內外の蘚類なり。葉は倒卵狀披針形にして稍廣く、先端次第に尖り、基脚長き鞘狀をなし、中肋は乳頭を有し、紋は狹く黃色にして鞘部は廣し。〔分布〕本州·九州。

本屬の植物は、概ね葉の兩面に乳頭を有し、紋は狹く黃色にして、中肋は末端に絲狀の瞬芽を伴ひ、蒴蓋には長喙を有し、蘚帽は鐘狀にして皺襞多く蒴齒を有せざるものなり。

8494. あかかたしろごけ …… カタシロゴケ科
Calymperes japonicus, *Besch.* var. rufescens, *Broth.*

〔形態〕前種カタシロゴケの一變種にして、全株約7糎(2·3寸)許、赤色にして葉は更に長きものなり。〔分布〕九州。

* * * * * *

18. しらがごけ科 LEUCOBRYACEÆ.

本科の植物は全株帶白色を呈し、概ね雌雄異株なるも稀に同株なり。莖は匍匐を缺き、葉は多列をなし、1層の細胞より成る。中肋は極めて廣くして通常2-10層の有孔細胞と、1-3層の葉綠細胞とより成る。蒴は整齊にして直立するか或は不整齊にして傾斜し、蒴柄は直立す。蒴齒は16箇を具へ半ばまで分裂するか或は分裂せず。蒴蓋は圓錐形をなし、蘚帽は冠狀又は帽狀をなす。

本科の植物中、本邦に産するもの2屬あり。

本科所載植物名目次

エゾシラガゴケ……8498　セイタカシラガゴケ…8499　ヒメキヤナゴケ……8500
オホシラガゴケ……8496　ツヤオキナゴケ……8501　ホソバオキナゴケ……8502
シラガゴケ……8495　トラノフオキナゴケ…8496　……
シロシラガゴケ……8497　ハブタヘゴケ……8503　……

1. シラガゴケ屬 LEUCOBRYUM.

8495. **しらがごけ** (28圖版-264) …… シラガゴケ科
Leucobryum yamatense, *Besch.*

〔形態〕山野の樹上に自生する蘚類にして、多數を簇生し、雌雄異株なり。葉は小さく綠白色にして披針形乃至錐形·全緣なり。中肋は幅頗る廣くして、內外2層の細胞より成り、內層は綠色を呈する1列の小細胞·外層は孔穴を有する1列の無色細胞より成る。蒴は不整齊·長形にして彎曲·傾斜し廣き斜口及8箇の縱肋を有し、短き蒴臺を伴ふ。蒴齒は關節と孔線並に乳頭とを有し、半ば迄2岐す。蒴蓋には長喙を具へ、蘚帽は蒴を覆ひ、蒴柄は長さ1·5糎(5分)許を有し、赤紫色にして細く捩捜す。〔分布〕本州全土。

8496. **おほしらがごけ** (28圖版-265) ……シラガゴケ科
Leucobryum scabrum, *Lac.*

(異名) とらのおをきなごけ　〔形態〕地上或は露出せる樹根上に自生する蘚類にして、雌雄異株なり。全體白色を帶べる淡綠色を呈す。莖は直立又は傾斜し、小數の枝を分つ。葉は長橢圓狀をなし、直立の基脚より鞘狀披針形をなし、邊緣の上部は粗に小鋸齒を有し、背面細胞の先端は乳頭狀の突出をなし、橫斷面に於て中央に方形の小葉綠體を含む小細胞を有すれども、他は凡て透明·大形、緣邊の4-5列は小形なり。蒴は長橢圓形をなし、基部に嚢狀の突起を有す。〔分布〕本州·四國·九州·臺灣。

8497. しろしらがごけ …… シラガゴケ科
Leucobryum glaucum, (*L.*) *Shimp*

〔形態〕通常3-6糎(1-2寸)內外なれども、時に20糎(7寸)以上に達する黃白色の蘚類なり。葉は長披針形·全緣にして、紋細胞は5-6列に排列し紅褐色を呈す。蒴は8肋を有する短き蒴臺を具へ、長卵形をなす。〔分布〕本州南部·四國。

8498. えぞしらがごけ …… シラガゴケ科
Leucobryum lacteorum, *Besch.*

〔形態〕全株青白色にして3-4糎(1-1·3寸)內外の蘚類なり。葉は卵狀披針形にして先端次第に尖り、葉緣は筒狀に捲卷し、紋細胞は5-6排列をなす。〔分布〕北海道·九州。

8499. せいたかしらがごけ …… シラガゴケ科
Leucobryum altiusculum, *Besch.*

〔形態〕全株4糎(1·3寸)內外にして、白黃色を呈する蘚類なり。葉は頂端鋸齒を有する廣卵形にして先端急に長し。紋は葉の基部に10列をなせるものなり。〔分布〕本州。

8500. ひめをきなごけ …… シラガゴケ科
Leucobryum confine, *Card.*

〔形態〕全株極めて狹長にして、綠色をなせる蘚類なり。橢形後種ホソバヲキナゴケに酷似せるも、紋細胞は5乃至15列をなすを異るところなりとす。〔分布〕本州·臺灣。

8501. つやをきなごけ …… シラガゴケ科
Leucobryum galeatum, *Besch.*

〔形態〕全株漸く2糎(6分)內外に過ぎざる矮小なる蘚類にして、概形シロシラガゴケによく相似たり。莖は東狀に分枝し、葉は卵狀披針形又は長橢圓狀披針形·全緣にして、頂端は恰も兜形を呈し、紋細胞は6乃至8列をなし、基脚細胞は黃色又は褐色を呈するものなり。〔分布〕本州·四國·九州·臺灣·朝鮮。

8502. ほそばをきなごけ …… シラガゴケ科
Leucobryum neilgherrense, *C. Müll.*

〔形態〕全株綠色にして、3糎(1寸)內外を有する蘚類なり。葉は極めて細く、概ね全緣にして、基脚細胞は褐黃色又は黑褐色を呈するものなり。〔分布〕本州·臺灣·朝鮮。

2. ハブタヘゴケ屬 OCTOBLEPHARUM.

8503. はぶたへごけ …… シラガゴケ科
Octoblepharum albidum, (*L.*) *Hedw.*

〔形態〕全株白綠色或は白色を呈し、時に稍紅色を帶び、光澤ある蘚類なり。莖は單一なるか或は2叉し、葉は長舌狀又は紐狀をなし、緣邊に白色をなせる葉細胞を3-4層に排列し、全緣なり。中肋は幅廣く多層の無色細胞より成る。蒴は整齊にして直立し、圓柱形をなし、蒴柄は頂生若しくは側生す。蒴齒は黃色にして8-16箇を有し關節を伴ひ、蒴蓋は斜喙を具へ、蘚帽は偏在し全緣なり。〔分布〕邦內。

* * * * * *

19. しっぽごけ科 DICRANACEÆ.

本科の植物は、雌雄同株若しくは異株にして、稍光澤を有する蘚類なり。莖は概ね導束を具へ2叉し、葉は基脚廣くして先端錐狀或は剛毛狀をなし、又往々縁狀を呈す。中肋は時に缺如す。蒴は周苞內に生じ、概ね不規則にして傾き、乾燥すれば往々彎曲して縱襞を生じ、通常短き蒴臺を具ふ。蒴柄は2乃至多出し、蒴齒は多くは16箇を1列に排列し、半ば或は基部まで2分するか時に全緣なり、蒴蓋は概ね長喙を伴ひ、蘚帽は冠狀をなす。

本科に屬する植物中、本邦に産するもの6亞科あり。

本科所載植物名目次

アヲシツポゴケ……8507　コマノカメゴケ……8529　ナガミシツポゴケ……8505
イボクマデゴケ……8522　シツポゴケ……8504　ナミシツポゴケ……8506
イボマツバゴケ……8524　シメリイハゴケ……8521　ハナシヤスヂゴケ……8527
エゾナガダイゴケ……8533　タカカモジゴケ……8520　ヒメシツポゴケ……8514
エゾノシツポゴケ……8511　タカネシツポゴケ……8515　ヒメナガダイゴケ……8531
オホシツポゴケ……8504　タチカモジゴケ……8513　ヒメヤスヂゴケ……8502
カマガタナガダイゴケ8530　チシマシツポゴケ……8510　マツバゴケ……8523
カメゴケ……8528　チヤシツポゴケ……8508　ミヤマシツポゴケ……8517
カモジゴケ……8512　ナガエノキシツポゴケ8519　ヤマシツポゴケ……8516
キシツポゴケ……8518　ナガエノシツポゴケ……8509　ヤスヂゴケ……8525
クロナガダイゴケ……8532　ナガダイゴケ……8530　ユミダイゴケ……8534

1. しっぽごけ亞科 DICRANOIDEÆ.

蒴は不整齊にして傾斜するか、或は整齊にして直立し、葉の翼細胞は特に大形にして透明なるか、或は褐色を呈す。

1. シッポゴケ屬 DICRANUM.

(イ) ホンシッポゴケ亞屬 EUDICRANUM.

8504. **しっぽごけ** (28圖版-266) …… シッポゴケ科
Dicranum japonicum, *Mitt.*

(異名) おほしっぽごけ　〔形態〕地上に自生する蘚類にして、莖は直立し、葉は橢圓形にして直立の基脚より、弓形に彎曲せる甚だ長き線狀鑓形をなし、中央部以上の邊緣に小鋸齒を有す。此葉は全體溝狀に凹み、乾燥すれば1側に偏向し、緩く接近す。葉細胞は基部には長方形をなし、上部にては線形をなす。蒴は圓筒狀橢圓形をなし、褐色にして、蒴柄は4糎(1·3寸)許に達す。〔分布〕樺太·本州·四國·九州。

8505. **おほしっぽごけ** (28圖版-267) …… シッポゴケ科
Dicranum nipponense, *Besch.*

(異名) ながみしっぽごけ　〔形態〕地上に自生する蘚類にして、莖は直立す。葉は少しく弓曲或は弓曲せざる長橢圓狀披針形にして、基脚より展開し、上部は龍骨狀に凹み、中央以上の緣邊に銳齒を具へ、中肋は背面上部にも亦2列の銳齒を有す。此葉は乾燥すれば密に接近し、1側に偏向す。蒴は圓筒狀或は橢圓狀をなし、袴を呈す。〔分布〕北海道·本州各部·四國·九州·朝鮮。

8506. なみしっぽごけ …… シッポゴケ科
Dicranum undulatum, *Ehrh.*

〔形態〕地上に生ずる蘚類にして、葉は橫波狀廣披針形をなし長く尖り、强硬なり。中肋は葉の先端近くに達し、上部葉細胞は細長く、莖細胞は長六邊形をなして大なり。蒴は線條を有し長喙を伴ひ、子嚢は多く生じ、蒴柄は長さ4糎(1·3寸)內外を有す。〔分布〕北海道·本州·四國·九州。

8507. あをしっぽごけ …… シッポゴケ科
Dicranum caesium, *Mitt.*

〔形態〕葉は橢圓形にして先端次第に尖り、頂緣に細毛、緣邊に小銳鋸齒を有す。上部の葉細胞は方形或は長方形をなし、蒴は橢圓形にして、子嚢は多出する一種なり。〔分布〕本州。

8508. ちゃしっぽごけ …… シッポゴケ科
Dicranum fuscescens, *Turn.*

〔形態〕葉は披針狀錐形にして、中部以上の緣邊には小鋸齒を有し、中肋は仲出し、1方に彎曲せず、又橫波狀をなさず。上部に存する葉細胞は方形又は長方形をなし、莖細胞は膨大せるものなり。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州北部。

8509. ながえのしっぽごけ …… シッポゴケ科
Dicranum Bergeri, *Bland.*

〔形態〕北地に生ずる蘚類なり。葉は橫波狀を呈し、殆んど舌狀をなせる線狀披針形にして基脚廣く、緣邊中部以上には時に鋸齒を有し、中肋は葉の先端に達せず。上部の葉細胞は極めて厚く、蒴は圓筒形にして、蒴柄は黃色を呈し、長さ4糎(1·3寸)內外に達す。〔分布〕樺太·千島。

8510. ちしましっぽごけ …… シッポゴケ科
Dicranum majus, *Smith.*

〔形態〕本邦に廣く分布する蘚類にして、前種アヲシッポゴケに酷似すれども、彼の上部葉細胞は方形乃至長方形ならに比し、本種の上部細胞は細長き線形なるを以て識別することを得べし。葉は鎌狀をなして1方に彎曲し極めて長き廣橢圓狀披針錐形をなし、中肋は仲出し、莖細胞は長六邊形をなす。蒴は長橢圓形乃至倒長卵形にして、不明瞭なる線條を有す。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州各部·四國·九州·朝鮮。

8511. えぞのしっぽごけ …… シッポゴケ科
Dicranum perindutum, *Card.*

〔形態〕莖には白赤色の小剛毛を密生し、葉は卵狀披錐形をなし頂端往々不整齊にして鋸齒を有し、中肋は仲出す。上部の葉細胞は方形又は長方形にして稍厚質なり。〔分布〕北海道。

8512. かもじごけ …… シッポゴケ科
Dicranum scoparium, (*L.*)

〔形態〕邦內に廣く分布せる蘚類なり。葉は橢圓狀披錐形にして、緣邊下方に至るまで粗鋸齒を具へ、中肋は葉の頂端に達す。上部にある葉細胞は線形をなし、蒴は線條なく圓筒形にして、蒴柄は長さ4糎(1·3寸)內外を有するものなり。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州·四國·九州·朝鮮。

8513. たちかもじごけ …… シッポゴケ科
Dicranum scoparium, (*L.*) var. orthocarpum, *Card.*

〔形態〕前種カモジゴケの一變種にして、石槌山附近に自生する蘚類なり。概形彼に似たれども、葉の頂端稍1方に偏曲し、且つ蒴は直立せるものなり。〔分布〕四國。

(ロ) ヒメシッポゴケ亞屬 CLASSIDICRANUM.

8514. ひめしっぽごけ …… シッポゴケ科
Dicranum crispofalcatum, *Schmp.*

〔形態〕本種も亦邦內に廣く分布せる中等大の蘚類の一種なり。葉は1方に偏曲し、基脚より包旋し、翼細胞は方形にして緣邊赤色を呈し、蒴は黑色にして線條を伴ふ。〔分布〕北海道·本州·四國。

8515. たかねこしっぽごけ …… シッポゴケ科
Dicranum subviride, *B. P.*

〔形態〕高山性の蘚類にして、葉は線狀錐形をなし、其質の脆きことは本

種の著しき特徴なり。翼細胞は外層にあるもの大きく。褐黄色にして圓多角形を呈し。內層にあるものは少く且つ透明なり。蒴は狹橢圓形にして直立し。蒴柄は短く。蘚齒の先端は透明なり。〔分布〕北海道・本州。

8516. やましっぽごけ …… シッポゴケ科
Dicranum symblepharoides, *Card.*

〔形態〕下野白根山等に自生多き中等大の蘚類なり。葉は卷曲せる披針狀錐形にして。長く且つ柔く。頂緣に鋸齒を有し。翼細胞は多數なり。蒴は狹圓筒形にして線條を有す。〔分布〕本州中部。

(ハ) ミヤマシッポゴケ亞屬 CHORISODONTIUM.

8517. みやましっぽごけ …… シッポゴケ科
Dicranum cylindrothecium, (*Mitt.*)

〔形態〕高山性の蘚類にして。葉は橢圓形をなして次第に尖り。緣邊の中部以上に小鋸齒を有す。中肋は伸出し。翼細胞は方形にして。蒴は短圓筒形をなし直立す。〔分布〕本州・四國。

(ニ) キシッポゴケ亞屬 ARCTOA.

8518. **きしっぽごけ** (28圖版-268) …… シッポゴケ科
Dicranum fulvella, (*Dicks.*)

〔形態〕岩石又は地上に自生する微小なる蘚類にして。大さ僅々2糎(7分)許。全株褐綠色を呈す。葉は長橢圓形の基部より次第に尖り。剛毛狀をなし。概ね鐮狀を呈す。翼細胞は褐色を帶び。中肋は概ね伸出す。蒴は直立し。短き蒴臺を具へ。蒴柄は直立し通常扭捩す。〔分布〕北海道・本州。

8519. ながえのきしっぽごけ …… シッポゴケ科
Dicranum fulvella, (*Dicks.*) var. longisetum, *Card.*

〔形態〕前種キシッポゴケの一變種にして。概形よく相類すれども。葉は彼より更に長き錐形をなして鎌狀をなさず。蒴を超出せるものなり。〔分布〕本州。

8520. たかねかもじごけ …… シッポゴケ科
Dicranum schistioides, *Broth.*

〔形態〕本州北部に自生する高山性の極小蘚類にして。葉は基脚稍廣き稈狀をなし。先端細く尖る。此葉は乾燥すれば卷曲し。翼細胞は稍不明瞭なり。蒴は倒卵形にして直立し。線條を具へ。蒴柄は6耗(2分)內外の長さを有するものなり。〔分布〕本州北部。

2. シメリイハゴケ屬 DICHODONTIUM.

8521. **しめりいはごけ** (28圖版-269) …… シッポゴケ科
Dichodontium pellucidum, (*L.*)

〔形態〕濕潤なる岩石面上に自生する蘚類にして。高さ4-7糎(1·3-2·3寸)許に達する小形の品種なり。莖は3稜角を帶び導束を具ふ。葉は舌狀披針形にして概ね鋸齒を具へ。乾燥すれば扭捩す。葉細胞は基脚部を除くの他は帶圓方形をなし。兩面に乳頭を具へ。中肋は葉の先端に達せず。蒴は卵形をなし稍傾斜し。蒴臺は不明。蒴柄は直立し。長さ1糎(3分)許に達す。蒴齒は基脚部に於て癒着し。半ば以下迄2裂乃至3裂し。孔線を具へ。蘚帽は脫落す。〔分布〕北海道・本州。

〔圖解〕1. 全形(自然大)。2. 全形廓大圖。3. 蒴廓大圖。

8522. いぼくまでごけ …… シッポゴケ科
Dichodontium verrucosum, *Card.*

(異名) たきみごけ　〔形態〕水邊を好みて自生する蘚類の一種なり。葉は舌狀をなせる線狀披針形にして。兩面には乳頭を具へ。緣邊の上半部には銳鋸齒を有し。蒴は卵圓形にして。蒴柄は短形なり。〔分布〕本州・朝鮮。

3. マツバゴケ屬 LEUCOLOMA.

8523. **まつばごけ** (28圖版-270) …… シッポゴケ科
Leucoloma molle, (*C. M.*) *Mitt.*

〔形態〕樹幹上に自生する纖細なる蘚類にして。全株白色或は白綠色叉綠色·黃色等を呈す。莖は黑色を帶び。直立或は上昇す。葉は概ね鎌狀をなし乾燥すれば往々縮まる。葉片は披針形にして。稍錐狀に尖り。翼細胞は褐色を帶び。邊緣の細胞は極めて長く。無色にして稍廣き白緣を形成し。中肋は突出す。蒴は直立して圓柱狀をなし。蒴齒は半ばまで2分す。蒴柄は短く蒴蓋は長喙を有し。蘚帽は全邊なり。〔分布〕九州(大島)·臺灣。

〔圖解〕1. 全形(自然大)。2. 葉の基脚廓大圖。3. 翼細胞。

8524. いぼまつばごけ …… シッポゴケ科
Leucoloma Okamurae, *Broth.*

〔形態〕前種マツバゴケに似たる蘚類なれども。彼の葉の乾燥すれば捲縮するに比して。本種は捲縮せざるものなり。葉は長披針狀錐形にして。頂緣には小齒牙を有し。葉細胞は微細なる小疣を具ふ。〔分布〕本州·四國。

2. やすぢごけ亞科 RHABDOWEISIOIDEÆ.

葉細胞は乳頭を有し。中肋は葉綠細胞を缺き。蒴は蒴臺を有せざるか或は短く蒴齒は分裂せざるものなり。

4. ヤスヂゴケ屬 RHABDOWEISIA.

8525. やすぢごけ …… シッポゴケ科
Rhabdoweisia striata, (*Schrad.*) *Kindb.*

〔形態〕葉は細長き披針形にして。先端次第に尖り。全緣なり。中肋は葉の頂端に達するか或は頂端近くまで達し。蒴齒は絲狀をなして線條を有せざるものなり。

本屬の植物は。主として岩石上に生じ。雌雄同株なり。葉は披針狀をなして細長く。上部の葉細胞は方形を呈し。下部にあるものは長方形にして。平滑·透明なり。蒴は卵圓形にして直立し。8肋並に蘚齒を伴ふものなり。

8526. ひめやすぢごけ …… シッポゴケ科
Rhabdoweisia striata, (*Schrad.*) *Kindb.* var. subdenticulata, *Beeul.*

〔形態〕前種に酷似すれども。殆んど葉を有せざるか或は多少有するものなり。〔分布〕本州。

8527. はなしやすぢごけ …… シッポゴケ科
Rhabdoweisia Rymnostomum, *Besch.*

〔形態〕葉は線狀披針形·全緣にして中肋は短く。蒴齒は之を有せざるを以て。他種と區別し得べきものなり。〔分布〕本州。

5. カメゴケ屬 AMPHIDIUM.

8528. **かめごけ** (28圖版-271) …… シッポゴケ科
Amphidium lapponicum, (*Hedw.*) *Sch.*

〔形態〕岩上に自生する微小なる蘚類にして。高さ3糎(1寸)許に達す。莖は分叉し。先端まで根毛を有す。下部に生ずる葉は披針形。上方に生ずるものは線狀披針形をなして短く。先端尖り。何れも全緣なり。此葉は乾燥すれば彎曲或は捲縮す。葉細胞は上方に圓く。內方に小乳頭を有し。下方に長方形をなす。中肋は頂部に達す。蒴は梨形をなし8箇の赤褐色をなせる縱肋を具へ。成熟すれば蒴口著しく擴がり壺形をなす。蒴齒を有せず。蒴蓋は斜喙を具へ。蘚帽は平滑。蒴柄は短し。〔分布〕北海道·本州。

〔圖解〕1. 全形(自然大)。2. 全形廓大圖。3. 蘚帽廓大圖。

8529. こまのかめごけ …… シッポゴケ科
Amphidium clastophyllum, *Card.*

〔形態〕前種カメゴケより稍大形の蘚類にして。黃色を呈す。葉は質脆弱にして多くは破れ。細胞壁は下方にあるものより次第に强く。且つ厚きものなり。〔分布〕朝鮮。

3. ながだいごけ亞科 TREMATODONTOIDEÆ.

蒴は概ね長き蒴臺を具へ。蒴臺或は蒴の中央部に許多の氣孔を有す。葉は平滑なり。

6. ナガダイゴケ屬 TREMATODON.

8530. **ながだいごけ** (28圖版-272) …… シッポゴケ科
Trematodon drepanellus, *Besch.*

(異名) かまがたながだいごけ　〔形態〕地面上に自生する蘚類にして全體黃褐綠色を呈し叢生す。莖は單一にして直立。葉は廣橢圓形の基脚より急に線狀鑿形をなし。凹める先端部を有し。其上部に鋸齒を具ふ。雌花葉は基脚長橢圓形をなせる線狀鑿形をなす。蒴は下部に長き頸部を有し。長

PL. 28.

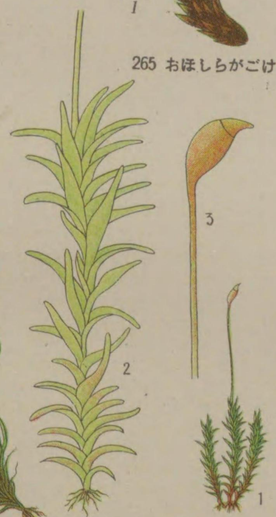
264 しらがごけ

265 おほしらがごけ

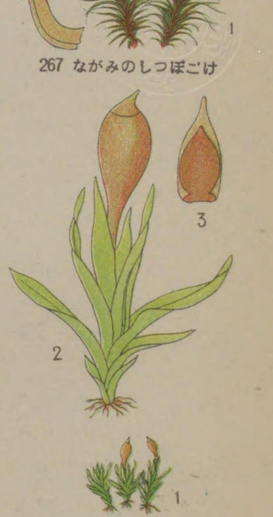
266 しっぽごけ

267 ながみのしっぽごけ

268 きしっぽごけ


269 しめりいはごけ

270 まつばごけ


271 かめごけ

272 ながだいごけ

273 ゆみだいごけ

274 ねびごけ

275 こねびごけ

柄に連る。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・臺灣。
〔圖解〕1. 全形（自然大）. 2. 葉の廓大圖. 3. 蒴の廓大圖.

8531. **ひめながだいごけ** …… シッポゴケ科
Trematodon flaccidisetus, *Card.*
〔形態〕矮小なる蘚類にして. 前種ナガダイゴケに酷似すれども. 葉は狹小線形にして基脚稍廣く. 蒴柄亦短く 1 糎（3 分）に達せざるものなり。
〔分布〕本州・九州・臺灣・朝鮮。

8532. **くろながだいごけ** …… シッポゴケ科
Trematodon atrovirens, *Broth.*
〔形態〕東京地方に自生する全株纖長にして黒綠色をなせる蘚類なり。葉は披針錐形にして. 基脚は短き長橢圓狀嚢形を呈し. 鈍頭にして小鋸齒を有し. 中肋は葉の頂端近くに達す。蒴柄は長さ 1·5 糎（5 分）許を有し. 蒴首は蒴長の約 2 倍に達するものなり。〔分布〕本州。

8533. **えぞながだいごけ** …… シッポゴケ科
Trematodon campylopodium, *Besch.*
〔形態〕廣く邦內に分布する蘚類なり。葉は卵狀披針形にして長く. 中肋は先端に伸出し. 蒴柄は短く. 且つ蒴首長きとにより. 他種と區別することを得べし。〔分布〕北海道・本州各部・四國。

8534. **ゆみだいごけ**（28 圖版-273） …… シッポゴケ科
Trematodon longicollis, *Michx.*
〔形態〕上葉は短廣にして急に長き錐形となり. 蒴は圓筒形をなし. 蒴首は長く. 明瞭なる嘴を有し. 蒴柄亦長く 2-3 糎（7-9 分）に達する等. 前種と區別し易き特徵なり。〔分布〕本州・九州・臺灣。

* * * * *

20. こしっぽごけ科 SELIGERACEÆ.

本科に屬する植物は. 多くは岩石上に自生し. 葉は廣き基脚より長き錐形をなし. 概ね全邊. 中肋は先端に達す。葉細胞は基部に長く上方に短し。蒴は直立し. 蒴柄は極めて短きものなり。
本科に屬する植物中. 本邦に産するもの僅に 1 屬あり。

1. コシッポゴケ屬 BLINDIA.

8535. **こしっぽごけ** …… コシッポゴケ科
Blindia japonica, *Broth.*
〔形態〕全株 6-7·5 糎（2-2·5 分）內外を有する蘚類にして. 葉は線狀披錐形をなし. 先端鈍く尖る。蒴は甚だ小さくして球形をなし. 蒴柄亦短く. 稍彎曲せる一種なり。〔分布〕本州。

* * * * *

21. えびごけ科 BRYOXIPHIACEÆ.

本科に屬する植物は雌雄異株にして 莖は直立し. 導束を具ふ。葉は披針形或は錐狀にして. 上部に鋸齒を有す。葉細胞は下部に於ては短き長方形をなし. 緣邊に於ては線形. 上部に於ては不規則なり。中肋は突出し. 背面に基脚部に達せざる狹翼を具へ. 頂生葉には長き芒を有す。蒴は直立し. 蒴齒は之を缺き. 蒴蓋は斜嘴を具へ. 蘚帽は冠狀をなして短く. 蒴の ⅓ を被ふに至らず。
本科に屬する植物中. 本邦には唯 1 屬を産するのみなり。

1. エビゴケ屬 BRYOXIPHIUM.

8536. **えびごけ**（29 圖版-274） …… エビゴケ科
Bryoxiphium Savatieri, (*Hurn.*) *Mitt.*
（異名）いはまえびごけ　〔形態〕山地の岩石上又は地上に自生する蘚類にして. 雌雄異株なり。全體に黃褐綠色を呈し. 莖は單一にして乾燥すれば往々弓曲す。葉は 2 列をなして密生し. 莖を抱きて覆瓦狀をなす。葉片は長橢圓狀披針形にして先端凹み. 中肋は强剛にして多少葉先より突出し. 長短二樣ありて先端次第に尖り. 中肋の背面には狹き翼部を有す。蒴は卵圓形・平滑にして點頭し. 雌花葉の先端は蒴より遙かに超出す。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・朝鮮。
〔圖解〕1. 全形（自然大）. 2. 上部廓大圖.

8537. **こえびごけ**（29 圖版-275） …… エビゴケ科
Bryoxiphium norvegicum, (*Brid.*)
〔形態〕莖は長さ 3 糎（1 寸）許に達し. 葉は披針形にして短く. 2 列に排列し. 上方に生ずるものは先端長く芒狀をなし. 中肋は頂部に達す。蒴は卵形にして. 蒴蓋は斜嘴を具へ. 蒴柄は 3 糎（1 寸）許に達す。
〔分布〕朝鮮。
〔圖解〕1. 全形（自然大）. 2. 全形廓大圖.

* * * * * *

22. きんしごけ科 DITRICHACEÆ.

本科に屬する植物は地上又は岩石上に生じ. 雌雄異株或は同株にして稍光澤を帶ぶ。莖は導束を具へ. 葉は多列をなし. 葉片は披針形にして. 乾燥すれば概ね仲長す。葉細胞は基部に長く翼に異らず。中肋は中央に大細胞を有し幅廣く. 先端に達するか或は突出す。蒴柄は長く. 蒴は直立或は稍傾斜し. 概ね卵形をなし狹口を具へ. 縱條若しくは縱襞を有す。蒴齒は多くは基脚部まで 2 分し絲狀をなし. 稍明瞭なる基膜を有す。蒴蓋は斜圓錐形をなし. 蘚帽は蒴の半ばに達す。
本科に屬する植物中. 本邦に産するもの 6 屬あり。

本科所載植物名目次

アヲゴケ……8542　キンシゴケ……8538　キンチヤクゴケ……8545　コキンシゴケ……8539　コキンシゴケモドキ…8541　コマノアカゴケ……8544
ヒメキンシゴケ……8540　ベニエキンシゴケ……8538　ホソゴケ……8545　ホソバノキンチヤクゴケ……　ケ……8546　ムラサキヤネゴケ……8543
ヤノウヘノアカゴケ…8543　……　……　……　……

1. キンシゴケ屬 DITRICHUM.

8538. **きんしごけ**（29 圖版-276） …… キンシゴケ科
Ditrichum pallidum, (*Schrad.*)
（異名）べにえきんしごけ　〔形態〕地上に自生する蘚類にして. 雌雄同株なり。莖は直立して短く單生し. 葉は卵披錐形をなし. 先端に鋸齒を有す。蒴は長橢圓形をなし. 左右稍不相稱にして僅に彎曲す。蒴柄は長く初め黃色. 後に光澤ある帶黃紅色を呈し美麗なり。〔分布〕北海道・本州各部・

四國・九州。

〔圖解〕1. 全形（自然大）. 2. 蘚帽を被れる蒴. 3. 蘚帽を脫せる蒴. 4. 葉の屢大圖.

8539. こきんしごけ …… キンシゴケ科
Ditrichum subtortile, *Card.*

〔形態〕地上に生ずる次種ヒメキンシゴケに近似せる小形の蘚類にして、雌雄異株なり。全株1糎（3分）內外を有し、葉は狹披針形にして次第に尖り、葉細胞は小さく稍暗色を呈す。〔分布〕本州。

8540. ひめきんしごけ …… キンシゴケ科
Ditrichum macrorrhynchum, *Brath.*

〔形態〕前種コキンシゴケに酷似せる小形蘚類にして、雌雄異株なり。葉形亦彼に似たれども、中肋は葉の先端に達し、下部の細胞は長方形をなす。雌花葉は僅に鞘狀を呈し、蒴は狹圓筒形にして、蒴蓋には長嘴を伴ひ、蒴柄は8粍（2·7分）內外の長さを有す。〔分布〕北海道・本州。

8541. こきんしごけもどき …… キンシゴケ科
Ditrichum homomallium, (*Hedw.*)

〔形態〕暖國に生ずる小形の蘚類にして、雌雄異株なり。葉は長き長卵狀錐形にして、中肋は錐部に達し、下方の葉細胞は細長く、上部のものは短長方形を呈して稍厚く、雌花葉は高鞘狀をなす。蒴は5粍（1·7分）內外の長さを有する蒴柄を有し、長卵形或は長楕圓形をなす。〔分布〕四國。

2. アヲゴケ屬　SAELANIA.

8542. あをごけ …… キンシゴケ科
Saelania glaucescens, (*Hedw.*)

〔形態〕雌雄同株にして、全株青白色の被物を有し、青綠色に見ゆるを以て本和名あり。葉は披針狀線形にして、緣邊には重鋸齒を有し、中肋は先端に達するか或は仲出し、葉細胞は長方形を呈す。蒴は圓筒形にして、蒴蓋は短嘴を伴ひ、蒴柄は長く、蒴齒は乳頭を具へ、基脚に達する迄2岐す。〔分布〕北海道・本州。

3. ヤノウヘノアカゴケ屬　CERATODON.

8543. **やのうへのあかごけ**（29圖版-277）… キンシゴケ科
Ceratodon purpureus, (*L.*)

（異名）むらさきやねごけ　〔形態〕地上・岩石上或は草葺屋根等に自生する蘚類にして、廣く全世界に分布す。莖葉共に綠色なれども、往々赤紫色を帶ぶるものあり。莖は直立し、少數の小枝を分つ。葉は長橢圓狀披針形をなし、先端次第に尖り、緣邊は下部より上部迄外旋し、頂上に近く平たく此平坦部に粗鋸齒を有す。蒴は卵形にして、長柄を有し、何れも黃色・紅色又は紅紫色を呈す。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州各部・四國・朝鮮。

8544. こまのあかごけ …… キンシゴケ科
Ceratodon perflexans, *Card.*

〔形態〕全株1糎（3分）內外の小蘚類なり。葉は卵狀披針形にして次第に尖り、中肋は頂端に達するか或は短く仲出し、全緣なるものなり。〔分布〕朝鮮（釜山）。

4. キンチャクゴケ屬　PLEURIDIUM.

8545. **きんちゃくごけ**（29圖版-278）……キンシゴケ科
Pleuridium julaceum, *Besch.*

（異名）ほそごけ　〔形態〕纖細なる蘚類にして、莖は概ね叢束を具へ、葉は多列をなし、頂生葉は大きく、稀に同形なり。中肋は時に先端に達せず、蒴柄は概ね頗る短く、蒴は多くは沈在し、卵圓形にして蒴齒を缺く。蒴蓋は分化せず。蘚帽は冠狀をなし先端まで側裂し、蒴の半ばを被ふに至らず。〔分布〕本州・臺灣。

〔圖解〕1. 全形（自然大）. 2. 全形扁大圖.

8546. ほそばのきんちゃくごけ …… キンシゴケ科
pleuridium subulatum, (*Huds.*)

〔形態〕概形キンチャクゴケに酷似せる蘚類にして、彼に比するに稍大形なる一種なり。〔分布〕本州。

* * * * * *

23. ほうわうごけ科
FISSIDENTACEÆ.

本科に屬する植物は、多く地上・岩上・樹上等に自生し、雌雄同株或は異株稀に雜株或は兩性にして、植物體は概ね綠色を呈し、莖の橫斷面は卵圓形にして導束を具へ、葉は2列に排列す。此葉は莖の半ばを圍繞し、鞘舟狀にして背翼を具へ、1層の細胞より成り、往々1列乃至多列の長き厚壁細胞によりて緣付けらる。中肋には厚膜細胞群と、中央大細胞列とあり。蒴柄は概ね長く頂生し稀に側生す。蒴は直立若しくは傾斜し、短き蒴臺を具へ、少數の氣孔を有するか稀に缺如す。蒴蓋は嘴を有し、蘚帽は小形にして圓錐形をなし、全邊なるか偏裂或は稀に多裂す。

本科に屬する植物中、本邦に產するもの1屬あり。

1. ホウワウゴケ屬　FISSIDENS.

8547. **ほうわうごけ**（29圖版-279）……ホウワウゴケ科
Fissidens japonicus, *Doz. et Molk.*

（異名）おほばほうわうごけ　〔形態〕地上或は露出せる樹根上に自生する蘚類にして、全體に綠色乃至黃綠色を呈す。莖は單一にして、平臥乃至傾斜す。葉は左右2列をなし、葉片は披針形にして先端尖り、下半部の上半側は2枚に分れ、其基部は莖を抱き、緣邊は稍透明にして粗に大小不同の鋸齒を有す。中肋は頂端の直下に達す。蒴は圓筒狀にして少しく彎曲し、約1糎（3分）許の蒴柄上にありて褐色を呈す。〔分布〕日本全土。

8548. おほほうわうごけ …… ホウワウゴケ科
Fissidens Gottscheoides, *Besch.*

〔形態〕全株5-7糎（1·7-2·3寸）內外に達する蘚類なり。葉は大きく頂端廣濶にして次第に尖り、緣邊疎に小齒牙を具へ、中肋は頂端の近くに達し岐を有せず。〔分布〕本州。

8549. ひめほうわうごけ …… ホウワウゴケ科
Fissidens gymnogynus, *Besch.*

〔形態〕廣く邦內各地に分布せる小形なる蘚類にして、葉は全緣をなし、乾燥すれば捲縮す。中肋は頂端の近くに達し、網は明かにして、岐は之を有せざるものなり。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

8550. ぬりほうわうごけ …… ホウワウゴケ科
Fissidens adiantoides, (*L.*) *Hedw.*

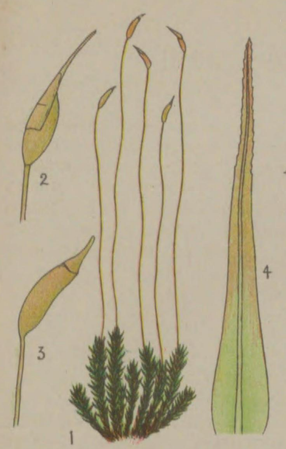
〔形態〕廣く世界に分布する蘚類にして、全株10糎（3寸）以上に達す。葉は披針形にして次第に尖り、基脚廣橢圓形をなす。頂緣には不齊鋸齒を有し、中肋は頂端に達す。蒴は橢圓形乃至倒卵形をなし、蒴柄は赤色にして2·5糎（8分）內外の長さを有するものなり。〔分布〕北海道・本州・九州。

8551. こほうわうごけ …… ホウワウゴケ科
Fissidens adelphinus, *Besch.*

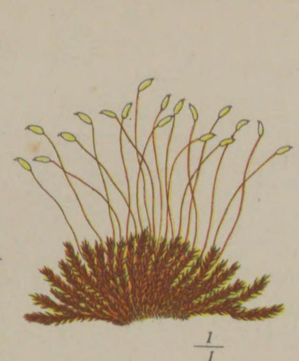
〔形態〕地上・岩上又は樹上に生ずる蘚類なり。葉は卵形にして廣く、先端次第に尖り、緣邊は葉細胞の突出によりて稍鋸齒狀を呈す。中肋は先端近くに達し、岐は之を有せざるものなり。〔分布〕本州・九州。

* * * * * *

PL. 29.



276 きんしごけ

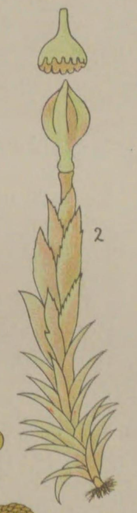


277 やのうへのあかごけ

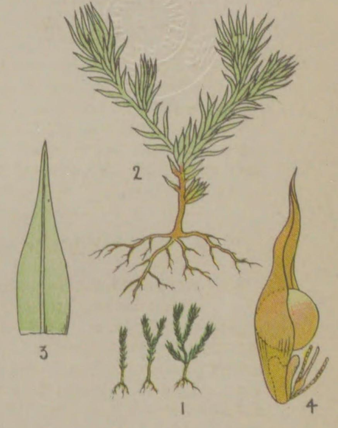
278 きんちやくごけ

279 ほうわうごけ

280 くろごけ



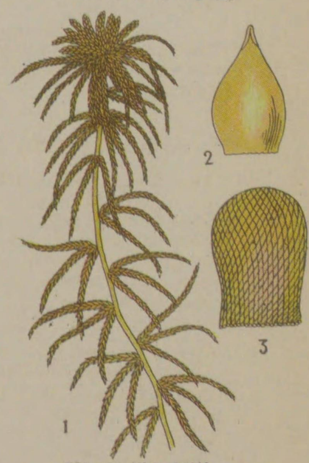
281 いはごけ



282 みやこのつちごけ

283 おほみづごけ

284 ひめみづごけ



285 ほそばみづごけ

2. 黑苔群

1. くろごけ科 ANDREAEACEÆ.

本科に屬する植物は、主として高山の岩上に自生し、莖は短小にして葉を密生し、葉は中肋を具ふるか或は之を缺く。蒴胞は假柄の上に座し、成熟すれば膜壁4乃至8縱裂し、裂片は頂端及基脚に於て相附着す。

本科に屬する植物は、本邦には唯1屬を産するに過ぎず。

1. クロゴケ屬 ANDREAEA.

8552. **くろごけ** (29圖版-280) …… クロゴケ科
Andreaea Fauriei, *Besch.*

(異名) たかねくろごけ　〔形態〕高山の岩石上に自生する小形の蘚類にして、全體に帶黑赤褐色を呈す。莖は直立し、多數の小枝を分ち、葉は卵狀披針形にして先端尖り、中肋を有せず。葉細胞は上方に於ては方形をなし、背面に1箇の大なる乳頭を具ふ。蒴は卵狀長橢圓形にして、熟すれば4縱裂開し、蒴柄は1-6粍(5-5厘)に達す。蒴蓋及緣齒は之を缺く。

〔分布〕本州。

〔圖解〕1. 全形(自然大). 2. 全形廓大圖.

8553. **いはごけ** (29圖版-281) …… クロゴケ科
Andreaea petrophila, *Ehrh.*

〔形態〕前種と同樣高山岩石面に自生する小形の蘚類にして、全體に褐綠色乃至黑色を呈す。莖は直立し、高さ1-2糎(3-6分)許に達す。葉は卵形又は橢圓形をなし、先端斜・鈍尖緣をなし、多少の鋸齒を有し、中肋を缺く。蒴は成熟して膜壁4乃至8裂し、其裂片は頂端及基脚に於て相附着す。

〔分布〕本州・四國。

〔圖解〕1. 全形(自然大). 2. 全形廓大圖.

2. ミヤコノツチゴケ屬 ARCHIDIUM.

8554. **みやこのつちごけ** (29圖版-282) …… クロゴケ科
Archidium japonicum, *Broth.*

〔形態〕地上に自生する極めて微小なる高山性の蘚類にして、莖は高さ僅々2-5糎(0-6-1-7寸)に達し、單一なるか或は少數の枝を分つ。莖は上方に至れば大形にして1糎(3分)許の長さに達し、橢圓狀の基脚より鞭形をなして凹み、上部に鋸齒を具へ、中肋は强健にして先端に達す。蒴は球形をなし葉間に沈在し、概ね16-20箇の平滑なる胞子を藏す。〔分布〕本州。

〔圖解〕1. 全形(自然大). 2. 全形廓大圖. 3. 葉の廓大圖.
4. 雌花葉と蒴.

*　　*　　*
*　　*　　*

3. 水苔群

1. みづごけ科 SPHAGNACEÆ.

本科に屬する植物の葉は葉脈を缺き、葉細胞は葉綠細胞と、貯水細胞の2種より成り、雄器及雌器は別株に生ず。雄精器は圓くして柄を具へ、成熟すれば其頂端開きて外方に反捲す。雌器を載せたる枝は蒴胞の成熟後伸長して假柄となり、其頂端は膨れて胞足となる。蒴胞は蒴蓋を以て開き、蒴齒を有せず。本科に屬する植物は、本邦には唯1屬を産するに過ぎず。

本科所載植物索引目次

エゾミヅゴケ……8567　シロミヅゴケ……8566　ホソバチヤミヅゴケ…8560
オホミヅゴケ……8555　タカネミヅゴケ……8564　ホソバミヅゴケ……8558
コバノミヅゴケ……8561　チヤボホソバミヅゴケ8559　ホソミヅゴケ……8563
コフサミヅゴケ……8558　ヒメミヅゴケ……8556　ミヤマミヅゴケ……8565
コミヅゴケ……8562　ヒロハヒメミヅゴケ…8557　……

1. オホミヅゴケ屬 SPHAGNUM.

8555. **おほみづごけ** (29圖版-283) …… ミヅゴケ科
Sphagnum cymbifolium, *Warnst.*

〔形態〕水濕地に自生する蘚類なり。全株淡褐色にして、莖は直立し枝を叢生して展開し、下垂枝は2より成る。莖葉は鈍に生じて倒卵狀舌形をなし、枝葉は密生し、廣卵狀鈍頭にして舟形に凹み、其橫斷面に於て葉綠體を含む。細胞は楔形をなし、無色細胞は下面に凸出す。〔分布〕本邦全土。

〔圖解〕1. 全形(稍縮小). 2. 莖葉廓大圖. 3. 枝葉. 4. 蒴を着けたる枝.

8556. **ひめみづごけ** (29圖版-284) …… ミヅゴケ科
Sphagnum fimbriatum, *Wils.*

〔形態〕本種も亦水濕地に自生する蘚類にして、莖葉は匕形をなし、頂葉並に側緣葉は總狀に細裂す。枝葉は披針形をなし、頂部に齒を有し、狹き紋を具ふ。葉綠體を含める細胞は無色細胞の間にありて遊離す。〔分布〕本州・四國。

8557. ひろはひめみづごけ …… ミヅゴケ科
Sphagnum fimbriatum, *Wils.* var. laxifolium, *War.*

〔形態〕前種ヒメミヅゴケの一變種にして、水中に沈在す。概形彼に似たれども、彼に比するに莖葉の幅稍廣く、0-7粍(2-3厘)內外に達するものなり。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

8558. **ほそばみづごけ** (29圖版-285) …… ミヅゴケ科
Sphagnum Girgensohnii, *Russ.*

(異名) こふさみづごけ　〔形態〕水濕地に自生する高山性の蘚類にして、全株黃褐綠色を呈す。枝葉は兩面に圓形孔を有し、莖葉は舌狀、頂端少しく截頭をなし總狀の裂片あり。枝葉は廣橢圓形をなし、頂端は溝狀にして截頭をなし、葉綠細胞の橫斷面は稍方形にして、透明細胞は兩面に突出す。

〔分布〕本州・四國・九州。

〔圖解〕1. 全形(½大). 2. 枝葉. 3. 莖葉廓大圖.

8559. ちゃぼほそばみづごけ …… ミヅゴケ科
Sphagnum Girgensohnii, *Russ.* var. squarrosulum, *Russ.*

〔形態〕幌國に自生する極めて微小なる稍高山性の蘚類にして、枝葉の頂端開出せるものなり。其他概形ホソバミヅゴケに近似す。〔分布〕四國。

8560. ほそばちゃみづごけ …… ミヅゴケ科
Sphagnum Girgensohnii, *Russ.* var. stachyodes, *Russ.* forma fuscescens, *War.*

〔形態〕本種も亦ホソバミヅゴケの一變種にして、全株帶褐色を呈する蘚類なり。枝は匐枝狀をなし、莖葉舌狀にして短く且つ廣濶なり。〔分布〕邦內各部。

8561. こばのみづごけ …… ミヅゴケ科
Sphagnum calymatophyllum, *W. C.*

〔形態〕莖葉は極めて小さく、漸く0-5粍(1-6厘)內外を有する小形の高山性蘚類なり。枝葉は殆んど卵形をなし、兩面には多くの孔を具へ、狹き紋

を有す。葉緣細胞の斷面は方形或は楔形をなし、中央及兩側に遊離す。
〔分布〕本州北部（月山）。

8562. こみづごけ …… ミヅゴケ科
Sphagnum subnitens, *Russ.* et *War.*
〔形態〕邦内各地に廣く分布する帶赤色の小形蘚類にして、莖葉は等邊三角形をなし、頂緣に鋸齒を具へ、紘は下方に强く廣濶なり。枝葉は卵狀披針形にして狹き紘を有し、葉緣細胞は遊離し三角乃至四邊形をなせるものなり。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

8563. ほそみづごけ …… ミヅゴケ科
Sphagnum teres, *Angstr.*
〔形態〕莖葉は中等大にして廣舌形をなし、頂端は總狀に裂け、狹き紘を有す。內面の上半には大なる圓孔を細胞の一隅に具へ、葉綠體を有する細胞は四邊形をなす。枝葉は兩面に多くの孔を具ふ。〔分布〕邦內。

8564. たかねみづごけ …… ミヅゴケ科
Sphagnum hakkodense, *War.*
〔形態〕八甲田山に生ずる高山性の蘚類にして、オホミヅゴケに似て細く莖皮細胞には螺旋紋を有す。枝葉は圓卵形をなし、葉綠體を有する細胞は三角形又は不等四邊形にして兩側に遊離し、無色細胞は內方に存し、其接觸部には稍乳頭を有するものなり。〔分布〕本州北部。

8565. みやまみづごけ …… ミヅゴケ科
Sphagnum robustum, *Roll.*
〔形態〕本種も亦高山性の小蘚類にして、全株帶赤色を呈す。莖葉は舌形にして長さ 1·3 粍（4 厘）、幅 0·9 粍（3 厘）許を有し、頂端は總狀に裂く。枝葉は披針形にして、頂緣に鋸齒を有し、紘は狹く、葉綠細胞は三乃至四邊形をなせるものなり。〔分布〕北海道・本州。

8566. しろみづごけ …… ミヅゴケ科
Sphagnum pallens, *War.* et *Card.*
〔形態〕本種も亦高山性の蘚類にして、莖葉は舌形をなし、頂端總狀を呈す。枝葉は披針形にして、頂緣小鋸齒を具へ、背側にのみ多くの氣孔を有し紘は狹形なり。葉綠體を有する細胞は三乃至四邊形をなして遊離するものなり。〔分布〕本州北部（月山）。

8567. えぞみづごけ …… ミヅゴケ科
Sphagnum recurvum, *Palis.* var. mucronatum, *Russ.*
〔形態〕莖葉には殆んど絲なく、頂部に小尖を有するものなり。
〔分布〕北海道・本州・四國。

* * * * * *

2. 苔　門　HEPATICAE.

1. 鱗苔群

1. うろこごけ科
JUNGERMANNIACEÆ. ACROGYNÆ.

本科に屬する植物は莖葉の別明腺にして、莖は 2 列の背葉、時に 1 列の腹葉を有し、氣孔を缺く。雌器托は常に苗端に生じ、爲めは苗の延伸成長を妨ぐることあり。皮膜及花被は概ね葉より形成せらる。蒴胞は 4 片に縱裂し、彈絲と共に胞子を散らす。背葉の多くは上下 2 片に分たれ、上片は下片と其大さを同うするか或は下片より大なり。下片は往々反捲し、或は疊まり、時に棍棒狀若しくは兜狀の水嚢に發達す。水嚢を有するものは概ね樹皮面或は生葉に附屬して生活し、其場合此水嚢は水を貯蓄するの用をなせども、種類によりては巧妙なる裝置を有し、其口部に感覺力に富める觸鬚を具へ、外部より內部に開けども、內部より外部に開き難き裝置を有するを以て、降雨等の際小動物がこの小嚢中に流入することあれば、再び嚢外に出づる能はず、遂に其植物體に同化せらるゝに至るものあり。

本科に屬する植物は世界を通じ 116 屬、凡 3200 餘種を產すれども、本邦には凡 48 屬、179 種を產するとのことなり。

本科所載植物索引目次

アヲジロムタムクゴケ……8584
ウニバエフジヤゴケ……8578
ウニバヒシヤクゴケ……8581
ウロコゴケ……8598
エゾヤハネゴケ……8596
エダウロコゴケ……8588
オホクサリゴケ……8576
オホムカデゴケ……8580
カタヒバモドキ……8569
カビゴケ……8573
クサリゴケ……8575
クラマゴケモドキ……8579
クロウロコゴケ……8570
ケウロコゴケ……8585
コムチゴケ……8590
シダダマシ……8600
シダレゴヘイゴケ……8560
シダレヤスデゴケ……8568
チヂレウロコゴケ……8571
ハシブトゴケ……8574
ハネゴケ……8599
ハハキゴケ……8601
ハリヒモウロコゴケ……8581
ヒメクサリゴケ……8577
ヒメムチゴケ……8591
ヒロウドウロコゴケ……8584
フクロウロコゴケ……8597
フサウロコゴケ……8586
フダヘウロコゴケ……8582
フルラニゴケ……8568
ホソハネゴケ……8602
ホラゴケモドキ……8593
マツバウロコゴケ……8587
マルバウロコゴケ……8572
マルバタチムカデゴケ……8592
マルバフタヘウロコゴケ……8583
マルバホラゴケモドキ……8594
ミヂゴケモドキ……8604
ムカデゴケ……8600
ムレトリゴケ……8603
ムチゴケ……8589
ムラサキウロコゴケ……8580
ヤバネゴケ……8595

1. フルラニゴケ屬　FRULLANIA.

8568. **しだれやすでごけ**（30 圖版-286）……ウロコゴケ科
Frullania appendiculata, *Steph.*
（異名）ふるらにごけ　〔形態〕樹皮上・岩上等に着生する苔類にして、先端往々遊離下垂し、全株赤褐色を呈す。莖は再羽狀に分枝し、小枝は短く稍離る。葉は左右 2 列に着き、卵形にして先端尖り、前面の基脚には大なる附屬物（耳）を有し、溝狀に凹みて皺縮し、下葉と壺狀片との間に位す。細胞には 1-2 列の中肋列を有す。壺狀片は莖より離る。下葉は先端彎入す。
〔分布〕本州中部。
〔圖解〕1. 全形（自然大）. 2. 背面廓大圖. 3. 腹面廓大圖. 4. 葉の廓大圖.

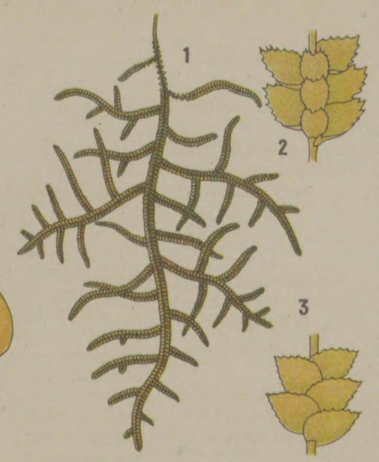
2. カタヒバモドキ屬　PTYCHANTHUS.

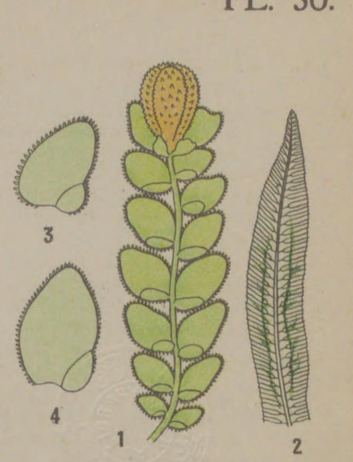
8569. **かたひばもどき**（30 圖版-287）……ウロコゴケ科
Ptychanthus striatus, *Nett.*
（異名）しだれごへいごけ　〔形態〕樹皮或は樹枝上に自生する苔類にして、全株黃褐色を呈す。莖は根狀をなせる部分より出で、再羽狀に分枝し伸長して下垂す。葉は左右 2 列に着き、半心臟形をなして先端尖り、基脚の腹側に小片を具へ、緣邊には粗大なる鋸齒を有す。下葉には狹き基脚を有し、略ぼ圓形をなし、頂端凹入して 2 箇の銳頭を具へ、緣邊に粗鋸齒を有す。
〔圖解〕1. 全形（½ 大）. 2. 枝の腹面廓大圖. 3. 枝の背面廓大圖.

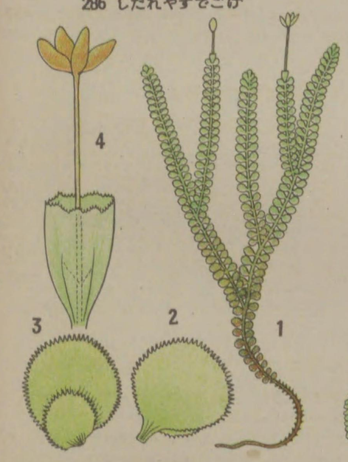
3. クロウロコゴケ屬　LOPHOLEJEUNEA.

8570. **くろうろこごけ** …… ウロコゴケ科
Lopholejeunea applanata, *Steph.*
〔形態〕全株概ね黑褐色をなせる苔類にして、枝は不齊なる羽狀に分岐す下葉は小さく全緣にして、殆んど球形に卷旋し、腹葉は腎臟形にして分裂せ

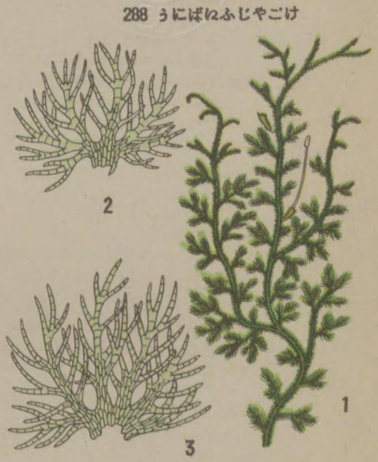
286 しだれやすでごけ

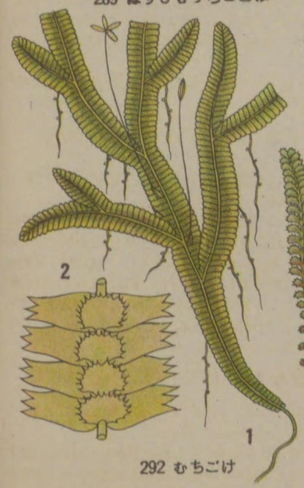

287 かたひばもどき


288 うにばねふじやごけ


289 はりひもうろこごけ

290 まるばふたへうろこごけ


291 びろうざうろこごけ


292 むちごけ

293 まるはたちむかでごけ

294 やばねごけ

295 ふくろうろこごけ

す。花被は4箇の廣き翅を有する龍骨を具へ．龍骨は廣き翼と齒とを有し．雌器托は枝端に頂生す。周苞は往々鋸齒を具へ．葉と著しく其形を異にするものなり。

4. チヂレウロコゴケ屬 BRACHIOLEJEUNEA.

8571. ちぢれうろこごけ …… ウロコゴケ科
Brachiolejeunea innovata, *Steph.*

〔形態〕葉狀體は褐綠色を呈し大きく．枝を叉生し．多くの葉を密生す。葉は上位にして．上片は半心臟形・全緣をなし．先端圓く．下片は半圓形にして基脚膨大し．緣邊鋸齒を具へ．腹葉は圓く且つ分裂せず。雌器托は枝の叉點に生じ．花被は3-10箇の龍骨を伴ふ。蒴は短柄を有し．球形にして蒼白色を帶び．熟すれば4片に裂開す。

5. マルバカギウロコゴケ屬 STREPSILEJEUNEA.

8572. まるばかぎうろこごけ …… ウロコゴケ科
Strepsilejeunea obtusifolia, *Steph.*

〔形態〕樹皮等に附着せる稍大形なる苔類にして．全株黃褐色を呈す。葉は稍彎曲し．先端鋸齒を具へ．膜壁は厚く．腹葉は大きく葉の半ばに達す。花被は5箇の龍骨を具へ．雌器托は短き枝上に着き．下腋には新苗を生ずるものなり。

6. カビゴケ屬 LEPTOLEJEUNEA.

8573. かびごけ …… ウロコゴケ科
Leptolejeunea dapitana, *Steph.*

〔形態〕生葉叉は樹皮等に附着して斑點狀をなせる極めて纖小なる苔類にして．雌雄同株なり。葉は細長く先端尖り．緣邊粗鋸齒を具へ．基脚極めて狹細なり。葉細胞は透明にして大きく往々內容を缺き．下片のものは小形なり。腹葉も亦小さく．概ね剛毛狀をなして基脚まで2分す。雌器托は短き枝上に生じ．周苞は基部に於て腹葉と癒着し．花被は5箇の龍骨を具ふ。

7. ハシゴゴケ屬 CHEILOLEJEUNEA.

8574. はしごごけ …… ウロコゴケ科
Cheilolejeunea scalaris, *Steph.*

〔形態〕全株往々褐色を呈する苔類にして．莖は屢ば羽狀に枝を岐つ。葉は下片稍膨大し．腹葉は小さく．葉細胞は往々乳頭を具へ．廣き葉緣輪を藏す。雄器托は概ね頂生し．雌器托は小枝上に生ず。周苞は鍾狀をなし．花被は扁平にして赤褐色を帶び．龍骨は著しく發達せざるものとす。

8. クサリゴケ屬 EULEJEUNEA.

8575. くさりごけ …… ウロコゴケ科
Eulejeunea compacta, *Steph.*

〔形態〕莖は羽狀又は不規則に枝を岐ち．葉狀體は小さく．葉は上位にして．上下2片に疊み．上片は卵圓形．下片は小さく共に全緣なり。腹葉は概ね小さく稀に葉の半ばに達し．2深裂をなす。雌器托は短き側枝の上に生じ．雌器托は頂生すれども．側部組織の成長により恰も側生の觀あり。花被は梨形或は倒心臟形をなし．5箇の龍骨を具へ．蒴は球形にして．深く4片に裂開す。

8576. おほくさりごけ …… ウロコゴケ科
Eulejeunea serpyllifolia, *Spruce.*

〔形態〕前種クサリゴケに酷似せる苔類にして．葉は卵圓形をなし概ね全緣．膜壁は薄く．下片は小さくして膨大し．時に殆んど缺如することあり。

9. ヒメクサリゴケ屬 COLOLEJEUNEA.

8577. ひめくさりごけ …… ウロコゴケ科
Cololejeunea minuta, *Steph.*

〔形態〕樹皮・岩上等に自生する苔類なり。莖葉共に極めて柔軟にして且つ往々透明體をなす。葉は其下片と莖との癒着せる部分に絲狀又は薬狀をなせる附屬體を伴ひ．腹葉は之を有せずして．概ね其部分に假根束を生ずるものなり。

8578. うにばえふじゃごけ （30圖版-288） ‥ウロコゴケ科
Cololejeunea venusta, *Schiff.*

〔形態〕羊齒類又は常綠植物の葉上に着生する可憐なる苔類にして．全體に淡綠色を呈す。莖は平臥して多くの枝を分ち．葉は大小2片に分れ大片は卵形鈍頭にして先端凹み．小片は大片の腹面に位し囊狀に凹む。葉細胞は多角形をなし．其背面には1箇の甚だ長き乳頭を有す。この細胞は大片にのみ有し．小片には之を缺く。〔分布〕本州中部及南部。

〔圖解〕1. 枝の腹大圖．2. 羊齒類の葉片に着生せる全形（自然大）．3. 4. 葉の腹面腹大圖．

10. クラマゴケモドキ屬 BELLINCINIA.

8579. くらまごけもどき …… ウロコゴケ科
Bellincinia Perottetiana, *Mont.*

〔形態〕山地の樹皮又は岩上に附着する苔類なり。葉は上位にして殆んど基脚まで2叉に分れ．下片は舌形をなして上片より小さく．緣邊往々反捲し又鋸齒を有す。腹葉は小さく基脚より少數の假根を生ず。花被は背面より壓迫せられて扁く．腹面に龍骨を具へ．2-10箇の襞を有す。雌器托は短き側枝上に生じ．蒴胞は球形にして不規則に裂開して基部に達せず。彈絲は2-3條の螺旋紋を有す。〔分布〕本州中部。

11. ムラサキウロコゴケ屬 SCAPANIA.

8580. むらさきうろこごけ …… ウロコゴケ科
Scapania purpurascens, *Tayl.*

〔形態〕葉狀體は往々紫斑を帶びたる葉を密生す。葉は下位にして．上下2片に疊み．上片は下片よりも小さく共に鋸齒緣をなす。腹葉は之を缺き．雌器托は頂生す。花被は背面より強く壓迫せられて扁く．廣き截口を具ふ。蒴は長き蒴柄を有し．卵圓形にして．裂片は直伸す。

8581. はりひもうろこごけ （30圖版-289） ‥ウロコゴケ科
Scapania spinosa, *Steph.*

（異名）うにばひしゃくごけ　〔形態〕陰濕の地上に自生する苔類にして．莖は平臥し．2-3回叉狀に分岐す。葉は大小2片に分れ．大片は腹面に．小片は背面に位し．大片の中央には龍骨狀の襞あり。緣邊には單細胞より成れる棘狀の裂片を有す。〔圖解〕1. 全形（自然大）．2. 葉の腹面（廓大）．3. 葉の背面（廓大）．4. 外被膜と蒴の廓大圖．

12. フタヘウロコゴケ屬 DIPLOPHYLLUM.

8582. ふたへうろこごけ …… ウロコゴケ科
Diplophyllum plicatum, *Lindb.*

〔形態〕多濕地に生ずる苔類なり。葉は下位にして龍骨狀に排列し．下片は上片より大きく．腹葉は之を有せず。花被は頂生し．圓筒形にして5乃至多數の皺襞を伴ひ．狹口なり。蒴は長柄を具へ．裂片は眞直に伸長す。

8583. まるばふたへうろこごけ （30圖版-290） ウロコゴケ科
Diplophyllum oltusifolium, (*Hook.*) *Dum.*

〔形態〕樹上又は岩石上に自生する苔類なり。葉は下位にして龍骨狀に疊まり．上片は下片よりも小さく．腹葉を有せず。花被は頂生し．卵圓形にして5乃至多數の皺襞を有し．口元は狹し。蒴胞は長柄を具へ．裂片は直伸す。　〔圖解〕1. 全形（自然大）．2. 全形廓大圖．

13. ビロウドウロコゴケ屬 TRICHOCOLEA.

8584. びろうどうろこごけ （30圖版-291） ‥ウロコゴケ科
Trichocolea tomentella, *Lindb.*

（異名）あをじろむくむくごけ　〔形態〕濕氣多き土地に自生する苔類にして 前種よりは全體遙かに大きく．全株綠白色を呈す。莖は多數の枝を小羽狀に分岐し．鐵匐枝及假根を有せず．平臥して重疊密生す。葉は左右2列をなし．殆んど基部まで分裂して掌狀をなし．各裂片は先端更に毛狀に分裂し．植物體をして天鵞絨樣の觀を呈せしむるに至る。この葉の緣邊には細胞列より成りて往々分岐せる長き剛毛狀部あり。細胞は細長．腹葉は2

回2裂し、稍小形なり。蒴胞は球形にして長柄を有す。
〔圖解〕1. 全形（自然大）. 2. 下葉莖大圖. 3. 葉莖大圖.

14. ケウロコゴケ屬 PTILIDIUM.

8585. けうろこごけ …… ウロコゴケ科
Ptilidium ciliare, *Hampe.*

〔形態〕多濕の地に多く生する苔類にして、莖は2回乃至3回羽狀に枝を岐ち、纖匍枝を有せず。葉は上位にして上下2片に分れ、上片は大きく、2回深叉裂し、溝襞を具へ、先端に長き房を有す。腹葉は大さ葉の半ば內外に達し、雌器托は短き側枝の上端に生ず。花被は膜質・卵圓形にして遊離し、蒴は卵圓形をなす。

15. フサウロコゴケ屬 CHANDONANTHUS.

8586. ふさうろこごけ …… ウロコゴケ科
Chandonanthus pusillum, *Steph.*

〔形態〕陰濕地に生する黃褐色にして稍大形且つ剛硬なる苔類なり。莖は叉狀に分枝し、纖匍枝は之を有せず。葉は下位にして、2深裂をなし、各裂片は緣邊に房を有す。雌器托は頂生し、花被は圓柱狀卵圓形にして3稜角を有すれども、明瞭ならざるものなり。

16. マツバウロコゴケ屬 BLEPHAROSTOMA.

8587. まつばうろこごけ …… ウロコゴケ科
Blepharostoma trichophyllum, *Dum.*

〔形態〕全體小形なる苔類にして、葉の變形したる側枝は葉の腹脈より生ず。葉は深く4裂し、各裂片は毛狀或は披針形を呈す。腹葉は葉と等しく、蒴胞は卵圓形を呈し、裂片は直伸す。

17. エダウロコゴケ屬 LEPIDOZIA.

8588. えだうろこごけ …… ウロコゴケ科
Lepidozia vitrea, *Steph.*

〔形態〕山地の濕地に自生する苔類にして、葉狀體は細く羽狀に枝を分岐し、往々纖匍枝狀の腹枝を出し、白綠色を呈す。葉は小さくして、先端概ね深く3裂すれども、亦往々2乃至5-6分裂して掌狀をなす。腹葉は概ね葉と同形同大にして先端4分裂す。雄器托及雌器托を生ずる枝は短く、莖の腹面に生じ、又稀に雄器托は側枝に頂生す。花被は3稜角を有し、蒴は4片に裂開して長き蒴柄を伴ふ。

18. ムチゴケ屬 BAZZANIA.

8589. **むちごけ**（30圖版-292）…… ウロコゴケ科
Bazzania Pompeana, *Mitt.*

（異名）おほむかでごけ 〔形態〕本植物體は通常强剛にして、全株褐綠色を呈す。莖は匍匐して、叉狀に枝を分ち、腹面には小さき葉を帶びたる纖匍枝を多數に出し、枝端は概ね斜上屈曲す。葉は左右2列をなして水平に展開し、長橢圓狀にして基脚に廣き耳を具へ、先端3裂し、腹葉は帶圓四角形をなし、先端4裂す。雄器及び雌器を生ずる枝は短くして腹面に着き、蒴胞は白色の長柄上にありて褐色を呈し、後4裂す。〔分布〕本州各部・四國・九州。 〔圖解〕1. 全形（自然大）. 2. 枝の一部（腹面）.

8590. こむちごけ …… ウロコゴケ科
Bazzania tridens, *Mitt.*

〔形態〕前種ムチゴケに近似せる苔類にして、彼に比するに稍小形なる一種なり。〔分布〕本州各部。

8591. ひめむちごけ …… ウロコゴケ科
Bazzania tenuistipulata, *Steph.*

〔形態〕前二種に酷似せる小形の一種にして、概形前種よりは一層小なるものなり。〔分布〕本州中部。

19. マルバタチムカデゴケ屬 PLAGIOCHILLA.

8592. **まるばたちむかてごけ**（30圖版-293）ウロコゴケ科
Plagiochilla ovarifolia, *Mitt.*

〔形態〕水濕多き土地に自生する苔類にして、全株褐綠色を呈し、大形なるものなり。莖は平臥して先端斜上し、長き小枝を分岐す。葉は前種と同じく左右2列に排列し、廣橢圓形・鈍頭をなし、一半は稍廣く多少龍骨狀に凹み、大形なる鋸齒緣を有す。本種は腹葉を有することなし。蒴胞は長橢圓形をなし、成熟すれば4裂開す。〔分布〕本州中部。
〔圖解〕1. 全形（自然大）. 2. 葉の腋大圖. 3. 2枚の葉を着けたる枝の腹面圖.

20. ホラゴケモドキ屬 KANTIA.

8593. ほらごけもどき …… ウロコゴケ科
Kantia trichomanis, *Gray.*

〔形態〕山地岩上等に生ずる苔類なり。葉狀體は匍匐し、莖は假根を有す葉は上位にして互生し、菱狀卵圓形・全緣にして先端圓く、腹葉は腎臟形にして先端2齒を具へ、全緣なるか或は鋸齒を有す。雌器を有する枝は腹葉の葉腋に生じ、圓柱形の囊狀にして外面に假根を出し、口元に鱗片狀の周苞を伴ふ。花被は之を缺き、蒴胞は圓柱形にして長柄を具へ、裂片は直立して螺旋狀に卷旋す。

8594. まるばほらごけもどき …… ウロコゴケ科
Kantia Sprengelii, *Steph.*

〔形態〕前種ホラゴケモドキに類似せる苔類にして、葉の一層圓形をせる一種なり。概形彼に近似す。〔分布〕九州（沖繩）。

21. ヤバネゴケ屬 EUCEPHALOZIA.

8595. **やばねごけ**（30圖版-294）……ウロコゴケ科
Eucephalozia bicuspidata, *Schiffn.*

〔形態〕陰地に自生する苔類にして、葉は單一なるか或は小枝を分岐し、往々纖匍枝を出す。葉は左右2列に排列し、全緣にして大形なる六角形の細胞より成り、腹葉は小形なり。
〔圖解〕1. 全形（自然大）. 2. 全形擴大圖.

8596. えぞやばねごけ …… ウロコゴケ科
Eucephalozia connivens, *Schiffn.*

〔形態〕北地の陰濕地に生ずる苔類にして、莖は枝を叉生し、又時に纖匍枝を生ず。葉は下位にして2分裂し、概ね全緣なり。葉細胞は大なる六角形より成り、腹葉は小さく或は缺如す。雌器托は概ね側生し、周苞は腹葉と癒着せず。花被は長くして3稜角を具へ、口緣には齒又は房を有するものなり。〔分布〕北海道・本州各部。

22. フクロウロコゴケ屬 SACCOGYNA.

8597. **ふくろうろこごけ**（30圖版-295）……ウロコゴケ科
Saccogyna glaveolens, *Lindb.*

〔形態〕山地岩上或は樹上に自生する苔類にして、莖は匍匐す。葉は下位にして、互生又稀に對生し、全緣なるか或は2裂し、往々鋸齒を具へ、腹葉は概ね2叉す。雌器を有する枝は腹葉の葉腋に生じ、雌器托は多肉なる囊狀をなし、外面に假根を有し、先端に小さき周苞を伴ひ、頸卵器壁は其長さの⅓まで囊の內壁と癒着す。雄器を有する短枝亦腹葉の葉腋に生ず。花被は之を缺き、蒴胞は卵圓形にして長柄を具へ、4箇に分裂し、各裂片は直立す。

23. ウロコゴケ屬 CHILOSCYPHUS.

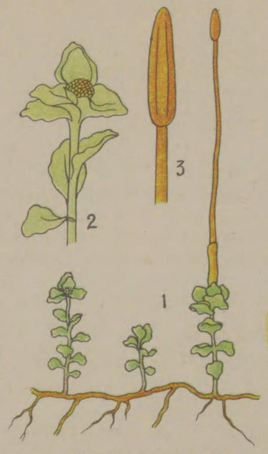
8598. うろこごけ …… ウロコゴケ科
Chiloscyphus argutus, *N. ab. E.*

〔形態〕莖は匍匐し假根を有す。葉は2裂し、腹葉は楔形となり、雌器托は頗る短き腹枝の上に生じ、蒴胞は長球形をなす。〔分布〕本州中部・四國。
本屬の植物は、匍匐して假根を有す。苔類中外形の進步したる一種にして、最も簡單なるものは葉狀體なれども、次で葉狀體に中肋を生じ、次で莖葉の區別を生ず。葉は2列に排列せる背葉と1列の腹葉とを有し、全緣な

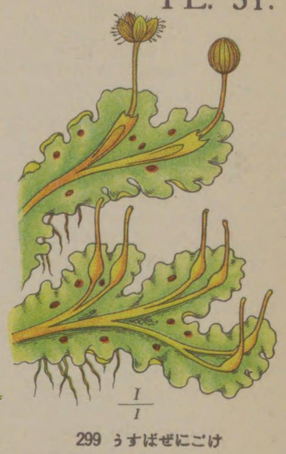
PL. 31.

296 しただまし

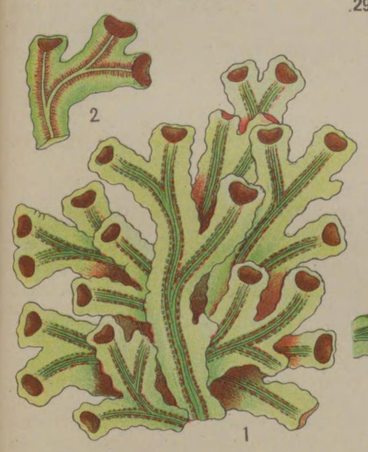
297 ほそははきごけ



298 まるばこまちごけ

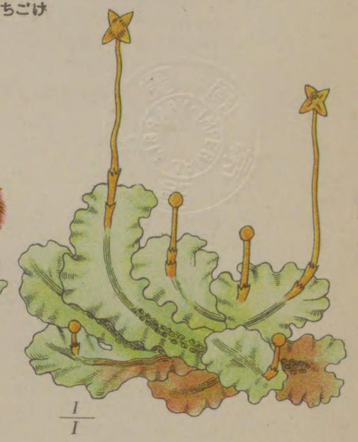


299 うすばぜにごけ



300 みどりしやくしごけ

301 まきのごけ



302 みづぜにごけ

303 くものすごけ

304 やはずごけ

305 ふたまたごけ

るか或は歯若しくは房を有す。腹葉は楔形・四角形・圓形或は腎臓形にして往々分裂す。雌雄器托は共は無柄にして雌器托は頗る短き腹枝の上に生じ周苞は葉より小なり。花被は小さくして圓錐形乃至鐘形をなす。雄器托は莖の背面或は葉狀體の先端に生じ、朔胞は長球形をなし、胞は4層の細胞より成る。

24. ハネゴケ屬　PLAGIOCHILA.

8599. はねごけ …… ウロコゴケ科
Plagiochila nagasakiensis, *Steph.*

〔形態〕山地岩上或は樹皮上に生ずる苔類にして、葉狀體は大きく、莖は上昇或は直立し、基脚部に假根及小葉を有する根苗様の部分を具へ、叉狀或は羽狀に枝を岐ち、往々樹枝狀をなす。葉は下位にして、互生稀に對生し羽狀に排列し、邊緣に鋸歯を具へ、腹葉は之を缺く。雌器托は莖端又は枝端に生じ、周苞は葉より大きく、雄器托は穗狀をなして、枝の中央或は先端に生じ、苞葉は小さく壺狀にして1-10箇の藏精器を有す。花被は鐘狀或は圓柱形をなして扁く、背面に翼を伴ひ、朔胞は卵圓形にして4片に裂開す。
〔分布〕本州中部。

8600. **しだだまし**（31圖版-296） …… ウロコゴケ科
Plagiochila asplenioides, *Dum.*

（異名）むかでごけ　〔形態〕陰地に自生する苔類の一種にして、全株稍大形なり。莖は直立し、基部に假根及小葉を有せる根苗様の部分を具へ、羽狀に枝を岐ち、時に樹枝狀をなす。葉は下位にして大きく互生し、全緣にして鋸歯を有す。腹葉は小さく、雌器托は莖端又枝端に生じ、朔胞は卵圓形にして、雄器托は穗狀をなし、枝の中央又は先端に生ず。

25. ハハキゴケ屬　NARDIA.

8601. ははきごけ …… ウロコゴケ科
Nardia comata, *Schiffn.*

〔形態〕山地岩上或は樹上に自生する苔類にして、雌雄異株なり。植物體は匍匐或は上昇し、假根を具へ、纖匐枝は概ね之を缺き、小さき葉を有する細き嫩苗を散生す。葉は下位にして圓く全緣にして互生し、半ばまで莖を包みて2列に排列し、腹葉は之を有せず。雌本の花被は卵圓形にして紫赤色を呈し、上部に4-5稜角を具へ、朔胞は球形にして4片に裂開し、長き朔柄を有す。胞子は細き絲を具へ、彈絲を伴ふ。周苞は普通の葉より大形なり。雄本の苞葉は莖の兩側に覆瓦狀をなして排列し、藏精器は枝の先端又は中央に生ず。

8602. **ほそははきごけ**（31圖版-297） …… ウロコゴケ科
Nardia crenulata, *Lindb.*

〔形態〕各地の陰地に自生する苔類にして、莖は匍匐し假根を生ず。花被は内部の周苞と癒着し、朔胞は球形にして彈絲は長し。雄器は枝の先端若しくは中央に生ず。

26. ムシトリゴケ屬　COLUROLEJEUNEA.

8603. **むしとりごけ**（白圖-99） …… ウロコゴケ科
Colurolejeunea Naumanni, *Schiffn.* et *Gott.*

99 むしとりごけ

100 みづごけもどき

〔形態〕「マジェラン」海峽に産する有名なる苔類にして、生葉の上に生活し、水嚢は上瓶狀をなす。水嚢には唯1箇の小孔ありて、容易に内方に動き得る扇の如き1枚の小板を以て閉ぢらる。此板は孔よりも大きく、且つ馬蹄狀をなせる孔緣に依りて支へらるゝが故に、内方には開けども、外方に開かず。而して此嚢中には常に輪蟲類・甲殻類・雙翅類等の幼蟲の如き小動物閉ぢ込められるれども、彼等が果して本植物の榮養に供せらるか、否やは未だ不明なりと云ふ。〔分布〕四國。

27. ミヅゴケモドキ屬　PLEUROZIA.

8604. **みづごけもどき**（白圖-100） …… ウロコゴケ科
Pleurozia gigantea, *Lindb.*

〔形態〕東印度諸島に産し、蟲類を捕獲するを以て著名なる苔類の一種なり。水嚢の基部は莖の腹面と癒着し、其他の大部分は葉の上片の背面と癒着す。此嚢は1箇の漏斗狀の孔を以て外界に通じ、漏斗の狹き口は2枚の瓣膜を以て閉ぢらる。降雨の際小動物來りて、此漏斗中に入れば、瓣膜は自ら閉ぢて之を捕獲するものなり。〔分布〕四國。

* * * * * *

2. うろこぜにごけ（鱗地錢）科
JUNGERMANNIACEÆ. ANACROGYNÆ.

本科に屬する植物の葉狀體は扁平にして、多くは莖葉の別をなし、中肋を缺くか或は之を有し、氣孔を有せず。雌器は葉狀體の背面に生じ、朔胞は通常4片に裂開し、多くは彈絲と共に胞子を散出す。

本科に屬する植物は世界を通じ、20屬、凡266種餘の植物を產出すれども、本邦には10屬、凡28種を產するに過ぎず。

本科所載植物名目次

アカカズノゴケ……8614　チヤウチンゴケモドキ8641　ミドリシヤクシゴケ…8608
ウスバゴケ……8611　フタマタゴケ……8614　ミドリミヅゼニゴケ…8619
ウスバゼニゴケ……8607　ホソナガクモノスゴケ8612　ヤハズゴケ……8613
ウロコゼニゴケ……8606　マキノゴケ……8609　ヤハラウスバゴケ……8623
オカカヅノゴケ……8632　マルバコマチゴケ……8605　……
クモノスゴケ……8612　ミヅゼニゴケ……8610　……

1. マルバコマチゴケ屬　CALOBRYUM.

8605. **まるばこまちごけ**（31圖版-298） ウロコゼニゴケ科
Calobryum mnioides, *Schiffn.*

（異名）ちゃうちんごけもどき　〔形態〕濕地に自生する苔類にして、雌雄異株なり。本種はその容姿頗る愛らしく、全體に淡綠色を呈し、柔軟なり莖は基部に多肉にして枝を分岐せる根苗様の部分を有し、葉は卵圓形・全緣にして、上部の3葉は普通葉より大きく、且つ幅亦廣し、雌器及雄器は圓盤狀に擴がれる莖端に簇生し、雄器の間には葉を混ぜず。子嚢は長き朔柄の上にありて4縱列す。

〔圖解〕1. 全形（自然大）. 2. 雄器を生じたる枝. 3. 子嚢.

2. ウロコゼニゴケ屬　FOSSOMBRONIA.

8606. うろこぜにごけ …… ウロコゼニゴケ科
Fossombronia japonica, *Schiffn.*

〔形態〕陰地に自生する苔類にして、全株扁平なり。莖は匍匐し、時に叉狀に枝を岐ち、下面には概ね紫色の假根を生ず。葉は幅廣く、往々長さを超ゆるか或は稍四角形をなし、前葉は後葉を覆ふ。雌器は莖の上面に生じ、受胎後鐘狀をなせる假花被を以て包擁せらる。雄器は莖の上面、葉の基脚近くに生じ、屢ば長柄を有す。朔胞は短き朔柄を有し、球形にして黃色を帶び、

不規則に裂開す。彈絲は短形．胞子は大きく．疣粒又は網紋を有す。

3. ウスバゼニゴケ屬　BLASIA.

8607. **うすばぜにごけ**（31 圖版-299）‥ウロコゼニゴケ科
Blasia pusilla, *L.*

〔形態〕樹蔭・濕地等に自生する苔類にして．雌雄異株なり。葉狀體は膜質にして枝を叉生し．裂片は廣線形或は楔形をなして擴がり綠色を呈す。中肋は幅廣く．兩側の組織は 1 層の細胞より成り．下面に 2 列の腹葉及半球狀の葉耳を有し．內に念珠藻を宿す。雌器は葉狀體の表面に沈在し．蒴胞は卵圓形にして赤褐色を呈し．蒴柄を伴ひ．4 片に裂開し．彈絲を具ふ。胞子は圓狀多角形にして．孵芽は葉狀體の表面に遊離せる星狀のものと．枝端の壜狀器內に發達せるものとの二種あり。〔分布〕本州中部。

4. ミドリシャクシゴケ屬　CAVICULARIA.

8608. **みどりしゃくしごけ**（31 圖版-300）ウロコゼニゴケ科
Cavicularia densa, *Steph.*

〔形態〕林間の地上に自生する苔類にして．葉狀體は密に重疊し．叉狀に分岐し．綠色乃至淡綠色を呈す。中肋は前種と同樣幅廣く．其兩側には通常 1 列をなせる黑色の小點列を具へ．全體柔軟にして緣邊は稍波狀に收縮す。葉狀體の先端には半月狀をなせる凹所ありて多數の無性芽を藏す。有性生殖器は未知なり。

〔圖解〕1. 全形表面（½ 大）．2. 同上表面を示す。

5. マキノゴケ屬　MAKINOA.

8609. **まきのごけ**（31 圖版-301）‥‥‥ウロコゼニゴケ科
Makinoa crispata, *Miyake.*

〔形態〕陰濕なる地に自生する苔類にして．雌雄異株なり。葉狀體は扁く緣邊波狀をなし叉分す。中肋は幅廣く．雌器は葉狀體の先端に近く群生し．齒を有する皮膜を以て包まる。蒴胞は長楕圓形にして暗褐色を呈し．長柄を有す。胞子は圓く．雄器は苗端に群生し頗る大なる精子を藏す。

〔分布〕本州中部。

6. ミヅゼニゴケ屬　PELLIA.

8610. **みづぜにごけ**（31 圖版-302）‥‥ウロコゼニゴケ科
Pellia epiphylla, *Dum.*

（異名）みどりみづぜにごけ　〔形態〕各地の濕地又は溪流の邊に自生する苔類にして．雌雄同株なり。植物體は多肉・扁平にして葉狀を呈し．緣邊波狀をなし．不規則に叉枝す。中肋は幅廣けれども不明瞭なり。雄器は 4 箇乃至 12 箇集合し．雌器を包める皮膜の下に生じ．葉狀體中に沈在し．雌器は葉狀體の表面中央部に簇生す。蒴胞は球形にして．綠褐色を呈し．長柄を具へ．4 片に裂開す。〔分布〕本州中部・四國。

7. ウスバゴケ屬　SYMPHYOGYMA.

8611. うすばごけ ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ウロコゼニゴケ科
Symphyogyma tosana, *Steph.*

〔形態〕樹下又は陰濕地に自生する苔類なり。葉狀體は匍匐し．扁平にして全緣なるか或は缺刻を有し．枝は單一或は扇狀に分岐し．往々根莖樣の基部より直生し．中肋を有す。雌器は中肋の上面に群生し．「ポケット」樣の皮膜を以て包まれ．皮膜は外面に鱗片を被り．假花被を有せず。雄器も亦中肋の上に散生し．有齒の鱗片を以て蔽はる。蒴胞は圓柱形をなし．裂片は屢ば先端に於て附着し．壁は環紋を缺ける 1 層の細胞より成る。

8. クモノスゴケ屬　PALLAVICINIA.

8612. **くものすごけ**（31 圖版-303）‥‥ウロコゼニゴケ科
Pallavicinia longispina, *Steph.*

（異名）ほそながくものすごけ　〔形態〕葉狀體は扁平にして匍狀の叉枝を生じ．中肋は先端延びて纖匐枝となり．中肋の兩緣にある翼は 1 層の細胞より成る。雌器は葉狀體の表面に群生し．蒴胞は圓柱形にして長柄を有し．癒合鱗片より成れる皮膜を以て包まれ．成熟すれば管狀の假花被に蔽はれ．不完全に 4 裂開し．胞子及彈絲を出す。雄器は中肋上に生じ．有齒の鱗片を以て包擁せらる。〔分布〕本州中部・四國。

8613. **やはずごけ**（31 圖版-304）‥‥‥ウロコゼニゴケ科
Pallavicinia Lyellii, *Gray.*

〔形態〕概形其他前種クモノスゴケと同樣なるものなれども．本種は葉狀體が矢筈狀をなせるを其特徵とするものなり。

9. フタマタゴケ屬　METZGERIA.

8614. **ふたまたごけ**（31 圖版-305）‥‥ウロコゼニゴケ科
Metzgeria furcata, *Lindb.*

（異名）あかかずのごけ　〔形態〕山地・樹蔭等の濕地に自生する苔類にして．雌雄異株なり。葉狀體は膜質・帶狀をなし．先端叉分し．緣邊・裏面及著しく隆起したる中肋の下面に假根を有す。葉狀體は 1 層の細胞より成り．中肋は表面に於て 2 列．裏面に於て 4 列の表皮細胞を具へ．其間に 3 層の小き細胞を有す。雌器・雄器共に頗る退化したる腹苗の上に生じ．雄苗は平滑にして彎曲し雄器を藏し．雌苗は毛を具へ．心臟狀の皮膜內に頸卵器群を藏す。蒴胞は短柄を具へ．4 片に裂開し．彈絲は 1 條の螺旋紋を具ふ。

*　*　*　*　*

PL. 32.

2. 角苔群

1. つのごけ(角苔)科
ANTHOCEROTACEÆ.

本科に屬する植物は、雌雄異株に屬し、葉狀體は扁平にして假根を具へ、裏面に鱗片を有せず、粘液を以て充たされたる間隙を有し、其中に往々念珠藻の生活するを見る。各細胞内には1箇の大なる葉綠體を藏す。雄器は葉狀體の上面に近き腔内に生じ、成熟するまで閉鎖せらる。頸卵器も組織中に埋沒し、受胎後、近くより發達する組織に依て蔽はる。而して蒴胞は成長するに從ひ、該組織を破りて外部に突出し、角狀を呈するに至る。普通蒴胞の基脚部を、鞘狀をなして圍むものは即ちこの組織の遺物なり。蒴胞は無柄にして頂端より基脚に向け、左右2片に裂開し、其中央に軸柱を具へ、彈絲を含む。

本科に屬する植物は3屬、凡103種の植物を含み、廣く各地に產出すれども、本邦には約2屬、4種を產するに過ぎず。

1. ツノゴケ屬　ANTHOCEROS.

8615. つのごけ　角苔 …… ツノゴケ科
Anthoceros communis, *Steph.*

〔形態〕陰地に自生する苔類にして、葉狀體は圓形を呈し、種々に分裂す。蒴胞は葉狀體の表面に生じ、長角狀を呈し、基脚部は皮膜にて被はれ、成熟すれば2片に裂開す。〔分布〕本州各部・四國・九州。

8616. **なめりつのごけ**　(32圖版-306) …… ツノゴケ科
Anthoceros laevis, *L.*

(異名) にはつのごけ　〔形態〕有性・無性兩世代の交番をなすものなるが、有性世代の植物體は比較的單簡にして、ゼニゴケの幼體に似たり。葉狀體は薄く鮮綠色を呈し、平滑にして地上に平臥し、緣邊は不齊に出入あるのみにして整然たる分岐をなさず。中肋は之を缺き、假根を生じ、幅1·3糎(4·3分)以上に及ぶものあり。蒴は角狀をなして、基脚部に鞘狀の皮膜を有す。成熟すれば蒴は頂より基脚に向ひ左右2片に裂開し、胞子及彈絲を散出し、中央に軸柱を宿存す。

* * * * *

3. 地錢群

1. ぜにごけ(地錢)科
MARCHANTIACEÆ.

本科に屬する植物の葉狀體は匍匐し、肉質或は革質にして叉分す。中肋並に呼吸腔を具へ、能く發達せる氣孔により外通す。葉狀體の裏面には2列の鱗片及假根を有す。雄器は束狀或は放射狀をなせる托上に群生し、托は往々長柄を有す。頸卵器は1箇或は多數が、葉狀體の表面若しくは先端の裏面に着生し、屢ば長柄を有する頭狀或は放射狀の托上に群生す。蒴胞は概ね短柄を具へ、基脚部より周圍に向ひて放射せる彈絲を藏す。成熟すれば蒴胞は4箇の齒裂片或は蓋を以て開く。

本科には19屬、凡163種の植物を有し、廣く各地に產し、本邦には自生するもの11屬、凡30餘種を產出す。

本科所載植物索引

アカゼニゴケ……8621　ゼニゴケ……8617　フタバネゼニゴケ……8618
アミガサゼニゴケ……8618　ヂンガサゼニゴケ……8619　ホソバネゼニゴケ……8627
ウラベニゼニゴケ……8628　テガタゼニゴケ……8620　マゼニゴケ……8617
オホケゼニゴケ……8622　ハナゼニゴケ……8617　ミヅゼニゴケ……8623
ケゼニゴケ……8622　ヒメジヤゴケ……8625　……
ジヤゴケ……8624　フタゼニゴケ……8626　……

1. ゼニゴケ屬　MARCHANTIA.

8617. **ぜにごけ**　地錢　(32圖版-307) …… ゼニゴケ科
Marchantia polymorpha, *L.*

(異名) まぜにごけ　〔形態〕陰濕の地に最も普通なる苔類なり。葉狀體は扁平にして莖葉の區別なく、裏面よりは多くく白色の細き根毛を生じ、地に着きて擴がり、表面よりは柄を抽き、雌雄異株なり。雌本は柄の頂に指を擴げたるが如き雌器托を出し、雄本は小さき皿の如き雄器托を着く。雌本は後に子嚢體を生じ、内に胞子を充滿して蕃殖の用をなす。又別に雌雄兩株共に葉狀體の表面所々に杯狀物を生じ、中に多數の無性芽を發生し、成長の後分離して地上に落ち、萌發して新植物となるものなり。

〔分布〕日本全土。

8618. **ふたばねぜにごけ**　(32圖版-308) …… ゼニゴケ科
Marchantia diptera, *Mont.*

(異名) あみがさぜにごけ　〔形態〕陰濕の地又は樹蔭等に自生する苔類にして、雌雄異株なり。葉狀體は2分岐して密生し、表面は鮮綠色を呈し氣孔の區劃明瞭なれども、裏面は紫色を帶ぶ。雌器托は、前方缺刻狀をなせる菊紋狀の盤形をなし、緣邊數箇乃至10箇内外に淺裂す。缺刻左右の2片は大きく翼狀をなして、開展或は下垂し、表面の中心には1箇の突起を具へ、高さ2糎(6分)許ある托柄上に着生す。

8619. **ぢんがさぜにごけ**　(32圖版-309) …… ゼニゴケ科
Marchantia planipora, *Steph.*

(異名) はなぜにごけ　〔形態〕陰濕地に自生すれども亦稀に淡水中に生ずるものあり。葉狀體は2叉又は多數に分岐し、表面綠色、裏面は稍紅紫色を帶ぶ。氣孔は小さく、氣孔の區劃及中肋は明瞭なり。雌器托は前種と同じく前方缺刻狀をなせる圓盤形にして、邊緣は8-10分裂し、各裂片は長楕圓狀楔形をなし、4-8糎(1·3-2·7分)内外の托柄上に着生し、托の中央部には乳頭を有す。

8620. **てがたぜにごけ**　(32圖版-310) …… ゼニゴケ科
Marchantia cuneiloba, *Steph.*

〔形態〕本種も亦陰濕の地上に自生する苔類にして、雌雄異株なり。葉狀體は密に地上に平臥し、稍褐色を呈す。雌雄器托共に掌狀をなせども、雄器托にありては稍半圓形にして緣邊數裂し、作用後概ね發育して普通の葉狀體を形成するものなり。〔分布〕本州南部・四國・九州。

2. アカゼニゴケ屬　CHOMIOCARPON.

8621. あかぜにごけ …… ゼニゴケ科
Chomiocarpon quadratus, *Lindb.*

〔形態〕山地の陰濕地等に自生する苔類にして，葉狀體は概ね苗端の下部に不定苗を具へ，多くの枝を叉生せず．中肋兩側の組織は赤色を呈す．氣孔は樽狀をなし，腹鱗は大きく，其兩側の組織も亦赤色を呈す．雌器托は 2 條の縱溝を有する長柄を具へ，3-4 裂し，各裂片の下には皮膜ありて頸卵器群を包み，此の頸卵器群中 1-3 箇は萌胞に發達し，膜質・圓錐形の假花被を有し，後不規則に裂開す．萌胞は不整齊の裂片を以て開き，胞子は大きく疣粒を帶ぶ．雄器托は圓盤狀をなし，長き柄を伴ふ．

3. ケゼニゴケ屬　DUMORTIERA.

8622. **けぜにごけ**（32 圖版-311）……ゼニゴケ科
Dumortiera hirsuta, *Nees.*

（異名）おほけぜにごけ　〔形態〕葉狀體は頗る大きく，叉狀に枝を分ち薄質・柔軟なり．呼吸腔及氣孔を缺き，苗端にのみ鱗片を生ず．雌器托は，葉狀體の緣邊凹所に生じ，柄は長くして頂端及基脚に鱗毛を有し，2 條の膜溝を具ふ．雌器托の頂は圓盤狀にして 8 乃至 10 放射をなし，上面の中央部に嘴を具へ，各放射部の下部には囊狀の皮膜ありて，先端に小孔を有し，內に多數の頸卵器群を藏すれども，群中唯 1 箇の頸卵器のみ萌胞に發達し，放射部も 3 箇乃至 5 箇のみが殘るを常とす．假花被は之を缺き，萌胞は短柄を有し，4-6 片に裂開す．雄器托は圓盤狀をなして短柄を有す．
〔分布〕本州各部・四國・九州．

8623. **みづぜにごけ**……ゼニゴケ科
Dumortiera irrigua, *Nees.*

〔形態〕溪流又は河畔等に自生する苔類にして，雌雄同株なり．葉狀體は廣き不明瞭なる中肋を具へ，緣邊波狀をなし，不規則に叉枝を分ち，長さ 5 糎（1-7 分），幅 1 糎（3 分）內外を有す．雄器は葉狀體の中に沈在し，雌器を包める皮膜の下に生じ．雌器は葉狀體表面の中央部に簇生す．萌胞は球形にして長柄を具へ，4 片に裂開し，頗る長き彈絲及大なる胞子を飛散す．
〔分布〕本州中部及南部・四國．

4. ジャゴケ屬　CONOCEPHALUS.

8624. **じゃごけ**（32 圖版-312）……ゼニゴケ科
Conocephalus conicus, *Dum.*

〔形態〕山野の濕地・水邊の岩石上等に自生する苔類にして．雌雄異株なり．葉狀體は扁く，叉枝を生じ，蛇鱗狀の斑紋を生じ．其中に 1 箇の氣孔を有し，椀狀體を有せず．幅 1-2 糎（3-6 分）內外に達す．雌器托は圓錐形にして白色の長柄を具へ，圓錐部の下面には 5-8 箇の萌胞を懸垂し，萌胞は管狀の皮膜を以て包まれ，成熟すれば皮膜より脫離し，頂端裂開して大なる胞子と太き彈絲とを飛散す．雄器托は圓盤狀をなし，無柄にして藏精器は葉狀體中に沈在す．〔分布〕本州中部及南部・四國・九州（沖繩）。

8625. **ひめじゃごけ**（32 圖版-313）……ゼニゴケ科
Conocephalus supradecompositus, *Steph.*

〔形態〕陰濕の地上に自生する綠色の苔類にして，雌雄異株なり．葉狀體は小さく，數回細叉裂し，氣孔及其區劃は明瞭にして，細胞は數環列す．雌器托は圓錐形にして葉狀體の先端より生ずる白色の細柄上に着生し，無性芽は葉狀體裂片の先端に粉狀をなして無數に生ず．雄器托は葉狀體の上に生じ，小判形をなせるものなり．〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

5. フタゼニゴケ屬　NEESIELLA.

8626. **ふたぜにごけ**……ゼニゴケ科
Neesiella longiseta, *Steph.*

〔形態〕葉狀體は薄くして，下面に不明瞭なる小鱗片を具ふ．雌器托は半球形をなし，表面に拟を有し，柄は苗片と直接に連續し，1 條の腹溝を具へ，頂に鱗毛を生ず．假花被は缺如し，萌胞は正しき萌蓋を以て開き，胚芽は之を有せず。

6. ホソバゼニゴケ屬　HYPENANTRON.

8627. **ほそばぜにごけ**……ゼニゴケ科
Hypenantron pilosum, *O. Ktze.*

〔形態〕葉狀體は叉狀に枝を分ち，呼吸腔は空虛なるか或は同化組織を以て充たさる．腹鱗は概ね大きく紫色を帶ぶ．雌器托は圓錐形若しくは扁平にして，全緣なるか或は淺き缺刻を有し，1-6 箇の皮膜は 1 箇の萌胞を藏す假花被は膜質にして圓錐形をなし，後に 3 箇若しくは許多の披針狀に裂開す．彈絲は 1 條乃至 2 條の螺旋紋を有し，胚芽を有せず。

7. ウラベニゼニゴケ屬　REBOULIA.

8628. **うらべにぜにごけ**（32 圖版-314）……ゼニゴケ科
Reboulia hemisphaerica, *Raddi.*

〔形態〕廣く各地の陰處に自生する苔類にして，葉狀體は叉狀に枝を岐ち革質なり．腹鱗は中肋上 2 列に生じ，赤紫色を呈するを以て此名あり．雌器托は苗端近く生じ，圓錐形又は半球形にして柄を有し，頭部の下に鱗毛を生ず．萌胞は各 1 箇を頭部の 4-7 放射せる各部の裏面にある 2 枚の被膜に蔽せられ，成熟すれば上部は裂開して不規則なる破片となり，彈絲は 2 條の螺旋紋を有す．雄器托は葉狀體の中央に生じ，半月形をなす．〔分布〕本州中部及南部・四國・九州（沖繩）。

*　　*　　*

2. うきごけ（浮苔）科　RICCIACEÆ.

本科に屬する植物の葉狀體は多肉にして叉狀に枝を分ち，背面に中溝を具ふ．呼吸腔は缺如するか或は之を具ふるも同化組織なく，氣孔によりて外通し，下面には概ね鱗片を有す．生殖器は葉狀體の中に埋沒し，萌胞は終りまで頸卵器の內に閉鎖せられ，成熟すれば萌胞の膜壁は溶解し，胞子は直接に頸卵器內に遊離するに至り，後に頸卵器並に其周圍の組織の破壞によりて外部に放出せらる。

本科には 4 屬，凡 110 餘種の植物を含み，廣く各地に產出す．本邦には自生するもの 2 屬，凡 5 種あり。

1. ウキゴケ屬　RICCIA.

8629. **うきごけ**（32 圖版-315）……ウキゴケ科
Riccia canaliculata, *Hoffm.*

〔形態〕雌雄同株又は異株にして，濕地又は水中に浮游し，水中にあるものは假根を缺き，且つ登熟せず．陸上にありて始めて結實す．葉狀體は青綠色を呈し，多くは中溝を具へ，緣邊に無色の纖毛を生じ，鱗片は 1 列に生ずれども，後に 2 叉し，往々紫色を帶ぶ．雄器は葉狀體の表面に散生し，胞子は大きく外子皮は網狀の隆起を伴ふものなり．〔分布〕四國・九州（沖繩）。

8630. **かづのうきごけ**（32 圖版-316）……ウキゴケ科
Riccia fluitans, *H. Br.*

（異名）かづのごけ　〔形態〕常に清澄なる湧泉中に浮游して存在する苔類なり．葉狀體は非薄・線狀にして 2 分岐し，多數密集して淡綠色を呈す．水生のものは假根を有せざれども，泥土上のものは之を具ふ．葉狀體の橫斷面には間隙多し．萌胞は葉狀體中に埋沒し，其部分は裏面に球狀となりて突出す。
〔圖解〕1. 全形（自然大）．2. 右は水中產．左は泥土上產のもの．

8631. **はだけごけ**（32 圖版-317）……ウキゴケ科
Riccia glauca, *L.*

〔形態〕普通畑地或は庭園に自生する苔類にして，地上に橫はり，楔形にして叉狀に分岐せる數片の固く集るものより，帶白綠色を呈す．其他特徵は前種に同じ。

2. イテフゴケ屬　RICCIOCARPUS.

8632. **いてふごけ**（32 圖版-318）……ウキゴケ科
Ricciocarpus natans, *Corda.*

（異名）むらさきいてふごけ　〔形態〕水面に浮游する苔類にして，雌雄異株なり．葉狀體は叉狀に枝を岐ち，稍イテフの葉に類似し，表面は綠色にして多角形の呼吸腔及氣孔を具へ，下面には頗る長き紫色の鱗片を不規則に排列し，緣邊鋸齒を有す．藏精器は集りて 1 列をなし，中溝內の脊狀隆起に開口し，秋日陸上に結實す．〔分布〕四國・九州（沖繩）。

第十一卷總索引

ア

アウムゴケ……137
アヲイトゴケ……100
アヲキノモトサウ……65
アヲウラジロ……19
アヲガネシダ……26
アヲキヌゴケ……77
アヲキヌゴケ科……77
アヲクサゴケ……85
アヲゴケ……144
アヲシツボゴケ……139
アヲジロムクムクゴケ……151
アヲツヤゴケ……91
アヲネカヅラ……52
アヲハヒゴケ……96
アヲホラゴケ……73
アヲミヤマウラジロ……32
アカイチヰゴケ……87
アカウキクサ……15
アカカズノコゴケ……156
アカカタシロゴケ……138
アカコガネハヒゴケ……95
アカスヂゴケ……124
アカゼニゴケ……159
アカツヤゴケ……91
アカハマキゴケ……137
アカミノギバウシゴケ……132
アカメホウライシダ……21
アキノハナワラビ……74
アサイトゴケ……97
アシブトカタヒバ……4
アスカヰノデ……59
アスヒカヅラ……7
アゼゴケ……131
アタゴゴケ……4
アツイタ……47
アツバチヤウチンゴケ……123
アツブサゴケ……80
アツブサゴケモドキ……80
アブラゴケ……103
アブラゴケ科……103
アマクサシダ……65
アミガサゼニゴケ……159
アミシダ……25
アヤメシダ……56
アラゲクジヤク……22
アラハヒツジゴケ……77
アリサンスギゴケ……116
アリノヲヤリ……117

イ・ヰ

ヰクビゴケ科……117
イケニラ……1
イシカグマ……48
イシノウヘノコゴケ……137
イシマメ……38
イセイチヰゴケ……88
イセサナダゴケ……90
イタチゴケ……108
イタチゴケ科……108
イタチシダ……60
イタチノシツポ……121
イチヰナンカクラン……8
イテフゴケ……160
イテフシダ……26
イトクシノハゴケ……88
イトゴケ……107
イトササバゴケ……96
イトサハゴケ……118
イトシノブゴケ……98
イトツルゴケ……100
イトハヒゴケ……87
イヌエバウシゴケ……104
イヌカタヒバ……4
イヌガンソク……47
イヌコクサゴケ……105
イヌシダ……48
イヌスギナ……13
イヌドクサ……13
イヌワラビ……31
キノデ……59
キノモトサウ……60
イハイトゴケ……100
イハウラジロ……32
イハオモダカ……33
イハガシハ……33
イハガネサウ……33
イハガネゼンマイ……33
イハグミ……33
イハゴケ……3
イハゴケ……147
イハシノブ……33
イハシボネ……32
イハシボネ……52
イハシロヰノデ……59
イハスギ……7
イハダレゴケ……90
イハデンダ……66
イハナガハシゴケ……85
イハノカハ……33
イハヒトデ……55
イハヒバ……3
イハヒバ科……3
イハヒバモドキ……3
イハヒモ……8
イハヘゴ……42
イハホウライシダ……21
イハマエビゴケ……143
イハマツ……3
イハマメ……38
イハミノ……37
イハミノ……56
イハミノゴケ……132
イハヤシダ……37
イハヤナギシダ……56
イバラゴケ……103
イヒシバゴケ……80
イブキシダ……43
イブキスギゴケ……115
イボクマデゴケ……140
イボマツバゴケ……140
イボヤナギゴケ……95
イヨクジヤク……38
イヨホシダ……41
イリヲモテイシシダ……47
イリヲモテシヤミセンヅル……16

ウ

ウキゴケ……160
ウキゴケ科……160
ウスイタ……56
ウスキシメリゴケ……95
ウスグロゴケ……96
ウスグロゴケ科……96
ウスジロシモフリゴケ……133
ウスバゴケ……156
ウスバゼニゴケ……156
ウスヒメワラビ……34
ウスワラビ……41
ウチハゴケ……70
ウチハチヤウチンゴケ……122
ウチハヒラゴケ……106
ウニバエフジヤゴケ……151
ウニバヒシヤクゴケ……151
ウマスギゴケ……115
ウライシダ……38
ウラジロ……19
ウラジロ科……19
ウラベニゼニゴケ……160
ウリゴケ……124
ウロコギ……2
ウロコギ科……2
ウロコゴケ……152
ウロコゴケ科……148
ウロコシダ……74
ウロコゼニゴケ……155
ウロコゼニゴケ科……155

エ・ヱ

エビスゴケ……106
エゾアヲキヌゴケ……77
エゾアツブサゴケ……80
エゾイトゴケ……100
エゾイヌワラビ……31
エゾイハデンダ……66
エゾウリゴケ……124
エゾキンマウゴケ……131
エゾコスギゴケ……116
エゾサナダゴケ……89
エゾサナダゴケモドキ……89
エゾサハゴケ……118
エゾシノブゴケ……98
エゾスギナ……13
エゾチヤウチンゴケ……122
エゾツルハシゴケ……79
エゾデンダ……56
エゾナガダイゴケ……143
エゾネヂレゴケ……134
エゾノイタチゴケ……108
エゾノシツポゴケ……139
エゾノハネヒツジゴケ……78
エゾハヒゴケ……87
エゾハリガネゴケ……124

第十一卷總索引

エゾヒツジゴケ……78
エゾヒメハナワラビ……74
エゾヒラゴケ……106
エゾフユノハナワラビ……74
エゾミヅゴケ……148
エゾミヅニラ……1
エゾヤノネゴケ……79
エゾヤバネゴケ……152
エゾシラガゴケ……138
エダウチコブラン……74
ニダウチホングウシダ……47
エダウロコゴケ……152
エダツヤゴケ……91
エビガラシダ……33
エビゴケ……143
エビゴケ科……143
エビラシダ……44

オ・ヲ

オウジノヒモ……38
ヲガサハラシシラン……66
ヲカムラゴケ……81
ヲカムラフクロゴケ……88
オキナハクジヤクシダ……22
ヲクマワラビ……43
オクヤマワラビ……32
ヲサシダ……32
ヲサバ……32
ヲシダ……41
オシヤゲジデンダ……56
ヲトコシダ……60
ヲトメゴケ……104
オトメシダ……26
オトロキノデ……59
ヲナガノキシノブ……52
オニクラマゴケ……4
オニサハゴケ……118
オニシダ……59
オニゼンマイ……16
オニゼンマイ……66
オニヒツジゴケ……77
オニホラゴケ……73
オニヤブソテツ……59
オホアカウキクサ……15
オホアツブサゴケ……80
オホイヌシダ……48
オホイヌワラビ……31
オホイハヒトデ……55
オホウラジロ……19
オホエバウシゴケ……104
オホカギハヒゴケ……95
オホカクレゴケ……108
オホカハゴケ……112
オホカラカサゴケ……123
オホキジノヲ……52
オホクサソテツ……47
オホクサリゴケ……151
オホクボウラボシ……56
オホクボシダ……56
オホクリハラン……55
オホクルマシダ……31
オホケゼニゴケ……160
オホコクサゴケ……105
オホサガリゴケ……107
オホサナダゴケ……89
オホサナダゴケモドキ……89
オホシケシダ……37
オホシツボゴケ……139
オホシノブゴケ……97
オホシマハリゴケ……99
オホシラガゴケ……138
オホスギカヅラ……8
オホタウゲシバ……8
オホタニワタリ……26
オホタマゴケ……118
オホタマシダ……48
オホチヤウチンゴケ……122
オホトキハシダ……25
オホトラノヲシダ……25
オホナガヒツジゴケ……77
オホヌマシノブゴケ……98
オホネヂクチゴケ……134
オホネヂレヤノネゴケ……79
オホノキシノブ……52
オホノコギリシダ……31
オホバシヨリマ……44
オホバチヤウチンゴケ……123
オホハナシゴケ……137
オホハナヤスリ……73
オホハナワラビ……74
オホバニハスギゴケ……115
オホバノキノモトサウ……60
オホバノハチヂヤウシダ……65
オホハヒゴケ……87
オホハヒヒモゴケ……107
オホハヒホラゴケ……70
オホバホウワウゴケ……144
オホハリガネゴケ……124
オホヒトツバ……34
オホヒメヒナゴケ……104
オホヒメミノゴケ……132
オホヒメワラビ……32
オホヒモゴケ……121
オホヒロバノイヌワラビ……31
オホフサゴケ……82
オホフタゴゴケ……134
オホヘチマゴケ……129
オホヘラシダ……26
オホホウワウゴケ……144
オホホシダ……41
オホホラゴケ……73
オホミゴケ……131
オホミゾシダ……37
オホミゾシダ……41
オホミヅゴケ……147
オホミヅスギモドキ……107
オホミツデ……44
オホムカデゴケ……152
オホメシダ……31
オホラセンゴケ……99
オランダサウ……21
オリヅルシダ……59
ヲンセンゴケ……124

カ

カウサギシダ……25
カウモリシダ……44
カウヤコケシノブ……70
カウヤノマンネングサ……111
カウヤノマンネングサ科……111
カウヤノマンネンゴケ……111
カウヤワラビ……51
カガミゴケ……86
カギバダンツウゴケ……131
カギバニハスギゴケ……116
カギハヒゴケ……95
カギヤノネゴケ……79
カクレゴケ……108
カクレヘゴ……69
カサゴケ……123
カサゴケ科……123
カザリシダ……55
カシハバチヤウチンゴケ……122
カスミホウライシダ……21
カタキノデ……59
カタゲツルノハシゴケ……79
カタシロゴケ……138
カタシロゴケ科……138
カタハゴケ……129
カタバゴケ……90
カタバミモ……15
カタヒバ……3
カタヒバモドキ……148
カタマリスギゴケ……115
カヅノウキゴケ……160
カヅノゴケ……160
カナクジヤクシダ……22
カナヤマシダ……32
カナヤマシダ……47
カニクサ……16
カニクサ科……16
カネコシダ……19
カハヲツゴケ……82
カハキゴケ……133
カハゴケ……112
カハゴケ科……112
カハニラ……1
カハラドクサ……13
カビゴケ……151
カマガタナガダイゴケ……140
カマシヤゲマゴケ……96
カミガモシダ……26
カミダスキ……7
カメゴケ……140
カモジゴケ……139
カヤゴケ……80
カラクサシダ……22
カラヒトツバ……33
カラフトキンマウゴケ……131
カラフトスギナ……13
カラフトツヤゴケ……91
カラフトヌマシノブゴケ……98
カラフトハナワラビ……74
カラホラゴケ……70
カンシノブ……51

キ

キイチキゴケ……88

第十一卷總索引

キイトゴケ……100
キウクワボタ……2
キクシノブ……47
キシウシダ……48
キシツボゴケ……140
キジノヲゴケ……103
キジノヲシダ……52
キシノブイトゴケ……107
キスナゴケ……133
キセルゴケ……117
キセルゴケ科……117
キダチツボゴケ……123
キダチヒラゴケ……106
キツネゴケ……81
キツネノヲゴケ……106
キツネノタスキ……7
キヌイトゴケ……99
キヌゴケ……88
キヌヒツジゴケ……78
キノウヘノコハヒゴケ……87
キノウヘノハヒゴケ……87
キノボリシダ……37
ギバウシゴケ……132
ギバウシゴケ科……132
キハヒゴケ……86
キヒモ……38
キブリナギゴケ……79
キブリハネゴケ……106
キヘチマゴケ……129
キヨスミコケシノブ……70
キヨスミシダ……59
キヨスミトゲハヒゴケ……85
キヨスミヒメワラビ……43
キヨタキシダ……38
キンギヨイヌワラビ……31
キンギヨシダ……41
キンシゴケ……143
キンシゴケ科……143
キンチヤクゴケ……144
キンマウキノデ……43
キンマウゴケ……131

ク

クサゴケ……85
クサソテツ……47
クサツイチキゴケ……88
クサツヤゴケ……91
クサナガハシニケ……85
クサヘチマゴケ……129
クサリゴケ……151
クシノハゴケ……88
クジヤクウラボシ……55
クジヤクゴケ……103
クジヤクゴケ科……103
クジヤクサウ……22
クジヤクシダ……22
クジヤクデンダ……22
クジヤクフモトシダ……48
クチベニヒメゴケ……112
クツベラシダ……22
クマノチヤウジゴケ……117
クマワラビ……43
クミンカタワラビ……69
クモノスゴケ……156
クモノスシダ……32
クモマシダ……59
クラガリシダ……38
クラサハシダ……44
クラマゴケ……4
クラマゴケモドキ……151
クリハラン……55
クリユウシダ……31
クルマシダ……31
クロイシヒツジゴケ……78
クロウロコゴケ……148
クロカハキゴケ……133
クロギバウシゴケ……133
クロゴケ……147
クロゴケ科……147
クロナガダイゴケ……143
クロハリガネゴケ……124
クワウエフザンカヅラ……7

ケ

ケアヲキヌゴケ……77
ケイソクサウ……60
ケウロコゴケ……152
ケギバウシゴケ……133
ケサガリゴケ……107
ケサナダゴケ……88
ゲジゲジゴケ……107
ゲジゲジシダ……42
ケゼニゴケ……160
ケツエフボク科……14
ケツヤゴケ……91
ケハヒゴケ……86
ケヒツジゴケ……78
ケヘチマゴケ……129
ケホシダ……41

コ

コイヌワラビ……32
コウチハチヤウチンゴケ……122
コウトウリウビンタイ……74
コエゾサハゴケ……118
コエダヒツジゴケ……78
コエノヒツジゴケ……78
コエビゴケ……143
コガネシダ……47
コガネシノブ……70
コガネハヒゴケ……95
コガネホラゴケ……70
コガネワラビ……47
コキンシゴケ……144
コキンシゴケモドキ……144
コキンマウキノデ……43
コキンマウゴケ……131
コクサゴケ……105
コクシノハゴケ……88
コクジヤクゴケ……103
コケカタヒバ……4
コケシダ……56
コケシノブ……70
コケシノブ科……70
コケスギラン……4
コゴミ……47
コゴメ……47
コサナダゴケ……92
コサハゴケ……118
コシダ……19
コシツボゴケ……143
コシツボゴケ科……143
コシノヲカムラゴケ……81
コシノブゴケ……98
コスギゴケ……116
コスギラン……8
コスナゴケ……133
コセイタカスギゴケ……116
コゼンマイ……16
コタニワタリ……51
コチヤウチンゴケ……122
コチヤウチンマゴケ……129
コツクシサハゴケ……118
コツボゴケ……122
コツボチヤウチンゴケ……122
コツリガネゴケ……130
コニハゴケ……99
コバザケシダ……44
コハナヤスリ……73
コハナワラビ……74
コバノイシカグマ……37
コバノイトゴケ……100
コバノエゾシノブゴケ……98
コバノキヌゴケ……99
コバノコスナゴケ……133
コバノチヤウチンゴケ……122
コバノハリゴケ……99
コバノヒダゴケ……132
コバノマキハリゴケ……99
コバノミヅゴケ……147
コハヒヒモゴケ……107
コバホウライシダ……21
コヒツジゴケ……78
コヒノキゴケ……121
コフサゴケ……82
コフサミヅゴケ……147
コブラン……74
コホウワウゴケ……144
コマノアカゴケ……144
コマノイボエゴケ……80
コマノカメゴケ……140
コマノヒツジゴケ……78
コマノヒラゴケ……105
コミヅゴケ……148
コミノアヲキヌゴケ……77
コムチゴケ……152
コメリンヌゴケ……106
コモチシダ……66
コヤナギゴケ……95
コンテリクラマゴケ……4

サ

サカエシダ……51
サガミヒラゴケ……105

第十一卷總索引

サガリゴケ …… 107
ササバゴケ …… 96
サジラン …… 56
ザナダゴケ …… 89
サナダゴケ科 …… 89
サハゴケ …… 118
サハスギ …… 8
サヤゴケ …… 132
ザラツキゴケ …… 81
サルセウガ …… 52
サワタタチゴケ …… 117
サンカクツルハシゴケ …… 79
サンセウモ …… 15
サンセウモ科 …… 15

シ

シケシダ …… 37
シケチシダ …… 37
シシガシラ …… 32
シシゼンマイ …… 16
シシヒトツバ …… 34
シシラン …… 65
シ ダ …… 19
シタゴケ …… 106
シダダマシ …… 155
シダレゴヘイゴケ …… 148
シダレハナヤスリ …… 74
シダレヤスデゴケ …… 148
シツボゴケ …… 130
シツボゴケ科 …… 139
シノブ …… 34
シノブイトゴケ …… 107
シノブイトゴケモドキ …… 107
シノブカグマ …… 43
シノブゴケ …… 97
シノブゴケ科 …… 97
シノブヒバゴケ …… 90
シハクジヤクゴケ …… 103
ジフモンジシダ …… 59
シマアヲネカヅラ …… 52
シマイヌワラビ …… 31
シマカニクサ …… 16
シマシシラン …… 66
シマシヤミセンヅル …… 16
シマダフクロゴケ …… 88
シマトキハシダ …… 25
シメリイハゴケ …… 140
シメリヘウタンゴケ …… 130
シモフリゴケ …… 133
シモフリヒジキゴケ …… 111
ジヤカウシダ …… 38
シヤグマゴケ …… 96
ジヤゴケ …… 160
ジヤバニーズ・バーズネストフアーン …… 26
ジヤバラヒラゴケ …… 106
シヤミセンヅル …… 16
シコクウマスギゴケ …… 115
シコクハリゴケ …… 99
シユモクシダ …… 59
シヨリマ …… 44
シラガゴケ …… 138
シラガゴケ科 …… 138
シラガシダ …… 43
シロイチヰゴケ …… 87
シロエタチゴケ …… 117
シロガネマゴケ …… 124
シロクギシダ …… 43
シロゴケ …… 123
シロシラガゴケ …… 138
シロヒジキゴケ …… 111
シロヒツジゴケ …… 78
シロミヅゴケ …… 148
シロヤマゼンマイ …… 16

ス

スギカヅラ …… 7
スギゴケ …… 115
スギゴケ科 …… 115
スギナ …… 13
スギバチヤウチンゴケ …… 122
スギラン …… 7
スコツトタマシダ …… 48
スズゴケ …… 111
スヂチヤウチンゴケ …… 123
スヂナガサムシロゴケ …… 77
スヂヒトツバ …… 33
スヂワタシ …… 60
スナゲサ …… 16
スナゴケ …… 133
スナヂノサナダゴケ …… 92
スフエノフイルム・エマルギナツム …… 14

セ

セイタカシラガゴケ …… 138
セイタカスギゴケ …… 115
セイタカネヂクチゴケ …… 134
セタカギバウシゴケ …… 133
ゼニゴケ …… 159
ゼニゴケ科 …… 159
センボンゴケ …… 134
センボンゴケ科 …… 134
ゼンマイ …… 16
ゼンマイ科 …… 15
ゼンマイシノブ …… 47
ゼンマイワラビ …… 51

タ

タイワンアヲネカヅラ …… 52
タイワンウラジロ …… 19
タイワンウラボシ …… 59
タイワンカニクサ …… 16
タイワンコケシノブ …… 70
タイワンコモチシダ …… 66
タイワンシシラン …… 66
タイワンタカワラビ …… 37
タイワンハシボソゴケ …… 85
タイワンハネゴケ …… 106
タイワンハヒホラゴケ …… 70
タイワンヒムロゴケ …… 108
タイワンヒロクチゴケ …… 130
タイワンフクロゴケ …… 88
タイワンヘゴ …… 69
タイワンホウビシダ …… 26
タイワンホシダ …… 41
タイワンマメヅタ …… 38
タウゲシバ …… 8
タウゲヒバ …… 8
タカサゴイトゴケ …… 100
タカサゴツルハシゴケ …… 79
タカネイタチゴケ …… 108
タカネカモジゴケ …… 140
タカネキツネゴケ …… 81
タカネギバウシゴケ …… 133
タカネクロゴケ …… 147
タカネコクサゴケ …… 105
タカネゴケ …… 97
タカネコシツボゴケ …… 139
タカネサナダゴケ …… 90
タカネシダ …… 59
タカネシメリゴケ …… 95
タカネシモフリゴケ …… 133
タカネスギカヅラ …… 7
タカネスギゴケ …… 115
タカネスナゴケ …… 133
タカネチリメンゴケ …… 87
タカネニハゴケ …… 99
タカネハリガネゴケ …… 124
タカネヒカゲノカヅラ …… 7
タカネヒツジゴケ …… 77
タカネフタゴゴケ …… 134
タカネミヅゴケ …… 148
タカノハウラボシ …… 55
タカワラビ …… 69
タキミゴケ …… 140
タキミシダ …… 22
タスキゴケ …… 107
タチカモジゴケ …… 139
タチキヌゴケ …… 88
タチクラマゴケ …… 4
タチゴケ …… 116
タチゴケモドキ …… 116
タチシシラン …… 66
タチシノブ …… 51
タチシノブゴケ …… 98
タチチヤウチンゴケ …… 122
タチデンダ …… 59
タチハヒゴケ …… 92
タチバヒダゴケ …… 131
タチヒダゴケ …… 131
タチヒダゴケ科 …… 131
タチヒラゴケ …… 106
タチヘウタンゴケ …… 130
タチラツコゴケ …… 82
ダテウゴケ …… 89
タニイヌワラビ …… 31
タニゴケ …… 78
タニヘゴ …… 42
タニワタリシダ …… 26
タノジモ …… 15
タマキチリメンゴケ …… 87
タマゴケ …… 118
タマゴケ科 …… 118
タマゴハサナダゴケ …… 90
タマシダ …… 48
タマシダモドキ …… 51

チ

ヂクヲレシダ …… 44
チクラン …… 3
チシマクサゴケ …… 85
チシマシツボゴケ …… 139
チシマスギラン …… 8
チシマハリガネゴケ …… 124
チシマミヅニラ …… 1
チヂレキンマウゴケ …… 131
チヂレゴケ …… 132
チヂミコゴケ …… 137
チヂレウロコゴケ …… 151
チヂレゴケ科 …… 132
チヂレタチゴケ …… 116
チヂレニハスギゴケ …… 116
チヂレバタマゴケ …… 118
チヤイチヰゴケ …… 88
チヤイロヰクビゴケ …… 117
チヤウチンゴケ …… 122
チヤウチンゴケ科 …… 122
チヤウチンゴケモドキ …… 155
チヤウチンハリガネゴケ …… 129
チヤシツボゴケ …… 139
チヤセンシダ …… 26
チヤボサナダゴケ …… 98
チヤボサハゴケ …… 118
チヤボサヤゴケ …… 132
チヤボシノブゴケ …… 98
チヤボスギゴケ …… 116
チヤボスズゴケ …… 90
チヤボハリガネゴケ …… 124
チヤボヒツジゴケ …… 78
チヤボヒラゴケ …… 106
チヤボホソバミヅゴケ …… 147
チリメンゴケ …… 87
チリメンゴケ科 …… 86
チリメンシダ …… 42
チリメンカンシユウ …… 51
ヂンガサゼニゴケ …… 159

ツ

ツガゴケ …… 103
ツクシ …… 13
ツクシサハゴケ …… 118
ツクシツヤゴケ …… 91
ツクシナギゴケ …… 79
ツクシナギゴケモドキ …… 79
ツクシハリガネゴケ …… 124
ツクシラセンゴケ …… 99
ツクヅクシ …… 13
ツチノウヘノカタゴケ …… 137
ツチノウヘノコゴケ …… 137
ツチノウヘノタマゴケ …… 137
ツチノウヘノヒラゴケ …… 137
ツチノウヘノヒラゴケモドキ … 137
ツノゴケ …… 159
ツノゴケ科 …… 159
ツボゴケ …… 123
ツヤヲキナゴケ …… 138
ツヤゴケ …… 92
ツヤゴケ科 …… 91
ツヤツケリボンゴケ …… 105
ツヤナシキノデ …… 59
ツヤヒツジゴケ …… 78
ツヤヘチマゴケ …… 129
ツヤヤナギゴケ …… 95
ツリガネゴケ …… 180
ツルカグマ …… 34
ツルキジノヲ …… 59
ツルクワンシユウ …… 59
ツルゴケ …… 111
ツルゴケ科 …… 111
ツルシダ …… 25
ツルシノブ …… 16
ツルチヤウチンゴケ …… 122
ツルデンダ …… 59
ツルホラゴケ …… 70

テ

テウセンカヤゴケ …… 80
テウセンスナゴケ …… 133
テウセンハリゴケ …… 99
テウセンラツコゴケ …… 82
テガタゼニゴケ …… 159
テツボシダ …… 41
デンジサウ …… 15
デンジサウ科 …… 15
テングノタスキ …… 7

ト

トウゴクシダ …… 41
トガクシデンダ …… 66
トガリイチヰゴケ …… 88
トガリバスギゴケ …… 115
トキハシダ …… 25
トキハトラノヲ …… 25
トクサ …… 13
トクサ科 …… 13
トゲバチヤウチンゴケ …… 122
トゲハヒゴケ …… 85
トサカキノモトサウ …… 60
トササナダゴケ …… 90
トサツヤゴケ …… 91
トサノイボゴケ …… 86
トサノセイタカスギゴケ …… 116
トサヒラゴケ …… 106
トヂグチゴケ …… 137
トラノヲヲキナゴケ …… 138
トラノヲゴケ …… 104
トラノヲゴケ科 …… 104
トラノヲシダ …… 25
トリアシゴケ …… 108
トリノアシ …… 60
トリノハカタヒバ …… 4

ナ

ナガエタチヒラゴケ …… 106
ナガエノアサイトゴケ …… 97
ナガエノキシツボゴケ …… 140
ナガエノサナダゴケ …… 90
ナガエノシツボゴケ …… 139
ナガエノユミハヒゴケ …… 87
ナガサキシダ …… 44
ナガスヂイチヰゴケ …… 88
ナガスヂツヤゴケ …… 92
ナガスヂハリゴケ …… 99
ナガスヂミカヅキゴケ …… 79
ナガスナゴケ …… 133
ナガダイゴケ …… 140
ナガナギゴケ …… 79
ナガバカニクサ …… 16
ナガバコシノブゴケ …… 98
ナガハサハゴケ …… 118
ナガハシゴケ …… 85
ナガバセンボンゴケ …… 134
ナガハチヤウチンゴケ …… 122
ナガハツヤゴケ …… 91
ナガハナギゴケ …… 79
ナガバノハナヤスリ …… 73
ナガバハリガネゴケ …… 124
ナガハフクロゴケ …… 88
ナガバヤナギゴケ …… 92
ナガヒツジゴケ …… 77
ナガヘチマゴケ …… 129
ナガボノナツノハナワラビ …… 74
ナガボノハナワラビ …… 74
ナガミシシラン …… 66
ナガミシツボゴケ …… 139
ナガミチヤウチンゴケ …… 121
ナガミノゴケ …… 131
ナガヤナギゴケ …… 92
ナシゴケ …… 124
ナチシダ …… 65
ナツノハナワラビ …… 74
ナナバケシダ …… 25
ナミガタタチゴケ …… 116
ナミシツボゴケ …… 139
ナメリツノゴケ …… 159
ナヨシダ …… 34
ナラヒシダ …… 43
ナンカクラン …… 8
ナンキンコシダ …… 56
ナンタイシダ …… 41
ナンブウマスギゴケ …… 115

ニ

ニシキシダ …… 31
ニセホングウシダ …… 47
ニツクワウイトゴケ …… 100
ニツクワウシダ …… 43
ニツクワウシダ …… 55
ニツクワウノマンネングサ …… 7
ニツクワウヒトデ …… 55
ニハゴケ …… 99

第十一卷總索引

ニハスギゴケ …… 115
ニハツノゴケ …… 159
ニヒタカデンダ …… 26

ヌ

ヌカボシクリハラン …… 52
ヌカボシシダ …… 52
ヌカボシラン …… 52
ヌマゴケ …… 129
ヌマシノブゴケ …… 98
ヌマドクサ …… 13
ヌマハリガネゴケ …… 124
ヌリトラノヲ …… 26
ヌリバシ …… 21
ヌリホウワウゴケ …… 144
ヌリワラビ …… 32

ネ

ネズミノヲゴケ …… 80
ネヂクチゴケ …… 134
ネヂレイトゴケ …… 92
ネヂレゴケ …… 134
ネヂレスギゴケ …… 116
ネヂレヤノネゴケ …… 79

ノ

ノキシノブ …… 52
ノキシノブ科 …… 20
ノコギリカハゴケ …… 112
ノコギリカヤゴケ …… 80
ノコギリシダ …… 38
ノコギリチヤウチンゴケ …… 122

ハ

ハクマウキノデ …… 32
ハコダテシノブゴケ …… 98
ハコネグサ …… 21
ハコネサウ …… 21
ハコネシダ …… 21
ハコネタマゴケ …… 118
ハゴロモシダ …… 65
ハサナダゴケ …… 90
ハシゴゴケ …… 151
ハシゴシダ …… 42
ハシボソゴケ …… 85
ハシボソゴケ科 …… 85
ハスギゴケ …… 116
ハダケゴケ …… 160
ハチヂヤウシダ …… 65
ハナカヅラ …… 16
ハナシヱバウシゴケ …… 104
ハナシギバウシゴケ …… 133
ハナシセンボンゴケ …… 134
ハナシマルダイゴケ …… 130
ハナシヤスヂゴケ …… 140
ハナゼニゴケ …… 159
ハナヤスリ …… 73
ハナヤスリ科 …… 73
ハナワラビ …… 74
ハネガヘリタウヴシバ …… 8
ハネゴケ …… 155
ハネヒツジゴケ …… 78
ハネヒラゴケ …… 105
ハハキゴケ …… 155
ハハキラン …… 3
ハヒヲカムラゴケ …… 81
ハヒキンマウゴケ …… 131
ハヒクサゴケ …… 78
ハヒクラマゴケ …… 4
ハヒゴケ …… 86
ハヒゴケ科 …… 86
ハヒコモチシダ …… 66
ハヒヒモゴケ …… 107
ハヒヒモゴケ科 …… 107
ハヒホラゴケ …… 70
ハブタヘゴケ …… 139
ハマキゴケ …… 137
ハマスギナ …… 13
ハマハナヤスリ …… 73
ハマヤノネゴケ …… 79
ハミズゴケ …… 116
ハミズニハスギゴケ …… 116
ハリガネゴケ …… 123
ハリガネシダ …… 33
ハリガネワラビ …… 42
ハリゴケ …… 99
ハリスギゴケ …… 115
ハリスナゴケ …… 133
ハリヒノキゴケ …… 121
ハリヒモウロコゴケ …… 151
ハルノハナワラビ …… 74
ハルルリトラノヲ …… 26
ハンゲクジヤク …… 22

ヒ

ヒガクシダ …… 52
ヒカゲヘゴ …… 69
ヒカゲノカヅラ …… 7
ヒカゲノカヅラ科 …… 7
ヒカゲノカヅラモドキ …… 107
ヒカリゴケ …… 129
ヒカリゴケ科 …… 129
ヒゲバゴケ …… 79
ヒシガタホウライシダ …… 22
ヒジキゴケ …… 111
ヒジキゴケ科 …… 111
ヒダゴケ …… 132
ヒツジゴケ …… 77
ヒツジシダ …… 69
ヒトツバ …… 33
ヒトツバイハヒトデ …… 55
ヒトツバシケシダ …… 37
ヒトツバマメヅタ …… 34
ヒトヘゴケ …… 96
ヒナクシノハゴケ …… 88
ヒナシノブゴケ …… 98
ヒナトラノヲゴケ …… 98
ヒナノハヒゴケ …… 112
ヒナノハヒゴケ科 …… 112
ヒノキゴケ …… 121
ヒノキゴケ科 …… 121
ヒノキシダ …… 25
ヒムロゴケ …… 108
ヒムロゴケ科 …… 108
ヒメアウムゴケ …… 137
ヒメアツブサゴケ …… 80
ヒメイハトラノヲ …… 25
ヒメウスグロゴケ …… 96
ヒメウラジロ …… 32
ヒメウラボシ …… 55
ヒメウリゴケ …… 124
ヒメヲカムヲゴケ …… 81
ヒメヲキナゴケ …… 138
ヒメカナワラビ …… 59
ヒメキツネゴケ …… 82
ヒメキンシゴケ …… 144
ヒメクサリゴケ …… 151
ヒメクジヤクゴケ …… 103
ヒメクジヤクシダ …… 26
ヒメクラマゴケ …… 4
ヒメコクサゴケ …… 105
ヒメコシダ …… 56
ヒメサハゴケ …… 118
ヒメシシラン …… 66
ヒメシダ …… 44
ヒメシツポゴケ …… 139
ヒメシノブゴケ …… 98
ヒメジヤゴケ …… 160
ヒメスギゴケ …… 115
ヒメスギラン …… 8
ヒメスナゴケ …… 133
ヒメタカノハウラボシ …… 56
ヒメチヤウチンゴケ …… 123
ヒメチヤセンシダ …… 26
ヒメチリメンゴケ …… 87
ヒメドクサ …… 13
ヒメトラノヲゴケ …… 80
ヒメナガダイゴケ …… 143
ヒメヤナギゴケ …… 79
ヒメヌリトラノヲ …… 26
ヒメノキシノブ …… 52
ヒメハナワラビ …… 74
ヒメハヒゴケ …… 87
ヒメハヒホラゴケ …… 70
ヒメハミヅゴケ …… 116
ヒメヒツジゴケ …… 77
ヒメヒトツバ …… 34
ヒメヒナゴケ …… 104
ヒメヒバ …… 4
ヒメヒラゴケ …… 105
ヒメヒロクサゴケ …… 130
ヒメホウビシダ …… 26
ヒメホウワウゴケ …… 144
ヒメミヅゴケ …… 147
ヒメミヅニラ …… 1
ヒメミノゴケ …… 132
ヒメムチゴケ …… 152
ヒメヤスヂゴケ …… 140
ヒメヤナギゴケ …… 95
ヒメヤノネゴケ …… 79

第十一卷總索引

ヒメワラビ …… 42
ヒモカヅラ …… 4
ヒモゴケ …… 121
ヒモゴケ科 …… 121
ヒモハヒゴケ …… 86
ヒモラン …… 8
ヒヨクゴケ …… 90
ヒヨクゴケ科 …… 90
ヒラゴケ …… 105
ヒラゴケ科 …… 105
ヒラヒツジゴケ …… 78
ヒリユウシダ …… 32
ヒロウドウロコゴケ …… 151
ヒロウドシダ …… 33
ヒロウドスギ …… 7
ヒロツヤゴケ …… 91
ヒロハアツブサゴケ …… 80
ヒロハイボエゴケ …… 80
ヒロハヲカムラゴケ …… 81
ヒロハカニクサ …… 16
ヒロハクジヤク …… 22
ヒロハサナダゴケ …… 89
ヒロハスギカヅラ …… 7
ヒロハスズゴケ …… 99
ヒロハタカネゴケ …… 97
ヒロハナヨシダ …… 34
ヒロバノイヌワラビ …… 31
ヒロハノコスギゴケ …… 116
ヒロハノタウヴシバ …… 8
ヒロハノタチゴケ …… 116
ヒロハノヒノキゴケ …… 121
ヒロハノフサゴケ …… 78
ヒロハノフサゴケモドキ …… 78
ヒロバノメンバウゴケ …… 138
ヒロハハナヤスリ …… 73
ヒロハヒメミヅゴケ …… 147
ヒロハベニシダ …… 41
ヒロハミヅシダゴケ …… 96

フ

フイリキノモトサウ …… 65
フイリヒバクラマゴケ …… 4
フウインボク …… 2
フウインボク科 …… 2
フギレミツデウラボシ …… 55
フクロウロコゴケ …… 152
フクロシダ …… 66
フクロハヒゴケ …… 88
フサウロコゴケ …… 152
フサゴケ …… 82
フサゴケ科 …… 81
フササジラン …… 26
フサシダ …… 19
フサスギナ …… 13
フサヒツジゴケ …… 78
フサフサシダ …… 51
フジシダ …… 48
フジノマンネングサ …… 111
フジハナヤスリ …… 73
フジハヒゴケ …… 87
フタゼニゴケ …… 100
フタバネゼニゴケ …… 159
フタヘウロコゴケ …… 151
フタマタゴケ …… 156
フトゴケ …… 82
フトスヂヒゲバゴケ …… 80
フトハリゴケ …… 90
フトリウビゴケ …… 82
フナバトガリゴケ …… 85
フモトシダ …… 48
フユシノブ …… 51
フユノハナワラビ …… 73
フルラニゴケ …… 148

ヘ

ヘウタンゴケ …… 130
ヘウタンゴケ科 …… 130
ヘウノヲゴケ …… 80
ヘウノヲゴケ …… 92
ヘゴ …… 69
ヘゴ科 …… 69
ヘチマゴケ …… 129
ベニエキンシゴケ …… 143
ベニシダ …… 42
ヘビノサジ …… 22
ヘビノシタ …… 74
ヘビノネゴザ …… 32
ヘラシダ …… 37
ヘラチヤウチンゴケ …… 122
ヘラバネヂレゴケ …… 134
ヘラハマキゴケ …… 137
ヘトトリチヤウチンゴケ …… 122

ホ

ホウビクワンシユウ …… 51
ホウビシダ …… 26
ホウビシダ …… 66
ホウライイヌワラビ …… 31
ホウライゴケ …… 85
ホウライシダ …… 21
ホウライツヤゴケ …… 92
ホウライヒダゴケ …… 82
ホウワウゴケ …… 144
ホウワウゴケ科 …… 144
ホクトアミシダ …… 25
ホゴケ …… 112
ホゴケ科 …… 112
ホコザキウラボシ …… 52
ホコシダ …… 65
ホシガタチヤウチンゴケ …… 122
ホシダ …… 41
ホスギゴケ …… 115
ホソアヲキヌゴケ …… 77
ホソアツブサゴケ …… 80
ホソイチキゴケ …… 87
ホソウリゴケ …… 124
ホソヲカムラゴケ …… 81
ホソカハゴケ …… 112
ホソクシノハゴケ …… 88
ホソサハゴケ …… 118
ホソシノブゴケ …… 98
ホソツルゴケ …… 111
ホソナガクモノスゴケ …… 156
ホソナギゴケ …… 79
ホソネズミノヲ …… 80
ホソバアヲキヌゴケ …… 77
ホソバイヌワラビ …… 31
ホソバヲキナゴケ …… 139
ホソバカナワラビ …… 60
ホソバゴケ …… 129
ホソバコケシノブ …… 70
ホソバシケシダ …… 37
ホソバスギゴケ …… 115
ホソバゼニゴケ …… 160
ホソバゼンマイ …… 16
ホソバタチゴケ …… 116
ホソバチヤミヅゴケ …… 147
ホソバヌカボシ …… 56
ホソバネヂクチゴケ …… 134
ホソバネヂレゴケ …… 134
ホソハネヒツジゴケ …… 78
ホソバノイタチシダ …… 44
ホソバノキンチヤクゴケ …… 144
ホソバノタウヴシバ …… 8
ホソハハキゴケ …… 155
ホソバハマキゴケ …… 137
ホソハヒゴケ …… 95
ホソバヒメコケシノブ …… 70
ホソバミヅゴケ …… 147
ホソハリガネゴケ …… 124
ホソヒダゴケ …… 82
ホソヘチマゴケ …… 129
ホソミヅゴケ …… 148
ホソミツヤゴケ …… 91
ホソミノゴケ …… 131
ホテイシダ …… 52
ホテイラン …… 52
ホボク …… 14
ホラゴケ …… 70
ホラゴケモドキ …… 152
ホラシノブ …… 51
ホンゲウシダ …… 26
ホンゲウシダ …… 47
ホンシノブゴケ …… 97

マ

マガリツヤゴケ …… 91
マキノゴケ …… 156
マキノシダ …… 37
マキノミノゴケ …… 131
マキハハヒゴケ …… 87
マキハハリゴケ …… 99
マキハヒゴケ …… 87
マゼニゴケ …… 159
マツザカシダ …… 60
マツバウロコゴケ …… 152
マツバゴケ …… 140
マツバラン …… 3
マツバラン科 …… 3
マツフウラン …… 52
マメゴケ …… 38
マメヅタ …… 38

マメヅル……38
マルダイゴケ……130
マルダイゴケ科……130
マルバアブラゴケ……103
マルバカギウロコゴケ……151
マルバカヤゴケ……80
マルバゴケ……104
マルバコマチゴケ……155
マルバタチムカデゴケ……152
マルハチ……69
マルバチヤウチンゴケ……122
マルバツヤゴケ……91
マルハハヒゴケ……87
マルバハリガネゴケ……124
マルバフタヘウロコゴケ……151
マルバホラゴケ……70
マルバホラゴケモドキ……152
マルフサゴケ……90
マンネングサ……7
マンネンスギ……7

ミ

ミサキカグマ……44
ミヅシダ……41
ミヅシダモドキ……41
ミヅカザリシダ……56
ミヅゴケ科……147
ミヅゴケモドキ……155
ミヅシダゴケ……96
ミヅスギ……8
ミヅスギナ……13
ミヅスギモドキ……107
ミヅゼニゴケ……156
ミヅゼニゴケ……160
ミツデウラボシ……55
ミツデカグマ……59
ミヅドクサ……13
ミヅニラ……1
ミヅニラ科……1
ミヅハヒゴケ……95
ミヅヤナギゴケ……95
ミヅワラビ……20
ミヅワラビ科……20
ミドリカタヒバ……4
ミドリシヤクシゴケ……156
ミドリセンボンゴケ……137
ミドリツヤゴケ……91
ミドリミヅゼニゴケ……156
ミノゴケ……131
ミヤコノツチゴケ……147
ミヤマイタチゴケ……108
ミヤマイタチシダ……44
ミヤマイツマデグサ……52
ミヤマイトゴケ……100
ミヤマイトツルゴケ……100
ミヤマキノデ……41
ミヤマイハデンダ……65
ミヤマウラジロ……32
ミヤマウラボシ……55
ミヤマカギハヒゴケ……95
ミヤマカナワラビ……43
ミヤマキツネゴケ……97
ミヤマギバウシゴケ……132
ミヤマクサゴケ……85
ミヤマクマワラビ……43
ミヤマコクサゴケ……105
ミヤマササバゴケ……96
ミヤマサナダゴケ……9
ミヤマシケシダ……32
ミヤマシシガシラ……32
ミヤマシツポゴケ……140
ミヤマスナゴケ……133
ミヤマタマゴケ……118
ミヤマチヤウチンゴケ……122
ミヤマノキシノブ……52
ミヤマハナワラビ……74
ミヤマハヒゴケ……86
ミヤマヒカゲノカヅラ……7
ミヤマヒツジゴケ……77
ミヤマヒラゴケ……105
ミヤベゴケ……100
ミヤマベニシダ……42
ミヤマヘビノネゴザ……32
ミヤマミヅゴケ……148
ミヤマミヅハヒゴケ……95
ミヤマメシダ……31
ミヤマリウビゴケ……90
ミヤマワラビ……41

ム

ムカデカヅラ……7
ムカデグサ……32
ムカデゴケ……155
ムクゲヒノキゴケ……121
ムクムクシミヅゴケ……112
ムクムクチリメンゴケ……86
ムシトリゴケ……155
ムチゴケ……152
ムツデチヤウチンゴケ……122
ムラサキイデフゴケ……160
ムラサキウロコゴケ……151
ムラサキシメリゴケ……95
ムラサキヤネゴケ……144

メ

メウギシダ……56
メシダ……31
メヘゴ……69
メンマ……41

モ

モエギヒバ……4
モエジマシダ……65
モツレサガリゴケ……107
モロムギ……19

ヤ

ヤウラクゴケ……4
ヤクシマツガゴケ……103
ヤグルマシダ……43
ヤスヂゴケ……140
ヤチスギナ……13
ヤチスギラン……8
ヤツガタケシノブ……33
ヤツメグサ……52
ヤツメラン……52
ヤナギゴケ……92
ヤナギゴケ科……92
ヤナギゴケモドキ……95
ヤネゴケ……137
ヤノウヘノアカゴケ……144
ヤノネゴケ……79
ヤノネシダ……56
ヤハヅゴケ……156
ヤバネゴケ……152
ヤハラシダ……43
ヤハラツヤゴケ……91
ヤブクジヤク……38
ヤブソテツ……59
ヤブレガサウラボシ……55
ヤマイヌワラビ……31
ヤマウバノタスキ……7
ヤマコスギゴケ……116
ヤマシツポゴケ……140
ヤマシノブ……41
ヤマソテツ……51
ヤマトイボゴケ……86
ヤマドクサ……13
ヤマトシノブゴケ……98
ヤマトヒラゴケ……105
ヤマトフクロゴケ……88
ヤマトヘウタンゴケ……130
ヤマドリシダ……16
ヤマドリゼンマイ……16
ヤマハナワラビ……74
ヤリギバウシゴケ……133
ヤリノホクリハラン……56
ヤリノホゴケ……96
ヤリノホラン……56
ヤンバルタマシダ……48

ユ

ユガミハヒゴケ……87
ユノミネシダ……47
ユミダイゴケ……143
ユミハヒゴケ……87
ユリゴケ……130

ヨ

ヨツバウキクサ……15
ヨツバゴケ……117
ヨツバゴケ科……117
ヨロヒラン……52

ラ

ラセンゴケ……99
ラツキヤウゴケ……138
ラツコゴケ……82
ラハヲシダ……26

リ

リウキウコガネ……70
リウキウシノブゴケ……98
リウキウナガハシゴケ……85
リウキウヘウタンゴケ……130
リウキウホラゴケ……73
リウキウマメヅタ……38
リウビゴケ……82
リウビンタイ……74
リウビンタイ科……74
リウリンタイ……74
リシリシノブ……33
リシリデンダ……66
リスゴケ……108
リボンゴケ……106
リボンゴケモドキ……106
リヤウメンシダ……47
リンボク……2

ロ

ロボク……14
ロボク科……14

ワ

ワウレンシダ……48
ワキミゴケ……92
ワラビ……60
ワラビツナギ……22

第十一卷總索引

第十一卷五十音總索引終

內外植物原色大圖鑑
不模寫
許複製
著者檢印證

內外植物原色大圖鑑
第十一卷
豫約須布

昭和九年十二月三十日發行
昭和九年十二月二十日印刷

發行所　東京市神田區錦町一丁目拾六番地　植物原色大圖鑑刊行會　振替東京四六〇一六番

責任製本所　東京市神田區美土代町三丁目拾四番地　合資會社　山口製本所

印刷所　東京市京橋區築地四丁目四番地　中屋三間印刷株式會社

圖版製版技師　橋本敏夫

寫眞調製者　光映社寫眞部

製版所　東京市本鄉區駒込曙町拾三番地　本文及彩色圖　照文社製版部

印刷者　東京市京橋區築地四丁目四番地　鈴木茂

發行者　東京市神田區錦町一丁目拾六番地　宮下軍平

著作者　東京市本鄉區駒込曙町拾三番地　村越三千男

32 5.14

638-81
1200501565654
638
81